武藤敬司×ウルティモ・ドラゴン"純プロレスの砦"頂上対談実現!!

紙のプロレス

MMA & PRO-WRESTLING MAGAZINE

RADICAL

54
2002

国立競技場を闘魂でダイナマイッ!!
アントニオ・R・ノゲイラ

「オレはノゲイラに3回勝っていた」
ボブ・サップ

前UFC王者がノゲイラ、そして田村潔司に挑戦表明!!
ジョシュ・バーネット

吉田秀彦戦の"ミスジャッジ"に絶賛猛抗議!!
ホイス&エリオ・グレイシー

プロレス誌唯一の独占インタビュー!!
ゴールドバーグ

"新OH砲"改め"OHビーム"、狂乱の初対談!!
橋本真也×小笠原和彦

ZERO-ONE、8・9月シリーズ秘蔵写真館

『PRIDE.22』超直前特集!!
寝技は柔道だけじゃない!!
"トップチーム"世界大戦、遂にボッ発!!
マリオ・スペーヒー vs アンドレイ・コピィロフ

『PRIDE』にケジメをつけに参上!!
小原道由

日本人を喰い尽くす男!!
ヴァンダレイ・シウバ

美濃輪戦に劇勝!!
"赤いパンツの生還者"の告白!!
田村潔司

キミはアントンの兄貴を見たか!!
猪木家・四男 猪木快守

驚ガク!! 絶好調男が、大仁田厚に果たし状!!
坂田 亘

仰天!! 特別付録ポスター
アントン、奇跡のダイブ!!

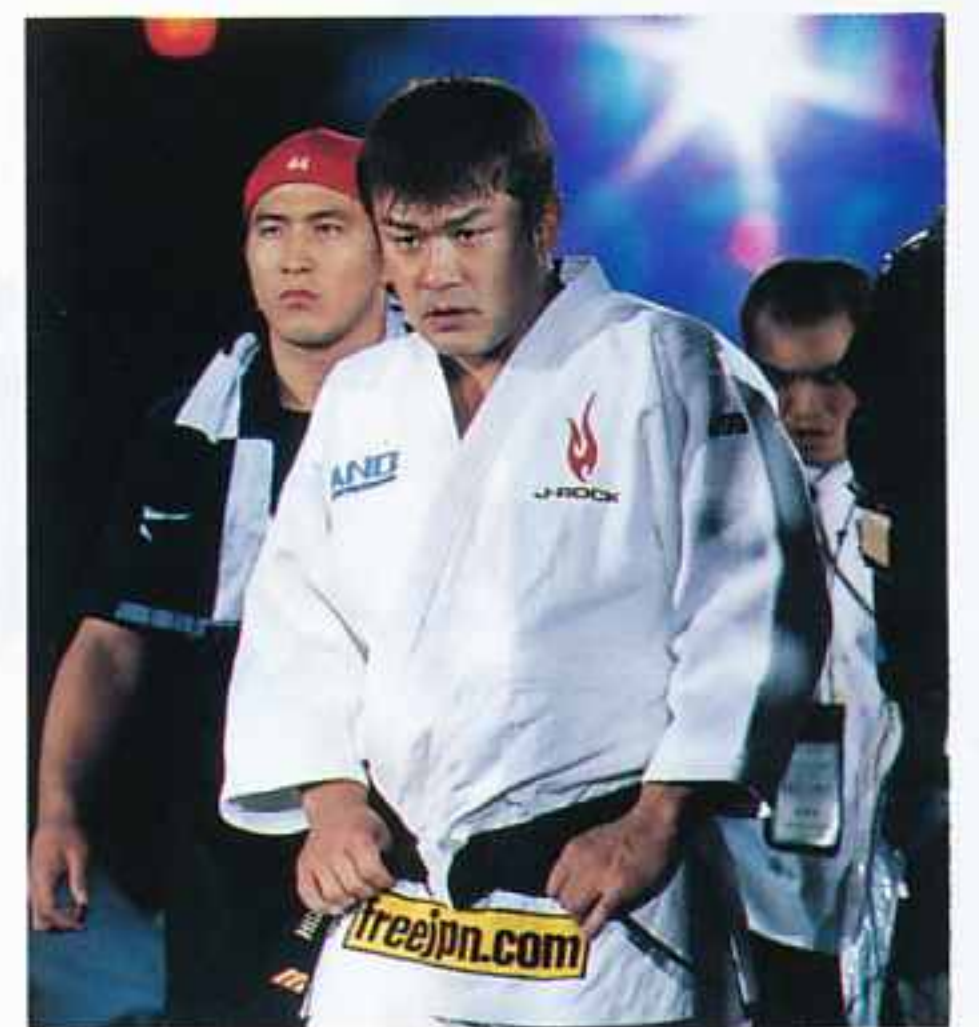
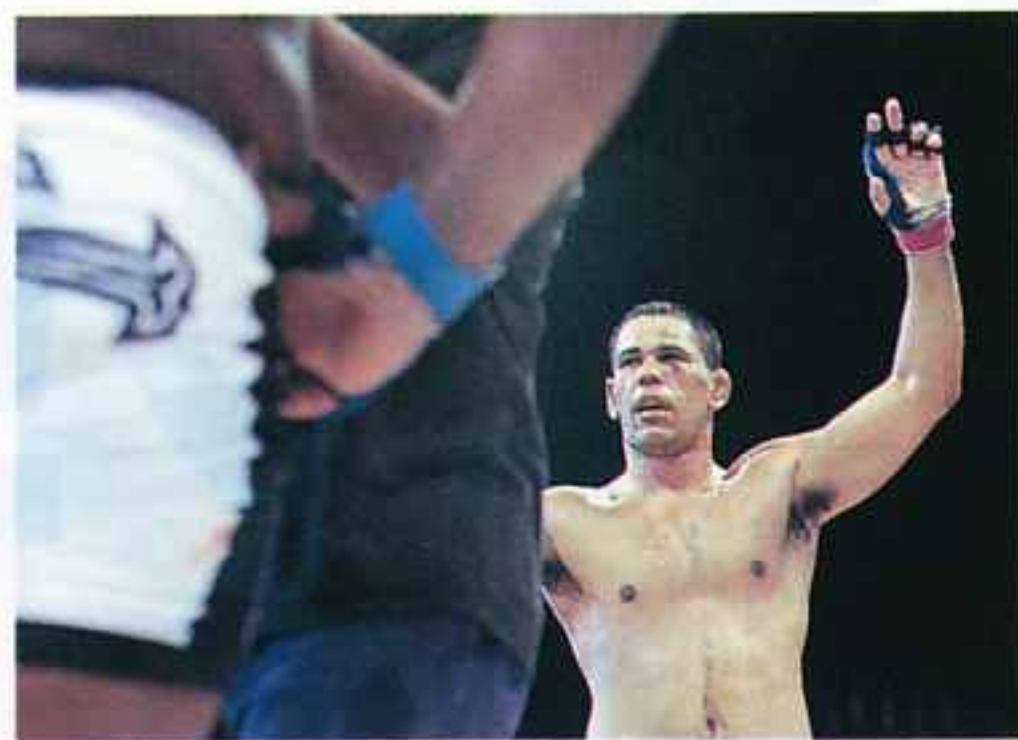
『Dynamite!』後のマット界を大総括&大展望!!

"不平等の時代"を、
一番乗りで
克服した男!!

発行元:(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話:03-3403-5188

ん〜っ、ダイナマイッ!!

が終わった後のマット界が急速に転がり始めた——。

池谷裕二さんという若手の脳研究家が、脳についてわかりやすく語ってくれる『海馬』という本をこの間、読んだ。
とても面白かった。刺激的だった。刺激的なものを読んでるときは面白い。
その本には、「脳はぜんぜん疲れない」と書いてあった。
ん〜、ダイナマイッ！
その本には、「脳細胞は恐ろしい勢いで死んでいくが、いくら死んでいっても、まったく問題はないくらいの細胞の数がある」と書いてあった。
ん〜、ダイナマイッ！
その本には「周囲との関係をシャットアウトし、情報の入力をやめれば、脳の働きはよくならない」というようなことが書いてあった。
ん〜、ダイナマイッ！
これらはいま手元にその本を家に忘れてきてしまったので、確認のしようがない。だから、間違った略し方かもしれない。
ん〜、ダイナマイッ！
その本には「天才と凡才の差はすぐ埋まるが、む

『Dynamite!』以前と『Dynamite!』以後 おそらく50年後には、こういう言い方をされてるかもしれない

〜『Dynamite!』症候群を、どうマット界は克服していくのか〜

しろ天才と天才の差は埋まらない」ということが書いてあった。

ん〜、ダイナマイッ！

その本には「歳を取ったら、記憶力が悪くなったり、頭が悪くなるというイメージがあるが、まったくそんなことはない」というようなことが書いてあった。

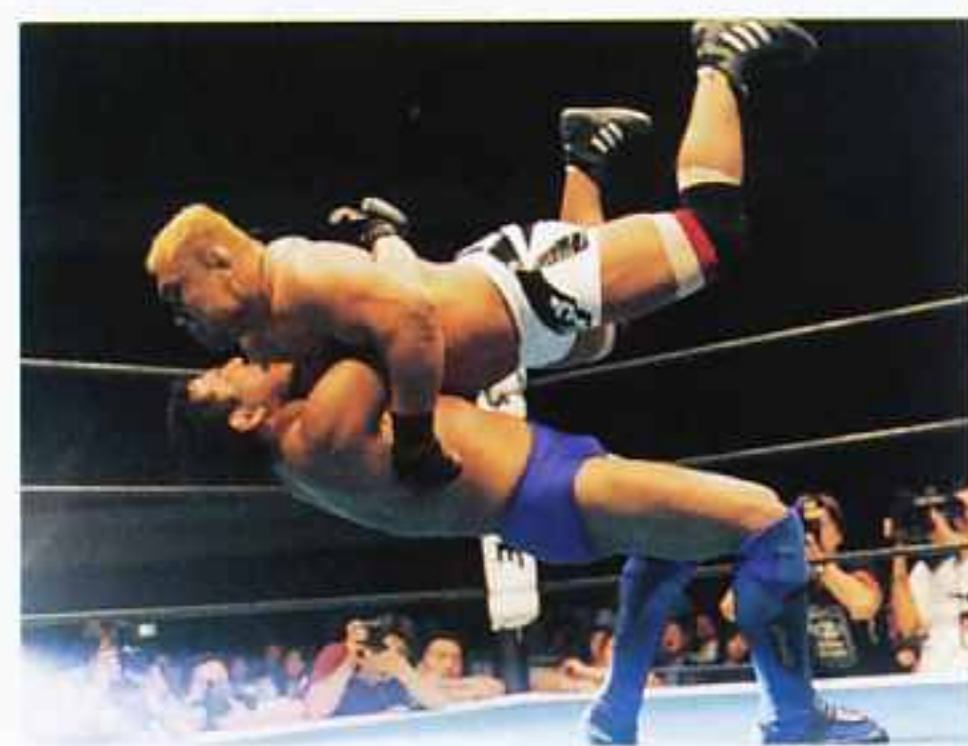
ん〜、ダイナマイッ！

そして、その本には「刺激を求め続ける脳と、安定したがる脳がある」というようなことが書いてあった。でも、「常に脳は刺激を受けたがる」とも書いてあった。

ん〜、ダイナマイッ！

その本には、もっともっと面白いことが書いてあった。

でもボクはそれ以上に刺激的な本があったらドンドン読みたいと思う。

刺激を受け続けると疲れてしまうというイメージがあるが、さっき言ったように、脳は疲れないという。偉くて賢くて、しっかり研究してる人が言うんだから本当だろう。

だとしたら、ボクらは、これからマット界を見ていくときに、『Dynamite!』以上の刺激を、脳が自然に求めてしまうということになる。なぜかって？ それは『海馬』っていう本を読めばわかる。迷わず読めよ、読めばわかるさ。

ンムフフフ。

アントニオ猪木を見ているときがそうだった。UWFを見ているときがそうだった。『PRIDE』が出てきたときがそうだった。WWEが出てきたときがそうだった。

もっともっと刺激的なものが見たくなる。自分の脳が欲してくる。

今後はきっと、どんな種類の刺激なのかが問題になってくる。

『Dynamite!』後、確実にマット界は変わる。

だけど、すべてが『Dynamite!』になる必要はない。

『Dynamite!』とは違う形の刺激でも、脳は反応する。

でも、その刺激の根っこは、おそらくアントニオ猪木、UWF、『PRIDE』、『Dynamite!』――それらを貫く根本と同じはずだ。

それはおそらく“克服”していく姿である。

ん〜、「オー、エイチ、ホーーーッ!!」

中　9月18日付けの朝刊スポーツ新聞2紙が、とうとう全日本プロレスの中継がフジテレビで決まったって抜いちゃったね。翌日の東スポにも出たし、それと同じ日に発売された『週刊プロレス』でも、表紙のロゴ上に打ったりして、中では軽く触れられてる。報道や内容はまちまちだけど。
大　抜いたっていうか、フジテレビの局内から流れた話みたいだね。でも、わかってるだろうけど、全日本というのは、いまはわかりやすいから便宜上使ってるだけで、厳密にいえば、全日本をそのまま中継するわけじゃないからね。全日本プロレスって冠も番組名には付かないっていう話だし。当然、武藤はその番組の看板選手だし、全日本の所属選手が主軸にはなってくるだろうけど。
小　第1回の放映は9月30日の深夜1時過ぎからってことなんですけど、45分の生番組なんですよね？
中　いや、もちろん生じゃないよ（笑）。そう報じてたところもあるけど。スタジオなりなんなりから試合中継を見ながら、あるいは挟みながら、大きな大会に向けてのストーリー展開や、選手をクローズアップしていくっていうのが基本的な構成らしいけどね。全日中継っていうけど、試合はそんなに中心にはならない。ただ、場合によってはスタジオマッチみたいなもので試合を生でやることもあり得るかもしれないけど。いまのところは収録も試合も生じゃない線で行ってるね。この号が発売されるころには固まってると思うけど。
大　少なくても今年いっぱいは週イチとかそういうスタンスじゃない。月イチだって。まだ契約年数とか契約先とかそのへんの具体的な話も入ってきてないから、興行を絡める話はもう少し先になるかもしれないね。でも、うまくいけば来年頭、あるいは来年春から週イチになるっていう話もある。いまのところは実験的にやってみるっていう色合いが強くなるんじゃないかな。ホントは、9月30日に全日本の30周年記念パーティーが行われるでしょ。そこで武藤の代表取締役就任を発表して、さらに当日からの放映開始を電撃的に発表するプランだったらしい（笑）。
中　ま、この雑誌は月刊誌なんで、短いスパンで話してもしょうがないから、これが決まったことによって、マット界がどう動いていくのか、あるいは動きそうなのかっていうことをわかってる範囲で話したほうがいいんじゃない？
大　そうだな。最近は、バシッと物事が事前に決まって、その通り動いていくってことがないからね。プロレスにしても格闘技にしても（笑）。だから、いま仕入れたことを話していても、変化していく可能性は大いにあるよね。
小　そもそもその番組はどういう番組なんですか？（笑）。実はボクは、その番組はフジのバラエティ班の制作になるって聞いてるんですよ。だからホントに先々、そんな大きな話になっていくのかなぁっていう気はするんですけどね。なんか昔、テレ朝でやってた『リン魂』のみたいなことになりそうな気がしないでもないんですけど（笑）。
中　その番組のソフト作りの部分も含めて、石井館長が〝プロデューサー〟として全面に関わってくるのか、全日本を中心につくりあげていくのか、そのへんはまだ決まってないというか、煮詰めてる段階だろうね。基本は、月に一度なり、ふた月に一度なり大きな大会を開く。で、その大会に向けてのストーリー展開をしていく番組をCXで放送するって考えたほうが近いでしょ。もちろん、その大きな大会を生中継で放映するとか、PPVになるのかまではわからないけど。
大　それはごくごく近い将来的な話でしょ。だから、その大きな大会の興行元がどこになるかだよね。一説にはK―1やらDSEが興行元になるっていう報道もあったけど。
中　まぁ、ゴールドバーグは石井館長がプロデュースしていく選手だし、館長はなんらかのお手伝いはするだろうけ

マット界風雲児の
真実&噂

ラボの
えるもの

どね。興行にDSEが絡んでいくっていう話は俺も聞いた。でも、いろいろ確認したら、どうやら違うらしい（笑）。

小　はぁはぁ。じゃあK─1でもDSEでもない、フジテレビとガッチリ手を組んだ第三者のリングに、全日本所属の選手、フリーの選手、たとえばだけど高田道場の所属選手、K─1の契約選手たちが上がっていくっていう形になるんですか？

大　早く言えばそういうことになるのかな。ホントにいま、大会を運営して行くところがどこになるのかわかってないんだよ。9月30日から放映される番組は、当面は武藤たちが中心になっていくし、全日本とのビジネスは活発になっていくと思うんだけど、それはまだホント、興行と絡んでウマくいくのかどうかはわからないでしょ、当分は。でも、CXは30日から始める番組のその奥には、全日本だけじゃなく、それこそ『PRIDE』みたいに、いろんなところから選手が上がってこれる大きな〝場〟を提供して、それをCXが週イチで放送していくっていうのが狙いみたい。「W─1構想」っていう仮称らしいけどね。

小　K─1にならってW─1ですか（笑）。

中　たとえばボブ・サップやサム・グレコ、もちろんゴールドバーグも含めて、石井軍団vs全日本の対抗戦というテーマで大会を開いて、そこに向けて、毎週番組が放映されていくっていうのは面白そうだよね。ふだんは全日本の興行に出ている武藤は、それとは別枠で、そっちの大会にも出るっていう感じになるでしょう。

小　あ、サップなんですけど、10・14の新日本・東京ドームにサップが出るっていうことが誠しやかに囁かれてますよね。

中　たしかにその話で、猪木さんとK─1サイド、『PRIDE』サイドは交渉のテーブルには着いたみたいだね。でも、新日本内部でも、どう使っていいのかわからない部分があるみたい。この号が出るころには結論は出てるはずだよ。

小　石井館長はサップを全方位で使っていくつもりですかね（笑）。

大　でも、その近い将来の、仮の名前の「W─1構想」はけっこうなスケールになりそうだよ。CXもやる気まんまんだっていうし。

中　それが具体化してきたら、プロレス・格闘技に関わらず、またマット界が大きく変動するかもしれないね。

小　そこに猪木さんが関わってくるっていう話も出回ってますよ（笑）。

中　それはないだろ。猪木さんの「全日本」っていう名前への敵対心は凄いものがあるからね。

大　でもわかんないよ。それこそ『LEGEND』、『Dynamite!』、新日の武道館と、灼熱の興行戦争を、あれだけのスケールで股にかけた人は、実際にいないんだから。いつのまにか、その「W─1構想」に加わってるなんてこともありえるよ（笑）。

中　でも、一説によると、11月に、その大会の運営元とCXが手を組んで、プロレスの大きな大会が行われるっていう話もあるよね？

大　あ、聞いた？　なんかそこで、従来のプロレス団体にはできないプロレスが行われるっていうことらしいね。

小　それって、天龍さんのWARの話じゃないんですか？　長州、大仁田、馳らも上がるっていう。

大　違う。それとは別の話。その大会が「W─1構想」の叩き台になりそうな気もするね。

中　どっちにしても、番組は始まるわけだから、それによって見えてくることがあるでしょう。

［座談会出席者］

大　『紙プロ』編集部の誰かという気がしないでもないが、そうでもない気もする。いや、全然違う気がしてきた。

中　業界に強力な情報網を張り巡らせている事情通。この人に聞けば、業界周辺のことはわからないことはないという地獄耳。

小　まだキャリアは浅いが、そのフットワークの軽さ、取材力には定評があり、データにも強い。「小」でもShow氏とは全く関係ない。

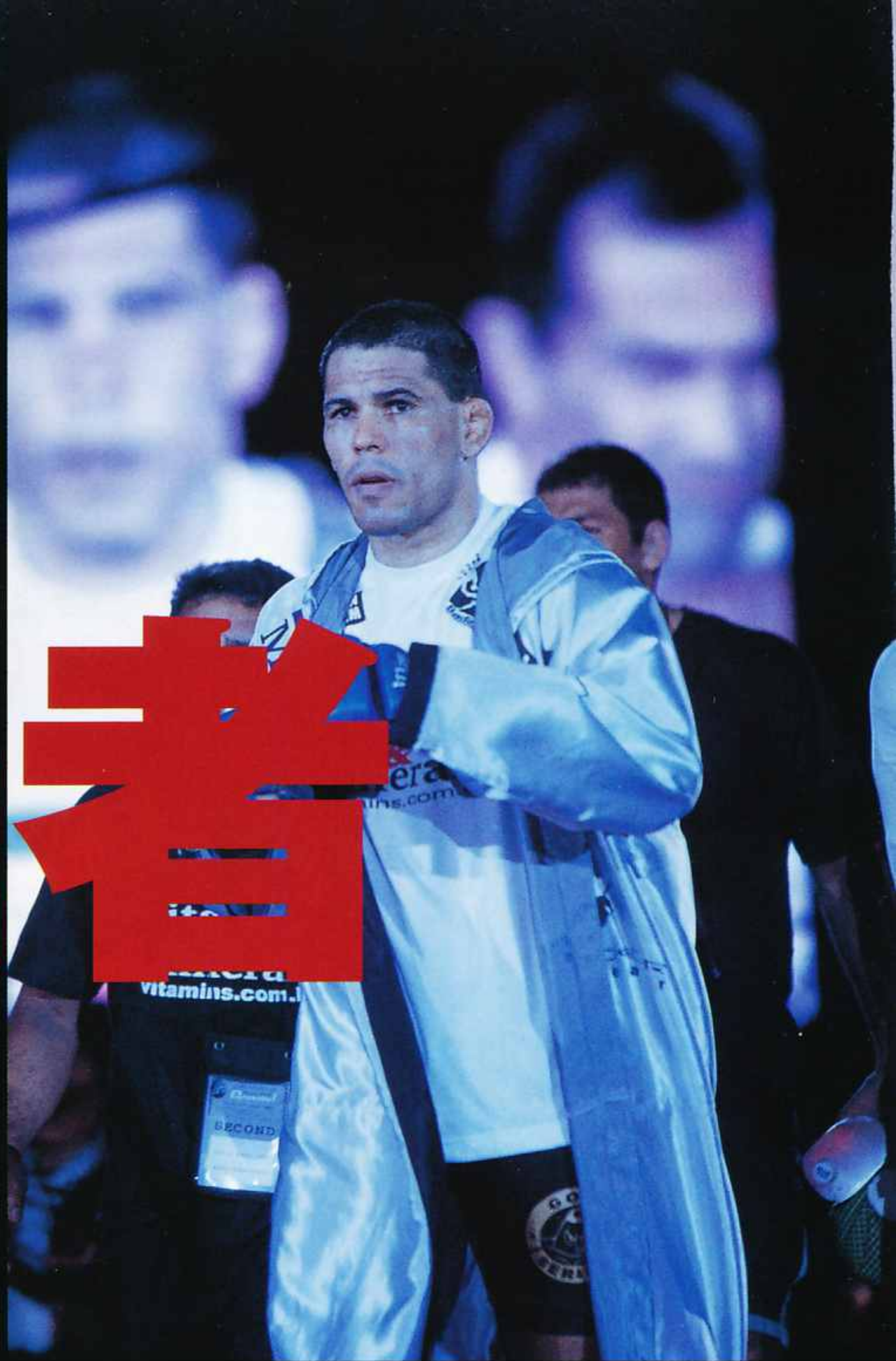
全日×CXコラ
向こう側に見え

～新生・全日本はマット界に何をもたらすか

”を

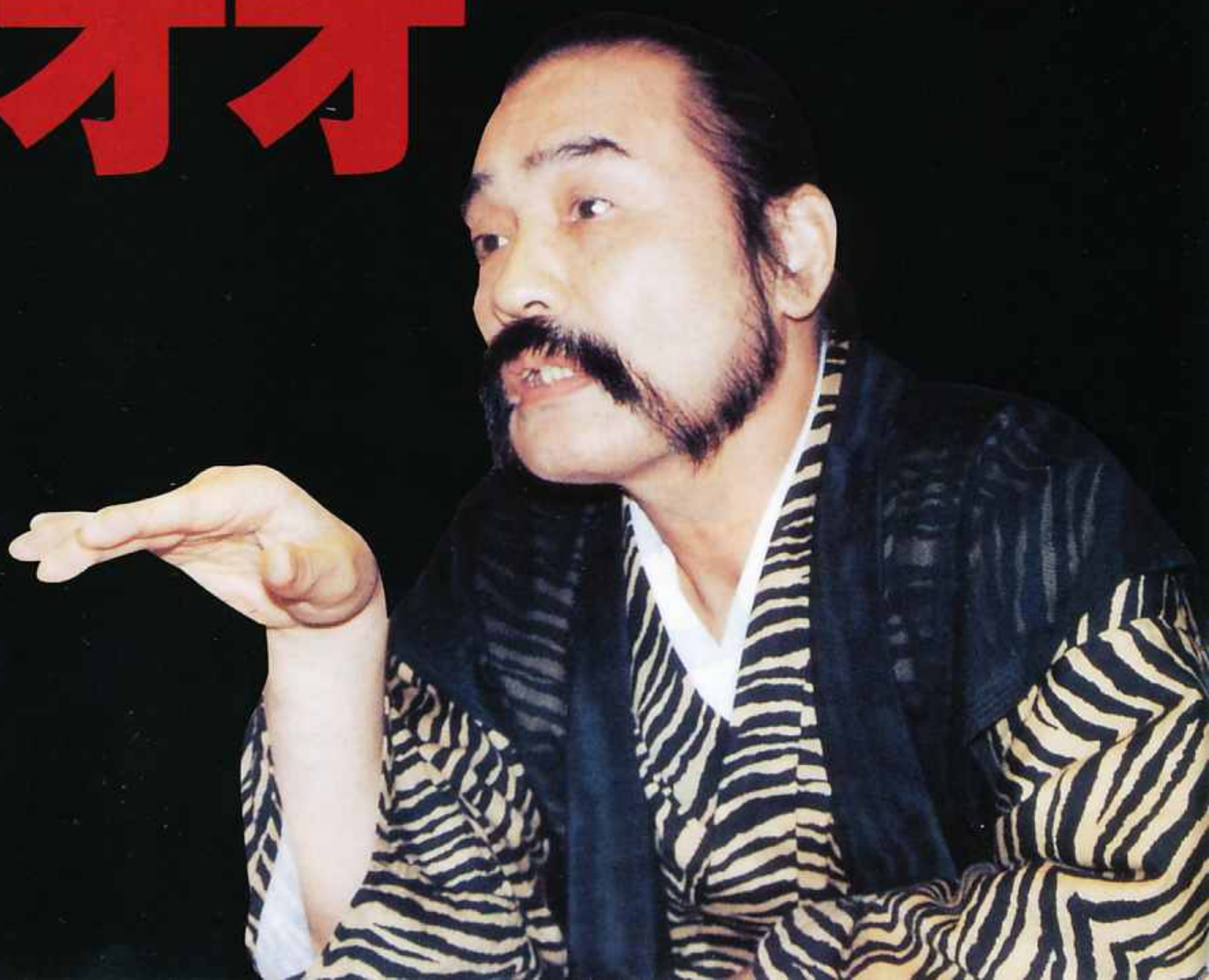
服した者

に

ですよオオオ

『Dynamite!』から
立ち昇ったものを大総括

ード

コがまたもや
青春の大発見!!

“不平等”
克
こそ英雄
なれるんで

『Dynamite!』という
“マス・リング”が現れ
プロレス・総合格闘技は
“ミニ・リング”の世界へ——

時代はスポーツ的競争原理から武道的競争原理へ

日本武道傳骨法創始師範 活字バーリ・トゥードの第一人者

堀辺正史

聞き手／山口日昇
助手&撮影／堀江ガンツ
designed by hisa (Two Three)

堀辺　今日、語りたいことはァ、前から『PRIDE』とかを見ていて感じてたことで、明らかに！　ある一つの流れが変わったっていうことがあるんです（ドンッ！）。

――先生、自分から語り出すということは相当な大発見があったということですね？（笑）。

堀辺　これはもう、ハッキリ言ってあります！　大大大大発見です！

――大が四つも付きますか（笑）。前々号、高山vsフライ戦の総括をしてもらったときに「ノールールの全部が見える基礎理論がある。これをしゃべったら大変なことになる」と言ってましたよね。それを聞けば、たぶん面白いことになるんじゃないかと思いまして。

堀辺　かなり面白い！　ターザン山本が泣くと困るんだけど（笑）。

――ガハハハ！　で、本題に入る前に、『Dynamite!』は、記録にも記憶にも残るような興行だったっていうのは間違いないと思うんですが、まず問題になった吉田vsホイス戦なんですけど、先生的にはどう見られましたか？

堀辺　遠心力を持った試合だったと思いますね。これがすべてだと思うんですよ。だから、この道を開いたホイスと、柔道の金メダリストがぶつかるというね。そして、「どのぐらい吉田は素質があるんだろうか？」とか、「柔術と柔道の実力差はどのくらいなんだろうか？」っていう興味で遠心力を持ったと。これはやっぱり国立競技場っていうものにね、あれだけの9万人以上の人数を入れられたっていうことに尽きると思うんですね、試合内容云々よりも。しかしね、今日話す観点から言うと、ボブ・サップとノーギャラ……。

――は？　ボブ・サップはノーギャラ？

百子局長　違うのよ。先生は、ノゲイラのこと「ノーギャラ」って言うんです（笑）。

堀辺　なぜかノーギャラの方が言いやすいんだよね（笑）。

――ガハハハ！　アントニオ・ホドリゴ・ノーギャラ（笑）。

堀辺　やっぱりあの試合が一番問題が見えてくるんですよ。今後のいろんなものがあの中にね、すべて含まれてる。でもまず吉田選手について答えるなら、試合が終わってみて感じたことは、当たり前だけども、柔道の金メダリストってやっぱり強いんだなってことです。試合前は『紙プロ』さんでも「非常に予測しにくい試合だよ」って言った。なにせ地球上に五百万人以上の競技人口があるんですよね、柔道っていうのは。その五百万人からのトップを極めるっていうのは、これは並大抵のことじゃないんです。かなりの素質とかなりの努力と、両方併せ持ってないと、その頂きに行けないんですね。

――文字通り並大抵では行けないですね。

堀辺　ただ、特にグレイシー柔術っていうのは私もよく知ってるんで、彼らの柔術の寝技っていうのは、いまの講道館の柔道の寝技から比べたら、遥かに精密なんですよ。だから、その精密な寝技を専門にしてる柔術家と、投げ主体の柔道家が闘ったときに、果たしてどこまでやれるのかな？　という心配があったんですよ。でもね、引き込まれても、ま～ったく崩れなかった。

――そうですね、背中を伸ばして安定してましたね。

堀辺　そう。まったく安定してたし、落ち着いてたし。だから「あぁ、これが柔道だったのかな」ということと、そして最後に上から絞めの体勢に入りましたよね。そこまで持っていったっていうのは、やはり一つの強さっていうものを吉田が証明したと思うんですよ。あまりにも早いストップっていう、そういう間違いはあったと思うんだけれども、あの体勢に入れたことで、やっぱり吉田が強いということは証明されたな、と。

――吉田vsホイス戦でボクが一番思ったのは、「観客が勝たせたな」っていう気がしたんですよ。

堀辺　それはあったでしょうね、うん。

――で、先生的には、その吉田vsホイス戦よりもノゲイラvsサップ戦に問題が潜んでいるということになるわけですね。

堀辺　そうなるんですよ。非常に重要な意味があの試合の中にいっぱい含まれていて、主催者はそこまで意図してやってるんじゃないけれども、やはり興行主としては、なんとなく感じでわかってるんですね。時代というものが、いまからお話することを求めてるんです。だからあの試合が組まれたっていうこと自体が、現在の時点の格闘競技というものがどういう状態に来てるかっていうことを占うというか、示してるんですよ。で、答えをいきなり言ってしまいます!!

――いきなり行きますか！

堀辺　ええ、いきなり行きます！　単刀直入に言ってしまうと、ノゲイラとボブ・サップの体重差っていうのがまず60キロ以上ですよね。10キロ以上っていうのも『PRIDE』では行われてたけども、それでもいままでの従来の格闘競技からすると、10キロ差でもこれは許されないことなんですよ。何で許されないかということを一番わかりやすい話で言うと、格闘競技のグローバルスタンダードっていうのがあったんですよォォォ。これ、今日の重要なポイント！（ドンッ！）

――格闘競技のグローバルスタンダード！　全国1千万人の読者の皆さん、覚えといてください（笑）。

堀辺　いま、政治経済とか、そういう点でアメリカ発のグローバルスタンダードが日本に押し寄せて、日本のサラリーマンとか労働者をいろいろ苦しめてるわけなんですけども、しかし格闘競技においては遥か百何十年も前に、少なくとも十九世紀に、英国発のグローバルスタンダードが確立してたっていうことを知ってほしいんです！

――じ、十九世紀の英国発のグローバルスタンダードですか？

堀辺　そうなんです、格闘競技に関しては。英国っていうのはすべての近代スポーツの発祥の地なんですね。特にそのスポーツの中でも、ボクシングに代表される格闘競技っていうのは最大のグローバルスタンダードなんですよ。つまりイギリスはボクシングっていうものを世界中に広めたんですね。だからいま、ボクシングの組織っていうのは世界中にある国際組織なんですよね。で、このボクシングが代表してる格闘競技のグローバルスタンダードっていうのはどういうことかって簡単に言うと、スポーツの競争原理による自由競争ということだったんです。だから柔道っていうのも遅れて競技化したんだけれども、これもイギリスから発生したスポーツの競争原理に基いて、柔道っていうものが新しく近代的に再編成されたんですね、柔術から。

――もっと簡単に言うと、スポーツ化することが世界中に普及するための武器だったということですよね。

堀辺　そういうことです！　そしてね、このスポーツの競争原理の最大の特色は何だったかと言うと、まず第一は平等っていうこと。階級制があるってことが一番のわかりやすいことですね。で、もう一つみんなが意外とボクシングを観戦してて忘れてるのは、技の種類も決められてるんです。体の重さっていうものも平等になるように、あらかじめ決められてるわけです。それと試合が始まってからも、その平等の理念っていうのはルール上貫かれてるんです。そのときは平等っていう言葉じゃなくて、公平、あるいは公正という言

翌日の朝日新聞一面に掲載されてしまうほどの遠心力を発揮した吉田秀彦のプロデビュー。物議を醸した結末にこそ問題があったものの、「やっぱり金メダリストは強い」という印象を強烈に残すことに成功した。

「格闘競技のグローバル・スタンダード」これが重要なんですよオオオ

葉で表現されるんですよね。たとえばボクシングで打ち合ってるときに相手がスリップダウンした、と。スリップダウンしたときにパンチングして、KOしてしまった。これは無効試合なんです。なぜかと言うと、スリップしてるときっていうのは、相手が明らかに不利な状態になってる。平等の条件が崩れてるんですね。あるいは後ろ側に回って、後ろからパンチを入れて勝っちゃったと。この場合も平等、公正というスポーツの精神に反するということで試合が成り立たないか、ないしは程度によって反則になるっていう形になるわけですね。それがいままでの格闘競技のグローバルスタンダードだったんです。つまりスポーツの競争原理に基いてた。ところが、先ほど出たホイス、いわゆるグレイシー一族がちょっとこれとは違う試合形式を作ってしまったわけです！

——しかもオクタゴンの中で行われた。

堀辺　オクタゴンの中で行われた。しかしあの時代は、まだ60キロも差のあるなんて試合は組まれてないんですね。

——普通はあり得ないですよね（笑）。

堀辺　あり得ないですよね。それともう一つは、技術的に見ても、技術差もあった。たとえば、ノゲイラの場合は若いうちから柔術をやったり、ボクシングもやり出したりして、技術的には非常に多彩なものを持っていて、質も高いわけですね。でも片方の彼は身体の上では大きいかもしれないけれども、アメリカンフットボールですか？

——アメフト出身ですね。

堀辺　格闘技はまだ本格的には6ヶ月ぐらいしかやってないわけですよね。そういう意味で、体重でも技術でも、極端に凄く〝不平等〟なんですよォォ！

——不平等！　はっは〜。なにかピンときましたね（笑）。

堀辺　不平等なんです。ところが、その不平等なものを敢えて試合を組んじゃったわけですよ。でもこの不平等っていうことが前提になってるから、あの試合は限りなく面白く、スリリングに満ちていて、逆に言うとエンターテイメント性っていうのが、その危険性の中で醸し出されたわけです！　これがあの試合のすべてなんですよォォ。

——非常によくわかりますね。

堀辺　はい。いまアメリカが推し進めてる政治・経済・文化なんかのグローバルスタンダードっていうのは、市場原理っていうのが問われてきますよね。ものを買う人が何を望んでるかっていうことを主体にして動いていくのが市場です。で、結局、いろいろやってきたけれども、『Dynamite!』で何をみんなが喜んだかっていうと、そういう明らかに、体重的にも技術的にも差のある不平等な試合を組んだときに一番興奮するっていうことがハッキリしたっていうことですよォォォ!!（ドンッ！）

——そういうことですよね。

堀辺　これが全部同じような階級とか、同じような技術を持ったもの同士とか、つまりいままでのグローバルスタンダードのスポーツの競争原理に基いた試合を組んだならば、ああいう興奮は起きなかったということです。

——つまり、総合格闘技もグローバルスタン

国立競技場に現れたリングは、つまり〝マス・リング〟ってことなんですよオオ

ダード化してきていたということですよね。

堀辺　そういうことです！　ところが、その不平等っていうことを前提にした大会が、ロンドンで行われたんじゃないですね。まさしくこれは武道っていうものを培ってきた日本の国で、それを日本の人たちが、特にそれを望んで、ああいう試合を好んでいったっていうことですよ。そしてそれを、国立競技場に集まった人たちだけが喜んだっていうことじゃなくて、マスメディアもこれをよしとして喜んで、それに対してマイナス的な批判を加えないで、積極的に報道したんですね。

——あんな不平等な試合でも「危ない」という反対意見は極端に少なかったですね。

堀辺　「危ない」と言わなかったたってことはァァ、つまり日本っていうのは、もの凄い不平等を前提にした武道の国だったたってことを現してるんですよォォォォ！

——日本は不平等を好みますか！

堀辺　つまり、いまスポーツの競争原理に基くグローバルスタンダードが崩れて、不平等と不公平を前提にして、それをいかにして克服するかっていう、武道の競争原理。これが、これからのプロ格闘技の主流になるってことが今日の話のすべてのポイントなんです！

——なるほど、いきなり結論ですね（笑）。

堀辺　もう結論言っちゃうと、スポーツの競争原理から、武道の競争原理へということ。

——なるほど、ノゲイラvsサップ戦は、武道の競争原理に基づいた試合であったというわけですね。

堀辺　そういうことです！　それが武道の母国である日本から、あの国立競技場から世界に向かって発信した。これがね、今回の試合。そしてそれを代表する試合がボブ・サップと、ノーマネーだったんですよォォォ！

——ノ、ノーマネー（笑）。せめてノーギャラにしましょう、先生（笑）。

堀辺　あ、ノーギャラ……？……あ、ノゲイラですね（笑）。

——ノーマネーはターザン山本ですよ（笑）。

堀辺　ということなんですよ。そして、もう一つの意味は何だったかと言うと、国立競技場ってデカいですよね？　後楽園ホールのリングで闘うのとはわけが違う。つまり！　あそこにマスのリング、〝マス・リング〟が登場したんですね。

——マス・リング!!　な、なるほど！　いわゆるマスコミとミニコミっていう言葉に当てはめて言うと、〝ミニ・リング〟ではないわけですね、『Ｄｙｎａｍｉｔｅ！』は。

堀辺　ミニ・リングではない。マス・リングが誕生したっていうことは、もう一つの、実に大切なことですね。

——いやぁ、実に刺激的な言葉ですね、マス・リングというのは。

堀辺　マス・リングなんですよォォ。これで初めて、日本で言えば野球とか、最近流行ってきたサッカーとか、そういうものに匹敵するものとして、このマス・リングがセリ上がって来たということです！

——そうなると、純プロレスとか、いわゆるグローバルスタンダード化したスポーツの原理に則ってやっている総合格闘技のパンクラスや修斗、これはもうミニ・リングということになっちゃいますね。

堀辺　そう、ミニ・リングっていうことです。で、ミニ・リングということは、当然集客力がないということが現れてますね、その言葉の中に。なにしろミニですから（笑）。

——そうですね。でも、ミニでいいわけですよね？

堀辺　いいわけです。そういうことになるんです。だから、何が起きたかというと、ミニからマスへ拡大したということが、今回の試合でハッキリとしたってことです。それともう一つは市場原理ということと併せて考えてほしいんです。市場原理というのはつまり見る側、観客、ファンが何を望んでるか。つまり、いままでの英国発のスポーツの競争原理による格闘技では、もう満足する時代ではないということをハッキリさせたんですよ。

——それは世界的に広がっていきますか？

堀辺　はい。なぜかっていうと、あれはいろんな国でテープが売られますよね。テレビでもやります、ＰＰＶでもやるでしょ。そういうことが今後も繰り返されていくと思います、やはり平等だとか公正だとか言った試合はクソ面白くないな、ということに世界中が気づくことになるんですよォォォ。

——平等や公正はクソ面白くない（笑）。

堀辺　不平等が前提になってる方が、遥かに格闘技らしくて、面白いんですよ。

——ボクも平等とか公正とかいう言葉を聞くと、虫酸が走っちゃうタイプなんですよね、困ったことに（笑）。

堀辺　虫酸が走るでしょ（笑）。つまりそれは闘いの現実を反映してない虚構の闘いだったということも同時に現してるわけですね。

——なるほど、以前、村松友　さんが「ルールこそ八百長」っていう明言を吐いてましたけど、極端にいうと、体重制限そのものが八百長ということですね（笑）。

堀辺　八百長ですよォォ。視極端に言えば「こういう状況でこうしちゃいけない」とか、「ああしちゃいけない」とかっていうことも、嘘っぱちの勝負と言った方がわかりやすいと思うんですよね。

——ガハハハ。ズバリと言いますね。

堀辺　はい。嘘っぱちの勝負をつけてきたわけです。でも大衆は、もう百何十年間そういう格闘競技というものを見せつけられてきて、それではもう満足しない時代に突入したっていうのがこの『Ｄｙｎａｍｉｔｅ！』なんです。そしてね、もう一つは、マス・リングっていう言葉の中に含まれてるのは、少なくてもいままでプロ格闘技として成り立ってたのは、そのスポーツの競争原理の中では、国際的なボクシングだけが唯一プロとして成立してたんです。

——そうですね、しかも世界タイトルマッチのみですね。

堀辺　のみですね、はい。他の格闘技っていうのは、市場原理の中に参入できなかった。ドドドドドド・マイナーで市場原理を持たなかったんですよ。

——またやけにドが多いですね（笑）。

堀辺　ところが！　今回の『Ｄｙｎａｍｉｔｅ！』によって市場原理が確立したっていうことがハッキリとわかったわけです。で、

まさに「不平等の時代」を象徴する一戦となったノーギャラ……もとい、ノゲイラvsボブ・サップ。体格差というハンディを見事に克服し、怪物・サップ退治に成功したノゲイラは、見る者に感動を与え、尊敬を集めることとなった。これから“マス・リング”で行われる試合は、この試合の理念を踏まえずには成立しなくなるだろう。

市場原理が確立するっていうことは、逆に言うとプロ格闘家たる人たちっていうのは、市場で求められてるニーズに応えるってことが一番大切になってくる。

――そうですね。吉田秀彦はあのとき勝つことを求められていたから勝ったわけですよね。

堀辺　そうです。だから多くのマスに支持されたわけです。で、『Dynamite!』がうまくいったのは、不平等な、つまり、我々の心の奥の奥にしまっていた日本の伝統的な武道の試合があそこで実現したことによって、より我々を満足させた。そしてそれは単に日本の文化としてだけじゃなくて、世界中の人が格闘技を見るときに、イギリス人が作った虚構の勝負じゃなくて、より真実に近い勝負っていうものを、武道の競争原理によって試合をすればできるっていうことがハッキリしたということですね。

――となると、ある意味、先生がずっと唱えていた理想の試合ですね。

堀辺　そういうことです！　だからあれで武道の復興というものが一応、なされたと見てもいいんではないかなぁ、と。ただし、あのリングを取り囲む関係者も、実はそれが武道の競争原理が実現してたっていうことに気づいた人はいなかったんです！　これは私があの試合を見て、前から唱えてきた武道の競争原理、日本発の、日本の文化を発信するという意味での、新しい武道の競争原理があそこで実現しましたよってことなんです。

――日本発世界ということですね（笑）。

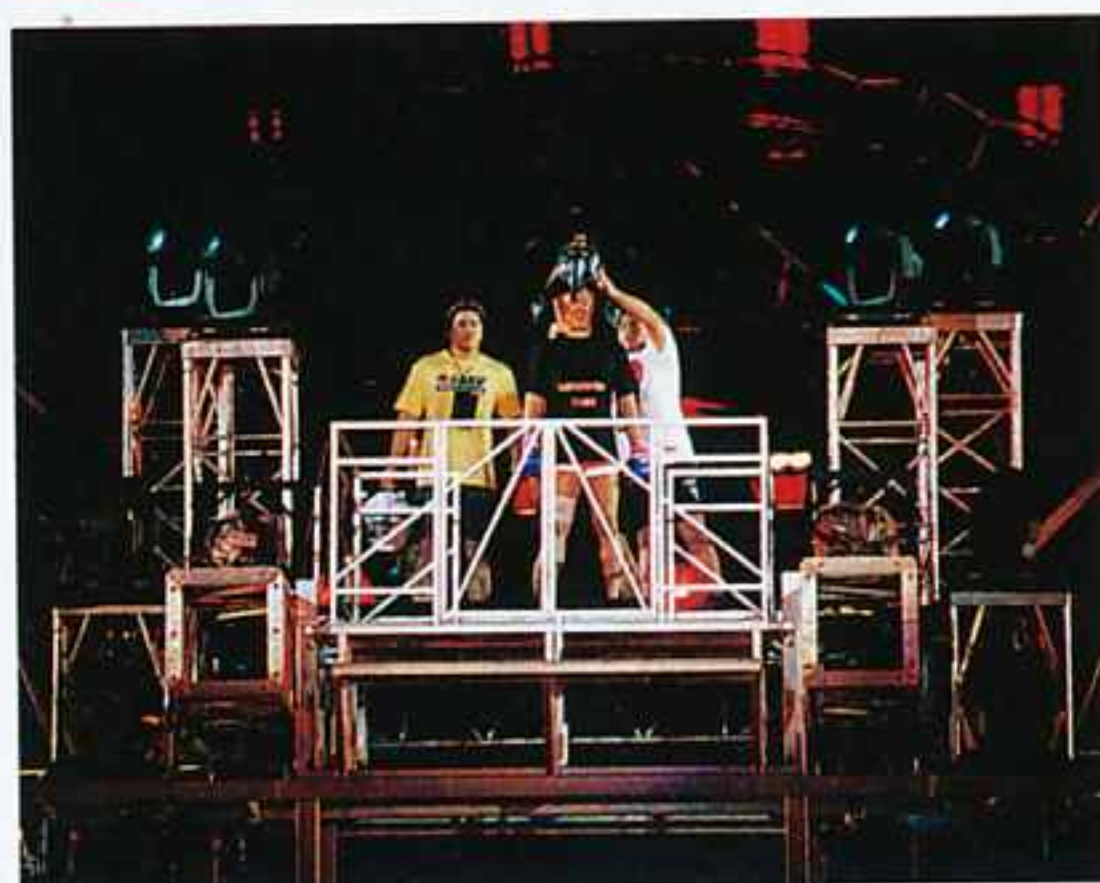
堀辺　そうです！　そういう意味で、それを『Dynamite!』が実現したっていうことですよね。

――実に面白い話ですよ。昨日ガンツが面白いことを言ったんですよ。1年にいっぺんぐらい、いいこと言うんですけどね（笑）。

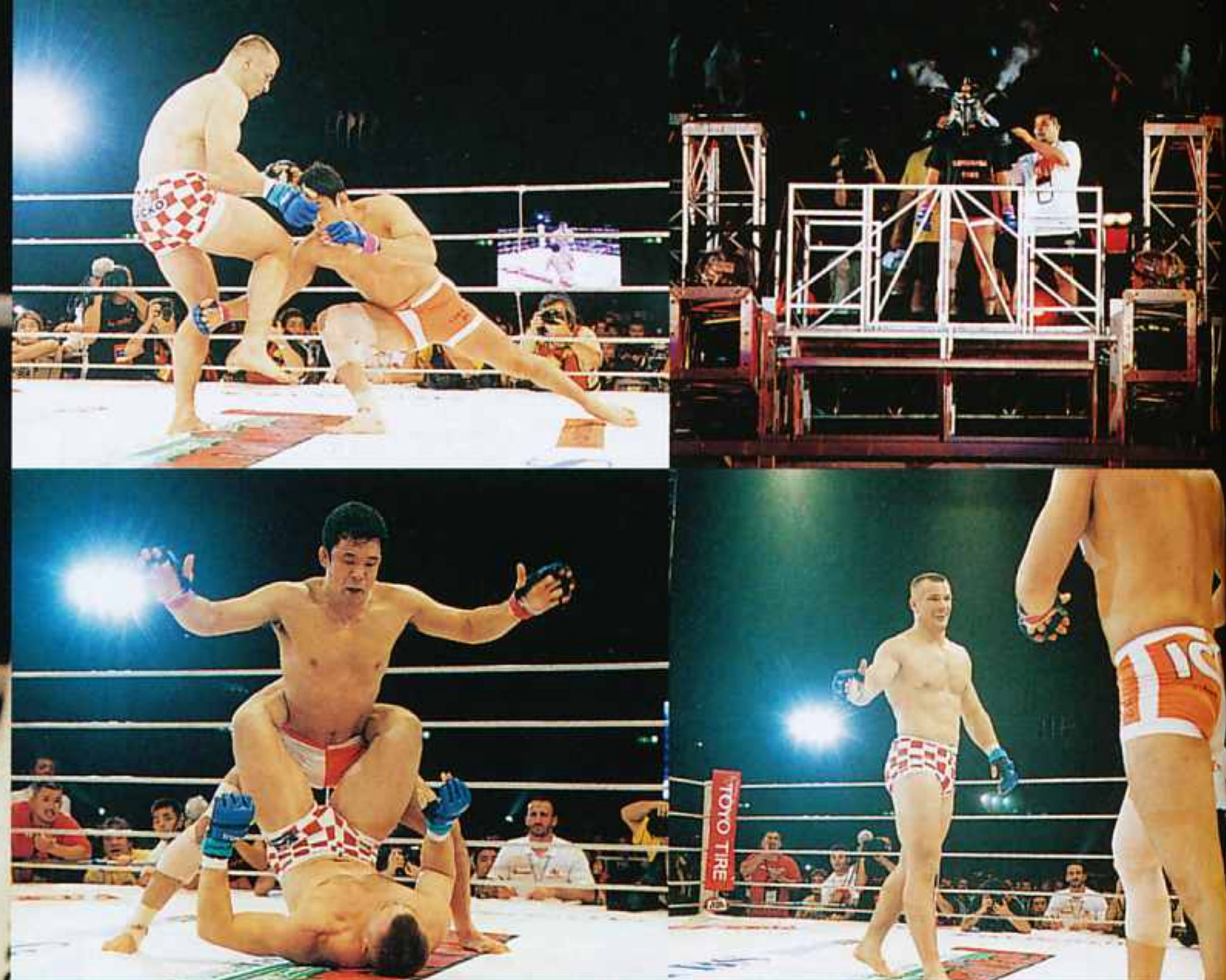
堀辺　じゃあ、もう当分ないね（笑）。

――来年の秋までないですね（笑）。ノゲイラのサップ戦や、猪木さんが飛び降りたのも、『LEGEND』と関わった罰ゲームみたいなもんだと（笑）。
堀辺　あぁ、罰ゲームねぇ。でもね、それ凄い答えですよ！　それはね、現実のマット界の裏事情みたいなものも掴んでる言葉なんだけども、同時に武道の競争原理っていうものは何なのかってことも暗示してますよ。それはね、昔の武芸者っていうのは、稽古する場合でも、もの凄い負荷を加えられるような鍛錬をする。そこがスポーツと違うんですよ。わざと雪の降ってる日を選んで裸になって稽古するとかね。
――ガハハハ！　もちろん裸足ですよね。
堀辺　そう。あろうことか自分よりも遥かにデカい熊みたいな男を相手に師範たるものが闘わせるとかね。そういうふうに、もの凄い負荷を加えるわけ。負荷を加えるってことは、罰ゲームですね。で、罰ゲームを加えられることによって、それをどう克服するかっていうことが、やってる人間にとっては過酷で、周りで見てる人にとっては、人間ドラマとして一番面白いわけです。しかし不平等を背負ってる側が、それを克服したときには、最高の栄光が与えられるんですよォォ！
――栄光が頭上に輝きますか！　克服したときには、もの凄い開放感が生まれますよね。
堀辺　そうです！　だからやってる人にとっても、見てる側にとっても、これはまさにドラマそのものになるんです。武道の競争原理っていうのは。だからブドウ、ブドウということね、山梨の名産の果物を考えたりとか、雪の中で千本突きとか、いろいろイメージは違うと思うんだけども……。
――違いすぎます（笑）。
堀辺　ハッハッハ。しかし、武道の本質っていうのはね、現実をありのままに見るという現実主義なんですよ。
――ありのままの現実主義。
堀辺　なぜかと言うと、昔の侍だって、自分が大小の刀二本しか差してないときに、弓で打ってこられるかもしれないでしょ。このときに「飛び道具は卑怯だ」って言ったって、殺されちゃったら始まらないわけでしょ？
――始まらないどころか、終わりますね（笑）。
堀辺　だから、負けないように何か工夫しなきゃいけない。あるいは槍でかかって来られても、あるいは自分が1人でいて、相手が5～6人いる場合もある。でも、多くの場合の現実の闘いっていうのは、そういう不平等な中で命を奪われるんですよ。
――もちろん試合を止めるレフェリーはいないですからね（笑）。
堀辺　それが現実なんです。だから、たとえば企業でもそうですよ。企業間の競争っていうのはルールに基いて、つまり法律、経済的な民法とか商法に基いてやってるとは言うけれども、その裏では実に政治的な駆け引きをしたりして、自分がどれだけ有利な状況を作っておいて相手の企業を攻めるかってなる。これが現実じゃないですか。武道っていうものは、その現実を競争原理にしてるってことなんですよ。
――なるほど。最初から不平等を想定してるってことですね。
堀辺　だから武道の競争原理っていうと、何か特別なようにも聞こえるんだけども、そういう部分の現実というものは、日本を超えて世界中に存在しますね。だから日本で完成させた武道の価値観というものが、グローバルスタンダードになりえる理由もそこにあるわけです。その現実性というものがある限り。
――たとえば戦国時代は、ボクらにとってはホント想像の世界でしかないんですけども、いまは形を変えた戦国時代みたいなものかもしれないですね。
堀辺　いまは新しい戦国時代ですよォォ。首は刈らないけれども、現実に行われてることは戦国時代ですよね。だから、そういう時代に相応しいものは何かっていうと、そういう不平等とか不公平とか、そしてそれを克服していくっていうドラマこそが現実社会を反映してるわけ。だからイギリス発の奇麗事のスポーツ精神では格闘技は語れない時代！
――もはや紳士なスポーツではない、と（笑）。
堀辺　紳士なんていないの（キッパリ）。
――ガハハハ！　いませんか！
堀辺　そこに格闘技が、従来のプロレスとダブる部分があるんです。いままでプロレスっていうと、スポーツの競争原理から見たとき、何だかいろいろ批判されてきたわけですよね。
――八百長だ、ショーだ、ロクなもんじゃないとか、散々言われてきましたね（笑）。
堀辺　何で武道家たる私がプロレスに親近性を持つのかっていう理由も、実はプロレスの持ってるある種の論理と、武道の論理っていうのはもの凄い近似性があるからなんです。
――不平等という点で繋がってますね（笑）。
堀辺　そう！　不平等でつながってるんです。
――だからノゲイラvsサップ戦は先生から見ると、その武道の原理に基いている試合で、ボクらみたいに「プロレス」という概念と向き合ってる人間からすると、プロレスの原理に則った試合に見えるわけですよ。
堀辺　そういうことなんです。
――その不平等な中で技で一本勝ちができたときに、ノゲイラは不平等を……。
堀辺　克服できたわけ！
――その克服ぶりに、みんなが拍手を送ってるわけですね。
堀辺　これがね、また日本人の心情に一番訴えるんですよ。不平等を背負ってる側が勝ってしまう、これが一番泣かせるんだよね。そ

8・28 Dynamite!　PUTIT REVIEW

○ミルコ・クロコップ
（2R終了　ドクターストップ）
桜庭和志●

サクは予告通り、ベイダーコスプレで登場。甲冑の後ろから松井がスプレーで煙を噴射。さらにその下にはベイダーマスクまで用意。いつもながら桜庭のプロ意識には頭が下がる。

タックルを警戒し、自分からは攻めてこないミルコに対し、桜庭は打撃で応戦。予告したハイキックこそ出さなかったものの、あのミルコの顔面にパンチを入れることに成功した。

ただし、もちろん打ち合いになればミルコの方が一枚も二枚も上。シウバ戦では左ミドル＆ハイにこだわったミルコだが、この日は重いパンチも繰り出した。

罰ゲームを加えられて それを克服することが 一番の人間ドラマなんです!!

してその人を一番尊敬の眼差しで見てしまうんだよね。我々が望んでるのは、リング上でそういう英雄を見たいわけ。なぜかって言うと、我々や観客のほとんどは、ハンデを負って生きてるんですよ。不平等の中で苦しめられて生きてるんですよね。そのハンデを負った側が勝ったときに、そこに最大の共感を生み出すことができるんですよォォォォ。これが新しい時代のプロ格闘技の原理になっていかないはずはない！（ドンッ！）だから今後の流れというのは、『Ｄｙｎａｍｉｔｅ！』では他流試合というのがコンセプトになったんだけれども、他流試合っていうだけではもはや説明のつかない時代。

――他流試合という言葉も、あまり乱発されると陳腐に思えてきますからね。

堀辺　陳腐なんです。技術体系が違うとか、価値観が違う中で育った者同士が闘うのが他流試合なの。でもサップとノーギャラ……

――ノゲイラです！

堀辺　あ、ノゲイラの試合は、その厳格な他流試合の規定から言うと、これは他流試合じゃないんですよ。なぜかというと、どっちもバーリ・トゥードに出てるんだから。これを他流試合と言っちゃいけないんですよ。科学的に言う場合は、これは「武道の競争原理で闘った試合」と言うのが最も正解！　ピンポーンなわけです。

――それはわかりやすくいうと、〝不平等な試合〟ということですか。

堀辺　そういうことですね。

――ノゲイラvsサップは、あれはいわゆる総合格闘技じゃないですからね（笑）。

堀辺　だから総合格闘技とか他流試合という概念を使ってやってる限りは、その試合がどういう意味があったのかって捉えきれなくなってきた。これからマッチメイクする場合でも、その概念だけでやってたら興行をうま

桜庭は得意のタックルを繰り出していくが、ミルコはその恐るべき反射神経で瞬時に対応。ミルコの総合格闘家としての進化のスピードは想像以上だ。

ミルコの打撃をかいくぐり、パワー差も克服し、遂に桜庭がタックルに成功。とにかく、このスピーディーかつスリリングな攻防はこの二人ならでは。

遂に寝かせることに成功し、さぁ、ここからはサクの独壇場！　と、思われたが、ミルコの寝技での守りが予想以上に堅い。桜庭もなかなか抜け出せず。

それでも、あの手この手でミルコのガードを切り崩そうとする桜庭。しかし、そのときミルコのかかとが桜庭の右目を直撃。サク、無念のドクターストップ！

く先導することができない時代に突入したんだよね。ここがポイントになってきたんですよ。いろんな面に、この武道の競争原理、不平等を克服する試合をどうやって組んでくかっていうことが、興行論的に見ても重要なファクターになってきてるということ。これをマスコミの人たちは気づかなきゃいけないんですよォォォ!!

──気がつかなきゃいけないですねぇ（笑）。

堀辺　でもね、これ『紙プロ』が一番最初に気づいてるよ。

──うわっ！　いや、先生のお蔭ですよ、これは（笑）。ボクも近いことをプロレスの世界の中で考えていて、いまボクはプロレスの中で一番面白いのはZERO－ONEという団体なんです。これは橋本真也の団体なんですが、何が面白いかと言うと、"格"の世界を復活させることに本気だからなんですよ。格とか縛りを導入することによって生じる問題に、設定する側の破壊王にも正面から向き合う覚悟が見えるから面白いんです。格イコール不平等じゃないですか？

堀辺　不平等です。あぁ、じゃあその団体はそれが面白いんだね。そして、その決められた中でいい試合をして、格を上げていく。つまり、その格を克服していくっていうテーマがあるんじゃないですか？

──そういうことです。90年代のプロレスは、どんぐりの背比べなんですけど、90年代はもしかしたらみんなが平等に憧れてた時代なんでしょうね。

堀辺　はい。でもそんなのは嘘だってことは気づいた時代なんですよ、いまは。「平等？　冗談じゃない、そんなのどこにあるの？」って。そんなことが実現されるはずもないっていうことを冷めて知っちゃったわけですよ。

百子局長　男だってね、背が高い人はモテるし、女だって綺麗になりたいから整形して二重にするんだし、そういう現実の不平等から勝たなきゃならないんですよ。

プロレスの論理と武道の論理はもの凄い近似性があるんですよオォ

「不平等の時代」に光るのは、なにも勝った選手だけではない。不利な状況をあえて受け入れ、見事に散るというドン・フライの"死に様"も評価を上げた。

──これは局長のお言葉として入れさせていただきます（笑）。

堀辺　美人とブスっていうのはやっぱり不平等だったんだね（笑）。

──もちろん！　ブスはブスです！

堀辺　男から見たらやっぱしねぇ（笑）。

百子局長　そういう人はみんな美容整形に行って……。

堀辺　ハンデを克服しようとして美容整形を使うわけだし。

──美容整形しなくても、それを内面で克服したブスというのは、内面から美しくなりますからね。

堀辺　なるねぇ。最近の技術は特にね。

──あ、技術の話（笑）。

百子局長　フジテレビのあれ、みんな綺麗になってるもんねぇ。

──なんですか、それ？

堀辺　『ビューテー・コロシアム』。

──あぁ、先生、「テー」じゃなくて、「ティー」です（笑）。

堀辺　あ、そう。どうもすいません（笑）。私のような国粋主義者っていうのはね、英語をちゃんと喋っちゃいけないんですよ。もし英語を流暢に喋ると、「あいつは本当に日本人か？」というようなね、レッテルを貼られるわけですよ。だからホントは流暢な英語を喋れるんだけどね。

──あ、喋れるわけですか（笑）。

堀辺　喋れるんだけども、誌面上では敢えてね、こうやってるわけですよ。読者の人も、そのことは是非ともよく理解しておいてほしいですね。

──はぁ、先生が英語が喋れないという不平等を見事に克服した瞬間でした（笑）。だから先生の話でハッキリしましたね。プロレスも格闘技も不平等な世界が面白いんですね。

堀辺　そういうことです！　不平等こそが面白い。で、不平等を作り出せないリングはマス・リングにはなれない。不平等を作り出す場に出ない限りはプロ格闘家にはなれない。そこに参入しない人はね。そういったものが『Dynamite!』を起点にして明確に形としてあらわれたってことですよね。

──でも厳しいですよ、不平等な世界は。1年にいっぺん、2年にいっぺんできるかどうかですよ。毎回『PRIDE』がそうなったら大変なことになりますよね（笑）。

堀辺　そうですね、確かにその通りなんだけども、そういうものができるのがいつでも可能という状態にして、それまでは中間の試合が行われて、そういうものを目指してるっていうことが非常に重要なファクターになってくるでしょうね。いつも国立競技場じゃなくても、その質っていうものは同じものが問われるようになってくるからね。

──むしろ、あれ以上の刺激が求められますよね。

堀辺　そうそう、同じか、あれ以上の刺激が求められる。

──もう後戻りできないですか？　『Dynamite!』が出てきた以上。

堀辺　できないわけです。これが今回の国立競技場で行われたことのすべてなんですよォォォォ！

──先生、ビューテーです！（笑）。

【9月15日／青山・季菜にて収録】

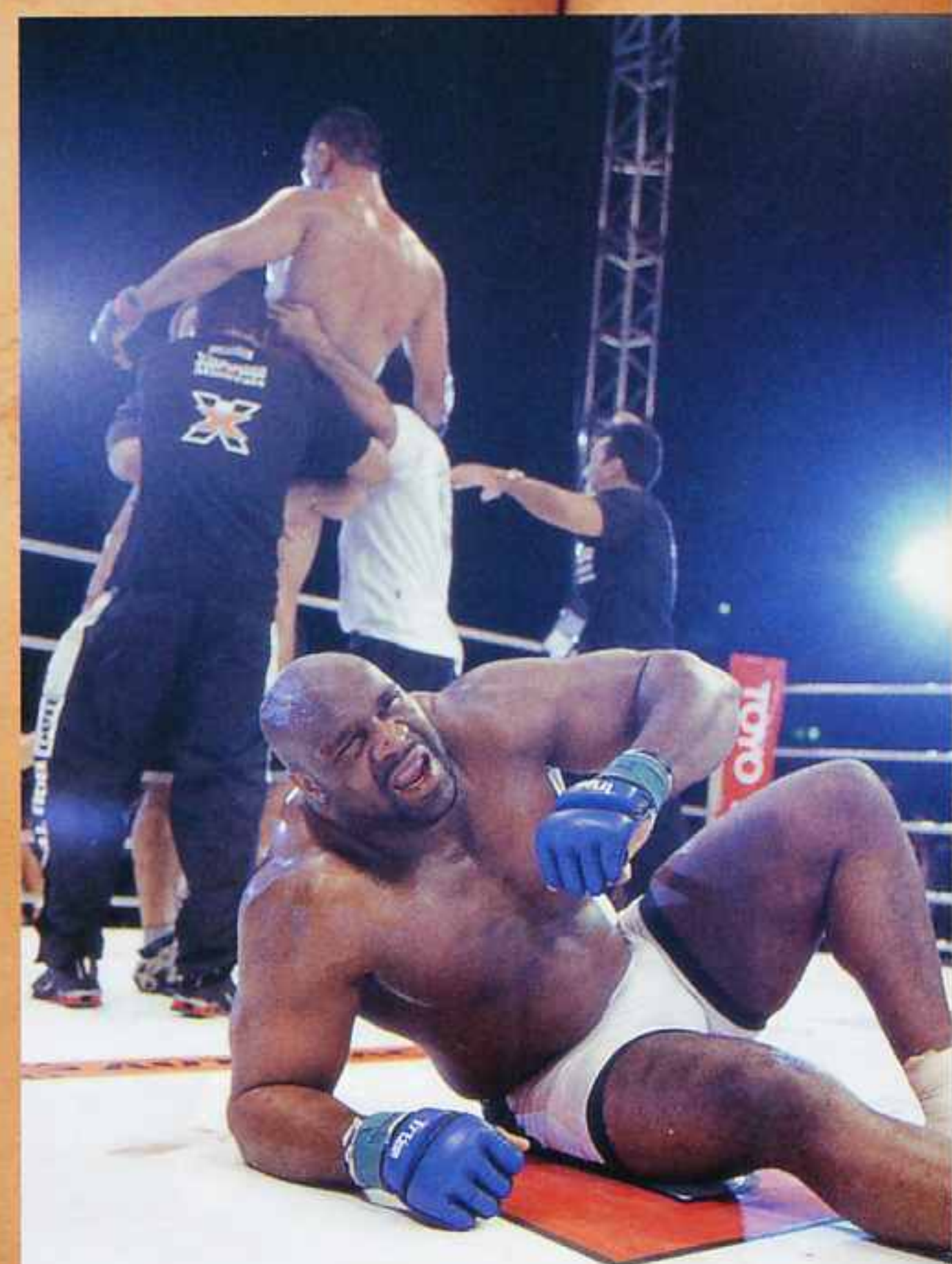
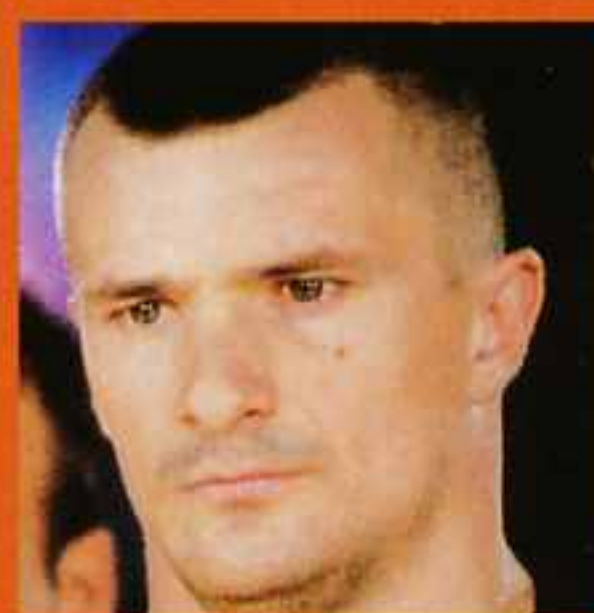
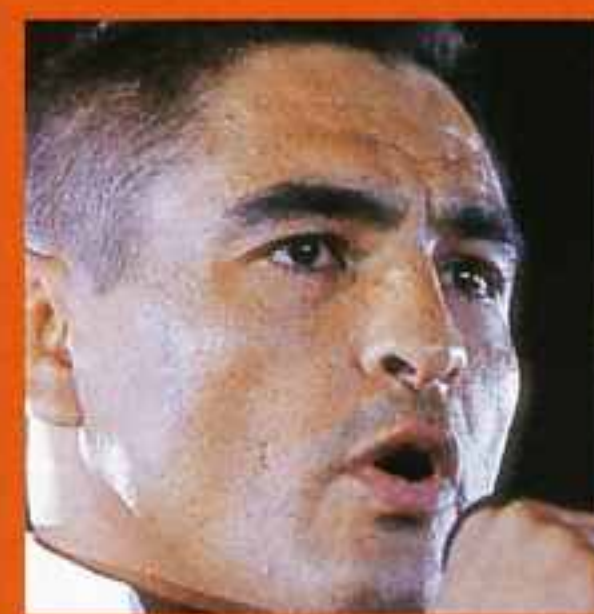
闘魂

いつ何時、
誰の挑戦
でも受ける！

――アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

伝承

Rodrigo Nogueira

これぞ究極の"過激なプロレス"!
ノゲイラ、ボブ・サップを
"風車の理論"で制す!

いつ何時、誰の挑戦でも受ける
21世紀のリアル“アントニオ”が
4人の強豪に逆挑戦状!

その相手は
小川直也
ヒクソン・グレイシー
ミルコ・クロコップ
そして吉田秀彦だ!

Antonio Rodo

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

8・8『LEGEND』で菊田を下したわずか20日後、8・28『Dynamite!』で歴史に残るド迫力の名勝負の末、怪物ボブ・サップを見事に下したノゲイラ。そのいつ何時誰の挑戦でも受け、名勝負を次々と生み出すその姿は、まさに21世紀のリアル・アントニオ猪木だ。そのノゲイラが今度は、さらなるロマンを求めて4人の大物に逆挑戦状! ノゲイラの挑戦を受ける勇者は現れるのか?

聞き手/堀江ガンツ　撮影/松本崇
designed by hisa (Two Three)

――ハッキリ言って、ボブ・サップ戦は久々に感動してしまいました!

ノゲイラ　ありがとう(ニッコリ)。日本のファンがみんな喜んでくれたみたいだし、感動して涙を流してくれた人もいると聞いて、ボクも凄く嬉しかったよ。自分は日本人じゃないのに国境を越えてみんなに感動を与えることができた、それが一番嬉しいね。

――あれだけの試合をしながら、「ファンが喜んでくれたことが一番嬉しい」というところが、普通の選手とひと味違うところですね。

ノゲイラ　日本のファンはいつもボクをサポートしてくれて、技術面でも凄く理解してくれるからね。そんなファンの前で、柔で剛を制する試合が出来たのは凄く嬉しいことだよ。

――では、早速試合を振り返ってもらいたいんですけど、マリオ(・スペーヒー)選手に聞いたところによると、最初は「タックルにいくな」という作戦だったらしいですね?

ノゲイラ　うん、最初の作戦はサップと打撃で打ち合うということだったんだけど、寝技で疲れさせて勝つという作戦に自分で変えてしまったんだ。でも、まさかあんな風に(パワーボムで)叩きつけられるとは思ってもみなかったよ(苦笑)。

――あんな技を喰らったのは初めてですか?

ノゲイラ　もちろん初めてだよ。

――あれはプロレスの「パワーボム」という技なんですけど、ご存じでしたか?

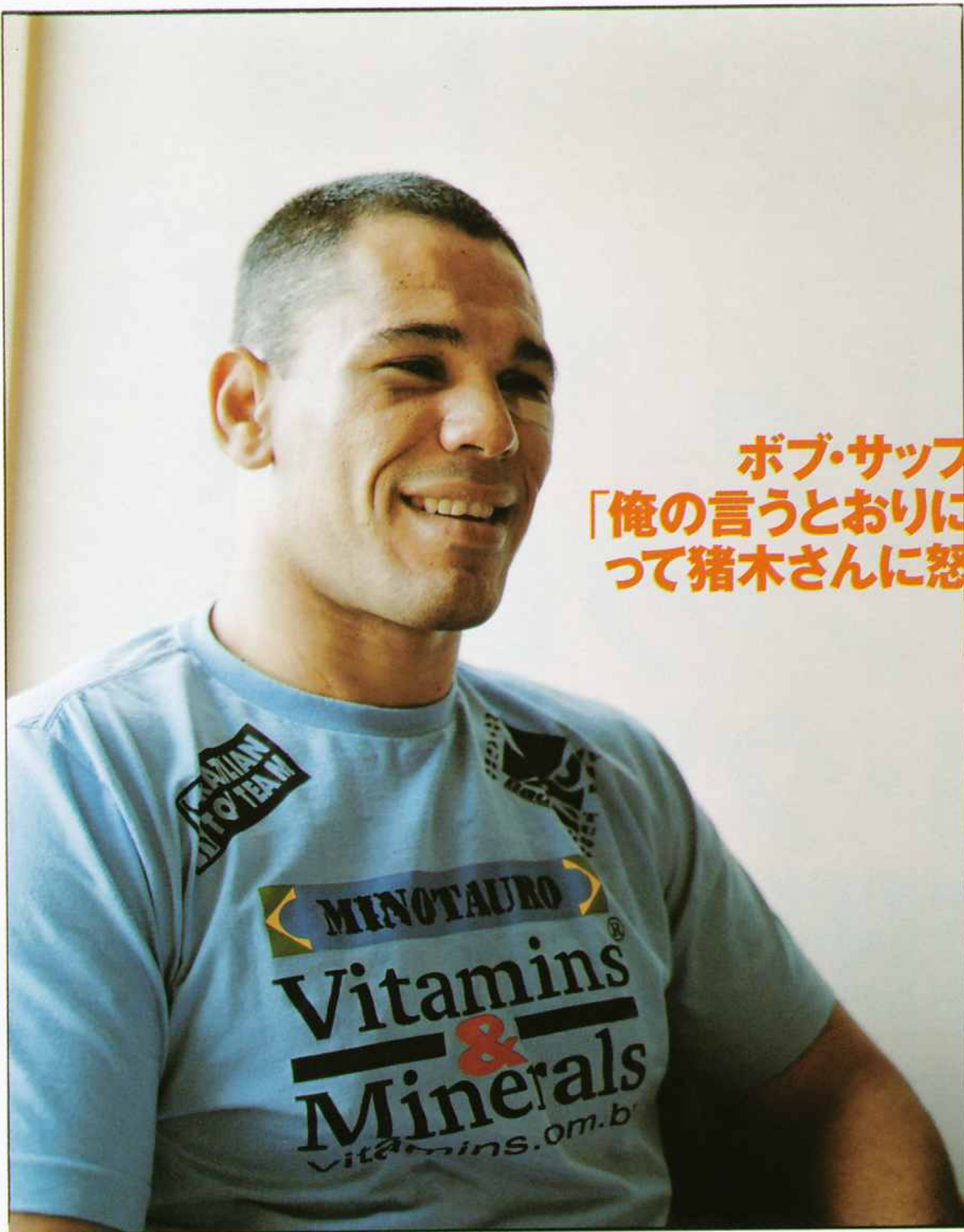
ノゲイラ　そうらしいね。あとで聞いたよ。ボクももっとプロレスを練習しないといけないかな(笑)。実は試合後にイノキさんにも言われたんだ。「タックルは正面からではなく、サイドから入らなければダメだ」

って。その通りにやっていれば、頭から落とされることもなかっただろうね。

――かなり危険な角度で落とされてましたけど、あの技のダメージはいかがでした？

ノゲイラ　凄い衝撃で首が折れるかと思ったよ。あの技のおかげで1ラウンドはずっと頭がクラクラしていたからね。ホントに危なかったよ。

――ボブ・サップはノゲイラ選手が予想していた以上の選手でしたか？

ノゲイラ　うん、いろんな面で想像以上だった。想像以上に力が強かったし、力だけかと思っていたらテクニックもあった。タックルを切る技術もあって、グラウンドのポジションやディフェンスもちゃんとわかっていたのは驚きだったよ。

ボブ・サップ戦の後「俺の言うとおりにしないからだ」って猪木さんに怒られたよ（笑）

――試合中「自分が負けてしまうんじゃないか」と思ったときはありませんでしたか？

ノゲイラ　それはなかったね。でも、真正面からぶつかったら勝てない。相手の力を避けながら、徐々にスタミナを奪っていくしかないとは思ったよ。

――それにしても8月8日に『LEGEND』で菊田戦をやったばかりで、よくボブ・サップとの試合なんかを受けましたね。

ノゲイラ　今回はボクにとって凄いチャレンジだったんだ。今回だけじゃなく、マーク・コールマン、ヒース・ヒーリング……いつでもボクの試合はチャレンジの連続だよ。でも今回、短い期間でキクタとボブ・サップを破ったことで、ボクが誰とでも試合ができること、そしてヘビー級で一番強いことを証明できたと思う。

――猪木さんの有名な言葉に「いつ何時、誰の挑戦でも受ける」というのがありますけど、その言葉がいま一番似合うのがノゲイラ選手じゃないかと思いますよ。

ノゲイラ　じゃあ、これから自分の言葉にさせてもらうよ（笑）。

――アハハハハハ！　勝手に闘魂伝承！（笑）。

ノゲイラ　でも、「誰の挑戦でも受ける」という気持ちはもちろん持っているし、ボクはイノキさんを尊敬してるから、イノキさんを尊重した上で使わせてもらうよ。ただ、「誰の挑戦でも受ける」と言っても、ボクは常に上を目指してるから、もう生半可な相手にはベルトは賭けられないとも思うんだ。強い相手なら誰の挑戦でも受けるけど、あまりレベルの高くない選手と試合をして、タイトルマッチの価値を落としたくないからね。

大激闘!! 8・28「Dynamite!」ノゲイラvsサップ PLAY BACK!!

試合開始早々、ノゲイラのタックルをキャッチしたサップは、力任せにそのまま持ち上げ、なんと垂直落下式パワーボム！　あまりに危険な角度で落とされたノゲイラは1R劣勢を強いられた。

本来ならノゲイラの"庭"であるはずのガードポジションの体勢だが、サップはそんなことはお構いなしに剛腕を振り下ろす！　ノゲイラはいつレフェリー止められておかしくないピンチの連続だ。

隙を見て、伝家の宝刀・三角絞めに入るノゲイラだが、ボブ・サップは事も無げにそのまま立ち上がり、三角から逃れてしまう。この他、十字やオモプラッタも極まらず、ノゲイラのピンチは続く。

——では、ベルトを賭けるに値する選手というのは誰が挙げられますか？

ノゲイラ　ミルコ（・クロコップ）、オガワ（小川直也）、ヒクソン（・グレイシー）、あとヨシダ（吉田秀彦）。この4人が次のチャレンジャーに相応しいと思うよ。

——おぉ！　凄まじいメンバーですね（笑）。一昨日、リング上で挑戦をアピールしたジョシュ・バーネットや、エメリヤーエンコ・ヒョードルはまだベルトに挑戦する資格はありませんか？

ノゲイラ　試合をするだけならどちらもOKだよ。ただ、ジョシュ・バーネットは口が過ぎるね。

——ジョシュの発言は、やはり納得できませんか？（笑）。

ノゲイラ　ちょっと気に入らないね。あまり納得いかないよ。

——ジョシュは日本語で、「オマエハモウ、シンデイル」とまで言ってましたからね（笑）。

ノゲイラ　（通訳に訳してもらって）そんなこと言ってたんだ……。

——あれは『北斗の拳』という日本の漫画の決めゼリフなんですけど、ご存じでした？

ノゲイラ　それは聞いたよ。ジョシュは多分、現実の世界に生きていないんでしょう。

——アハハハハハ！　現実と漫画の区別がつかない（笑）。ボブ・サップに勝って、いい気分になっているときに突然リング上で挑戦状を叩きつけられて、かなりムカついたんじゃないですか？

ノゲイラ　（憮然として）あんなところで出てくるなんて、タイミングが良くないよ。それにボクは彼と一緒に練習しているボブ・サップや（マーク・）コールマンにも勝っているのに、なぜまたジョシュが出てくるのか……。彼はチャンピオンと言っても、何試合か勝ってアメリカのベルトをもらっただけの選手。ボクにとっては、「その他大勢」という感じだよ。

——その他大勢ですか！　でも、サップは「ノゲイラより一緒に練習しているジョシュの方が強い」と言っていましたけど。

ノゲイラ　それは練習の話だろう？　練習でボブ・サップがあそこまで激しくやるとは思えないよ。

——ジョシュは「練習でのボブ・サップ」に勝ってるだけだと（笑）。

ノゲイラ　本当の試合でジョシュがサップに勝てるなら、どうやって勝つのか見てみたいね。

——なるほど（笑）。それとボブ・サップは、「一昨日の試合は俺の勝ちだ！」と言ってるんですよ。なぜかと言うと、「上からパンチをやってた時にグッドリッジ（vsロイド・ヴァン・ダム）の試合は止められたんだから、俺の試合もあそこでストップするべきだ！」「最初のパワーボムをやった時に、もう危ないんだからレフェリーは止めるべきだ。レフェリーに守られているじゃないか！」とのことです（笑）。

ノゲイラ　（呆れ顔で）しょうがないなぁ。そんな減らず口を叩くなら、腕をへし折っておくべきだったね。それでそのまま顔面を何発も殴らないとわからないんだろう。

——そこまでやりますか（笑）。

ノゲイラ　ボクは若い時に牧場に住んでたんだけど、彼は牛に似ているよ。牛は一発殴ったぐらいじゃ振り向くだけで言うことを聞かないんだ。サップも牛もいっぱい殴らないとわからない。

——なるほど（笑）。

ノゲイラ　彼もプロの格闘家だから何を言っても構わないけど、チキンみたいにタップしたのは誰なのか？　レフェリーが手を上げたのは誰なのか？　それを観客はわかっていると思うから、ボクは何を言っても相手にしない。彼やジョシュは喋り過ぎるところがあるけど、ボクは闘って証明するだけだよ。ジョシュはフットボールをやってウェイトをやって、クスリか何かをやっているのかは知らないけど、ボクは4歳の

怪物ボブ・サップ退治に成功し、精も根も尽きたノゲイラの前に元UFCヘビー級王者ジョシュ・バーネットが立ちふさがり挑戦状を叩きつけた！「オマエハモウシンデイル」とまで言われたノゲイラはその場で挑戦を受諾。11・24東京ドームで実現か!?

Antonio Rodorigo Nogueira

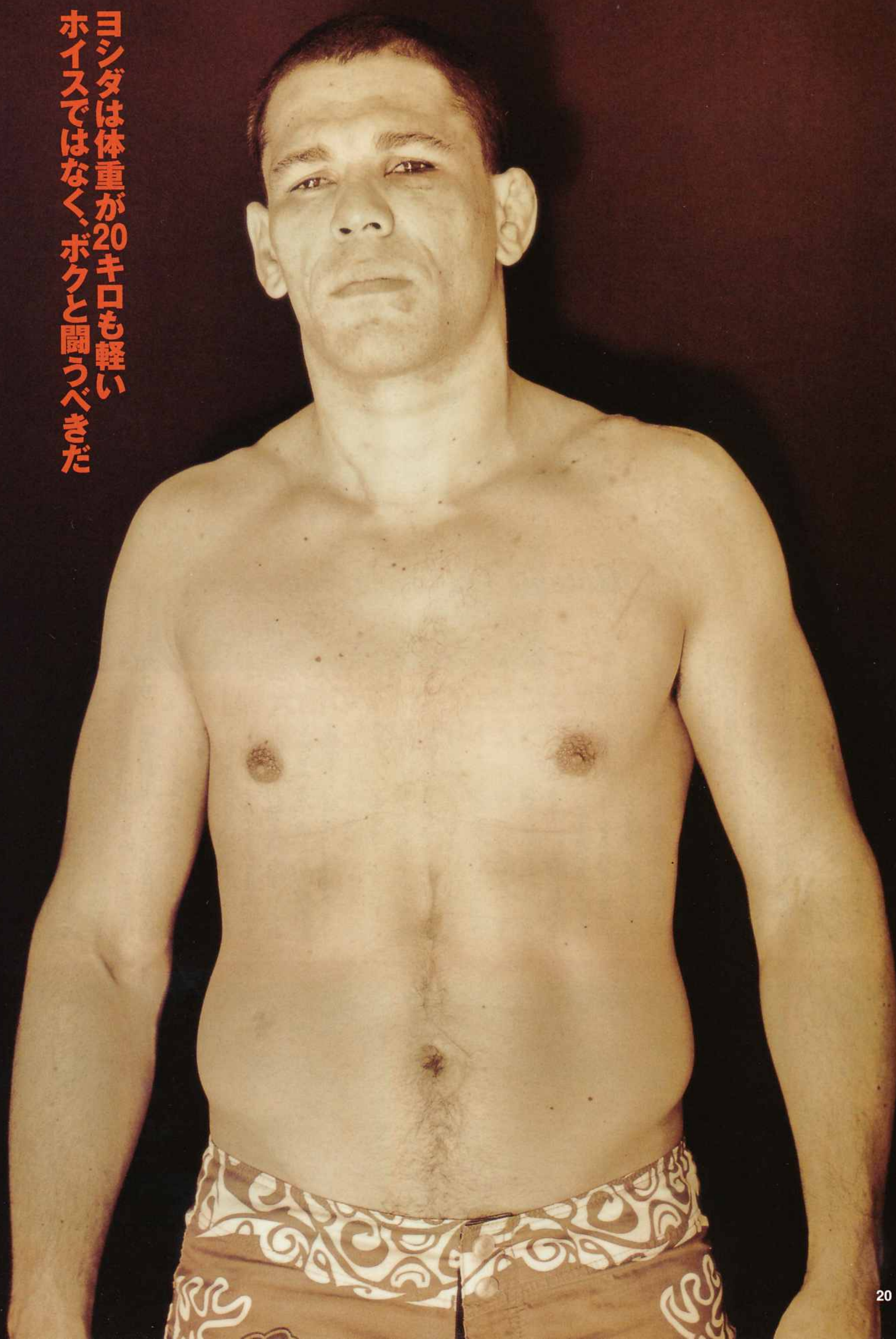
ジョシュはアメリカでベルトをもらっただけの選手。ボクにとっては「その他大勢」という感じだよ

サップの上を取ったノゲイラは、動きの鈍くなったサップの顔面に無数のパンチを振り下ろした後、万全の体勢から腕十字へ！　サップもパワーで粘るもクラッチが切れて遂にタップアウト！

スタミナが切れ切れたサップにノゲイラは下からアームロックを仕掛ける。巨大な身体に阻まれ、これは極まらなかったが、ここからポジションを切り替え一気にフィニッシュへ。

2Rに入り打撃勝負に切り替えたノゲイラは、サップの顔面に的確にパンチをヒットさせる。このあたりからサップに疲れも見え始め、戦況はノゲイラに傾いてきた。

上半身のサブミッションが極まらないノゲイラは、スルスルッとサップの足に巻き付き、ヒザ十字固めを狙うが、足腰が強いサップは倒れず、逆に上からパンチを振り下ろす！

ヨシダは体重が20キロも軽い
ホイスではなく、ボクと闘うべきだ

頃から柔道をやってきた。ボクには闘いの歴史があるんだ。そしてたくさんの一本勝ちを収めている。ボブ・サップもその一人だし、ジョシュもその一人になるだけだよ。

——ちなみにジョシュの実力はどの程度評価しているんですか？

ノゲイラ 彼は普通の選手だよ。

——あ、普通（笑）。

ノゲイラ ボクがこれまで闘ってきたコールマンやヒーリングの方が、よっぽど厳しい相手だったよ。

——では、ヒョードルはどの程度評価していますか？

ノゲイラ 彼は凄くいい選手だね。寝技も打撃もテイクダウンも上手い危険な相手だ。彼とならベルトを賭けて闘ってもいいと思う。きっと凄い試合になるんじゃないかな。でも、やはり一番闘いたいのは、ミルコ、オガワ、ヒクソン、ヨシダの4人だね。

——なぜ、その4人なんですか？

ノゲイラ 彼らは素晴らしい選手で、多くの人に認められている偉大な格闘家だからね。ボクの次のステップのために彼らに勝ちたいんだ。彼らに勝たないと本当の意味で自分が一番だということが証明できないと思う。ファンだってボクと彼らの試合を見たいと思っているんじゃないかな？

——それは見たいですよ！

ノゲイラ オガワなんかもこの前、せっかく久しぶりのバーリ・トゥードをやったのに、彼に相応しい相手じゃなかった。本来ならボクがオガワと闘うべきだったと思う。

——非常に同感です（笑）。なぜ小川選手との試合は実現しなかったと思いますか？

ノゲイラ それはボクの方が知りたいよ（笑）。ヒクソンは歳を取っているしリスクも大きいから闘ってくれないと思うけど、他の選手はPRIDEチャンピオンとの対戦を断る理由はないと思うからね。ヨシダだって、自分より20キロも軽い（当日は14キロ差）ホイスではなく、体重が合うボクと闘うべきだ。

——またしても同感です！（笑）。吉田選手はいま、ジャケットルールでしかやりたくないと言っていますが、そのルールでも構いませんか？

ノゲイラ ボクはキモノを着て闘うことに何の抵抗もないよ。ゼヒ闘ってみたい。だけど道着ナシでPRIDEルールの試合をした方が、日本のファンにもっと喜んでもらえるんじゃないかと思う。やはりファンがホントに見たいのはバーリ・トゥードなんじゃないかな。それでもヨシダがキモノにこだわるなら、ジャケットマッチでもOK。道着アリだろうとナシだろうと勝てる自信はあるからね（キッパリ）。

サップ戦後、アントンのもとに駆け寄るノゲイラ。翌日の新日武道館大会にもアントンの招きで来場していた。いつ何時誰の挑戦でも受け、怪物サップを倒すという「誰もやらない、誰もできないこと」を成し遂げたノゲイラ、君こそリアル・"アントニオ"だ！

Antonio Rodorigo Nogueira

——凄いなぁ。ちなみにホイスvs吉田戦は、どんな感想を持ちましたか？

ノゲイラ やっぱりレフェリーは止めるのがちょっと早かったと思うね。あそこで止めなくてもヨシダは勝っていたかもしれないけど、途中で止められたらファンは疑問を持つんじゃないかな。やっぱりファンが疑問を持つのはいけないと思う。

——なるほど。ところで、まったく話は変わりますけど、昨日、新日本プロレスの会場（8・29日本武道館）に来てましたよね？　あれも闘魂伝承修行の一環なんでしょうか？（笑）。

ノゲイラ 昨日はイノキさんに招待してもらったんだよ。リング上で挨拶することになるとは思わなかったけどね（笑）。

——あれは予定外でしたか。どうりで通訳がなかったわけですね（笑）。あの大会を観てどんな感想をもちましたか？

ノゲイラ 「日本のファンはホントにプロレスが好きなんだなぁ」と改めて感じたよ。

——それはどんな部分でですか？

ノゲイラ 関節を極められる寸前にロープに逃れると、観客がみんな足をバタつかせて盛り上がっただろ？　あんなのは見たことがないよ。

——「重低音ストンピング」ってやつですね（笑）。一番印象に残った試合はなんですか？

ノゲイラ フジタとタカヤマの試合がよかったと思う。あと個人的に、その前にやったミドル級の試合（ライガー&田中vs菊池&金丸）も面白かった。こうやって角が生えている人がいたよね。

——確かに角が生えている人がいましたね（笑）。

ノゲイラ 角が生えているグループじゃなくて反対のグループで凄い動きのいい選手がいて（おそらく金丸のこと）、彼の動きにはビックリしたね。

——かなり楽しんじゃったわけですね（笑）。

ノゲイラ 凄く面白かったよ。

——プロレスのリングで試合をしてもいいかなっていう気持ちはあるんですか？

ノゲイラ う～ん、別に大丈夫だね。プロレスの試合をするのは嫌じゃないよ。

——でも、いまは格闘技で全盛期ですから、プロレスにまで手を広げるのはもうちょっと後にしたほうがいいと思います（笑）。

ノゲイラ わかりました。もっと将来の楽しみにとっておくよ（ニッコリ）。

——『PRIDE』での次の試合予定はもう決まっているんですか？

ノゲイラ 相手は決まっていないけど、11月に闘うことになると思う。でも、いい相手が用意されれば、11月と言わずにもっと早くても構わないよ。

——あれほどの試合をやった後なのに来月とかでも大丈夫なんですか？（笑）。

ノゲイラ 納得いく相手だったら、全然問題ないよ。

——いやぁ、凄いですねぇ（笑）。

ノゲイラ さっきも言っただろ？　イッツナンドキ……なんだっけ？

——「いつ何時、誰の挑戦でも受ける！」ですね（笑）。

ノゲイラ そう。イッツナンドキダレノ……。次に日本に来るまでには、日本語で言えるように練習してくるよ（笑）。

——わかりました（笑）。次の試合も期待してます！

【02年8月30日／都内・某ホテルにて収録】

判定に異議を唱えるのはホイスだけではなかった!

早くも今年のベストバウトに決定!?

――結果は残念でしたが、ノゲイラ戦は素晴らしい試合でした! という声も多いですよ。早くも今年のベストバウトに決定。

サップ セェ～ンキュー! (ガッチリ握手しニンマリ)。

――アウッ! い、痛いです(苦笑)。

サップ (気にせず)そう言ってくれるのは嬉しいんだけど、オレはあんなもんじゃ満足はしてないよ。ハノキリ言って最初のパワーボムでノゲイラのKO負けでもおかしくなかっただろ。手応えもバッチリだったし、タムラやヤマモトとの試合だったら、あそこでレフェリーは止めていただろう。

――た、確かに、あのパワーボムでノゲイラ選手は真っ逆さまに落ちてましたし、止められてもおかしくなかったですよね。

サップ そうだろ? それだけじゃない。あのあと、グラウンドのパンチでも、かなりいいのが入ってたから、3回はオレが勝ってたと思う(キッパリ)。

――さ、3回も勝ってましたか! (笑)。

サップ そうさ。グッドリッジvsロイド戦のフィニッシュと同じシーンに持ち込んだけど、オレの試合ではレフェリーが止めてくれなかったからな。

――はぁ、そうでしたっけ?

サップ (気にせず)それにノゲイラは病院に直行したんだろ? しかも二日間吐いて、いまでも歩けないって聞いたぞ。

――サップさんはダメージは残ってないんですか?

サップ (目尻の傷を指して)オレはこれだけだよ。(両手を大きく広げ)あとは何も問題はない。何なら、いまからファイトしてもいいぐらいだ。どうだ、オレとやるか?

――い、いや、結構です(笑)。

サップ フォッフォフォフォ! 1ラウンドで勝てるチャンスがどれだけあったか…

“暗黒肉弾大魔神”衝撃告白

「オレはノゲイラに3回は勝っていた」

Bob Sapp

ボブ・サップ

「感動したッ!」——誰もがそう叫ばずにはいられないド迫力バトルを繰り広げた『Dynamite!』でのノゲイラvsサップ戦。怪物パワーで押しまくり、あわやの場面を何度も作ったものの、最後はスタミナ切れ&ノゲイラのテクニックの前に初めてのタップを喫したサップ。早くも今年のベストバウトに決定と噂されるノゲイラ戦の話をサップに聞くと、彼の口から衝撃発言が飛び出した!

聞き手/松澤チョロ　撮影/菊池茂夫
designed by hisa (Two Three)

ノゲイラがチャンピオンじゃなかったら最初のパワーボムでレフェリーは試合を止めていただろう

…というかオレの中では勝っていた。あのパワーボムの後にトドメを刺せば良かったとか、いろいろ反省はあるよ。まあ、ノゲイラはチャンピオンだから守られているんだなって感じもするんだけどな。

——チャンピオンは守られていると?

サップ　そうだ。普通ならレフェリーストップのタイミングだったが、それが長く延ばされてるんじゃないか?　オレにも十分勝てるチャンスはあったはずだ。

——でもノゲイラ選手は今回の『Dyn

amite!』とはライバル関係にある『LEGEND』に出たというのもあって、試合間隔が短い中でサップさんみたいな強豪を当てられたというのは、逆にノゲイラ選手にとって制裁マッチみたいな言われ方をしてた部分もあったんですけどね。

サップ そういう話はオレの耳にも入っていたよ。それにノゲイラは試合前にもオレと闘いたくないとかいろいろ言ってたらしいじゃないか？

――そうみたいですね。まあノゲイラ選手じゃなくても、そう言う選手は多いと思いますけど（笑）。

サップ そうなのか（笑）。まあ、でもノゲイラは賢いヤツだったな。

――それは、どういうことですか？

サップ ノゲイラは4点ポジションでのヒザ蹴りはナシというルールを取りやがったからな。そうなったら、こっちは投げつけるしかなくなるだろ。オレは武器を取られて、どれだけハンディがあるかわかるか？ だいたい、あの日サクラバはミルコ戦で4点ポジションのヒザ蹴りもOKのルールを選んだんだぜ！

――そうでしたね。

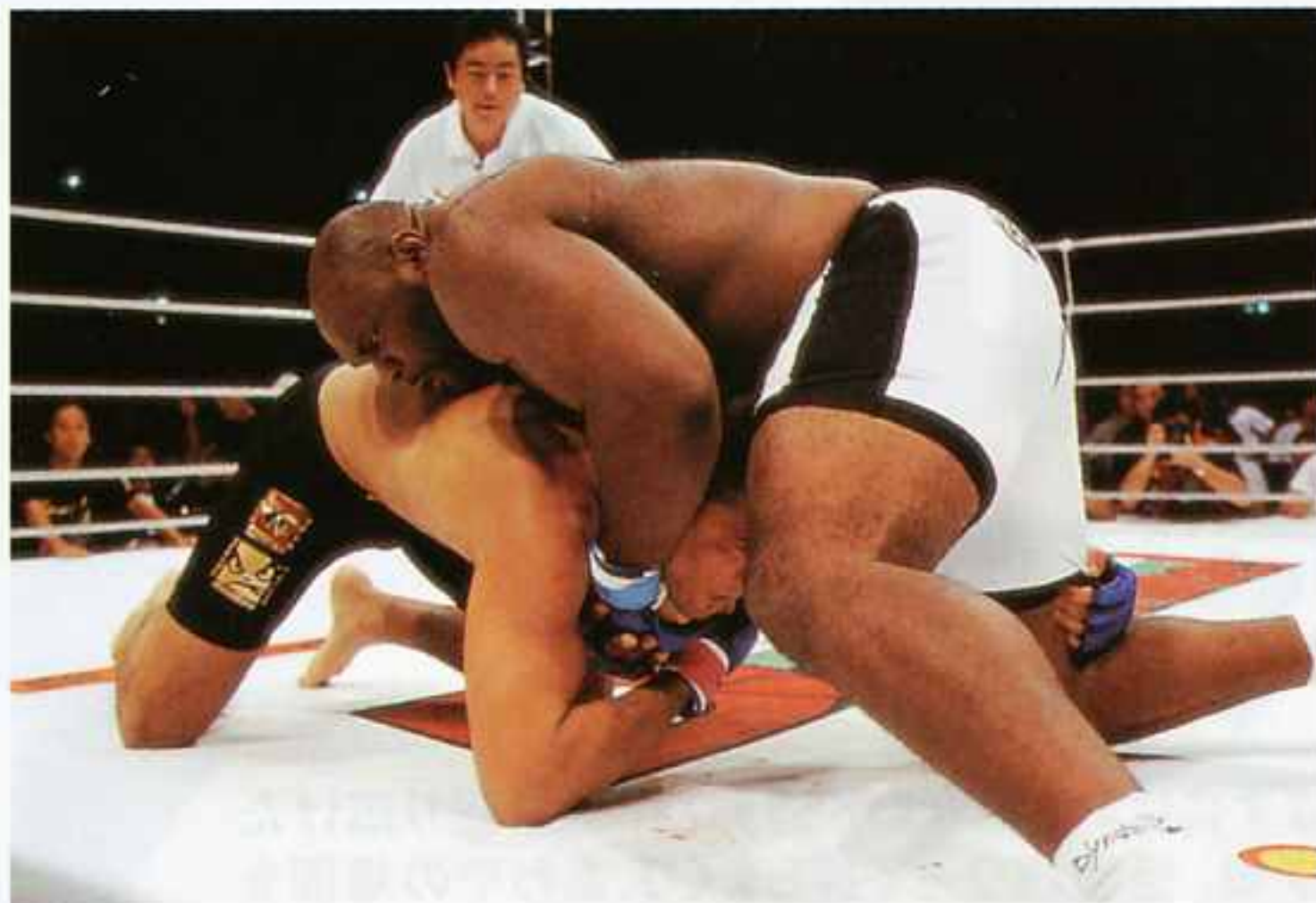
サップ なおさらチャンピオンだったらヒザありを選ばなきゃダメだろう。違うか？（ギロッとにらむ）。

――（圧倒されて）そ、そうかもしれません。でも、実際ヒザ蹴りがありだったらノゲイラに勝てたと思いますか？

サップ 別に今回、そのルールがなかったから負けたわけじゃない。さっきも言ったように勝てるチャンスは現実にたくさんあったんだ。ただ、向こうがルールを選べるんだったら、オレだって選びたかったっていうのが本音だけどな（笑）。

――まあそうでしょうね（笑）。タックルがきたら持ち上げてのパワーボムっていうのは最初から狙っていたんですか？

サップ あれは最初から決めていたんだよ。オレの師匠のマット・ヒュームは『PRIDE』のジャッジもやってるくらいだから、ルールの中で何が許されてるかっていうことを研究して作戦を練っていたのさ。フィニッシュを除けば3人（ヒューム、ジョシュ・バーネット、モーリス・スミス）の司令塔の下で最初のムーブから計算通りにやれたし、それに何もおかしなことはやってないだろ？

上の写真が本文中でサップが言っていた「グッドリッジvsロイド戦のフィニッシュと同じシーンに持ち込んだのにレフェリーは止めてくれなかった」という場面なんだろう。下の写真は「ヒザがありだったら」とサップが悔やんでいたシーン

ノゲイラはチャンピオンだったらヒザありを選ばなきゃダメだろ!

――は、はい。戦略的には完璧だったと思いますよ。

サップ そうだろ？ でもヒザ蹴りがダメだったからなぁ。それは許して欲しかったよ……（悲しそうに）。だけど、それをやっちゃうと相手に怪我をさせるっていうこともわかるし、しょうがないのかもしれないけどな。それ以外に関しては戦略通りにやれた。その結果があの試合だったんだ。ただ、ひとつ言えるのは一発目の、あのパワーボムを路上で出したらノゲイラは死んでいただろうな（ニヤリ）。

――路上であのパワーボムを出したらノゲイラ選手じゃなくても死んでますよ！（笑）。サップさんは体格的にスタミナはないんじゃないかと思ってたんですけど、実際、どれぐらいでキツイなと感じたんですか？

サップ 正直、1ラウンドが終わる頃には、かなり厳しかったよ（苦笑）。

――インターバルの時も、かなりキツそうでしたからね（笑）。

サップ 確かにスタミナが切れていたことは認めるよ（苦笑）。だって考えてみろよ？ オレは、まだプロとして総合の試合は3度目だぜ、3度目！ ノゲイラなんてアマチュア時代から散々闘ってきたんだろ？

――そうなんでしょうけどね。

サップ キャリアが違う相手と闘うってことがどれだけタフなことかってわかってくれ（苦笑）。

――そう言われると、総合3戦目で、いきなり『PRIDE』ヘビー級チャンピオンが相手っていうのも凄いですよね（笑）。

サップ そうだろ？ こっちはたった3回目で入場からパフォーマンスから何から、いろんなことを考えてやってるんだから、凄いと思ってくれよ！

――いやいや、十分凄いですって！

サップ セェ～ンキュー！（嬉しそうにまたもや握手）。

――だ、だから、痛いです（苦笑）。

サップ （気にせず）ただ、やっぱり経験が少ないっていうのは損だな。あのパワーボムからそのまま一気にガンガン攻めてたらオレは勝ててたよ。まあ、今回はオレは挑戦者だから仕方ないよな。ノゲイラがプロテクトされていたんだと思うことにするよ。

――ホイスは試合後、判定を不服として揉めてますけど、サップさん的にも結果に納得してない部分があるんですね？

サップ ヨシダvsホイス戦は直接見てなかったからオレは何とも言えない。それに間違いはどのスポーツだってあるからな。だけど、それをナショナリティとか人種の問題にすり替えるのは、おかしな話さ。彼らはブラジル人だから差別されているとか言ったんだろ？ それは非常に良くないことだとオレは思うな。

――なるほど。試合を見ていた選手とかに聞いても、あと半年もしたらサップさんには誰も敵わなくなるんじゃないかって言う声が多いんですけど。

サップ ほ、本当か⁉ そんなことを聞いちゃうとビックリしちゃうな(笑)。だってオレはまだ総合は3回目だよ。3回目で

Bob Sapp

あのパワーボムを路上で出したらノゲイラは死んでいただろうな

チャンピオンと闘えて、半年後には誰も勝てないなんて言われちまうのかい？

――そういうことです（笑）。

サップ　まあオレも、この体重にしては動けるということが、いかに自分にとって助かったことか。それとオレは仲間に恵まれたと思ってるよ。

――仲間と言えば、セコンドに付いたジョシュ選手が試合後にノゲイラ選手に対戦表明してましたが、サップさんが実際に闘ってみてジョシュ選手だったらノゲイラ選手を倒せると思いますか？

サップ　もしオレが金を賭けるんだったら100％ジョシュに賭けるよ。全然問題ないさ。やる前からジョシュなら勝てると思ってたんだけど、実際自分が試合をしてみて、それを確信したね。

――そう言われると、ノゲイラvsジョシュ戦がますます見たくなりましたね。

サップ　これは言っとくけど、いまの発言はジョシュとオレが同じチームだからというわけではないからな。

――サップさん的には、ジョシュ選手の方が上と感じるわけですか？

サップ　ＹＥＳ。やっぱりジョシュとかノゲイラとかもそうだけど、アイツらはオレ以上に格闘技っていうものにずっと入れ込んでるヤツだろ？　オレはさっきから何回も言っているがプロとしてはまだ3回目だし、それまではフットボールをやってた人間で、つい最近までこの業界のことなんて知らなかったんだよ。アマチュアすら経験したこともない人間なんだ。彼らには簡単には勝てっこないだろ（苦笑）。

――あら、そうでしたか（笑）。ジョシュ選手もそうみたいですけど、サップさんも「プロレスのリングでも闘いたい」って言ってましたが、それは本心と思っていいんでしょうか？

サップ　今夜のゴールドバーグの試合（8・30全日本・日本武道館）も行くし、来年になるかもしれないけど、やりたいと思ってるよ。ジョシュなんかは、喜んでっていうタイプだからな（笑）。

――かなりのプロレスオタクですからね（笑）。でも、サップさんは、ここ最近、プロレスの練習はしてるんですか？

サップ　もちろんだ！　プロレスと言えば、オレはＷＣＷ時代にＮＦＬのシカゴ・ベアーズにいた〝冷蔵庫（レフリジエイター）〟っていうあだ名がついているウィリアム・ペリー（アメリカでは超有名人）とボクシングマッチをやったこともあるんだぜ！（得意げに）。

――へぇ〜、それは知りませんでした。

サップ　その時はサム・グレコにコーチについてもらって2ラウンドで勝ったんだ！　もちろんシュートマッチだよ。

――シ、シュートだったんですか！

サップ　『エフエックス・タフマン』っていうＷＣＷとは別番組だったけどな。

――それはいつ頃の話なんですか？

サップ　たしか、１９９９か２０００年の話だ。オレが言うのもなんだが、ヤツは当時３８０パウンドぐらいあって無茶苦茶デカかったけどな（苦笑）。

――サップさん以上のデカさだったんですね（笑）。それがプロとしての一番最初の

試合になるんですか？

サップ　そうだな。そう考えると、オレほどラッキーな男はいないだろ？

——それはどういう意味ですか？

サップ　アマのファイトを一回もやったことがないんだぜ！　ボクシングのファイトもそれが生まれて初めてだったし、キックボクシングなんてこの間のナカサコとの試合が生まれて初めなんだよ（苦笑）。

——中迫戦はいろいろと物議を醸しましたが、よく考えるとあれがサップさんのキックデビュー戦なんですもんね。

サップ　そうだよ。あの試合に関して言えば、ワークだとか、批判的な声が出ているのもオレは聞いてる。それに対しては「ふざけるな！」って！（ドンッとテーブルを叩いて）。

——かなり暴走して、試合後のリング上は大混乱となってしまいましたが、批判される覚えはないと？

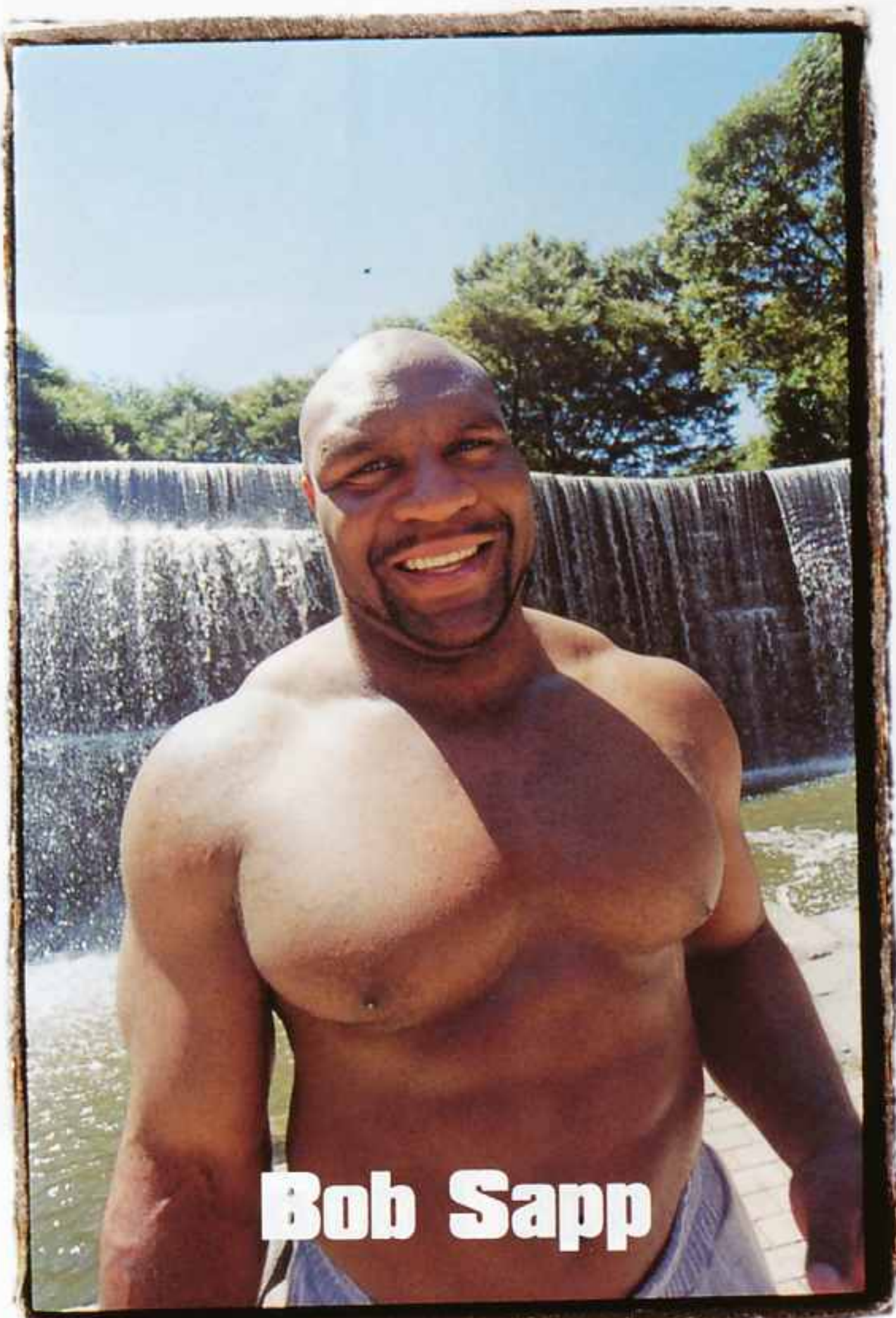
サップ　そういうことだ。あの試合がワークと言うんだったら、ノゲイラ戦はなんだって言うんだよ！

——エッ⁉　ノゲイラ戦はなんだって言うんですか？

サップ　だって、パワーボムとかプロレスのムーブをガンガン出したのはノゲイラ戦の方だろ？　そのノゲイラ戦はみんな良かった良かったと言ってくれるんだから、おかしなもんだよな（笑）。

——それはそうですね（笑）。

サップ　そのナカサコ戦もそうだけど、オレの日本での試合は全部テレビで放映されてるわけだから、それも凄いと思わないか？（自慢げに）。オレほどのシンデレラボーイはいないぜ（笑）。

——そうですよね。（小声で）シンデレラとは程遠いビジュアルですけど（笑）。

サップ　（ギロッとにらみ）……ま、そりゃそうだよな（笑）。

——（ホッとして）は、はい（笑）。それで、プロレスでは「ムタとやりたい」と言ってましたけど、他に誰か闘ってみたい選手っていうのはいるんですか？

サップ　一番やりたいのはムタだ！

——それは何か理由があるんですか？

サップ　ムタがWCWに出てた頃、自分はまだグリーンボーイだったんで、これだけできるようになったっていうのを見せたいっていうのがあるんだ。負けたくはないが、たとえ自分が負けたとしても最高の試合をして、オレはプロレスでもこれだけやれるっていうのを証明したいんだよ。

Bob Sapp

オレは女々しいことは言いたくない。次の試合、また派手に頑張るよ!

——でも、プロレスのリングではノゲイラ選手に決めたようなパワーボムはデンジャラス過ぎて出せないですよ（笑）。

サップ　そうかもしれないな。フォッフォフォフォフォ！

——プロレスでの得意技っていうのは何かあるんですか？

サップ　もちろんだ！　WCW時代はダブルチキン・スープレックスっていうのもやっていたし、フィニッシングムーブに関しては、頭にグルグルとシワを作って、セカンドロープからのダイビングヘッドバットというのを使っていたんだ。他にも、いろいろ持っているんだぜ！

——そ、空から暗黒肉弾魔人が降ってくるわけですね。ちなみにダブルチキン・スープレックスっていうのはどういう技なんですか？

サップ　チキンウイングに捉えて、そっから一気にボムで叩きつける荒技なんだ（ドラゴンスープレックスの要領で持ち上げ空中で体勢を入れ替え、全体重を乗せタイガードライバーのように叩きつけるゼスチャーをしながら）どんな相手だろうが一発でフィニッシュさ。

——き、危険な技ですね。サップさんのオリジナルホールドなんですか？

サップ　いや、ぶっちゃけた話、当時WCWにいた連中に言われてやっただけで、オレが考えたわけではないよ（苦笑）。

——思いっきりぶっちゃけた話ですね（笑）。

サップ　まあでも、いまは完璧にマスターしたしオリジナルホールドと言ってもいいだろうな。最後に一言いいか？

——な、なんでしょうか？

サップ　（突然マッスルポーズをとって）このオレのピンピンした身体を見ればどっちが勝ったかわかるだろ！　ノゲイラはしばらく試合ができないだろうが、オレは明日にでも試合ができるぜ！　これは強がりでもなんでもない。フォッフォフォフォフォ！

——き、今日はありがとうございました。ホイス選手に続いてここにも納得していない男がいたということで……。

サップ　（さえぎって）いや、オレは女々しいことは言いたくない。次の試合、また派手に頑張るよ。フォッフォフォフォフォ！

——ド派手に頑張って下さい！（笑）。最後に、お約束の質問なんですが、ノゲイラ戦後はマッサージには行かれたんでしょうか？（笑）。

サップ　（急に動揺して）い、いや、今回はちょっと……なっ？（笑）。

——いやいや、「なっ？」って言われても谷津さんじゃあるまいし（笑）。

サップ　試合のあとは六本木にメシを食いに行っただけだよ（なぜかウインク）。だけど、正直に言うぜ。オレはプリティガールは大好きだよ！　お前だってそうだろ？

——大好きです！（笑）。

サップ　フォッフォフォフォ！　そういうことだ。わかってくれて嬉しいぜ（笑）。

【02年8月30日／都内某所にて収録】

「オマエ ハ モウ シンデイル！」

青い目のケンシロウがノゲイラそして田村潔司に対戦表明!

JOSH BARNETT
ジョシュ・バーネット

「オマエ ハ モウ シンデイル！」——『Dynamite!』でのノゲイラvsサップ戦後、勝ち名乗りをあげるノゲイラに向かって、北斗の拳のケンシロウの決めゼリフをぶつけたのが前UFCヘビー級王者のジョシュ・バーネットである。その顔はサップやTKのセコンドとして見覚えのある人も多いはず。格闘家としてだけではなく“オタク”としての顔も持つジョシュを直撃！

聞き手／松澤チョロ　撮影／菊池茂夫
designed by hisa（Two Three）

ジョシュ　（たまたま聞き手のチョロが着ていた堀辺師範Tシャツを見て）オォ〜、シハン・ホリベ！（笑）。

——エッ⁉　堀辺さんのことを知ってるんですか？

ジョシュ　YES！（三角の構えをして）コッポウね（笑）。

——噂は聞いてましたけど、やっぱり、かなりの強者みたいですね（笑）。

ジョシュ　（流暢な日本語で）ドモ・アリガトウゴザイマス！（ニッコリ）。ボクは『紙プロ』のことはカワサキさんから、いろいろと聞いてるから、よく知ってるよ（笑）。

——あ、ブッカーKですか。変なこと言ってなきゃいいですけど（笑）。

ジョシュ　ボクは『紙プロ』はよく読むんだけど、プロレスもMMA（総合格闘技）も両方載ってるし、ベストマガジンだと思うよ。

——あ、ありがとうございます！　それでですね、ジョシュさんといえば、日本のプロレス＆格闘技事情からアニメとかまで、かなりのオタクとして有名なんですけど、日本には、どういったイメージを持っていますか？

ジョシュ　日本は大好きだよ。それでね、ボクの日本のイメージっていうのは、ほとんどが日本のテレビから入ったものなんだ。

——日本のテレビからですか。

ジョシュ　あと日本のコミックもそうだし、もちろん、格闘技やプロレスも日本のモノをよく見てたんだ。コミックもプロレスもそうなんだけど、アメリカのモノより日本のモノの方が断然面白いからね（笑）。

——う〜ん、そうなんですかね？

ジョシュ　それは間違いないよ（キッパリ）。プロレスや格闘技でも、Uインターから、リングスだ、パンクラスだって、いろいろ出てきて、その後にUFCが始まって、ボクは本格的にハマッちゃったってわけさ（笑）。

——これは自分もやるしかないと？

ジョシュ　そうなんだよ（笑）。でも、MMAだけじゃなくプロレスの方もしっかり見てたけどね。

——ちなみに、日本で一番好きな選手って誰になるんですか？

ジョシュ　ボクが一番好きなのはタカダさんだね。

——一番は高田さんですか。

ジョシュ　もちろんマエダさん、タムラさんも好きだけどね。団体で言えば、第一次UWFも新生UWFも好きなんだけど、やっぱりUWFインターナショナルが一番だったね。

——Uインターが一番！

ジョシュ　なかでもタムラvsベイダー戦は最高だったよ。ブドーカンでやった試合がベストバウトかな。

——会場名まで覚えてますか！　ほんとマニアックですねぇ（笑）。

ジョシュ　まだまだ好きな選手は、たくさんいるんだけど……。

——他には、どんな選手が？

ジョシュ　初期のパンクラスの頃のスズキの試合とかも好きでよく見てたよ。今でもたまにスズキの試合はビデオで見るんだけど、何でこんなにキレイに動けるんだろうって思って、よく研究してたからね（笑）。

——オタクなだけあって、いろんな意味で研究熱心なんでしょうね。

ジョシュ　ミサワさんも好きだし、アキヤマさんもいいよね。

——ホント幅広いですねぇ（笑）。ちなみに、三沢さんや秋山さんって、いつぐらいの試合を見たことがあるんですか？

ジョシュ　ボクは全日本が分裂してNOAHができたのも、ちゃんと知ってるし、どっちの団体での試合も見たことあるよ（笑）。

——さすがに知ってましたか（笑）。

ジョシュ　ミサワさんはタイガードライバー91、タイガースープレックス、エメラルド・フロージョン、素晴らしい技をたくさん持ってるよね。ちなみにボクは、いま言った技は全部マスターしてるんだ（誇らしげに）。

——エッ、エメラルド・フロージョンとかもできるんですか⁉

ジョシュ　できるよ（誇らしげに）。MMAでは、なかなか出せないけどね（笑）。それにね、ボクにはオリジナルホールドまであるんだよ。

——オ、オリジナルホールドまで⁉　それはどういう技なんですか？

ジョシュ　技の名前はジュウジ・ドライバーっていうんだ。

——ジュウジ・ドライバー？

ジョシュ　タカ・ミチノクの、みちのくドライバー2から素早く腕十字に行く技なんだ。ミノル・スペシャルをヒントにしたんだけどね。

——ミ、ミノル・スペシャル？

ジョシュ　ミノル・タナカの技であるでしょ？

——はぁ？　どんな技でしたっけ？

ジョシュ　ノーザンライト・スープレックスから一気に腕十字に行く技なんだけど、知らないのかい（笑）。

——すいません、勉強不足で（笑）。

ジョシュ　あとフロントスープレックス・ドライバーっていうのもあるしね。

——それも凄そうな技ですね（笑）。そういえば、ジョシュさんは女子プロも詳しいんですよね？

ジョシュ　女子プロは、ちょっとしか知らないけどね。スマックガール、『AX』、LLPW、（日本語で）ゼンジョ、それぐらいかな。

——ちょっとだけって、それだけ知ってれば十分凄いですよ！

ジョシュ　（突然）キョウコ・イノウエは、いまはどこの団体にいるの？

——井上京子さんですか（笑）。いまはNEOっていう団体です。

ジョシュ　う〜ん、ゴメン、その団体は知らないなぁ。

——謝ることはないですよ（笑）。確か、ジョシュさんの彼女は女子格闘家なんですよね？

ジョシュ　そうなんだよ。ボクと一緒にトレーニングして1年ぐらいになるんだけど、もう少ししたら、どこかの大会に出してあげようと思ってるんだけどね。

——そうなんですか。ゼヒ、日本の大会に連れて来て下さいよ。

ジョシュ　（日本語で）オネガイシマス！　ビデオでは見てるんだけど、日本の女の子が、どの程度のレベルなのか実際見てみないとわかんないんで、9月1日のスマックガールに行こうと思ってるんだ。

——全日本だけではなく、スマックガールも観に行くんですか？

ジョシュ　サップと一緒に行こうと思ってるんだ。

——ちなみに、彼女の体格はどれぐらいなんですか？

ジョシュ　日本の選手で言えば、ユウキ・クボタと同じぐらいかな。

——うわっ！　久保田有希さんまで知ってるんですか？

ジョシュ　ドレイクとか、ホシノも知ってるよ。マァ☆ティンだよね（笑）。

——ニックネームまで（笑）。彼女はどれぐらいのレベルなんですか？

ジョシュ　そうだなぁ？　ナナチャンチンよりは強いと思うよ（笑）。

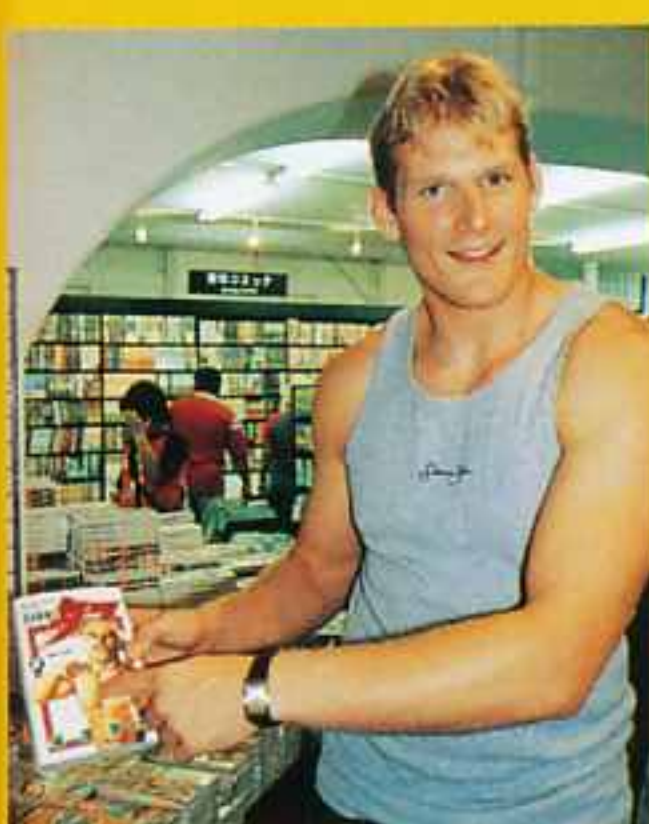
——アハハハ！　そりゃそうだ（笑）。で、今回はサップさんのセコンドとしての来日になるわけですけど、もしかして、ジョシュさんがサップに総合を教え

JOSH BARNETT

主戦場としていたUFCではペドロ・ヒーゾにKO負けを喫した以外は負け知らずのジョシュ。これまで勝った相手は日本でもお馴染みのシュルト、スパーン、ホフマン等々。しかし、上の写真のジョシュのお腹は、かなりふっくら気味だ

“オタクの中の男”
ジョシュの奇妙な冒険
〜オモチャ屋巡り編〜

今回の来日ではファンを中心にジョシュ君と一緒にオモチャ屋を巡ろうツアーが行われ、『紙プロ』でも、その現場にお邪魔させてもらいました。噂通りジョシュ君はオタクでした。

最初に新宿のまんだらけで、デビルマンとジャイアントロボ、そしてゴルゴ13等のフィギュアを購入したジョシュ君。お店に入ると真剣な眼差しで欲しいオモチャを探していた。

日本のマンガ事情についても、かなり詳しいジョシュ君。『高校鉄拳伝タフ』も大好きだというジョシュ君は財布の中からタフテレカを取り出し、みんなに自慢げに披露していた。

ビデオ＆
を発見し
ってあげ
。代わり
ゼント。

て、逆に元プロレスラーのサップさんからプロレスを教わったりしてるんじゃないですか?
ジョシュ　元プロレスラーと言うよりサップは（日本語で）バケモノだからね（笑）。
——バケモノですか（笑）。
ジョシュ　そう（笑）。それにサップはWCWで教えてもらったのはパワーボムだけで、細かいテクニックは全然教わってないから、サップに教わることはないんだよ（笑）。
——そうなんですか（笑）。
ジョシュ　サップはバケモノだから、そういうテクニックはなくても関係ないからね（笑）。でもホントにジムではプロレスごっことかしょっちゅうやってるよ。
——豪華なプロレスごっこですね（笑）。そういえば石井館長が言ってたんですけど、サップは急成長していてジョシュから一本取れるぐらいまでになっていると。ズバリ言って、それは本当なんでしょうか?
ジョシュ　NO～！（笑）。それはさすがのマスター・イシイでも勘弁して欲しいね（笑）。これは言っておきたいけど、サップがボクを極めたことなんか一回もないから。
——そうなんですか（笑）。そのサップvsノゲイラ戦は素晴らしい試合でしたけど、コーチとして見て戦前はサップなら勝てると思ってました?
ジョシュ　ボクは本気で勝てると思ってたよ。実際、試合が終わったあと2人の姿を見比べてみればわかるけど、ある意味、サップの勝ちだと思うしね（笑）。
——サップさんもそう言ってましたね（笑）。
ジョシュ　サップはホントに惜しいことしたよ。試合前からチャレンジとは思ってなかったからね。なんと言ってもサップはバケモノだから（笑）。
——ホントそうですよね（笑）。
ジョシュ　同じ巨漢ファイターのトム・エリクソンなんかと比べても身体能力が飛び抜けているからね。身体も柔らかいし、バスケをやらせたら、あの身体でダンクシュートをバンバン決めるからね（笑）。
——サップは足も速いみたいですし、ジャンプ力も凄いですからね。
ジョシュ　そうなんだよ。同じサイズでもエリクソンとは全然違うからね。サップはノゲイラと闘って本物のカイブツになったんじゃない?
——そうかもしれませんね。一緒に練習してるっていうのもあるでしょうけど、ジョシュさんも本物のカイブツになったサップさんとは闘いたくないんじゃないですか?
ジョシュ　いや、いまのサップなら、まだ大丈夫だよ（笑）。ただ、何年後かには、そう思うかもしれないけどね。
——試合後、ノゲイラに対して「お前はもう死んでいる！」と挑発してましたけど、勝つ自信はかなりあると?
ジョシュ　もちろん！　ノゲイラはボクに勝てるわけないよ！（キッパリ）
——かなりの自信ですね。
ジョシュ　だって、ボクには北斗の拳の魂が宿っているからね（笑）。ノゲイラには絶対に勝てると思ってるよ。これは強がりでもなんでもなくね。
——サップさんもジョシュだったら勝てるって言ってましたからね。で、今後は総合とプロレスを平行してやっていこうと思ってるんですか?
ジョシュ　ボクはまだ若いし、正直に言うと、いまはMMAをやりたいんだ。プロレスは片手間でできるもんじゃないし、スケジュールも違うから、いまのところはMMAを中心にしたいと思ってるよ。
——でも話を聞くと、ジョシュさんのプロレスも見たいですけどね。
ジョシュ　アリガトゴザイマス！　でもボクは元シューターとかいうギミックでプロレスをやるのは絶対嫌なんだ。
——なんちゃってVTとか言われちゃう試合もありますからね。
ジョシュ　そういうプロレスはボクはやらないよ。もちろんシュートの要素は入れようと思ってるけど、プロレスを尊敬してるからこそ、そういうスタイルじゃなくて、きっちりとしたプロレスをやりたいんだよ。
——その考えは素晴らしいですね。じゃあ、いますぐプロレスをやれって言われても、まだ満足するものは見せられないと思ってるんですか?
ジョシュ　いや、そんなことはないよ（ニッコリ）。ベストなファイトは見せられないかもしれないけど、やれって言われたらやる準備はいつでもできてるんだよ。受け身の練習もしてるし、ロープワークだってできるしね。
——受け身からロープワークまで！
ジョシュ　ロープワークはサップから教えてもらったんだけどね（笑）。それにロープワークを使った試合もつい最近やったんだよ。
——あ、そうなんですか。どんな選手と闘ったんですか?
ジョシュ　『紙プロ』にもよく出てるけど、アレクサンダー大塚と闘ったんだ。

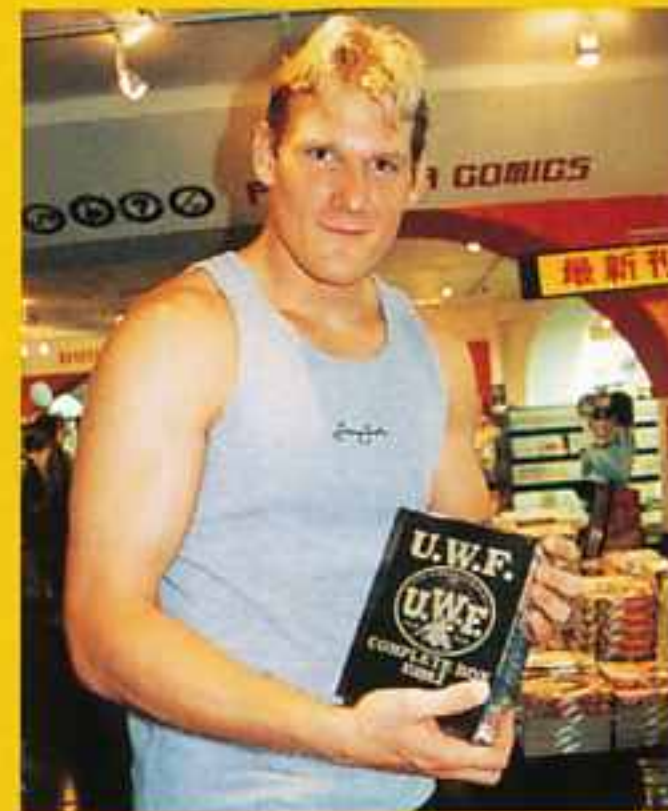
9・7『DEEP』では、なんと、偽造王・一宮章一のグレイシートレインのメンバーとして登場したジョシュ。それにしても、葛西純からカト・クン・リー、そして前UFC王者まで、もの凄く豪華なトレインだ

ボクはプロレスでの必殺技はジュウジ・ドライバーっていうんだ

最後は、お約束のケンシロウとのツーショット。そして、やっぱり飛び出したケンシロウに向かっての「オマエハ・モウ・シンデイル！」。すっかりご機嫌のジョシュ君でした。次の来日はいつなんだ?

両手一杯にオモチャを購入しただけでは満足できないジョシュ君。気になるオモチャを見つけると片っ端からマイカメラで撮影三昧。その後ろ姿は、まさに"オタクの中の男"。チョーカッコイイネ！

当然のようにガンダムも大好きなジョシュ君。秋葉原デパートの中にあるガンダムフロアを見てて、いたく感激した様子。あまりの嬉しさに店頭に並んでいるザクやらリックドムやらガンダムを攻撃！

いくらオタクと言えども、本業は格闘家のジョシュ君。秋葉原の電気街を歩きながらも軽快なシャドーボクシングを披露。ヤノタクやホドリゴとのオタク対談もゼヒやりたいものです。

通りがかりの本屋の一角のビデオ&DVDコーナーでUWFのDVDを発見し大はしゃぎのジョシュ君。買ってあげたかったが高かったので断念。代わりにキングダムのビデオをプレゼント。

ボクはタムラさんと Uインタールールで試合がしたいんだ

――エッ⁉　アレクと闘ったんですか！　しかもプロレスルールで？

ジョシュ　そう。タッグマッチだったんだけどコンテンダーズみたいな感じのプロレスの試合をしたんだ。

――コンテンダーズみたいなプロレスですか（笑）。それは、いつぐらいの話なんですか？

ジョシュ　ちょっと前にアレクがアメリカに来てた時だよ。ジャイアントスイングでグルグル回してアームバーを極めたりしたんだ。

――アレクの得意技でジョシュさんが回されちゃったんですか？

ジョシュ　いや違うよ。ボクがアレクを回してやったんだよ（満足げに）。

――それは初耳ですね。ちなみにフィニッシュはどうなったんですか？

ジョシュ　結果は時間切れのドローだったよ（ニッコリ）。ちょうど、同じ時期にアメリカに来てたショウジも客席から見ていたよ。

――へぇ～、小路さんも見てたんですか（笑）。あと、ジョシュさんと言えば、インターネットでUインターについての論文を発表してるって聞いたんですけど（P31参照）。

ジョシュ　よく知ってるね。ボクはUインターについて、これだけ知ってるんだって言うところを見せたかったんだよ（笑）。

――その論文の内容が凄いらしくて、読んだ人の間でジョシュさんはヒーローになってるみたいですよ（笑）。

ジョシュ　そうなのかい？（嬉しそうに）書いた甲斐があったよ。

――でもホント、ジョシュさんは日本のファンに受ける要素をいくつも持ってますよね。

ジョシュ　アリガトゴザイマス！　ボクは日本が大好きだし、マジメに日本語の勉強もしてるからね。

――そうなんですか。

ジョシュ　1年以内に日本語は、なんとか覚えようと思ってるんだ。日本で試合できるのがいつになるかわからないけど、キャッチフレーズももう考えているからね（ニコッ）。

――ちなみに、どんなキャッチフレーズなんですか？

ジョシュ　（日本語で）アオイ・メノ・ケンシロウ。どうかな？

――それはピッタリですね（笑）。かなりのUインター好きみたいですけど〝青い目のケンシロウ〟vsジョシュさんもファンだという田村さんとの試合なんかゼヒ見たいですね。

ジョシュ　ボクもタムラさんとはゼヒ闘ってみたいと思ってるんだ。

――もし、田村さんとの試合が実現したとしたら、ルールはどういうルールを望みますか？

ジョシュ　（即座に）Uインタールール！　実際、そう思ってるし、そう答えて欲しいんでしょ？（笑）。

――は、はい（笑）。もう何から何までジョシュさんは完璧ですね！

ジョシュ　タムラさんのインタビューを読んだら、UWFをもう一度再興させたいって言ってたし、その時はタムラさんの相手はボクがやるしかないと勝手に思ってるんだ（笑）。

――素晴らしいです！（笑）。

ジョシュ　Uインターの時みたいにブドーカンとかジングウ・スタジアムでやりたいね。

――一度、田村さんと対談でもしてもらいたいですねぇ。

ジョシュ　それはボクの方からも願いしたいね。それにUインターと言えば、この間の『PRIDE』でのタカヤマvsフライ戦はもの凄く感動したよ。

――あの試合は凄かったですよね。

ジョシュ　試合も良かったけど、タカヤマさんのセコンドにミヤトさんとカネハラさんが付いて、しかもミヤトさんがUインターのウエアを着てるのを見て、ボクは泣いてしまったんだよ。この気持ちわかるかな？

――ち、ちょっと、そこまでは（笑）。でも、その発言だけでUWFファンのハートを鷲掴みですよ！

ジョシュ　それは良かった（笑）。

――スマックガールも観に行くということでしたけど、今回はいつまで日本に滞在するんですか？

ジョシュ　TKのセコンドに付くんで、7日の『DEEP』までいるよ。

――そうですか。でも『DEEP』ではTKの試合はもちろんでしょうけど、メインの田村vs美濃輪戦も楽しみなんじゃないですか？

ジョシュ　YES！　あとナカノさんの試合もあるからね（笑）。

――アハハハ！　完璧です（笑）。いつになるかわかりませんけど、田村さんとのUWFスタイルでの試合が実現する日を楽しみにしてます！

ジョシュ　ボクも楽しみにしてるよ。田村さんとの試合が決まったら（日本語で）チョーカッコイイネ！

――アハハハハ！　ジョシュさんもチョーカッコイイですよ！　今日はありがとうございました‼

【02年8月30日／都内某所にて収録】

JOSH BARNETT

【じょしゅ・ばーねっと】1977年11月10日、アメリカ・シアトル出身。AMCパンクレーション所属。日本でも、お馴染みのランディー・クートゥアーをTKOで下しUFC史上最年少でヘビー級チャンピオンに輝いたジョシュ・バーネット。その後、ステロイド問題で王座を剥奪され、現在は試合からは遠ざかっているジョシュ。果たして、次に上がるリングはどこなのか？　その日まで楽しみに待とう！　191cm、117kg

ジョシュ・バーネット ～MMA主な戦績～

99.9.7「Super Brawl 13」
【ヘビー級トーナメント1回戦】
○ユハ・トゥカサーリ（1R3分32秒 腕ひしぎ逆十字固め）
【ヘビー級トーナメント準決勝】
○ジョン・マッシュ（1R4分23秒 キムラ・ロック）
【ヘビー級トーナメント決勝戦】
□ボビー・ホフマン（判定3-0）

00.2.8「Super Brawl 16」
○ダン・スバーン（4R1分21秒 腕ひしぎ逆十字固め）

00.11.17「UFC28」
○ガン・マグギー（2R4分34秒 TKO【レフェリーストップ】）

01.2.23「UFC30」
●ペドロ・ヒーゾ（2R4分21秒 KO）

01.6.29「UFC32」
○セーム・シュルト（1R4分21秒 腕ひしぎ逆十字固め）

01.11.2「UFC34」
○ボビー・ホフマン（2R4分25秒 TKO）

02.3.22「UFC36」
○ランディ・クートゥアー（2R4分35秒 TKO）

9・7『DEEP』有明大会のバックステージでは、ジョシュと和田良覚、そして鈴木みのるに宇野薫といったジョシュの大好きなUWFと縁の深い4ショットが実現！

スペシャルボーナストラック

こんなガイジンみたことない!「栄光の"U"称賛」論文を読め!!

『プロレスはヒーローを必要としている。今こそUWFインターナショナルを』

by ジョシュ・バーネット

最も数多くの才能のある選手を生み出したプロレス団体の1つ全日本プロレスが復活することによって、過去はプロレスの未来への扉を開く鍵になるかもしれない。

私が何のこと言っているのかというと、今はなき"シュートスタイル"のことであり、また、そのスタイルの最大の権化であるthe Union of Wrestling Forces Internationalのことである。そうUWFインターナショナルだ。

"シュート・スタイル"の原型は第一次UWFが前田日明や藤原喜明、ラッシャー木村などによって設立された1984年に登場した。この最初の団体が、このスタイルのために寝技の基礎を築いたことは、その成功のもっともな理由である。しかし、故意の金的蹴り事件やフロント人の経営問題などがあり、第一次UWFは一年強で解散することとなった。新日本プロレスに何人かの選手が雇われて参戦したが、「かんしゃくの虫」(長州力顔面破壊事件)は、前田日明の体内(下半身)に宿ることになった。そして、新生UWFの再出発だ!

この二度目の冒険はスターであった高田延彦の人気もあって、傑出した存在だった佐山聡(タイガーマスク)がいなくても十分に成功することがわかった(第二次UWFの旗揚げ戦は1988年5月12日に後楽園ホールで行われている)。第二次UWFはプロレス史上に残るベストマッチ(高田vs前田戦)を生み出し、そしてまったく新しいスター集団をも生みだした。安生洋二、山崎一夫、ケン・シャムロック、船木誠勝、鈴木みのるなどである。この2回目の試みはその成功にもかかわらず会社の内部問題に苦しみ、1990年12月1日にUWFの神新二社長は全てのレスラーに解雇を言い渡して解散を発表した。そのときの会合はこんな感じだったらしい。

神「オフィスに全員集合してくれ」
全員「どうしたの?」
神「お前もクビ、お前もクビ、そっちもクビ、あ、アンタはクール(残っていい)、でもそっちのお前もクビ」
全員 呆然状態
神「いや待った、お前もやっぱりクビだ」
自分はクールだと思っていた選手は「テメーおんどりゃ、頭カチ割ったろか!」

やはりこんな背後から銃口をつきつけられるような、金的攻撃や解雇劇の後では、あなたは"シュートスタイル"団体においての、どんなチャンスも失われてしまったと思うでしょう。だけど君たち、もしそこでYESと言ってしまったら私がUWFについて書くことがなくなって、これは無意味なコラムになってしまうだろう。実際、この輝かしい混沌の中から、我々は1つどころか4つも大きな団体を得た。

前田日明はRINGSを、船木と鈴木とシャムロックはパンクラスを作り、藤原喜明は藤原組をスタートさせた。そして、4つ目の最も重要な(このコラムの核心でもある)UWFインターナショナルが誕生している。

高田延彦が始めた新団体は消滅した前UWFからの才能のある選手たちを受け継ぎ、故・ルー・テーズからの後見もあった。これこそが"シュートスタイル"の意義が判断される標準(スタンダード)になったわけだ。これまでで最大のU系ブームと新日本プロレスとの伝説的な抗争によって、Uインターは人々の記憶に強く残っている。君たちはRINGSやパンクラスの方が、もっと人気があったと主張するかもしれないが、それらの団体は実際にリアルファイトを提供していた。

私はこれらの団体が"シュートスタイル"プロレスだとは考えていない。Uインターの試合は様式美(プロレスリング)に固執したからこそ意義がある。

今日のプロレス業界は急速に変化している。総合格闘技(MMA)が台頭し、プロレス界の縄張りの大部分を侵略している。日本人がプロレスに味噌汁付き定食を求め始めるようになると、それはWWEのスタイルに行き着く。伝統的な日本マット界はその領域を失っていった。「もっと日本流WWEの興行が見たい」願いは極端な曲がり角にあるが、総合格闘技への要求はそうでもない。すでに混雑しているからだ。

急成長にかまかけて興行の回数を増やしすぎなのに、次々に新たなプロモーションが出現。急激な後押しとともに、問題をかかえることになった。『PRIDE』、パンクラス、『DEEP』、修斗、猪木軍は、その高まる必要に対して充分なだけの興行を開催できるのか? その答えはYESでもあり、NOでもある。

YESという理由には、キミたちの家の玄関で興行を開催できるほどの充分な選手の数と団体があるからだ。問題点はというと、最も多くの総合の興行を開催するパンクラスと修斗が絶大な人気があるわけではないということ。総合格闘技と聞いて名前が出てくるのは『PRIDE』ぐらい。『PRIDE』は総合格闘技にプロレス風味を足したもので、それが格闘技界のリーダーになれた理由でもある。『PRIDE』レベルの大規模な興行を開催し、世界中からトップの戦士を集め続け、一般大衆に充分なコンテンツを供給するということは不可能な芸当であるだろう。日本人は総合格闘技を見たがっているが、あくまでそれにプロレス風味のスパイスを欲していることを明白にしたわけだ。

プロレスの興行と同じペースでリアルファイトをすることは不可能である。しかし、例えそれができないとしても、その次にベストなことはできる。その答えはUWFインターナショナルの中にある。Uインターは総合とプロレスの間にあるギャップを埋めることができる。総合との絡みでスターたちを創りだし、プロレスと総合の両方の人気にも働いてくれる。これら全ての要素を含み、それと同時にプロレスをベースにしたエンターテインメントをも提供しているわけだ。

新生Uインター誕生の可能性は決して手の届かない場所にあるものでない。

田村潔司は"U"を復活させたいという思いをハッキリと様々な場所で公言している。高山善廣が6月23日にさいたまスーパーアリーナで行われた『PRIDE』でドン・フライと闘った時は彼のコーナーにセコンドとして誰が付いていたと思う? Uインターのジャージを着た金原弘光と宮戸優光だよ。ほんの少し前には『紙のプロレス』にUWFスネークピットが台頭しているという記事も掲載されていた。そして今、ZERO-ONEは試合の中で"シュートスタイル"を用いることによって新たなメジャー団体となった。高田、桜庭、高山、田村などはいまだにファンから強い支持を受けているし、永田裕志や小川直也はその"シュートスタイル"から人気を獲得したと言える。

総合格闘技界から新たなスターが飛び込んでくる余地はある。私自身を含め、多くの選手がプロレスに興味があることをすでに公言しているからだ。ゲーリー・グッドリッジや王者であったマーク・コールマンなどが新日本プロレスに参戦したように、何人かの選手はすでにプロレスに足を踏み入れている。

これらの賛同によって、「いつUWFインターナショナルが灰の中から復活し、再びトップ団体にまで駆け上がるのを見ることができるのだろうか?」と思う。日本は"シュートスタイル"が復活するのに機が熟している。また、私はそれが成功するだけではなく、それと同時に新たなプロレスの時代を作り出すこともできるだろうと信じている。それはレスラーたちには言うまでもなく、ファンや団体にとっても両者両得というシチュエーションになるだろう。

「選ばれし者」だけがこの任務をを引き受け実践することができるのだ。

"シュートスタイル"という領域ではUWFインターナショナルに敵う団体はない。世界よ、よく見ていなさい! 新顔がいずれ出てくるから。

「Uインターよ、永遠なれ!」

田村、横綱相撲で美濃輪の浪漫を打ち砕く!!

――今日はですね、9・7『DEEP』美濃輪戦で実に1年11ヶ月振りに勝利を飾った田村さんに、実に1年11ヶ月振りに勝利の感想をお伺い……。

田村 （遮って）もう、いきなりイヤらしい言い方はやめてよ！

――ワハハハ！ マジメな話、あの試合は満足度はどのくらいでしたか？

田村 う〜ん、どうなんだろうね……？ まだ試合のビデオ見てないから、それを見てから最終的な評価が出ると思うんだけど。試合終わった直後の点数は、興行の内容も良かったし、オレ自身も勝ってU―FILEが4連勝したし、80点ぐらいかな。

――80点！ 高得点ですね。

田村 （田村の携帯が鳴る）オッ、ここで山口さん（本誌鬼畜編集長）からメールが入るか。（メールを読みながら）……しかし、ヒドイね、オタクの編集長は。

――何て書いてあるんですか？（笑）。

田村 （メールを読み上げて）『昨日は盛岡、今日は仙台にいるのですが、地方の女の子のスタイルが良くなってきてます。以上。石巻通信』。……石巻通信？

――あ、山口はいまZERO―ONE東北巡業を取材中で、宮城の石巻にいるんですよ。

田村 ああ、そう……。で、どうする、これ？ 取材を邪魔しようとしてんのかね？

――どうするもこうするも、そんなメールより美濃輪戦の話です！（笑）。田村さんはしばらく勝利から遠ざかっていたことで、「ここで負けたら……」みたいな焦りとかはなかったんですか？

田村 焦りはなかったね。野球みたいなもんで、打てるときは打てるし、打てないときは打てないもんだから。自分のなかではそういう意識だったよね。だから、シウバ、サップ戦のときは自分を追い込んでカチカチだったけど、今回はちょっと気を抜いてストレスをあんまり溜めないようにして、肩の力を抜いて良いペースでできたかなと。

9・7DEEP有明コロシアム
U―FILE勢4戦全勝！
田村、再び“ピラミッドの頂点”に!!

赤いパンツの前科者、計画的復権に成功!!

そしてこの男の次なるたくらみは何か？
「U―FILEは
鎖国します」!?
田村潔司

灼熱の格闘技戦争の千秋楽において、美濃輪育久を破り「生き残った」田村潔司であるが、怒濤のスピードで流れが進むマット界である。生存はさらなる困難を極めていくのは明白だ。風雲急が告げる状況のなか、田村潔司が思考する次なる“生存計画”とは？

聞き手／堀江ガンツ
構成／ジャン斉藤
撮影／乾晋也
designed by さおとめの事務所

――闘ってみて、美濃輪選手の印象はいかがでしたか？

田村　美濃輪選手は想像以上だったね……。うん、想像した2倍以上だった。

――2倍ですか（笑）。美濃輪選手が想像以上に感じた上で完勝したということは、やる前はもっと簡単に勝てると思っていたわけですか？

田村　イヤらしい質問だね、ホントに（笑）。どうなんだろうね……。難しいね、難しいよ！　……観てどうだった？

――試合的には田村さんの横綱相撲というか、かなり余裕を感じられた気がしたんですよ。それもイヤらしいぐらい（笑）。

田村　ああ、そう（笑）。

――で、エンディングで田村さんの挨拶を見てたら、何だかリングス無差別王者時代にタイムスリップしたような錯覚をしましたね（笑）。

田村　ハハハハ！　それはオレに光が戻ってきた感じなわけ？（笑）。

――あの頃の田村潔司に一夜にして返り咲いたというか（笑）。かつて田村さんはUインターを辞めて、立場的に乗り込んだ形でリングスに入団しましたよね。そして結果を出して周りを黙らせてトップに君臨したわけじゃないですか？　あのときのシチュエーションと何か重なったんですよね。

田村　それはありがたいことだねえ（笑）。熊久保（元『ゴン格』編集長・通称クマクマンボ）さんにはさ、試合後の控室で「いやあ、中年の星ですねえ」って言われたよ（笑）。

――中年ですか（笑）。

田村　何が中年だよってね（笑）。まあ、なんだかんだで長くはやってるし、それはありがたい話だけどね。

――中年かどうかは別にして、あの一戦で完全に田村さんは蘇ったと思いますよ。

田村　そう？　でもね、格闘技というのは怖いもんで、次でコケるとまた落ちちゃうから。

――一夜して評価やイメージが変わりますか

らね。たとえば、上山選手なんかも実力の割にはファンの間の評価はそれほど高くなかったわけじゃないですか？

田村　上山は地味に強いからね。

――でも、有明でブラジリアン・トップチームの選手に一本勝ちして、一気に若手の期待度ナンバー1的存在になったわけですからね。

田村　うん、それはオレのおかげだね（当然のように）。

――ワハハハ！

田村　なに笑ってごまかしてるんだよ！　…まあ、笑ってごまかしてほしいんだけどさ（笑）。でも、上山は偉いと思うよ。Uインター、キングダムと苦労してんだろうしね。上山は25歳だけど、自分の考えもまとまってるだろうし、それをどう生かしていくかだね。

――田村さん的には上山選手の試合はどうだったんですか？　相手はBTTで打撃が一番凄いと言われていた選手だったわけですけど。

田村　相手の詳しいデータがなかったこともあって、キツかったと思うよ。上山は（『DEEP』ミドル級）チャンピオンだし、U―FILE背負ってるし、ジム生の目もあるし、良い意味でプレッシャーを感じていたと思うよね。だから、よく頑張ったんじゃないかな。

――大久保選手、長南選手も勝って、『DEEP』に出場したU―FILEの選手は全員勝利ですよね。田村さんは、自分が勝ったことより嬉しかったんじゃないですか？

田村　う～ん、でも、白星が続くとオレがコケられないじゃない。活躍するのは嬉しいんだけど、オマエら黒星になれ！　オレだけにオイシイところを持ってこいみたいなね（笑）。

――あ、そんな心境でしたか（笑）。長南選手と大久保選手の試合はどうでしたか？

田村　長南の試合は見てない。見てないというか、見ようとしたら終わっていたから。

――5秒で終わっちゃいましたからね。長南選手は風貌もそうですけど、U―FILEらしかぬタイプですよね？

田村　長南……。どうなんだろうね。

――いま一番、ノってるじゃないですか。

田村　ノってると思うけど……。みんな、オレから何か言われたいんかね？

――言われたいんじゃないですか？

田村　人によっては言われたくないやつもいるじゃん。

――田村さんはどうなんですか？

田村　言われたいときは言われたいし、言われたくないときは言われたくない。

――ワハハハ！　そりゃそうです（笑）。

田村　まあ、長南は自分に厳しいし、人にも厳しいから。正直、彼には基本的なこと以外、教えてないから見て盗んでるんだと思うね。

観客にしっかりと存在感を植えつけたU-FILE勢。次の試合が非常に楽しみだ！　他のU-FILE勢も後に続くか!?

だから、向上心がスゴくあるタイプだね。

――長南選手とは対照的なキャラの大久保選手はどうでしたか？

田村　大久保ちゃんは、もうちょっと力抜いてやっても良かったね。だって、勝ったら思い切りガッツポーズしてたでしょ？　あそこまで追い込まれていたのかなって。

――コーナーに駆け上がって、ある種いっちゃってましたよね（笑）。

田村　そうでしょ？（笑）。こういう言い方すると一宮選手に失礼だけど、相手はバーリ・トゥード初戦なんだから、そこまで追い込まれる選手じゃないだろって。ちゃんとやれば勝てるんだからさ。

――でも、大久保選手は類に見ないキャラクターでブレイクの兆しがありますよね。

田村　『SRS―DX』の大久保のインタビュー、見た？

――見ました（笑）。

田村　最高だよね、アレは（笑）。なぜ松野さんにあそこまで言われて反論しない（笑）。

――遂に「大久保ちゃん」の素顔が公開されちゃいましたね（笑）。大久保選手は、ジムでもあのまんまなんですよね。

田村　ジム生にも慕われてるよ。いま大久保とは身近に接してるというか、オレの周りに付いてもらってるんだけど、ホント、面白い。とにかく極端なんだよね。

――たとえば、どんなエピソードがあるんですか？

田村　こないだもね、「ジム生が帰ったら、必要のない電気は消して」って言ったらさ、ジムの電気を全部消して、真っ暗のなかで洗濯物干してるんだよ。必要のない電気は消せと言ったけど、それじゃ見えないじゃんって（笑）。

――ワハハハ！　暗闇の中で（笑）。でも、大久保選手は基本に忠実ですし、コツコツと強くなるタイプですよね。

田村　だから、応用が効かないとこがあるんだよな。

――誰とやってもそのまんまですからね。カト・クン・リーとやっても変わらないし（笑）。

田村　あ、でも、今回はカト・クン・リーほどは追い込まれてなかったけどね。

――あのときのほうがヤバかったですか（笑）。

田村　スゴイよ！　大久保は「カト・クン・リーは銃の弾をよける」という話を聞いたらさ、メシ喰えなくなって神経性の胃潰瘍になったから（笑）。

――ワハハハ！　そのカト・クン・リーのエピソードは、ウチが大久保選手のインタビューをしたときに教えたんですよ（笑）。

田村　あ、『紙プロ』のせいなんだ。（ここで再び田村の携帯にメールが入る）……また山口さんからメールだよ（笑）。

――またですか（笑）。

田村　「女子高校生のスカートからスラリと見える足が田舎だと可愛く見えるのはなぜでしょう」。……ねぇ、どうする、この編集長？（笑）。

――何をしに行ってるんでしょうねぇ（笑）。

田村　いや、でも、これはそうなんだよ。気持ちはわかる（頷きながら）。

――田村さんも田舎だと女の子が可愛く見えますか（笑）。

田村　……まあまあ、これはプライベートのメールだから、公表しないでください。

――わかりました（笑）。

田村　でも、そう言ってって掲載してね（笑）。

――OKです（笑）。ところで、今回のU―FILE完全勝利は、田村さんの計算があったんじゃないんですか？（笑）。

田村　いや、結果的にだよ（笑）。

――「DEEP有明大会乗っ取り計画」という、田村潔司の計画的犯行だったんじゃないですか？（笑）。

田村　だからね、どうやってそういう計算ができるんだよ！　ないない（笑）。

――そうですか。また田村さんに伺った見方をしてしまいました（笑）。

田村　格闘技はそういうのは難しいから。よく例えるんだけど、『DEEP』という車があるとするじゃない？　車はハンドルやタイヤがあって、それぞれがあって走るよね。今回の有明は素晴らしいデキの良い車だったと思う。真夏の興行戦争で『DEEP』はベンツだったね！

――『DEEP』はベンツですか！

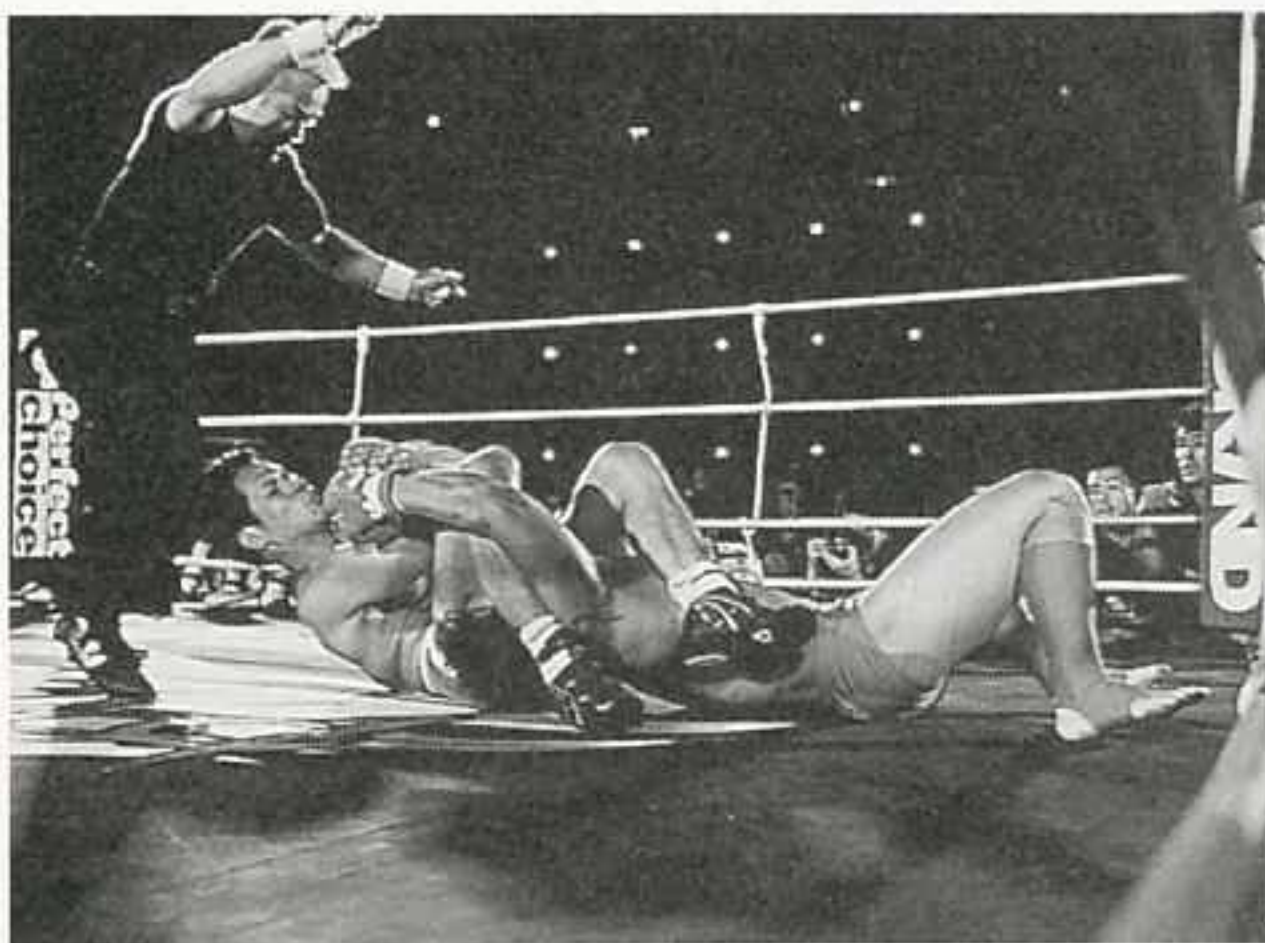
田村　三島選手とかパンクラス選手もそうだし、みんなの力で『DEEP』が盛り上がったと思うんだよね。そんなかで勝てたのは嬉しいよね。

――それで、そろそろ美濃輪戦の話に戻りたいんですけど。試合後、田村さんが勝って挨拶したときにUWFのテーマに切り替わりま

「美濃輪選手は想像以上だった……。想像していた2倍以上だった」

日本刀を携えての入場となった美濃輪。新テーマ曲のイントロはかなり長めで、美濃輪自身がカウントダウンする音声が入っていた。

入場後、四方の観客席へのオジギを済ませ、美濃輪を睨み付けた田村。美濃輪も睨み返すと、会場は異常な興奮に包まれた！

『PRIDE』でも実現不能な日本人対決のゴングが鳴らされると、それまでの試合とは違った緊張感がリング上を支配した。

田村の腕十字が極まったかと思われたが、いままで試合同様、美濃輪は驚異的な粘りで脱出！　美濃輪を極めれる選手はいるのか!?

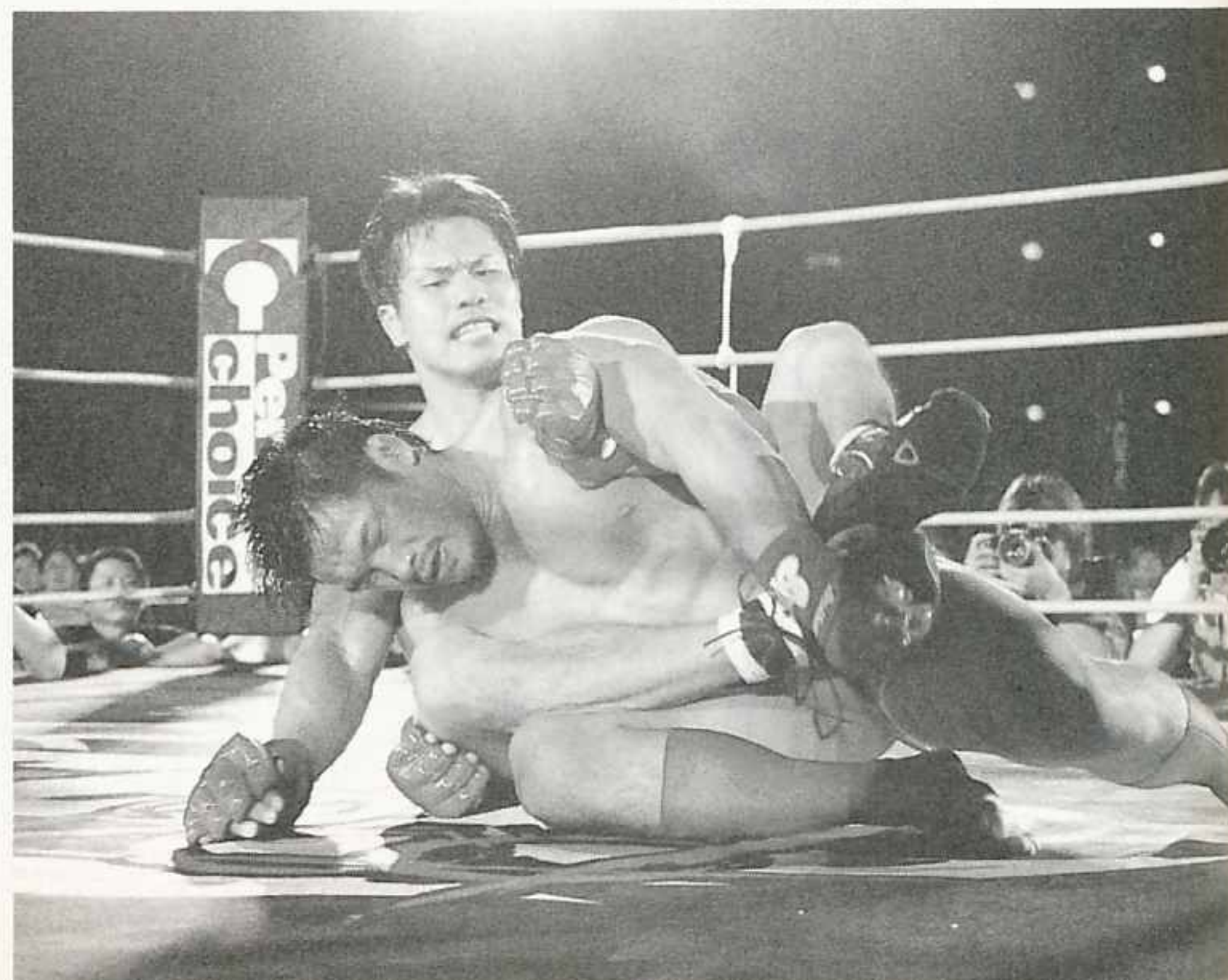
2度のニールキック、ドロップキックを繰り出し田村を慌てさせた美濃輪。意表を突いて、回転式のヒザ十字も敢行した。

スタンドの攻防では、田村〝黄金〟の左ミドルが美濃輪を襲撃！　この伝家の宝刀が、美濃輪のペースを大幅に狂わせた。

鬼形相でバックマウントから攻勢をかける田村だが、美濃輪も必死のディフェンス。熱闘に呼ぶ相応しい試合内容だった。

判定で勝利を挙げた田村が鈴木みのるのもとに挨拶に訪れると、鈴木は田村の口に水を含ませた。会場に流れていたのは「UWFのテーマ」であった。

スタンドでもグラウンドでも圧倒していた田村だが、殴り続ける一方で、試合を止めるようにレフェリーに再三アピールしていた。

『PRIDE』に借りを返したから生き残れるかっていったら……

したよね。あのとき田村さんがイヤな顔をしてたという情報を耳にしたんですけど（笑）。

田村 ハハハ！ いや、あれは嫌な顔じゃなくて、「え？ なんで!?」って顔なの（笑）。

——UWF？ 関係ねえじゃんってことですか（笑）。

田村 う～ん、主催者側が気を使ってくれたんだと思うんだけどね。

——主催者側も〝UWF〟というものを、この試合に思い描いていたと思うんですよね。

田村 全然、知らない（笑）。

——美濃輪選手しても、〝UWF〟を意識していたと思うんですよ。美濃輪選手はショートタイツでレガースを履いてきましたよね。〝UWF〟を体験してない選手ですけど、あの試合で〝UWF〟みたいな試合を復活させようとしてたんじゃないですかね？

田村 それはないんじゃないの？ 向こうだってパンクラスを背負ってるんだろうし。

——いや、あくまで推測ですけどね。田村さんはUWFを意識してはなかったんですか？

田村 う～ん、オレはそういう気は全然なかったよ。

——田村さんは試合前のインタビューで「勝負は度外視。勝ち負けはあまり考えてない」と言っていたんで、自分にスキをつくってまで攻め合う試合を予想していたんですよ。

田村 いや、その発言は、メインとして面白い試合にしなければいけないとも思うし、その分負けのリスクもある。その辺の葛藤から出たんだけどね。

——そうだったんですか。でも、美濃輪さんと田村さんのズレがわかりましたよ。

田村 ズレ？

——主催者側も美濃輪選手も〝UWF〟というかたちにないものを頭の中に求めていたけど、田村さんはUWFを通過した人間として現在の自分で勝負したんだなって。

田村 みんな深いねえ（笑）。深いけど、オレはようわからん。

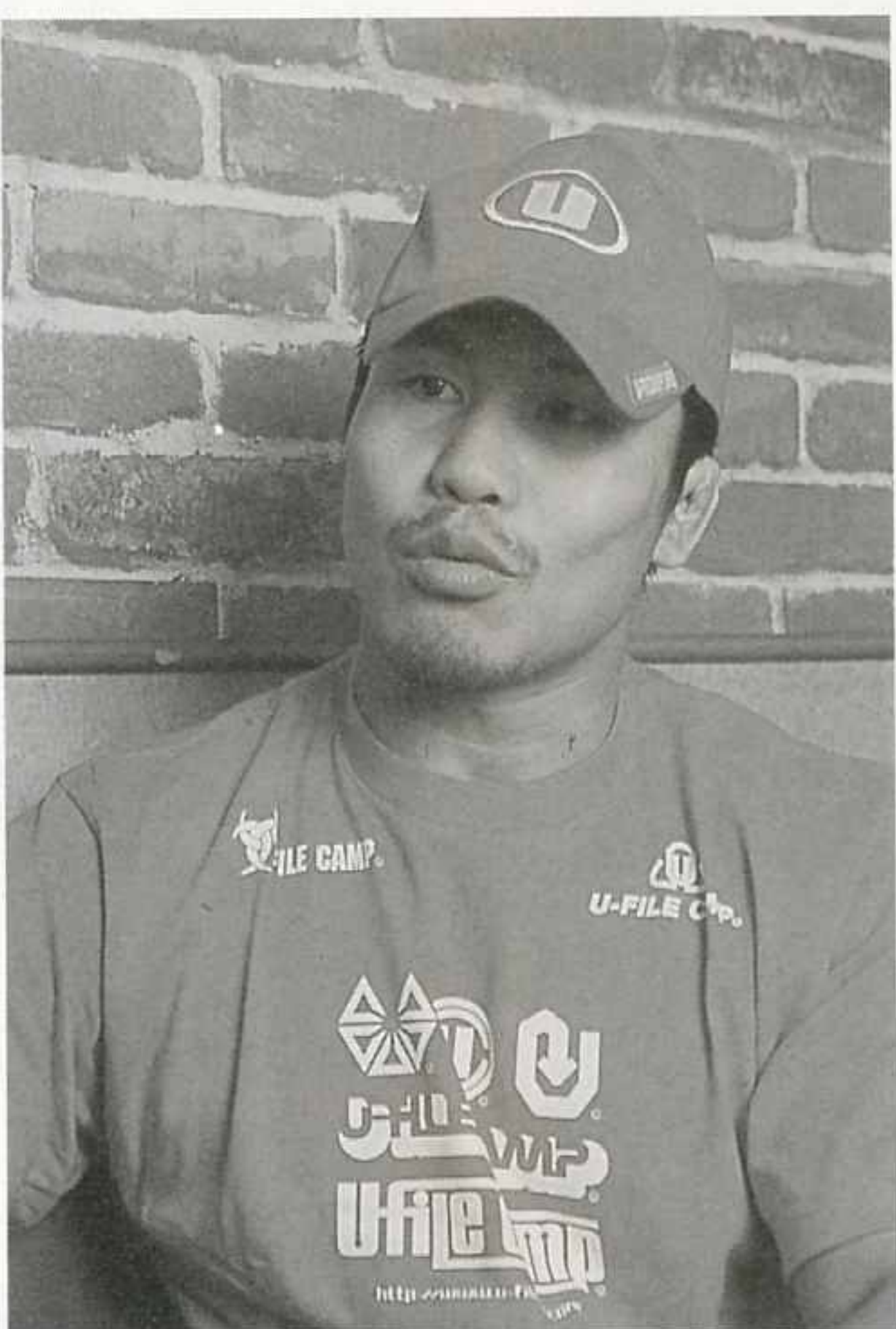
——わかりませんか（笑）。美濃輪選手との、近い将来の再戦は考えてないんですか？

田村 それは美濃輪君がどういう立ち直り方をするかだね。オレは彼の生き様は好きだから。試合でいい結果を出せなくても彼の生き様が見えれば、オレはもう一回やろうと思う。

——再戦の意志はある、と。

田村 けど、いまは終わったばっかだし、お互いに良い意味で出会えるときにだね。逃げるつもりはないけど、もうちょっと時間をおいたほうがいいかなと。まぁ、俺も気分屋だから、ようわからん。

——適当ですねぇ（笑）。

田村 でも、美濃輪君が、オレ個人に対して目を向けて追っかけてくれるのは、そんだけオレに対しての評価があるわけだから、励みにはなるけどね。

——試合後の発言を聞く限りでは、美濃輪選手の中では田村選手の存在は闘う前以上に大きくなってるみたいですけどね。

田村 追っかけられるってのは嬉しいねぇ（笑）。

——ワハハハ！ イヤらしい発言ですね（笑）。ところで、今回、田村さんは『DEEP』に出たことによって、『PRIDE』とタイプの違うステージが出来たじゃないですか？ これって選手としたらかなり有利だと思うんですよね。

田村 いや、『PRIDE』のリングには上がる気はないから。

——ない!?

田村 まあ、頭下げてきたら、考えていいよ。

——ど、どういうことですか!?

田村 クックックッ、いやあ、オレはホント、イヤな男だなあ（笑）。いやいや、オレはそこまで自分を過大評価してない。『PRIDE』からオファーがくる保証はないけど、話がきた時点で考えさせていただきます。

——『PRIDE』には借りがあるわけですから、このままじゃ引き下がれないというのはあるんじゃないですか？

田村 負けたのは自分だから、選手個人としてはそうだよ。でも、オレは生き残ることが勝ちだと思うから。オレが『PRIDE』で借りを返したから生き残れるかっていったらわからない。ちょっと広い範囲で考えないとね。

——広い範囲の考えですか。具体的にどういうことですか？

田村 U—FILEという拠点があるわけだし、その辺の兼ね合いになるね。……いま正直ね、鎖国も考えてるの。

——鎖国!?

田村 どこにでも出ちゃうと、どこでもその選手が見れちゃうわけでしょ。たとえば、田村潔司はここじゃないと見れないとかね。そういう意味の鎖国をしようかなと。

——一つの場に出場を限定すると。

田村 それはU—FILE選手もそうだよね。いま、いろいろ派遣させてもらってるけど、この選手はこっちに専属とか振り分けてもいいわけだからね。

——確かにその方法だと、たまに違うリングに上がったときにインパクトはありますよね。

田村 うん。昔はパンクラスとリングスは交わる可能性はゼロだったわけじゃない。でも、いまはパンクラスとオレが闘うのもあり得る話で、夢じゃないよね。刺激が刺激でなくなってる。

——いまは夢のカードが、夢のカードじゃないですからね。『PRIDE』も、あんだけカード揃えてもイマイチとか言われたり、『Dynamite!』もそうでしたからね。

田村 難しいね、格闘技は。どうしたもんかね……。

——いまは『PRIDE』にしても日本人スター不足ですからね。田村さんにかかる期待は大きいですよ。

田村 そんな『PRIDE』に関わってる奴らとか、『PRIDE』ファンなんか期待してないし、誰だよって感じだよ。オレはオレのファンのためにやってるだけ。

——『PRIDE』ファンの期待に応える気ナシですか！ そういえば、田村さんは前回のインタビューで「年内にもう1試合ぐらいやりたい」と言ってましたけど、それは『PRIDE』の東京ドームを見据えてのことではないんですか？

田村 いやあ、あれは失敗したなと思ってね。『DEEP』が終わって、年内まで3ヶ月あるでしょ？ あと1試合ぐらいできるかと単純に言っただけなんだけどね。

——深い理由はなかったわけですか（笑）。

田村 あ、今日ね、言いたいことがあるんだよ！

——え、何ですか？

Uインターの同窓大会は興味がある。メンバーに入ってるかは疑問だけど

田村　あのさ、プロレスラーで格闘技のことをバカにしてるヤツがいたんだよ。

――ほう。

田村　こないだ『週刊ファイト』に載ってた●●●●のインタビュー読んで、ちょっとカチンときてムカついているんだよね！

――どんな言い方をしてたんですか？

田村　「2、3ヶ月あって調整すればあんなのできる」と言ってると、オレは捉えたんだけどね。

――それは大きく出ましたね（笑）。

田村　オレはプロレスは好きなのよ。悪いこと言ったことないし、プロレスはプロレスであれは一つの技術だろうし、誰でもできることじゃないしね。だけど、やったことないやつらがこっちに文句言うのは格闘技やってる人間にスゴイ失礼だから。……オレがマジにムキになる必要ないのかな？

――いや、それは当然の怒りですよ。2、3ヶ月調整して、やってみろという気持ちになりますよ。

田村　いくらリップサービスでもね、また言ったら今度は名指しするからね。

――まあ、二度と言わないでしょうけど（笑）。

田村　お互いに認めあっていけばいいし、そこがちょっとだけカチンときた。以前もいたけど、何でみんな言ってくるんかね？

――う～ん、最近はなくなってきてるんですけどね。田村さんはプロレス方面はどうでしょう？

田村　オレが出るってこと？　プロレスは好きだしき、やらせてもらいたい気持ちはあるよ。ただ、それが新日本さんになると、まだオレの中でベルリンの壁があるから、実現不可能な夢としてとっておきたい。

――じゃあ、ZERO－ONEはどうですか？　田村さんインタビューのレギュラーである坂田選手が「俺のいまの闘いに兄貴を入れたい。兄貴を引っぱり出す」とコメントしてるんですよ（笑）。

田村　アイツはまた……売名行為はやめろって。いや、オレもこうやって言うから、つけあがるんだ……。いや、やっぱり言わせて！

――ワハハハ！　どうぞ！

田村　こないだアイツから電話が掛かってきたの。それで5分ぐらい話をしてたら「あ、キャッチだ。じゃあね！」って掛けてきたくせに切るんだよ！　ねえ、どう思う!?

――いやあ、良くできた後輩ですね（笑）。

田村　ホントだよ！

――聞きたくないかもしれないですけど、坂田さんは「プロレスではオレが先輩だから、坂田・田村組」とも言ってましたよ（笑）。

コメントブースで「来年、大きなことを考えている」と激白した田村が、今回のインタビューでは……。いや、田村のことだけに『紙プロ』が裏をかかれてる可能性もある。乞うご期待だ！

田村　あ、俺の方が先に入場しなきゃいけないんだ。

――はい（笑）。テーマ曲も坂田さんので、コールも坂田さんがあとです（笑）。

田村　いや、プロレスはセンスだからね！　オレの方がセンスはあるんだから！　オレの方がセンスあるって言っといてよ（笑）。

――わかりました（笑）。それで、坂田さんは「兄貴と組んで、OH砲とやる」のが目標らしいですけど、田村さん的にはどうですか？（笑）。

田村　……怖いな、アイツは（笑）。

――田村さんが小川さんと闘うところは観てみたいですけどね（笑）。もう一つ夢のカードで言うならば、元・UFC王者のジョシュ・バーネットが「タムラとUインタールールでやりたい」と言ってるんですよ。

田村　誰、ジョシュ・バーネットって？

――『DEEP』でUWFのTシャツ着てた選手ですけど……。

田村　ああ、あの人ね。

――彼は日本のプロレスマニアなんですよね。

田村　らしいね。

――彼はUインターについても詳しくて、論文も書いてるんですよ。それで、そのUインターが最近、同窓会大会を開く話を高田さんがしていたんですけど、これについて興味はありますか？

田村　興味はあるよ！　ファンとして！

――あ、ファンとしてですか（笑）。

田村　オレがメンバーに入ってるか疑問だけどね。

――でも、ファンからすれば、Uインターの同窓会大会に田村潔司がいないってのはさみしいですけどね。

田村　それってどこまで話進んでるの？

――まだ、どうなるかもわからないですけど。

田村　よくわからないんじゃ、何とも言えないね。まあ、オレがメンバーに入れてもらえてるかどうか見守っていてよ（笑）。

――わかりました（笑）。それでは最後にですね、田村さんが美濃輪戦の後に言っていた〝来年、考えてる大きいこと〟というのをお伺いしたいんですけど？

田村　来年？　別に何もないね（アッサリと）。

――え、そうなんですか（笑）。

田村　う～ん、あんなに大きく騒がれるとは思わなかった（笑）。

――まあ、ボクも長年、田村さんを見てきますんで、田村さんの「言いたいことがある」は、そんなに期待しないほうがいいのはわかっていたんですけどね（笑）。

田村　嘘もあるからね（笑）。そうだな、来年は大久保のアイアンマンベルト（DDT）に挑戦しようかなと思うぐらいで（笑）。

――田村潔司、久々のベルト姿ですか（笑）。田村さんが挑戦となると、大久保選手は胃潰瘍どころの騒ぎじゃすまないですよ（笑）。とりあえず、U－FILE自主興行でのアイアンマン選手権、楽しみにしてます！（笑）。

【02年9月13日／登戸「Uカラ」にて収録】

9・7有明コロシアム〈観衆8501人〉

構成／ジャン斉藤

DEEP INTERNATIONAL 2004

DEEPミドル級王座 挑戦者求む DEEP middle weight champion

スター誕生の予感！上山のファイトが盛り上がりに火を付けた!!

出場選手全員勝利!! U－FILE CAMPのために鐘がなった!!

○上山龍紀【U-FILE CAMP】（3R3分49秒　腕十字）ギルソン・フェレイラ×【ブラジリアン・トップ・チーム】

ブラジリアン・トップチームvs日本選抜の中堅戦。トップチームながら打撃に秀でたギルソンの右ストレートに試合早々、上山が体勢を崩しゴングが鳴らされた。しかし、上山に動きが見られたため、一転「ノーカウント」とアナウンスされ試合は続行！　ピンチを乗り越えた上山は、積極的に一本を狙うアグレッシブな動きをみせ、会場は大熱狂！　上山はそれに応えるように最終3Rに一本を極め今大会のMVPに値する大活躍となった！「挑戦者求む」の垂れ幕にも万雷の拍手が送られたが、裏に書かれた「冷やし中華始めました」には……。いや、ノー問題です！

大久保、偽造王を破りアイアンマンベルト戴冠！DDTでの防衛戦はあるのか!?

○大久保一樹【U-FILE CAMP】（1R2分41秒　腕十字）一宮章一×（フリー）

『DEEP』ではカト・クン・リーに続いて、未知なるファイターとの対戦となった大久保一樹。DDTのアイアンマンベルトを保持していた一宮を破ったことで、シングル初戴冠。第74代王者となった。これで大久保は24時間、闘いを強いられることになる。とはいってもレフェリーが不在では試合が成立しないルールで「夜は寝られる」と安心した大久保だったが、和田さんが「オレがカウントしてやる」と脅かす一幕も。防衛戦はDDTのリング？　それとも『THE BEST』？

顔も怖いが打撃も怖い！長南、臼田を5秒で撃破!!

○長南亮【U-FILE CAMP】（1R5秒　レフェリーストップ）臼田勝美×【格闘探偵団バトラーツ】

急遽、試合を出場を決まった臼田に長南が武藤ばりのシャイニング・ウィザード（もしくは鶴田のジャンピング・ニーパット）を炸裂！　モロに喰らい倒れ込んだ臼田にそのまま鉄拳を振り降ろし続け、わずか5秒でレフェリーストップの裁定が下された。臼田はこの試合でアゴを骨折。準備期間が短かったのが影響したか……。長南は『DEEP』で3 勝目（富宅飛駈、秋山賢治に勝利）。今後の活躍が期待されるストライカーだ。

修斗トップランカーの実力が爆発！
パンクラスの逆襲はあるのか!?

○三島☆ド根性ノ助【総合格闘技道場コブラ会】
（1R53秒　腕十字）
伊藤崇文×【パンクラスism】

金髪のカツラを被り、口にはバラをくわえ『福岡市ゴジラ』のテーマに乗り登場した三島☆ド根性ノ助。修斗とパンクラスのウエルター級1位同士の対決は、三島が圧倒的な強さを見せつけた試合となった！　三島は打撃で伊藤をコーナーに詰めると組み付きグラウンドへ移行。伊藤のバックを取ると、瞬く間に腕ひしぎ十字固めを極めて秒殺！　悔しさ一杯の伊藤は「もう一回闘ってください」と涙ながらにマイクアピールしたが館内からは大ブーイング。「負けを認めろ！」との汚いヤジに「うるせえ！」と怒鳴りながら、通路、控室と大暴れ…。パンクラスの逆襲はあるか!?　修斗では、王者・五味隆典の挑戦が濃厚とされている三島は、今後も外地での活躍は見られるのか？

三島、伊藤を秒殺!!
完勝とはこういうことだ!!

一宮はグレイシーを偽造！ゴージャスは手負いで登場！IWA有明2丁目劇場

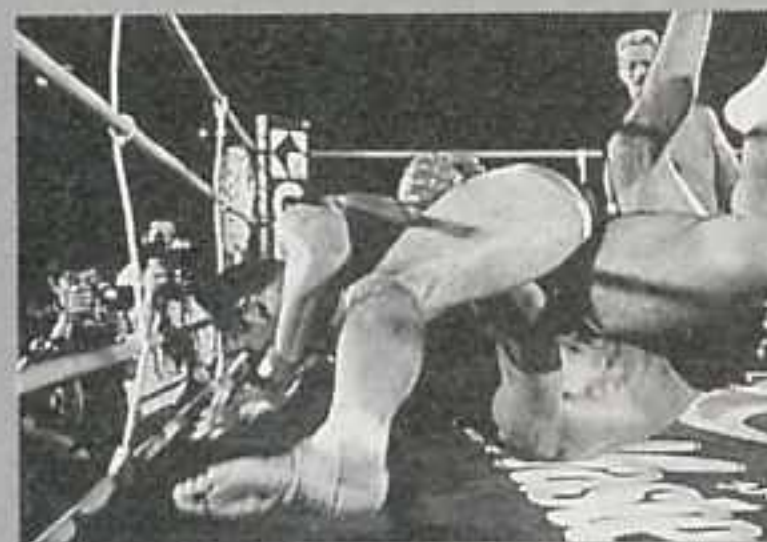
相撲仕込みの押し込みで試合を優位に進ませようした一宮だが、グラウンドに持ち込まれると大久保の独壇場。一宮はアームロックからはなんとか逃れたが、腕ひしぎ十字固めで苦杯を喫した。一宮、もう一丁ッ！

プロレスデビューに備えての練習で、前日に左踵を骨折したゴージャス松野は、医者の制止を振り切り大久保のセコンドに付いた。それもあって一宮との絡みはなかったが、大粒の汗を流しながら自分の役目を果たした。

インパクト大だったグレイシー・トレインのメンバー。先頭は葛西純、和田さん、横井宏孝、カト・クン・リー、そして、なんとジョシュ・バーネットも加わり、一宮をリングに導いた。

注目を集めた一宮の“偽造”はグレイシーだった！　グレイシーのテーマ曲である「ラスト・オブ・モヒカン」で入場するのはもちろん、ヒクソンを意識して頭は丸刈り、柔術着もしっかりパクっていたのだ。

×雷暗暴【フリー】（3R　判定0—2）
ジョン・ホーキ○【ノヴァ・ウニオン】

日本では無敗を誇るホーキに修斗・雷暗暴が挑んだマニア注目の一戦。ポジションをキープしたホーキが、判定で雷暗に勝利した。

×高阪剛　（3R　判定0—3）　アントニオ・ホジェリオ・ノゲイラ○
【チームアライアンス】　【ブラジリアン・トップ・チーム】

吉田秀彦も見守るなか、素晴らしい動きをみせた高阪。上のポジションを取ったノゲイラにTKシザースを連発！　スタンドでも果敢に打ち合いに挑み、豪快な払い腰も繰り出したが、上のポジションを終始キープしたノゲイラの勝利。対抗戦もBTが2—1で勝利。

○ドス・カラスJr　（1R4分5秒　チョークスリーパー）　中野巽耀×
【AAA】　【フリー】

マルコ・ファス道場で練習に励んだドスJr.が、その成果を発揮して中野をチョークで仕留めた。試合後は四方のコーナーからバク宙を披露したJr.だが、一番ハシャいでいたのはドス父！「無我」に出場が決まっている中野だが、VT再登場はあるのか!?

クマクマンボは元気です！
高柳アナと黄金コンビを復活だ！

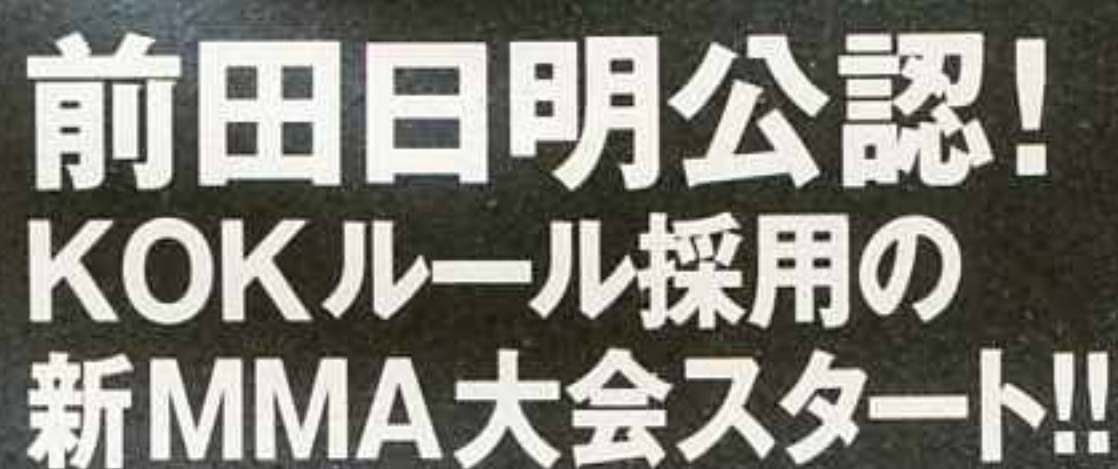
実況席は元・「コン格」熊久保さんと高柳アナという、涙のWOWOWリングス中継コンビ！　ゲストは坂田とリングス色の強い解説席だ。

×矢野卓見（3R　時間切れ0—3）ファビオ・メロ○
【烏合会】　【ブラジリアン・トップチーム】

vsトップチームの先鋒戦に登場したヤノタクだが、スタンドでもグラウンドでもファビオが優勢。打撃で勝負を掛けるファビオに対してすぐさま寝転がるヤノタクは、呆れ気味のファビアが背を向けたところを急襲！　この日、一番の速い動きをみせた。

○滑川康仁　（3R2分37秒　フロントチョーク）　MAX宮沢×
【フリー】　【荒武者】

「もっと殴ってこいよォ！」と、グラウンドで上から殴る滑川を宮沢が挑発！　血塗れのケンカマッチとなった。宮沢はジャーマンを放つなどしたが「プロレスラーの受け身の凄さを見せた」と余裕ある滑川が、終始安定した実力をみせつけた試合となった。

前田日明公認！ KOKルール採用の 新MMA大会スタート!!

早くもこの4人が出場決定!! 日本を代表する技師ここに集う！

“足関十段” 今成正和

“リングスライト級のエース” 小谷直之

“小さなヴォルグ・ハン” 所 英男

“東洋の神秘” 矢野卓見

旧リングススタッフが勢揃い！

11日の会見に出席した、左から古田信幸リングアナウンサー、和田良覚レフェリー、日置幸輝代表、上原譲広報、野呂田秀夫メディカルアドバイザー。まさに“リングス”だ。

THE BATTLE FIELD

11・23（土・祝） ディファ有明 旗揚げ！

ZST

新生“リングス” 夢の続きはここにある！

あの『BATTLE GENESIS』が蘇る!!

リングスの「KOKルール」を採用した総合格闘技新団体が11月23日にディファ有明で旗揚げすることが決定した！

今年2月の活動休止後、この秋にも「第2章」をスタートさせる見通しだったリングスだが、諸般の事情により難航。そんな中、「第2次リングス構想」とは別に、リングスのルールとコンセプトを受け継いだ新格闘技イベントがスタートすることとなった。それが『ZST（ゼスト）』である。

『ZST』は前田総帥こそ直接関わっていないものの、レフェリー、リングアナ、そしてメディカル・アドバイザーに至るまで旧リングスをそのまま踏襲。スタッフもリングスで前田総帥のマネージャー的役割もはたしていた上原氏が名を連ねており、あのリングス独特の“空間”が再現されそうだ。

注目の中身は、リングスの若手・中軽量級選手中心の大会『バトルジェネシス』のコンセプトを受け継ぐ形で行われる模様。選手も『バトジェネ』で活躍した小谷直之、矢野卓見、所英男らが中心となることがすでに決定。旧リングス・ジャパン勢は現在他の格闘技・プロレス団体と契約を結んでいる選手が多く、旗揚げ戦への参戦は難しそうだが、外国人選手に関しては、すでに前田日明代表の許可を得ており、リングス・ネットワーク各国の選手が参戦を予定している。

ロシアン・トップチームとして『PRIDE』と契約を結んだリングス・ロシア勢の参戦は難しいとしても、ライト級王国と噂されるリングス・リトアニア勢や、クリストファー・ヘイズマン率いるリングス・オーストラリア、リー・ハスデルのリングス・イギリスからの選手が再び見られるのは朗報だ。

また、今年3月に開催が予定されていながら、2月の活動休止により流れてしまった幻の『ライト級KOKトーナメント』もこの『ZST』でゆくゆくは実現しそう。このトーナメントは前出の上原氏がリングス時代にプランニングし動いていた企画であり、まさに「夢の続き」が『ZST』で見れるわけだ。

代表の日置氏もリングスをサポートしてきた人物であるという『ZST』。ソフト面でリングスを復活させ、KOKルールならではの、スピーディーでテクニカルな試合が再び見られるのは実に楽しみだ。チケットは9月28日より発売。対戦カードは決定次第発表される模様だ。

軽量級王国リングス リトアニア勢参戦決定！

THE BATTLE FIELD
『ZST』旗揚げ大会
11月23日（土・祝）
ディファ有明（17:00）

［入場料金］

VIP（最前列／ドリンク付）	¥12,000
SRS（2列目）	¥8,000
S席	¥6,000
A席	¥4,000
自由席	¥3,000

9月28日（土）午前10時より一斉発売

お問い合わせ

『ZST』事務局 03-5321-9595

今後の日程

2003年	2月	ディファ有明
	5月	ディファ有明
	8月	都内にて開催

オフィシャルホームページ

URL http://www.zst.jp/

（協賛／協力ジム） 鳥合会 ストライプル チーム・アライアンス／Gスクエア チームPOD パルテノン ロデオスタイル SKアブソリュート STAND TEAM ROKEN U-FILE CAMP.com WKネットワーク

紙のプロレス RADICAL

054
CONTENTS

Cover Model : Antonio Rodorigo Nogueira

015

027

081

『Dynamite!』(8.28)、新日&全日武道館3連戦(8.29 8.30 8.31)、『DEEP』(9.7)、ZERO-ONE9月シリーズ

ん〜っ『Dynamite!』以後のマット界大総括&大展望座談会ッ!

強烈なインパクトを残した日本最大の格闘技イベント『Dynamite!』の出現によって、マット界の今後はどうなってしまうのだろうか? この厳しい時代を読み解く鍵は、この座談会を読めば手に入る! せ〜のっ、ダイナマイッ!

構成/スモーノブ

designed by matsu(Two three)

（『Dynamite!』は）格闘技のイベントでは文句なく史上最高でしょう（山口）

■座談会出席者■
山口日昇（本誌鬼畜編集長）
吉田豪（本誌スーパーバイザー）
スモーノブ（営業力士）
堀江ガンツ（本誌鬼軍曹）
ささきい（本誌・女）

山口　（かったるそうに）今日は何？　俺、ZERO―ONE地方巡業の取材で盛岡、石巻って行ってきたんだけど、なぜか向こうで『週刊プロレス』の佐藤正行・大編集長と2夜連続で飲んじゃってさぁ……。

ノブ　あ、佐藤編集長と仲がいいんですか？

山口　ぜ〜んぜん（キッパリ）。1年に2〜3回、地方で酒席を共にするくらいだね。……っていうか、初めてしゃべったのは1年前くらいだもん。で、あの男は暗いから飲ませようと思ってイッキ（飲み）やってたらこっちも飲み過ぎて……ゲ、ゲボッ！

ノブ　だっ、大丈夫ですか？

山口　（力なく）いや、ダメ。……そういうわけだから、（唐突に三方に向かって指をさしながら）「ジャッジ？　ジャッジ？　ジャッジ？　レディ〜、ダイナマイッ！」。ってことで、とっととやろう！

ノブ　（心底あきれながら）さっそく使ってるですね（苦笑）。

山口　俺は最近キャバクラ行っても、こればっかりやってるからね。これでイッキやったり（笑）。

豪　会長（山口日昇のアダ名）的には、この夏の興行ラッシュで何が一番面白かったんですか？

山口　ん〜……、やっぱりZERO―ONEの一連の地方大会（笑）。

豪　それ、興行戦争とは全然関係ないですよ！　破壊王の失言で、石井館長とは戦争になりかけたみたいですけど（笑）。

山口　ああ、『週プロ』で佐藤大編集長が何も考えずに載せちゃった、呼び捨て事件ね（笑）。しかし、ZERO―ONEの勢いは面白いよ。

豪　だけど、この前の『生ゴン』で会長は「『Dynamite!』を観た直後に新日や全日の武道館大会を観るのは、高級なキャバクラで美女に囲まれてお酒を飲んだ後に、自分の古女房が待つ家に帰るようなもんだ」って純プロレス批判を口にしてましたよね。

山口　……あれはZERO―ONEとは関係ないし、あくまでも比喩。別に、ウチの家庭の話をしてるわけじゃないからね（笑）。

ノブ　会長が家に帰ると、魔界倶楽部が出てくるってわけじゃないんですか（笑）。

山口　……お前、調子に乗んなよ（睨む）。

ノブ　（無視して）しかし、「レディ〜、ダイナマイッ！」が会長の口癖になるくらい、『Dynamite!』は立派なイベントだったってことですよね。

豪　壮大なお祭り感覚だったから良かったよ。

山口　国立競技場はいいね！　何よりも会社から歩いて行ける距離っていうのが嬉しい！　いろんな団体も、どんどん国立競技場でやってほしい（笑）。せめて代々木第二とかさ。

豪　ZERO―ONEでなら地方にでも行くのに、どうしてそういうワガママ言い出すんですかねぇ（笑）。

ノブ　実際、『Dynamite!』は試合も素晴らしかったし、猪木さんが空から降ってくるというビッグ・サプライズもあって、盛りだくさんだったじゃないですか。

山口　いや、『Dynamite!』は文句なく面白かったよ！　格闘技のイベントとしては、文句なく史上最高でしょう。

豪　イベントというか、もはや夏祭りですよ。記者席で寝転がって猪木さんが空から降ってくるのを眺めるのが、あんなに気持ちいいイベントってないですからねぇ（しみじみと）。久々に、終わった後にボヤキも何も全く出てこない興行でしたよ。

山口　ただ、俺の中には「あれくらい面白くなきゃウソだ」っていう思いはあるんだよね。あれだけお金をかけて、膨大な数の人間が動いて、もの凄いスケールで回転してたわけだから、あれくらい面白くなきゃ浮かばれないよ。ある意味で何年に1回の別格なもんだね。

豪　つまり、『DEEP』や古女房と比較するのが間違いだと（笑）。

山口　あれを現場で見ちゃったら、求心力うんぬんの話なんて、それこそ関係ない世界だってことを実感したよ。それぐらい『Dynamite!』周辺、つまりK―1や『PRIDE』は遠心力を発揮できる世界に到達したって感じだね。K―1が始まって10年、『PRIDE』が5年？　従来の業界とは違うビジネス構造を生み出した両者が合体して、15年分の集大成を見せたって感じだった。

豪　そこに巻き込まれた他団体は、とんでもない被害に遭ったわけですけど。

山口　でも、俺は『DEEP』は結構入ったほうだと思うけどね。

ガンツ　僕も『DEEP』が巻き込まれたとは思わないですね。たぶん、格闘技ファンというのは、あれぐらいの人数しかいないということですよ（笑）。

豪　夢のない話だなあ（笑）。あれが1年前なら有明コロシアムも満員にできたんじゃないかと思うよ。

ノブ　巻き込まれたという表現をするなら、『Dynamite!』直後の新日や全日の武道館大会の方じゃないですか？

山口　どっちも思ったよりは入ってなかった古女房の方ね（笑）。さ、それよりみんなで『Dynamite!』の大会を総括してよ。

豪　ボクが許せなかったのは、とにかく吉田（秀彦）ですよ！

山口　ん、どうして？

豪　強いのはわかるけど、まったくプロとしてお話にならないじゃないですか。柔術対柔道ってアングルなのに、セコンドが326のTシャツを着て、シャムシェイドの曲で入場してくるし（笑）。興味もない再戦アングルに繋がりそうなフイニッシュも含めて、（アントニオ・ホドリゴ・）ノゲイラvsボブ・サップ戦の感動をすべて消された思いで一杯ですよ！

山口　でも、吉田は文句なくポテ

9万1107人という日本マット界史上最大の観衆動員を達成した国立競技場（上）。TV視聴率も夕方の時間帯としては驚異的な10・2％を記録。これを上回る規模の大会は北朝鮮で19万人を動員した「平和の祭典」のみ（下）だが、単純な比較はできない。

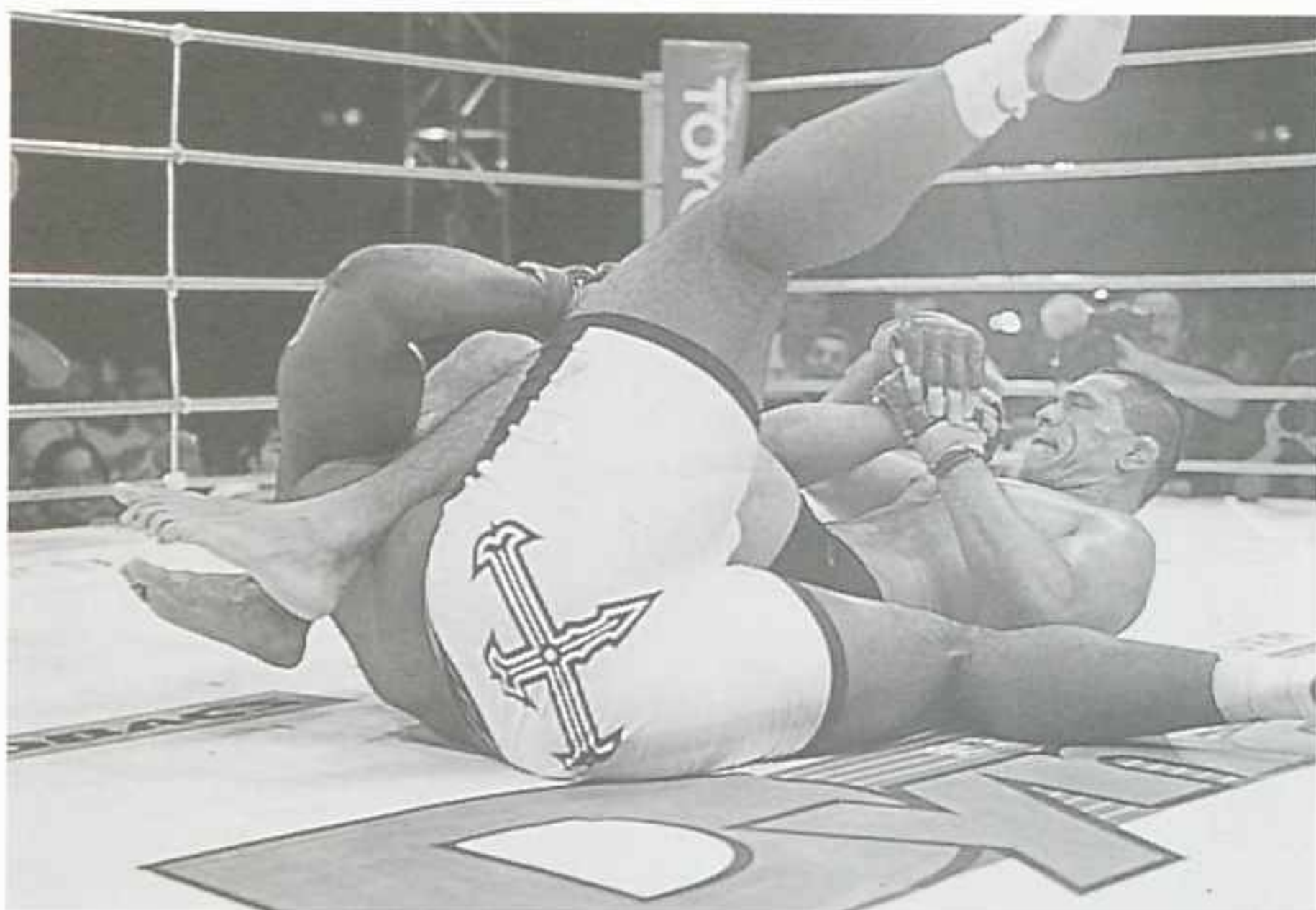
吉田よりもノゲイラに感動したのは“潰しのマッチメイク”だから（ガンツ）

内容も全然違いましたよね？ 僕の幻想の中にあった前田（日明）vsアンドレ（・ザ・ジャイアント）戦をノゲイラvsサップ戦が上回ってしまいましたよ！

山口 ホント、ノゲイラの試合はナチュラル・ボーン・プロレスなんだよな（笑）。

豪 試合を観て泣きそうになったのは、ホントに久々でしたよね。チヨロなんか本当に泣いてたし（笑）。

山口 あと、国立競技場で印象的だったのは、『ゴング』のGK（金沢編集長）と『週プロ』の佐藤大編集長が奇しくも同じことを言ってたことなんだ。2人とスレ違って軽く立ち話をしたんだけど、なぜか2人とも「北朝鮮での19万人のイベント（95年の『平和の祭典』）を観ちゃうと、国立競技場も小さいよね」って言うんだよね。

豪 佐藤ちゃんが『週プロ』（NO.1109）の巻頭記事で書いていた、「国立競技場を埋めた9万1107人（主催者発表）の大観衆を見ても、私は素直に喜べなかった。それはジェラシーなのか、コンプレックスなのか、それとも悔しさなのか。いずれにしてもプロレスファンとしての私の血が『Dynamite!』の大観衆を認めるわけにはいかなかった」っていうジェラシーとコンプレックス丸出しの文章は、本音だったんですね（笑）。

山口 プロレス側の人間として、彼らがそう言わなきゃいけない気持ちもわかるけどね。ただ、GKは役割としてそういうことを言うんだろうけど、佐藤ちゃんはそういう役割というか立場から言ってない気がするんだよ。文面からして素直じゃない（笑）。

豪 そもそも北朝鮮のイベントは興行じゃないんですよ（笑）。

山口 あれは「平和の祭典」だからね。プロレスがなかったら俺たちが北朝鮮に行くなんてことは絶対なかったわけだし、行ったって拉致されてたよ（笑）。だから猪木さんは凄いってことなんだけど、北朝鮮のイベントと『Dynamite!』の根本的な違いは何かというと、営利目的かどうかでしょ。

豪 共通点なんか、そこに猪木さんがいるってだけですからね（笑）。

山口 つまり『Dynamite!』は、この業界の営利目的のイベントとしての最高峰を示したのは間違いない。コストが莫大だから、儲かったか儲からないかはわからないけどね。だから、石井館長がこれからホントに猪木超えをできるかどうかは、猪木さんの口癖である「利害を超越して」っていう部分をクリアできるかどうかだと思うんだよ。俺は今後、石井館長にはそういうことをやってほしい！ 北朝鮮のイベントなんてのは天文学的な大赤字だからね（笑）。

豪 つまり、石井館長にも猪木さんみたいに失敗を繰り返してどんどん借財を増やしてほしいってことですか？（笑）。

山口 そういうわけじゃないけど、そんな館長も見てみたいじゃない（笑）。だけど、あれだけのイベントに対して佐藤大編集長は、凄く狭いレベルで「素直に喜べなかった」とか書いてるでしょ。あれが問題なんだよ。

豪 それに比べてGKは、誌面（NO.935）だと「国立競技場vs日本武道館3連戦は、『Dynamite!』の圧勝と言っていい」ってキッチリ書いてますからね。

山口 へぇ。さすがGK！ それに比べて佐藤大編集長はさっき言ってたのと同じ号の編集後記で、「ZERO―ONEは、いま一番居心地のよいプロレス空間。そこにはプロレスファンの求めるものがある。それは真心のプロレス」とか書いてるんだよ！ 見てみ、このボキャブラリーのなさ！（笑）。

豪 そんなこと言われたら、ZERO―ONEに行く気すらもなくなりますよね（笑）。

山口 こういうことを言ってるから、プロレスはどんどんダメになるんだよ。「ZERO―ONEには血の通った温かいものがあるけれども、『Dynamite!』は血が通ってない冷たい空間だ」って言いたいのかね？ とどのつまりは、自分の居心地が悪かったってことを言いたいだけなんだろうけど（笑）。

豪 まあ、破壊王インタビューの件で石井館長に怒られて、『週プロ』で1ページ丸々の謝罪文を出したばっかりでしたからね（笑）。それに比べたら、ZERO―ONEの会場は居心地が良かった、と。

山口 まぁ、ZERO―ONEでもあの人に居場所があるとも思えないけどね（笑）。とにかく「居場所がない」ってことを言いたいんだったら素直にそう書けばいいのに、無邪気さがなさすぎるよ。酒飲んでるときだけは無邪気なのに（笑）。だって「プロレス以外に好きなものはなに？」って聞いたら佐藤大

8・17K-1ラスベガス大会でマイク・ベルナルドをKOで破った勢いそのままにGGが圧倒的な勝利！ 差し合いを制した後、投げて倒して上に乗って顔面にパンチを連発！ さすがのヴァン・ダムもタップ。3日前にオファーが来たというのに、試合を受けてしまうのだからタフというか能天気というか……。

○ゲーリー・グッドリッジ
［1R3分59秒 TKO勝ち］
ロイド・ヴァン・ダム●

K-1王者とパンクラス王者の激突となったこの試合。打撃出身のシュルトといえども、K-1ルールで闘い慣れたホーストが有利と思われた。しかし、体調不十分のホーストは圧倒的な体格差とシュルトの鋭いヒザ蹴りに苦しめられ、引き分けに持ち込むのが精一杯。「勝ったと思った」とはシュルトの試合後のコメント。

▲アーネスト・ホースト
［3R 引き分け］
セーム・シュルト▲

この試合もK-1ルールで行われたのだが、バンナの猛攻にフライはなす術なくコーナーに追い詰められてKO負け。格闘技からの引退を示唆していたフライだが、「負けたまま引退するのは嫌」と語り、今後へのモチベーションが再点火した模様。そしてバンナも安田忠夫との『PRIDE』ルールでの再戦をアピール。

○ジェロム・レ・バンナ
［1R1分30秒 KO］
ドン・フライ●

ンシャルは高いよ。確かにミス・ジャッジうんぬんの問題はあるけど、〝ホイスはあの態勢からどうやって勝つつもりだったの？〟〝あそこから勝ち目はないでしょ？〟とも思うし。あれだけお膳立てされた舞台に出てきて、そのプレッシャーも吹き飛ばした吉田の器量は見えたでしょ。それは「柔道の金メダリストはやっぱり凄い」っていうことより、吉田秀彦という、人前に出る人間としての器量っていうかさ。お膳立てされて、そのお膳立て通りにできるっていうのは、実は凄いことだと思うけどな。

豪　でも、あそこまでお膳立てされまくって、あの試合はないだろうと思うんですよ。

ガンツ　僕は吉田自身の実力は凄いと思うんですけど、周囲が吉田を勝たせる方向にどんどん流れを作っていった部分が……。吉田は104キロですけど、ホイスなんて、もともとは80キロしかない人ですからね（笑）。それにジャケット・マッチをホイスが要求したというアングルもおかしいんですよ。ホイス自身は「あれ（ジャケット・マッチ）でやってくれと言われたからやったまでだ」って、今回の取材で明言してましたから。

豪　やっぱりホリオンというブレーンがいなくなったから、ホイス周辺のアングルが全然うまく組めてなかったんですよね。来日早々、勝敗予想を聞かれたエリオが「ドローじゃ」って答えちゃったりで、全然盛り上げに加担してなかったでしょ（笑）。

ノブ　ただ、試合も発言もホイスよりは吉田の方が一枚上手で、あまりアマチュア臭さは感じさせませんでしたよね。

山口　あの落ち着き方とか見ても、プロとしての潜在能力の高さは漂ってきたけどね。俺は吉田秀彦に関しては、注目度っていう意味では、いいスタートを切ったという感じだなぁ。裁定に対しての賛否両論も含めて、これからどうなるか？という興味を繋いだわけだから。

豪　確かに、あの試合だけでジャッジはできないですけどね。ただ、これから桜庭（和志）と同じエースとしての重圧を受けて、同じだけの取材ラッシュを受けたりした時に吉田がどうなるのかって興味はありますよ。

山口　吉田の出現を「新しいスポーツヒーローが出てきた」と世間が捉えてるのは間違いないでしょ？

豪　う〜ん、小川（直也）vs（マット・）ガファリ戦が普通にスポーツ紙の一面を取れるのと同じで、やっぱりそれは単なる過去の名声だけでしかないと思うんですよ。会場の反応を見ても、やっぱりゲート脇の仕込みで呼ばれた観客の声援が中心だったわけだし。

ささきぃ　それに、私にはステレオタイプなヒーローに見えるんですよね。私は試合が決まったときから、ずっとホイスを応援してましたから、「ああ、勝たれちゃったかぁ……」という感じです（笑）。

山口　ガハハハハ！　ホイスを応援したいという気持ちはわかる（笑）。

ささきぃ　ホイスに負けて、悔しがってる吉田にだったら乗れるような気がしたんですけどね。

山口　凄いエンジンを積んだスポーツカーはキミらには興味ないだろうけど、一般的には憧れなんだよ。そういえば、誰かが「吉田にはプロの世界でずっとやっていこうという気持ちが見えない」って噛みついてなかった？

豪　ああ、それはターザン（山本）ですよ。ボクとターザンは反・吉田秀彦同盟ですからね。結局、9月3日生まれで30歳過ぎの「吉田」にロクなヤツがいないっていうのが、ボクの持論なんですよ。

山口　ああ、9月3日生まれのキミもロクなヤツじゃないっていう自戒を込めたわけね（笑）。

ガンツ　それにしても、「吉田が『Dynamite!』のMVPだ」とか「感動をありがとう！」みたいな雰囲気だけは、よくわからないんですよね。

ささきぃ　MVPをあげる気にはならないですけど、新人賞とかだったらいいですね。

山口　いや、どう考えても、あの日のMVPは猪木さんだろ！（笑）。

豪　あの日のスカイダイビングの面白さは、現場で見ないと伝わらないですよねぇ（笑）。

山口　空から猪木さんが降ってきたときは、何事かと思ったもんなぁ（笑）。猪木さんが江頭2：50化した瞬間だよ。俺の中の『Dynamite!』は、あそこからスタートしたから（笑）。

豪　やっぱり、商売敵の『LEGEND』を単なるアングルにしちゃったのが凄いなと思うんですよ。しかも、あそこに関わっていた猪木さんやノゲイラを引っ張り出して、とんでもないことをやらせたわけですからね。

山口　そこだよね。『Dynamite!』で火を着けたのって、じつは猪木さんとノゲイラという『LEGEND』に出た、2人のアントニオなんだよな。（笑）。

ガンツ　あの2人にとって今回の『Dynamite!』は、『LEGEND』に行っちゃった罰ゲームみたいなものじゃないですか？空から飛ばされたり、サップみたいなデカイのと当てられたり（笑）。

豪　そう！　だからこそ、巨大なビジョンに猪木さんの強張った表情のアップを映すっていう、『元気が出るTV』のジェット浪越みたいな扱いにされちゃったんだよ（笑）。

ガンツ　僕が吉田よりもノゲイラに感動してしまったのは、あれがノゲイラ潰しのマッチメイクだったからなんですよ。ノゲイラの試合は潰す意図がハッキリしているのに対して、吉田の試合には担ごうとする仕掛けがいろいろ見えましたからね。それを跳ね返したノゲイラの勝利と、お膳立ての中で小さくまとめた吉田の勝利じゃ、これは全く比較にならないですよ！　試合

ん〜ダイナマイッ！ PETIT REVIEW

○ジェレル・ヴェネチアン ［3R 判定勝ち］ 松井大二郎●

キックボクシング出身のヴェネチアンは松井よりも9キロ重く、総合の練習も積んでいる厄介な相手だったが……松井は果敢なタックルで攻め込むものの勝負を決められない。結果的には打撃に活路を見出したヴェネチアンが3R闘いきって判定勝利。ただ判定は2－1で、どちらが勝ってもおかしくない接戦だった。

編集長、なんて答えたと思う?
ノブ （興味なさそうに）想像もつきませんね。
山口 ポツリと「セックス」だって（笑）。最後は必ず血液型と星座の話だし。高校生と話してる気分になるよ（笑）。そんな無邪気でカワイイ面があるのに、斜に構えなきゃって型にハマってるんだよ。
豪 そこが、宍倉顧問との大きな違いですよね（笑）。『Dynamite!』を認めた上で反発するんならいいですけど、変に目に入らないようにしてるからおかしなことになってると思うんですよ。その点、武藤（敬司）なんかは『Dynamite!』を認めた上で闘おうとしてるじゃないですか。
ガンツ そう、武藤はいいんですよ!「あの観客動員は凄いし、ノゲイラvsサップをプロレスでやるのは大変だよ。でも、ひとつ思ったのは、猪木さんが空から降りてきた場所にもうひとつリングを作って試合をやらせてもらえたら、『Dynamite!』よりも盛り上げる自信はあるけどね」って言ってましたからね。
山口 ビバ、武藤敬司!（笑）。だから佐藤大編集長もさ、武藤を見習ってもっと目を見開いて物事を真剣に見てほしいよね。だいたい何だよ、「真心のプロレス」って?
豪 「格闘技は殺伐としてるけど、プロレスには真心や愛がある」みたいなことを言い出したら、もうおしまいですよね。
山口 "真心"とか"暖かさ"とか"感動"とか"愛"とか、そういう肝心な概念を、安っぽい言葉として使いだしたら表現としては死んだも同然だっていうことを、プロレス村の人たちは気づかないし、見て見ぬフリをするよねぇ。あと、ターザンも『Dynamite!』を見て「プロレスは死んだ」とかいうことを最近になって盛んに言ってるでしょ。
ノブ ウチは何年も前から言ってますよね。『PRIDE』を「新プロレス」って言ったのは何年も前の話だし。
豪 「プロレス以前に、お前がすでに死んでいる!」って、ジョシュ・バーネットに言われるよ（笑）。
山口 むしろ『Dynamite!』を観た俺の感想は逆で、「総合格闘技は死んだ」なんだよね。ここで言う「総合格闘技」っていうのは、「競技としての総合格闘技」という意味だけど。
ノブ そ、総合が死にましたか!?
山口 いや、別に総合を貶める意味とか、総合がなくなるっていう意味で言ってるわけじゃないよ。「プロレスは死んだ」という表現になぞればの話であって。だって、ノゲイラvsサップなんて普通の総合格闘技ではあり得ないマッチメイクだし、吉田vsホイスだって、あれほどバーリ・トゥードを売りにしていた『PRIDE』が運営してる大会なのに、あの試合のために違うルールを設定してるでしょ? 桜庭vsミルコも体重差はある。フライvsバンナも平等な土俵での勝負じゃない。だから『Dynamite!』って、テーマのあるガチンコがメインの大会だったわけだよ。
豪 いわゆるスポーツライクな総合格闘技じゃなくて、興行重視だったわけですよね。
山口 うん。今後、競技としての総合格闘技は、当分はパンクラスとか修斗とか『DEEP』みたいに小さな世界で真面目にやっていくしか道はないんじゃないかな?
豪 じゃあ、今後の総合格闘技は底値安定というか、インディープロレス団体と一緒で趣味の世界になる……って言い過ぎですかね?
山口 いや、一部のインディーなんかは早く潰れりゃいいんだよ（キッパリ）。
豪 それこそ言い過ぎですよ!
山口 趣味でやってるとこなんて、どうだっていいから。それよりも結局、大衆が求めてるのは堀辺（正史）先生が言うところの「不平等の世界」でしょ?（P6〜参照）。そういう時代が、もう到来してるんだよ。体重差60キロの試合がどれくらい危険かなんて、一般の人はまったく意に介してないんだから。
ノブ WWEもまさに不平等の世界ですよね。ベビーフェイスとヒールの関係は、いつも不平等ですから。
山口 より多くの人に届かせようとしたら、そういう残酷な局面を克服していかなければならないってことが、今回の『Dynamite!』でハッキリ提示されたよね。だから、俺はターザンみたいに「プロレスが死んだ」とは思わないんだよ。

ZERO-ONEが面白いのは"格の世界"を復活させたから!!（山口）

前号で言った「プロレス回帰現象」というのは、総合に出てた高山（善廣）、藤田（和之）、安田（忠夫）、TK（髙阪剛）、村上（和成）、柳澤（龍志）が、純プロレスに取り組み始めたって意味だけじゃないからね。ノゲイラvsサップや吉田vsホイスとか、全てを含んでの話であってさ。つまり、大衆が潜在的に求めてるのは"不平等な世界"であり、実はそれがプロレスの幻想を引っ張ってきた大きな要因なんだよね。
豪 でも、やっぱり最近は総合に出たプロレスラーが、ガチンコのしんどさとプロレスの奥深さを知ってプロレスに帰ってくるという道ができたのは大きいですよね。
山口 月並みな言い方だけど、ガチンコを継続的に続けていくのは至難の業だから。プロレスはプロレスでしんどいものだけどね。だから普段は、修斗とかパンクラスとかが、それぞれの競技の底辺を広げながら、小さな世界でしっかり活動していく。K—1や『PRIDE』だって、『Dynamite!』の後は小さく見えてきちゃうでしょ? プロレスも含めて、それぞれはそれぞれで活動して、で、年に1〜2回だけ、『Dynamite!』みたいな、テーマのある大きな舞台でやってくれれば十分だと思うよ。
豪 最終的には、生前のジャンボ鶴田が言ってた「地方巡業は花相撲みたいな感じで、年に何回かガチンコでやればいいんじゃない?」みたいな理論に落ち着くんですね（笑）。
山口 さすがジャンボは大学院まで行ったことはあるね。先見の明があるよ（笑）。
豪 でも、有明コロシアムで大会をやってる『DEEP』を「小さな世界」と言っちゃうのも失礼な話なんですけどね（笑）。
山口 だって、場所の問題だけじゃなく、ビジネス構造そのものが『Dynamite!』を見ちゃったら小さく見えちゃうじゃん（笑）。だけど、小さな世界でいいんだよ。小さな世界に誇りを持ちながら、その小さな世界から一歩踏み出すことも忘れなければいいんだから。俺はZERO—ONEを見てても、そういうチャンスは全然あると思うからね。たとえ小さな世界でも"地熱"があるかどうかが問題だから。
ガンツ それに、すべての団体がドームや国立を目指す必要はないんですよ! そういう意味で、こないだの『DEEP』の会場の雰囲気は良かったなぁ（腕を組んでしみじみと）。ホントに好きな人ばっかりで、会場の平均年齢も高めで。
豪 そうかぁ? ああいう会場の雰囲気を「良かったなぁ」ってし

みじみ言うのは、リングス好きのガンツぐらいだよ（笑）。

山口　ガンツがああいう場を好きなのは感覚的にはわかるけど、それは言語化するとどういうこと？

豪　できるわけないですよ（笑）。ただ単に、リングス勢がいっぱい出てて、客層も観客数もリングスっぽくて、パンクラス勢が負けたから喜んでるだけだと思うなあ。

ガンツ　（ムッとして）い、いや、そういうことじゃないんですよ！（怒）。

ノブ　『Dynamite!』みたいなプロレスファン向けのマッチメイクじゃなくて、格闘技ファン向けにテーマのあるマッチメイクが並んでたってことじゃないですか？　あれを望んでる人の数は、現状では、当日有明に集まった観客の数ぐらいなんでしょうけど。

ガンツ　『Dynamite!』みたいな大会は初めて観た人でも面白いでしょうけど、『DEEP』は長く観てる人ほど面白いはずなんですよ。すれっからしのファンのために、ああいう大会があってもいいと思うんです。

豪　嫌な大会だなあ（笑）。でも、あれだってパンクラス対修斗とか現時点でのUWF頂上対決だとか、上手い煽りのビデオでも会場で流せば一見さんでも楽しめたと思うよ。

山口　そういえば、『DEEP』のメインだった田村潔司vs美濃輪育久も純バーリ・トゥードじゃないよね。だから、さっきの「プロレス回帰」っていう概念の話から続けて言うと、延期になって11・30のパンクラスで行われる佐々木健介vs鈴木みのるも、どういうルールでやるのか知らないけど、〝ガチンコをベースにしたプロレス〟でしょ。

ガンツ　い、いや、それは逆ですね！　あれは〝プロレスをベースにしたガチンコ〟ですよ。

山口　あ、またそうやっておまえは場を膠着させる噛みつき方をするわけ？　俺はさっきから「プロレス」という概念について話してるのに、どっちが正しいか正しくないかっていうくだらないレベルに持っていきたいの？

豪　まあ、ガンツは「会長の言い方だと誤解を生みますよ」ってことなんだろうけど。

山口　プロレスはフェイクで、格闘技はリアルっていう人は多いけど、俺はそういう意味で「プロレス」って言葉は使ってないから。そういう意味に誤解されるなら、ガンツの言う〝プロレスをベースにしたガチンコ〟のほうが正しいわけ。でも、吉田vsホイスだって、ある種、昔で言う暗黙の了解の中で行われる試合でしょ？　あれも俺に言わせれば、〝ガチンコをベースにしたプロレス〟ですよ。あれを「プロレス」と言ったところで、世間が認めないのは俺だってわかってるけど、俺にとっては「プロレス」だから。すべてのプロ格闘技はプロレスに通じるんですよ。〝エンターテインメントをベースにしたプロレス〟もあるしね。だから、俺は個人的に「プロレス」という概念にこだわってるだけ。

豪　坂田（亘）も「これからはプロレス」って言ってたらしいですね。「昔だったら、俺vsパンクラスというのもテーマにはなったんだろうけど、最近ではそれじゃ客引きには、ならない」って。そういう意味でも、総合を何回も続けてやるのはしんどくなってきてますよね。

8・29の新日本武道館大会にNWFトーナメント立会人・猪木が登場。「バカヤローッ！　猪木の挨拶、非常識。猪木のやること、非常識。今日は空から降ってこようかと思ったけど、天井があったんで」と笑いを取った後、最後に「まぁ、勝手にやってくれ」。その言葉に応えるように、藤田と高山はパンチとヒザ蹴りが交錯するゴツゴツした激闘を繰り広げた（結果は高山勝利）。

山口　それは、総合格闘技の世界にランキングがあったとしたら、そのランキングに入りたいかどうかって意識が問題になってくるんじゃない？　その選手が「ランク入り」を目指さないんだったら、ルールはともかく、テーマのあるガチンコをやった方が面白いでしょう。「その試合にテーマを置く」ってことが、俺にとっての「プロレス」だからさ。そういう方向にどんどん時代は動いていると思うけどね。総合格闘技も、もちろん俺の中の趣味の世界として今後も観ていくけどさ。で、そんな時代の中で、なぜZERO―ONEが面白いかというと……。

豪　結局、ZERO―ONEネタに辿り着くわけなんですね（笑）。

山口　ダハハ。いや、さっきの「不平等の時代」っていうことと関連してるんだけど、ZERO―ONEの面白さは〝格〟を復活したからなんだよ！　OH砲を頂点として、下になるに連れて変なリングネームをつけられたりするという、見事なピラミッドが形成されてる。

豪　で、その格に噛みついてるのが大谷（晋二郎）なわけですよね。

山口　そう。「格の世界」と、さっきの「不平等」はイコールじゃないんだけど、近似値ではあるわけでしょ？　大谷も新日を飛び出て自由にやれると思ったら、いまだに2番手だし、焦ってもいるだろうし、腐ってもいるんだろうけど、いまZERO―ONEが復活させた〝格〟という圧力に耐えたら、もっともっと大きくなれるんだよ。格は残酷な局面を生み出すし、その局面を克服したら、一皮も二皮も剥けると思う。真の意味でのトップになるには、何回負けてもいいから橋本にぶつかっていくことでしょ。そういう状況にあるということは、いまの時代の中では、むしろ幸せなことだと思うけどね。平成・新日本プロレスがダメだったのは、どんぐりの背比べ化したからだし。

豪　横並びの、悪しき平等主義ですよね。

山口　ZERO―ONEを見てると、そういう当たり前のことを発見できる。「平等なんかクソ喰らえ！」「真心のプロレスなんてクソ喰らえ！」「不平等バンザイ！」「格バンザイ！」だよ（笑）。むしろ、だね。「格がない世界こそ自由な世界」とか言ってるヤツに限って、頭の不自由なヤツばっかりだよ。

ノブ　それって前田日明のことですか？

山口　……は？　なんで？

ノブ　いや、だってUWFのときは格を否定してたじゃないですか。

ガンツ　いや、前田日明は、ずーっと同じ格が何十年も続いてたときに立ち上がっただけだから、全然違いますよ！

豪　みんな勘違いしてるけど、あれは前田日明が格を否定したんじゃなくて、「そろそろ俺が格の頂点になる番やろ！」ってことだから（笑）。

山口　それに、UWFの頃には時代の空気として格を否定する空気があった。でも、何らかの縛りがあって初めて自由にも意味が出てくるということが、いまこの時代性の中では実感されてきてると思うよ。

豪　こないだ『ダ・カーポ』（マガジンハウス）で取材したビートたけしも同じようなこと言ってましたよ。「何か縛りがある中で出していくものの方が強烈な匂いがある」って。

山口　へぇ。たけちゃんと同じなんていうと、なんか気分がいいね（笑）。そういえばZERO―ON

E石巻大会（9・13）のOH砲のメイン後に、いま〝火祭り革命〟を起こしてる大谷が出てきて、マイクで「おい、橋本！ 小川、オマエもだ！ 俺ひとりで向かっていってやるよ。何を言われてもあきらめねぇぞ。覚悟しとけよ！」みたいなことを言うんだよ。そしたら破壊王はなんて言い返したと思う？ 「大谷よぉ！ 俺たちトップをナメるんじゃねぇぞ、コラァ！」だって（笑）。そのボキャブラリーと強引さが素晴らしいよなぁ。

ノブ 「俺たちトップをナメるな！」（笑）。

豪 「日本をナメるなぁ！」に続く名言ですね（笑）。

山口 で、「何回でも突き放すぞ！」って叫んだ後、間髪入れずに「石巻のみんなぁ～？ 〝オー、エイチ、ホウ〟のご唱和をお願いします。いくぞーぉぉぉ！ 〝オーッ！ エイチッ！ ホーッ！〟（拳を天に突き上げる）」で締めるんだから、素晴らしいよ。

ささきぃ あれはホントに気持ちいいですよね（笑）。

山口 つまり、破壊王も格を復活させることによって生じる問題に真正面から向き合う覚悟を持ってるから、「何回でも突き放すぞ！」って言えるわけ。大谷も、そういう縛りのある状況から逃げないで向き合っていけば面白いんだよ。苦しいだろうけど。なんでノゲイラvsサップが解放感を生み出したかというと、ガンツのいう罰ゲームみたいな雰囲気の中でノゲイラがそれを突破、克服したからだよね。だから、あれだけのカタルシスがある。みんな平和的な話し合いによって縛りや格を排除しようとするけど、残念ながらいまはそんな時代じゃないから（笑）。だからこそ、そういう縛りや格を克服する人が出現したら英雄視するわけだよね。

ガンツ 闘龍門も格があるから面白いんですよね。だって、日本デビュー前からエースが決まってるんですから（笑）。

豪 闘龍門で思い出したけど、興行戦争の話なのに新日や全日の話題が全然出ないねぇ（笑）。誰か、武道館大会は行ったの？

山口 俺、行ったよ。8・29の新日と8・30の全日本の武道館の初日。8・31はZERO—ONEの「ゼロ中祭り」を観てたから（笑）。

豪 またZERO—ONEの話ですか！

山口 だけど、新日のハイライトは猪木さんの挨拶だったね。NWFトーナメントの高山vs藤田が行われる前に、安田、TKを含めたトーナメントに出る4人が四方のコーナーポストを背にして立ってるわけ。そこで、猪木さんがマイク持ったんだけど、「NWFのベルトは29年前に～」って歴史を散々しゃべった後に、最後は「まぁ、あとは勝手にやってくれ!!」だって（笑）。

豪 また投げやりな（笑）。

山口 あの突き放し方は、何回聞いても気持ちいいね。猪木さんが現役の頃も、「勝手にやってくれ」って突き放す格上の猪木さんに対して、みんなで噛みついていったから往年の新日本は面白かったわけでしょ？ いまだって新日本を仕切ってる人に噛みついていけば面白くなるんだよ。でも、そこに格がないと面白さは増幅されないんだよね。いまさら猪木さんに噛みついてもしょうがないし。全日本については、みんなどうなの？

ノブ 僕は武道館に2日間行きましたけど、武藤と天龍（源一郎）の次期社長争いというテーマは、2日間を通して観てもボヤけてしまった感じですね。そこにゴールドバーグという、どっちのものでもないものが凄いインパクトで登場してしまったのが原因でしょうけど。

圧倒的存在感のゴールドバーグは8・30&31の全日本プロレス武道館大会で、小島聡と太陽ケアをそれぞれ秒殺！ 衝撃の日本デビューを果たした。しかもジャック・ハマーとスピアーは温存する余裕まで見せたのだった。多数駆けつけたと思われるアメプロファンが「ゴ～バ～」と（聞こえる）本場アメリカ風のチャントを飛ばしながら観戦していたのが印象的。

山口 （興味なさそうに）ふ～ん。

ノブ ……ZERO—ONE以外の話題だとテンション低いですね。

山口 いや、ZERO—ONEの地方大会は、いまのうちに見といたほうがいいよ！ いつつまらなくなるかわかんないんだから（笑）。（9月）12日なんかZERO—ONEと新日本が盛岡で同時に宿泊してたから、盛岡の街中が新日本とZERO—ONEのレスラーばっかりでさぁ（笑）。

ノブ ホント、ZERO—ONEの話は楽しそうにしますよね（笑）。

山口 （子どものように）だって、楽しいんだもん！ あのとき佐藤大編集長と焼肉屋に行ったら、蝶野（正洋）たちがいるって言うんだよ。佐藤ちゃんが。だから俺は「他に行こう」って言ったの。佐藤大編集長も「そうしますか」って言ったのに、「やっぱりちょっと挨拶だけしていきますから」って入って行っちゃって。俺だけ店の外で待ってたら10分たっても20分たっても戻ってこないんだよ！ 挙句の果てには携帯に電話してきて、「一緒に飲みませんか？」だって（笑）。

豪 せっかくだから、会長も一緒に飲めばよかったじゃないですか。

山口 何を話すんだよ。めんどくさい！ そしたら佐藤大編集長は「いやぁ、今日は蝶野さんと山口さんが語ってくれれば刺激的な夜になったんだよぉ」なんて、ワインかなんか飲まされてゴキゲンで出てきたわけ。「蝶野さんは懐が深いから、『星野（勘太郎）総裁を『紙プロ』に取材させたい』って言ってたよ～」なんて言ってさ。

豪 ダハハハハ！ それはゼヒやりたいなぁ（笑）。確かに、魔界倶楽部をいまちゃんと扱える雑誌はウチぐらいでしょうからね。『東スポ』を読む限り、「いま新日本を引っ張っているのは魔界倶楽部」

何か縛りがある中で出していくものの方が強烈な匂いがある byビートたけし

らしいし（笑）。

山口 魔界倶楽部もジョーニー・ローラーのＴバックも観たいんだよなあ（しみじみと）。

豪 魔界倶楽部だけ取材解禁になって、魔界専門の取材パスとか出してくれたら最高なんだけど（笑）。

山口 それで話を戻すと、佐藤ちゃんはいい気分のまま「それに比べて山口さんはケツの穴が小さいよぉ。Ｔ２０００勢しかいないんだから来ればいいんだよ～」だって。「それを先に言えよ、お前！」って（笑）。向こうはどう思ってるかしらないけど、俺はＴ２０００勢だったら全然話せるからさ。俺はてっきり一部の、俺を勝手に恨んでるような新日本のフロント勢もいるもんだと思ってたからさ。13日はＺＥＲＯ―ＯＮＥが石巻で、同じ新日本は仙台だったんだよね。新日本はプロじ宮城県下だった。新日本はプロレスファンにはおなじみの宮城県スポーツセンターで、主催者発表で３２００人しか入ってなかったらしい。石巻のほうがへんぴなところにも関わらず、主催者発表だけど、３６００人で超満員札止め！

豪 地方でも口コミとかで評判が広まってるんですかね？

山口 やっぱり小川人気＆ＯＨ砲人気でしょ。

豪 なるほど。そういえば、ＯＨ砲人気がいかに世間まで届いているかが伝わるいいネタがあるんですよ！（と、『ＴＯＰ ＳＰＥＥＤ』10月号を開く。図版は左下参照）。今年のコミケで撮った写真なんですけどね。

山口 うわ！ 凄いな（笑）。

ノブ 完璧ですね（笑）。

豪 プロレス会場にいるコスプレ系のファンとは、完全に別物なんだよ（笑）。

山口 ダハハハハ。で、何の話をしてたんだっけ？

ノブ 全日本の話をしていた途中で、ＺＥＲＯ―ＯＮＥに脱線しちゃったんですよ（笑）。

山口 ああ、そう（笑）。ゴールドバーグが登場して、あと石井館長が連れてきたボブ・サップやジョシュ・バーネット、サム・グレコという格闘家が全日本に乗り込んでくる可能性が出てきたわけでしょ？ それから天龍（源一郎）vs馳浩のような旧・全日的な流れもある。武道館2連戦からはアメプロ、格闘家のプロレス進出、旧・全日本という3つの潮流が見えたよね。10月以降の新生・全日本プロレスで、その3つのうちのどの潮流が主導権を握るのか、それとも3つがせめぎあっていくのか、今後楽しみだよ（あっさりと）。

豪 何ですか、そのあっさりしたコメントは！

山口 いや、単純に昨日ＺＥＲＯ―ＯＮＥ見てきたばかりだからＺＥＲＯ―ＯＮＥから見えたものの方が語りやすいってだけ（笑）。13日のＺＥＲＯ―ＯＮＥの第1試合なんてグリーンボーイ2人が、裸電球みたいな照明がひとつだけ灯されてる暗い中で逆エビ固めの応酬やってるんだよ。それに比べると同日の新日本は第1試合からカッキー（垣原賢人）とか成瀬（昌由）が出てきて派手な試合やってるでしょ？ どっちが「日本のプロレス」かというと、やっぱりＺＥＲＯ―ＯＮＥなんだよね。新日本がアメリカのプロレスを意識して、イベントとして第1試合から掴みにいくのはわかるんだけど、そういう上っ面のイベント感覚だけ真似してると、格はどんどんなくなっていくと思う。さっき言ったようにＷＷＥにもアメリカなりの切り口の格が存在すると思うんだけど、ＺＥＲＯ―ＯＮＥを観てるとプロレスにとって格がいかに大事なのかがわかるんだよね。その縛りの中で、各選手がどうやって克服していくかが面白いわけだから。

豪 もっと面白くなるはずだったＮＯＡＨがちょっとピンとこなくなってるのは、格を克服するような流れがないままワイルド2や小川良成がトップに立って、三沢が下のカードに出ちゃう「格のなさ」ゆえなんですかね。

山口 そうかもね（興味なさそうに）。まあ、「今日の結論はみなさんの思っている団体が勝ちです！」（石井館長口調で）。そういうわけで最後に、みなさん、「せ～の」で「ダイナマイッ！」をお願いします。

豪 強引だなぁ（笑）。

山口 はい、せ～のッ！

一同 ダイナマ……。

山口 オー、エイチ、ホウッ!!

一同 （いっせいに）なんでひとりだけ違うんですかッ!!

山口 ゲ、ゲボッ!!

【9月14日ダブルクロスにて収録】

「俺たちトップをなめるなよ!」というだけあって、興行の中でも圧倒的な存在感を放つOH砲。それを支える藤原組長やドン荒川の存在も、往年の新日本の"格の世界"を思い起こさせる重要なポイントのひとつだろう。

コスプレ界もO・H・砲!!

『TOP SPEED』(サン出版) 10月号に掲載された衝撃写真。コミケでのコスプレ美女取材のページで異様な存在感を放っていた模様。必見!

新日vs外敵、遂に全面激突!(頑張れ、魔界倶楽部!)

『新日本プロレス30周年 THE SPIRAL』

10.14(祝)東京・東京ドーム 試合開始15:00

蝶野正洋vsジョーニー・ローラー

佐々木健介vs村上和成

永田裕志vs藤田和之

中西学vs高山善廣

【IWGPジュニアヘビー級王座決定戦】

(金本浩二vsライガーの勝者)vsヒート

【NWFヘビー級王座決定トーナメント】

安田忠夫vs髙阪剛

問合せ:新日本プロレスリング(株) 03-5468-3111

プロレスマスコミの哲人
元・週刊ファイト編集長
井上義啓氏
（通称＝I編集長）
狂乱のマット界時評連載

喫茶店トーク

8.28「Dynamite!」拡大スペシャル

I noue mode

――さて井上さん、今日はもちろん8・28『Dynamite!』のお話です！　まずは、いろいろ話題になった吉田vsホイス戦を井上さんがどう見たかっていうことに一番興味があるんですけど。

井上　やっぱり「レフェリーストップなし」と決めた以上、レフェリーが試合を止めたのは、これはもう言うちゃ悪いけど大汚点ですよ！

――やっぱりあの裁定には納得いきませんか。

井上　そりゃそうですよ。ルールにないんだから。こういった殺し合いに近い試合では、ルールをええ加減に扱ったらダメなんですよ。プロレスだったらね、ルールをええ加減にした方がむしろ「ワーワー」騒いで面白いということで、意識的にそうするんであってね。でもこれは「生きるか死ぬか」っていうことにも関わってくるわけでしょ？

――格闘技の場合は特にそうですね。

井上　そういうことをしっかり頭の中に据えてルールをキチッと決めて、それを吉田もレフェリーも誰もかもが全部が熟知してなければダメですよ。大体、吉田がまず間違っとる！（ドンッ）。自分から「落ちた、落ちた」なんて言ったわけでしょ？

――言ってますね。

井上　それを言うこと自体、ルールが頭に入ってなかった証拠ですよ！　あの試合は相手が死ぬか、気絶してそのまま動かないか、それしかないんだから！

――死亡か失神だけでしたか！

井上　そうですよ！　レフェリーを呼ぶもへったくれもない！　それを「落ちた、落ちた」なんてね、「アホか！」って言うんだよ！　お前ルールわかってたんかと、やっぱりお前はアマチュアだなと。おそらく俺だったらボロクソに言うわな、そりゃ。

――すでに相当ボロクソ言ってます（笑）。

井上　だいたい「落ちた、落ちた」なんていう言葉につられて、「レフェリーストーップ！」なんてやること自体がね、「何やってんだ！」と。言うちゃ悪いけど、あんなもん無効試合ですよ！　一瞬、失神したような感じになったかもしれないけど、死んだフリというのもあるからね。「落ちた、落ちた」なんて言わんでも、完全に絞め落としてから立ち上がれば、ほっといてもレフェリーは来ますよ。そこでレフェリーが確かめて「これは間違いなく失神してるな」ということがわかったら、そこではじめて吉田の手を上げると。その間、吉田は道衣をキチっと正してね、帯もキッチリ最初から結び直して、倒れた相手に一礼して去っていくと。これが普通ですよ。

――それが真の柔道家の姿だと。

井上　そうしたら歴史に残る名勝負になったんですよ。それを途中であんなことをやったら、名勝負でも何でもない！　後世に誰かが「8月28日にこんな試合があった」と書くだろうけどね。「歴史に残る名勝負であった」と書いたとしたら俺は文句を言うな！

――後世の人にまで文句を言いますか！（笑）。

井上　そりゃ言いますよ！「お前はそれをわかった上で書いとんのか！」と。これは主催者、マスコミだけじゃなくて、ファンもよ〜く認識する必要がある。あれは名勝負でも何でもない！　28日の夜にも東京のあんちゃんとそういう話をしたんだけど、「レフェリーが止めなくて、死んでもいいんですか？」と聞きよったんだよ。そんなのいいに決まってるんだよ！（ドンッ）。

――死んでもいい！（笑）。

井上　あのルールでやろうと決めた以上はね、死ぬっていうケースも当然起こりうるんだから。あるいは植物人間になるとか、脳に障害が残って言語障害でずっと尾をひくとか。そういうアクシデントを想定した上で吉田とホイスが「レフェリーストップはなしでいこう」と決めたんですよ。だったら死んだところで誰の責任でもない（キッパリ）。主催者の責任でもなければレフェリーの責任でもないですよ。そういう試合だから9万何千人も集まったんじゃないか。それがあんなアマチュアの試合みたいになるんだったら、誰が集まるかあんなもん！　安岡力也なんて絶対来ませんよ！

――力也さんも来ませんか！（笑）。

井上　あんなお嬢さんみたいな試合をやるんだったら、そりゃ来るはずない！「生きるか死ぬかわからんぞ」という試合だからみんな来たんですよ。その結果があれだ！　騙されたようなもんだろう。俺がファンだったらカンカンになって怒ってますよ。「金返せー！」って。それを2週間で審議がどうのこうのと言うたけどね、もう遅いわ！　再戦をやったからこれが帳消しになりますという問題と

今月のお題

8・28『Dynamite!』総括 吉田の勝利は是か否か？

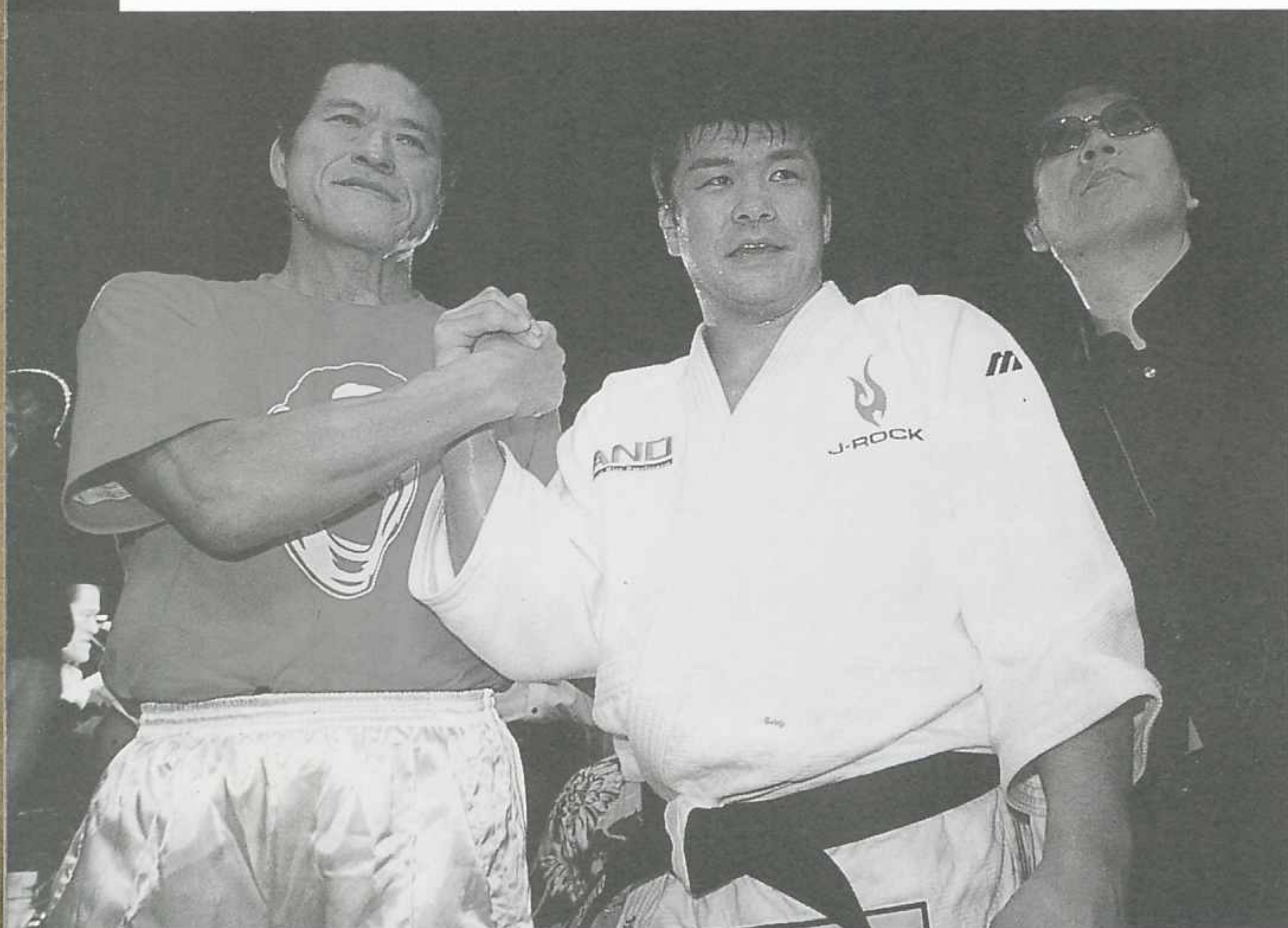
最近、その熱さが尋常じゃないと評判のＩ編集長 先日、初出演した『サムライ！』の『生ゴン月曜日』でも、まさに『Dynamite!』な発言を連発し、TVの常識を簡単に破壊してくれた。今宵の「喫茶店トーク」も、もちろんその熱さが爆発します！

聞き手／堀江ガンツ

違うからね。それで結局、裁定通りだろ？　しかも歯切れが悪い！　俺は東スポをチラッと見た程度だけどね、そんなに大きく書いてませんでしたよ。何かコソっと書いとるような、何か悪い事をして近所の目をキョロキョロっと気にしながら「実はこうでした」と。何かそんな感じがしたよ。

——「今回の事はこういう事で穏便に済まさせていただきます」みたいな感じですよね（笑）。

井上　だからマスコミにしたってもう少しそこら辺をキッチリ問題にせんとダメなんですよ。これは井上がキツイっていうんじゃなくて当たり前の事なんだよな。そのためにやった試合じゃないか！　そのために俺も東京に行ったんじゃないか！　わざわざ京都や神戸や尼崎からプロレス者の大半が行って「6、7万かかった」とか、みんな言うてますよ。入場料も入れたら10万だぜ。1日を潰して行ってるんじゃないか。プロレスとは違うで！　その事をよく考えて欲しいよ。

——それだけ重要な試合だったということですね。

井上　そうですよ。だからこれを教訓に今日からルールを徹底すべきですよ。死ぬか生きるかわからん試合をしとるんだから、もう試合前から関係省庁に届け出てね、警察から消防署から許可をとるのが普通だぜ！

——そこまでしますか！

井上　そりゃそうですよ！　届けも出さずに、もし死んだらどうするんだ！　「アクシデントで死にました」とはならへんであんなもん！　消防署にしたってそういうことが起こるんだったら救急車を待機させて、専門の医者をリングサイドにズラっと並べて、何かあったらすぐに飛び出すぞという態勢をとっとかんとね。だから、もし再戦があるなら、そこまでちゃんとやるべきだな。

——なるほど。ところで、8・28が9万人の観客を集めての大成功となったことで、巷ではまた「プロレスの危機」が叫ばれてますが、井上さんもそれは感じますか？

井上　そんなもんとっくの昔にありましたよ！　もう何べんも言っとるけど、これからプロレスが上がることはまずないから（キッパリ）。なんぼ「純プロレスだ、エンタメプロレスだ」って言ったところで、そんなもん格闘技がこれだけ出てきてね、やっていけるはずがないんですよ。ハッキリ言ってプロレスがやっていけるのは、あと1、2年だろうな。

——1、2年でプロレスが終わっちゃいますか!?

井上　そんなもんアンタ、水戸黄門がいつまでも続いとるように細々とは続くだろうけどね、もう300人ぐらいしか見ませんよ。

——たった300人（笑）。

井上　まぁ、おそらくそれぐらいだろうな。それよりアンタ、ボブ・サップですよ！

——サップがどうしたんですか？

井上　俺はボブ・サップこそ8・28の大きなテーマじゃないかと思うよ。なぜかというと、サップというのはWCWから来た男なんだよな。プロレスラー上がりなわけですよ。その男があのノゲイラをあそこまで苦しめたんだからね。あれは「プロレスラーはホントに強いぞ」「お前らが考えてるような、ええ加減なものじゃないぞ」と証明したんですよ！

——あの試合はみんな驚きましたね。

井上　あそこまでやったということは「負けてなお強し」ということだから、ボブ・サップというのがいかにプロレスの名誉を回復したかっていうね。いかにプロレスラーというのは凄いものかということを証明したようなものだから。これが俺にとってみたら「どうだ！」という感じでね、プロレスに長年携わってきた人間としては嬉しいというかホッとしたよね。だからボブ・サップというものは大事にせなイカンわな。

——ボブ・サップがプロレス界の救世主みたいな感じですか。

言うちゃ悪いけど今日の結論

真剣勝負というのは、相手が死ぬか、気絶してそのまま動かないか、それしかないんだよ！

井上　俺はそう思いますよ。だからそのサップを天龍あたりとプロレスの試合でやらしてくれるなと。やるんだったらもう格闘技でかかって来なさいよと、そりゃそうですよ。あんなもんプロレスでやろうと思ったら誰だってできるんだから（キッパリ）。

──だ、誰でもできちゃいますか！

井上　わざとサップがガーンと下に落ちたりしてね、天龍のリングアウト勝ちとかいうようなことは簡単にできるからね。そういうことは、あくまで純プロレスの中でやりなさいと。「生きるか死ぬか」でみんなが注目してる男をね、プロレスの世界に引きずりこんでワークはさせるなと。サップはプロレスラー上がりといえどもここまで市民権を掴んだ男なんだからね。それをいい加減に使ったらイカンですよ。あれを地に貶めてしまったらすべてがパーになるわ！　ノゲイラとサップというのは宝なんですよ！

──猪木さんもそのノゲイラを、新日本のリングに上げたいみたいですけど。

井上　新日本のリングに上げて、そこで中西とかぶつけるんならいいんですよ。ただ、それはバーリ・トゥードでやりなさいよと。とにかく新日本プロレスは、もう全部バーリ・トゥードでやったらいいんですよ！

──新日を全部バーリ・トゥードにしますか（笑）。

井上　ああいったノゲイラみたいな外タレを上げるってなったら、プロレスじゃなくてホントの意味での生きるか死ぬかの試合をやらせないと、新日本の浮かび上がる道はないと思いますよ。例えば、ノゲイラとか全部含めて格闘技の試合を6対6でやると。それだったらいいけどね、ローラーは出てくる魔界倶楽部は出てくるってなったらね、「何なんだこれは！」と。

──確かにわけがわかりませんね（笑）。

井上　そういうことになっちゃうのよ。だから8・28での要点は2つ！　一つは吉田戦のルールっていうのがダメでしたよと。もう一つはサップがプロレスは何たるかを天下に知らしめましたということですよ。

──この二点が今回の一番のキーポイントということですね。

井上　ノゲイラほどの男とあれだけの試合をしたプロレスラーがいたというね。そこが8・28の値打ちですよ。何のために9万何千人が押し掛けたのかという大きな解答がそこにありますよ！　だからそういった試合を貶めたらダメなんだよ！　8・28を金科玉条のように大事にして何かあったらそれが出てくるというふうにこれからも持っていかんと、あれが死んでしまいますよ！　それをサップなんかにプロレスをやらして「あ〜、負けちゃった」とかね、そんなもん「ええ加減にせい！」と、こう思いますよ。誰だって、みんな心の中の宝物は大事にしたいからね。それをドロの中に叩きこまれて足で踏みにじられたら誰だって怒るわな。

──そうですね。

井上　だから8・28にはいろんな教訓というものがあったんですよ。それを語り合うのがプロレスファン、格闘技ファンの楽しみだからね。プロレス者がしょっちゅう電話してきたりするのはそこにあるんだよ。その人その人にプロレスがあり格闘技があるっていうことだからね。それを大事にして「俺はこう思う」というようなことで「ワーワー」言い合うのがプロレスの醍醐味なんだよな。

──そして、そういう楽しみをいま一番させてくれるのが『PRIDE』であり『Dynamite!』だということですね。わかりました！　また来月もよろしくお願いします！

いのうえ・よしひろ■1934年岡山県出身。『週刊ファイト』の編集長を長く務めた。「活字プロレス」と呼ばれるジャンルの創始者。ターザン、GK、ケンファー佐藤等、プロレスマスコミでI編集長に影響を受けた人間は数知れない。

紙の新聞

●マット界の1ヶ月丸わかり●

隠居／堀江ガンツ
文／ささきぃ他

8/28 ↓ 9/15

夏休みは終わってしまいましたが、我々、昭和40年代生まれの男子にとっての"思い出の夏休み"おニャン子クラブが帰ってくる！ 超朗報のおニャン子再結成 その勢いがつきすぎて、なんとIWAジャパン10・1代々木大会にまでなぜか会員番号4番・新田恵利が登場！ 嬉しいような寂しいような……

8/29

【新日本プロレス】
日本武道館

元チャイナより先に新日マットで男vs女が実現

新日本マットにセクシー巨乳美女が初登場!! その名はジョーニー・ローラー……ではなくRyoko!! この日の第1試合にK-DOJOからセコンドにDJニラとRyokoを引き連れHi69、PABLOのNUDY RAVEが新日初参戦。試合には敗れるも乱入したRyokoがサムライにDDTを見舞うなど大活躍!! 新日マットで男と絡んだ女はローラーよりもRyokoが先だった!! ……え～、前号＆前々号でK-DOJO特集の告知をしておきながら、諸事情により企画が飛んでしまい実現できませんでした。期待していた読者並びに団体関係者の皆さま申し訳ありません。近い将来、必ず特集はやらせていただきます!!（チョロ）

8/30

【全日本プロレス】
日本武道館

カシン、東スポに猛クレーム！

団体が変わっても、友情は変わらない！ ケンドー・カシンが"親友"中西君（知的）に対する『東スポ』の報道に激怒！ 「『ジャーマンを忘れた中西は勃たないAV男優』なんて書きやがって。AV男優に失礼だろう！」と怒りをぶちまけたカシンは「中西は、日本一力の強い知的なバカなんだ。中西のことを書くときには、必ず"知的"って入れておけ！ 中西のようなヤツを津軽弁で"もつけ"って言うんだ」と、高く評価。ちなみに"もつけ"とは、津軽弁で「どうしようもないバカ」という意味らしい。プロレス界の誇る"もつけ"中西は、素晴らしい親友を持った幸せ者である。

8/29

【Dynamite!】
成田空港

アントン、吉田に非情命令

ホイスを破った吉田秀彦にアントン総帥が闘魂指令！ 柔道着を脱ぎ、本格的な総合格闘家への転身を進言した！ 「百万ドルの夜景……百万ドルのヤケクソというか。ムフフフフ！」と、『Dynamite!』ナイトダイブの感想をアントンジョークでブッ放したアントン総帥は、灰色決着となった吉田vsホイスについて「ジャケット・マッチの再戦など誰も見たくない」と、オレの意見はファンの意見とばかりに怒濤のコメント。「レフェリーが悪い!」と徹底追求するなど、"ヘリ"下ってきた勢いは誰にも止められないのであった。な～んつってな。ンムフフフ。

8/28

【Dynamite!】
国立霞ヶ関競技場

ターザン、国立のリングに登場！

ターザン山本（時にはタレント）、国立競技場をリングジャック！ 第5試合の後行われたセレモニーで、石井館長から「日本格闘技界にとって、忘れてはならない偉大な人物」と紹介されたエリオ・グレイシーがリングに登場。今日の格闘技界の隆盛は「他流試合」の先駆者であるエリオ・グレイシーの功績が大きいと、特別功労賞が贈られた。そのプレゼンテーターとして、日本マスコミ界を代表して（！）表彰状をカン高い声で読み上げたのは、ターザン山本氏。ブーイングも飛んでいたが、しっかりとエリオを抱きしめ、ターザンバッチをエリオの胸にムリヤリプレゼントするという暴挙に出ていた。

8/25

【Dynamite!】

ホイス＆エリオ、公開スパー

吉田秀彦戦を6日後に控えたこの日、グレイシー陣営が公開スパーリングを行った。長男・ホリオン、三男・ヒクソンこそいないものの、ホイスの他にエリオ、ホイラー、その他来日したグレイシー一族が勢揃いして、打倒・吉田にファミリー一丸となっているところを見せつけた。公開スパーのハイライトはなんといってもホイスとエリオのスパー。エリオはルックスこそ年相応（89歳）ながら、その動きは元気ハツラツ。ホイスに絞め技を掛けるだけでは飽きたらず、宿敵吉田ばりに背負い投げまで見せるスーパー爺さんぶりを見せた。 ホイスが父から一番学ぶべきことは、この"元気"だろう。

8/31

【全日本プロレス】
日本武道館

天龍、武藤の社長就任認めた

武藤、天龍のプロデュース対決となった全日本武道館2連戦。ラストを飾る武藤軍と天龍軍が5vs5イリミネーションマッチにおいて、最後に1vs3となっても孤軍奮闘する武藤の闘いぶりを見て、天龍がついに折れた！「最後に武藤が残って頑張りを見せられた。オレは（武藤の）覚悟が見たかった。あの悪いヒザでムーンサルトを2回もやって。あの気持ちがあるなら……」と、ついに武藤社長を容認。それでも天龍は「妥協したわけじゃない。これからは武藤のヒザとオレのプロレス寿命の競争。邪魔なら消せばいい」と、新社長の抵抗勢力になることを改めて宣言した。

9/2

【Dynamite!】

アントン、今度は「小川と吉田がやれ」！

吉田秀彦に"脱・柔道着"を要求し、アッサリ拒否されたアントン総帥。今度は「柔道着を脱がないなら小川とやれ」！　この日、滋賀・大津市内で行われたイベントで、ファンの「今、一番組みたいカードは何ですか？」という問いに対してアントンは「吉田と小川の因縁対決なんか見たいなぁ。実現したら東京ドームが満員になるよ」とブチあげた。「吉田の気持ちも分かる。でも、プロは勝ち負けも大事だが、それ以上にいくら稼ぐかも大事」と、もっともらしく続けるも「オレはファンの代表として提案しただけ」と無責任にニヤリ。この対決が実現する日は来るのか!?

9/3

【ダイプロデュース】

大仁田厚、アフガンでプロレス開催決定！

戦地で「ファイアー！」と叫び「日本の恥」呼ばわりされたこともある議員レスラー・大仁田厚が、かねてからの夢だった「アフガンでのプロレス開催」決定を発表！　大会は26日、同国の首都カブールに、唯一残るボクシングのリングを借りて3カードを行う予定で、日本からは大仁田の他、矢口壹琅やラーメンマンなどが参戦。「プロレスを見せて子供たちに元気を与えてあげたい」と語る邪道は「長州も夢を与える側なら来い」と、改めて長州力に共闘を呼びかけた。国際的意義からイッキに私利私欲に走ったかにも見えるが、邪道の呼びかけに長州はどう反応するのか!?

9/4

【新日本プロレス】

元チャイナ、暴言連発「蝶野は短小、永田はマゾ」

元チャイナことジョーニー・ローラーとの対戦を前に「女は殴れないよ……」と悩むIWGPチャンピオン・永田裕志の姿を知った元チャイナは「ナガタは女にボコボコにイジめられたいマゾ野郎なのかしら？」とバッサリ。対戦を拒否した蝶野に対しても「チョーノはしょせん、口だけの男ね。本当ならキン○マ蹴っ飛ばしてやりたいところだけど、きっと的が小さいだろうから、代わりにケツの穴を蹴っ飛ばしてやるわ」と、"黒の総帥"を短小呼ばわり！　だが、10月14日ドームに向けての蝶野の受難は、まだプロローグに過ぎないのであった……。

9/5

【AO・DC】

ジェイソンの正体はアレクだった!?

ホラー映画の金字塔『13日の金曜日』シリーズの第10弾作品『ジェイソンX 13日の金曜日』（絶賛公開中）。今回のジェイソンの中身は、な、なんとアレクサンダー大塚！（もちろん映画は別人）。この日行われた特別試写会で、小向美奈子のトークの最中に大ナタを持ったアレク（というかジェイソン）が乱入！　客席と小向を恐怖で引きつらせたが、最後は仲よく記念撮影。マスコミ向けの取材ではマスクを取って正体を明かし小向と一緒に「13日の金曜日、最高ッ！」と笑顔でアピール。『PRIDE.22』では、もう1人のシウバと激突するアレク。リング上でもジェイソンなみに大暴れできるのか!?

9/6

【リングス？】

前田日明、現役復帰を完全否定！

9月5日付けのスポーツ報知に堂々と報じられた「前田日明、現役復帰」の記事。しかし、前田日明はこれを完全否定！　6日『紙プロ』編集部にFAXで送られてきた、前田総帥本人の見解によると「全くの事実無根」であり「自分は現役引退を声明した。現役に復帰することはない」とのこと。さらに「武道通信」のHP掲示板にも「自分は引退した人間、現役復帰はあり得ない」というコメントが紹介されていた。前田プロレス復帰説は、本人の完全否定によって100％誤報と判明したが、星野勘太郎総帥は「アキラは魔界倶楽部に絶対欲しい人材」といまだ吠えている。「やっちゃっていいんですか、星野さん」！

9/7

【DEEP】
有明コロシアム

吉田秀彦、DEEPに来場

"天才・柔道家"が『DEEP』に現れた！『Dynamite!』でホイス・グレイシーに完勝した吉田秀彦が、TKこと高阪剛の試合を応援するため会場である有明コロシアムに来場した。総合格闘技進出の大きな支えとなった高阪の試合を、リングサイド最前列で観戦した吉田。激闘の末、高阪がノゲイラ弟に判定で敗れると、早足で会場を去ったが、そのあとを多くの記者陣やカメラマンが追い続けるちょっとした騒ぎになった。このフィーバー振り、さすが"新・格闘王"！『Dynamite!』翌日の夜の銀座で、美女と激写されるのも頷けるのである。

9/8

【新日本プロレス】

武藤・橋本 新日ドーム参戦拒否

アントン総帥のドーム参戦要求「猪木のインビテーション（招待）カード」を、武藤＆破壊王が公式拒絶！　武藤は「今は試合じゃ視聴率が取れないとかいわれてる。苦肉の策でごちゃまぜなんて、何か逃げの策だよね」と猪木の提案をキッパリ否定。将来的には打倒・新日本に打って出る意思はあるものの「今は全日本が力をつけるとき」と時期尚早であることを強調し「今は新日OBであることも忘れたい」とコメント。破壊王は「いつも利用されるだけで団結は難しい。安易に呼ばないでほしい」と、本当にイヤそうに拒絶。10.14、武藤＆破壊王の参戦は、もっともな理由で幻に終わった。

9/15

【全日本プロレス】

武藤、ニセ・ムタに対抗し「ニセ・チャイナ出す」

新日本プロレスに「ニセ・グレート・ムタ」ことGREAT MUTAが参戦するなど、仁義なき闘いの様相を呈してきた新日本プロレスと全日本プロレス。そんな状況下、全日本次期社長候補・武藤敬司が打倒・新日本プロレスのために、新日・東京ドーム大会と同日に開催される10・14全日本・愛知県体育館大会に本家・グレート・ムタ解禁を宣言。それだけでは飽きたらず、「なんか爆乳のね〜ちゃんが新日マットを席巻してるみたいじゃん。その女と新日ムタが繋がってるらしいから、本家もその類のヤツをつけようかな」と、ニセ・ローラー投入を示唆。しかし、ニセ魔界倶楽部誕生のプランは残念ながらいまのところないようだ。

9/14

【ZERO−ONE】

ミラーがガファリを連れてくる!?

エッ!? "クソデブ" が "クソデブ" を連れてくる!? アメリカの悪の象徴・NWA会長ジム・ミラーが、あの "お腹がレジェンドな男" マット・ガファリを引き連れ、ZERO-ONE軍壊滅を狙っているという、ゼロ族(ZERO-ONEファン)にとって夢のようなプランが明らかになった。ミラー会長は「彼を口説き落とすのは時間の問題だ」と、早ければ11月シリーズにも襲撃させると予告してきたという! これを聞いた破壊王は「面白えじゃねえか。来るんだったら、叩きつぶしてやる!」と、対米国軍撃退を宣言! 小川直也とのリベンジマッチがZERO-ONEマットで実現なるか!?

9/13

【リングス?】

前田日明、『東スポ』に勝つ!

前田久々の快勝! 記事で名誉を傷つけられたとして、東京スポーツ新聞社に500万円の損害賠償などを求めた訴訟の判決で、東京地裁は200万円の支払いと謝罪広告の掲載を命じた。「有罪判決」「リングス前田 暴行女性は元妻」などと題し、前田総帥が結婚しており暴行事件を起こしたと記載した、昨年5月30日付の『東スポ』の報道に対して、東京地裁の菅野博之裁判長は「真実と認められない」と判断。「記事は前田さんの社会的評価を低下させた」とした。尾崎社長への支払い155万円を差し引いても、45万円分の勝利を得た前田日明総帥。実に久々の大勝だった。

9/8

【闘龍門JAPAN】
有明コロシアム

M2K・神田裕之が引退を表明

この日、メインで行われたドラゴン・キッドvsダークネス・ドラゴンの「マスカラ・コントラ・マスカラ」でレフェリーを務め、やけに真っ当なレフェリングを行った神田裕之。全試合後、昨年からの首の環軸椎脱臼のため、10/28の後楽園大会で引退することが発表された。神田は「M2Kのメンバーには悪いことしましたけども、いままで散々迷惑かけたから、ファンの皆さんにはいいことできたかなと」と、メインでのレフェリングについて語った。引退試合の相手は、デビュー戦の相手だったストーカー市川が濃厚。神田は昨年の10月18日から欠場中だった。

【闘龍門JAPAN】

U・ドラゴン、復帰世界ツアー構想

8日の有明コロシアム大会で、望月成晃相手のエキジビションながら約4年2ヶ月ぶりに復帰したウルティモ・ドラゴン。試合はモッチーのミドルキックが負傷した左ヒジに直撃し、10分間を全うすることなくストップされてしまったが、大会終了時に改めて現役復帰を宣言。そしてこの日、初めて具体的な復帰プランを明かした。そのプランとは、国際派のドラゴンらしく10月にメキシコシティー、11月にアメリカ、12月にメキシコでの自主興行に出場し、12月にいよいよ日本に戻ってくるというもの。WCW時代のライバルたちが多数活躍するWWEへの登場も視野にいれているという。

9/13

【K-1】 TBSホール

『K-1 WORLD MAX』対戦カード決定!

10月11日、有明コロシアムで開催されるK-1中量級『K-1 WORLD MAX 2002世界王者決定戦』の記者会見が行われ、"日本対世界" をコンセプトにしたワンマッチ戦・全7カードが発表された。メインに登場する魔裟斗の相手は、5月11日の『WORLD MAX 2002世界一決定戦』で、準決勝で魔裟斗を破って優勝したアルバート・クラウス。魔裟斗は「1度負けた相手にもう1度負けることはありえない。今度負けたら、自分は "普通の選手" になってしまう。大丈夫、勝ちますよ」と宣言。そして、この大会はTBS系列で生放送されることが決定!! 「生放送なら、よけいに頑張らないとヤバイっすね」と魔裟斗。クラウスへのリベンジは成功するか!?

世界王者対抗戦7対7マッチ対戦カード

- ◆魔裟斗vsアルバート・クラウス
- ◆前田憲作vsジョン "ザ・シャドウ" ワシントン
- ◆村浜武洋vsメルチョー・メロー
- ◆須藤元気vsテコンドーのメダリスト
- ◆小比類巻貴之vsヒーター・クルック
- ◆大野崇vs王三偵
- ◆小次郎vsマリノ・デフローリン

【闘龍門・T2P】
有明コロシアム

イタリアン・コネクションに新メンバー(動物)登場

"56のジャベを持つイタリアの伊達男" ミラノ・コレクションA.T率いるT2P最強のユニット、イタリアン・コネクションに、この日から新メンバーが加わった。T2Pの6人と2匹目のメンバー(1匹目は透明犬ミケーレ)は、2足歩行する120センチくらいのよく動く黒い熊! 名前はベネツィアン!! セミファイナル・C-MAXとの対抗戦では乱闘にも参加していたベネツィアンは、熊なのにラ・ケブラータまで披露し、試合後は「勝利に貢献したから、今日はバナナ3本」とミラノから活躍を称えるご褒美をもらっていた。今後の活躍に期待だ!!

仰天!!
世界を牛耳る
フリーメイソンが
アントン総帥に
接近していた!!

猪木とは何か!?

スポーツ平和党・党首／アントン総帥の実兄

四男・快守編

『紙プロ』NO.51において、パブロ猪木こと猪木快守（よしもり）氏のコンサートを独占スクープしたわけだが（というか、『紙プロ』以外取材陣不在）、今回はブラジルへの移民からスポーツ平和党に至るまでの経緯を快守氏本人に伺うことになった。実兄だからこそ語れるアントン総帥との苦労話や、政治活動に情熱を注ぐ理由などは、さすが〝猪木〟の姓を冠するだけはあると頷くことばかり！　読者の皆様には、猪木一族に流れる破天荒な〝血〟を感じて読んでもらいたい。それでは、いきますかーッ！

聞き手／吉田豪
構成／ジャン斉藤
designed by matsu（Two three）

9/15 9/14 9/13 9/8

快守 最近、アントニオ（猪木）が上空3千メートルから飛んだんだって？

―いや、あれは本当に凄かったですよ！

快守 盛り上がったでしょうねえ（ニッコリ微笑んで）。

―それまでの試合を完全に喰っちゃいましたからね（笑）。

快守 あ、そう。ちょうどスポーツ新聞読んでたら、空を飛んだって載ってたからさあ。

―そういうパフォーマンスも含めて、猪木さんの破天荒な生き様は血筋によるものが大きいと思うんですよ。つまり「猪木家とは何か？」ってことなんですけど、快守さんにもなんだか猪木さんに似た血を感じるんですよね（笑）。

快守 やっぱり、何かやり始めると血が燃えてくるんだよね。

―燃えてきますか（笑）。

快守 親父が、吉田茂（元総理）さんのときに選挙に出たでしょ？ 子供の時から選挙運動をしたせいかね、何となくそういうのがあるのかな。

―それがスポーツ平和党などの政治活動に繋がっていくわけですね。

快守 でも、弟はどっちかというと、政治家向きではなかったよな。

―あ、そうでしたか（笑）。

快守 性格的に、ああいう世界には耐えられないとこがあったと思うんだよね。政治の世界は裏切りとか、表と裏があるわけじゃない。そういうのがあると面倒くさくなるんだよね、弟は。彼はやっぱり、プロレスで命を捧げるというかね。「リング上でのたうち周りながら死ねれば本望だ」って、よく言ってましたから。

―お兄さんの前でも、そこまで豪語してたんですねえ。

快守 だから今回、空から飛んできたことにしても命懸けじゃない。プロレスファンの対してのサービス精神ですから。それで、命がなくなっても本望だっていうつもりでやってるんじゃないかね。

―ところで快守さんの目から見て、猪木さんがプロレスの世界でここまで大成すると思いました？

快守 想像もつかなかったけど……。でも、彼は小さいころから何かしらトップになると思ってましたよ。

―御兄弟の中でも何か違った存在だったんですか？

快守 これは魂が違うと思ったね。ボクなんかは昔から「会社の社長になる！」とか言っていたけど、彼の場合は「石油王になる！」とかだったからね。

―それはスケールが違いますよね（笑）。

快守 でも、そういう考え方は血筋かね。いつもおじいさんからね、「世界一になれ！」って言われていたからね。

―「乞食でも、世界一の乞食になれ！」と言われていたらしいですけど。

快守 ウチはみんなそうね。ボクも1、2回死に損なってるけど、まだまだ命がある限りそういう思いは持ってるから。

―快守さんは最近、歌手活動もされてるんですよね。

快守 もともとボクはチェロもやっていたし、音楽が好きだったんですよ。

―猪木さんが音痴だったんで正直、意外だったんですよ。

快守 いや、弟もいまではレパートリーが何十曲もあるんだけどね。

―ここ2~3年で、だいぶ特訓したらしいですからね。

快守 音楽活動はいいですよ、いろんな出逢いがありますから。

子供ころから選挙運動してたせいか、やっぱり血が燃えるんだよね

でも、人前で歌うわけだから、それなりじゃないとダメですからね。だから、ボクは1日3時間ぐらい発声練習してますよ。

―街を歩きながら、練習してると聞きましたよ（笑）。

快守 なんかね、歌詞が覚えられないからクセになってるんだよねえ（苦笑）。だから、バスの中で思わず練習し始めてね、後ろの客に背中を突っかれたりして（笑）。

―ホント、やり始めると熱くなるんですね（笑）。

快守 でも、それぐらい夢中にならないと歌詞は覚えられないから。そんな努力のおかげか中国の方から「日本の叙情歌を中国語で歌ってください」という話がきてるんですよ。来年の3月に行くんですけど、ブラジルのほうにも呼ばれてるんで、ブラジル、キューバ、メキシコと、ツアーを組もうかなと思ってますよ。

―猪木さんが口癖のように言っている世界戦略を、歌でやっているわけですね。

快守 だから、作曲活動もやっていますよ。いま、弟の歌を作ってるんです。

―猪木さんの歌ですか！

快守 弟への想いを詞にしてるんだけどね。彼に歌ってもらいたいんだけど、でも、彼には川村（龍夫＝UFO社長）さんとかの絡みがあるからねえ。いろいろ権利の問題が出てくるでしょ？

―難しそうですよね。

快守 川村さんは、とやかくは言ってこないと思うけど……。でも、アントニオが歌わなくてもボクが歌っちゃえばいいかなと思ってね（笑）。

―なるほど（笑）。その歌詞には、猪木さんへのどういう想いを込めたんですか？

快守 まだ自分では納得した出来ではないんだけどねえ。ただ、一休禅師のあの詩は、語りとして入りますよ。

―「道」が入りますか（笑）。

快守 まあ、面白くしようかなと（笑）。いまの若者や、自信を失った人達に送るメッセージみたいな詞になると思いますよ。

―〝笑いながら歩こうぜ！〟みたいな詞になるわけですか（笑）。そういえば、快守さんの歌手名である〝パブロ猪木〟はどこからきているんですか？

快守 パブロ・カザルスというチェロの有名な人がいたんですよ。ブラジルに来たときにお会いしたことがあるんですけど、彼の演奏を聞いて涙が出たんですよね。ボクはブラジルで結婚式を挙げてパウロという名前なんですけど、スペイン語でパブロになるんだよね。それもあってパブロと付けたんですよね。

―ブラジル時代のエピソードからきてたんですね。向こうでは

猪木とは何か　快守編

猪木さん以上に、いろいろ苦労もされたと思うんですけど……。

快守　もう、言葉にできないほど大変だったねえ……（しみじみと）。

——よく、奴隷同然だったとか言われてますけど。

快守　奴隷ですね。あれは本当にキツかった……。朝5時になると鐘がなって1時間かけて農園まで歩いて行くんだけど、作業中は現場監督がムチとピストルを持って見回りにくるんだよね。

——ピストルとムチですか！

快守　しかも40度を超える熱さの中で作業するんだけど、着ていた木綿のシャツが汗でビショビショ！　昼休みに干すんだけど、シャツがカチンカチンになっちゃうんだよ。

——塩で固まっちゃうわけですよね。

快守　だから、アントニオが砲丸投げ、ボクが陸上競技やって一緒にオリンピックを目指していたのだって、そういう夢がないとやってられないこともあったんだよね。

——当然、遊ぶことなんてできない状況だったんですよね。

快守　だって、ボクが女性を知ったのは24のときですよ。

——あ、そうなんですか！

快守　ボクが陸上競技の5千メートル走で優勝した帰りにね、先輩に女郎街に連れられていったんだよね。ボクが初めてだということもあってモジモジしてたら先輩が女を選んでくれるってことで、40人ぐらいのオッパイをイジって「この女が一番いい」ってことで（笑）。

——ダハハハ！　それも凄い品定めをですね（笑）。

快守　それで、一緒に部屋に行ったんだけど、やり方がわからなくてねえ……。それくらいウブだったんだよ（笑）。

——猪木さんとは、そういう場所に行かれたことはあったんですか？

快守　アントニオがブラジルに帰ってきたときに、死んだ空手の兄貴（相良寿一）、啓介、リオで空手やっていたもう1人の弟の5人で行ったことがあるよ。

——兄弟勢揃い女郎街にで行きましたか（笑）。

快守　2時間後に待ち合わせたんだけどさ、アントニオは戻ってくるのが早かったねえ（笑）。

——ダハハハ！　そういえば猪木さんも、最初の体験は日本のそういう店だったらしいですね（笑）。

快守　アントニオとは、ナイトクラブにも行ったんもんだよ。でも、そこに日本の商社の人がいてね。翌日、奥さんの（倍賞）美津子ちゃんにもう情報が入ってるんだよ。アントニオが「兄貴、もうバレてるよ！」ってビビっちゃってね（笑）。

——やっぱり、正体はバレバレでしょうからね（笑）。

快守　彼も有名になってからは遊べないじゃない？　ボクも一生懸命、愛のキューピットになってたことはあったんだけど……。

——（すかさず）うわ！　その話は興味がありますね！

快守　（首を振りながら）それは言わないよ（笑）。

——ダハハハ！　そういえば、新日本では何度かブラジル遠征もやってましたけど、あれには快守さんも関わってたりしてたんですか？

快守　いや、ないね。あんときはアンドレ・ザ・ジャイアントとかカール・ゴッチが来てたのは知っていたけど。

——その遠征のとき、イワン・ゴメスが猪木さんに挑戦してきたんですよね。

快守　ああ、そんなこともあったね。あのとき、ゴメスはボクんとこに「挑戦させろ！」と言ってきたわけよ。

——つまり、快守さんが間を取り持ったわけですか！

快守　ゴメスは「どんな条件でもいい」って言ってきてたんだよ。ボクはよく分からなかったけど、弟に「どうする？」って聞いてね。弟はやらなかったけど……。強かったからねえ、ゴメスは。

——ちなみに翌年のブラジル遠征で行われたゴメスvs（ウイリアム・）ルスカは、ご覧になりました？

快守　いや、それは見てないな。

——ゴメスがルスカに仕掛けて、逆にやられちゃったらしいんですよ。ゴメスはバーリ・トゥードのトップ選手だったわけですけど、あの頃のブラジルではバーリ・トゥードが頻繁に行われていたんですか？

快守　いや、あのころはバーリ・トゥードはまだまだで、カポエラが中心でしたね。

——猪木さんもカポエラをやっていたそうですけど、格闘技の原点は相良寿一さんに教わった空手だったわけですよね。

快守　そうだね。だからアントニオもそうだけど、ボクも毎晩、前蹴りと突きばっかり練習してたね。

——快守さんは、プロレス自体にはどういう印象をお持ちだったんですか？

快守　好きでしたよ。ただ、日本に戻ってきたばっかりのときに長州さんが弟を攻めてるのを見て、刺し殺してやろうかと思ったけどね（笑）。

——ダハハハ！　長州さんに殺意を抱きましたか（笑）。

快守　あんときはプロレスを見たばっかりだから、わかんないし、ボクはブラジルで土建業やっていて気が荒かったんだよね（笑）。ちょうどボクはブラジル製の大きいナイフを持ち歩いていたからさ、これで「やったれ！」ってね。

——ナイフで!?

快守　そう、あれは格好良いナイフだったんだよ。

——そんな物騒なモノ持ち歩いていたんですか（笑）。

快守　いまだから言えるけど、タオルに巻いて隠し持っていたんだよね。……長州さん、殺さないで良かったよ（笑）。

——ダハハハ！　じゃあ、ジェット・シンに対してもエキサイトしたりしたんですか（笑）。

快守　いや、シンには、これは違うなって何となくわかったんだよ。でも、長州さんのときには感

～猪木家・家系図～

相良寿郎（祖父）—文子（母・他界）
佐次郎（父・他界）

子：健郎（戦死）、康郎、千恵子、久恵、（相良）寿一（他界）、京、快守、宏育（空手師範）、寛至（アントニオ）、佳子、啓介（アントン・バイオテック社長）

『格通』のグレイシー特集・特別付録ばりに猪木一族家系図を掲載。有名なエピソードであるが、祖父である寿朗氏はブラジル渡航中のサントス号の船中で、青いバナナにあたり腸閉塞を起こし帰らぬ人に。父・佐次郎氏は警部補、石炭商を経て昭和23年に出馬したが、選挙中に急死。焼香には吉田茂も訪れていた。快守氏に次いで知られる兄弟は寿一氏。ブラジルでは空手の普及に励み男爵の爵位を授与され、ブラジルオリンピック委員会の役員も務めた。平成13年、自由連合より出馬したが惜しくも落選。その年に死去した。ちなみに相良の姓を名乗っていたのは、寿一氏が祖母方の相良家に養子入りしていたためだ。

じたよね。

――本音が入ってる、と（笑）。それは、つまり新日本でクーデターがあったころと重なってるんですか？

快守 そうそう、そういう事情もあったんだよね。ほら、ボクが日本に戻ってきたのは、散々アントン・ハイセルが叩かれて時期だったしね。

――それは、また大変な時期に帰ってきちゃったんですね（笑）。つまり、猪木さんに呼ばれて日本に戻ってきたってことなんですか？

快守 う～ん、これはあまり言わないようにしてきたんだけど……。ちょっと神懸かりなことがあってね。聖人が3回、枕元に出て、ボクは使命を受けたんですよ（キッパリ）。

――あ、そういう理由だったんですか！

快守 それが3回も現れたからね、ちょっといい加減に捉えちゃいけないと思って。ちょうど啓介から、日本に来いと言われていたんで、これは使命を果たすためにも日本に行かなくちゃいけないと思ったんだよ。

――その神から与えられた使命というのは、一体どういう内容だったんですか？

快守 うん。五大宗教を一つにしろっていう使命だったんだよね（キッパリ）。

――うわ！ それはスケールがデカイ話ですねえ（笑）。

快守 とてつもないことだけどね。だから、気持ちの上であせってもできないですよ。現実的に、どっからどう手をつけていいかわかんないですから。でも、早くやり遂げなくちゃいけないと思ってね。平成4年に鳥取県に新しいドームができるから、県知事の岩国哲人さんに「そこで宗教のサミットをやらしてくれ」と頼んだんだよね。

――実際に五大宗教を統一すべく、活動してたんですね！

快守 ただ、日本の神道会からカトリック、ヒンズー教まで渡り歩いたんだけど、そうこう言ってるうちに弟の政治スキャンダルが始まっちゃって、それどころじゃなくなったんだけどね（笑）。

――それは残念でしたねえ（笑）。帰国当初にしてもハイセル問題が噴出していただけに、使命とか言ってられる状況じゃなかったんじゃないですか？

快守 あのころもキツかったねえ……（しみじみと）。弟と一緒に土下座もしましたしね。あんとき九州で金借りたんだっけ。5億だっけかな？

――5億！

快守 何でオレが土下座しなくちゃいけないと思ったけどさ（笑）。

――オレが借りた金じゃないのにって（笑）。

快守 あんときは情けないなあって涙が出ましたね。そうかと思うと、興行中にリングサイドで手形を持って「明日、落ちるぞ！ どうすんだ!?」とか騒ぐ連中もいたしさ（笑）。

――ダハハハ！ リングサイドにですか（笑）。

快守 弟もああいう人間だから、試合中にワザと木村健吾さんを連中の方に投げ飛ばしたりね（笑）。

――場外乱闘で、そういう嫌がらせを（笑）。しかし、ホント一番キツイ時期に戻ってきちゃったんですね。

快守 大変だったよ……。そのせいでボクは4年間、勃たなかったからね（キッパリ）。

――そこまで追いつめられてましたか！

快守 冗談抜きでね。このまま人生終わったらね、さみしいなあって思いましたよ（笑）。ブラジルに家族をおいてこっちにきたら、そんな状態だからねえ……。

毎月最終土曜日にワンマンコンサート「パブロ・ボンバイエ」を開催中の快守氏。中国、ブラジル、キューバへのコンサートツアーが企画されているなど、世界戦略では弟にも負けず劣らないのだ。

――借金取りには追い回されて、会社ではクーデターが起こって（笑）。あの頃、猪木さんは手かざしにもハマってましたよね。

快守 崇教真光ね。あれも政治と同じで理念は良くても色々あるから。最初は私が誘ったんだけど。

――それも快守さんの影響だったんですか（笑）。アントン・ハイセルは啓介さんがやられていたんですよね？

快守 そう。ハイセルは牛の飼料でサトウキビのカスを利用していたけど、ボクはブラジルでは有機肥料の会社をやっていたんだよ。

――その会社とハイセルとは、まったく関係なかったんですか？

快守 なかった。その有機肥料は「アガリクス」として弟がやってますよ。やっと採算ベースに乗ったらしいね。

――いま、通販もやってますよね。

快守 ハイセルは「アントン・バイオテック」と名称を変えて、いまも続いてますよ。

――そういえば猪木さんは最近でもハイセル並のビッグプランを次々とブチ上げてますけど、そういうのに快守さんは関わったりしてるんですか？

快守 いまは関わってないよ。

――発電器の方も？

快守 ……あれは噂によるとちょっとヤバイみたいだからね（笑）。

――やっぱりそうですか（笑）。

快守 だって、当日に部品がなくて動かないなんて考えられないことですよ。

――そういうことですね（笑）。

猪木とは何か? 快守編

快守　でも、夢があるってことはいいことだからね。人間は、一回やってみないとわからないことがあるじゃない。ボクもそういう性格だから。

――快守さんは、猪木さんが何かやろうとしたときに止めたこととかあるんですか？

快守　ボクはね、彼を止めたことがない。止めたって彼は結局、やってしまうからね。

――だったら力を貸したほうがいいってことですね（笑）。快守さん自身も、カストロさん（キューバ国家評議会 議長）と財宝船を引き揚げようとしてたわけですよね？

快守　あれ、やりたいんだよねえ……。『紙のプロレス』でお金を出してくれない？

――絶対に無理です（笑）。実際、カストロさんはそのプランに乗り気だったんですか？

快守　乗り気でしたよ。いままでも話を持っていったら喜んでやるんじゃないですかね。今度、企画しますから、そんときはキューバに御招待しますよ。

――あ、ありがとうございます（笑）。

快守　キューバは良いですよ。一度、ボクの島に来てくださいよ（笑）。

――ボクの島ですか!?　猪木さんがパラオに島を持っているように、快守さんはキューバに島を持っているんですか？

快守　周囲73キロの綺麗な無人島を、ボクがカストロさんから貰ったんだよ。新間（寿）さんが全然、本気にしなかったんだよね。アントニオも驚いてたよなあ（嬉しそうに）。

――それは驚きますよ（笑）。

快守　でも、カストロさんに「島、くれ！」って言ったのはしんどかったよねえ（ポツリと）。

――え？　つまり、快守さんは自分からカストロさんに「島、くれ！」と言ったんですか!?

快守　うん、そうだよ（あっさりと）。

――ダハハハ！　凄いことをお願いしますねえ！（笑）。

快守　いや、冗談で言ったんだけどね（笑）。そしたら次の日、3つの島からどれでもいいから選べってことになってね。結局、ブラジルへ渡航中におじいさんが死んだカリブ海方面の島を選んだんだよ。

――ああ、サントス号でのエピソードですね。それにしても、カストロさんにそんなこと言える日本人は快守さんだけだと思いますよ（笑）。

快守　弟が議員でボクが秘書だったこともあって、カストロさん以外にもいろんな大物に会って勉強しましたよ。一般的にはアントニオには及びも付かないけど、でも、政治的な思考はボクは彼の比じゃないと思ってますからね。

――そういう自信があったからなのか、快守さんも選挙に討って出られましたよね。

快守　あのときも、燃えたよね！（笑）。

――やっぱり燃えましたか（笑）。ボクは快守さんの選挙演説を渋谷まで聞きに行ったんですよ。そしたら快守さんが思いっ切り猪木さんをビンタしたりして、抜群に面白かったですねえ（笑）。

快守　ああ、あれはここで思い切りやったからね（掌をさすりながら）。

――ダハハハ！　ビンタというより掌抵でしたか（笑）。

快守　あのときはね、ちょっと前に彼が電話で「結局、俺の掌の上で兄貴たちは……」という言い方してたんですよ。それに腹が立ってね。いつもおじいさんが「人をバカにしてはいけない。人を見下げちゃいけない」とか、「常にのぼせるな」と言っていたんですよ。そういう思いがあったもんだから、そんな言い草をした弟を怒鳴りつけたことがあってね。兄弟の支えがあって、いまの彼があるんじゃないかって。

――苦労を分かち合ったブラジル農園時代やハイセルを思い出せ、と。

快守　だから、彼の目を覚まさせるためにも、アゴを吹っ飛ばすつもりでやったんだよね。

――アゴを吹っ飛ばす！　確かに、おかしいと思ったんですよ。快守さんが立候補してるのに、どうして猪木さんに気合いを入れてだろうって。普通、逆ですからね（笑）。

快守　そんな理由があったんだよねえ（思い出すように）。

――でも、あのときは、快守さんが演説の冒頭に「今日、車でここに来たんですけど、非常にブスが多いです！」っていきなり言いだしたのにもビックリしましたよ（笑）。

快守　ああ、〝心のブス〟の話ね（笑）。

――快守さんは、話の掴みがうまいですよね（笑）。

快守　だから講演なんかでも、いきなり政治の話するとみんな固くなるじゃない。そのときによるけどね、恋の話から始めたりとかするんですよ。

――まずはコイバナで（笑）。

快守　やっぱり、誰でも体験してる話からのほうが入りやすいから。そこから経済の話になって、フリーメイソンの話になったりしてね。

――は!?　フリーメイソンって、あのフリーメイソンですか!?

快守　そうです。やっぱり、ボクはそういう人たちと付き合っていたから、詳しい裏情報を知ってるわけですよ。ボクもフリーメイソンには一歩踏み込んだことがありますからね（キッパリ）。

――一歩踏み込んだんですか!?

快守　はい。ブラジル時代、ボクがある人に金を借りにいったんだよ。それで契約書にボクがサインをしたんだけど、ボクのサインは最後にチョン、チョン、チョンと締めるわけ。そしたら、どうやらそれがフリーメイソンの人間の合図らしいんだよね。それで「イノキ、オマエはフリーメイソンなのか？」って聞かれてね。

――3つのチョンチョンがフリーメイソンの三角形マークを意味していると思われたわけですね（笑）。

快守　ボクは違うと言ったんだけど、その人はボクに興味持ってくれて、銀行を紹介してくれたんだよ。それで銀行に行ったら担保も何にもいらなくて、当時のお金としたら相当な額をポンと貸してくれたの。そのとき、彼らの力の凄さを感じたよね。

――それがきっかけになって、フリーメイソンに足を踏み入れるようになったんですね。

快守　そうだね。教会みたいなところでいろいろ話を聞いてるうちに、裏の情報に詳しくなっていったんだよ。だから、湾岸戦争や朝鮮戦争にしても、戦争というのは10年おきに起きるじゃない。小さい戦争はあるけど、国同士の戦争は10年単位ですよ。

――そう言われてますよね。

快守　で、なぜ起こるかといったら、それがフリーメイソンの力なんですよ（キッパリ）。武器の商人、死の商人が暗躍してるんです。武器の棚降ろしをしなきゃいけないから。

――武器を使い切らして、また売りつけるわけですね。

カストロさんに「島、くれ」って言ったら、綺麗な島を貰えたよ

これが快守氏所有の島

編集部・注　※掲載した地図の尺度が大きいので曖昧ですが、この付近になります。

快守氏所有のキューバのイノキ・アイランドこと、CAYO ROSARIO（カイオ・ロザリオ島）の日本名は“友人猪木島”。カストロ国家評議長に「島、くれ！」と言える間柄の快守氏だけに、当然の島名である。

快守　湾岸戦争のときなんて、アメリカの戦闘機がエジプトから武器を満載して何十機と飛び立つわけ。でも、そんなに爆弾を落としていたら、バクダットなんて大変なことになるわけですよ！

——サラ地になってなきゃおかしいわけですね（笑）。

快守　ところがボクはバクダットに行ったけど、全然なってないわけよ。

——猪木さんとイラクに乗り込んだ人質解放のときですね。

快守　行く前は、さぞそうなってると思ったけど、ピンポイントで橋とか壊してるだけなんだよね。爆弾は全部、砂漠に落とすわけですよ。こういう話を頭に入れて見てるとわかりますけど、今度の戦争のときにも新兵器が使われますから。これが新兵器の宣伝も兼ねてるわけなんですよ……（このあともフリーメイソンに関する話が延々と続くが、物騒すぎるので割愛）。……つまり、彼らは100年計画で日本を支配しようしてるわけなんです。しかし、日本は物質より、精神性を大事にする魂の国だから、それがなかなか難しいんですよねえ。でも、最近は徐々に崩されていってますよね。たとえば食生活を肉食中心にしていくことで、キレやすい人を増やしたりとかですね。

——このままじゃヤバそうですか？

快守　彼らは100年懸けてやってますからね。ボクは政治家になりたいとは思わないけど、支配されている現状を知ってる政治家がいないですからね。だから、こうしてボクが行動してるんですよ。

——なるほど！　神から受けた使命もそうですけど、快守さんの政治活動にはそういった理由もあったんですね！

快守　それで、フリーメイソンのトップはブライアン・ロックさんなんだけど、彼はロスチャイルド家のエドモンドさんの秘書をやってるんだよね。

——フリーメイソンと世界の大富豪であるロスチャイルド家が繋がってるってことは、一部の本でも明らかにされてますよね。

快守　ボクはそのブライアン・ロックさんを（ホテル・）オークラに呼んだこともあったんだよ。

——あ、快守さんが日本に招聘したんですか！

快守　日本の優れた技術を彼に紹介するためにね。ボクは3千万ぐらい使って呼んだんだよ。それから親しくなって、イギリスに行ってエドモンドさんを紹介してもらったんだよ。あんときは弟が議員活動してたでしょ？　彼らは「イノキを世界に羽ばたかせる」ために世界を動かしてる100人のフリーメイソンを集めて、弟に講演会をやらせよう計画してたんだよ（キッパリ）。

——猪木さんがフリーメイソンで講演会！　もはや夢のような話ですね（笑）。

快守　それがタス通信かなんかで流れれば、弟が世界的な立場で発言できるようなるからってことでね。弟もその気になってたんだけど……いつの間にか立ち消えになっちゃったね。でも、いまでも彼らとはコンタクトは取れますよ。

——それは衝撃の事実ですよ！　10年前ぐらいに、あるマンガで猪木さんがフリーメイソンに入ってるって告白する話があったんですけど、ほぼ当たっていたんですね（笑）。

快守　ああ、そんなのがあったんだ（笑）。いや、ホントに誘われてたからね、アントニオは。あのときフリーメイソンに入っていたら、弟は金に困っていなかったな（笑）。

——ダハハハ！　そうだったのかもしれませんね（笑）。

快守　だから、日本人もそういうことを知っていなきゃいかないんだけど、ごくごくわずかしか知らないから。このままでは日本は支配されてしまいますよ！

——実は、蝶野正洋さんがその辺の事情について詳しいんですよ。原子力産業にはロスチャイルド家が絡んでいて、それがフリーメイソンにも繋がるって暴露した『赤い盾』（広瀬隆）って本があるんですけど、それを読んで勉強したみたいですね。

快守　ああ、そうなんだ？

——蝶野さんはプロレス界で、NWOというヒエラルキーが逆三角形になる組織を造ろうとしたんですよ。そのときインタビューをしたら、「『赤い楯』を読んでも分かるんですけど、世界はロスチャイルド家を中心とするユダヤ系の資本を頂点としたピラミッドになってるわけじゃないですか。それをひっくり返したいんですよ！」って言われてました（笑）。

快守（身を乗り出して）じゃあ、蝶野さんと一度、お話しなきゃいけないなあ。蝶野さんが知らない裏話をいっぱい知ってるよ！　ちょっと、彼によろしく言っといてよ。今度、ブラジル酒でも飲みながら話でもしようって。

——ダハハハ！　ブラジル酒を飲みながらフリーメイソン談義ですか（笑）。で、話は大幅に変わって猪木さんがフリーメイソンから誘われたりしていた頃、会津若松で講演していたら暴漢に襲われたことがありましたよね。あのとき、快守さんは現場に居合わせてたんですか？

快守　あの瞬間は見てなかったけど、同じイベントに出ていた寺内タケシさんとかとみんなで取り押さえましたよ。その後、警察が楽屋に弟を襲った奴を連れてきたとき、警察の人に犯人が使った刃渡りを見せられたら、その瞬間にキレてね。ボクは犯人に金的を喰らわしたわけ。

——いきなりですか（笑）。

快守　警察の人が「やめなさい！」って止めたけど……。止めるも何も、あいつは弟を殺そうしたんだからね。

——まあ、キレますよね（笑）。

快守　たぶん、右翼か左翼かわからないけど、犯人はどこかから頼まれたんだろうな。次の日に電話で「オマエか!?　金的やったの！」って電話が掛かってきたからね

——そんな脅しの電話もあったんですか！　あのときは猪木さんも凄かったですよね。

快守　弟も血を流しながら最後まで講演をしてね。大したもんだと思ったよ。血に慣れてるんだろうね。

——ビックリしましたよ（笑）。普通に止血しながら「エ〜、いま切られてしまいましたが大丈夫です！」って講演を続けてるんですから（笑）。その後、猪木

100人のフリーメイソンの前で、弟が講演会をやる予定でした

【©谷村ひとし／光文社】文中で触れられている"猪木がフリーメイソン入りを告白するマンガ"が、谷村ひとし大先生の『空手大戦争　超人伝』。最近はオカルト的なパチンコ攻略方法で稼ぎまくりの谷村先生だが、このエピソードもほぼ的中していたのだからビックリ！

猪木とは何か!? 快守編

さんが政治スキャンダルでマスコミから大バッシング（佐藤久美子・元秘書、新間寿、『週刊現代』記者・S波らが中心になり、猪木告発キャンペーンを展開）を受けるわけですよね。

快守　あれは、ボクが秘書を辞める半年ぐらい前から仕掛けられていたんだよ。

――半年前からですか？

快守　まずね、ボクが目の上のタンコブだから、秘書を辞めさせようと仕掛けてきたんだよ。それにアントニオが上手く引っ掛かってボクにいろいろ文句を言ってきて、それでボクが辞めた。その途端にウワーッと始まったんだよ。

――あのときは、どういう心境だったんですか？

快守　テレビに出て大島渚さんにも言ったけど、佐藤久美子や新間さんにしても弟が雇ったわけだから、責任は弟にありますよね。……でも、良く（猪木は）耐えたよね。

――ですよね。普通、あそこから復活はできないですよね。あのとき、テレビにすら出られない状況だったわけだし。

快守　ホント、そうだよねえ。……最近、彼のスキャンダルはないんですか？

――女性の噂はたまに聞きますけど（笑）。

快守　ああ、そう（笑）。最近、あっけらかんとなってるからな、弟は。

――これはちょっと聞きづらいんですけど、快守さんには猪木さんみたいに離婚歴とかあったりするんですか？

快守　ボクは一回離婚して、また同じ人と再婚したんだよ。

――そうでしたか（笑）。最近、猪木さんが再婚したときの船上結婚式のビデオを新間寿さんに見せてもらったんですよね。

快守　ああ、あれは新間さんも行ったんだよね。……あのとき佐藤久美子もいたけど（笑）。彼女は何をしてるの？

――海外で結婚したって聞いてますけど。

快守　ああ、そうなの。ボクはS波くんとは仲がいいんだけど、彼は頑張ってるんだよね？

――S波さんは講談社のデスクになってますよ。こないだも『紙プロ』で「S波記者が……」という書き方をしたら、「オレは『週プロ』でいうところの次長だ！　訂正しろ！」って抗議の電話が掛かってきました（笑）。

快守　ああ、そうなんだ（笑）。彼もあの件以来、アントニオには気が引けてるんだよ。気にしなきゃいいのに。

――でも、猪木さんのスキャンダルを仕掛けたS波さんと快守さんの仲がいいのも面白いですね。

快守　そうなんだよね、不思議なことに（笑）。新間さんともそうなんだよ。新間さんはボクのこと「お兄ちゃん、お兄ちゃん」って言ってくるしね。いま会っても、どうってことない。

――ボクも新間さんとは良く会うんですけど、猪木さんの一族のことについては決して悪くは言わないですね。

快守　美津子ちゃんは嫌っていたけどね。

――あ、同じ女房役ってことで倍賞さんには嫌われてましたか（笑）。

快守　でも、新間さんにはお世話になってますよ。感謝してますね。弟は直接関わっていたから、僕たちには分からない感情はあるかもしれないけど。でもね、やっぱり新間さんがいたから、いまのアントニオがあるわけだからね。そこを忘れちゃ行けないし、憎み合っちゃいけないよね。

分かりづらいが、写真・左が渋谷の街頭演説でアントン総帥に炸裂した快守氏の闘魂掌抵！　快守氏は「え〜、私はやれと言われれば、この場で脱いでもいいです！　見たいのであればオチンチンを出しても構いません！」と言い出し、観衆から「脱げ〜！」と言われれば「オマエら、ホモか！」と吠えるなど、とにかく最高なのであった。

――同感です！　結局、猪木さんが新間さんを嫌がってるというよりは、猪木さんの周りにいる人が拒んでるところがあるみたいですけどね。

快守　そうでしょ？　前に永島（勝司）なんかがね、新間さんを追い出そうとしたときもあったんだよ。結局、ボクが永島を怒鳴りつけて止めたんだけどね。

――それは猪木スキャンダルのころですか？

快守　いや、その前だね。とにかく、新間さんはこの世界ではヤリ手だから。永島にしたら、やっぱり新間さんがいたら自分の立場が薄くなっちゃうからね。でも弟からしたら、新間さんのほうが頼りがいがあると思うんだどなあ。

――お互い、いまでも一緒にやりたいって気持ちはどこかにあると思いますよ。

快守　新間さんもアントニオに憎んだこと言ってるけど、それは愛情の裏返しであってね。

――やっぱり誰よりも気にしてますからね（笑）。

快守　あれぐらい弟のこと気にしてる人はいないよね。……新間さんはボクからしたら、カワイイよ（笑）。永島なんか、ちょっと憎たらしいね（真顔で）。

――それも同感です！　気持ちは凄くわかります（笑）。

快守　ホント、永島はちょっとね……。新間さんとは一度、会いたいよ。新間さんと一緒に、アントニオを徹底的に叩く対談でもしようか（笑）。

――ダハハハ！　それは面白いですね。ボクは2ヶ月に一回、ターザン山本さんとイベントをやってるんですけど、毎回、新間さんがゲストで来られてるんですよ。だから今度、「猪木対新間」って企画でやってみたいですね（笑）。

快守　でも、アントニオに「兄貴、兄弟の縁、切るよ」とか言われそうだなあ（笑）。

――ダハハハ！　でも、なかなか兄弟の縁は切れないんじゃないですか？

快守　でもね、空手の兄貴が選挙に出たとき、弟は「兄弟の縁を切る」って言ってね。そんな関係のまま兄貴は死んでしまったんだよね……。それは、弟もさみしい思いをしたと思うよ。

――快守さんが選挙に出たときは、何か言われなかったんですか？

快守　まあ、そのときもちょっといろいろあってね。彼がヘソ曲げちゃってさ（笑）。

――そうでしたか（笑）。最近、猪木さんとは会われてないんですか？

快守　前はベッタリだったけど、いまは会ってないね。たまにオークラでバッタリ会うけど、それも顔を見ただけで、ニッコリ笑うぐらいでね。……それでも何を考えているかお互いわかるから、兄弟もそこまでいくといいよ。変なとこに拘らないというかね。

――じゃあ、最近の猪木さんの動向はあまり知らないわけですね。

快守　最近は『PRIDE』に弟が絡んでるんでしょ？

――一応、肩書きとしてはプロデューサーってことですけど。

快守　小川（直也）さんはどうしてるの？

――いまはプロレス活動中心で、猪木さんとは一緒にやってない

猪木とは何か!?　快守編

んですよ。

快守　どうして？

——う〜〜ん、難しいところですねえ（笑）。

快守　でも、小川さんはUFOなんでしょ？

——UFOなんですけど、こないだの試合も川村さん指令でどうにか試合に出たぐらいですからね。快守さんは、新日本の選手との交流はないんですか？

快守　藤波さんや木村健吾さんぐらいかな。中国のハルビンでボクが興行やったときに長州さんは来てくれたけど。

——あ、自分で興行もやられてたんですか。

快守　台湾でもやったよ。台湾ではさ、ヤクザが入ってきて興行の売り上げ全部持っていっちゃた。あれはヒドイ目にあったね（笑）。

——それは大変でしたね（笑）。

快守　台湾ではヤクザが絡んだから、報道関係が一切宣伝しなかったんだよ。土壇場でテレビ局を動かしたけど、お客さんは入らなかったなあ。

——それは現地のマフィアが来たってことなんですか？

快守　そう。試合が終わって食事に行くじゃない。そうすると黒い背広を着た連中がズラーッと並ぶんだよ。アントニオが「兄貴、何だよ、これ？」って言ってさ（笑）。

——ダハハハ！　中国の興行はどうだったんですか？

不思議なことにね、弟が嫌ってる人と仲がいいんですよ（笑）。

快守　中国はまあまあだったね。初めて中国で興行をやったのはボクだったんですよ。日中スポーツ文化交流委員会を創ったのもボクだしね。

——それもあって、今度は歌での中国公演に至るわけですか（笑）。それにしても幅広い活動してますよねえ。

快守　（唐突に）名刺、頂けますか？

——わ、わかりました（と、名刺を差し出す）。

快守　（吉田豪の名刺を見ながら）オタクの画数は平仮名で書くと、15画だね。これは最高画数ですよ（自信満々に）。

——あ、そうですか（笑）。

快守　でもね、「豪」は一文字でしょ。これは危険がはらんでるね。だから、結婚運とかは割れてる。でも、対人関係はいいですよ。一つの専門分野に秀でてるから、何かをとことんやると伸びる。性格は内面優しそうだけど、人嫌いというかね。表面は合わすけど、合わない人とは口も聞きたくないってのがあるね。

——当たってます！　そんな才能まであるんですか（笑）。

快守　まあ、ブラジルにいたころからやっていたんだけどね。もし画数でその人に不幸があった場合は、ボクは手相を見るわけね。でもね、悲観的なことを言うと、気にする人がいるでしょ？　前に見てあげたら女の子が悩んじゃったことがあるから、それからやらないようにしているんだよ。いまは歌だけだね。

——いまは歌手活動に専念してるんですね。

快守　政治の方も、来年には大きなことをやるつもりですけどね。神の使命とかもそうだけど、その切り込みになるのが歌手活動なんですよ。ボクは50年後、100年後に残せる歌が作れると思うから（キッパリ）。アントニオは、若者に励みになったり素晴らしいことをやってるんだろうけど、でも、力道山といえども忘れ去られてるわけですよ。アントニオも同じだと思うんですよね。ボクは100年後に残るモノを残したいんです。歌ならボクにはできると思って勉強してるんですよ。

——夢が大きいですね（笑）。

快守　弟もあそこまでいきましたけど、存在としたら小さいですよ。それを理解してないと日本は動かせないです。

——快守さんの目標は、日本を動かすことなんですか！

快守　そうだね。弟もまだまだ小さいから。これから彼もチヤホヤされるだろうけど、長州さんや藤波さんとか昔の仲間に感謝しないとね。まあ、彼はそれを感じてるんだろうけど、小川さんなんか最近の関係でしょ？　ボクから言わせれば自分でやらせればいいんでね、もっと大事にしなくちゃいけないのは藤波さんとかですよ。

——苦しい時期を一緒に乗り越えた人間を大事にしろということですね。

快守　その原点に戻らないと。猪木イズムの中にそういうモノを残さないとダメですよ。アントニオの中にそれがないとは思わないですよ。でも、もうちょっとみんなに分かりやすいように、藤波さんに関しても愛の表現の仕方があるんじゃないかなって思いますね。

——猪木さんは愛の表現がヘタですよね。

快守　彼のやり方は「どうにでもなれ！」というやり方じゃない。なかなかわからないと思うよね。長州さんなんかも、付いていけないのはしょうがないよね。だから、彼にはホントの弟子というのはいないと思うよ、馬場さんみたいに手取り足取りじゃないから。

——そうでしょうね。

快守　でも、だからこそ、本当の弟子はできると思うんだよね。

——分かりづらい人だけど、そこを理解したら本当に素晴らしさがわかるってことですか。

快守　彼の心はブスじゃないですから。おじいさんに「心の貧乏人にはなるな！」って言われ続けてきてるからね。彼にはその想いはあると思うし、なくなさいで欲しいよね。

——なくなりそうになったら、快守さんの掌抵ビンタで思い起こさせてあげれば大丈夫ですよ（笑）。最後に何かありますか？

快守　彼と会うと、「兄貴、良い人生歩こうよ」って言うんだよね。だから、そうしたいよね（笑）。

——わかりました。じゃあ、世界五大宗教の統一を目指して歌手活動を頑張って下さい！

【02年9月6日／原宿・ブラジル料理店「BARBACOA GRILL」にて収録】

【いのき・よしもり】
昭和13年、横浜・鶴見区生まれの64歳。アントン総帥に陸上部入りを進めたり、崇教真光にハマらせたり、政界入りを推進したり、フリーメイソン入りをプッシュするなど、とにかく多大な影響を与えたビックブラザーである。現在、スポーツ平和党・党首を務める。「来年、大きな動きをする」と政界再編に意欲をみせる。

パブロ猪木のステキな歌声を聞こう!

美空ひばりの妹のコンサートに快守氏が登場!

我らが快守氏が出演する、美空ひばりさんの妹・佐藤勢津子さんの歌謡ショーのチケットを10名様にプレゼント!　発売日の翌日なので、ダブルクロス編集部にまでチケットを取りに来れる方のみのプレゼントになります（要連絡：TEL.03-3403-5188）。

【日時】9月27日（金）　14:00〜
【会場】世田谷区民会館

自分達の力で回せてる団体は世界中でWWEと闘龍門だけだよ

全日本のリングで僕がマスカラスになってブッチャーとやりたい夢があるんですよ

純プロレスの砦 頂上対談

元WCWのスーパースターズが夢の競演!

武藤敬司×ウルティモ・ドラゴン

WCWの悪徳マネ サニー・オノオも特別参加!

『PRIDE』、『Dynamite!』など格闘技の巨大な波に防戦一方のプロレス界において、プロレス独自の面白さを提供し続けて、いまや純プロレスの砦といっても過言ではない、全日本プロレスと闘龍門。そのトップ同士の夢の頂上対談が実現! 元WCWのスーパースター同士でもある二人が、同じくWCWのキーパーソンであったサニー・オノオを加えて、マット界の今後を大いに語りあった。純プロレスの未来はこの二人に託した!

聞き手/堀江ガンツ
撮影/森鷹博
designed by ZERO graphics

—今日はWCWで活躍した日本人スーパースター同士のスペシャル対談ということで、お集まりいただきました！

武藤 （突然）なぁ、俺らが持ってたあのベルト何だっけ？

ドラゴン （WCWの）TV王座ですね。あのベルトを日本人で取ったのは、ボクと武藤さんだけなんですよ。

武藤 そうそう、俺らだけだよな。

ドラゴン 実を言うと、ボクは2回取ってるんですよ。でもボクの場合、強いチャンピオンの谷間みたいな時にたまたま取れただけなんで、インチキみたいなもんですけどね。武藤さんはレックス・ルガーかなんかに勝ったんですよね？

武藤 スティングだったかな。

ドラゴン スティングに勝ったんですか！ トップじゃないですか。

武藤 それでアーン・アンダーソンで落としたよ。

—また、シブイところで（笑）。

武藤 でも、いい選手でしたよ。当時まだ現役だったからね。

—そんな感じで、お二人はいろいろ共通点があると思うんですけれど、元々新弟子時代、新日本プロレスの道場では面識があったんですか？

ドラゴン ボクが入門したときは、ちょうど武藤さんがフロリダに行かれていたときだったんですけど、当時の新日道場はYさん（Y田恵一）とかHさん（H本真也）の"かわいがり"が凄かったんですよ（苦笑）。

武藤 Yって誰？

—Yさんといえば、角が生えてる小柄なあの方ですね（笑）。

武藤 ツノ？ ……ああ！ 天山だぁ！（キッパリ）。

ドラゴン （慌てて）いや、天山クンはボクより全然後輩なんで。

武藤 じゃあ、誰だぁ!?

PPVで闘龍門の試合を見たウチのガキが「ドラゴンキッド」って言い出したよ

ドラゴン Yさんといえば一人しかいないと思うんですけど（笑）。

武藤 ………健介？

一同 ワハハハハハ！

—健介さんはKかSですよ！（笑）。

ドラゴン いまは、Lさんと言った方がいいかもしれないですね。

武藤 L………サムライ？

—ワハハハハハハハ！

ドラゴン （慌てて）いやいや、あの人イジメないじゃないですか！（笑）。

武藤 Yさん………。

ドラゴン Yさんて1人しかいないじゃないですか！ 誰でもすぐにわかりますよ。

武藤 いや、時代のアレがわからないんだよ。う～ん（本気で悩んで）、……ライガーか！

—大正解です！（笑）。

ドラゴン あと、Hさんにもかなりやられてましたね。

武藤 Hは………橋本だ！

ドラゴン そうですね。だから当時優しかったのは蝶野さんぐらいだったんで、武藤さんがフロリダから帰ってきたときもビビってたんですよ。しかも、ボク一度武藤さんに洗濯を頼まれたとき、パンツをなくしちゃったことがあって。「これはシバかれる」と思いながら、恐る恐る「すいません、パンツなくしちゃったんですけど」って言ったら、アッサリ「ああ、俺パンツ履かないからいいよ」って（笑）。

—武藤さんはノーパン主義だったんですか（笑）。

武藤 いや、全然覚えてねぇ。

ドラゴン 柔道やってた方って、パンツ履かない人多いんですよね。それで「あ、いい人だな」って（笑）。

武藤 でも、確かにあのころ出入り激しかったよな。橋本より下ってスゲエ空いてるからね。飯塚（高史）とか片山（明・引退）になっちゃうから。

ドラゴン 飯塚さんが入られて、ボクが通いの練習生として通いだしたんですよ。それでボクはメキシコに行ったんですけど、その後に入ったのが鈴木みのるなんですよ。だから、2年ぐらい誰も残らなかったんですよね。

—YさんとHさんのおかげで（笑）。

武藤 俺もアイツらと同期だから助かったと思うよ。1年下だったら絶対辞めてると思ったもん（笑）。

ドラゴン あの時はホント、ボクが見ただけでも20人ぐらい辞めてましたからね。みんな「私生活に耐えられない」とか言って。

—練習より私生活でしたか（笑）。

ドラゴン ボクのときは蝶野さんが寮長だったから、まだ助かりましたけどね。その1年か2年前はYさんが寮長でひどかったって話を聞きましたからね（笑）。

—そんな感じで同じ場所で新人時代を過ごしたお二人が、いまお互い団体のトップとなったわけですけど、武藤選手から見て、いまの闘龍門っていうのはいかがですか？

武藤 いやぁ、素晴らしい世界だよ。正直言って、試合はこの間全日本に来た時に初めて見たんだけど、インパクトあったね～。自分達の世界っていうものを築きあげてるっていうか、素晴らしかったですね。

—お客さんの反応も凄く良かったですもんね。

武藤 ていうかね、ウチのガキがPPV見てたんだよ。そしたら「ドラゴン・キッド、ドラゴン・キッド」ってガキが言い出したもんね。そういうインパクトっていうのは素晴らしいよ。

—同時に全日本のジミー・ヤン選手も良かったですよね。闘龍門の練り上げら

武藤敬司×ウルティモ・ドラゴン

れた世界にポンと入れられて、あれだけのインパクトを残しましたから。

ドラゴン　彼に関しては、ホントに武藤さんにお願いして闘龍門でお借りしたいくらいですよ。今回天龍さんも彼のこと凄く買っていて、今回天龍さんから全日本参戦のお話をいただいたときも、天龍さんの方から「ジミー・ヤンというい選手がいるから一緒に入れてやってくれ」って頼まれたんです。彼が入ったことで、闘龍門の世界だけじゃなく、もっといいものができたと思いますね。

武藤　アイツ、運動神経いいからね。ただアイツもWWF（WWE）をクビになったひとりなんですよ。だからWWFがいかに層が厚いかだよね。

ドラゴン　単純にカズ（・ハヤシ）とかジミー・ヤンもいい選手じゃないですか。でも、やっぱりある程度コネがないと、向こうはいい選手でも使ってもらえないんですよね。だからボクが「武藤さん凄いな」って思うのは、コネがないのにWCW（当時はNWA）に入ったじゃないですか。

武藤　しいて言えばヒロ・マツダさんぐらいだね。

ドラゴン　ボクなんかは実を言うと、マサ・サイトーさんにお願いしてWCWに入れたんですよ。「アメリカでやりたい」っていうお話をしたら、すぐ話をしてもらって、運良くレイ・ミステリオJr.とPPVのときデビューできたんですよ。

サニー・オノオ　当時はクルーザー級がWCWになかったのを、浅井さんとか、エディ・ゲレロとかクリス・ベノワとかが作り上げたんですよ。

武藤さんの凄いところはコネがないのにWCWに入れたことですね

――あ、サニーさんにようやくしゃべっていただけました（笑）。じゃあ、ある意味で浅井さんたちの活躍は、革命みたいな感じだったんですか？

サニー　（エリック・）ビショフさんはビックリしてましたよ。

ドラゴン　第一試合にいつも出てたっていうのは、かなりいいポジションだったんですよ。アメリカではテレビの第一試合って凄く重要じゃないですか。

――掴みの部分で、昔の金曜8時で言うタイガーマスクの役割ですよね。その辺いまの闘龍門も重要視してるんじゃないですか？

ドラゴン　そうですね。ウチは第一試合は名前よりもいい試合をする選手。会場を沸かせる選手を中心に使ってますよね。どうしても試合数が少ないんで。

武藤　ウチだって6～7試合だよ。

ドラゴン　ウチは4試合のときがあるんですよ。だから、たった4試合でもお客さんを楽しませて帰らせないといけないんで、一試合目から勝負なんですよ。

武藤　ただね、団体レベルで考えた時に、例えばノアとか新日本って選手がいっぱいいるじゃないですか。その中でシックスメンが入ってタッグが入って、またシックスメンが入って……やっぱり多すぎるよな！

ドラゴン　確かに、ボクがいまこういう団体をやってて思うのは、ハッキリ言ってどうやって経費を使わないようにしていくかってことなんですよ。

武藤　いいことだね（笑）。

ドラゴン　そう考えると利益率は選手が少ない分、いいと思うんですよ。

――昨日もほとんど自前の選手だけで有明コロシアムが満員ですもんね。

武藤　うらやましい限りだよね。いま世界中を見渡しても鎖国というか、自分達の力だけでまわしている所ってWWEしかないんだよね。あと浅井のとこだよな。全日本だって選手を借りたりしてるからね。

ドラゴン　もちろんプロレス界を良くしようと思ったら、交流っていう手もあるんですけど、交流って長い目で見たらダメなんですよ。それぞれの団体が底上げして昔の新日本、全日本みたいな対抗の図式を作らないとダメですよね。

武藤　いまの交流って苦しまぎれなんだよな。

ドラゴン　そうなんですよ。その場のお客さんを入れてるだけで、昔のアメリカとソ連の冷戦じゃないですけど、やっぱり睨み合って対抗しあってお互いが良くなっていかないと、絡んじゃダメなんですよね。ウチに関しては単純に選手が多くて、学校をやってる以上そいつらに仕事を与えなくちゃならないじゃないですか。だから選手が多すぎてどこからか連れてくる必要がないんですよ。余ってるぐらいなんで。

武藤　ただ、その選手のレベルが高いっていうのが素晴らしいところだよ。

――武藤さんは常々「新人の育成が全日本の課題」というお話をされてますけど、そういう面でも闘龍門っていうのは参考になる部分があるんじゃないですか？

武藤　いや、うらやましい限りですよ。闘龍門ってプロレス学校として始めて、最初、募集した時何人いたの？

ドラゴン　30人ぐらいですね。

武藤　全員受け入れたの？

ドラゴン　いや、一期生は最初が肝心だと思ったんで選んだんですよ。でも、いまはもうとりあえず入れちゃいますね。どうせすぐ辞めるんで、とりあえず入れるんですよ。その方が学校も繁栄するじゃないですか。

武藤　辞めさせることもあったの？

ドラゴン　それは絶対にやらないです。

日本が米マット界から学ぶべき事？……在庫整理だろ（武藤）

建前は学校なんでイジメとかも絶対やらないですね。ひどい子になると、初日の練習で外にランニング行くじゃないですか。それで300メートルぐらい走ったら「もうダメです！」とか言って、そんなのが実際いるんですよ。

武藤　へ～、忍耐力あるね（笑）。

ドラゴン　それで辞める時に「お前、何考えて来たんだ？」って聞くじゃないですか。そしたら「学校って聞いたんで、走るところから教えてもらえると思いました」って。ホントにそうやって来るんですよ（苦笑）。だから、なるべく怒らないでいいところを引き伸ばしてあげないと、いまの若い子は残らないですよね。

武藤　そこの違いだな！　俺、わからないから自分をモノサシにするじゃん。「俺が20ぐらいの時はもっと凄かったよな～」とかさ（笑）。

ドラゴン　それが一番ダメなんですよ（笑）。

武藤　そうなんだよな（笑）。

ドラゴン　だから自分は天才だと思わないと、これが普通で俺は特別だと。例えばC－MAとかも特別なんだと。こいつらはストーカー市川を基準として考えたらほとんど許せるんですよ（笑）。もうしょうがないなって。

――これ聞いたとき驚いたんですけど、浅井さんは「トップにする選手」っていうのは入門した時から決めているんですよね？

武藤　そうなの？

ドラゴン　はい。入門してきた時から決めますよ。なぜかというと、武藤さんとかもそうですけど、スター選手って最初からスターじゃないですか。徐々にスターになっていくっていっても、絶対にそれは団体がプッシュしているだけで、実際にそんな人はいないんですよ。三沢さんにしてもそうですけど、大体入ってきた時からなんとなく違うポジションにいるでしょ？　だから、すぐにはわからないですけど、最初から決めてますね。

武藤　スターになりそうなヤツと普通の選手の育て方に差別ってあるの？

ドラゴン　差別っていうか、例えば夜にちょこちょこっと呼んで、もう少し技とか教えるんですよ。それぐらいですね。あとみんなに言うのはグループ分けをした時に、「このグループのエースはこいつで行くからな」と。他の人には「お前らは無理だから自分のポジションで頑張りなさい」と、「だけど頑張れば人気もでるから」って。それで納得しますよ。

武藤　でも、これは浅井のところだからできるんだよな。やっぱりレスラーのジェラシーっていうのは団体が大きくなればなるほど、もうグチャグチャだよ。

ドラゴン　ありますね。だからさっきの武藤さんのお話じゃないですけど、鎖国して一つの世界を作り上げて、当然そこの上に誰か一人独裁者というかカリスマみたいな人がいないと、プロレスなんて特に個性の強い人達の集まりなんで、誰もついてこないですよ。特にいまの若い人達なんて、明確な目標を与えてあげないとついて来ない。だからいまメキシコにいる20人ぐらいの生徒にも「来年のいついつに日本上陸するから」っていう目標を与えてあげるわけですよね。それをちゃんとこっちも責任をもって実現させる。そうすれば自然とついて来ますよ。「その代わりお前らもちゃんとやれよ」っていう、その信頼関係じゃないですか。

武藤　へ～、考えてるねぇ。

8月31日、全日本武道館2連戦の2日目、天龍プロデュースとして、闘龍門はマグナム＆横須賀＆クネスvs望月＆ドラゴン・キッド＆ジミー・ヤン戦を提供。そのハイレベルな攻防で、その日のベストバウトをかっさらった。

ドラゴン　ただ武藤さんのいまの立場とか全日本プロレスを見てると、前からいるレスラーがたくさんいるじゃないですか。そういう人達をこっちに置いといて新しいレスラーだけでやるっていうんだったら絶対できると思うんですよ。前からいるレスラーっていい意味でも悪い意味でもプロレス界の裏表をわかっていますからね。

武藤　ただ、さっき浅井が言ったようにいまから5年経ったらもっと大所帯になるからね。そしたら絶対不平不満分子っていうのは出てくると思うよ。

ドラゴン　でますね。あと5年経ったら絶対何か起こりますよ。それはそれでしょうがないかなって。だからできれば、これは極端な話なんですけど、定年制でも作ろうかなって思ってるんですよ。30過ぎたら徐々に窓際にやろうかな、とか。とにかく新しいレスラーをドンドン出していって活性化させないと、ウチなんかやっぱりどうしても客層も若いので、年齢の高いのはボクだけでいいんですよね。

武藤　考えてるね～（笑）。

ドラゴン　一番困るのは年取るとギャラが高くなるということなんですよ。そういう人は他の仕事をやってもらうというのが一番商売上はいいんで。

武藤　それで、入門してきた新人からは月謝取るんだろ？

ドラゴン　もちろんですよ。

武藤　大したもんだよな～。ウチだったら誰も来ないよ（笑）。

ドラゴン　全日本さんも月謝を取ったら取ったで来ると思うんですよ。選ぶからじゃないですかね。全員取っちゃってとりあえずやらしてみたら、意外とダメかなと思ってたヤツが良かったりするんですよね。

武藤　それはあるね。誰が伸びるかってわかんないよ。ただ、そういう意味で浅井の所はタレントにいい色をつけてるよね。ウチも新人育成を上手くやっていかないとなぁ、さしあたって在庫がまだないから。ウチの会社も寄せ集めで急にやってるからさ。あと、やっぱりテレビが欲しいよ。民放が欲しいよね。

――それはもちろん闘龍門も一番欲しいところですか？

ドラゴン　テレビ欲しいですけど、テレビつかないですよね、ホントに。特にウチの選手ってほとんどジュニアヘビーじゃないですか。日本のTV業界の人達って、プロレスラー＝体がデカイ人達っていうイメージがまだあって、非常に難しいですね。でも、テレビ局からしたらもの凄くいいソフトではあると思うんですよ、ウチのプロレスっていうのは。ビジュアルがいいじゃないですか。だけどそこまではまだ知名度がないんで、ダメですよね。

武藤　でも、闘龍門ってヘンな話、昨日もビックマッチやったみたいだけど、もっとちっちゃい器で洗練されたプロレスをやって、それをPPVとかテレビでやった方が格好良く見えると思うんだよな。

ドラゴン　そうなんですよ。昨日ボクが会場の上から観てて思ったのは、T2Pっ

武藤敬司×ウルティモ・ドラゴン

Ultimo Dragon　Sonny Onoo　Keiji Muto

ウルティモ・ドラゴン

本名・浅井嘉浩。S41年12月12日、名古屋市出身。新日本道場に入門後、単身メキシコに渡り、日本では90年にユニバーサルでデビュー。その後、U・ドラゴンに変身。日本、アメリカ、メキシコのメジャー団体を渡り歩く大スターとなる。現在は闘龍門の総帥。

サニー・オノオ

本名・オノオ・カズオ。出っ歯、揉み手、怪しい笑顔というアメリカ人が考える日本人像を体現したWCWの日系悪徳マネージャー。ウルティモ・ドラゴンの他、クロサワ（中西学）、永田らと組んでいた。現在はマット界から離れているが、何か画策しているとの噂も。

武藤敬司

S37年12月23日、山梨県富士吉田市出身。今年、1月に新日本プロレスを離脱、野心を持って全日本プロレスに入団→社長就任濃厚なプロレスの天才。90年代にはグレート・ムタのリングネームで、日本人として唯一WCWマットのトップを張った。188cm115ｋｇ。

ていう関節技をやってるグループがあるんですけど、それなんか遠くから見てるとわからないんですよね。だからオーロラビジョンとかも入れたりしなくちゃいけないと思ったんですけど、それじゃ経費がかかっちゃうんで、後楽園ぐらいの大きさの所で毎月ＰＰＶみたいな形でやるのがベストかなって思いましたよね。

武藤　それで利益が出るんだったらね。

ドラゴン　ただ、ビックマッチっていうか、大会場はボクらみたいにテレビがない団体にはリスクがあり過ぎるんですよね。そんなゲートとか舞台装置にもお金をかけられないじゃないですか。今回は前日開催のＤＥＥＰさんと半々ということで良かったんですけど、あれを自分達だけで組んだら正直キツかったんじゃないですかね。

武藤　え!?　ＤＥＥＰと経費半々なの？賢いね～（笑）。大したもんだよ！

――全日本も10月以降に横浜アリーナ、東京ドーム大会が噂されてますが。こちらはどうなんですか？

武藤　いやいや、まだ具体化されてないですよ。ただ10月27日に日本武道館があって年末も最強タッグがあって、そこに横浜アリーナなんか入れたら逆にそっちが落ちちゃうじゃん。だからもう少し気長にいこうかなって考えてますよね。

――そういうスペシャルなビッグマッチをやるっていうのは、武藤さんが以前言っていた「新日本は東京ドームをやらなくっちゃいけないことで、流れがブツ切れになっちゃうことが問題点だ」っていう話と同じにはなりませんか？

武藤　ただ、幸いゴールドバーグが来るとしたらネタはあるじゃない。別に恒例にするわけじゃないんだから、旬な時に利益を作っとかないとヤバイじゃない。

――なるほどなるほど。

ドラゴン　ボクはちょうど、ゴールドバーグがデビューしてからホーガンに勝つまでのサクセスストーリーを近くで見てたんですけど、ＷＣＷっていうのはスターを作るのが非常に下手な団体だったんですよ。その中でスターになった彼の活躍ぶりっていうのは、ホントに凄かったですよ。

武藤　でも、そのあと俺が最後に行った時のアメリカでは、ゴールドバーグがヒールをやらされてたんだよ。

ドラゴン　一時ありましたね。

武藤　そうしたらやっぱりハウス（観客動員）も落ちたからね。お客が求めてないもん。上層部の人が「ヒールをやれ」って言ったらビジネスが落ちたからね。その采配っていうのが凄い難しいよね。

――お二人は実体験として、アメプロのいい時期を体験してきたと思うんですけど、日本のプロレス界が米マットから一番学ばなければならないことって、何なんでしょうか？

ドラゴン　組織作りじゃないですか？

武藤　いや～、在庫整理だろ（キッパリ）。

ドラゴン　そ、そんなこと言っちゃって大丈夫なんですか？（笑）。

――ワハハハハハ！

武藤　だってアメリカのシステムのほうがクビをすぐ切れるよね？

ドラゴン　いや、あの、まぁ………（苦笑）、ぶっちゃけて言うと全日本さんに限らずいろいろ見てて、「う～ん」って思う選手はたくさんいますよね。

武藤　それなのに不良在庫を切れないもんね。それが日本の性なんだよなぁ。

ドラゴン　ハッキリ言って大きな団体を見ていると、大企業病かなっていうのはボクらから見ててもありますね。ただそれは日本のプロレスって、オールドタイマーをリスペクトするところが結構あるじゃないですか。だからそのへんのバランスが非常に難しいと思うんですよ。た

全日本はニューフェイスに対する外人同士のジェラシーが凄いんだよ

だ単に切ればいいかって言ったら、若手だけで地方に行ったら「誰？　この人」ってなるじゃないですか。「いまのブッチャーって二代目？」とかいうお客さんも実際いるんですよ。「マスカラスやハンセンはどうなった？」とか。

武藤　ウチにも外人いっぱい来てるけどさ、地方で一番インパクト与えてるのはやっぱりブッチャーなんだよね。地方のお客さんなんてジム・スティールとか誰も知らないよ。

ドラゴン　あと、この間武藤さんの記事かなんかで読んだんですけど、外人がちょっとベビーフェイスをやり過ぎかなって思うんですよ。もっと迫力を出して悪い外人が欲しいかなって。ニコニコしていい人になり過ぎちゃって、外人レスラーの役割をはたしてないというか、あんまり外人らしくないですよね。

――そういえばそうですよね。

武藤　なかなか難しいんだよ。これだけ情報社会でさ、インタビューだってアメリカだなんだってその外人の所まで行って、人間性まで語るじゃない？

――打ち出してますよね（笑）。

武藤　ああなったら作り上げることが段々難しくなるよね。だから地で勝負していくしかなくなるからさ。クロニックだってアメリカでオーバーしたんだし、俺らがタッグのチャンピオンでクロニックで落とした試合は評価良かったんだから、ホントはもっとプッシュしたいんだよ。でも、ベルト取ったあとの外人同士のジェラシー？　ニューフェイスに対するジェラシーが凄いんだよなぁ。

――ああ、なるほど。

ドラゴン　確かに全日本プロレスっていうのは、あの人達からすればもの凄くおいしいマーケットですもんね。そこにニューフェイスが来ていきなりチャンスをもらったら、やっぱりそうなりますよね。

武藤　ただ、日本だけで興行してるのに同じ外タレばっかり呼んでられねぇじゃん。ホントはアメリカに職場があって、そっちで働きながらこっちに来てくれりゃいいけど、頼りすぎてるよ全日本プロレスに。

ドラゴン　いつもいたら日本人なのかアメリカ人なのかわからないですよね（笑）。

武藤　ブッチャーなんか勝手に航空券買って来るらしいよ！

一同　ワハハハハハ！

ドラゴン　アメリカに行ったら、レスラーってあまり仕事がないですからね。

武藤　ホントはちっちゃなテリトリーでもいいからアメリカで存在してくれて、日本へ出稼ぎに来るぐらいだったらいいけど、日本に来るレスラーってアメリカで仕事してないんだもん。だから生活を全部こっちにかけてくるからさ、スゲエ大変ですよ。

ドラゴン　最近のメジャー団体さんの外人の呼び方を見てると、昔って一年に一回とかしか目玉の外人て来なかったじゃないですか。それが毎月来てるから有り難みもなくなってきてるんですよね。

武藤　その割には知名度が広がっていかないんだよなぁ。

ドラゴン　やっぱり毎回来てると、インパクトがないんですかね。昔はシリーズ、シリーズに外人の核になる人がいて、今回はマスカラス、次はブッチャー、その次はファンクスとかって全部違ったじゃないですか。いまはもういつも同じ人で見ていて確かに面白くないですよね。

武藤　だからサニーさん、テリトリー作ってよ。そこで働いてて、たまに日本に来てもいいっていうようなさ。

サニー　でも、こっちも同じだと思うんですけど、アメリカもテレビがないとホントにお客さん来ないんですよね。しかも、WWEが女の人の裸マッチとか、そういうことをやりすぎたんで、プロレス番組にスポンサーがつかないんですよ。

武藤　教育に悪いと。

サニー　そういうイメージになっちゃったんですよ。だから新しいプロレスの団体をやりたいってテレビ局に言っても無理なんですよ。

武藤　WWEもヤバイね。ハウスもガンガン落ちてるんでしょ？

サニー　裸マッチとかやって、何とかしてお客さんを呼ぼうとしてますね。

90年代のアメリカマットにおける日本人最大のスターと言えば、文句ナシにグレート・ムタ。リック・フレアー、スティングといったトップどころとライバル抗争を繰り広げた実績は他の追随を許さない。90代後半には伝説のNWOにも加入していた。

「パワープラント」にはサップみたいなバケモノがたくさんいましたよね

ドラゴン　ちょうどWCWとWWFが戦争してたじゃないですか。あの頃から明らかに路線が違いましたよね。WWFはR指定だけど、WCWって一般の子供向けだったんでR指定じゃなかったんですよ。だから流血はダメ、女の子の裸はダメ、スラングダメで。

サニー　スラング言ったら、TVのプロデューサーにメチャクチャ怒られましたからね。

ドラゴン　Xパックがリック・フレアーのタイツを引っ張ってお尻が見えちゃったことがあって、それで3000ドルぐらい罰金取られて、リピート放送の時にそのシーンだけ別のコーナーになったりしてましたからね（笑）。

――ワハハハハハ！

ドラゴン　スコット・スタイナーとか口が悪いじゃないですか。いつもスラング連発してたから、プロデューサーが凄い怒ってましたね。「レスラーは何回言っても言う事を聞かない」って。WWFは大人が見てて、WCWはファミリーが見れるような番組を作っていこういうことでかなり厳しかったですよ。

――へ～、そうだったんですか。ま、プロレス界内部にもいろんな課題はあると思うんですけど、外に目を向けると、総合格闘技の脅威が急速に巨大化してますよね？　武藤さんは、先日行われた『Dynamite!』に来場されてましたけど、ああいうものを観て「プロレスはどうしたらいいかな？」って考えちゃいますか？

武藤　そりゃ考えたよ！

――まず、率直な感想をお聞かせいただきたいんですが。

武藤　率直な感想？　俺は一番上から見てたんだけど、やっぱり国立競技場の真ん中の四角（アリーナ客席部分）だけで日本武道館かよ！って思いましたよ。それから、試合についてもノゲイラとボブ・サップなんか、あのレベルをプロレスで表現しろって言われたら、すげぇ難しい作業のような気がするよね。ただ、猪木さんがパラシュートで降りてきたスペースがあるじゃん。あそこでプロレスやったら絶対こっちのほうが注目するだろうなっていうような場面もあったんですよね。

――お客さんに見せたら沸かせる自信はあるけど、まず呼んで来る力が必要だと。

武藤　そうだね。

――では、逆にこの間も武道館大会に来てましたけど、ボブ・サップ、サム・グレコ、ジョシュ・バーネットといった格闘技の選手を全日本で使っていこうというプランはあるんですか？

武藤　う～ん、それは彼らのプロレスをやる気持ち次第。やっぱり情熱だよね。アイツらプロレス好きなんだよ。宇野（薫）ちゃんだって全日本に呼んだりしたら凄い一生懸命プロレスを学ぼうっていう意識というか情熱持ってたからね。そういうのがなかったらプロレスは表現できないからね。ただ、やっぱり俺ら興行会社であって、なんか下手したらゴールドバーグの人気よりボブ・サップの人気のほうがありそうな感じするもんね、こと日本に関したら。

――現時点ではそうでしょうね。しかも、サップなんかWCWにちょっといたらしいじゃないですか。

武藤　俺知らないよ。

サニー　試合は出てないけど、『パワープラント』にいたんですよ。

ドラゴン　サップだけじゃなくて、『パワープラント』って怪物みたいな人がたくさんいますよね。

武藤　いたいた！　俺、一昨年行った時に、身長高くて腕だけ異常に太いヤツがいたよ。顔と同じぐらいの腕があるんだよ！　あんなのホントにプロレスに向いてるよ！

サニー　あれは世界で一番大きい腕の男なんですよ。

――マンガのポパイみたいですね（笑）。

武藤　「あんなのにスリーパーをやられたら」っていうイメージを湧かせるプロレスラーになれるような要素があるよ。

――そういう選手は、ゼヒ呼んで欲しいですね（笑）。

武藤　どこにいるのか、探して来ようかなホントに。

――では、お時間もそろそろなんで、最後に今後のお二人のプランをお聞きしたいんですけど。

武藤　そうだなぁ、やっぱりイベントを成功させるために身近なアレだと天龍源

トータルの実績ではムタに及ばないものの、90年代後半に限って言えばウルティモの活躍はズバ抜けている。レイ・ミステリオJr.、クリス・ベノワ、エディ・ゲレロらと作り上げたクルーザー級の世界は、『ナイトロ』の視聴率を跳ね上げ、WCWを業界トップに押し上げる原動力となった。

近いウチに天龍源一郎vsゴールドバーグの三冠戦を組みたいよ（武藤）

一郎をゴールドバーグとぶつけてぇよ。

——それは見たいですねぇ！

武藤　なんとなく器も埋まりそうな気がするじゃない？　ましてや三冠戦だったらね。

ドラゴン　それはもうドーム・クラスじゃないですか？

武藤　あの2人って、試合内容も何か合わないようで、意外と凄い合うような気がするんだよね。

ドラゴン　天龍さんの試合のスタイルって受けじゃないですか。だから意外と噛み合うんですよね。それはお客さん凄い入りますよ。

武藤　でも、ホントは俺がやりたいんだよ！　ただやっぱりミスター・プロレスの天龍源一郎がチャンピオンなんだから。

——浅井さんも去年あたり「復帰したら全日本に上がりたい」みたいなことを言ってましたよね？

武藤　それ、いいじゃない！

ドラゴン　だからこの間、全日本さんの本部席に着いたとき、お客さんが俺のことをどう思ってるか確かめてた部分もあるんですよ。あそこでシラ〜っとしたら、俺が行ってもダメだなと思ったんですけど、おかげさまで声援いただいたんで（笑）。

武藤　意外と慎重だね〜（笑）。

ドラゴン　4年もブランクがあるんで、リサーチしとかないと（笑）。ただお客さんが温かかったのと、控え室も渕さんもそうですけど、すごいウェルカムで迎えてくれたんで、全日本さんは職場として見て、凄く「いいな」と思いましたよね。あと、トップが武藤さんと天龍さんで、お二人ともボクが凄い好きなレスラーなんで、またそういう所でやってみたいなっていうのはありますよね。

武藤　それより腕（のケガの具合）どうなんだよ！

ドラゴン　腕はダメですね。

武藤　腕がダメならキツイじゃん。

ドラゴン　キツイですね。連戦じゃなければどうにかなると思うんですけど、全日本って毎日あるじゃないですか。シリーズが始まったらちょっとキツイかなとは思いますね。できればボクがマスカラスになってブッチャーあたりとやりたい夢はあるんですけどね（笑）。

——それはいいですね（笑）。

ドラゴン　ただ、全日本のジュニアも、いまケンドー・カシンがやってますけど、そのライバルがいないですよね。

武藤　いまその世界を作りあげようって一生懸命頑張っているんだけどね。

ドラゴン　そういう所に自分とかが一人入ったら面白いかなって思いますけどね。活性化にもなるし、自分なんかも刺激を受けるだろうし。正直言って、闘龍門の闘いの中には入っていきたくないんですよ。乱したくないっていうか。

武藤　そうだよね。あんまり入っていくと今度はそっちが崩れていくもんな。

ドラゴン　あと、選手も気を遣ってやりにくいだろうし、ボクが入っちゃうと絵が描けないないんですよ。人間てやっぱり自分のことを最後に考えちゃうじゃないですか。そういうスケベ根性があるんで、もう入らなくてアイツらはアイツらでもうパッケージとして考えてあげて、ボクはボクで外でやりたいんですよね。

武藤　ああ〜、俺も早くそういうふうになりたいよな〜。

——ワハハハ！　実感こもってますね（笑）。武藤さんは以前、「ブッカーには興味がない」と言ってましたけど、やっぱりこれからは、そういうこともやっていきたいんじゃないですか？

武藤　ブッカーなぁ……、才能ないと思うよ。

ドラゴン　ウチは大丈夫なんですけど、ただ団体が大きい所はブッカーって嫌われますよね（笑）。

——なるほどなるほど（笑）。

武藤　絶対そうだろうな。

ドラゴン　だから一番いいのは自分なんかは普段選手と一緒に行動しないんですよ。一緒にいるとどうしても仲が良い悪いっていうのがあって、仲が良い子達をこうしようってなるじゃないですか。だからプライベートでは一切会わないですね。現場だけを見て良い悪いを決めるんですよ。そうしないと絶対何か言われますからね。

武藤　いや〜、考えてるねぇ。今日はなんかためになったな。浅井、今度またゆっくりメシでも食おうよ。

ドラゴン　はい。こちらこそぜひ。

武藤　じゃ、悪いけど次の仕事入ってるんで、俺は先に失礼するから。サニーさんもありがとうございました。『紙プロ』さんもまたよろしく。

——はい！　全日本と闘龍門の今後に期待してます！

【02年9月9日／東京・後楽園飯店にて収録】

ウルティモ・ドラゴン×武藤敬司

闘龍門の闘いには入っていかずに、ボクは外でやりたいですね（ドラゴン）

闘龍門JAPAN大会スケジュール

■9月
29日(日)神奈川・小田原アリーナ　サブアリーナ17:00
30日(月)神戸・チキンジョージ19:00
■10月
04日(金)長野運動公園総合運動場総合体育館　18:30
05日(土)愛知・津島市民会館　18:00
06日(日)滋賀・野洲町立総合体育館　15:00
08日(火)大阪府立体育館・第二競技場　18:30
12日(土)福井市体育館　18:00
13日(日)岡山・卸センターオレンジホール　16:00
14日(祝)松江・くにびきメッセ　16:00
19日(土)イベントプラザ富山　18:00
20日(日)徳島・アスティ徳島　17:00
22日(火)神戸・チキンジョージ　19:00
27日(日)東京・ディファ有明(T2P)　12:00
28日(月)東京・後楽園ホール　18:30

お問合せ:闘龍門JAPAN　TEL:078-333-9797

全日本プロレス2002ジャイアント・シリーズ

■10月
6日（日）東京・後楽園ホール12:30
8日（火）和歌山・和歌山県立体育館18:30
10日（木）香川・香川県立体育館18:30
11日（金）和歌山・田辺ハナヨアリーナ18:30
12日（土）大阪・大阪府立体育会館 第２競技場18:00
14日（祝）愛知・愛知県体育館15:00
15日（火）静岡・キラメッセぬまず18:30
16日（水）石川・石川県産業展示館　3号館18:30
17日（木）新潟・リージョンプラザ上越18:30
19日（土）新潟・新潟市体育館18:30
20日（日）宮城・宮城県スポーツセンター17:00
21日（月）青森･スポカルイン黒石18:30
23日（水）福島・いわき市平体育館18:30
24日（木）群馬・高崎市中央体育館18:30
25日（金）静岡・アクトシティ浜松18:30
27日（日）東京・日本武道館15:00

大好評!

武藤敬司の人生相談 質問大募集!

本誌51号で掲載し、業界に大旋風を巻き起こした天才･武藤の人生相談が遂に復活!　つきましては、読者のみなさまに質問、相談を大募集します!　質問が採用された方には武藤グッズをプレゼント!　さぁ、いますぐ下記に送れ!

〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス
紙のプロレス編集部
「もう、パンツ履かない」係まで

ミラノコレクションAT、CIMAに激勝!
キッドvsクネス、感動の覆面剥ぎマッチ!!
そして、ウルティモ・ドラゴン奇跡の復活!!!

闘龍門史上最大のビッグイベント 闘龍門JAPANvsT2P全面対抗戦 9·8有明コロシアム大成功!!

ドラゴン対決、遂に決着! クネスの正体はMAKOTOだった!

試合のキーポイントとなったのはレフェリー。３人目のレフェリーとして登場した神田は、Ｍ２Ｋびいきのレフェリングをせずに、逆にブルーボックスでクネスの脳天を一撃。

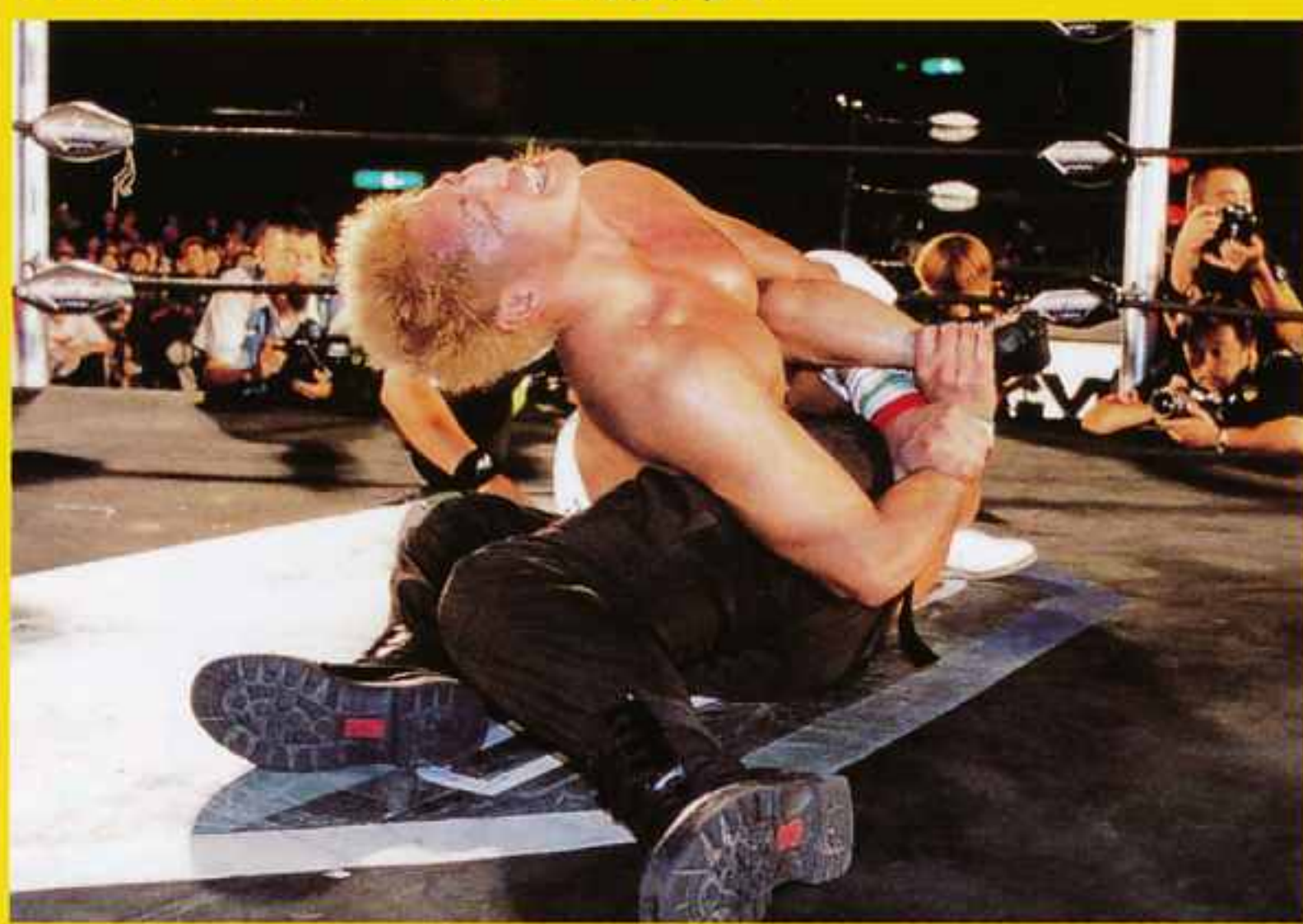
２年間練り上げられたライバル抗争だけに、試合内容はハイレベル。このダイヤモンド・カッターの高さを見よ！

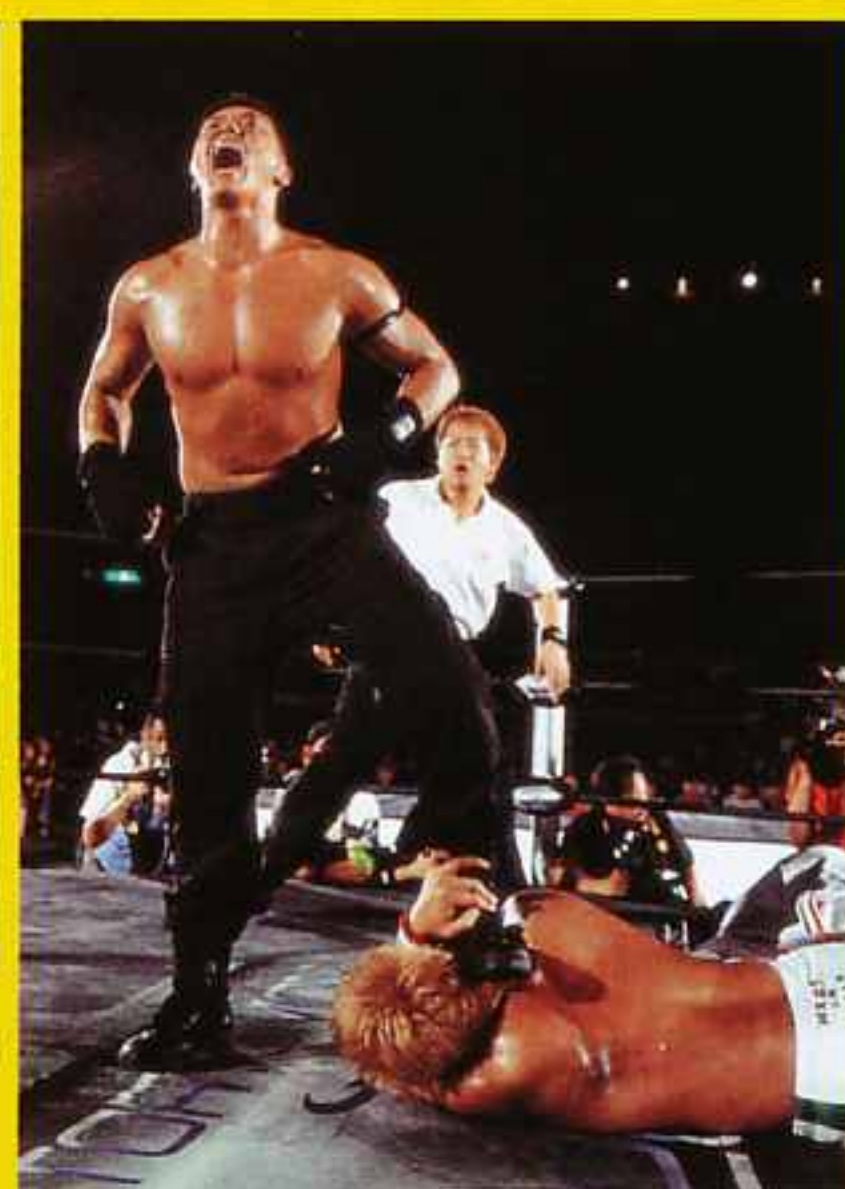
敗者覆面剥ぎマッチ(60本3本勝負)

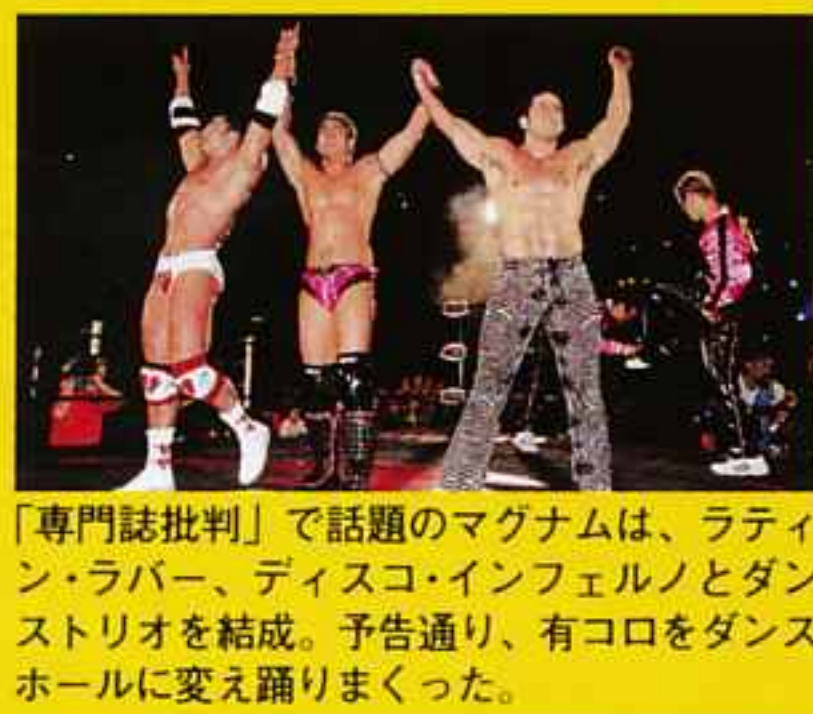
○ドラゴン・キッド(2-1)ダークネス・ドラゴン●

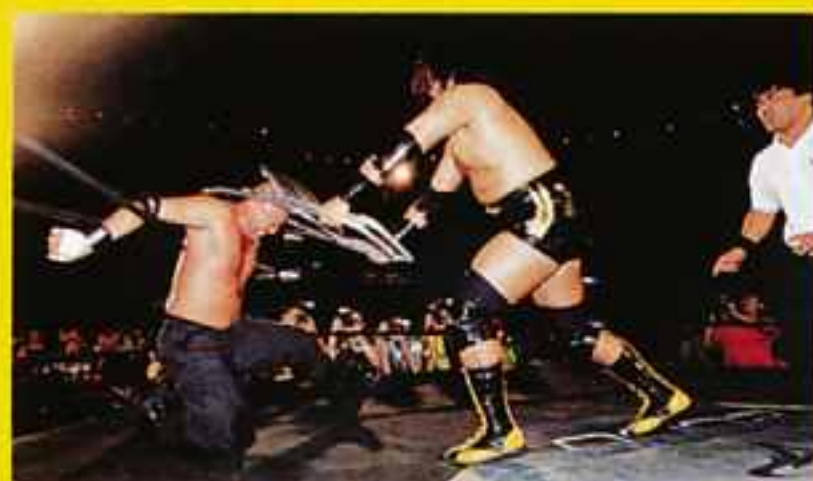
1 （6分30秒、両者リングアウト）
2 キッド（12分11秒、ドラゴンラナ）

キッドとクネス（ダークネス・ドラゴン）の2年越しの抗争は、キッドの神技ドラゴン・ラナで決着。敗れたクネスは、潔く自らのマスクをキッドに手渡した。その正体は、みちのく、夢ファクを渡り歩いたＭＡＫＯＴＯ。キッドと共に感無量の涙を流したクネスは、控え室でも涙ながらにドラゴン校長へ感謝の挨拶をする姿が印象的だった。

ミラコレ、完全無欠のATロックで CIMAの左腕を破壊!

早くも闘龍門の看板タイトルであるＵＷＡ世界6人タッグを奪取したイタリアン・コネクション。しかし、まだまだ粗が目立つことも確か。現在のブーイングをいかに“ヒール人気”に移行させるかが課題となるだろう。

勝負を決めたのは、渾身の力を込めたミラコレの完全無欠のジャベ・ＡＴロック。闘龍門事実上のエースであるＣＩＭＡをタップさせたことで、フィニッシュホールドとしての説得力を大きく上げた。

「ケンカ」宣言していたＣ－ＭＡＸは、結成当初を思わせるラフ一辺倒。特にＣＩＭＡの暴れっぷりは完全にイタコネを凌駕していた。

ストーカー市川は、リック・フレアーに扮してウルティモ・ドラゴン・シートと対戦。フレアーよろしく、伝家の宝刀・足四の字固めを仕掛けるもひっくり返され、あっという間にギブアップ。

「専門誌批判」で話題のマグナムは、ラティン・ラバー、ディスコ・インフェルノとダンストリオを結成。予告通り、有コロをダンスホールに変え踊りまくった。

フジイとの「自転車兄弟」を解消した斉藤了は現在、“王子様”アンソニー・Ｗ・森に、友情とも愛情とも取れる親愛の情を表現中。この日も恋（？）が一歩進んだ。

もうひとつのＣ－ＭＡＸvsＴ２Ｐ、ＳＵＷＡvs大鷲透の闘龍門ラフ＆パワーナンバー１決定戦は、予想通り大荒れの展開。最後は大鷲がレフェリーをＫＯし無効試合となった。

ウルティモ・ドラゴン 完全復活宣言!!

全試合終了後、Ｄ・キッドに「校長、出てきて下さい！」と呼ばれたドラゴンは、フルコスチュームで登場。そして、遂に正式復帰宣言！　しかもメキシコ、アメリカ、日本3カ国での復活プランを明かした。

Ｕ・ドラゴン４年ぶりのリングは、望月とのＥＸマッチ（レフェリーは小鉄！）。ＥＸ用コスチュームしたドラゴンは望月の蹴りが負傷箇所左ヒジに当たりドクターストップ。試合後、岡村社長らが正式復帰を促した。

OLD

上陸!!

RG

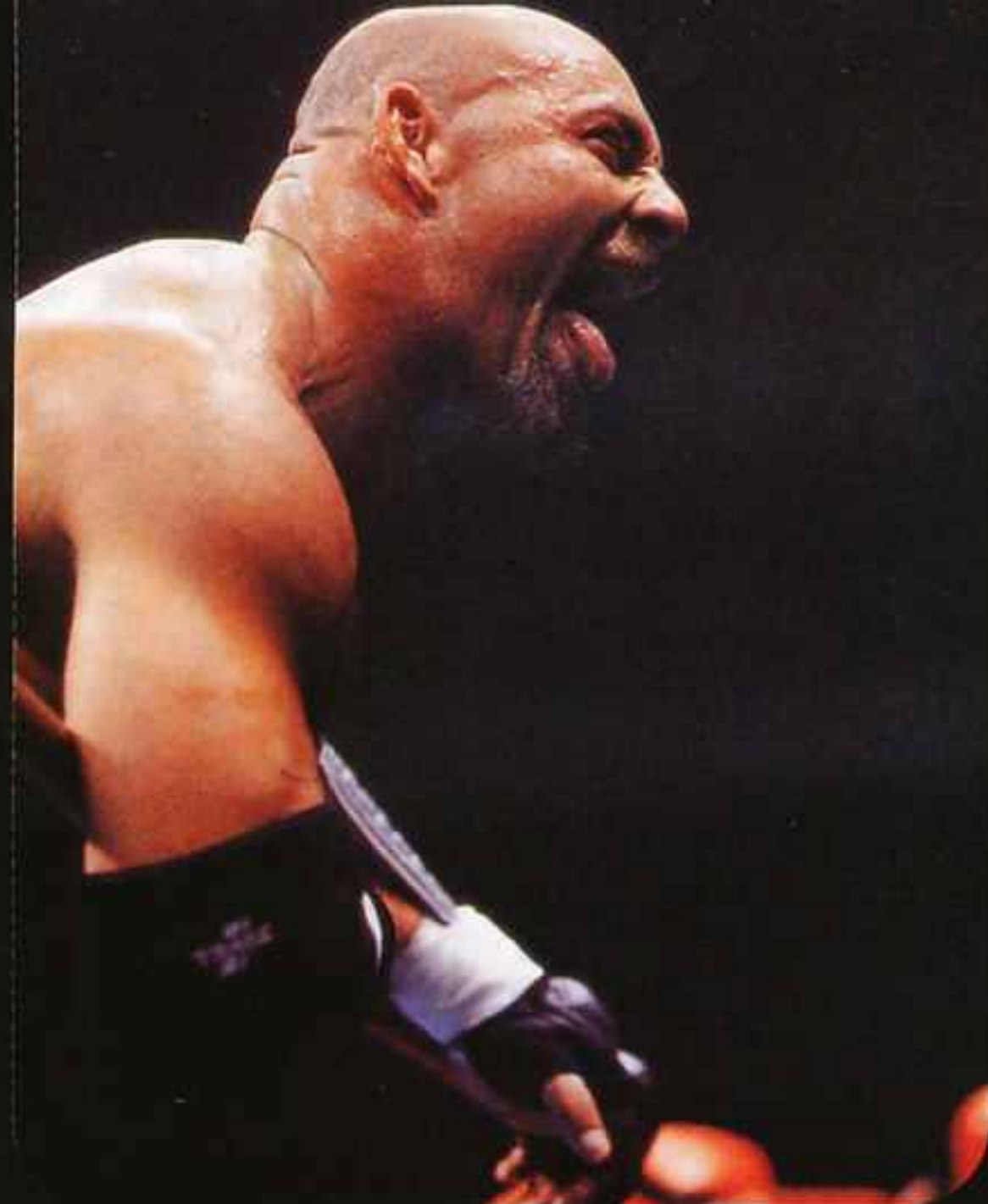
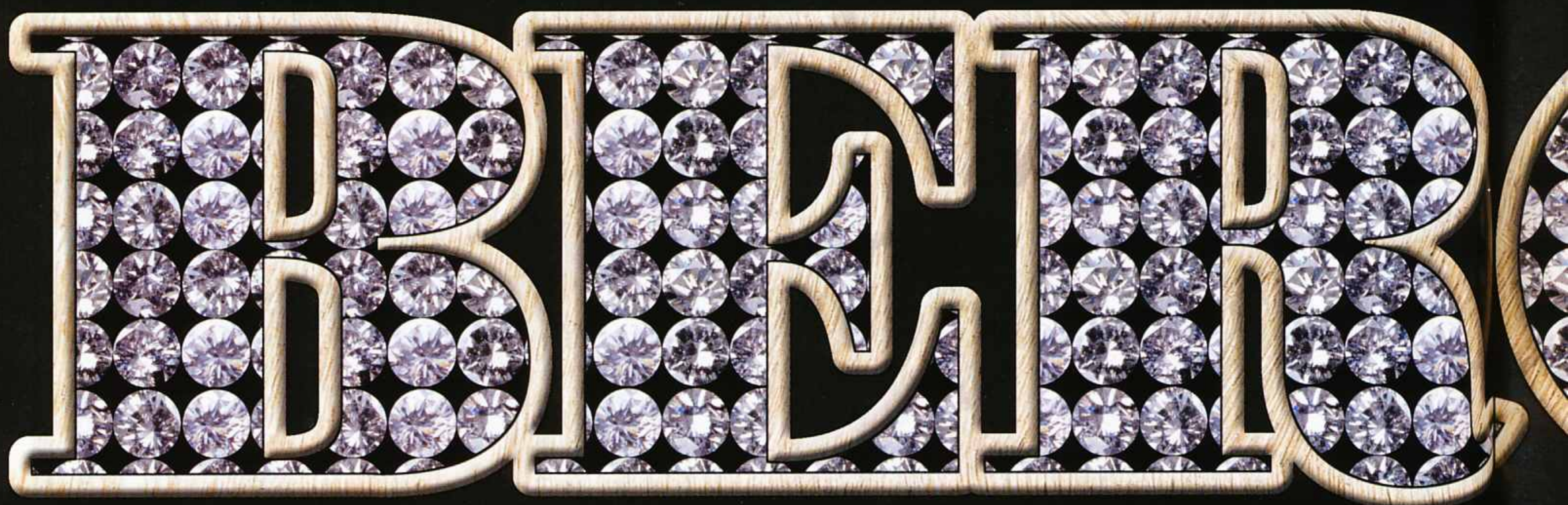
O JAPAN

べを
あるんだ」

での

SCOOP INTERVIEW

『紙プロ』が
全米のスーパースターを
独占キャッチ!
衝撃の発言が
次々と飛び出した!!

GOL BERG

ゴールドバーグ日本

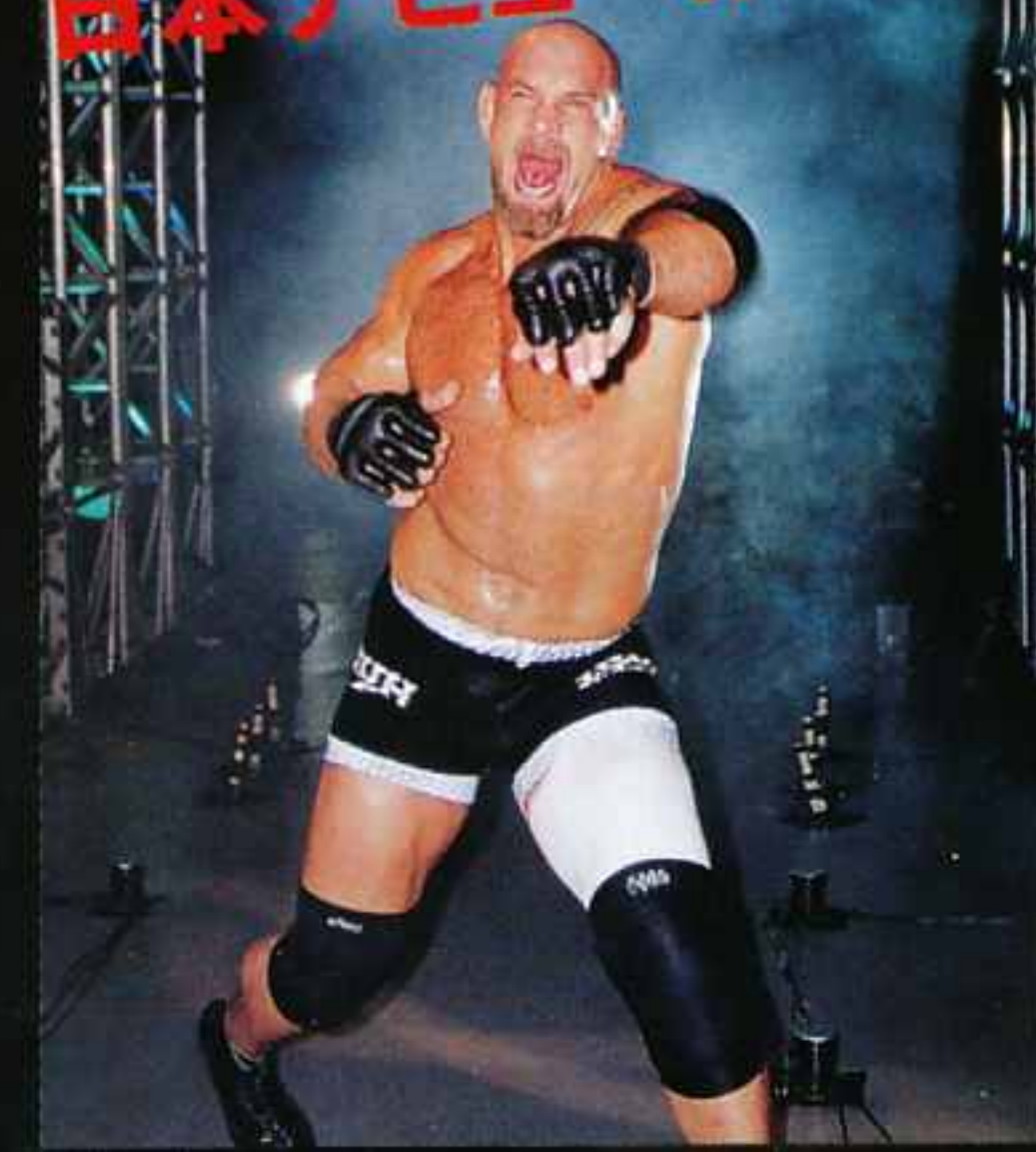
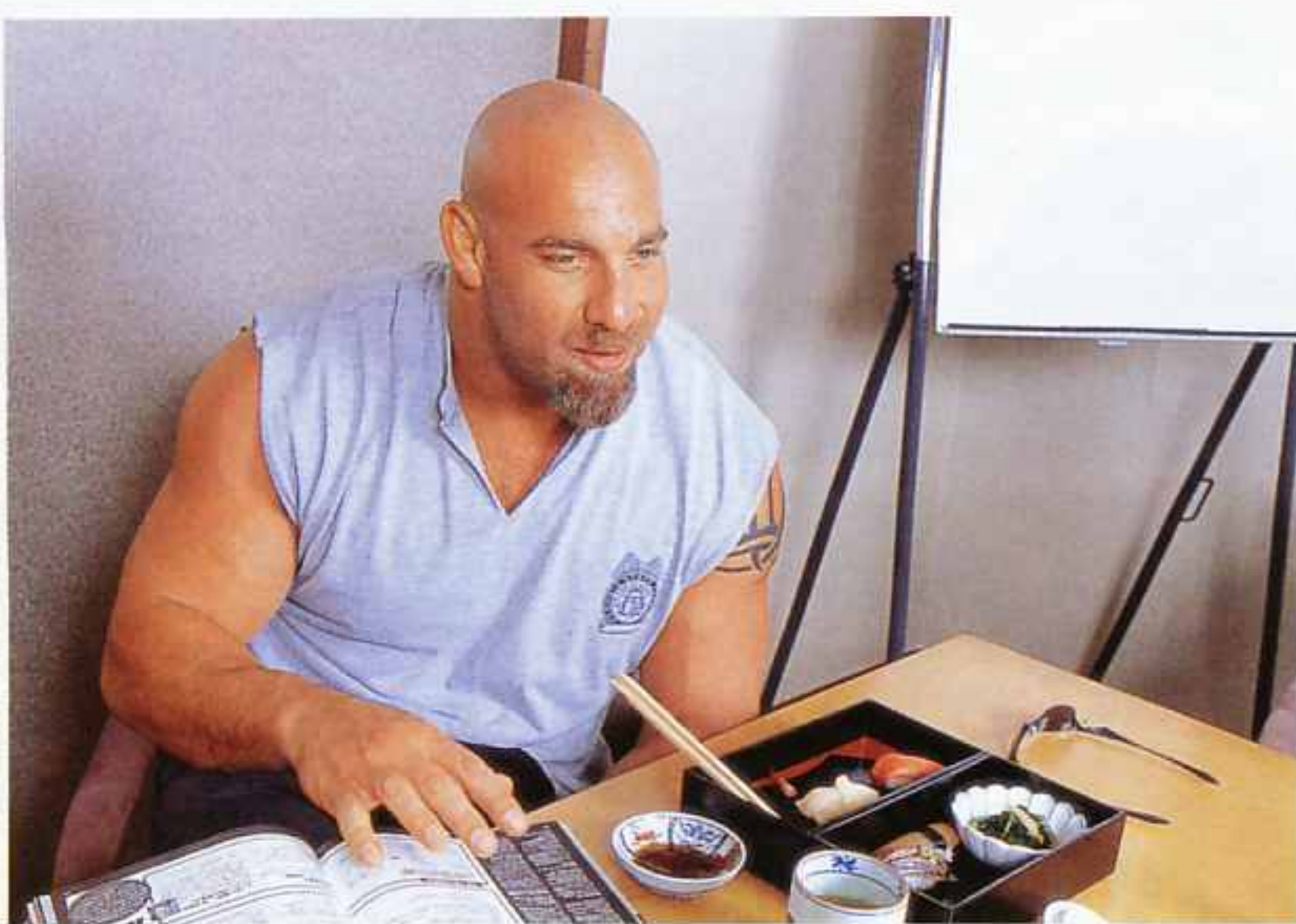
DISEMBARK TO J

仰天スクープ発言!!

「ゴールドバーグvsストーンコールドを日本から全米に中継するプランがあ

まだ見ぬ最後の強豪、ビル・ゴールドバーグが遂に日本上陸! 8・30&31全日本武道館2連戦における、vs小島、vs太陽ケアのわずか2試合ながら、期待にたがわぬ大物ぶりを存分に見せつけ、絶大なるインパクトを我々に与えてくれた。そんなゴールドバーグ台風上陸の最中、『紙プロ』がこの米マット界の超大物の独占取材に成功! 8・28『Dynamite!』翌日に収録したプロレス誌唯一の貴重な肉声をお届けします!

8.30&31 全日本武道館2連戦でメガトンインパクトの日本デビュー!!

聞き手/堀江ガンツ　撮影/森鷹博　試合写真/平工幸雄　designed by ZERO graphics

——今日は全米のスーパースター、ゴールドバーグ選手とお会いできて大変光栄です！　これがボクらが作っている雑誌なんですけど（と、『紙プロ』前号を渡す）。

ゴールドバーグ（以下・GB）　ありがとう。（『紙プロ』をパラパラめくりながら、大日本の〝ニセ・ブロディ〟ODDのページで手を止めて）オー、ブルーザー・ブロディじゃないか。彼はオレのアイドルだよ。

——あ、あの……それはブロディじゃなくて……。

GB　（構わずに）オレは特別プロレスファンだったというわけじゃないが、『テキサス・チャンピオンシップ・レスリング』で放映されていたブロディの試合はよく覚えているよ。

——ブロディは日本でも伝説の名レスラーですよ（話を合わせる）。

GB　彼の存在感はピカイチだったね。

——さて、ゴールドバーグ選手はこれからブロディ同様、日本で伝説を築くべく、待望の初来日をはたしたわけですけど、実は体調が万全でないとお聞きしましたが？

GB　ああ、その情報は間違ってないよ。4ヶ月前にプライベートで参加したカーレースで左腕を負傷してしまったんだ。トヨタが主催している『トヨタカップ』というレースのセレブレティ（有名人）の大会に出場したんだが、ギアの3速と4速をブロウさせてしまって、リタイアになってしまった。それで悔しくてドアを叩いたらケガをしてしまったんだ。

——また、車を叩いてケガしたんですか!?　それじゃ前回、来日キャンセルになったときと同じじゃないですか（笑）。

GB　そう、車に2連敗だよ（笑）。（注釈：以前、新日本プロレスの来日も車にぶつけた腕のケガでキャンセル）

——そのカーレースは他にもプロレスラーは参加しているんですか？

GB　いや、プロレスラーはオレだけだよ。いろんなジャンルの有名人ばかりが集まる大会に選ばれたんだ。WCW人脈とは関係なしにね。オレは自分自身を他のレスラーとは分けて考えているんだ。他のレスラーもやっているようなイベントには参加したくない。

——どうしてですか？

GB　オレにとってもっとも大事なのは、大きな家で妻のリサと37匹の動物に囲まれた生活なんだ。そのプライベートにリングは持ち込みたくない。リングに上がれば、考え得るベストを尽くしてワークはしっかりやる。しかし、プライベートはレスラー仲間と関わりすらもたずに、37匹の動物に囲まれた生活が一番重要なタイプなんだ。それはわかってくれ。

——わかりました。ところで、昨夜は国立競技場での『Dynamite!』にゲストとして招待されていましたけど、ご覧になった感想を聞かせて下さい。

GB　アンビリーバボーの一言だね。招待されただけでも名誉なのに、オレがこの歴史的なショーの一部であったことが夢のようだよ。このような9万人の凄いイベントに参加できて非常に光栄に感じている。

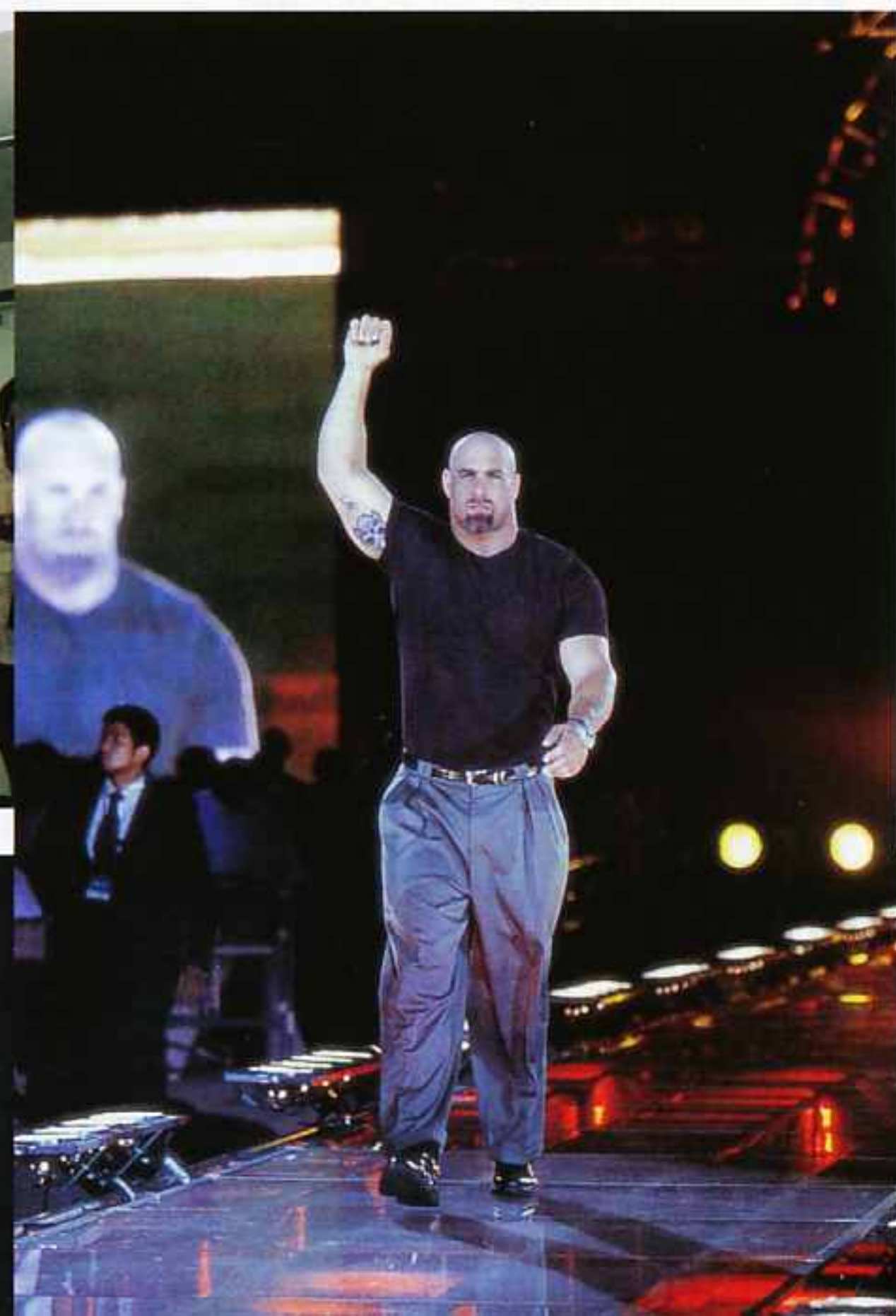
——全米のスーパースターであるゴールドバーグ選手ですらそう思いましたか!?

GB　観客数やイベントのスケールに圧倒されたってことじゃない。自分に与えられた機会の凄さに圧倒されたんだ。だってオレは2000万人の『ナイトロ』視聴者相手に毎週メインでやってきたんだぜ。しかも、オレのキャラクターはお客と対話するようなタイプじゃないから、あがったりとかビビッたことはない。だけど昨日はプロレスの大会じゃないだろ？　思い出してくれよ、ミックスド・マーシャルアーツの強面（こわもて）キャラクターで出てきたからゴールドバーグは成功したんだ。そのゴールドバーグが、本物のMMAの最高峰のイベントに参加できて、敬意を表されて迎えられるんだからこんな名誉なことはないよ。それでキッド（子供）のような気持ちで凄いと思っているんだ。

——そうだったんですか。その『Dynamite!』で、一時高田延彦選手とのプロレスの試合がプランニングされたのはご存じですか？

GB　その話はオレの耳にも入ってきてる。ミスター・タカダとの試合がプランニングされたことは、名誉だと思ってるし、オレ自身やりたいと思っていたよ。だけど、オレはいま75％しか回復していないんだ。その体調の中でベストを見せ

ゴールドバーグが日本びいきだという話は本物。タイトなスケジュールをさいてもらったインタビューは、寿司御膳を食べながら行われた。

（写真・右）8・28『Dynamite!』第5試合終了後、エリオ・グレイシー表彰を挟んでゴールドバーグが遂に日本のファンの前に初登場！「金曜と土曜にブドーカンにゴールドバーグが帰って来る！」と全日武道館2連戦を宣伝。最後の決め台詞「Who's next!」まで「次は誰ですか？」と訳されたのはご愛敬。
（写真・右）8・30武道館全試合終了後、「石井軍団」とも言うべき、（右から）サム・グレコ、ゴールドバーグ、サップ、バーネットが勢揃い。彼らが全日本に上がる日は来るのか!?

GOLDBERG

るためにオールジャパンでの2試合に照準を合わせてきた。オレは一度リングに上がれば100％自分の力を注ぎたいから、今回はやめてくれというだけさ。せっかくのオレの日本デビューを中途半端なモノにしたくなかったんだよ。

――なるほど。では、『Dynamite！』で一番印象に残った試合はなんですか？

GB　ノゲイラvsボブ・サップだね。ボブ・サップは『パワープラント』（WCWのプロレスラー養成ジム）時代からの親友で、ああ見えて実はナイスガイなんだ。彼が無敗の王者ノゲイラとあんなに素晴らしい試合をして観客をビックリさせた、それが一番嬉しかったし、一番素晴らしかった試合だよ。それからもうひとり挙げるならサクラバだ。彼の動きはベリー・ファンタスティック。それなのに不運なアクシデントに見舞われてしまった。オレはサクラバの病院に見舞いに行きたいくらいだよ。実はオレもスコット・スタイナーをサクラバと同じ目（眼窩底骨折）に遭わせしまったことがあるんだ。98年か99年にスコット・スタイナーが変なマスクをつけたときがあっただろう？　あれはオレがやってしまったんだよ。時間が許せばサクラバの病院にお見舞いに行きたいね。マジだよ（とエージェントに尋ねる）。

――ゴールドバーグ選手は、そもそもなぜアルティメット・ファイターを意識したスタイルでプロレスにデビューしたんですか？

GB　（頭を指差し）スマートだろ？（笑）。あのスタイルでデビューしたのは、オレの綿密なマーケティングと壮大な計画に基づいたことだよ。

――綿密なマーケティングと壮大な計画ですか？

GB　オレはMMAのファンであったし、合気道やサンボの道場に通ったこともあったけど、正直言ってプロレスや格闘技がやりたいわけじゃなかった。あくまでアメリカン・フットボールが自分の夢でありゴールであり中心だったんだ。しかし、28歳で引退したときに、さて「9時から5時の仕事をやるのか？」って思ったんだよ。その時点で確かにオレはプロレスファンじゃなかった。あんなモンは馬鹿馬鹿しいとさえ思ってた。尊敬もしてなかった。でも、オポチュニティー（機会）があったんだよ。

――機会とタイミングが合致したということですか？

GB　そう、まさにいいタイミング、いい時代にいたんだ。そしてプロレスラーになると決意したとき、オレはいろんなプロレスや格闘技のビデオを集めて研究した。特にUFC、ニュージャパン、UWF・I、パンクラスなどのビデオをよく見たよ。そんな中で「あ、このキャラクターがある。このキャラクターならいける！」と思った。それがゴールドバーグなんだ。だからオレは業界に入門して一日目から格闘キャラを主張した。

――いきなり自分のキャラクターを主張したんですか!?

GB　オレには確信があったんだよ。ホイス・グレイシーらUFCのスター選手はみんな自分よりずっと小さい。自分は300ポンドあって、その身体で格闘路線の相手をぶっ潰すプロレスをやれば、UFCよりもっとエキサイティングなものが見せられるってね。事実、オレより小さいケン・シャムロックがUFCをギミックにしてWWFで活躍していただろ？　あれを見て、「あいつでもできるのか。あいつができるなら、オレはもっと凄いことができる」と考え、オレはキャ

MMAキャラで成功した俺が、本物のMMA大会にVIPとして迎えられた。こんなに名誉な事はない

ラクターの方でMMAをやった。そうしたら、オクタゴンに出ている連中よりオレの方がデカイから、ライブに来た客の閃光インパクトは思った通りだった。こういったオレの研究とアイディアでゴールドバーグの格闘サイボーグ・イメージを作り上げていったんだ。

——はぁ～、ゴールドバーグがデビューと同時にオーバーしたのは、すべて計画通りだった、と。

GB YES。それから自分が成功したもうひとつの要因は、やっぱり優秀な仲間に恵まれたことにつきるよ。ヘルプということがいかに大事か。当時WCWのリングに上がっていたユージ・ナガタ（永田裕志）なんかはその筆頭だよ。

——永田選手はどんなヘルプをしてくれたんですか？

GB 例えばオレのフィニッシュである「ジャックハマー」を完璧な必殺技として完成に持っていけたのは彼のお陰なんだ。

——ジャックハマー完成は永田選手のお陰ですか！

GB そう、あの技の見せ方を試行錯誤していて、『パワープラント』で彼と一緒に作り上げた技なんだ。これは本当の話さ。そういう点では、オレは正しい時に正しい場所にいた。そしてケアフルにスタディーしてパンクラスやUFCについてみんなよくわからなかった時代に、さも知っているかのように喋りまくって（笑）、そのギミックもウケた。だけど、それだけじゃない。周りの人間に恵まれたんだよ。ただな、もちろんそうじゃない嫌なヤツもいる。（『紙プロ』前号のゴールドバーグがジャックハマーを掛けている写真を指差して）おい、なんでこんな写真を使ったんだい？ オレの言ってる「嫌なヤツ」っていうのは、ジャックハマーを掛けられているこのスコット・ホールだよ。アイツのことはホントに大嫌いなんだ！

——スコット・ホールの何がそんなに嫌なんですか？

GB あの糞野郎！ オレをリングで蹴落とそうとしたヤツなんていくらでもいた、その筆頭がスコット・ホールだ。そもそもオレが『ナイトロ』で車を叩いて腕を負傷した日だって、ケガさえしなければ、オレはアイツをホントにやってやろうと思っていたその日だったんだ！

——かつてのジム仲間である"オバケ"ティム・カタルフォとも、いまあまり仲が良くないと聞きましたが……？

GB （吐き捨てるように）ベリー・バッド・サブジェクトだ！ その名前をオレの前で出すな！ あの糞野郎のことなんて語りたくもない！ 話題にする相手ですらないからだ。オレは昨晩『Dynamite!』の会場で会ったトム・エリクソンに、「あの糞野郎をチョークで絞め落としてくれてありがとう」と感謝したぐらいだよ。オレがそんな低レベルなヤツの名前を貴重な短いインタビュー中に出したことすら書いてほしくない！

——そこまで嫌いますか！ では、話を変えて……。

GB （『紙プロ』前号、ガファリのページを見て）マット・ガファリにインタビューをしたのかい？ 実は彼も短期間ながらWCWにいたことがあるんだよ。

——えぇ！ そうなんですか⁉

（写真・右）ゴールドバーグ日本初試合の相手は小島聡。圧倒的パワーとビクトル投げなどの華麗なテクニックの両面で館内をどよめかせ続けた後、4分2秒、ジャックハマーの体勢から超高速のスイングネックブリーカーでフィニッシュ。　（写真・下）2戦目は7月8月と武道館2大会連続でメインを努めた太陽ケア。しかし、前日より早い3分56秒、今度は高角度チョークスラムでピン。2日間を通じて、結局ジャックハマーもスピアーも出さなかった。

GOLDBERG

GB マット・ガファリはWCWの『パワープラント』に現れて1日目で、ゲロ吐いて脱落したんだよ（笑）。サージ軍曹って知ってるだろ？ あの名物トレーナーにしごかれたんだ。

——ガハハハハ！ そんな話が！ さすがガファリ、期待を裏切らないなぁ（笑）。

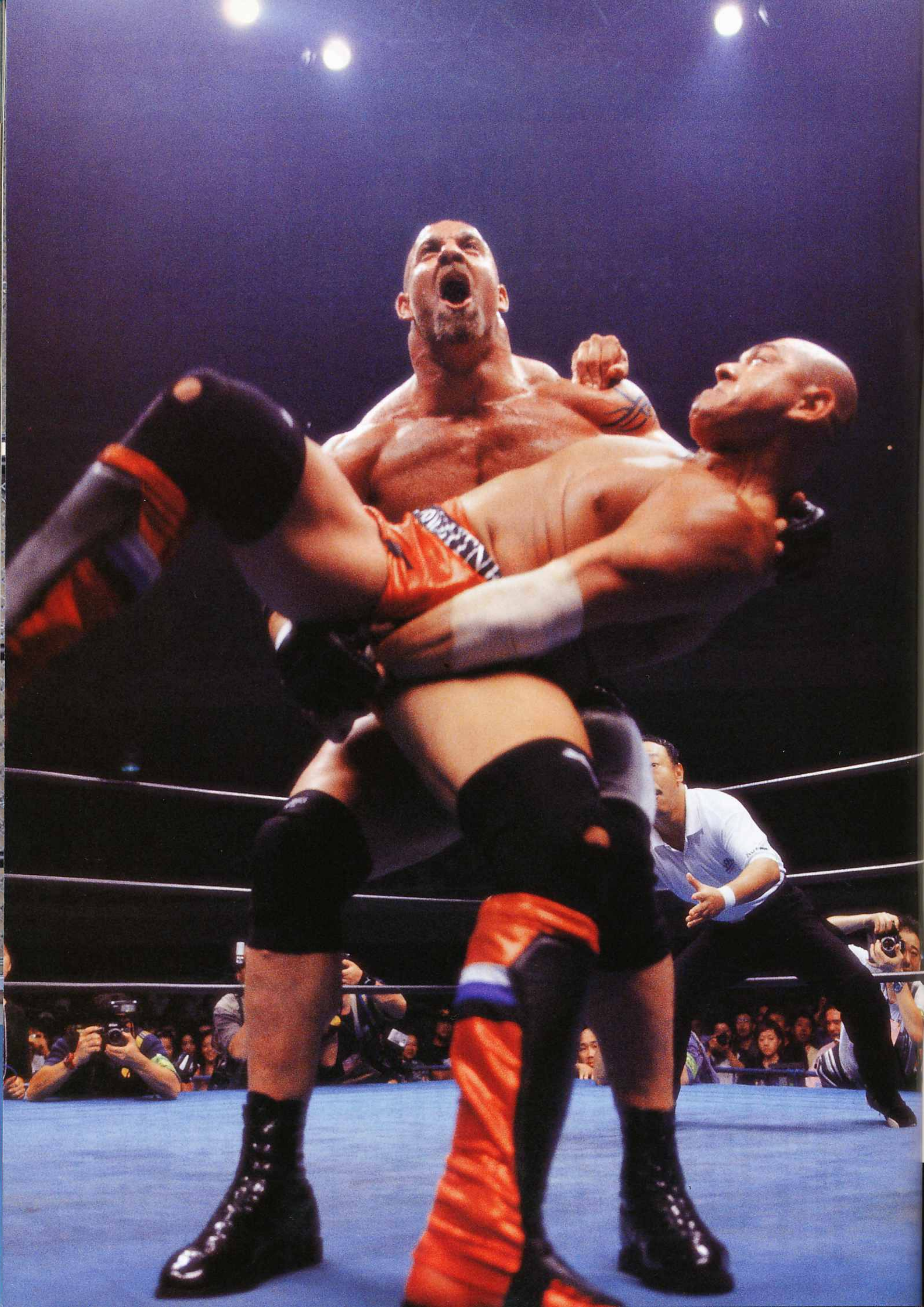
GB まぁ、オレはマット・ガファリを悪く言うつもりはないし、彼が悪いわけでもない。彼はレスラー・アスリートとしては素晴らしい選手なんだ。でも、サージ軍曹って知ってるだろ？ 彼にしごかれて1日で『パワープラント』を逃げ出したのも事実だよ。これは選択の問題だ。オレはガファリみたいに『LEGEND』や『PRIDE』の闘いに興味がないだけだから、悪口は言いたくない。これだけは明記しておいてくれ。ブーツを履いてリングに上がるヤツは、みんな尊敬に値するんであって、それを悪く言うのはおかしいからね。

——当時は他にどんな選手が『パワープラント』にいたんですか？

GB WCWの最後の頃にサム・グレコがいたよ。彼はオレの親友なんだ。ミスター・イシイ（石井館長）と関係を築く際もこの交友は一役買ってくれた。最終的には「ゴールドバーグvsサム・グレコ」のドリームカードを日本で組むことがオレの夢でもあるんだ。彼のお陰で日本に来られた部分もあるからね。本当に感謝している人物のひとりだよ。

——石井館長と関わりができたのは、やはりK-1ファイターでもあるサム・グレコがWCWに来たときに話をしてもらったからなんですか？

エージェント 彼が「WWEに出たくない」ということで、アメリカの彼のマネージャーが日本での市場を探していて、日本への仲介をお願いしたんですよ。

俺には確信があったんだ。体デカい俺がUFCスタイルをやれば必ずウケるってね

WCW最大のスターに対してチープな態度を取りやがったWWEへの恨みは消えないよ

――（それでも契約に関する詳細の質問を執拗に食い下がったが）

GB　う～ん、こういう言い方にさせてくれ。「ミスター・イシイはみなさんが思っている以上に私に関わっている」と。それ以上は裏のことなんであまり知らせたくないね。

――わかりました。では、WWEに行きたくなかった最大の理由はなんですか？

GB　おい、いくつの理由が欲しいんだ？　そんな理由をひとつひとつ挙げていたら、何時間あっても足りないぜ！

――例えば、最新ニュースでブロック・レスナーが『サマースラム』でチャンピオンになりましたけど……。

GB　コピー野郎！　ブロック・レスナーなんかトーク・ライク・ウーマン！　女のようなしゃべる、間抜けな、チ●ポコ野郎だ！

――チ、チ●ポコ野郎ですか！

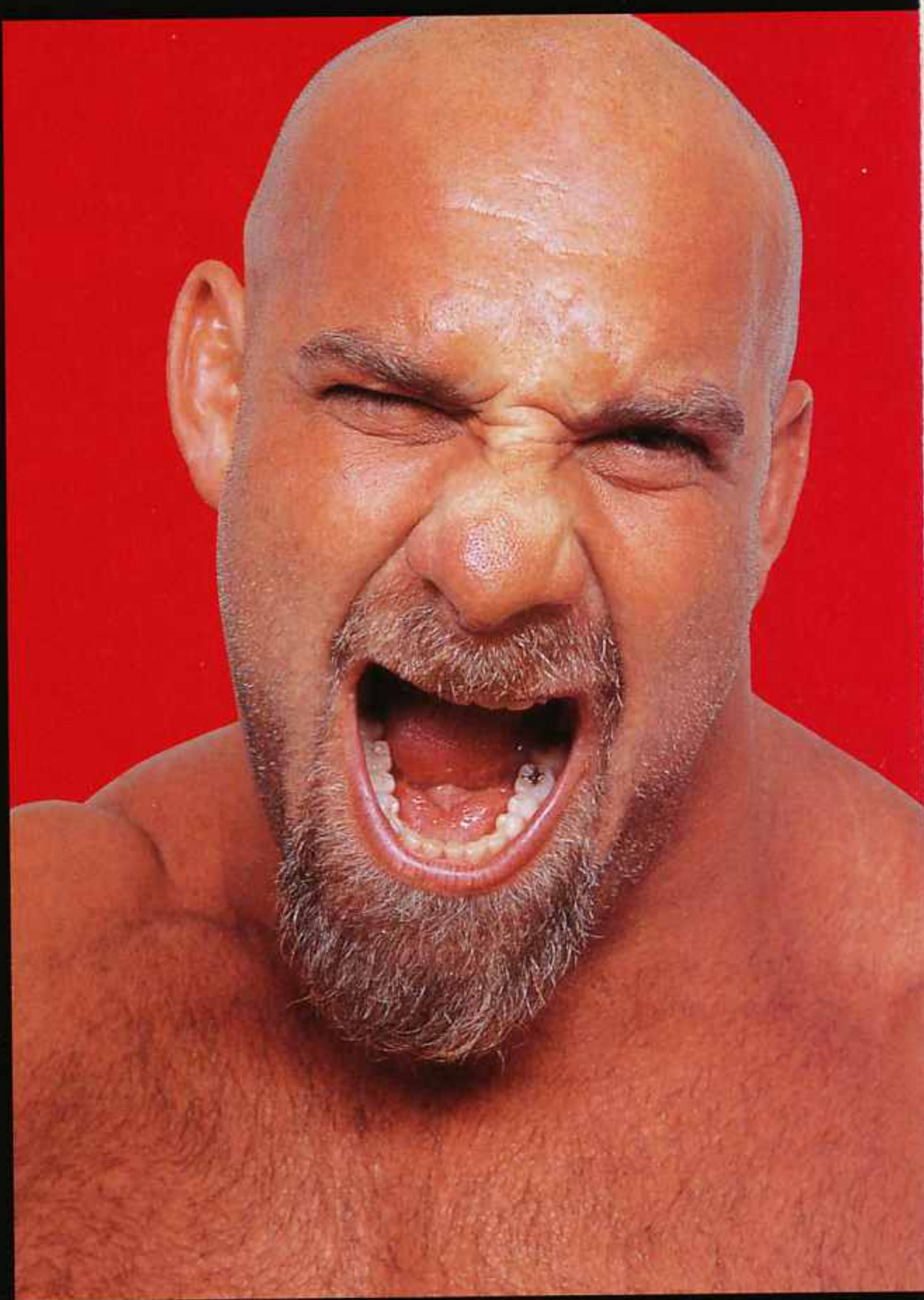
GB　ブロック・レスナーが出てくるたびにファンは「ゴールドバーグ！」と叫んでいるのを知ってるか!?　オレはテレビを見てるんだぞ！　そんな風に出てきてヤツがどんな気持ちでやっているか知ってるのか？　オレがWWEに出たくない理由なんて何個欲しい!?　1、2、3、4、5、6、7……ありすぎるんだよ！

――でも、先日、エリック・ビショフと会ったと聞きましたが？

GB　ああ、確かに会ったよ。でも、それはプライベートのカーレースでたまたま会っただけだ。そしたらいまビショフはWWEに出ているから、TVでこれ見よがしに「ゴールドバーグと一緒だった」と、意味深に言ってるみたいだけど、オレはバケーションでいただけだ。それは勘違いしてくれるなよって。

――WWE参戦への布石でもなんでもないわけですね？

GOLDBERG
COME BACK SOON
Who's Next!

Bill Goldberg　本名ウィリアム・スコット・ゴールドバーグ。66年12月27日オクラホマ州タルサ生まれ。学生時代からアメフトで活躍。92～94までNFLアトランタ・ファルコンズに在籍。引退後、97年WCWにてプロレスデビュー。翌年9月にはH・ホーガンを破りWCWヘビー級王座を奪取。デビュー1年足らずで米マット界の頂点に君臨した。今回が待望の初来日。超人類が日本で本領を発揮するのはこれからだ。193cm、128kg。

GB　WWEはオレのタイムワーナー（WCWの親会社）との契約書を買い上げてくれなかった。WCWを吸収したときに、最大のスターに対してチープな態度を取りやがったんだ。この恨みは消えないよ。WCW軍との対抗戦アングルがなぜ成功しなかったかわかるだろ？　あれはWCW軍じゃなかった。だから、オレは日本を選んだ！　事実、「ゴールドバーグvsスティーブ・オースチン」なら資金を出すというケーブルTV局もあって、それを日本から中継するプランだってあるんだ。

――そんなプランがあるんですか！

GB　それだけじゃない。今回、オレが来たことによって、オールジャパン、K-1、『PRIDE』、いろんな可能性が考えられる。今度はキミたちが夢のカードを楽しめる番なんだ！

――いや～、メチャクチャ楽しみです！　今日は貴重なお時間さいていただいて、ありがとうございました！

【02年8月29日／都内・某ホテルにて収録】

分刻みのタイトなスケジュールの中実現した今回のインタビュー。わずか30分という非常に限られた時間ながらゴールドバーグは、超大物のオーラを存分に漂わせながら、プロレス、MMAに対する自分のスタンス。そしてWCW、WWEについてなど、興味深い話をたくさん聞かせてくれた。

中でも特に印象に残ったのは、WWEに対する激高ぶりと、今後の日本での闘いへの熱のこもった口調。それによってゴールドバーグが日本での成功を本気で考えていることが、伺い知ることができた。

今回は本人も言うとおり75%の体調であり、ゴールドバーグの本領発揮はまだまだこれから。日本での夢の対決は無数にあり、武藤・全日本の切り札として、来年さらなる巨大台風となって超人類は帰ってくるだろう。

~~新OH砲~~
OHビーム
対談

プロレスバカ一代 橋本真也 × 空手バカ一代 小笠原和彦

「新OH砲？ それは小川が怒るやろ！ オレと先生は……OHビームや!!」

「オ、押忍！」

今年１月６日、後楽園大会で花道を引き上げる橋本に「お前のキックはハエが止まる」と因縁をつけ大乱闘を巻き起こした小笠原和彦。その後、破壊王からの刺客を次々と蹴り倒し７・７両国大会で念願の橋本戦へと辿り着いた小笠原。激闘が終わると、両者の間の遺恨は友情へと変わっていった——。時は来た！“OHビーム”発射ッ!!

聞き手／中村カタブツ君（39歳）　助手／松澤チョロ　撮影／丸山剛史　designed by さおとめの事務所

橋本　今日はなんの取材だ?

――小笠原先生との新OH砲対談です。

橋本　新OH砲ってなんかしっくりこねえなぁ。それに小川が怒るやろ!

――あぁ、そうかもしれませんね。

橋本　なんかいい名前ねぇかな。小川とのタッグが〝砲〟だから……よし! オレと先生は、OHビームでどうや!!

小笠原　オ、押忍! 格好いいッスよ! カタカナはいいですよ!

橋本　ガハハハ! ちょっと新しいでしょ(満足げに)。まあ〝砲〟でも〝ビーム〟でもブッ放した方の勝ちや!

小笠原　オ、押忍! ブッ放しましょう!!

――ホントに息の合ったお2人ですね(笑)。

橋本　巡業中も藤原組長と3人でタッグ組んで飲み歩いていたからな。

――OHG砲ですね(笑)。そういえば、8・4熊本大会後の飲み会では、あの杉本彩さんを独り占めにしていた男がいたとか、いないとか聞いてますが(笑)。

小笠原　よく知ってますねぇ(と言いながら破壊王を指差す先生)。

橋本　どこからそんな話になったんだ?(と言いながら先生を指さす破壊王)

――なんで、お互いに指を差し合ってるんですか(笑)。

橋本　いや、彩ちゃんは熊本の知り合いが「呼んでくれ」って言ったからゲストで呼んだだけでオレは何もないよ。でもな、彩ちゃんが一番気に入ったのは藤原組長なんや!

小笠原　う～ん……。

橋本　オレらは蚊帳の外。で、一番気を揉んでたのが先生(笑)。

小笠原　ち、ちょっと待ってくださいよ! 自分は、ただ横にいただけですよォ!

橋本　ガハハハ! 「ビタミンあげるから今度、どこそこで待ち合わせしよう」とか言ってたからな(笑)。

――どんな誘い方ですか、それは(笑)。

小笠原　だから、彼女はアスリートですから、アスリート同士の会話をしただけですよ。

橋本　先生ベロベロだったじゃないの。ずっと腰に手を回しっぱなしで(笑)。

小笠原　(慌てて)いやいやいや(苦笑)。でも、腰はいい腰してました!

橋本　やっぱり、口説き方も小笠原流ってあるんだよ(笑)。

小笠原　礼儀作法がありますからね(笑)。

橋本　で、道衣を脱いで夜の帳が下りたら〝裏〟に変わるんや(笑)。

――裏小笠原流ですか(笑)。

橋本　そうや! やっぱり空手一辺倒でさ、女も口説けんような、無理して生きてるヤツもいるけど、先生はそうじゃないんだよ。女はいくしさぁ(笑)。ん? 先生、この雑誌出たらヤバいんじゃない?(笑)。

小笠原　いや、いいですよ(キッパリ)。

橋本　奥さん、大丈夫?

小笠原　大丈夫ですよ! だって、自分は昔からそうだったんですからね。

橋本　でも熊本で一番モテたのは藤原組長だったよ。中年の魅力だな。

――あれ? でも、組長は極端に年配の方がお好みなんですよね。

橋本　いや、いまは反対!(笑)。だって、あの年から年配っていったら大変なことになるぞ。昔は一回り以上、上が好きだったのがいまは一回り以上、下が好きだからな(笑)。

小笠原　エッ! 昔はそうだったんですか?

橋本　若い頃は50歳以上じゃないと付き合わなかった人だからなぁ(笑)。

小笠原　へぇ～、それは知らなかったぁ。だけど組長はどこに行ってもモテますよね。

橋本　ヘンな肩の張りがないから女の子も入りやすいんやろ。

――巡業中とか、2人でいるとプロレスの話

橋本さんが極真に来てたら世界チャンピオンになってますよ(小笠原)

小笠原和彦

とかもするんですか。

橋本　それはしますよ。やっぱり先生は、まだリングを使い切れてないから。

小笠原　まだまだ勉強中ですから(苦笑)。

橋本　下がっていっちゃったらロープにぶつかっちゃうし、追い込んでもまたロープだしっていう、空手のマットとは広さが違うからな。ロープを利用することとか上にも上がれるわけだからさ。いくらでも無限大に広がると思うからね。その中で、いま先生は〝秘技チェスト〟の特訓中なんだよ(笑)。

小笠原　秘技チェストは大変なんですよ。

橋本　『空手バカ一代』(※梶原一騎原作の実録空手劇画。極真会館総裁・大山倍達の一代記であり、極真の空手家たちは皆、技を出す際、「チェスト!」という掛け声を出していた)見てない人にはわからないだろうな。

小笠原　読み返したらホントに「チェストーッ!」って言ってるんですよね(笑)。

橋本　だから、オレも一体どんな技になるのか、さっぱりわからん(笑)。

小笠原　イメージですからね(笑)。でも、

破壊王からの刺客を次々と撃破し、7・7両国で念願の橋本戦まで辿り着いた小笠原。試合は体格差を活かした橋本の完勝という結果に。試合後、両者は涙を浮かべガッチリ握手

橋本さんはメチャクチャ極真フリークなんですよ。話聞いて驚きましたから。

橋本 （得意げに）家に帰ったら、総裁の本がいくらでもあるもんな。10円玉曲げも挑戦したことあるし、熱い砂に指を突っ込むヤツもやったよ（※実録映画『地上最強のカラテ』で披露された荒行。上に紙を置くと燃え上がるほど熱した砂の中に貫き手を連発するスピード鍛錬法）。

小笠原 エッ、それもやったんですか!?

橋本 『地上最強のカラテ』とか見ながらマネしてたんですよ。だけど、砂の下の方が生乾きだったんで、まだ水分が残ってたから、焼けた砂が手にくっついてきて大ヤケドしてね（苦笑）。

小笠原 ワハハハ！ いま、極真でもそういう無茶しないですよ（笑）。

橋本 だって、ハマると絶対やりたくなるぞ、あれは！ 瓦もさ、小学校の頃からバンバン割ってたから。

──小学校からですか！（笑）。

7・31後楽園大会で初めて同じコーナーに立った小笠原と橋本の"OHビーム"十倍リョウジ。小笠原は初対決となるプレデターやハワード相手に対して臆することなく蹴撃三昧！

オレのパンタロンはベニー・ユキーデからきてるんだけどな（橋本）

橋本 そうや。特にブロックはしょっちゅうやってたよ。一時期、新日本の道場の外はブロックだらけだったからな（笑）。

小笠原 空手でも、そんなしょっちゅうはやりませんよ（笑）。

橋本 天山（広吉）にもやらせたんだよ。でも、アイツ、一緒にテメエの手も折ちゃってさ。上から怒られた怒られた（苦笑）。「何させてんだ！」ってな（笑）。あとブロックを2、3枚重ねて頭突きやったら割れなくてさ、10分ぐらいうずくまってたヤツいたよ（笑）。

小笠原 総裁も弟子にそんなことばっかりさせてたなぁ（笑）。

橋本 いや、そのブロックがさ、高いブロックだったんだよ。密度が濃いヤツ。「割れねぇよ、これ！ 種類が違うよ」って（笑）。

──当然、橋本さんもやってるんですよね。

橋本 2枚は平気でいけますよ。

小笠原 バットもいけますか？

橋本 バットなんて誰でもいけますよ！

小笠原 誰でもって言わないでくださいよ！

橋本 いや、新日本のヤツだってみんなやってますから（笑）。それに、あれは精神統一にもなるしな。

小笠原 カーッと気持ちが入ってると、足の甲でもブロックが割れるんですよ。

橋本 ただ遊び半分でやってたらテメエがいかれちゃうから。その時だけは真剣だよ。それにハッタリにもなるじゃん、後輩に対して。

小笠原 ハッタリは大事ですからね。でも、不思議なんですよね。なんで、極真に来なかったんですか？

橋本 それはやっぱり人生の分かれ目ですよ（しみじみと）。内弟子っていうのも考えたんですけど、唯一金儲けができないなって思ったもんね（笑）。

~~新OH砲~~
OHビーム
対談

橋本真也 × 小

絶対、世界チャンピオンになってると思うんですよ。

小笠原 ああ（大きくうなずいて）。

橋本 金儲けにはつながらないでしょ？

小笠原 見事につながらないですよ（しみじみと）。でも、極真に来てほしかったなぁ。

橋本 やっぱり、あの頃、アントニオ猪木とマス大山がオレにとっての神様だったんですよ。どっちもオレの青春の1ページだったからな。だから、どっちか一つなんて本当は言えないんだ！ もう、悩みに悩んでこっちを選んだだけだから。先生もそうでしょ？

小笠原 （小声で）いや、実は自分はボクシングが好きだったんですよ（苦笑）。

橋本 エェ！ 先生ェ、そうなのォ!? なんだよォ。オレはさ、やっぱり『空手バカ一代』と『四角いジャングル』（※劇画でありながら当時のマット界とリンクしていた格闘巨編。ハッキリ言って、プロレス専門誌よりも遥かに早くて正確な情報が載っていたから怖ろしい。というか、猪木vsウィリー戦や全米プロ空手【マーシャルアーツ】などは原作者の梶原一騎自身がプロデュースしていたのだから当たり前といえば当たり前）なんだよ。それで一番カッコ良かったのがベニー・ユキーデ（※『四角いジャングル』の事実上の主人公。マーシャルアーツの無差別級チャンピオン）だったんだよォ！

小笠原 自分もユキーデに憧れて、極真の前にマーシャルアーツをやってましたから。

橋本 オレのパンタロンもユキーデからきてるんだけどな。

──そういえば一回、ユキーデと同じ赤いパンタロンを東京ドームで履きましたね（笑）。

橋本 そうそう。真っ赤っかのヤツ履いたんだけど、あれは大ヒンシュクだったな（苦笑）。でもさ、みんな『四角いジャングル』を読んでねえんだよなぁ。

小笠原 あれは全部本当だと思ってたもんなぁ（しみじみと）。

橋本 シリアスっぽかったし、あの頃はホン

トいい時代だったよ。まだ伝説が通用したしな。やっぱな、伝説は証明したらイカンねん。

小笠原　あ、ダメですか？

橋本　そうじゃないと伝説にならないでしょう。「こうだったのか、ああだったのか」って頭で想像させなきゃいけない。なんでもかんでもやっちゃったらダメですよ。

――じゃあ、自動車飛びとか、ああいうのはダメですか。

橋本　あれはまた別や（笑）。だって、先生がやりたがってるんだもん。でもな、自動車飛びやってコケた時の映像がもし残ったら無茶苦茶カッコ悪いぞ！（笑）。

小笠原　いいですよ、自分はそれでも。極真は昔から火の輪くぐりとか、車飛びとかをやってきた団体だったんですから、こういう伝統は残していかないといけないんですよ。

橋本　火の輪くぐりで頭に火がついちゃったとかさ（笑）。この間、先生がやったときも危なかったでしょ？

小笠原　何回か飛んでたら、途中で巻いてた雑巾が垂れ下がってきてドンドン輪っかが狭くなってくるんですよ。でも、マスコミの人は「もう一回、もう一回」って言うし、あれには参った（苦笑）。

橋本　でも、先生が燃えたらオレが消してあげるから。オレは最近、火事は得意だから大丈夫や！（笑）。

――火事は得意って（笑）。でも札幌では、おばあちゃんを救出しましたからね。

橋本　札幌もそうだけど、2、3日前に家の真横で火事があって、ボヤを見つけたのオレなんだよ。

小笠原　ま、またですか！（笑）。

橋本　そうなんや（笑）。自宅の隣の家の端っこがメラメラ燃えてんだよ。しかも建ててる途中だぞ！

小笠原　放火だったんですかね？

橋本　それはわかんないけど、メラメラなってるから近所の人間と飛んで行って、カミさんに「消火器持ってこい！」って言ってバケツの輸送もやったんだよ。消防署よりも遥かに早かったんだからな（笑）。

――橋本家総動員のバケツリレーが行われていたと（笑）。

橋本　そうや。ウチの子供まで手伝ったからな。火を消すのは得意だからな。オレは火付け盗賊改め方・長谷川平蔵だァ！

――ワハハハ！　なんだかわからないけど、格好いいですね（笑）。

橋本　オレは鬼平だからな。

小笠原　じゃあ、自分は火つけ盗賊ですかね。

――盗賊って（笑）。そういえば、ベニー・ユキーデと新日本が絡んでた時期があったじゃないですか。その頃は橋本さんは、どんな気持ちで見てましたか？

橋本　オレもやりたいなと思ったよ。それでオレはベニー・ユキーデのジェットセンターに行って挑戦状を渡したんだから。

――あれ？　そうでしたっけ？

橋本　知らないでしょ？（ニヤリ）。それでドン・中矢・ニールセンに渡したんだよ。前田さんがやった後だけど、たぶん写真も残ってるはずだよ。

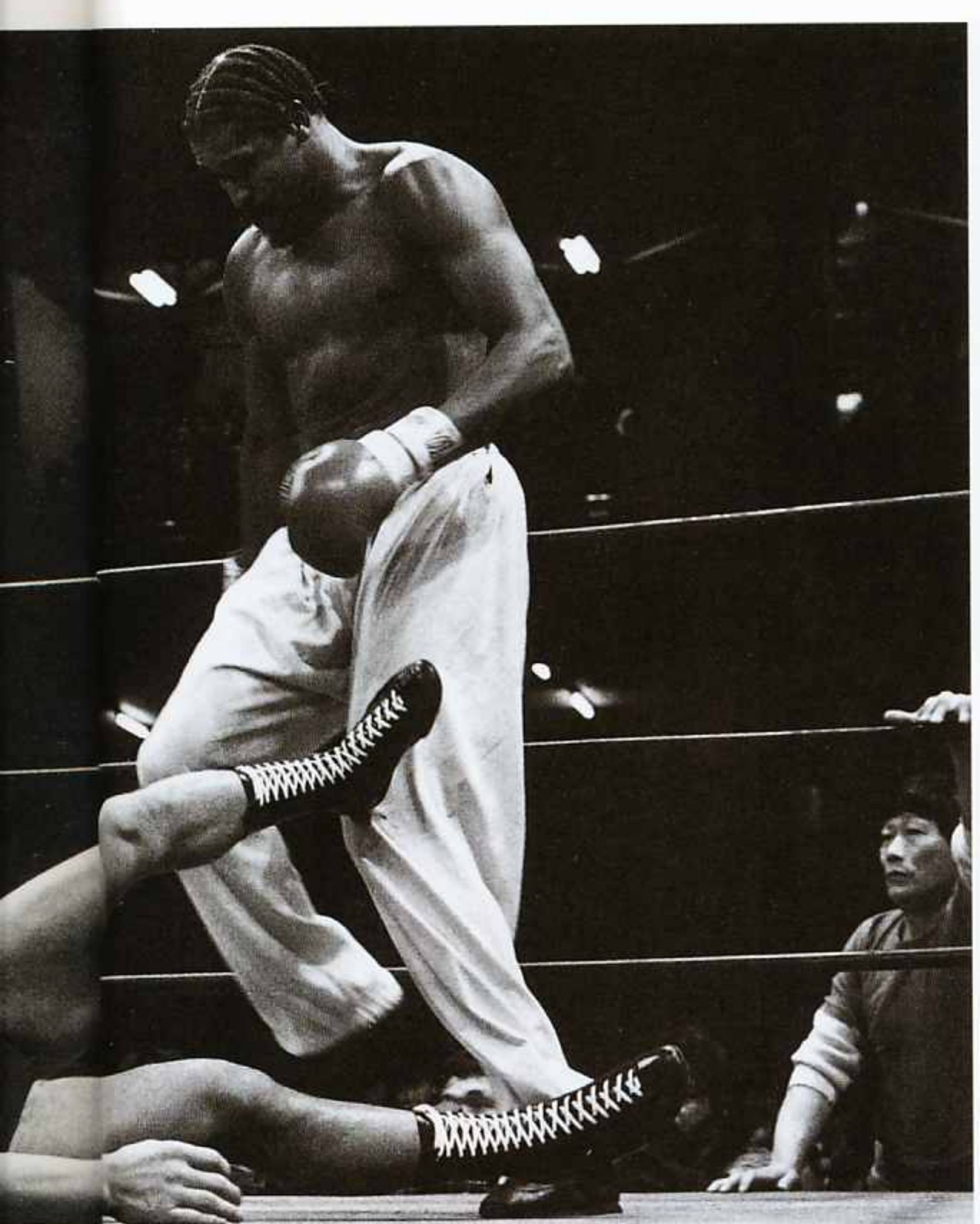
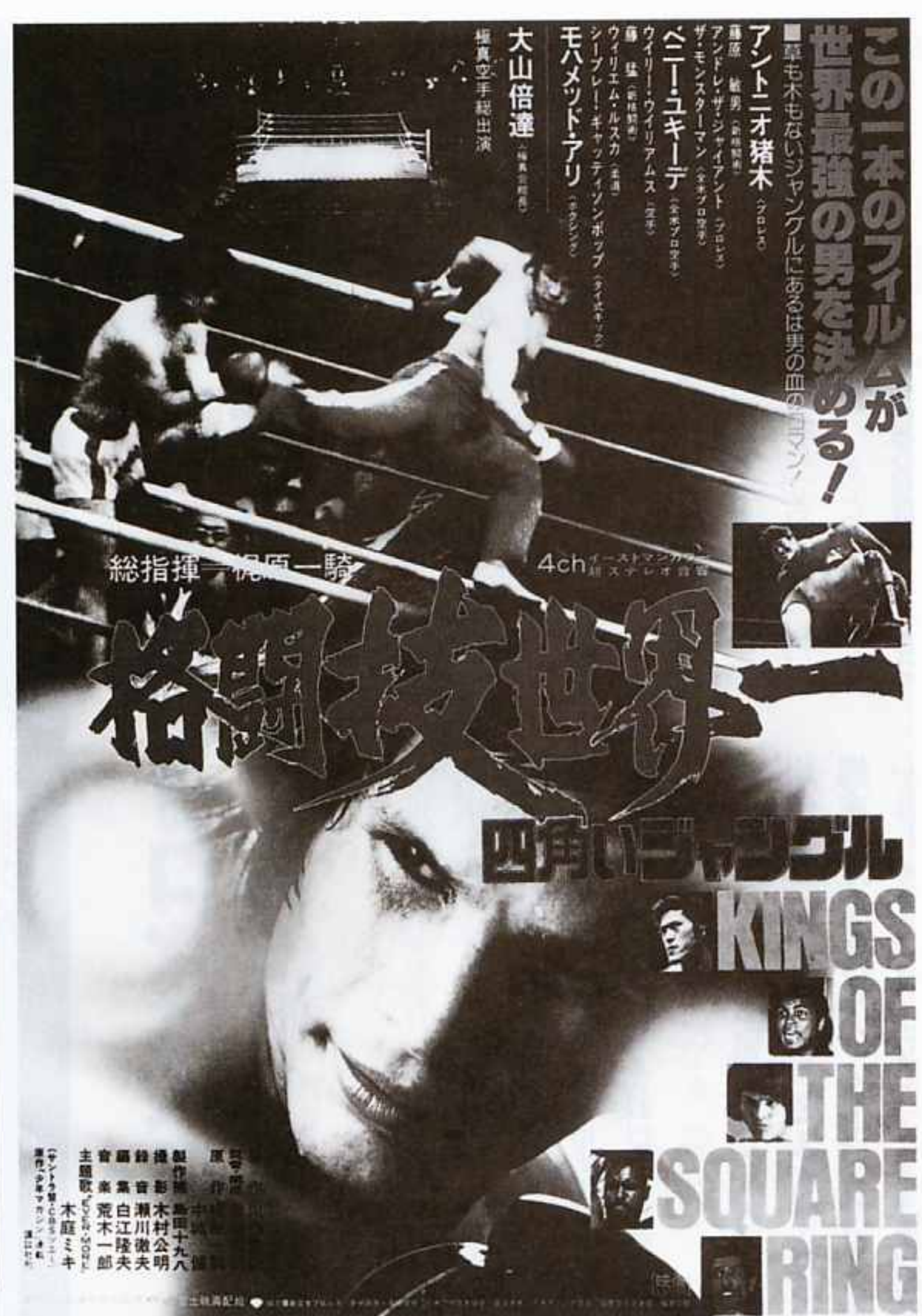
小笠原　ジェット・センターに行ったんだぁ、いいなぁ（笑）。

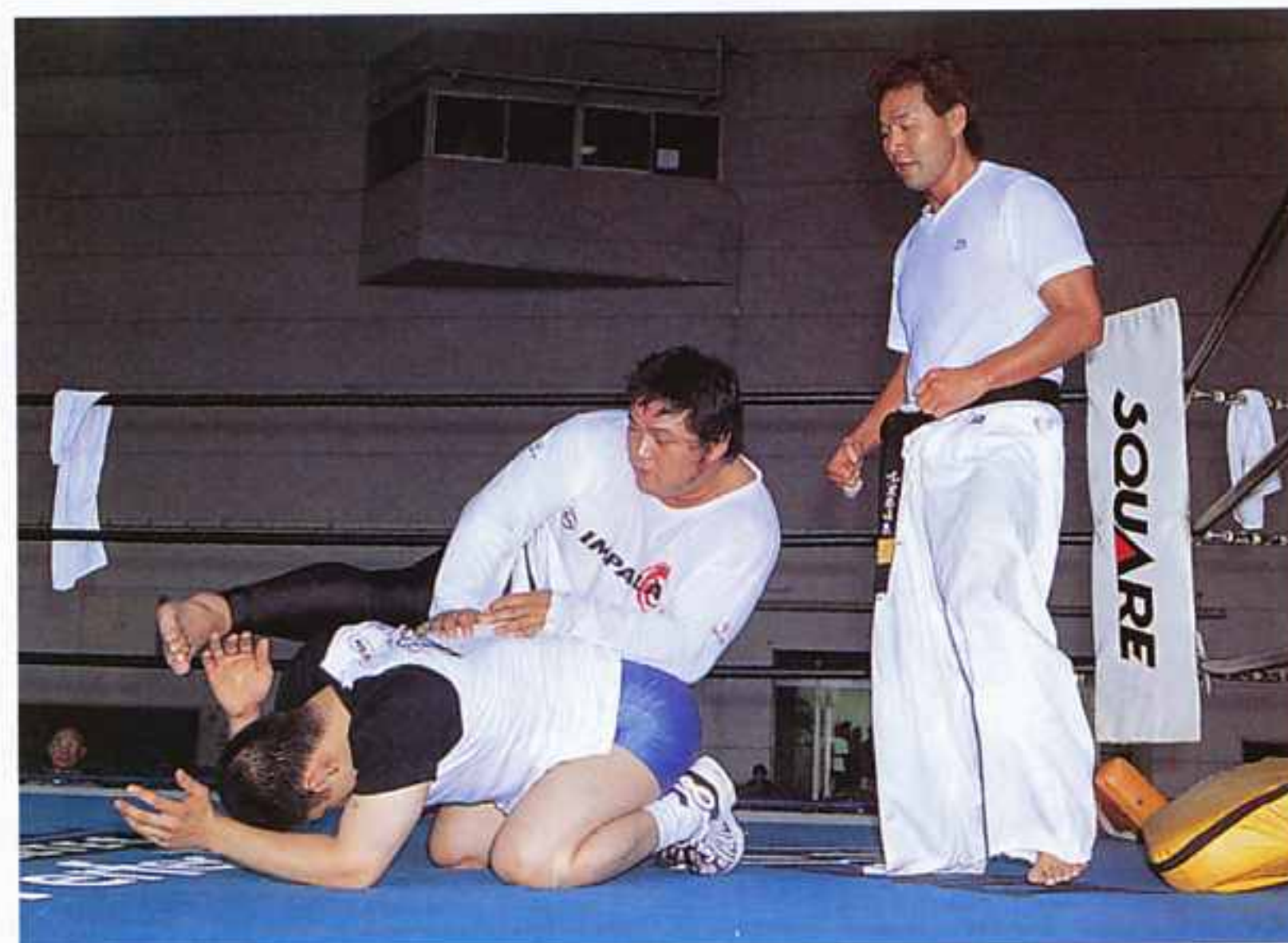
――ユキーデといえばボクらのイメージでは木村さんなんですよ。

橋本　木村さんて、誰？

――だ、誰って、木村健悟さんですよ（笑）。

橋本　ああ、あれは自分で修行に行ったからでしょ？　猪木さんが笑ってたもん。「あれはジェットセンターじゃなくてモンキーセンターだな」って（笑）。

――また、ひどいことを（笑）。ちなみに猪木vsウィリー戦ってあったじゃないですか。小笠原先生は、やっぱりウィリーを応援してたんですよね？

小笠原和彦

“喧嘩十段”芦原真也！　どっちが極真シンパかわからないな（笑）（小笠原）

8・22岐阜大会、開場前のリング上では破壊王と共に汗を流す小笠原の姿が。まだまだリングでの闘いに慣れていない小笠原に対し、自ら見本を見せ丁寧にアドバイスを送る破壊王

~~新OH砲~~ OHビーム対談

小笠原　もちろんウィリーを応援してましたね。橋本さんは当然、猪木さんでしょ？

橋本　オレは両方！　ちょうど高校生の時で、試合始まる何日か前から柔道場で猪木vsウィリー戦の実証を何回もやってたんですよ。

小笠原　凄いなぁ（笑）。橋本さんはどっちの役だったんですか？

橋本　オレはウィリーをやってた！

小笠原　エェ～！（笑）。

橋本　その時だよ、柔道衣に「極真會」って書いたの。先生に無茶苦茶怒られたよ（苦笑）。あとオレは芦原英幸役（※喧嘩十段の異名を持つ、極真会館の高弟の中で最大のスター。のちに極真を出て芦原会館を創設）もやったしな（笑）。芦原真也って書いてたけどな。

小笠原　〝喧嘩十段〟芦原真也！　どっちが極真シンパかわからないなぁ（笑）。

橋本　だって、オレはウィリーが頭にはめてたヤツあったじゃない？

小笠原　バンダナ？

橋本　そう、あれやって学校行ってたしな。

小笠原　橋本さん、極真ですよ！（笑）。

橋本　やっぱり『四角いジャングル』が面白かったですよ。ウィリーをバケモノみたいに描いてあったから。

小笠原　でも、それとあの覆面の空手家ミスターX（※ウィリー戦の前にアントニオ猪木が異種格闘技戦で闘った相手。『四角いジャングル』ではマーシャルアーツの強豪として描かれていたが、実際はろくに空手も知らない木偶の坊。のちにグレート・マーシャルボーグとして新日マットに再登場）にはガッカリしましたね。なんだ、あれって（笑）。

橋本　マンガだとウィリーより強いみたいに描いてあったもんな。でも、太ってて全然弱くて。でも、その後の『四角いジャングル』では、ちゃんと謎解きがしてあって「あれは本物じゃない。本物はアメリカでウィリーに倒されていた」って。面白かったなぁ（笑）。ああいうものが通用した時代だもんな。

――あれにはホント、気持ち良くダマされましたよね。

橋本　ダマされたんじゃなくて、あれはあれでいいんだよ！　川口浩でいいの。夢があるじゃん。いまって夢がねえだろ？　なんでもミックスしてるけど、ミックスしておいしくなるものとマズくなるものがあるんだよ。

――ゼロワンってそのミックスの部分が絶妙で見ててホント気持ちいいんですよ。

橋本　それはわかんないけど、オレらはああいう頭で想像させるものを作りたいんだよ。

小笠原　それに想像しないと現実にならないと思うんですよ。強さっていうのはイメージするとその強さになっちゃうんですよ。僕なんかそういうイメージでしたから、全日本大会で「絶対決勝に行ってやる！」って思ってたら、4年後ホントになった時はゾッとしましたから。「ホント実現しちゃったよ」って。

橋本　イメージトレーニングですよ。

小笠原　そうなんですよ。ウソとか幻想じゃなくて本物になっちゃうんですよ。極真はそういうのを作り上げるには最高の場所でしたね。総裁がハッタリみたいに言っちゃうじゃないですか（笑）。

橋本　だけど、それだけは検証しちゃいけないんだよ（笑）。

――でも、ゼロワンは検証しても大丈夫な人ばっかりですよね。リアル・グリーンベレーもいますし、大食いのサベージにしてもリアルキャラばっかりですからね（笑）。

橋本　でも、サモアンはオレはあんなに食ってないと思うけどな。

――早速、検証してるじゃないですか（笑）。

橋本　あっ、そうか（笑）。

――でも本当みたいですよ。ウチの取材でも250グラムのステーキを10枚ペロリと食ったって聞いてますよ。

橋本　で、その金、誰が払ったの？

――いやぁ、なんか中村部長に払っていただいたらしいですが……。

橋本　じゃあ、オレが払ったようなもんじゃねぇか！

――そんな検証までしないでください（笑）。

橋本　まあ、ウチも、もう少ししっかりした絵を描きたいね。ホントは極真の名前は使いたくなかったけど、逆に小笠原流っていうのをしっかり打ち出してな。あとはゴルドー先生とどうなるかだけだよ。これでゴルドーとくっつけば、この間の小林と3人になるからな。組むなり試合するかどっちかでしょ。

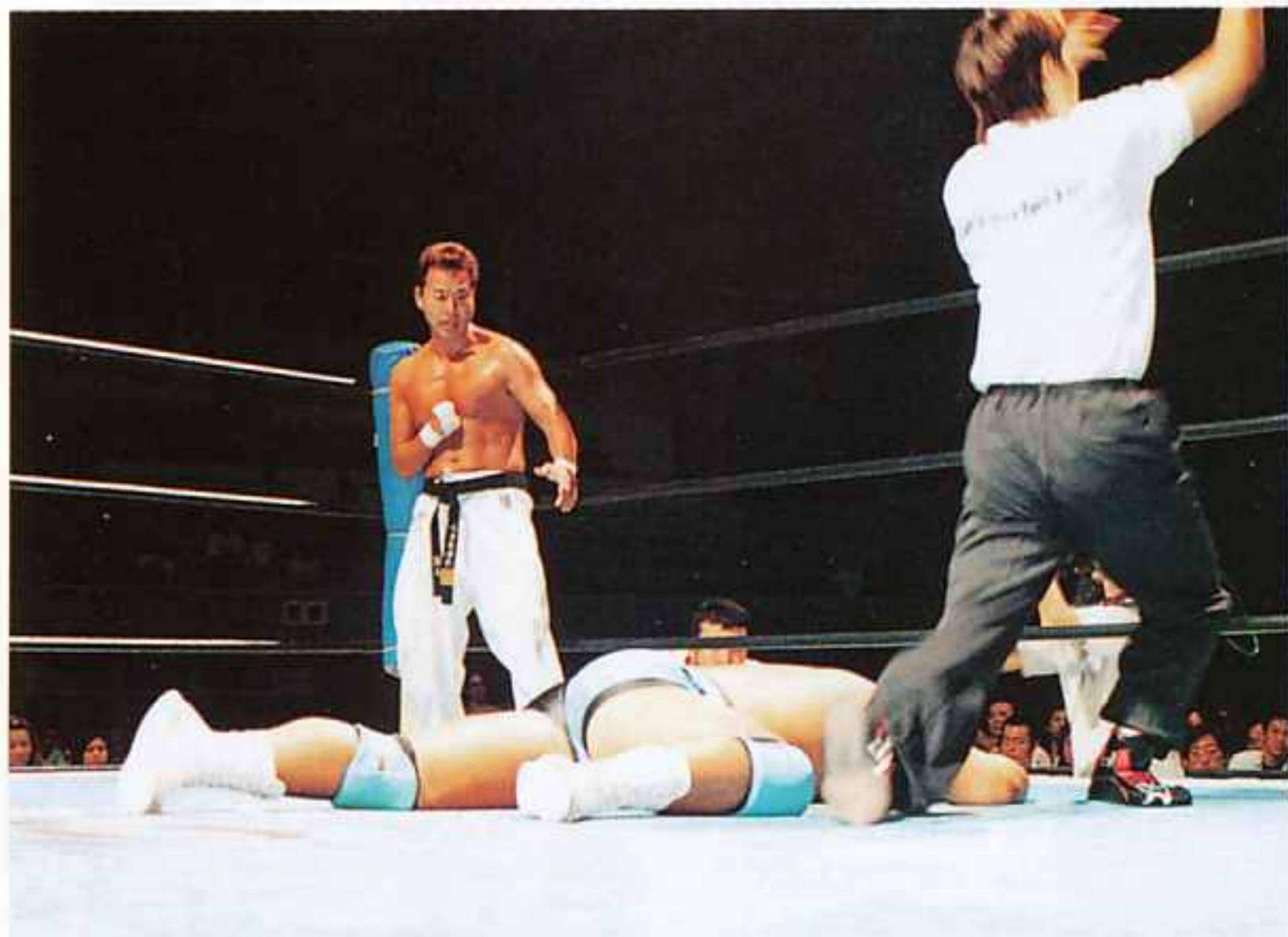
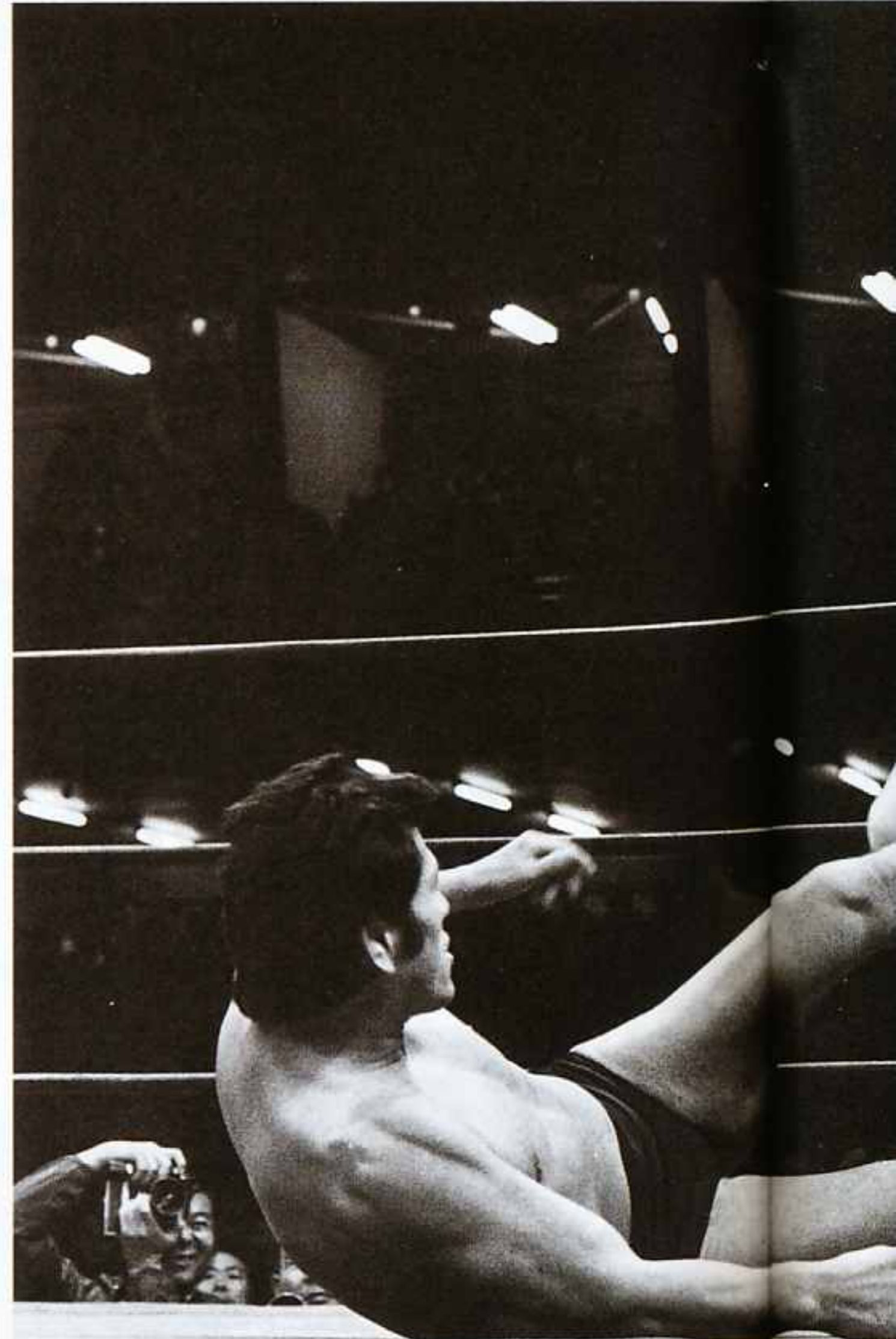
小笠原　僕はゴルドーとは、あまり闘いたくないですね、知り合いだから。

橋本　（無視して）あと、まだウィリー・ウイリアムスもいるからな。レゲエのミュージシャンみたいになっちゃったけど（苦笑）。

――一時、FMWとかにも出てましたね。

橋本　最低！　でも、ウチならイメージを取

秋に開催が予定されているジュニア版天下一武闘会に向け、激しいアピール合戦が繰り広げられた8・30ゼロ中祭り。小笠原に続く新たな空手家、士道館の小林昭男も乱闘に参加

9月12日のゼロワン盛岡大会では〝国産〟黒毛和牛太と対戦した小笠原。華麗な足技で和牛太を翻弄しまくり、最後は手刀でTKO！　元極真の小笠原が見事な牛殺しを披露した

猪木vsウィリー戦？　オレはウィリー役をやってたよ（橋本）

橋本真也

り戻せますよ。それにな、みんなガファリを呼べ呼べって無責任に言うけど、実際あれを使うとなると難しいやろ。

――そうかもしれませんけど、是非ガファリはゼロワンに呼んで欲しいですよ。

橋本　それやったらウチはウイリー呼ぶよ。藤原組長との熊殺し対決とかやってな（笑）。

小笠原　いいですねぇ。そう考えると空手対プロレスって面白いですね。

――そういえば、小笠原先生は『PRIDE1』に出るっていう話があったみたいですね。『東スポ』にも出てましたけど。

小笠原　いや、『PRIDE2』ですね。『PRIDE1』の時に黒澤（浩樹）が怪我をして入院したじゃないですか。お見舞いに行った時、「先輩、『PRIDE2』に出てもらえませんか、相手は探しますから」って。でも、「オレ、いまトーナメントに出てるんだよ」って。頭の中ではそんなこと考えてなかったですよね。

――もしかしたら『PRIDE2』に出てたかもしれなかったんですね。

小笠原　そこでイエスって言ったら決まりでしたよ。自分の相手は黒澤がやられたんでイゴール・メインダートだったかもしれないですね。そういえば、『PRIDE』にはネイサン・ジョーンズとかも出てましたよね。

――メインダートは真撃にも出てるし、ゼロワンといろいろつながってきますよね（笑）。

橋本　イゴール・メインダートは白覆面を被されてミスターWXだったんだよ（笑）。

小笠原　あれも2メートルぐらいありますよね。

橋本　あんまりいらねぇけどな。でもガファリよりはいいかもしれないな（笑）。

――いまはガファリの方が断然いいですよ（笑）。そういえば小笠原先生は、いま坂田選手に盛んに「空手ジジイ」とか言われてますけど、そこら辺はどうなんですか？

小笠原　発言が若いですよ。敬老精神が全くないですよね（笑）。

橋本　敬老精神か（笑）。

小笠原　「ジジイ！」って言いながら、あの行動は絶対自分よりも若いと思ってやってますからね。子供の喧嘩ですよ。

橋本　でも、その年にしかできないことがあるんで、坂田の非常識なのはそれはそれで素晴らしいと思うんだよ。そういうことをやってこそ、年いってから円熟味が出てくると思うし。先生にしても、オレにしてもそうだったと思うし。物事を頭でしか判断できなかったらいろんなものが閉ざされちゃうから。それで結果的に小さくまとまっちゃうんだよ。

自分は車飛びでも飛行機飛びでも、なんでもやりますよ！（小笠原）

じゃあ、自動車はオレが選ぶよ。やっぱデコトラだな（笑）（橋本）

小笠原　無茶してくるから、こっちもそれなりにやらないとって思ってるんですよ。

橋本　（突然）坂田三吉かアホの坂田か（笑）。

――ワハハハ！　いきなりなんですか（笑）。一方で坂田選手は小笠原先生ならぬ、「大仁田先生ともやりたい」って言ってますけど。

橋本　あ？　好きにやってくれ！（苦笑）。

――無責任な（笑）。でも大仁田先生はアフガンの方でプロレスをやるみたいですけど。

橋本　遅いよ、もう！　違うか？　いつまでも「アフガン、アフガン」って。オレが思うにな、それも大事だけど、日本がこんなに窮地になってて人を救える力もなくなってきてるから、日本に力を注がなきゃいけないんだよ。みんな自分の名声を上げるためにそんなことばっかりやってるけどな、そうじゃなくて日本が沈みそうなんだからさ。人を助けてたら一緒に沈むやろ！

――まずは日本からと。それでは最後に小笠原先生にはどんなものを期待してますか。

橋本　そのままでいいですよ。そのままの小笠原和彦で、変にプロレスに流れないように小笠原流でやってもらって。ねえ、先生！

小笠原　押忍！

――高岩選手は「橋本さんが小笠原を認めてもオレは認めない」みたいなことを言ってますし、小笠原先生からしたらゼロワンのリングは、ほぼ全員が敵っていう感じですよね。

小笠原　その方がいいですよね。敵だらけの方がやりがいもありますし、試し割りじゃないですけど1枚1枚割っていきますよ。

橋本　ただ先生に一つ気をつけてもらいたいのはプロレスラーって学習するから、先生の蹴りのパターンがだいぶ読まれてきてるんですよ。その辺でドンドン新しいものを出していかないと攻撃パターンを見切られて、中に突っ込まれたら、やっぱり体重が軽いんで持ち上げられちゃうからな。……でも、オレが言っちゃイカンな、こんなこと（笑）。

――う～ん、どうなんですかね（笑）。

橋本　それから先生、ホントに車飛びやりたいの？

小笠原　自分は車飛びでも飛行機飛びでもやりますよ！（キッパリ）。

橋本　じゃあ、自動車はオレが選ぶから。

――破壊王プロデュースですか!?

橋本　そうだな、やっぱデコトラだろ（笑）。

小笠原　エェ！　そんなの飛べませんよ！

橋本　オレが運転するから。どうや？（笑）。

小笠原　オ、押忍！（苦笑）。

――最高です！　ありがとうございました！

【9月11日／港区『ホテル・インターコンチネンタル東京ベイ』にて収録】

はしもと・しんや■1965年7月3日生・岐阜県土岐市出身。183cm・135kg。84年4月に新日本プロレスに入門。同年9月1日デビュー。新日本の象徴、IWGPヘビー級王座の歴代最多防衛記録を持つ。1999年、新日本を離脱し、プロレスリングZERO-ONEを旗揚げ

おがさわら・かずひこ■1959年12月12日生・静岡県清水市出身。177cm・82kg。80年第12回全日本空手道選手権大会にてデビュー。83年には同大会準優勝。さらに第3回・4回世界大会では100人組手に挑戦するなど国内外にその名を轟かせた“足技の魔術師”

橋本真也 × 小笠原和彦

~~新OH砲~~
OHビーム対談

『紙プロ』発ZERO-ONEグッズ 第一弾はコレや!

来月はパーカーも出るぞ!

FRONT [イエロー]

FRONT [ホワイト]

破不可

nobody knows
who is
HASHI FU KANE
FROM
CANADA

キミはハシフ・カーンを知ってるか!?

BACK

who ?

ハシフ・カーン(破不可)Tシャツ
¥3,800
サイズ S or M or L or XL

ハシフ・カーンとは破壊王が新日本時代、海外遠征先のカナダで使っていたリングネームです。ちなみに「破不可」とは「オレは壊すが、オレは壊れんぞ!」って意味です!

完成予想図

FRONT [ベイジュ]

FRONT [カーキ]

FRONT [ネイビー]

TWOOO!

BACK

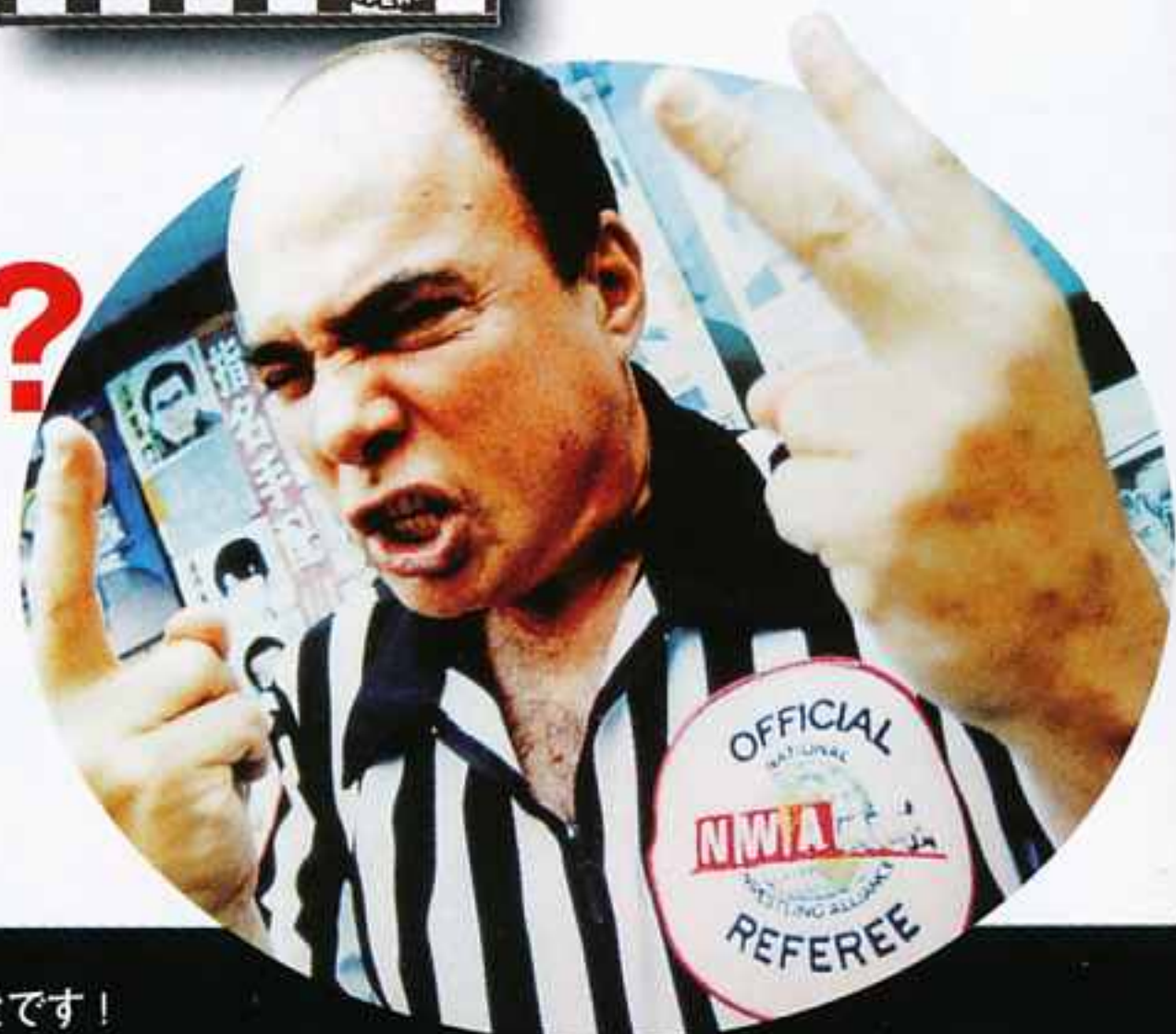
キミは両手を揚げ「トゥーッ!」と叫んだか!?

ZERO-ONE名物レフェリー
Mr.フレッド『TWOOO』Tシャツ
¥3,800
サイズ S or M or L or XL

【ご購入方法】
通販(P160参照)かZERO-ONE会場(10月シリーズから)にてお買い求めできます。

キミが欲しいのはどっち? エッ、どっちも欲しいって? そんな人にフレッドから一言!「トゥーッ!」。2枚買えってことです!

ZERO-ONE
8月・9月シリーズ
リポート&秘蔵
フォトギャラリー

やる方も見る方も喜怒哀楽全開ッ!!

大衆格闘芸術全国進撃中!!

8・22～8・25の『improvement』、8・31『ZERO中祭り』、9・12～9・18の『～Genesis II～』を追っかけリポート。生で見たことない人も、少しでもZERO-ONEを体感して、自分の街にZERO-ONEが来たらこう叫びましょう。「オー、エイチ、ホウッ!!」。

「オー、エイチ、ホーーーッ!!」ご唱和

破壊王の地元で本邦初公開

メインの6人タッグ。OH砲をダブルでアルゼンチンに担ぎ上げた“鋼鉄巨人”ジョーンズと“新超獣”プレデターだが、この2人は小競り合いを展開し、鋼鉄巨人はこの日を境にガイジン勢から孤立していく

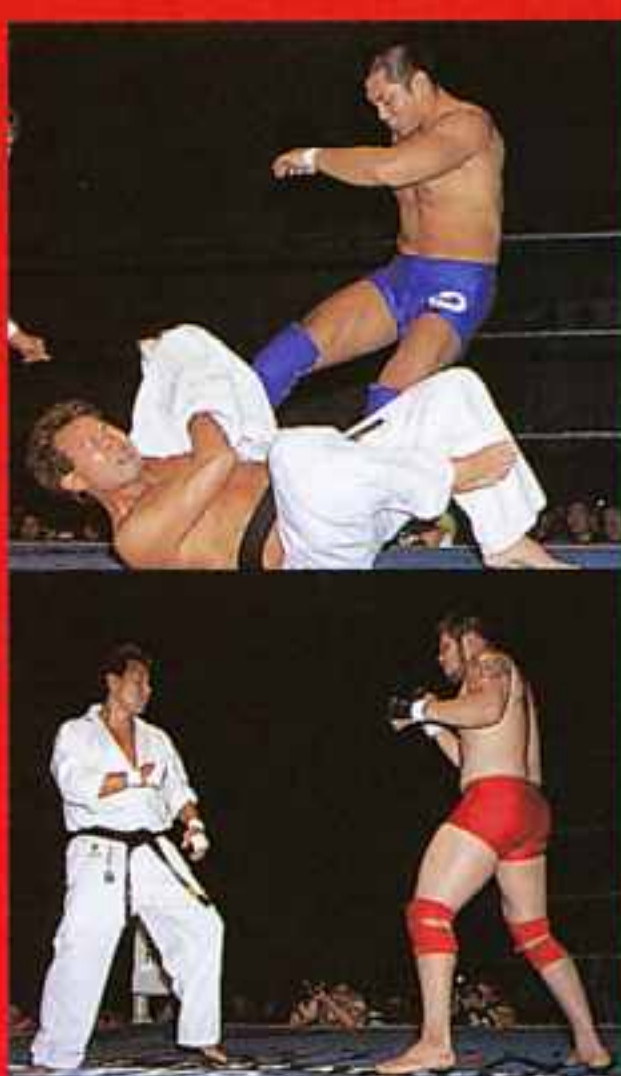
凱旋興行は超満員札止めの観客で鈴なり状態。旗やノボリなど、おびただしい数の「破壊王」という文字が会場の内外に踊った。なんだか街頭テレビ時代のようだった（リアルタイムでは知らないけど）

D・ヤングを従えたコリノの「ギフ～、ヒ●クショ～、イナカモノ～!!」で幕を開けたNWAインタコンチタッグ選手権。王座を防衛した大谷＆田中組には、米500キロ（！）が贈呈された

『improvement』開幕戦

8.22　岐阜産業会館
［観衆4,500人（超満員札止め）］

さすが破壊王のお膝元！　この日は、試合開始前に演歌特別ショーが行われた。歌ってる方の名前はメモし忘れました。すいません

この日以降、仁義なき抗争に突入する坂田と小笠原先生の記念すべき初対戦。先生＆耕平組vs坂田＆横井戦が実現。押されまくった先生は“危険な蹴り”（先生・談）で一発逆転！

富豪²夢路の“フゴフゴダンス”。この日はレフェリーのMr.マイケルまでが、ん～、ダンシンッ!!

ハッケヨイ!!　試合前の練習中、リング上で破壊王vs組長の相撲対決が実現。行事はドン荒川！　昔どこかで見た風景だ。勝負は水入り！

試合前の大一番!! 破壊王vs組長（行司・ドン荒川）

「信長のように、岐阜（尾張）から天下を取るゾ!!」と、試合前、報道陣に向かい、実に素敵なボキャブラリーで宣言した破壊王。素敵なボキャはまだまだ続き、アメリカ勢との全面抗争に関しては、「全面対抗戦の舞台をアメリカにしてもいい。日本国旗をアメリカで揚げてやりますよ」「アメリカじゃ、日本といえばトヨタ、ホンダ、スズキ。でもこれからは、日本といえば、トヨタとゼロワンにするから！」とまで言うからバツグンである。

その、いつ何時でも元気な破壊王がお膝元・岐阜に凱旋して8月シリーズは幕を開けた。加えて小川直也も岐阜初見参。つまりこの日は、OH砲目当てに来たプロレスファン以外のお客さんのほうが圧倒的に多かったというわけだ。

メインにはOH砲＋藤原組長のOHG砲が登場。GはジジィのGだ（by破壊王）。相手はザ・プレデター＆トム・ハワード＆ネイサン・ジョーンズの誰が見ても「デカイ、強い、凄い、面白い」とわかる“最強ガイジン部隊”だ。ひとりひとりの入場は、暑い館内が、さらに温度が2～3度は確実に上昇するほどの狂乱騒ぎとなった。

試合はオーちゃんが、このシリーズのキーパーソンとなる2メートル9センチの“鋼鉄巨人”ジョーンズに秘技・竜巻谷落としを決めた後、破壊王と合体。“刈龍怒”でジョーンズを蹴散らすと、ガイジン勢の仲間割れをついたスキに、必殺の“オレごと刈れ！”をハワードに決め、見事勝利。

試合後、慣れない様子で「今日初めてやるんですが、みなさん“オー・エイチ・ホウッ！”のご唱和をお願いします！」と音頭をとる小川に、観客は「1、2、3、ダーッ!!」の要領で「オー・エイチ・ホーーッ！」と拳を突き上げた。

試合後、凱旋興行の総括と今後の構想を語っていた破壊王は、外部選手の参加の話になると突然声を荒げた。「誰でも来いやって、もう！　オレたちはイヤな思いをして試合したくないだけなんだ。政治的なバック背負ってやってる奴いるけど、なんかもう、自分の力じゃねぇじゃん。自分で飛び出るやつはいいねぇのかって言いたいよ。ホントやりづらい。選手同士は何もないのに、背景考えたら何もできなくなっちゃう。そんなんばっかだよ！」。

破壊王はさらにトーンを上げて「負けねぇよ、オレたちは！」と言い切った後、ポツリと「言い過ぎですか？」と隣の藤原組長に語りかけた。「い、いいんじゃないですか」という組長の言葉に、破壊王は照れるように自分の腹を触りながら、「俺たちも、長いモノにちょこっと巻かれようとしたら、太くて巻かれなかった。そういうことや!!」とシメた。

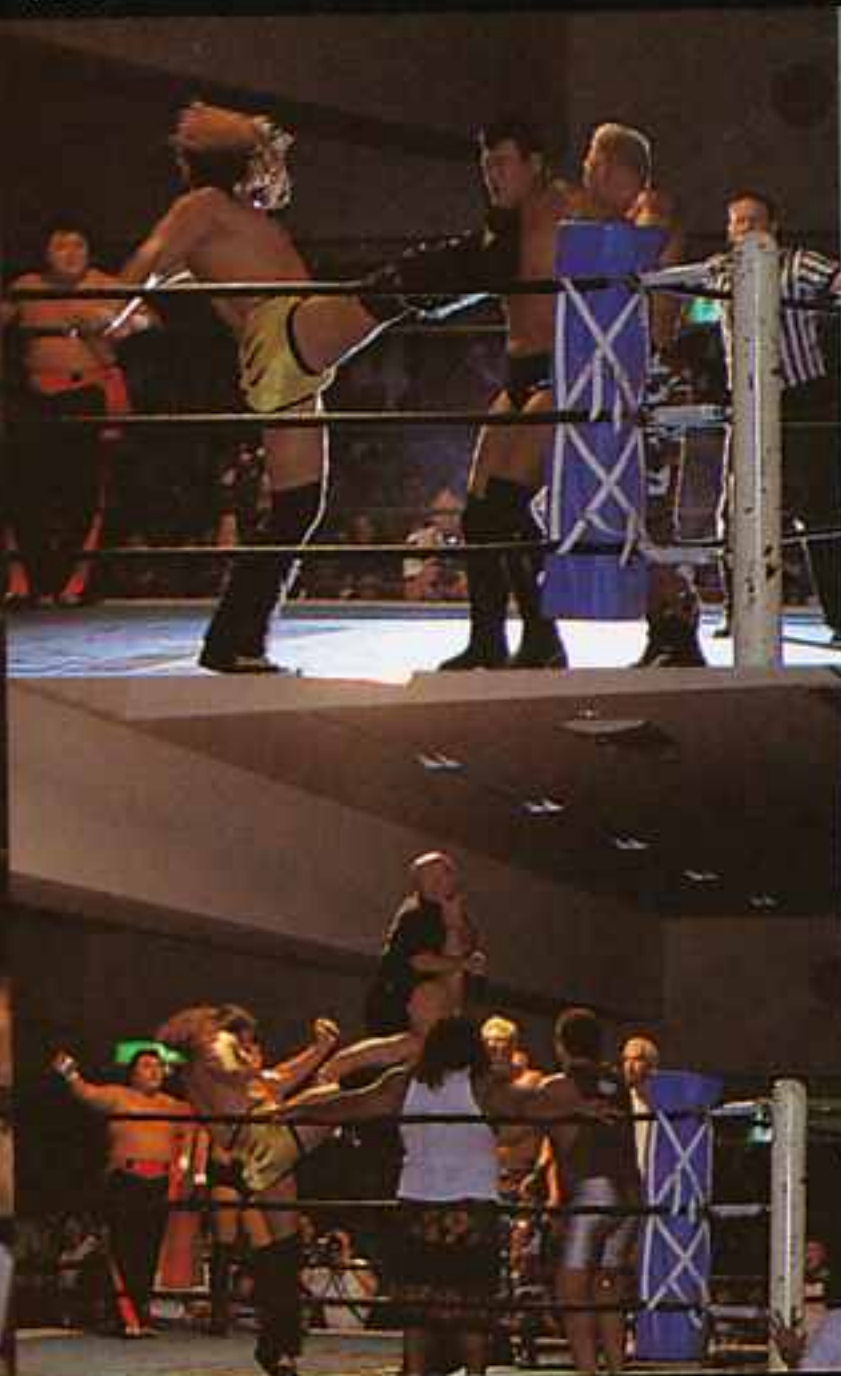
「LEGEND」でのマット・ガファリ戦後、初の試合を終えたオーちゃんもテンションは高く、「ZERO－ONEは政治力うんぬんは関係ないから」と言葉を重ねた。

破壊王の激白の意味するところは何か!?“政治力には負けない団体”ZERO－ONEの灼熱ロードが始まった。

OH砲が“オレごと刈れ!”で新超獣退治!!

新日本の黒い影、そしてガイジン勢とのウチワ揉めと、2メートル9センチの“鋼鉄巨人”ジョーンズの去就を巡って、日米決戦がまさに風雲急を告げてきたこの日。破壊王は試合後、「リング上ではあんなこと（内ゲバ）はやめてくれよ!　俺らは寸劇レスラーじゃねぇんだから!　技はバッチリ決まったけど、気持ちはスッキリしねぇ。ハッキリぶっ潰したい!!」と、さらに“アメ公”（破壊王調）たちへの敵意をムキ出しにした。ビバ、破壊王!

『improvement』第3戦

8.24　博多スターレーン
［観衆2,400人（超満員札止め）］

オーちゃん命名! 炭谷信介改め 山笠Z”(ジェット)信介 誕生!!

「♪おっもっいぃこんだ〜ら〜」という『巨人の星』のテーマ曲に乗り走って入場。リングでウサギ飛びする新人・炭谷信介が、地元に凱旋。これを機に改名した。その名は「山笠Z”信介」!!　オーちゃんがこの日に命名したという。親御さんや親戚が見にきたら、いきなりヤマガサ・ジェット・シンスケに変わっていたのだから、さぞかし驚いたことだろう。試合では「ヤマガサ・コール」も起こるほど大奮戦したが、富豪²夢路に惜しくも敗れた

坂田&横井vs金村&黒田 異次元融合!!

この日、初の大流血を経験した横井は、机ダイブ、イス、釘、ラリアット、ツープラトンの太鼓の乱れ打ちなど、次から次へとハードコアの洗礼を喰らい続けた。逆に坂田はハードヒットの洗礼を浴びせた。博多スターレーンを熱狂させたこの試合の決着戦はいつだ!?

キング・サーモァンズを下し、2日前の岐阜大会に続き、NWAインタコンチタッグ王座を防衛した大谷&田中組は、この日、チーム名を公募した

コリノvsコブラ“夢”の対決!!

コリノvsコブラという“夢の対決”が実現した。福岡ダイエーホークスのハッピを客席に投げるフリをして、リングに叩きつけ、股間を拭いたコリノは、そのハッピにエルボーまで落とした。コブラのお腹は、かなりガファリだった

報道陣にとっては、ZERO-ONE・中村渉外部長の「ネイサン・ジョーンズに新日本から引き抜きの声がかかっている。これも〝政治的圧力〟のひとつだと思う。正直いい加減にしてほしいです。あきれてモノが言えない。本人の気持ち次第だが、金で動かれたら、うちには何もできない」という開場前の衝撃の告白から始まったこの大会。新日本サイドは後日、〝引き抜き〟の事実はないことを主張したが、一気にジョーンズ周辺にキナ臭さが漂ってきた。

そのジョーンズを巡る不穏な動きが〝西のプロレスの聖地〟博多スターレーンで爆発した。23日の今治大会を挟んで、ZERO-ONEが博多初上陸、OH砲揃い踏みとあって館内は超満員。プロレスファン率も高く、完全に〝できあがった〟状態から大会はスタートした。

凄まじい熱気に包まれたこの日のメインは、5・3松山で無効試合、7・5長野で両リンとなっている、OH砲vsプレデター&トム・ハワードの決着戦だ。途中から試合に乱入してきたジョーンズとプレデターが乱闘をおっぱじめたスキを突き〝オレごと刈れ!〟が炸裂!!　破壊王がプレデターからフォールを奪い激闘に終止符を打ったが、プレデターとジョーンズは試合後も大乱闘。ジョーンズは止めに入ったUPWのボス、リック・バスマンまで首吊りの刑に処する乱心ぶり。バスマンは「ファイヤー!!」と、リング上でジョーンズをUPWからの追放を宣言してしまった。

ガイジン勢が引き揚げると同時に、マイクで「仲間割れは家に帰ってやってくれ、家に帰って」と言った小川は〝地方発世界〟をファンに訴え、破壊王は「うぉぉぉおいっ!!　福岡、博多ッ!!　もっと熱くしてやるからな!!」と絶叫。そして最後はもちろん、小川の音頭で、「オー、エイチ、ホーーーッ!!」ご唱和で締めた。

この日の前半戦のハイライトは、坂田亘&横井宏考vs金村キンタロー&黒田哲広のタッグマッチ。「ハードヒットvsハードコア」「〝元リングス〟or『LEGEND』コンビ〟vs〝元FMW〟」の異次元遭遇は、場内をぶっちぎりで湧かせまくった。価値観の違う者同士のツバぜり合いほど面白いものはない。

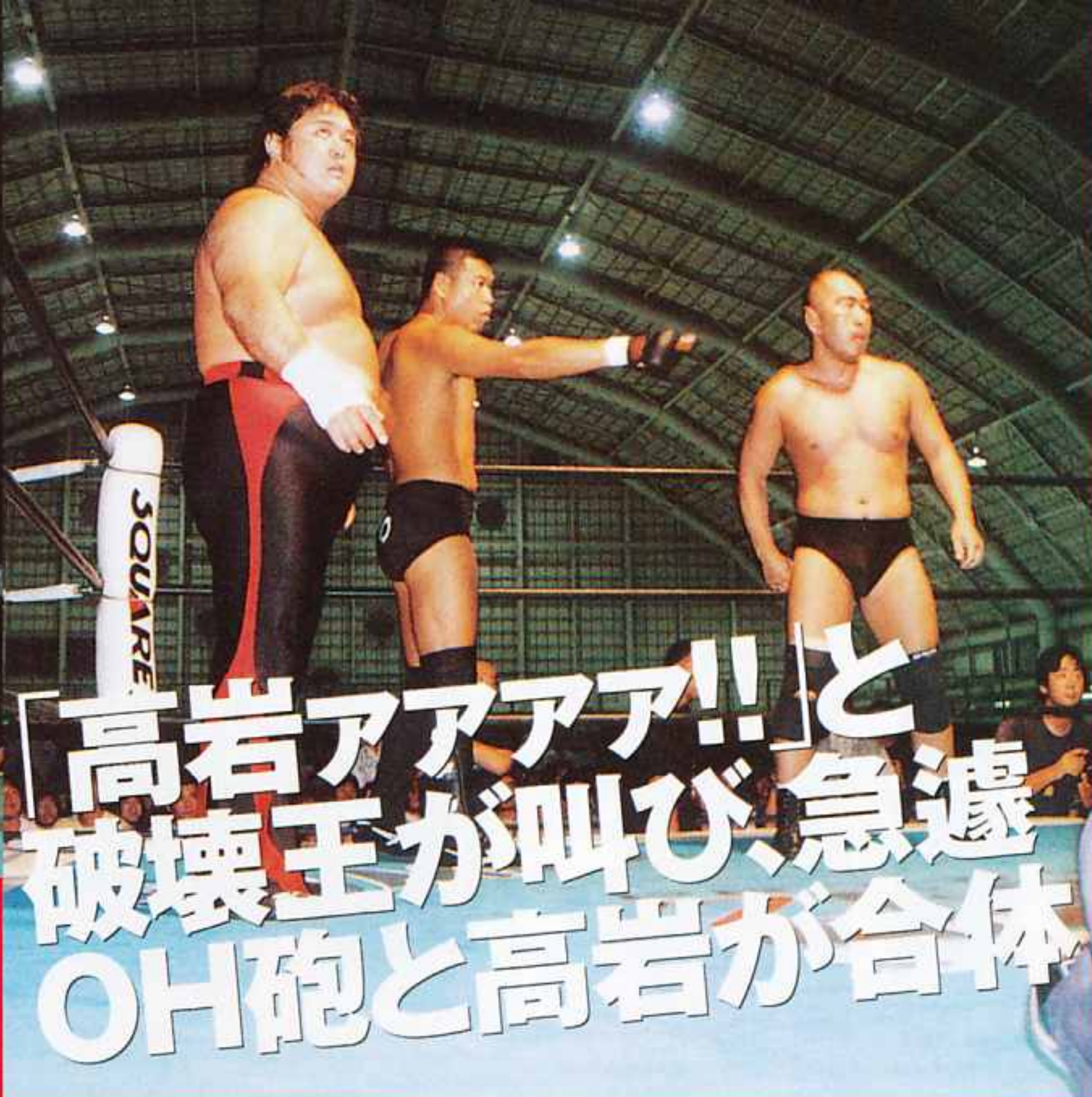
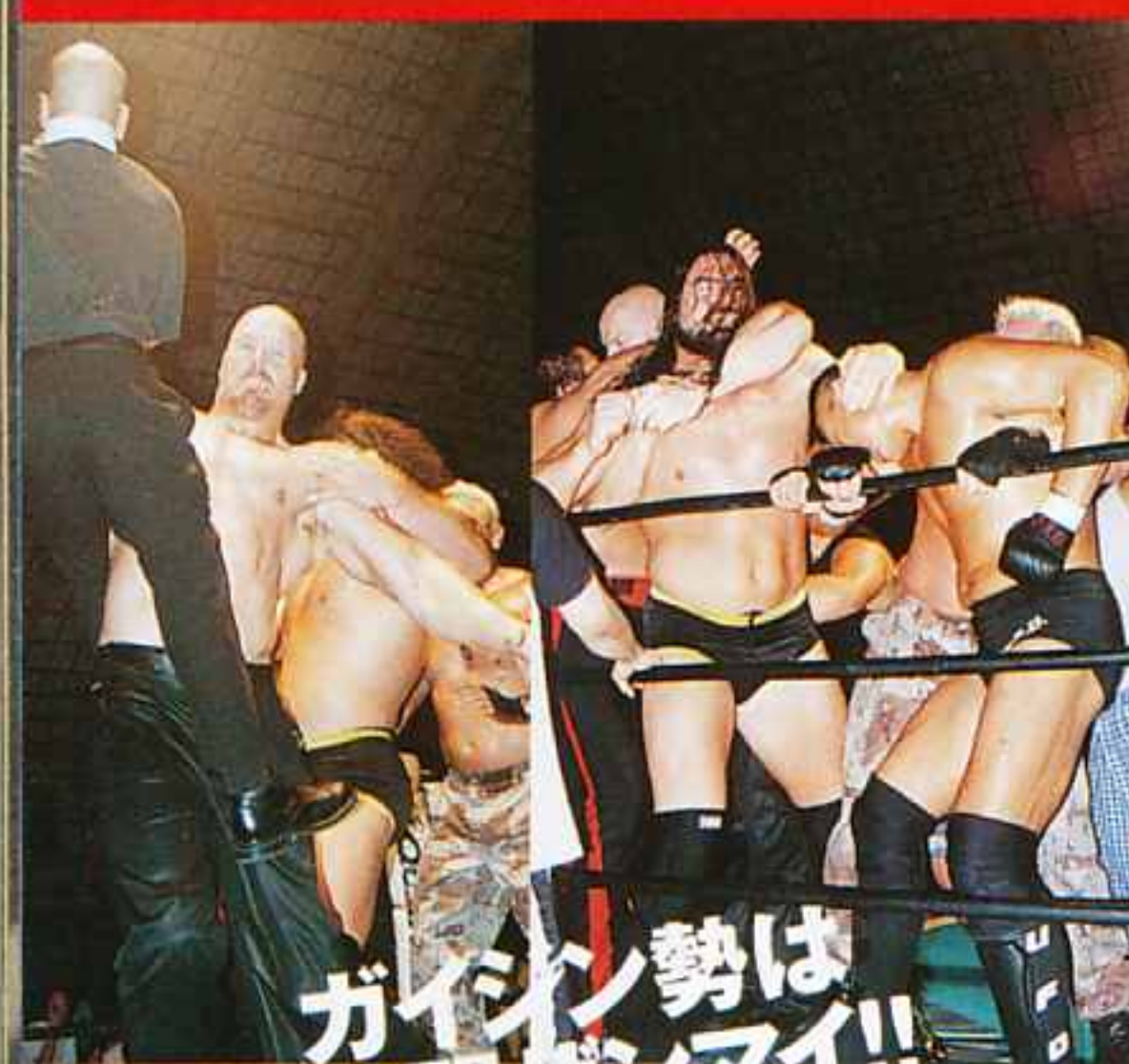
横井に生涯初の大流血を経験させたキンちゃんは、無効試合に〝した〟後、「ムチャクチャかもしれんけどな、これが俺らのスタイルや。お前らのルールで試合はせぇへんぞ!!……（ボソッと）かなうわけないやないか。（気を取り直し）強いだけがプロレスやないぞ!!　頭使うのもプロレスなんや!!」と試合後に見事にマイクで一本。しかし、坂田の凄み、横井の踏ん張りも、博多のファンをボー然とさせるほど届きまくった。

そういえば、坂田組vs金村組のときに、初めて見に来たであろう女性ファンが、そこまでの全試合を指して「オッモシロイ!……なにもかもが!」とコーフンして喜んでいた。ZERO-ONEの面白さは、OH砲、ガイジン勢、大谷晋二郎だけではないのだ。

『improvement』第4戦

8.25　京都・醍醐グランドーム
［観衆3,100人（超満員）］

ガイジン勢は乱闘ザンマイ!! 鋼鉄巨人、孤立

前日のコリノvsコブラに続き、この日はタッグながら"牛丼17杯食い逃げサモアン"vsコリノという"夢の対決"も実現した。それはともかくメインだ。ガイジン勢にジョーンズが加入したため、急遽、高岩を呼び込み6人タッグに変更。このへんの騒乱ぶりも、在りし日の新日本プロレスを彷彿とさせる。あ、まだ新日本さんはありましたね。失礼しました

「高岩アアアア!!」と破壊王が叫び、急遽OH砲と高岩が合体

デビュー10周年記念試合では高岩、大流血ザンマイ!!

「高岩竜一デビュー10周年記念試合」の入場時には花束嬢がズラリ。柔道の畳と同じ感覚で、土足を脱いでリングの上に。このへんは古き良き新日イズムの残り香だ。しかし、金村キンタローに急襲された高岩は、結局その花を受け取ることができず（試合後に血ダルマ姿で受け取った）

会場は屋根付きだが、17時開始のため、外から陽が入ってきて屋外っぽい雰囲気。外が暗くなるまでの前半戦は"納涼夏祭り"のような雰囲気だった

以前はスケートセンターだったこの会場。開場の何時間も前から当日券を求めて長蛇の列が……といったら大げさすぎるが、ホントにけっこうな人数が並んでいた

オーちゃんの貴重なショット。オーちゃんは会場入りすると、必ず会場を数周走ってからリングインして調整する。

8月シリーズ最終戦。前日の博多大会で、同門の"新超獣"プレデターと大乱闘を繰り広げ、ボスのリック・バスマンにUPW追放を言い渡された、"鋼鉄巨人"ネイサン・ジョーンズは、当初この日、そのプレデターと組み、メインでOH砲と対戦する予定だった。しかし連日の仲間割れを見た破壊王が「一緒に組ませたら、また試合にならなくなる」と、メインは「OH砲vsザ・プレデター&トム・ハワード」戦に変更された。

で、メイン。すっかりZERO-ONE地方サーキットの名物風景となった、恐怖のプレデター観客席なだれこみシーン、OH砲の狂騒的入場シーンが終わり、あとはゴングを待つだけとなった。しかしそこに鋼鉄巨人がそこにヌウーッと現れ、「俺がこの試合に出るはずだった」と、またプレデターとやり合い始めたからたまらない。

ガイジン部隊の内乱劇にシビレを切らせた小川が、「3人まとめてかかってこいよ、オラー!」とマイクで叫ぶと、京都のファンは大歓声。しかし2vs3のハンディキャップマッチ、しかも相手が"最強ガイジン部隊"では、さすがに勝ち目がないと見た破壊王は、機を見るに敏で「高岩ァ〜!」と叫んだ。すると、1試合前に、金村キンタロー相手に血だるまのデビュー10周年記念試合を飾った高岩竜一が即座に呼応。花道をダッシュで駆け抜けきた。急遽、メインは「OHT砲vsハワード&プレデター&ジョーンズ」の6人タッグに再変更!

試合はすでにハードな一戦を消化していた高岩がプレデターに捕まり、キングコングバスターで仕留められてしまった。

勝ったにも関わらず大乱闘を繰り広げる新超獣と鋼鉄巨人。前日の博多大会と同じくUPWのボス、バスマンを絞首刑にしたジョーンズにアキレて、UPW勢はハワードの号令とともに引き揚げ、ジョーンズは完全に孤立。そこをコリノがNWA入りの勧誘をするというオマケ付きだった。

試合に敗れたものの、「オー、エイチ、ホウッ!」のご唱和で締め、バックステージに引き揚げた破壊王は、仲間割れを繰り返すガイジン勢に対し完全にアキレ気味。しかし「でもな、やつらに道をつけてきたのは選手だから! トンビが油揚げをさらうみたいなマネをする奴は許さねぇぞ、俺は!」と吐き捨てた。

これは、まだこの頃、絶賛騒動中の新日本のジョーンズ引き抜きの話を指していたのか? こうして大騒乱のまま、8月シリーズは幕を下ろした。

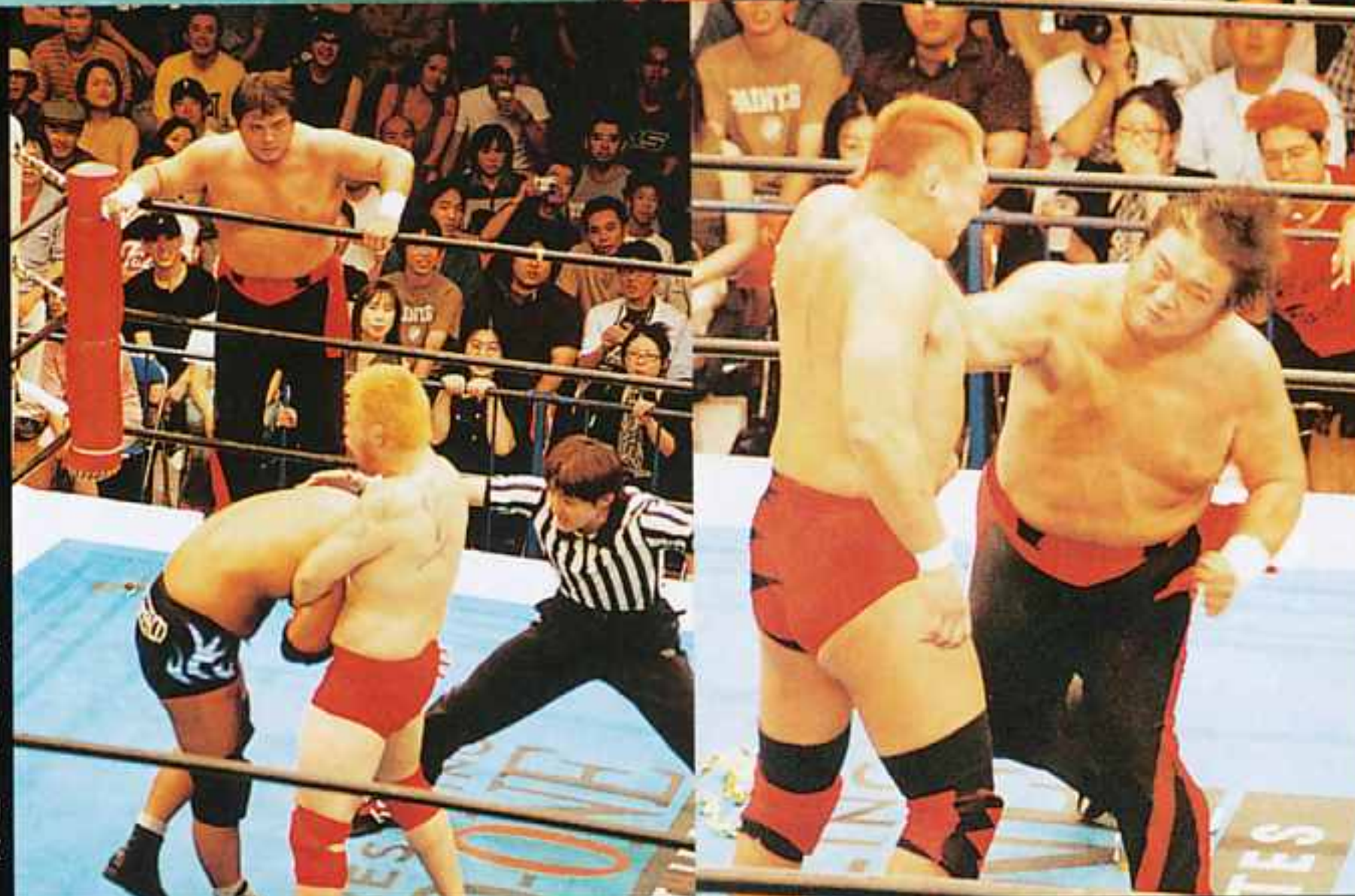
ところで、高岩のデビュー10周年記念試合。試合前に「10周年だからって、俺は絶対脇役にはならへんぞ!」と言い放ち、机ダイブに始まり、机杭打ち攻撃などをハードコアすぎるほど仕掛けていったキンちゃんには、キンどん賞を上げたいくらいだ。ZERO-ONEのキンちゃんにハズレなし!

試合後に、「金村! 今日は俺の10周年だ!!……」ここまでやらなくていいだろ」とマイクで叫んだ高岩も素敵でした。

『ZERO中祭り』

8.31　後楽園ホール
［観衆1,500人（超満員）］

大谷が遂に“火祭り革命”のノロシ!!

新日本時代にも実現していなかった破壊王vs大谷の初対決。火祭り刀を破壊王の目前に突きつけた大谷は、コール前から襲いかかって、破壊王に顔面ウォッシュ！　試合後大谷は「オレはひとりでやっていく。いつまでもいい子ちゃんじゃいられねぇ。オレがZERO-ONEしきる！」と、火祭り革命宣言。熱く刃向かってきた大谷に対して、破壊王は「オレも久々に魂が揺さぶられた」と語り、初タッグを組んだ横井の闘いを「オマエのファイトは闘志がある」と高く評価した

闘いは熱くファンサービスは手厚い（一部誇張）

休憩前にはオッキー司会でビンゴ大会開催ーッ!! 女性向け1位はスパンキーとのディナー権、総合1位はトム・ハワードとのディナー権＆SOD提供福袋。他にもサモアン・サベージとの高級ホテル宿泊権（拒否権あり）、高橋冬樹と行く西武対近鉄観戦ツアー等、豪華（？）賞品がプレゼントされた

組長とドンがブリブラ・ダンス!!

第2試合、藤原組長＆ドン荒川＆金村キンタローという異色トリオが実現。なんと組長とドンが金村のブリブラ・ダンスに加わった！　だがよく見ると、ドンだけ微妙に踊りが違う

ドンがバトルロイヤル制す!!

「みなさん、プロレスは頭です！」。メインの14人参加バトルロイヤルを頭脳プレイで勝ち抜いたのはドン荒川！　優勝賞品としてメルセデス・ベンツ（1／24スケール）贈呈！

〝ZERO-ONE中毒者〟を略した「ゼロ中」を大会名に冠し、夏休み最後の8・31に行われた『ゼロ中祭り』は、通常の後楽園大会よりも記者席を小さく作らねばならないほどの入りだった。ファン感謝デーとして、特別リングサイドでも4千円、指定席はわずか2千円という、超大サービス価格で行われたことも大きく影響しているが、ここ数ヶ月で高まってきたZERO-ONEの盛り上がりを一度体験してみようと思う人が増加してきたことの現れでもあるだろう。

でもって、事前に〝平成の仕掛人〟中村渉外部長も「普通の試合を組んで、普通のトークショーを組むだけじゃ、ZERO-ONEじゃないですから」と語っていたように、「ファン感謝デー」という枠組みを超えまくった一大イベントとなった。事前に発表されたカードは「橋本真也＆横井宏考vs大谷晋二郎＆田中将斗」の一戦のみ。他には「当日は計5試合十全選手参加のバトルロイヤルを開催」という情報だけ。魅惑の〝ガイジン部隊〟を一切使わず、日本人だけで観客を大いに驚かせ、喜ばせ、興奮させてしまった。

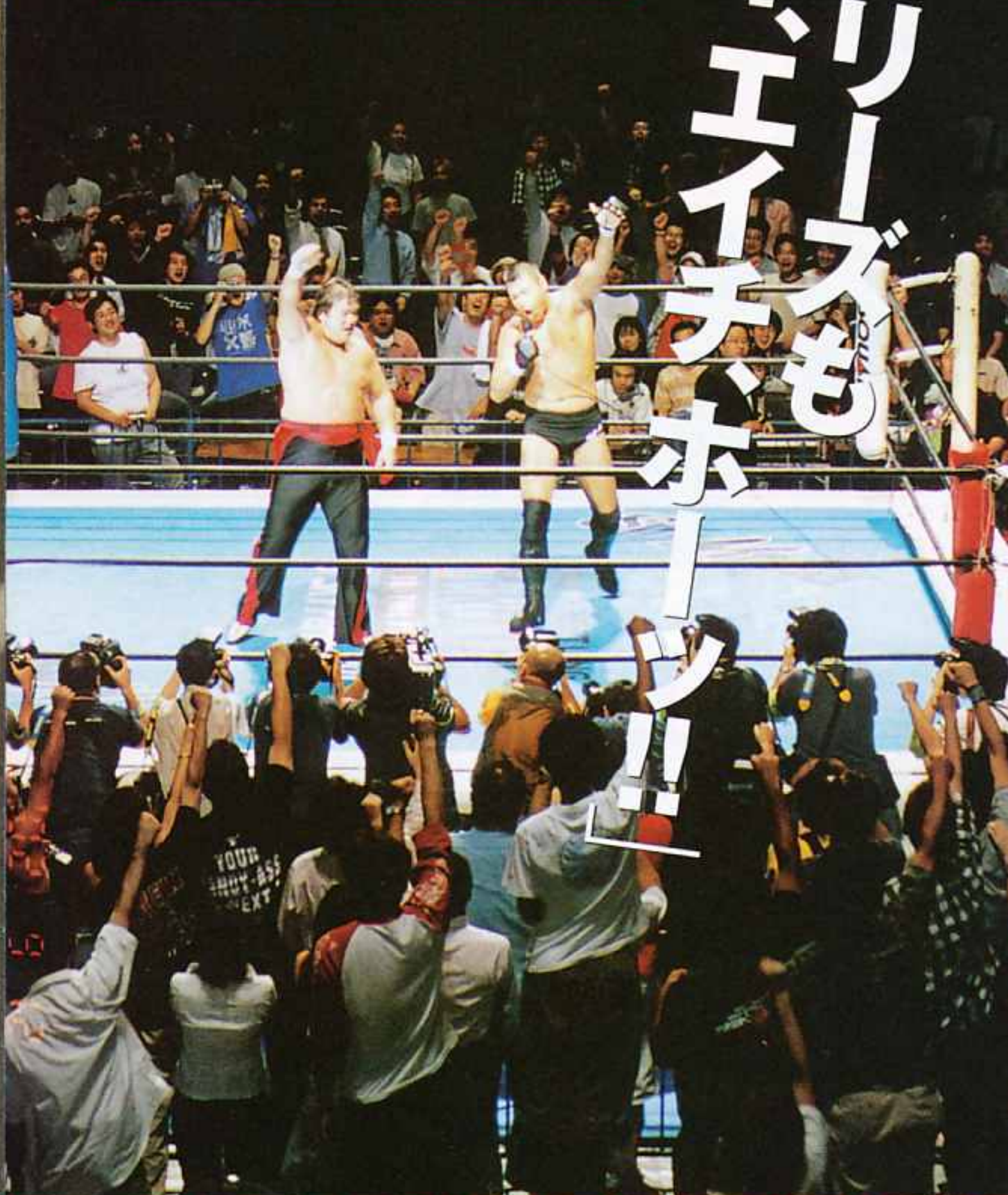
当日もカード発表がなされず、入場曲とリングインしてからのアナウンスで対戦カードを知るスタイルとなっていた『ゼロ中祭り』で、もっとも強いインパクトを残したのが第4試合の日高郁人＆坂田亘組vs星川尚浩＆小笠原和彦組だった。猪木さんは街の喧嘩に群がるヤジ馬を見て、「あれをファンは見たがってるんだ」と言ったというが、坂田と小笠原の絡みは、〝喧嘩〟だ。やっぱり〝喧嘩〟は届きやすい。坂田の評価が最近うなぎ昇りなのも、格闘技の技術と〝喧嘩を見せる〟という技術が見事に絡んだ結果だろう。しかもこの試合には、謎の空手家・士道館の小林昭男が小笠原救出のためにリングに殴り込んだから、さぁ大変!!　星川、日高に次いで、日高のセコンド・ディック東郷らZERO-ONEジュニア勢が入り乱れ、試合はなんとノーコンテストに。見かねた高岩竜一がリングに上がり、マイクで「ちゃんと試合しろよ、コラ!!」と叫ぶも、かえって火に油をそそぐ騒乱ぶりとなってしまった。

そしてセミでは、大谷が破壊王と初対決、ZERO-ONE離脱発言にも取れるような「ひとりでやっていく！」宣言。〝火祭り革命〟のノロシを上げた。

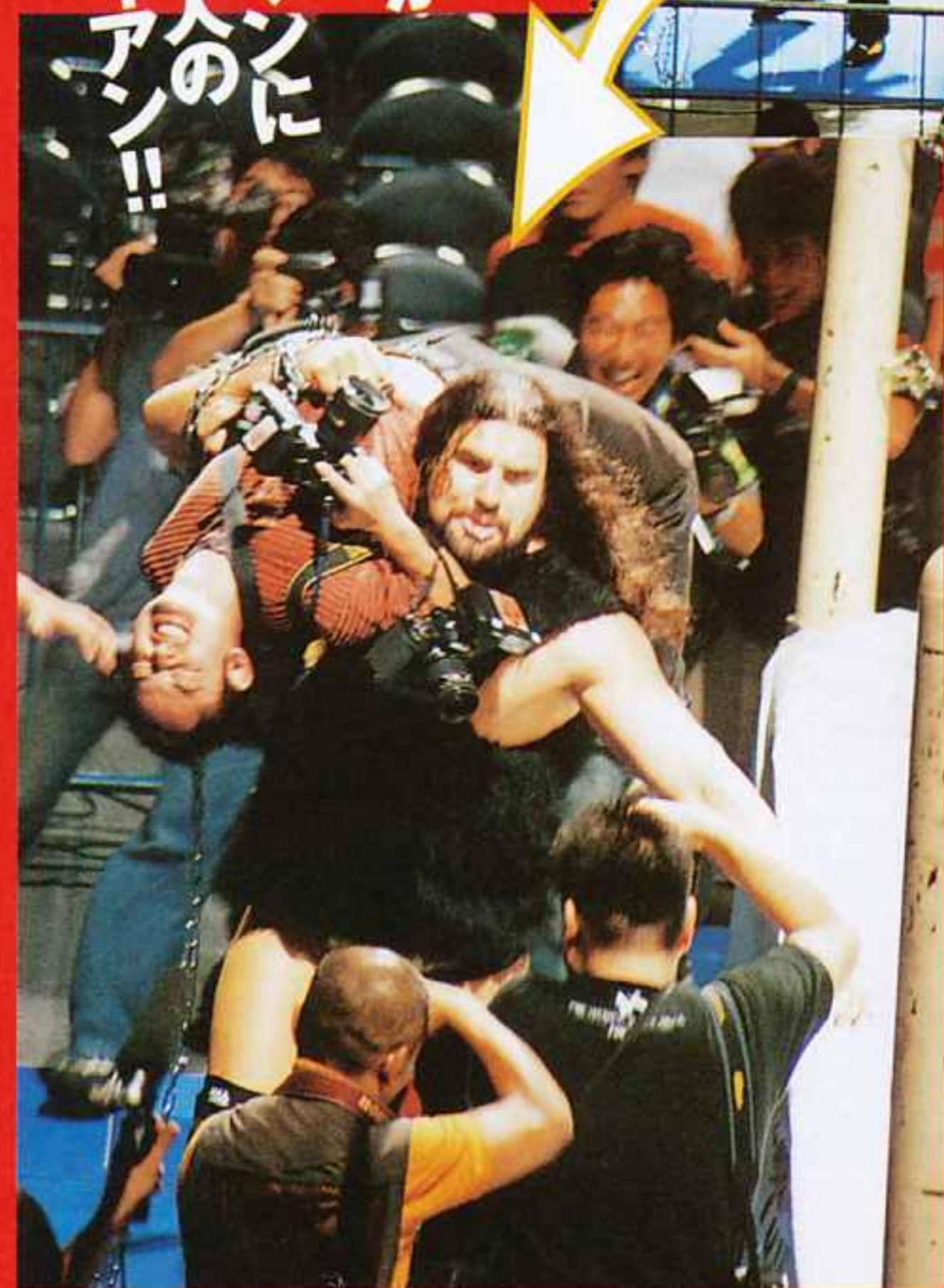
それでも終わらない、盛りだくさんすぎる『ZERO中祭り』は、メインのバトルロイヤル終了後、破壊王が「大谷と組んでもOH砲、小笠原先生と組んでもOH砲ですが、今の自分にとっては、憎っくき小川と組むときだけがOH砲です！　いつもは小川がやってるんですが、ご唱和ください！　いくゾーーーッ」と叫び、東京では初めての「オー、エイチ、ホウッ！」のご唱和を、ひとりで音頭をとって締めた。ファン感謝デーでありながら、まったりムードとはほど遠い試合を繰り広げてしまった『ZERO中祭り』。9月シリーズへ向け、「次行ってみよーーーッ!!」という機運が大いに盛り上がった大会だった。

『～GenesisⅡ～』開幕戦

9.12 岩手県営体育館
［観衆2,800人］

新シリーズも「オー、エイチ、ホーン!!」

オーちゃんとコリノが驚ガクの遭遇!!

当然、この日も新超獣は、狂乱の客席なだれこみ入場! しかもこの日はリングサイドにいたTスポのカメラマンをカナディアン・バックブリーカーで担ぎ上げながら行進してしまった。ん～、プレデタッ!!

仰天!! 新超獣がTスポのカメラマンに傍若無人のカナディアン!!

バンテージでのチョーク攻撃に怒ったオーちゃんが、鼻っ柱にパンチを叩き込むとコリノは場外まで吹っ飛び長々とダウン。ジョーンズがオーちゃんをアルゼンチンに担ぎ上げると、コリノも破壊王を担ごうとするが、それは無理。珍シーン続出のメインは、ウマが合わないガイジンコンビの誤爆同士討ちを誘い、"刈龍怒"から、小川が竜巻谷落としでコリノを沈没させた

★開幕前のスペシャルショット★

開幕戦の前日（9・11）、話題のロウ・キーとジョーンズが調整トレ。見てみ、この身長差! ジョーンズは初めてコシティも振り回した（できない）

ドン荒川さんの試合をこっそりのぞき見る破壊王。笑いを必死に堪えてるところをファンが目撃（笑）

"牛丼17杯食い逃げ"サモアンもお色直し

東スポの一面を飾った"牛丼17杯食い逃げサモアン"こと、サモアン・サベージも8月から連続参戦。今シリーズからペイントをしてお色直しを敢行!

小笠原先生も出陣!!

試合前、ZERO-ONE勢がリング上で練習しているときに、ひとり会場の片隅で、極真空手の呼吸法を繰り返していた小笠原先生も特別参戦。なんと、黒毛和牛太と対戦。自分の型で葬った

9・12岩手で9月シリーズは開幕戦。前日11日は、同じ岩手県下で新日本の大会があり、翌日13日は、その2団体が宮城県下でバッティング。はからずもZERO-ONEと新日本の"9月のみちのく興行戦争"となってしまった。その上、"鋼鉄巨人"ネイサン・ジョーンズが来日前に消息不明となり、新日本の9月シリーズに上がるというキナ臭い噂まで流れていた。

試合前、報道陣に囲まれたジョーンズは「ニュージャパンに9月のシリーズに出てくれというオファーがあったのは事実だ。しかしオレ様はここで闘い、ZERO-ONEを潰す」と明言した。そこにコリノがひょっこり。「キミ、NWAに入らないかい? 歓迎するよ」と言うと、ジョーンズはコリノをフッ飛ばし「2メートル10センチのパートナーを連れてくる。必ずOHを踏み潰す!」と吠え、ツイン・タワーズ結成を示唆した。

こんな、よくできたコントのような一幕もあった舞台裏だが、仁義なき抗争突入か? という緊迫感溢れる舞台裏の局面もあったのだ。

セミの6人タッグに登場した大谷は、組長のタッチも拒否、田中ともしっくり行かず。最後はマイクで「おい、誰も俺についてこなくていい。沖田! 中村! 橋本! おまえら誰も俺の言ったことわかってねぇな! 俺はひとりでやっていく。小川直也も来てるんだってな? 今シリーズ、おまえらみんな気をつけて生活してろよ!」と、フロントの名前まで出しまくって叫んだ。控え室に戻った大谷はさらに大荒れ。「今後のカードを変えなければ、来ねぇゾ!!」と毒づき"ひとり火祭り"ぶりを発揮しまくった。

超満員とはいかなかったが、メインに登場したOH砲は、相変わらずの熱狂的ムードで迎えられ、渦中のジョーンズ&コリノ組という異色中の異色コンビと対戦。オーちゃんが竜巻谷落としでコリノを沈めたところへプレデターがチェーンを持って乱入。ガイジン勢同士の大乱闘にまたまた発展してしまった。

破壊王は試合後、「ジョーンズも腹を決めたんだったら、OH砲にひとりで刃向かうのは難しいだろうから、確固たる自分のパートナーを連れてこい」と言い放ち、大谷の"火祭り革命"については、「コケにされるわけにはいかない。ただワガママ言うだけだったら、いままでのガキ共と変わらない。吐いたツバは飲み込めないゾ」とリングで決着を着けることを表明。マイクで名前を出されたオーちゃんも「俺たちはいまガイジンを相手にしてるんで、大谷ごときに構ってる余裕はない。なにか言うんだったらリングに堂々と上がって来い!!」と返した。

破壊王が「以下、同文!!」と言ったところで会見は打ち切られたが、「日本勢vsガイジン」だけではなく、「ZERO-ONE政権闘争」という図式まで転がり始めた。

また、この日の盛岡の夜の街は"プロレスラー銀座"。ZERO-ONE勢と新日本勢が盛岡中を闊歩していたのだった。

見てみ、この奇跡の3ショット!! オーちゃん、ドン、組長がローカル線に乗って石巻にやって来た!!

（破壊王は遅刻）

見てみ、この奇跡の3ショット! 石巻まで移動する車内の風景。オーちゃんは『LEGEND』生中継時のガファリの真似してピースサイン。組長の横の女性は明らかに避けている

列車はドアを自分でボタンを押して開け閉めする北国タイプのもの。組長はなぜか、睨んでいる。それにしても組長の隣の女性は明らかに、より、避けようとしている態勢だ

前日の試合地・盛岡から新幹線で仙台まで移動。そこから石巻までは単線のローカル線、しかも快速で1時間かかる移動だ。本当は破壊王も乗るはずだったが、当然のように遅刻

故・石森章太郎の故郷ということもあり、石巻の駅前ではサイボーグ009の003が出迎えてくれる。その手厚い歓迎にオーちゃんもイイコイイコだ。んあ〜

石巻駅から会場に向かう途中、高校生に囲まれて、写メール、もしくはDoCoMoの新機種で記念写真を撮られるオーちゃん。ん〜、イシノマキッー

魔界倶楽部に対抗して ひょうきん倶楽部をつくるゾ（破壊王）

ドンとラン

前日に続いてドン荒川も特別参戦。この日、黒毛和牛太に生涯初のラリアットを喰らい（?）フォール負けを喫したドンだが、いつ何時でも元気!「オーちゃん、破壊王、そしてドン荒川が練習している風景を見れるのはZERO-ONEだけです」（少年ジャンプ調）

『～GenesisⅡ～』
第2戦

9.13　宮城・石巻総合体育館
［観衆3,600人（超満員札止め）］

リング上では大谷がOH砲を名指しで〝火祭り革命〟

「石巻にまた来てもいいですかッ!?」（暴走王）

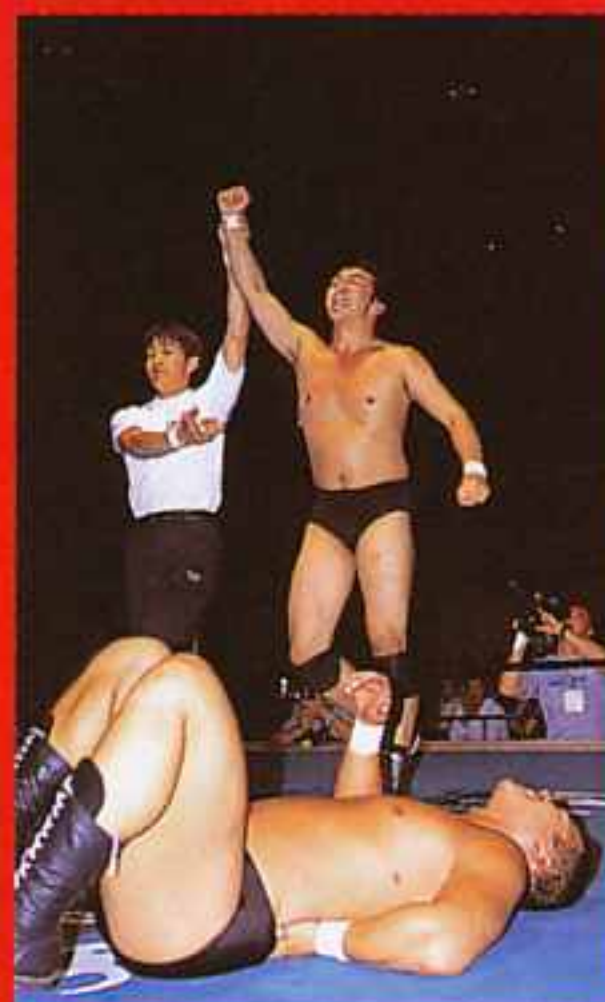
この日シングルで激突した大谷とケイジ・サコダ。試合後大谷は「熱いやつ、見～つけた！」と発言。サコダと組むことを表明

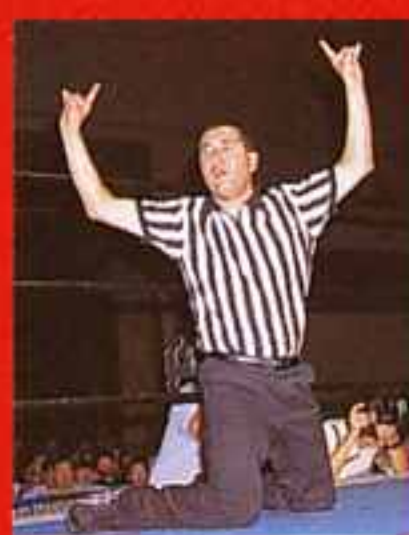
「オオタニィイ!! 俺たちトップをナメんじゃねェゾ!!」

払い腰3連発!!

この日、日本全国が待ち焦がれる“オレごと刈れ!”は、小川がコリノに足をすくわれ阻まれてしまったが、ガイジントリオのコリノ、サモアン、ジョーンズに払い腰3連発を決めたオーちゃん。前日に続きオーちゃんと当たったコリノは、組長をシッシッと追い払うと、なんと「ヒム!」とオーちゃんを指さし挑発。首を傾げながらオーちゃんがリングインすると、当然のように一度も触れずにジョーンズにタッチした。ビバ、コリノ!

★これが噂のロウ・キーだ★

腕になぜか「勉」のタトゥ。スタイルとしては奇想天外な空中殺法をふんだんに使うバス・ルッテン。顔はヴァンダレイ・シウバ似のロウ・キー。初来日にして高評価!

やったぜ!　山笠Z″信介（クドイようですが、ヤマガサ・ジェット・シンスケと読みます）が高橋冬樹を破り、記念すべきプロ入り初勝利!

見てみ、このバランバラン、いや、個性的な花束嬢!　まったく統一感がないところがZERO-ONEらしいというか。ンムフフフフフ

今シリーズ初参戦! レフェリーのニューカマー、Mr.マーティー。フレッドに比べると顔もアクションも地味だが、そのレフェリングぶりは、早くも評価する声が多い

仰天のトリオ・ザ・ガイジン!!

一瞬、なんの演しモノかと思うくらい、まったくバランバランの個性のガイジン3人組。この日はOHG砲（OH砲＋藤原組長）を相手にメインを務めた。そ、それにしても強烈すぎる個性だ

試合前のアップを終えてオーちゃん、破壊王、ドン荒川がリング上で談笑しているのを何気なく見ていた本誌鬼畜編集長に、破壊王がこう語りかけた。

「魔界倶楽部に対抗して、オレたちで剽軽（ひょうきん）倶楽部をつくるゾ!!　総裁は荒川さんや!　どうや?」

――いや、バツグンです!

そういうわけで、9月シリーズの第2戦。新日本と同じ宮城県下でバッティングしたZERO-ONEは、初興行となる石巻で超満員札止めの熱狂的なファンに迎えられた。

メインは「小川直也&橋本真也&藤原喜明vsネイサン・ジョーンズ&スティーブ・コリノ&サモアン・サベージ」という実に風変わりな6人タッグ。

〝牛丼17杯食い逃げ男〟サモアンはゴング前に花束嬢の花束をむしゃむしゃ食い、試合では組長に、WWEのリキシばりのスティンク・フェイスまで繰り出したが、OH砲にはまったく歯が立たない。コリノも当然歯が立たない。そうなると〝イロモノ〟2人はアテにならないとばかりに〝鋼鉄巨人〟が大暴れを開始。

しかし小川が、ジョーンズの突進をカウンターのSTOで切り返し、サモアンに〝刈龍怒〟、続いて〝オレごと刈れ!〟でフィニッシュを狙ったが、驚くことに小川がコリノに足をすくわれ不発。それでもめげずに破壊王がサモアンをDDTで斬って落とした。

OH砲がリング上で勝ち名乗りを受けるそのとき!　大谷晋二郎が姿を現しマイクを持った。

「おい、橋本!　小川、オマエもだ!　俺ひとりで向かっていってやるよ。何を言われてもあきらめねぇぞ。覚悟しとけよ!」と、大谷はトップの座を狙いOH砲に本格的に牙を剥いた。

それに対し破壊王は「大谷よ、俺たちトップをナメんなよ!!　何回でも突き放すぞ!」と返し、カンパツ入れずに「おい、石巻のみんな!　大きな声でご唱和ください。〝オー、エイチ、ホウ〟です。いくぞーーっ!!　オー、エイチ、ホーーッ!!」と大会の最後を強引に気持ちよく締めくくった。いつもはオーちゃんが音頭を取る「オー、エイチ、ホウッ!!」だが、今回は初めて破壊王が音頭を取った。オーちゃんもゴキゲンでホーガンの耳当てポーズ！

控え室に引き揚げた破壊王は「大谷、面白いじゃねえか!　トップを目指すんだったら、いま吐いた言葉を責任を持って遂行してくれ。ただし、俺たちはそびえ立つ壁となって君臨し続ける!!」とNo2の突き上げに対し力で潰す腹を決め、それを横で聞いていた小川は、今年の3月に両国でシングルで闘ってる大谷に対し、「大谷って誰だ!?　オマエのことなんて知らねぇよ!　以上!!」と、オーちゃん流に切って捨てた。

大谷の〝火祭り革命〟はZERO-ONEに何をもたらすのか!?

見るかーーーッ!「オー、エイチ、ホーーッ!!」

『～GenesisⅡ～』第4戦

9.16　ディファ有明
［観衆1,500人（満員）］

大谷〝火祭り革命〟ならず!! 破壊王が返り討ちに!!

小川直也不在の15日長野・駒ケ根大会をはさんだ、3連休最後の日のディファ有明大会。会場にビジョンが設置してあるという豪華さにも関わらず、なぜか地方の会場よりも寂しい7～8割程度の客入りに。集まった観客は、ZERO-ONEをこよなく愛し、お気に入りのガイジンを何人か持っているような〝ゼロ族〟が、かなりの数を占めている。

OH砲を、新日本・ドーム以外の場所で見たことがない東京のファンは気の毒だとは思うが、むしろ、〝東京地方〟の観客数ではOH砲を見せるわけにはいかないのかもしれない。大入り満員で、団体の情報にうといながらも熱い歓声を送る地方大会を見ると、空席のあるディファ有明の様子は非常に奇妙に思えるし、「なぜ、花道の周りが空いているのだろう」と不思議になる。正直、大谷と破壊王の直接対決や、ロウ・キーとスパンキーとの闘いを見せるには、もったいない入りだった。

この日のメインでは〝怖い破壊王〟が〝絶賛火祭り革命中〟の大谷晋二郎を徹底的に叩きのめした。田中将斗と組んで破壊王＆小笠原和彦組と激突した大谷。試合中、パートナー・田中将斗の誤爆から仲間割れを引き起こしたものの、これが望んでいた形だとばかりに独りで小笠原・破壊王へ向かっていく。

田中がリング下で戦況を眺める中、小笠原の正拳突きラッシュでメッタ打ちにされ、なんとか立ち上がるも、直後に破壊王の重たい蹴りをブチ込まれ、DDTでダウン。続けざまに小笠原の飛び蹴り、破壊王のドロップキック、とどめに垂直落下式DDTと〝怒りの破壊王フルコース〟の洗礼を浴びせられてしまった。決着後も破壊王・小笠原の2人からストンピングの嵐を受けるという、〝トップ〟に逆らった者への〝公開リンチ〟のような猛攻を受けながら、それでも立ち上がろうとする大谷の姿を見て、たまらず田中がリングに駆け寄り、大谷を救い出した。「大谷、オマエの気持ちはよくわかった。オレはオマエとやっていく。オマエが、オレの一番最高のパートナーや!!」。

田中に続いて、ケイジ・サコダもリングに上がって大谷を支えた。両側から田中とサコダに支えられて退場する大谷。リング上、マイクを持った破壊王は、何事もなかったかのように「今日は小笠原先生との〝OH砲〟でいきます」と、観客と一緒に「オー、エイチ、ホー!!」ご唱和を行った。

「ZERO-ONEが早くも変革期にさしかかったような気がします。力でのしあがりたいヤツは、のしあがってくればいい。それが、この世界ですから。だけど、橋本真也のカベはそんなに低くないです」と、大谷がいる控室には入らず、ディファ有明の廊下で語った破壊王は「オレを本気にさせよう、怒らせようっていうんだったら、どうぞ。あとは知りません」と、他人事のように語り、「(大谷がいるから)中に入れねぇや。いいや、小笠原先生、オレの控室へ行きましょう」と、コスチューム姿のままディファ有明の別館へと歩き去っていった。

あのロウ・キー王者に

初来日ながら、早くも高い評価を得ているロウ・キー。この日もスタンディング・オベーションもののファイトで、スパンキーからジュニア王座奪取に成功

ああ、オッキーデビュー

8・31『ゼロ中祭り』で、「富豪[2]＆和牛太と踊れる権利」をゲットした2人が踊りながら入場。この日はとうとうオッキーまでがフゴフゴ・サンバに参加!

金村と横井が初の一騎打ち。握手するそぶりの後に突進した金村は、ハードコアファイトで攻めこみ、最後は机の破片ラリアートで横井をフォール!

『～GenesisⅡ～』第5戦

9.18　ビッグパレットふくしま
［観衆3,580人（超満員札止め）］

〝熱闘倶楽部〟大谷軍始動!! OH砲に火祭りストンピング!!

アメリカ軍の勧誘にも気持ちを変えなかったケイジ・サコダが、大谷＆田中のNWA王者タッグと合体。3人が共闘していくことを宣言した

3連休の合間に挟まれた平日、しかも最寄りの郡山の駅からバスで20分かかる、客席段差のないがらんとしたビッグパレットふくしまの展示場。決定的とも言える悪条件にも関わらず、前々日のディファ有明の倍以上の観客が詰めかけ、大勢の立ち見客が会場を埋め尽くした。OH砲に負けないほどの大声援が飛んだ大谷晋二郎が、たまらず観客に向かって叫んだ。

「久しぶりだなぁ、福島ぁ!!」。

前々日、田中とのタッグを復活させ、ケイジ・サコダとの共闘を正式に宣言した大谷は、メイン前に「橋本も小川も、身の回りに気をつけろよ」と不気味に宣言。

メインのOH砲の相手は、ザ・プレデターと〝NWA＆UPW混合タッグ〟を組んだスティーブ・コリノ。「コリノ、イチバーン!!」とシャウトするも、闘いはつねに腰が引け気味という〝いつものコリノ〟に、破壊王は真っ正面から真剣に対峙。「オマエからぶつかって来んかーッ!!」と叫び、コリノの顔を張る破壊王。鼻から流血しながらも、破壊王に向かっていくコリノ。4人入り乱れての乱戦の中、コリノを掴まえたOH砲の〝刈龍怒〟がサク裂!! だが、続けざまに放とうとした〝オレごと刈れ!〟は、小川がプレデターに転倒させられてしまい、不発に。逆にコリノが「オレゴト、カレェー!!」と叫び、OH砲の必殺技をぶっ放した! 必殺技を使われたOH砲はすぐに本家〝オレごと刈れ!〟をコリノに返してマットに沈めたものの、OH砲の勝利を告げるアナウンスよりも早く、大谷＆田中＆サコダがリングに乱入!! OH砲のふたりにストンピングを放った大谷がマイクで叫んだ!!

「オイオイ、小川直也さんよ、いつまでシカトぶっこいてるつもりだよ!? 橋本真也よ、だらしねぇ試合してんじゃねぇぞオラ!!」。観客の反応は「ふざけんな、大谷!」と「よく言った、大谷!」の両極端。小川は「上等だ。どっちが上か、ハッキリさせようじゃねぇか」と、殺気をみなぎらせた。OH砲と大谷＆田中組、直接対決はすぐそこか!?

【ZERO-ONE10月シリーズへ、つづく──】

9月22日静岡県川根町大会が最終戦ですが、締め切りに間に合いませんでした。だめだ、コリャ。

プロレスラー・格闘家なら誰もが夢見る!?

全日本プロレスから
全日本キックへ……

パンクラスリングアナが語る

マット界を縦横無尽
実録! 豪傑一代記
紙のプロレス
フロント列伝

全日本LOVE論。

キミは宮田リングアナを知っているか? 旗揚げからパンクラスのリングアナとして活躍している宮田氏は、本誌がパンクラスから取材拒否を受けている最中も熱心に購読していたほどの『紙フロ』ファンだと小耳にはさみ、話を聞くと筋金入りのプロレスファン上がりということが発覚! 現在、全日本キックの興行部長も務める宮田氏に小林聡の活躍で注目を集める全日本キックの話から、知られざる全日本プロレス社員時代の秘蔵話まで本邦初公開!

全日本キック興行部長&
パンクラスリングアナ
宮田 充

聞き手／大坪ケムタ
助手／松澤チョロ
designed by matsu (Two three)

『～GenesisⅡ～』
第4戦
9.16 ディファ有明
［観衆1,500人（満員）］

大谷
破壊

小川直也不
はさんだ
明大会。会場に
う豪華さにも間
りも寂しい7く
た観客は、ZE
お気に入りのガ
な"ゼロ族"が
OH砲を、新
たことがない東
が、むしろ"東
を見せるわけに
入り満員で、田
い歓声を送る地
ディファ有明の
「なぜ、花道の
不思議になる。
決や、ロウ・キ
るには、もった
この日のメイ
賛火祭り革命中
きのめした。田
原和彦組と激突
ー・田中将斗の
したものの、こ
独りで小笠原・
田中がリング
の正拳突きラッ
とか立ち上がる
りをブチ込まれ

——突然ですけど、宮田さんは熱心な『紙プロ』読者と聞いたんですが、本当なんでしょうか?

宮田 僕は『紙プロ』は昔っから読んでますから! ヒマさえあれば2年ぐらい前の引っ張り出して読んでますよ。それにパンクラスから取材拒否されてた時も読んでましたからね（笑）。

——あ、そうなんですか（笑）。

宮田 そりゃあこれだけ書けば仕方ないだろと思ってましたからねぇ（笑）。もう随所にというか、紙の新聞とか小さい所にまで悪意がありましたから（笑）。

——そこまでチェックしてましたか（笑）

宮田 あと最近『紙プロ』はゼロワンをプッシュしてますけど、僕はゼロ中（ゼロワン中毒）なんですよ。だからインタビューとか楽しみにしてますよ!

——パンクラスのリングアナがゼロ中（笑）。この間のゼロ中祭りにも行かれてたんですか?

宮田 もちろんですよ! ホント、ゼロワンは最高ですよねぇ。

——ちなみに誰のファンですか?

宮田 ゼロワンにも出てますけど、僕、金村（キンタロー）が好きなんですよ! ゼロ中祭りの時はひな段で見てたんで目の前でブリブラダンスが見れるかと思ったら、逆側から出てきて……ホントは一緒に踊りたかったんですけどねぇ。

——金村さんがコールしたいプロレスラーナンバー1とか?（笑）。

宮田 いや、一番好きなのは大谷晋二郎です!（キッパリ）。

——熱い男が好きなんですね（笑）。さて宮田さんといえば、『紙プロ』的にはパンクラスのリングアナという顔が最も知られてると思うんですが、元々は全日本キックの広報なんですよね。

宮田 いや、いまは広報は別にいるんですけど、自分は興行部長って形でマッチメイクとかやってるんですよ。

——パンクラスのリングアナとして関わることになったきっかけっていうのは?

宮田 僕は藤原組の旗揚げからリングアナをやってるんですよ。昔、芝浦のゴールドで毎週金曜にムエタイをやってたんですよね。そこに全日本キックの選手を出してる関係で毎週顔出してたんですけど、そこで藤原組長と顔見知りになったんですよ。それで、今度団体興すことになってレフェリーは（ミスター）空中さんとかいるけど、リングアナがいないって相談されたんですね。

——当時は、いまほどポンポン団体がなかった時代ですからね。

宮田 それで「キックのリングアナはどんな人なの?」って聞かれて、当時はベテランで年輩の方がやられてたんですけど、旗揚げでやるんだったら若いのがいいって言われてたんで、それで「僕、全日本プロレスにいた時にちょっとやってた時期があって」ってウソついて（笑）。

——アハハハハ!

宮田 そしたら（組長口調で）「ほ、ほ、ホントか! じゃあ任せていいか!」と頼まれて、「僕に出来ることでしたら」って感じで（笑）。まあ飲みながらの話だったんですけどね。

経験ないのにウソついて藤原組のリングアナやらせてもらってました（笑）

LOVE論。

——全日本時代はウソにしても、全日本キックではリングアナの経験はあったんですよね?

宮田 いや、それが全然（笑）。

——他人のリングで素人がデビューしちゃいけませんよ（笑）

宮田 ですよね（笑）。そ～れで旗揚げ戦で凄い緊張しちゃって。そしたらまず度胸付けるために酒飲んだ方がいいって藤原さんに飲まされて、その後に北星ジムの玉城会長も来て「飲んだ方がいいよ」ってまた飲まされて（笑）。

——藤原イズムの基本ですねぇ（笑）。

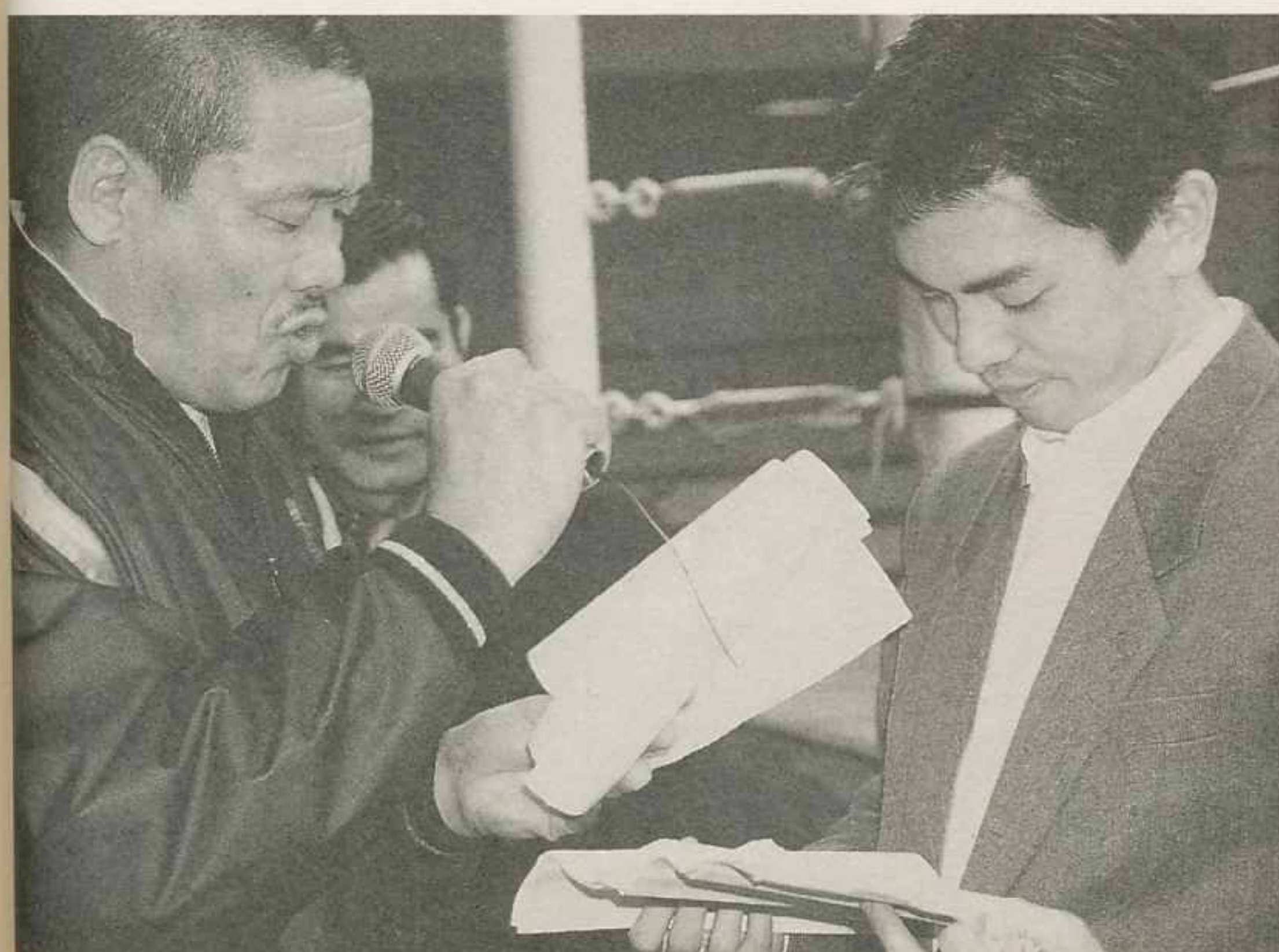
宮田 でも僕、日本酒ダメなもんで、モドしちゃって弱ったなぁって思いつつも何とかなるかなと上がったんですけど、所詮初めてなんでリング上がっただけでどうにもなんなかったッスね（笑）。今の団体の旗揚げだったら叩かれると思いますよ。でも当時は団体の旗揚げって、温かい目で見てくれましたから。UWFが分裂して最初かUインターの次くらいでしたし。コールの仕方も、結局客入れ前に藤原さんに教えてもらったんですよね～。それで「お前ホントはやったことネェだろ!」ってツッコまれたんですけど「いえいえ、やっぱり全日本とちょっと違いますねぇ」とかゴマかして（笑）。

——それもまた無茶なゴマかし方ですね（笑）。でもその後も組長は継続して使ってくれたわけですよね。

宮田 藤原さんってあの通り優しい方じゃないですか。一回で切られるかなぁって思ったら、2年弱やらせてもらって。プロレスだったら巡業で覚えていけますけど、やっぱり興行数も少ないし、いま考えるとよく使ってくれましたよね。

——あと藤原組時代というと、いまや『PRIDE』の顔の島田（裕二）レフェリーやブッカーK（川崎浩市）とも一緒に仕事をしてたって話ですが。

宮田 その2人とはだいぶ差が付いちゃいましたけどね（笑）。まあ、こっちはリングアナって行ってその日だけのバイトみたいなもんですからねぇ、あんまり深く関わることはなかったですよ。川崎さんはフロント業務ですから、あんま飲んだりとかっていう接点はなかったし、島田さんも藤原組時代は空中さんのボーヤみたいな感じでしたしね。でも変な話ですけど、空中さんがああいう形で亡くなって、自分でやらなきゃならないって風にならなかったらまた違ってたんでしょうね。いまは島田さんは、ある意味、マット界を牛耳ってますも

【みやた・みつる】昭和43年3月6日、熊本県出身。リングアナウンサーとしての初コールは平成3年3月4日、後楽園ホールでの藤原組旗揚げ戦、冨宅祐輔（現・飛駆）vsウェリントン・ウイルキンス・ジュニア戦。全日本プロレス時代は三沢にキャバクラを奢ってもらったり、冬木と一緒に海に泊まりに行ったりしつつ、タイガー・ジェット・シンには暴行されたりと波瀾万丈な日々を過ごす。現在、自称"ゼロ中"

藤原組時代、組長からリングアナの講習を受ける宮田氏。未経験で始めたリングアナ稼業だが、藤原組、全日本キック、そしてパンクラスとキャリアを積み、いまや石井館長公認（?）日本格闘技界を代表するリングアナに

プロレスラー・格闘家なら誰もが夢見る!?

マット界を縦横無尽
実録！豪傑一代記
紙のプロレス
フロント列伝

んねぇ（笑）。

―パンクラスともいろいろとありましたしね（笑）。それじゃあ全日本キックでもリングアナをやり始めたのは藤原組以降になるんですか？

宮田　そうですね。藤原組やりだしてからは3回戦からやってみるかと。キックの方もその頃ちょうど盛り上がってきて、それまで（ロブ・）カーマンだったりドン中矢（ニールセン）だったり、モーリス（・スミス）だったり、それまでずっと外人エースで来たのが、当時、立嶋（篤史）や前田（憲作）といった日本人の新しいエースが出てきたんですよね。それで盛り上がっていって、立嶋・前田がメインで、モーリスvs船木（誠勝）なんて試合も組めましたし。

―ありましたね。そういえば、全日本キックのリングで幻のモーリスvs髙田戦（※90・6・30全日本キック武道館大会で、当時、雑誌を通じてモーリスへの挑戦を表明していた髙田に対して、全日本キックはモーリスの相手に髙田を指名するも、UWF側は「正式な話は何も聞いていない」とコメント。当然、髙田は武道館には現れず。会場では一方的に10カウントが鳴らされ髙田の不戦敗が発表されるという不可解な事件）なんていうのもありましたよね？

宮田　ありましたねぇ。あの時は、まだ入ったばかりでよくわかんなかったんですよ。ただ、僕はパンフを作ってて髙田さんの写真を入れながら「来るわけないだろうな」って思ってましたけど（笑）。

―パンフレットには髙田さんの写真出てましたからね。

宮田　ホント、あれはなんだったんですかね？　上の人たちが仕掛けようとしてたのか、ちょうど武道館が決まってたんで乗ってくれれば儲けものって思ってやったのかはわかんないですけど（苦笑）。

―ホント謎ですよねぇ。まあ、その後、K―1の盛り上がりもあってプロレスファンも徐々にキックに目を向けるようになってくるわけですけど、現在のパンクラスと宮田さんの関わりは藤原組からそのままって感じなんですか？

宮田　藤原組の後期に船木選手達が辞めちゃったじゃないですか。あの時どうなるんだろうなぁって思ってたら、ちょうどメガネスーパーが離れてスポンサーも変わっちゃったんですよね。それと一緒に僕も切られちゃったんですよ。やっぱりメガネはギャラも良かったから、経費節減になっちゃったんでしょうね。

―ちなみに藤原組時代はギャラはどれぐらいもらってたんですか？

宮田　あの頃は一大会で一本（※業界用語で10万円）もらってましたからね。ホント凄かったですよ。

―一本！　それは凄いですよね。しかもリングアナとしては素人時代に（笑）。

宮田　ですよねぇ（苦笑）。でもまぁキックの方があったんで、まあこういう状況じゃ仕方ないかなって。それでしばらくして高橋選手とメシ食った時に、「今度またやれるんで是非」と声かけてもらったんですよ。それがパンクラスだったんですね。

―選手とは結構仲良かったんですか？

宮田　僕が43年の早生まれなんで学年はひとつ上なんですけど、パンクラスって43年生まれが多いんですよね。髙橋（義生）君だったり、船木さん、鈴木選手、冨宅選手もそうなんで。そういう意味では凄く違和感なくというか……ただ船木選手だけは最後までうち解けられなかったですね（笑）。

平成5年9月21日のパンクラス旗揚げ戦からリングアナを務めている宮田氏。船木とは藤原組からの長い付き合いとなるが、いまだにうち解けられないという。

―あ、やっぱり（笑）。

宮田　船木さんは15歳くらいでパァーっと出てきて、あの時に「ウワァー！」って思って見てたんで、どうしてもアガっちゃうんですよね。でもやっぱり、みのる選手や髙橋選手らと船木さんはちょっと違いますよね。突然変なこと言うし。

―変なことって、例えば？

宮田　リングアナやって「わりと今日はスムーズに出来たなぁ」って思って着替えてると「今日2回トチりましたね」って言ってくるんですよ、それも真顔で（笑）。トチった時は自分で「アチャー」ってなるから覚えてるんですけど、トチってない時に「エッ!?　ありました？」って聞くと「ええ、確かに2回」とか言ってくるんですよ（笑）。

―なんとなく想像つきますね（笑）。

宮田　それで「すいません」って言うと「いえいえ、それを注意してるんじゃないんですが」って感じで。じゃあ何だよって話なんですけど（笑）

―せっかく人がいい気分の時に（笑）。

宮田　でもまぁ、一般的に見て変わってるなって人がスターになれるんだなと思いますよ。キックでも多少名を為したヤツ、例えば立嶋も前田も魔裟斗もやっぱり変わってますからね。土屋（ジョー）なんて、どこにでも赤着ていくぐらい赤好きですからね（笑）

―そうなんですか（笑）。ではリングアナの話はちょっと置いといて、全日本キックに入るまでの話をお聞きしたいんですが？

宮田　僕は元々プロレスファンなんですよね。小さい頃から全日本が好きで。

―プロレスも全日本が好きだったと？

宮田　そうなんですよ（笑）。それで、ちゃんと自分で行ったのは中学入った頃で、リッキー・スティムボードとジミー・スヌーカが試合したり、巌流島の対決やってる頃で。それで僕が高校一年の年の最強タッグで、横須賀でハンセン＆ブロディ組とシン＆上田組がやったんですよ。これはヤバいだろうと、当時葛飾に住んでたんですけど、わざわざ横須賀まで見に行ったんですよ。

高校に通いながら全日本プロレスでバイトをする宮田氏（写真中央下）。よく見ると和田京平レフェリーの他に、福田明彦（現・NOAH）＆海野宏之（現・新日本）レフェリーの顔も。

絶対凄い試合になると思って行ったら、何のことはない黒三角の両リンで（笑）。

―黒三角の両リン（笑）。

宮田　いまはわかるんですけどね。そうじゃないと決勝の蔵前がまとまらないですから（笑）。

―典型的な当時の流れですね（笑）。

宮田　その時バカだから友達と会場に昼ぐらいから行ってたん

『～GenesisⅡ～』
第4戦
9.16 ディファ有明
[観衆1,500人(満員)]

ですよ、指定券持ってるのに。それで開場待ってたら、リング屋の人が「手伝ってくんない？」と開場前に入れてもらってポスター巻きを手伝ったんですよ。それでポスターもらって、「お前ら高校生？　帰りも良かったらTシャツあげるからリング片付け手伝ってくれない？」って言われて、それで試合後も手伝って、Tシャツもらって。

——業界初体験ですね。

宮田　でも終わったら、もう10時過ぎだったんですよ。それでもう帰れなくなっちゃって。そしたら「あれ、お前ら地元じゃないの？」って驚かれて、ちょうどリング屋さんの車庫が足立区で「じゃあ乗っけてやるよ」って連れてってもらって。それで車の中で「明日は？」って聞かれて、いいや学校さぼっちゃえって蔵前行って、それからレギュラーで入るようになったんです。

——リングアナはやってないけどリング屋はやってたと（笑）。

宮田　そうなんですよ（笑）。やっぱり15～6歳なんで可愛がってもらえるじゃないですか、だから学校行かなくなっちゃいましたね。卒業はギリギリなんとかできたんですけど、巡業とかあるから、試験の日に岡山にいたとか（笑）。ちょうど長州が来たりして面白くなってきた所だったんですよね。年間100まで行かないですけど……かなりついて行ってましたね。

——高校時代に100大会って、かなり凄いですよね（笑）。

宮田　ですよね（笑）。それで結局全日本プロレスに入れてもらったんですよ。卒業して就職という感じでね。最初はあの頃ファンクラブを立ち上げたばっかりだったんで、その関係とかパンフレットで最強タッグ参加8チームの抱負とか書いてましたね。鶴見五郎＆モンゴリアン組の抱負とか（笑）。

——アハハハ！　そのパンフは是非発掘したいですね（笑）。

宮田「俺たちのペースに引きずり込んだらこっちのもんだ！」とか。ペースって両リンってことなんですけどね（笑）。

——アハハハハ！

宮田　長州さんのコメントは長州語で書いたりとか、ファン上がりなんで大体言いそうなことわかるじゃないですか……もう時効ですよね？（笑）。

——たぶん大丈夫でしょう（笑）。じゃあもう巡業とか付いていかなくなって。

宮田　そうですね。でもまたリング屋についた時にちょっと、いろいろあって……辞めちゃったんですよね。

——理由はなんだったんですか？

宮田　……（急に固まる）。

——突然固まりますね（笑）

宮田　それがねぇ……元子さんの逆鱗に触れまして（苦笑）。

——元子さんが原因ですか（笑）。

宮田　そうなんですよ。たしか福岡かどこかでコレが終わったら東京帰れるって時に、当時の彼女からホテルに手紙が来たんですよ。それ見られちゃって……そういうのダメらしいんですよ。（元子さん口調で）「宮田クン、これどういうこと？（仲田）龍クン説明して！」って言われて、皆、あ～やっちゃったぞって顔してるんですよ。それで（再び元子さん口調で）「帰りなさい、東京に。福岡から東京までの旅費いくらかかるの？」って（苦笑）。

——それで強制送還、と（笑）。

宮田　はい（笑）。自分の中では、まだ若かったし「こんなことで言われたかないよ！」って思っちゃったんですよね。謝っちゃった方がいいじゃないですか、でも子供だから空気が読めなくて（笑）。「仕事で旅に来てるのに、女の子から手紙もらって何考えてんのよ、アンタは」っていう感じで。ユルんでたのかなぁって部分もあったと思うんですけどね。

——それで全日本退社、と。

宮田　それで、ちょうどその時期、カーマンとかモーリスが出てきて全日本キックが盛り上がってきたんですよね。それで『東スポ』のチケットプレゼントとか応募したら外れたんですけどDMが来るようになって。その中で社員募集ってのがあったんですよ。まぁ全日本って名前には愛着あったんで（笑）

——アハハハ。名前には（笑）。

宮田　プロレスはもう無理だろうから、じゃあこっちにと。カーマンとか話したり出来るのかなぁとか、それぐらいの気持ちでしたけど（笑）。そしたら佐竹が上がったりとか、ピーター・スミットが出たりして武道館でバンバンやれた時期でしたし、実際、結構盛り上がってきて。

——入った当初はどういった仕事をしてたんですか？

宮田　最初はプロレスから来たんで、「パンフレットやってみる？」とか「広報やってみる？」とか言われてやってて。当時はUWFみたいなのマネすればいいのかなぁとか。それで途中からリングアナもやり始めて。そしたらある日突然倒産しちゃいまして（苦笑）。

——97年でしたっけ？　一度倒産しちゃいましたからね。

宮田　アレはびっくりしましたねぇ……。10月1日に1回目の不渡りで、翌日2回目が出て倒産したんですけど、その直前の9月28日に興行やってるんですよね。立嶋が第一試合で前田がメインとかだったんですけど、その日は札止めだったんですよ（笑）。

——札止めした直後に！（笑）。

宮田　そうなんですよ。その売り上げはどこに行ったんだって（笑）。どっかジムに行った帰りに会社がトンだって電話があったんですけど、最初聞いた時はピンと来なかったですからね。

——何かしら潰れそうな予感はなかったんですか？

宮田　ありましたねぇ。いつもと違う方々からの電話がにわかに増えてきてたんですよ（苦笑）。

LOVE論。

なんと、年間100大会近く観戦していたというプロレス小僧時代の宮田氏と前ＧＨＣ王者の小川良成のツーショット。２人とも笑顔が初々しい。

あと、まあ色々と……。

——いつもと違う電話ですか（笑）。

宮田　コワモテの人は選手とか会場で見慣れてるんですけど。

——アハハハ！　たしかにキック業界にいるとコワモテ慣れはするでしょうけどね（笑）。

宮田　そうなんですけどね（笑）。でも整理屋とかしょっちゅう来るし、怖くていられないですよ。それに倒産とかなると退職金どころじゃないし……まあ、その前にボーナスももらったことないんですけどね（苦笑）。

——まあ、この業界はボーナス出るところの方が少ないでしょうけどね。

宮田　やっぱり「客入ってないでしょ？」って言われたら何も文句言えないですからね（苦笑）。客が入ったら選手に還元したいし。でも、こういう仕事は面白いですよね、飽きがなくて。

——その分スリル満点すぎる気もしますけど（笑）。

宮田　ありすぎですけどね（笑）。

——それで倒産っていうと、やっぱり荒井社長を思いだしちゃうんですが。

宮田　あの水元公園（遺体発見現場）って僕が子供の頃遊んでたんですよ、実家が葛飾なんで。あそこでかぁ、と……。僕は接点なかったんですけど、読みたくなかったんですよね。でも『紙プロ』の吉田豪さんの書評は毎回読んでるんで、「まぁ書評ぐらいはいいか」と読んでみて、あぁこういう本かと。それでこの前、古本屋で見つけて読んだんですけどね……哀しいッスよねぇ。

——読んでみての感想は？

プロレスラー・格闘家なら誰もが夢見る!?

宮田　ホントに……マジメですよね。真面目にかぶっちゃったんでしょうねぇ。もう一人気楽な相棒がいて、コンビだったら良かったんでしょうけど。

——そうかもしれませんね。

宮田　その点ウチの社長は凄いですよ。取り立てに来た人から広告取っちゃいますから（笑）。

——アハハハハ！　倒れてもタダでは起きないと（笑）。

宮田　タフさでは金田社長の右に出る人はいないって！

——なんで急に越中口調になるんですか（笑）。

宮田　好きなもんで（笑）。まぁでもウチの社長は、あまり表に出ないですけどね……ってあんまり言い過ぎると（大日本の）登坂さんみたいになっちゃうかな（笑）。

——アハハハ！　で、全日本キック倒産後はパンクラスのリングアナだけですか？

宮田　尾崎社長は変わらず仕事くださってありがたかったですねぇ。でもやっぱり、それだけじゃ食えないんで、その間はアメ横の魚屋で働いてたんですよ。高校の時そこでバイトしてたんで、その続きで（笑）。格闘技のリングアナとかフロントの仕事ってそうないじゃないですか。

——まあ、そうでしょうね。

宮田「ないじゃないですか」って、まともに探さなかったんですけど（笑）。それまでずっとデスクワークだったんで、肉体労働の方がよく眠れるかなって。

——苦労してますねぇ。

宮田　そしたら石井館長が心配してるって話を聞いて、そのうち「リングアナやんない？」って話が来たんですよ。倒産した後に新空手の大会で会った時に「ダメだよ～、魚屋なんてやってちゃ！」っていきなり言われて、「何で知ってんだ！」って驚いたんですけどね（笑）。

——それは驚きますよね。

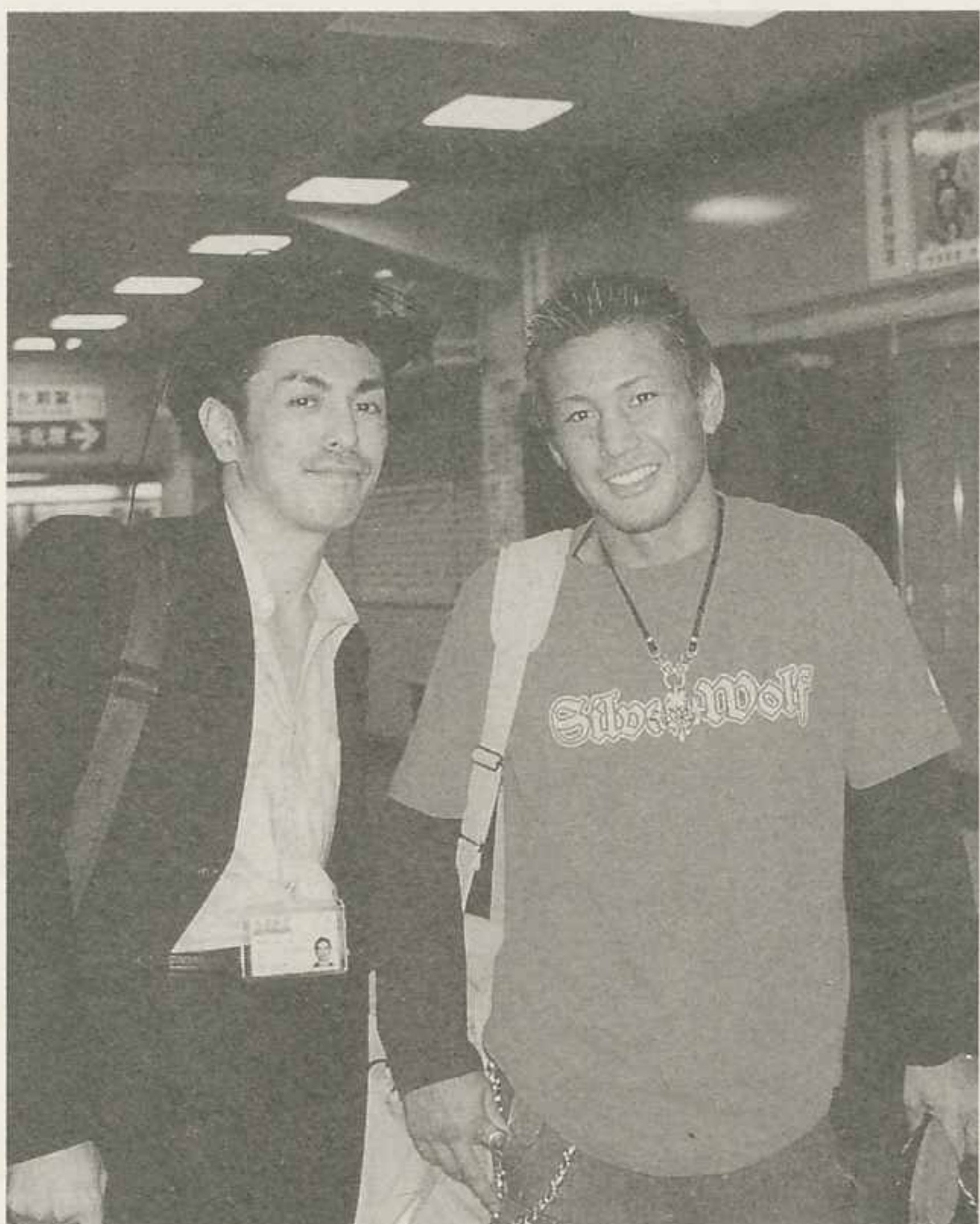
宮田　それで「いや僕ね、一回キミにリングアナやって欲しかったんだよ！」って声かけられて、「魚屋なんで、ちょっと声潰れる日もありますけど」ってお受けしたんですよね。それで横アリのモーリスの試合に呼んでもらって……確か佐竹とやった時に「モーリスはもともと全日本の選手だから」って。それで何回か。

——ちゃんとリングアナまでチェックしてたんですね、館長は。

宮田　石井館長なんて、全日本時代は黒崎（健時）さんとか真樹日佐夫さんと同様に「お疲れさまです！」と頭下げる人って感じだったんだけど、ちゃんと見ていただいてたんだなぁと。その後、K－1がナゴヤドームでやった時も話が来て、その時、新日本の田中リングアナも来てたんですよ。そしたら石井館長が「今日はプロレス界で一番上手いリングアナと格闘技界で一番上手いリングアナが揃った！　僕はいつかこの二人を共演させたかったんだよ」って言ってくれたのは感動しましたね。

——それは感動するでしょうね。田中リングアナとは何か接点はあるんですか？

宮田　キャリアは全然上ですよね。僕はあの人のマネしてるというか、意識はずっとしてたんで、その話させてもらって。まあ、さすがに衣装まではマネできないですけど（笑）。

——衣装はマネしない方がいいと思います（笑）。あと、その頃の話題でパンクラスと全日本キックというと、リングス前田vs髙橋の決着の場所として全日本キックの会場を指定しましたよね。

宮田　あぁ、ありましたねぇ！　でも、あの話題が出た後にウチは倒産しちゃったんですよ。だから尾崎社長が提示した10～12月の3興行は全部中止になっちゃったんです（苦笑）。

——もし、両者が合意しても大会自体が開催できなかったわけですね（笑）。

宮田　そうなんですよ（笑）。でもウチは前田さんとも付き合いあったんですけどね。リングスにタイ人のトレーナーとか紹介して、長井（満也）君もウチでキックルールやったりしましたからね。

——全日本キックの場は、やっぱり宮田さんルートで紹介したんですか？

宮田　いや、あれはたぶん上の人と尾崎社長が話し合って決まったんだと思います。

——あの時は宮田さん的にはやっぱり心情はパンクラス寄りだったわけですか？

宮田　う～ん、単純に前田日明って面白いんでファンだったんですけどねぇ。蔵前で写真撮ってましたから（笑）。でも実際あの時って、やるって雰囲気なかったじゃないですか。本気でやるとは思わなかったですからね。

——現場はそんな雰囲気だったんですねぇ。ともかく倒産後、バイト生活から全日本キックを再び立ち上げることになったのはどういう過程なんですか？

宮田　ウチは加盟ジムって形を取ってるんで、傘下のジムがスポンサーを探してとりあえず暫定的に興行を再開したんです。それに小林聡っているじゃないですか。彼はオランダに行ったりして、エースになるだけのモノを感じさせてたんですよね。それを散々口説いて戻ってきたのが9月の興行だったんですよ。そしたらその4日後に倒産しちゃって、最悪ですよね（笑）。

——未来が見えた瞬間、ってタイミング悪いですねぇ（苦笑）。

宮田　それで、小林をどうしようどうしようって迷ったあげく、やっぱりこういう時は藤原（敏男）先生かなー、と。『紙プロ』でもお馴染みの（笑）。あの人の顔なら絶対試合は出来るからってお願いに行って。それに何だかんだ、立嶋だったり土屋だったり選手はいたし、まだあの頃は2か3団体くらいで、いまほどグチャグチャになってなかったですからね。

——いまはプロレス界と一緒でキック界も団体は多いですからね。まぁ、それでなんとかメドは

マット界を縦横無尽
実録！　豪傑一代記
紙のプロレス
フロント列伝

実は魔裟斗って名前、僕が付けたんですよ。最初会った時は、どう見てもゴロツキでしたけど（笑）

全日本

『～GenesisⅡ～』第4戦
9.16 ディファ有明
[観衆1,500人（満員）]

ついたと？

宮田　何とか年明けには興行打てるってんで、魚屋を一旦辞めて（笑）。それで立嶋が3月に試合やるって言うから、立嶋と相談してじゃあチケットの先行発売を僕がバイトしてた魚屋でやろうって話になって（笑）。

——それは画期的ですね（笑）。

宮田　アメ横の入り口側のお店なんですよ。絶対目立つ場所なんで、来るかなーと思ったら80人ぐらい来ましたからねぇ。

——やってることは二丁目劇場と変わらないんですね（笑）

宮田　そうですね（笑）。でも、その時から感覚変わりましたよね。興行というのを深く考えるようになって。どんなことしてでも払う金ともらう金を廻していかないと、やっぱり皆がメシ食えないんで。きれい事言いつつ、大きなハコでやるのがプロの商売だと思いますよ。

——倒産後から、そういった経営的な部分も関わるようになったんですか？

宮田　90年1月に入って97年まではずっと僕が一番下だったんですよ。とにかく後輩が一人も入らない。そしたら倒産で代表との間の6人ぐらいがスコンと抜けて、キャプテンとリーダーみたいになっちゃって（苦笑）。でも、それでも興行って出来るじゃないですか。後楽園にお金払って要所要所に人がいれば。それに広報という情報を伝えるノウハウと興行のノウハウがあったから良かったですよ。あと、すぐに魔裟斗が伸びてきたのもラッキーでしたけど。

——魔裟斗さんも、いまやスターになっちゃいましたからね。

宮田　ですよねぇ。実は魔裟斗って名前、僕が付けたんですよ。

——エッ!?　あのヤンキーチックな名前は宮田さんが付けたんですか！

宮田　そうなんですよ。藤ジムの加藤さんって元極真の凄い人がいるんですけど、今度入った新人のことを「最初はこりゃとんでもない悪ガキが来たなーって思ったんだけど、いい目してんだよ」って言ってて。それで実際プロテストで見たらどう見てもゴロツキなんですよ（笑）。ブツブツ「帰りたい」とか「やりたくて来たわけじゃない」とか言ってて（笑）。

——不良というか、ただのダダっ子ですね（笑）

宮田　彼って元々ボクシングやってたんですよね。キックのグローブって試合用は6オンスか8オンスだけど、テストの時は18オンスとかで手首も固定してないからそれほどインパクトないんです。それが綺麗な右ストレート打って相手ブッ倒しちゃったんで。プロテストでそんなことメッタにないですよ。いままでに2回ぐらいしか見たことないですから。

——もう素質は化け物だと？

宮田　「うわっ、コイツは凄いわ！」って思って、プロデビューの時の名前はカタカナで来たんだけど、ベタかもしれないけどスプレーの落書きみたいな名前で元暴走族ってのは途中までは売りになるかなって思って付けたんですよ。

——本人はどう思ってたんですかね？

宮田　最初は嫌がってましたねぇ。でも納得させて、そしたらたまたまダウンタウンの松本さんがデビュー戦を見に来てて、『ガキの使い』で「この前ねぇ魔裟斗ってヤツを見て」「それが何？」「いや、そいつだけ○○×男とかじゃなくて魔裟斗やねん！わからんかなあ～」ってネタにしてたんですよ。それ見て、やった届いた届いたって（笑）。

——その魔裟斗さんが、いま浜ちゃんとテレビで共演してるっていうのも運命ですかね（笑）。

宮田　ですよね。それで、魔裟斗が倒産後も引っ張っていくかなぁと思ったら本当にお客さんがついてきた。あれから軌道に乗ったッスよね。それに土屋ジョーだったり立嶋もまだ元気で、小林もいて……でも魔裟斗辞めちゃったしなぁ（遠い目）。

——でも、いまだに名前変えないってのは結構気に入ってるんじゃないですか？

宮田　どうなんですかねぇ？　でもアイツは凄いですよ。ホント練習しますもん。本当に凄かったですよ。まだまだ、まだまだってやりますから。あんなマジメな選手いないですからね。

——デカイこと言ってるだけはあると。同じく全日本キックで活躍してた小比類巻選手はどうですか？

宮田　素質は全然、小比類巻の方があると思いますよ。魔裟斗より体格的には恵まれてるじゃないですか。だから同じことやったらコヒの方が伸びるんでしょうけど。でもこれから魔裟斗の生き方に影響を受けた子が格闘技を始めるわけだから……怖いですよねぇ。ウチも楽しみなヤツはゴロゴロいるんですけど、なかなかあの領域までは……。

——出てきませんか、流石に。

宮田　でもね、ウチにも和製ストーンコールドがいるんですよ。鈴木ミツルって選手なんですけどリングネームを「Suzuki3:26」にして……まあそれだけの話なんですけど（笑）。

——あ、それだけですか（笑）。

宮田　一応、Tシャツも「What?」に引っかけて、ブタの鼻のマークをあしらった「Fat?」マークにして。なんか女子プロの選手にもいるらしいですけどね。

——あぁ、広田さくらですね。

宮田　あとデンジャー高山って1勝11敗くらいの選手がいるんですけど、僕が名前つけたのは魔裟斗とその2人ですね。アイツから一緒にしないで下さいって言われそうだけど（笑）。

——でも、魔裟斗さんが出たK－1の中量級は1回戦の村浜戦からいい試合でしたよね。

宮田　村浜選手はね～、いい選手だと思うんだけど、昔『格通』で、まだアマ時代の彼が当時ウチにいた立嶋とか前田を挑発してたじゃないですか。

——あぁ、ありましたねぇ。

宮田　そういう煽るような記事書いてた朝岡さんには当時かなり、むかつきましたねぇ。

——エッ!?　前『格通』編集長の朝岡さんにですか？

宮田　あの時は本気でファック・ユーって思ってましたから。キックのエースにアマチュアを噛みつかせるなって！　これ書いていいですよ！

——わかりました（笑）。で、全日本キックでは、小林選手も次が勝負なんですけど（このインタビューは小林聡のムエタイ・ルンピニーJライト級王者・サムゴー戦挑戦直前に行った）。

宮田　ホント、大勝負ですよ。ただ、結構ウチも人辞めるんですよ、新日本プロレスみたいに（笑）。プロレス的じゃないですけど、わりと去る者は追わずみたいな感じでやってきたんで。その中でムエタイ王者とバチバチやれる選手が出てきたってことが驚きですから。立嶋・前田も頑張ってましたけど、やっぱり小林がやったことは凄いですよ。

——それだけの勝算のある選手をやっと育てられたと？

宮田　そうですね、小林は前にチャンピオンをド突き合いでKOしてるし、やっぱりマッチメイクしたら後楽園いっぱいに埋められる選手なんで。それに小林の試合は絶対面白いんで『紙プロ』読者も一度観に来て欲しいですね。と、一応宣伝もしてお

LOVE論。

藤原先生の所に行ってた
山本選手にはキックの
試合に出てもらいたい

プロレスラー・格闘家なら誰もが夢見る!?

きます（笑）。
――興行部長ですからね（笑）。
宮田　はい（笑）。とにかくタイ人を倒したいって小林のこだわりは通してあげたいんで。でもタイ人も研究して、ギリギリまで減量して乗り込んでくるらしいし、これまでもタイ人は何人も来てますけど、今度のサムゴーってホント半端じゃないですから。負ける時はあっけないかもしれないですけどね……。
――倒産の時からのエース候補ですから、なんとか勝ってもらいたいですけどね（残念ながら小林対サムゴー戦は3R2分10秒KOで小林選手の完敗に終わった……）。あと全日本キックという長井選手や柳澤選手がキックルールで試合してますけど、最近誰かキックルールで見たいなって思うプロレスラーはいます？
宮田　そうですねぇ。やはり藤原先生の所に行ってた山本（憲尚）選手に出て欲しいですよね！　面識ないんですけど（苦笑）。
――ヤマノリさんですか。
宮田　血反吐・血便・血尿で（笑）練習してたらしいじゃないですか。『紙プロ』のインタビュー読んで、この人こそやるべきかなぁと。やっぱりなんか克服したくて挑戦してた時期があったじゃないですか。キックのファイトマネーは『PRIDE』とは雲泥の差かも知れないけどキック1戦1勝っていうのは自信になると思うんですよ。
――まあ、そうでしょうね。
宮田　外に対しての売り文句よりも、自分の中での自信としてね。それに『PRIDE16』の時はウチの小林もセコンドについたんですけど、いまは髙田道場ですからね。桜庭選手とかのセコンドにいる姿を見てると、いまも藤原先生のとこ行ってるのかなーと思っちゃうんですけどね。
――確かにヤマノリさんのキック挑戦はファンも見たいんじゃないですかね。さて最後にパンクラスの話に無理矢理戻しますけど（笑）、9月29日の横浜文体のカードがなかなか決まらないんですよね。宮田さんもキックでマッチメイカーをやってるんで、その大変さが分かると思いますが。
宮田　僕なんか、ただのリングアナなんでパンクラスについての発言していいのかなって感じもするんだけど（笑）、これまでは確かにコレしかねぇだろってカードを出してきたから乗れたんですけど、いまは確かにコレというカードが……難しい問題ですねぇ。でもパンクラスの選手も、そろそろ、みんな化ける頃かなと思うんですけどね。
――それはどういう意味ですか？
宮田　やっぱり、ガチンコってそうなんですけど、寒いなってマッチメイクほど凄い決着になったりするんですよ。『PRIDE』も凄いカード揃いなのに滑った時とかあるじゃないですか。キックでもありますからね。そんな期待してなかったのに「ここで一皮剥けるか！」ってことが。ホント、何がきっかけになるか分かんないですからね。その時彼女と別れたとか、そういうのが意外と一皮剥けるきっかけになったりするんですよ（笑）。
――そういうもんですか（笑）。
宮田　まあパンクラスもそうですけど、全日本キックとウチの小林聡もよろしくお願いしますよ〜！（笑）。小林も『紙プロ』読んでますし、前から『紙プロ』に出る準備はいつでも出来てるって言ってますんで、何かありましたら是非お願いします！（笑）。
――いやいや、こちらこそ、是非お願いします！
宮田　でも昨日「俺さぁ『紙プロ』の取材受けるんだけど」って言ったら、「……どうでもいいです」「出たいって言ってたじゃん！」「いや、もういいです！」って。減量でピリピリモードに入ってましたからね（笑）。
――ダメですよ、大一番前の選手の気に障ること言っちゃ！（笑）。

【9月3日／高円寺『居酒屋こっち』にて収録】

小林の試合は絶対面白いんで『紙プロ』読者の皆さんも一度見に来てください！

本文中でも話題に出てきた9月6日、後楽園ホールで行われた小林聡とムエタイJライト級王者サムゴー・ギャットモンテープの一戦は、サムゴーの強烈すぎる左ミドルの前に小林のKO負けという結果に

『〜GenesisⅡ〜』
第4戦
9.16 ディファ有明
[観衆1,500人(満員)]

ヴァーッ!! 健介来場! 横浜に風が吹くゼェェェエ!!

9・29パンクラス横浜文化体育館情報

■全対戦カード■

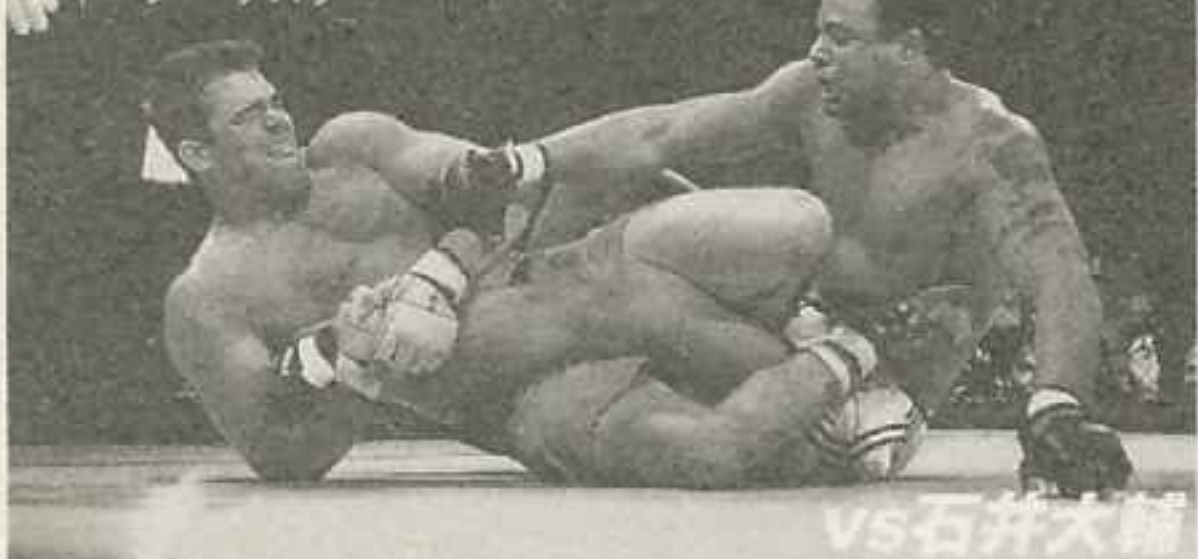
國奥麒樹真vs長岡弘樹
佐々木有生vsアレックス・スティーブリング
謙吾vsロン・ウォーターマン
KEI山宮vs石川英司
佐藤光芳vs渋谷修身
三崎和雄vs窪田幸生
石井大輔vsディーン・リスター
藤井克久vs高田浩也
今成正和vs大場祐司

ウェルター級タイトルマッチ
[王者] 國奥麒樹真vs長岡弘樹 [挑戦者]

メインイベントはウェルター級タイトルマッチ・國奥麒樹真vs長岡弘樹。ミドル級と合わせ二階級制覇している國奥は、今回が両ベルト通じて初防衛戦となる。挑戦者の長岡は、先日に行われたウエルター級王座決定トーナメントでは準決勝まで進出。昨年のネオブラッド・トーナメントではグラバカ三崎和雄と決勝を争い準優勝に輝いている成長著しいファイターである。UFC進出を目論む國奥は負けられないところだ。

マニア好みのガイジン勢が横浜に来襲!

Photo by Masafumi Endo & Booker K

ホイス門下の実力者
DEEN LISTER
ディーン・リスター
vs石井大輔

見てみぃ、足関節が得意技というホイス門下生の素晴らしい経歴！ キング・オブ・ザ・ケージ ミドル級王者に始まり、全米マチャド柔術選手権ライトヘビー級金メダル、全米マチャド柔術選手権アブソリュート級金メダル、全米サンボ選手権王者、全米グレイシー柔術杯金メダル、グラップラーズ・クエスト全米王者……。スポーツ歴はアメリカン・フットボールと突進力も侮れないファイターだ！

ブラジリアン・キラー
ALEX STIEBLING
アレックス・スティーブリング
vs佐々木有生

『PRIDE』でアラン・ゴエス、イズマイウを破った"ブラジリアン・キラー"がパンクラスに帰ってきた！ とはいっても、初登場となった菊田戦では、バッティングによる出血でノーコンテストとパンクラスでは実力を発揮してないスティーブリング。佐々木（念のため有生）との激突は事実上のパンクラス・デビュー戦。アグレッシブなファイトでマニア大注目の試合を制するか!?

MMAのストーン・コールド
RON WATERMAN
ロン・ウォーターマン
vs謙吾

謙吾が怒濤の4連勝を飾り"男の中の男"なれるか!? 相手はUFCファイターとして日本で試合をしたこともあり、WWEへの参戦もはたしこともある強烈なキャラクターの持ち主。レスリングをベースにしたパワーファイターで、主な戦績としては本間聡に勝利し、謙吾が負けたティム・レイシックと引き分けている。188cm・120kgという体格を活かして謙吾の連勝をブチ壊す!?

ゲッ、健介がパンクラス公式戦に出場!? 新日退団!? 10・14新日本東京ドーム大会で実現が有力視されていた鈴木みのるvs佐々木健介の一戦が、なんとビックリ仰天！ パンクラスのリングでの実現が色濃くなってきた！

9月9日に行われた新日本の会見で、"魔界倶楽部vs新日本隊の抗争激化"の理由により、ドームでの対戦が「先送り」と発表された友情対決。理由が理由なだけに、カード自体が消滅するとの大方の予想であった。しかし、9月12日に行われたパンクラスの会見で、"尾崎の野郎"ことパンクラス尾崎社長が爆弾プランを激白！ 新日本の上井取締役から電話にて「パンクラスの次の大きな大会はいつですか？」と問われ、尾崎社長が「11月30日に横浜文化体育館大会がある」ことを伝えると、そのリングで実現すべく話が進められたというのだ！ まさしく新日本vsUインターの全面対抗戦以来ともいえる衝撃の電話交渉劇。上井取締役が「Pを消す！」と吠えたかどうかは知らないが、横浜に風が吹くのは確かなのである！

気になるルールであるが、「エキシビジョンではない。基本的にはバーリ・トゥードに近いルール。ウチのルールでやる場合は公式戦になる」と尾崎社長。健介にとっては昨年、米国で行った、あの謎に包まれたダン・チェイス戦以来のバーリ・トゥードになる。

実際はまだ正式決定ではなく、最終的には健介の意志に委ねられることになっているが、その答えを出すべく健介本人が9月29日パンクラス横浜文化体育館大会に来場！ リング上から「イエス！」か「ノー！」か意思表示することになった！ 全方位外交が進むなかで、各格闘技ジムからの選手の参戦が相次ぐなど、競技化の道を辿っている現在のパンクラス。その空間と健介の融合は奇跡的ではありませんか。健介が「やらない！（男らしく）」と吠える可能性も十分あるが、挨拶だけとっても、これは見逃せない。いや、もともとは健介がみのるに対戦を呼びかけただけに、「よし、やろう！（男らしく）」と言うのは間違いないとは思うのだが……!?

健介が決意表明するパンクラス9・29横浜大会は『PRIDE』と同日開催となる。それだけに『PRIDE』に負けじと本戦が熱く盛り上がるのは必至！ 特に"足関十段"今成の初参戦は見物であり、第1試合から目が離せない。それではいきますか？ せ〜の、パンクラス！

（ジャン斉藤）

プロレスラー・格闘家なら誰もが夢見る!?

『東スポ』一面の真実

ん〜『東スポ』ッ!!

ZERO-ONE参戦の〝アダモちゃん〟ことサモアン・サベージの大食い伝説は本当なのか!?

パトカーにビッグファイヤーの大暴挙！なんでポーゴは捕まらないの!?

東京スポーツ

8000円

プロレスラー 大盛牛丼17杯無銭飲食

ZERO-ONE参戦のサモアン・サベージ　ノーマネーで食うわ食うわ!!

反省ゼロ

2003年 東ス

東京スポーツ

8 25

パトカー2台に火炎!!鎖ガマ

暴挙レスラー警察襲撃

逮捕はされず

伊勢崎市で無法の限りポーゴ

群馬県警察

これは犯罪じゃないのか？ポーゴの

暗黒通信拡大版

「プロレスラー大盛り牛丼17杯無銭飲食」「火炎!!鎖鎌　暴挙レスラー警察襲撃」――

この夏、あの天下の『東スポ』の一面を飾ったプロレスラー絡みの見出しである。プロレスラー&格闘家に限らず、浅草キッドなどを始め『東スポ』一面を虎視眈々と狙っている有名人は数多い。『東スポ』一面とは、いったい何なのか？　その裏側に隠された真実を探ってみました。ん〜ッ、『東スポ』!!

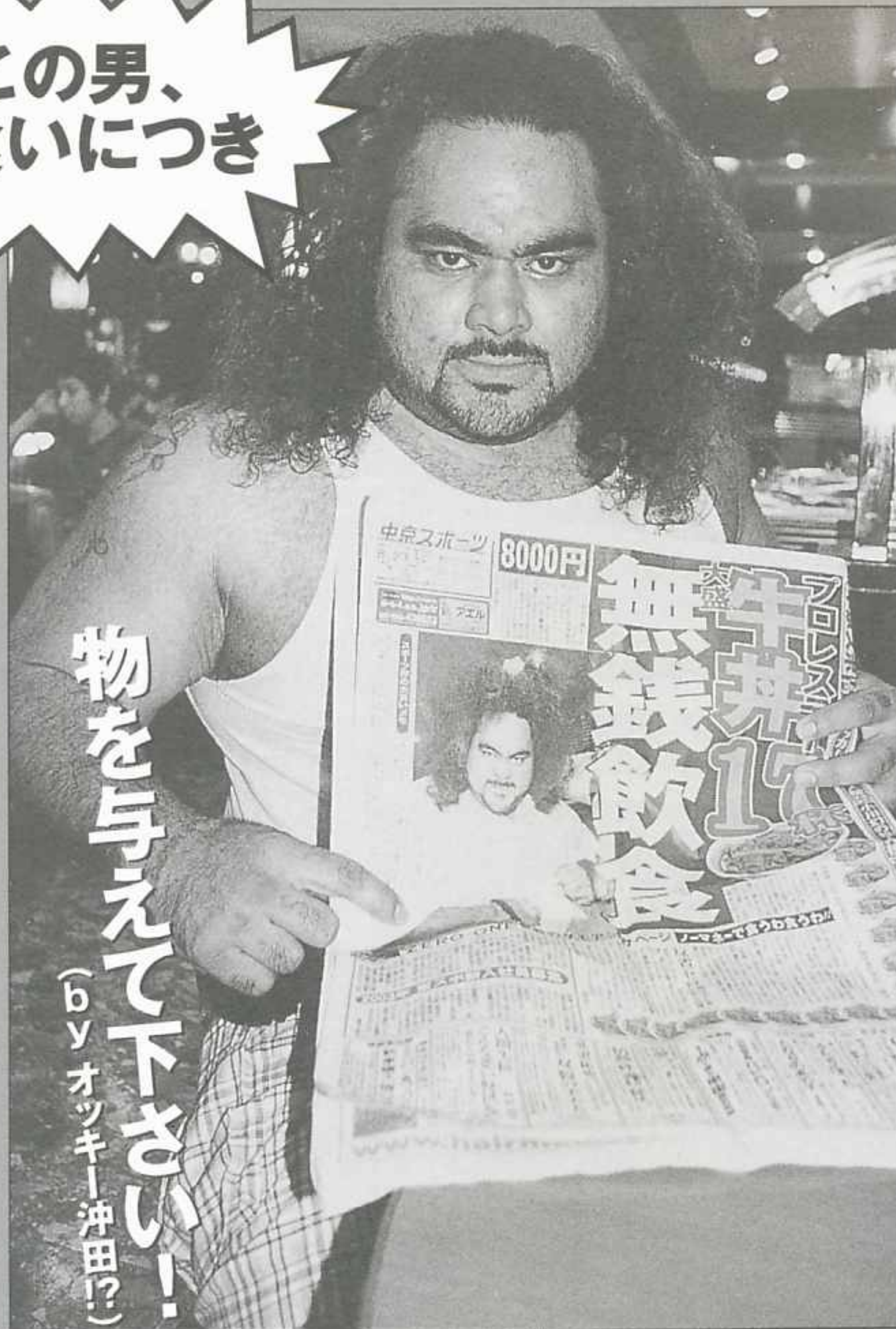
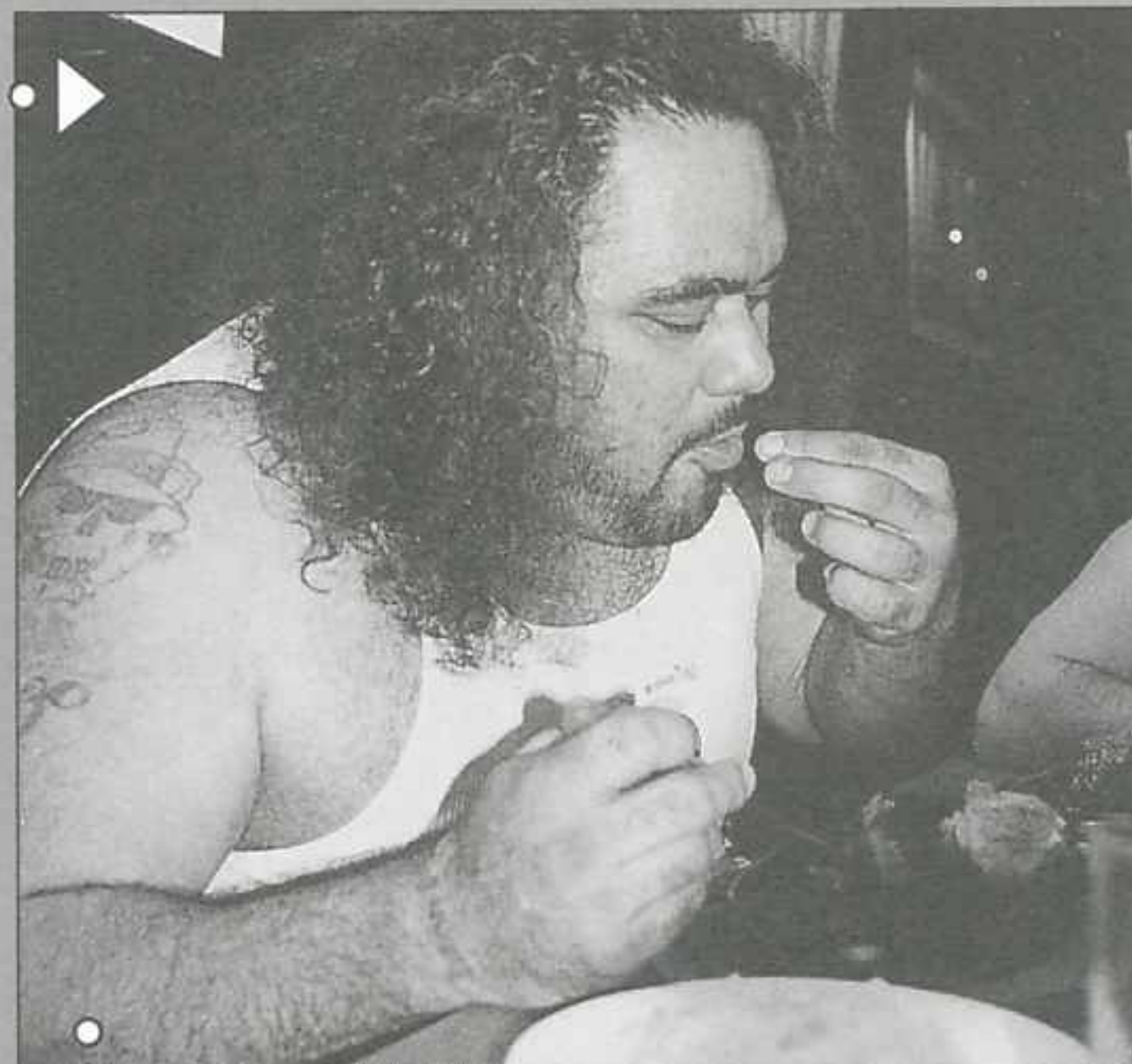
構成/松澤チョロ　協力/スペル・テポドン2号

VIVA ZERO-ONE! とんだいっぱい喰らいすぎガイジン
"アダモちゃん"ことサモアン・サベージが『一人ガチンコフードバトル』チャレンジ!!

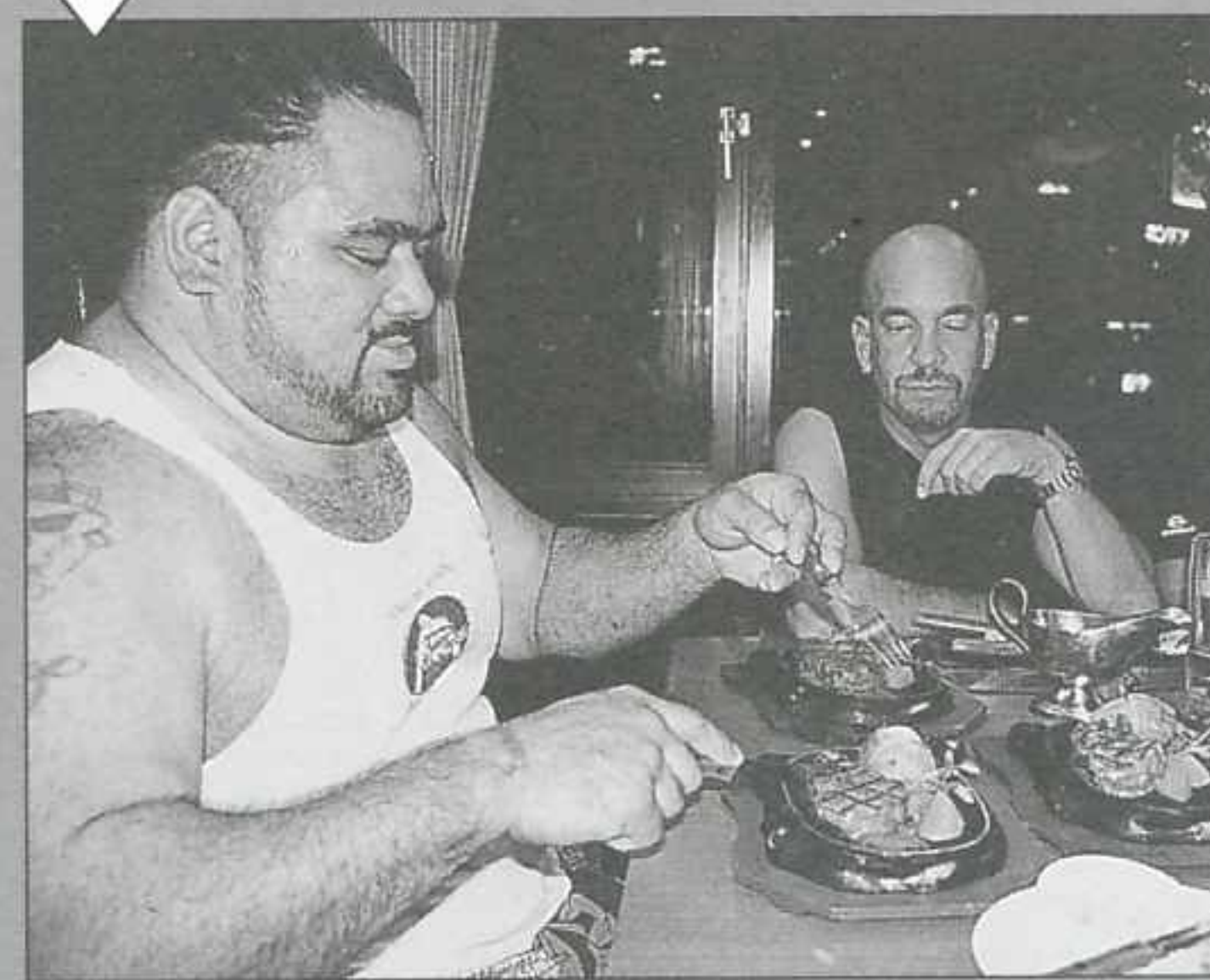
この男、大食いにつき

物を与えて下さい！（byオッキー沖田!?）

席に着くなり「腹減った、腹減った、腹減った」と落ちつきのないサモアン。店員の「お待たせしました！」の声を聞くと満面の笑みを浮かべた

とりあえず、駆けつけ3枚ということでステーキを3枚注文したサモアン。「まだ食べちゃダメなの？　もうペコペコなんだ」と肉に食らいついた

最初の3枚を、わずか5分足らずでペロリと食べきってしまったサモアン。店員を呼び、再びステーキを3枚注文！　凄ッ！

次の3枚も最初と同じペースでペロリ！　驚く店員に「同じヤツを2枚！」と30分もしないうちに6枚完食！　途中でナイフを使うのが面倒臭くなったのか、素手で食べ始めたサモアン

ちなみにリング上でのサモアンは…

"大食い"として名前が先行してしまったサモアン・サベージだが、初来日となった8月シリーズでは、敗れはしたが大谷&田中の持つタッグベルトに挑戦したり、毎試合リング上でサモアンダンス（？）を披露したりと大暴れ！

一緒に店を訪れたＵＰＷのリック・バスマン代表が「しかしコイツ、よく食うよなぁ」と呆れた顔で見つめるなか、ノンストップで食べ続けるサモアン。この時点で８枚目に突入！　ちなみにサモアンはサラダは一切食べないのだ

フロレスラー・格闘家なら誰もが夢見る!?
『東スポ』一面の真実

この日、サモアン・サベージがたいらげた
全食料&料金

★厚切りアメリカ産リブロースステーキ×10枚
(250g) ¥1,580 876kal

★大盛りライス×2枚
¥250 カロリー不明

★コーラ×2杯
¥250 カロリー不明

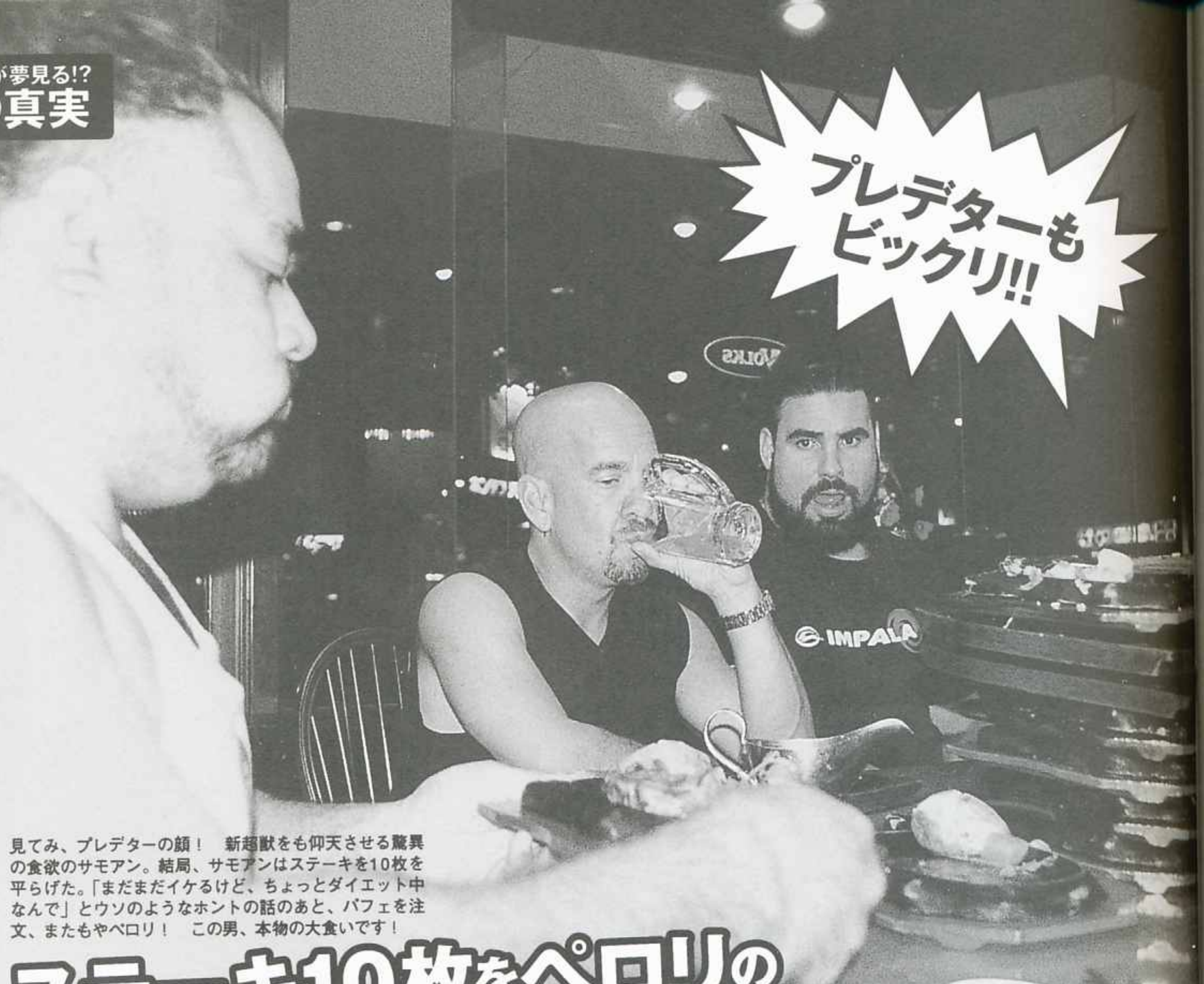
★クールヨーグルトパフェ
¥450 476kal

合計金額(税抜)
¥17,250

※総カロリー
9236kal以上

プレデターもビックリ!!

見てみ、プレデターの顔！　新超獣をも仰天させる驚異の食欲のサモアン。結局、サモアンはステーキを10枚を平らげた。「まだまだイケるけど、ちょっとダイエット中なんで」とウソのようなホントの話のあと、パフェを注文、またもやペロリ！　この男、本物の大食いです！

ステーキ10枚をペロリのサモアン・サベージ。この男、本物です!! ん〜ッ、ZERO-ONE!

噂は本当だった!!

8月23日付の『東スポ』一面にデカデカと躍った「プロレスラー大盛牛丼17杯無銭飲食」の記事。簡単に説明するとZERO—ONEの8月シリーズに初参戦したキング・サーモアンズの片割れサモアン・サベージが来日早々、まさにZERO—ONEチックな大事件を巻き起こしたのだという。20日に来日したサベージは宿泊先のホテルを抜け出し、初めての東京遊覧中に小腹がすいたというサベージは、某牛丼チェーン店『●野屋』に立ち寄り1時間半も食い続け結局17杯も食べたあげく、金も払わずその場を立ち去ったという。まあ要は食い逃げ、無銭飲食である。

本人的には悪気はなかったということだが、真夜中の牛丼屋に呼び出されたZERO—ONEスタッフは約8000円を支払って、なんとかその場は収まったという。報道されたのが『東スポ』だけに(『東スポ』さん、正直スマン!)、「アングルだろ?」と思った人も多いだろうが、これはまぎれもないガチンコの事件。ちなみに、このサモアン・サベージ、本国サモアではホットドッグやピザなど数々の大食い大会で優勝経験があり、牛丼17杯ぐらい朝飯前(?)というのだ。

ならば、ということで、このサベージとキング・ジョーのキング・サーモアンズが大谷&田中の持つNWAタッグ王座に挑戦し惜敗した博多大会試合後にサモアンの大食い伝説は本当なのか検証してみました。

出来れば「coco一番館」の1300グラムチャレンジカレーとか挑戦して欲しかったんだけど、近場にはなく、それに本人は「ステーキステーキ」うるさかったので、ガイジン選手が宿泊するホテルの近くにあったステーキハウスの『フォルクス』に向かった。

たまたま、この日反乱を起こしたネイサン・ジョーンズを除くガイジン選手たちも一緒に付いてきてしまい、支払いの不安が頭をよぎりつつテーブルに。サモアンには「お金はこっちで持つから、とにかく目一杯食べてくれ!」と告げ、まあ食えなかったら、それはそれで面白いしな、なんて軽い気持ちで始まったサモアン・サベージの1人大食い選手権!

結論から言うと、いきなり3枚のステーキを注文したサモアンは食うわ食うわ、ノンストップで、結局ステーキ10枚をペロリ。大食い伝説は本当だったことが証明された。

「アルコールは飲むと眠くなっちゃうし、サラダは嫌いだから食べない」と言いながら、ひたすら肉だけを幸せそうな顔で口の中へ押し込んでいったサモアン。たまにこちらを向いて「新聞に牛丼17杯食べたって書かれてたけど、あれは違うんだ。ホントは20杯食べたんだよ!」とニッコリ笑い、すぐさま肉をパクつくサモアン。エッ、ホントは20杯かよ!

最後の最後に「でもね、いまボクはダイエットしてるんだ。まだまだ食べられるんだけど、今日はこれぐらいにしておくよ」と、衝撃のダイエット発言! 確かに、サモアンが注文したドリンクはダイエットコーク。どうやらダイエットは本当らしい。まあでもステーキ10枚食ってダイエットもないと思うが。

不安だった支払いだが、結局、中村部長が払ってくれることに。サモアンだけでなくフロントまで太っ腹のZERO—ONE!

ともかく、〝大食い男〟サモアン・サベージ、この男は本物の大食いでした! ビバ・サモアン! ビバ・ZERO—ONE!

いつ何時、誰の挑戦でも受ける!
サモアン・サベージがチャレンジャーを大募集!
大食い自慢のキミ! サモアンにチャレンジしてみないか? 大食い対決でサモアンに勝った人には、豪華プレゼントを差し上げます! ん〜ッ、サモアン!
対戦希望者は 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 (株)ダブルクロス 紙のプロレス編集部「サモアン・チャレンジ」係まで応募して下さい!

不定期連載 Vol.3

暗黒通信 拡大版

国家権力をも怖れぬ暴挙！
群馬県警にビッグファイアヤー!!

これが『東スポ』一面を奪取したポーゴ、群馬県警にビッグファイアーの瞬間！　これだけでも十分凄いが、なんとポーゴ様は２度３度とパトカーに向かい炎を吹き付けたのだ！

ポーゴ様なら何をやっても許されるのは、なぜか？

「ミスター・ポーゴ、デビュー30周年記念パーティー」として行われた８・23ＷＷＳ伊勢崎ロイヤルホテル大会。ポーゴ様も実に満足げ

フレッドばりの悪徳レフェリーぶりを発揮したウルフに激怒したポーゴ。「テメエと暗黒街マラソンマッチだ！」と叫び、会場外で乱闘！

メインはポーゴ様vsスーパー・フレディの暗黒街ストリートファイトデスマッチ。フィニッシュは、なんとドラゴンスリーパーだった！

この日も行われた梅宮貴子vsラーメンマンのキャットファイト。ポーゴガチャガチャの景品の大人のオモチャで攻撃するラーメンマン

これを見ろ！ 暗黒街にそびえ立つポーゴのお父様の銅像だ！

全ての謎はここにあった！　地元の名士だったポーゴ様のお父様の銅像を伊勢崎某所にて発見！　何をやっても許されるのはお父様のおかげか？

やはり伊勢崎は暗黒街だった。ポーゴがファイアーをブッ放しても警官は見て見ぬ振り（？）、この街ではポーゴ様に誰も逆らえないのだ！

ポーゴは鎖鎌まで持ち出し群馬県警を挑発三昧！　ポーゴなら何をやっても許されるのか？……どうやら暗黒街・伊勢崎では許されるみたいです

S　いやぁ～、ミスター・ポーゴのデビュー30周年記念パーティーとして行われた8・23WWS伊勢崎ロイヤルホテル大会は凄かったってもんじゃないぞ！　行かなかったヤツは一生どころか三生ぐらいは後悔するな。

M　なんだよ、三生って！　何がそんなに凄かったんだよ！

S　お前、『東スポ』見てねえのかよ！　この日の試合が一面を飾ったっていうのに！

M　え、そうなの!?　一面って、一体、どんな試合があったんだよ！

S　（『東スポ』）これ見てみろよ！　ポーゴ様が警察を襲撃して、しかもパトカーに火炎攻撃までブッ放したんだよ！

M　ち、ちょっと待てよ！　警察にそんなことしてポーゴは逮捕されなかったの？

S　逮捕どころか、逆に警官を挑発してたぐらいだからな！

M　なんで、そんなことが許されるんだよ！　チビッ子たちがマネしてパトカーに火炎攻撃し始めたらどうすんだよ！

S　そんなチビッ子いねえよ！

M　まあ、そうだよな。何があったのか詳しく教えてくれよ！　でもさ大体、なんでポーゴは自分のデビュー30周年記念パーティーでそんなことしてんだよ！

S　……そう言われれば、そうだよなぁ。（突然逆ギレして）違うよ！　ポーゴ様は30周年記念パーティーだからこそやったんだよ！　も～う、試合前から凄かったんだからな！

M　だから、何がだよ！

S　会場は伊勢崎ロイヤルホテルの「孔雀の間」ってとこで、まあ結婚式場みたいな感じなんだけど、飲み放題＆食い放題で一万円！

M　い、一万もすんのかよ！　高くねえか？

S　そんなの『PRIDE』のリングサイドは10万もするだろ？　それを考えたらホント「カモン・ベイベッ！」って内容だったよ！

M　なんだ、カモン・ベイベッな内容って！

S　デビュー30周年記念パーティーってこともあって、試合前にポーゴ様の幼少時代の写真とかを紹介しつつ、なんとナレーション付きでポーゴ様の生い立ちから大仁田との抗争、そして現在に至るまでの半生が語られたんだよ！　涙なしでは見られなかったよ！

M　なんか、ホントに結婚式みたいだな！

S　それだけじゃねえよ！　そのあと登場したポーゴ様の挨拶がまた素晴らしかった！

M　いったいポーゴは何を言ったんだよ！

S　「今年でデビュー30年！　いま51歳だけど、あと4年は現役でやる！」って宣言してくれたんだよ！　こっちは涙ポロポロだよ！

M　オイオイ、泣くとこじゃねえだろ！　それに、あと4年ってどういうことだよ！

S　……わ、わかんねえよ！　きっと55歳って区切りがいいとこで引退するってことだろ！　それはいいんだけど、そのあとポーゴ様の伊勢崎暗黒街計画に賛同したキャットファイト団体CPEによる、組んずほぐれつ＆ポロリどころかスッポンポンのストリップもありで、この時点で十分、元は取れたよ！　ホントにカモン・ベイベッだよ！

M　そ、それは見たいなぁ。で、ポーゴの警察襲撃って、どういうことなんだよ！

S　だから、あせるなって！　メインでポーゴ様はフレディと闘って完勝したんだけど、試合後、この試合のレフェリー・ウルフのフレッドばりの高速3カウントにキレたポーゴ様がマイクで「テメエと暗黒街マラソンマッチをするぞ！」ってホテルの外へ出てったんだよ！　それで乱闘見てた一般人が警察に通報してパトカーが駆けつけたってわけ！

M　それでパトカーにファイアーなのか！　でもホント、なんで捕まらなかったんだろ？

S　だから、それは伊勢崎の名士だったポーゴ様のお父様のおかげじゃないの？

M　なんだよ、結局そういうことかよッ！

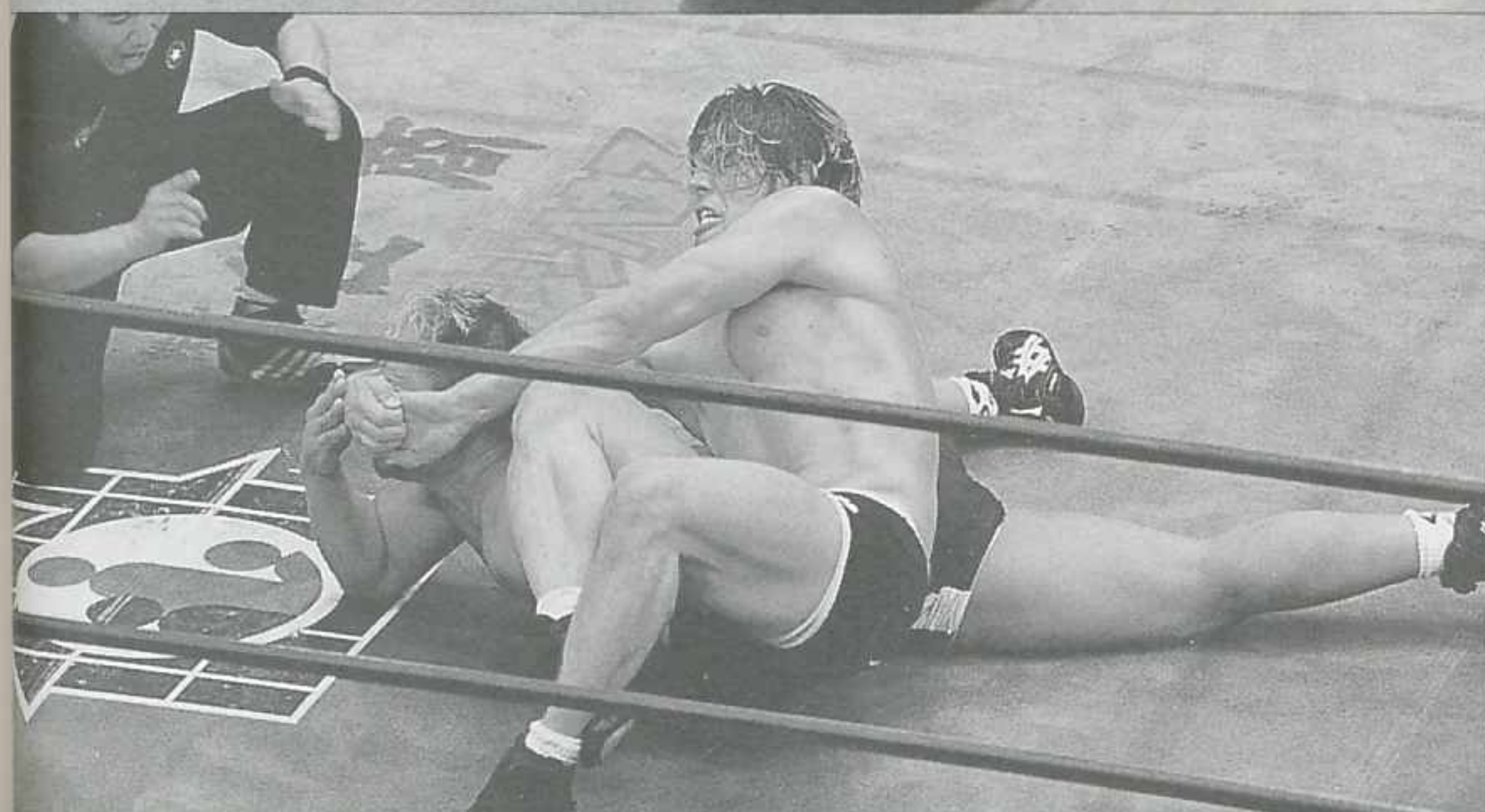
RADICAL
BOUT REVIEW
紙プロ的観戦記

2002.9.2
バトラーツ『PASSION』
後楽園ホール

バトラーツよ ゴッチを目指せ!!

今年6月の後楽園大会で再起動したバトラーツが9月2日に後楽園ホールで大会を行った。前回大会と今回の大会で団体としての輪郭は見えてきたが、フリーズ→強制終了→いまだ再起動中という流れの中で、彼らが目指す方向性とは一体何なのか？　余計なお世話なのは百も承知で、旗揚げ当時から彼らを応援して来た本誌は敢えて提言します！「目指せ、カール・ゴッチ！」と。

撮影・構成／スモーノブ

designed by gutty（Two Three）

自分のレスリングを曲げない生き方こそが石川社長の追求するゴッチイズム！

「見に来ないヤツとはもう口きかねぇ」

今大会の前、そんな小学生ばりの絶縁宣言が石川雄規の口から飛び出した。6月の後楽園大会がサッカーW杯の日本代表の試合当日と重なった不運もあり、チケットを買わない人が多かったのが相当悔しかったのだろう。さらに、本誌前々号の座談会で「（その日はW杯日本vsロシアの衝撃が大きすぎて）バトなんか見たうちに入らない」と僕が口を滑らせたら（というか原稿チェックさせてもらえなかったら・菊田調）、「あんなこと言いやがって」と臼田勝美の怒りを買った。少なくとも彼らは自分たちのプロレスに対する過小評価に怒りを感じている。そんな彼らの怒りが爆発するかと秘かに注目された新生バトラーツの第2回大会が後楽園ホールで9月2日に行われた。

心配された（石川社長は「そんなこと、どうでもいいんですよ！」と怒るかもしれない）観客動員だが……結局のところ後楽園ホールは現在のバトラーツには広すぎたようだ。今回も国立競技場の『Dynamite!』や新日&全日の日本武道館興行戦争の翌週月曜日というスケジュールの不運はあったにせよ、寂しい入りだった。試合内容が良くても空席が目立つと、せっかく来た観客にも寂しさが刷り込まれてしまうもの。TFMホールや北沢タウンホールといった選手の息遣いやゴツゴツした音が間近で聞こえるキャパの会場を選択することも可能だったとは思うのだが、どうだろうか？

しかし、観客動員は芳しくなくてもリング上は熱かった！ 今回も他団体の選手が数多く出場したが、特に田中稔と日高郁人の久々の出場は昔からのバトラーツファンにはグッときたはず。試合は初期バトラーツで繰り広げていた打撃と関節技が凄まじいスピードで回転していく展開で、新生バトラーツのゴツゴツした試合とは一味違ったスタイルだった。

久々の参戦を果たしたもう一人、TAKAみちのくもバトラーツを満喫していたようだ。序盤はバトラーツの生え抜き戦士・原学にペースを握られたが、次第に勘を取り戻して最後には貫禄勝ち。

里帰りした選手たちの闘いに呼応するかのように、現在のバトラーツを背負う石川や臼田やカール（マレンコ改めコンティニー）も、その試合から熱さとレスリングに対する真摯な姿勢を感じることが出来た。右ページの臼田の写真は星川から勝利を奪った後のものだが、勝った直後だというのに悲壮感が滲み出た表情からは現在の臼田が背負っているものの大きさが滲み出ている。こんな顔を見せられたら、もう「見たうちに入らない」などと不用意なことは言えない。そして、石川社長はやはり無骨で華はないが力強いレスリングを展開、新生バトラーツのスタイルを見事に体現していた。対するカールはスピード&テクニックを生かしたレスリングで石川社長からギブアップを奪取！ 現在のバトラーツの中では頭一つ抜きん出たと言っていいだろう。個人的には再びVTのリングに立つ姿も見たい!!

その他にも今大会に出場したK-DOJOのサンボ大石と真霜拳號、U-FILEの越後隆、元・無我の倉島信行、ZERO-ONEの星川尚浩と佐藤耕平と言った選手たちが普段の試合とはギアをチェンジして試合に臨んでいた。いずれも石川社長の標榜するレスリングに賛同してリングに上がっている選手たちばかりだ。

こうして振り返ってみると、じつに多彩な顔ぶれが揃っていたことに驚かされる。居場所や立場は違っても同じ志向を持つ者たちがバトラーツという交差点ですれ違う、今回の後楽園はそんな大会だった。

他団体の選手が来たからといって、安易に信念を曲げずに全員がゴッチイズムに基づいたレスリングを貫いた点は素晴らしいと思う。そのゴッチイズムとは決してリング上に限ったものではなく、むしろアメリカ・マット界に受け入れられなかったゴッチ同様にどんな状況でも自分のレスリングを曲げない生き方であり、それこそが石川社長の追求するゴッチイズムでもあるはずだ。

今大会で「見に来ないヤツ」が果たして何人いたのかは分からないが、この先石川社長が「もう口きかねぇ」という人が増え、過小評価には徹底的に噛みつき、観客に対して心を閉ざしていけばいくほど、バトラーツの純度は高まりあらゆる団体とは別の次元に辿り着きそうな予感がする。無責任に言わせてもらえばバトラーツのあるべき姿は、きっと「目指せ、ゴッチ！」に違いない。

その他の試合結果

【アマチュアマッチ「FUTURE-B」】
○宮下智也（B-CLUB）<2R4分53秒
レフェリーストップ>小武悠希（U-FILE CAMP.com）×

【第1試合】○真霜拳號（K-DOJO）<8分58秒
無道>サンボ大石（K-DOJO）×

【第2試合】○倉島信行（フリー）<12分33秒
腕固め>越後隆（U-FILE CAMP.com）×

【第3試合】○リック"ジ・アイスマン"リー<7分19秒
アームバー>佐藤耕平（ZERO-ONE）×

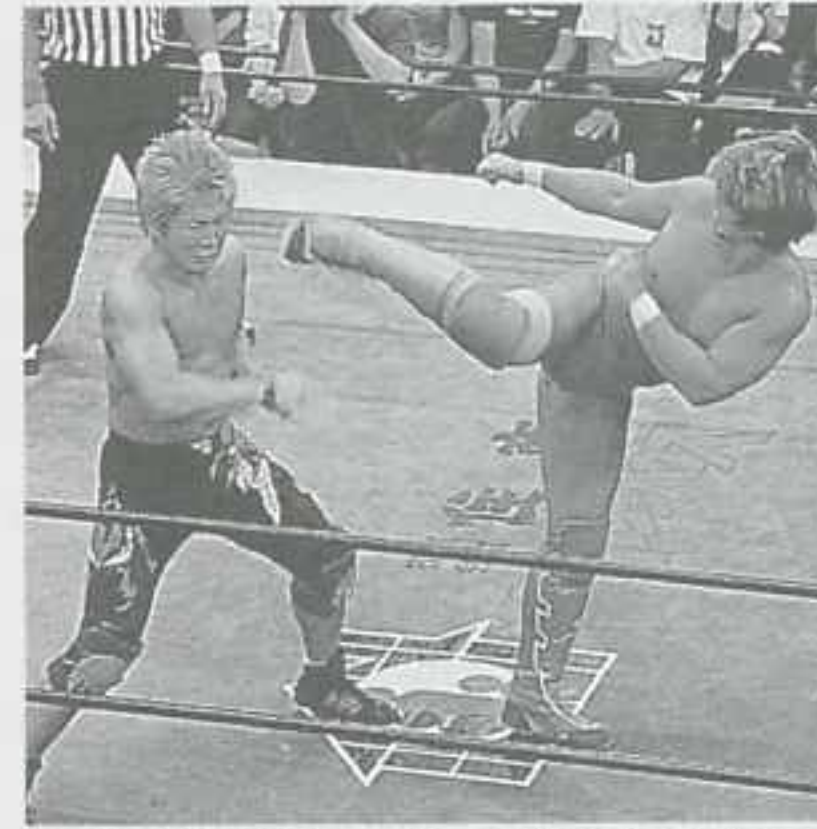
【第4試合】○TAKAみちのく（K-DOJO）<6分55秒
ジャストフェースロック>原学×

【第5試合】○田中稔（新日本プロレス）<8分40秒
飛びつき腕ひしぎ逆十字固め>日高郁人（フリー）×

【第6試合】○臼田勝美<12分26秒
踵固め>星川尚浩（ZERO-ONE）×

【第7試合】○カール・コンティニー<11分27秒
カール・シックル>石川雄規×

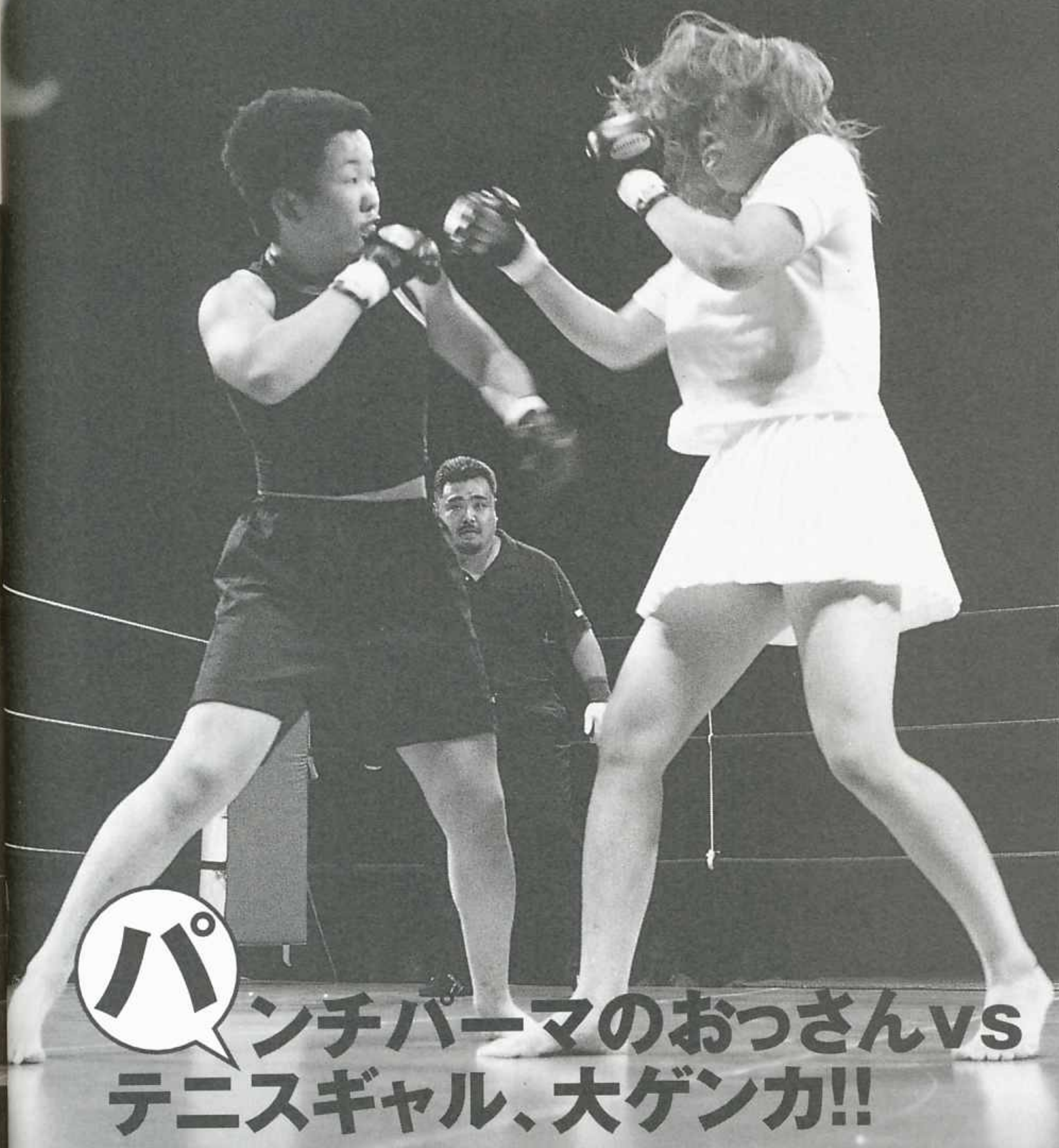
WWEでKAIENTAIとして活躍したTAKAみちのくが、久々のバトラーツ登場！ 次回大会では臼田との対戦が実現しそうだ。原学の活きのいいファイトも光った！

デュセル・バット率いるTigers Worldからやってきた初来日のリック・"ジ・アイスマン"・リーは、地味だが強い！ 堅実なグラウンドの技術で佐藤耕平を破った。今後に注目！

田中と日高のスピーディーな攻防は往年のバチバチを思い起こさせる攻防だった。この試合から寂しさを感じたのは、こういった試合が現在のバトラーツから消えてしまったからだろうか？

2002.9.1 SUN
格闘エンタテインメント スマックガール
『Dynamic! ～LAST SUMMER in FOREVER in 有明～』

ん～ッ スマックガールは、ダイナミック!!

ジョシュ・バーネット、ボブ・サップも来場!! イロモノ対決(?)から、レスリング、海外格闘家まで究極の〝他流試合〟続出!!

構成／ささきぃ

パンチパーマのおっさんvs テニスギャル、大ゲンカ!!

大和魂

おそらく、この日もっとも注目を浴びた一戦、高橋エリvs大門まい子。山本美憂のスーパーバイズを受けて前日の夜パンチパーマにした大門（愛称・おっさん）が、スカートにも関わらず大股開きでタックルを切る高橋に勝利。篠代表からは「横山やすし」呼ばわりされていたおっさん大門、まずはそのキャラクターで先輩・辻結花越えを狙う!?

全日本武道館大会2連戦に来場したジョシュ・バーネット、ボブ・サップ。その翌日の9月1日、彼らが訪れたリングは……なんと、ディファ有明のスマックガールのリングだった!! 何でだよ!!

休憩明け、篠代表の呼びかけでリングに登場したジョシュとサップ。ジョシュは、生観戦するのは初めてだが、ビデオでは何度も日本の女子格闘技の試合を見ており（ボブ・サップは見るのも初めて）、来場も本人の希望によるものだという。さすがはマニア！ 日本のファンに向けて、ジョシュは日本語で「ゲンキデスカ。ハジメマシテ、スマックガール。ホクトシンケン（北斗神拳）はムテキだ。ノゲイラ、オマエはモウシンデイル」とコメント。さすがはマニア（2度目）！

大会名に『Dynamite!』のパロディ『Dynamic!』を打ち出し、「〝格闘エンタテインメント〟を自称する『スマックガール』らしくない」と思われそうな、女子格闘技の王道カード・エリン・トーヒルvs石原美和子をメインにブチあげた今回のスマックガール。真夏の興行戦争のあおりを受け、客入りはやや寂しい印象があったものの、個性的な選手たちによる一本勝ちが続出し、何よりも、出場している女の子たちが楽しそうにイキイキと闘う姿が魅力的な、後味の良い大会となった。

おなじみナナチャンチンと泣き虫坂口によるジャケットマッチ、グラップルルールの中で面白い試合を見せようとしてくれていた大室vs酒井の第2試合、秒殺後のフニャフニャマイクが可愛らしい虎島尚子の一本勝ちに続いて登場したのが、写真だけを見ると「ボクサー上がりの小柄なダンナと、気の強いヨメの公開夫婦喧嘩」のような、闇愚羅・大門まい子（アイパー）

と、K-DOJOの刺客・高橋エリの闘い。

RADICAL
BOUT REVIEW
紙プロ的観戦記

辻ちゃん、キックボクサーに秒殺勝利!!

ヤンママキックボクサー・角田紀子と、浪花のレスリング女王・辻結花の闘いは、ゴング直後、辻の顔面に左フックがヒット！　一瞬あわやと思わせた辻だが、グラウンドに持ち込むと鮮やかに腕十字に持ち込んで見事快勝。試合後の辻は「ありがとうございました。えへへ」。打撃の鋭さなど光る点も多かっただけに、角田の再登場も期待したい

石原、エリン・トーヒル相手に大健闘!!

エンセン井上をセコンドにつけて登場したエリン・トーヒル。打撃で押されながらも腕ひしぎを仕掛け、終盤には引き込みを狙う石原だったが、判定でトーヒルの勝利に（レフェリーは高橋洋子）。試合後は笑顔で互いの健闘を称え合う２人。写真撮影時には、トーヒルのグローブを外すのを手伝う石原の姿があった

日本最強の女子はスマックガールが決める。『JAPAN CUP 2002』トーナメントの開催を決定!!

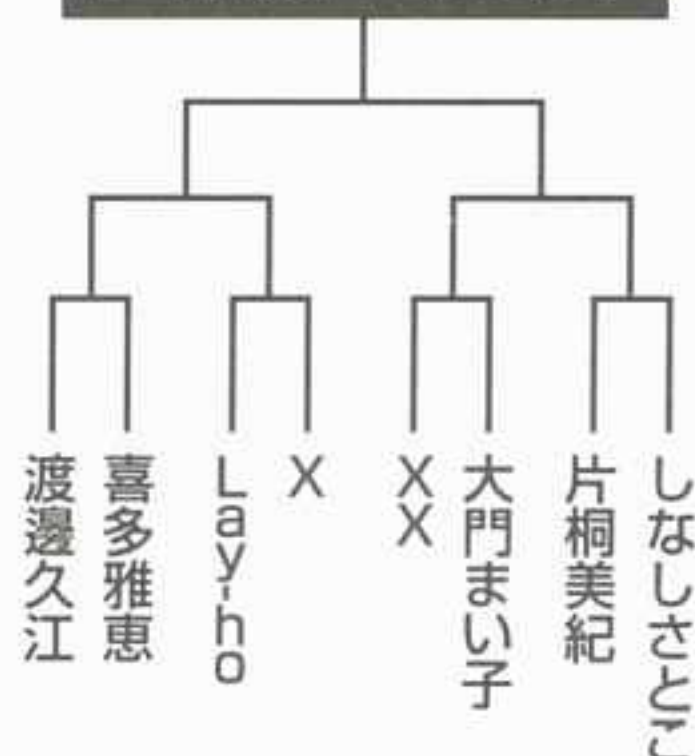
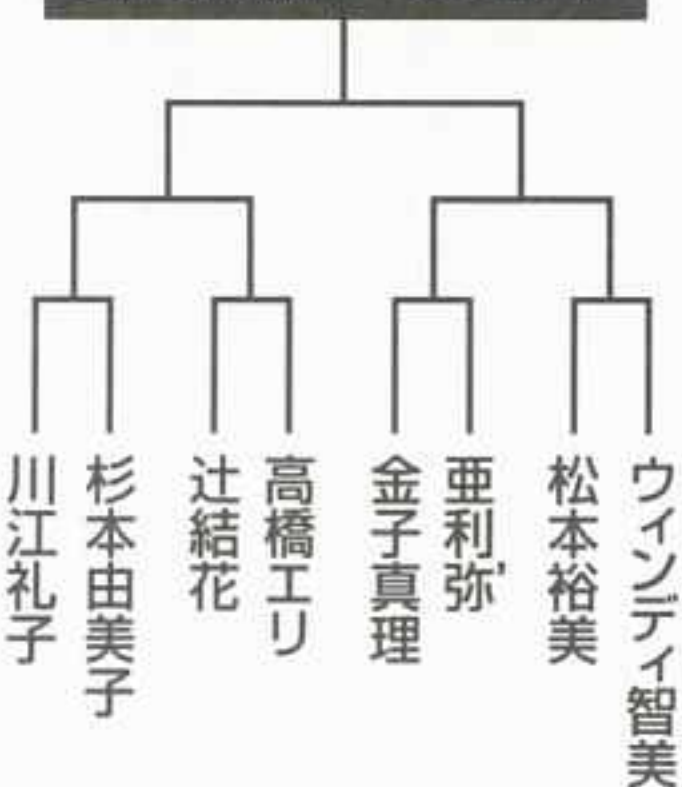
9月14日、ライト級・ミドル級の組み合わせ抽選会が都内にて行われた。会見に出席した6選手の他、動画チャットを使って大阪の辻選手・松本選手が参加した他、その他選手は電話で抽選に参加した。抽選の結果、ライト級の本命、渡邊久江と、しなしさとこがそれぞれA・Bブロックに別れ、ミドル級の本命・辻結花とウィンディ智美もA・Bブロックに別れる結果に。1回戦は10月5日、準決勝は11月4日に行われ、決勝は12月7日に行われる予定。無差別級のトーナメントは現在調整中で、高橋洋子や藪下めぐみが参戦する予定だ。カード組み合わせは下の通り!

※XおよびXXは後日発表だが、初参戦選手募集中！ とのことだ

ライト級トーナメント

渡邊久江
喜多雅恵
Lay-ho
X
XX
大門まい子
片桐美紀
しなしさとこ

ミドル級トーナメント

川江礼子
杉本由美子
辻結花
高橋エリ
金子真理
亜利弥'
松本裕美
ウィンディ智美

トーナメント抽選会に現れた6選手。左上から渡邊、川江（初参戦）、ウィンディ、左下喜多（初参戦）、しなし、Lay-ho。渡邊がマスク姿なのは体調不良のためで、決してグレたわけではないらしい。ミドル級初参戦・沖縄出身の川江は10代の子供を持つママさんファイター！　スマック最高齢者の参戦となる。要注目だ

次回大会要項

10月5日（土）18：00　東京・ディファ有明　ライト級・ミドル級１回戦　無差別級１回戦開催を予定
問スマックガール実行委員会　03-5545-4766

と、K-DOJOの刺客・高橋エリの闘い。テニスで九州大会出場というバックボーンにかけて、テニスルックで登場した高橋は、スコート下のパンツが見えるのも構わず（そりゃ、普段は水着だと考えれば、どうってことないのかもしれないが）アグレッシブに動きまくるが、あきらめずタックルを繰り出してグラウンドに持ち込んだ大門が腕十字で勝利した。

続くセミファイナルでは、角田紀子が左フックを辻ちゃんこと辻結花にヒットさせたものの、辻が超高速低空タックルを決め、あっさりと秒殺。観客の溜飲を下げた後、メインに石原美和子とエリン・トーヒルが登場！

国内負けナシの石原を凌駕するエリンの打撃のスピードと、立ち姿から漂う殺気が会場の空気をいい意味で張りつめさせ、固い闘いで石原を判定負けへ追い込んだ。

試合後、石原は「負けちゃいました。悔しいけど、練習の成果はあったと思う」と、爽やかに「もう一丁！」を宣言。そして、スマックガール・篠代表も「今回のお客さんは489人。10万人に達しなかったんで、また頑張ります！」と宣言した！　……先は長そうだが、頑張れスマックガール!!　来月からいよいよ、最強決定トーナメント開催!!　日本最強の女は一体誰か!?　ん～ッ、ダイナミック!!

その他の試合結果

◯坂口一美vsナナチャンチン●
吉田vsホイスを意識した（？）スマックガール初のジャケットマッチ。ナナチャンチン見事敗北

◯大室奈緒子vs酒井真紀×
闘う歯科衛生士・酒井と、和術慧舟會の大室のグラップリングルール対決。2人とも積極的な姿勢が見えた好勝負に

◯虎島尚子vs張替美佳×
虎島、力強い秒殺勝利も、試合後は「ありがとうございますぅ～」フニャフニャ脱力コメント

半額 紙のプロレス 本誌 Back Number

「落ちた!! 落ちた!! 落ちた!!」(金メダリスト調)
ちっちゃいころの『紙プロ』の値段も半額に落ちてます!

第8号 1994年1月号
特集 さらば新日本プロレス
仁義なきワイド座談会「さらば新日本プロレス」/仰天企画・恐山旅行のついでにマスカラス&天龍を見る/サスケが「紙プロ」初登場! 20ページにも及ぶ大特集!
¥700 ⇒ ¥350

第15号 1995年5月号
特集 インディペンデントの逆襲
あんた誰? 山口日昇試練のインディ・レスラー10番勝負! K−とは何か? 石井館長・ターザン山本・サダハルンバ谷川らのK−1三兄弟(当時)インタビュー
¥780 ⇒ ¥390

第19号 1995年9月号
特集 さようなら紙のプロレス
『紙プロ』を偲んで… ターザン山本・ユセフトルコ・上田馬之助・糸井重里・サスケ&高野拳磁/石井館長、ターザン、サダハルンバ、平仲信明たちの「負けず嫌い」座談会
¥780 ⇒ ¥390

第13号 1995年3月号
特集 道場破りとは何か?
安生洋二が道場破りでヒクソンに返り討ち! 山本小鉄&上田馬之助道場破りとは何か?インタビュー/「平成ファミコン・プロレス」馳浩・スペル・デルフィン・斉藤文彦
¥780 ⇒ ¥390

第16号 1995年6月号
特集 新日本凸凹大学校
『紙プロ』的・昭和新日本プロレス大検証! マサ斉藤・キラーカン・田中リングアナ・破壊王・後藤達俊・ビックリ! 糸井重里vsサダハルンバ谷川の対談が実現!
¥780 ⇒ ¥390

極真魂溢れる16人を直撃!
極真とは何か?
松井章圭/磯部清次/N・ベタス/大山茂/大沢昇/ウイリー・フィリオ/村上竜司/中村誠/廬山初雄/佐藤勝昭/黒澤浩樹/竹山晴友/谷川貞治/山田英司/夢枕獏
¥1530 ⇒ ¥800

第14号 1995年4月号
特集 神秘とは何か?
佐山聡・大槻ケンヂ・プロボディガード清水白鳳・鈴木みのるたち格闘神秘を膨らます!/日本プロレス歴史の証人・遠藤幸吉セメントロングインタビュー
¥780 ⇒ ¥390

第17号 1995年7月号
特集 実況パワフル北朝鮮
あの北朝鮮での「平和の祭典」を語りまくる! アントニオ猪木&永島勝司・村松雄視・破壊王・ブル中野/バトの原点はここにある!「藤原組の逆襲」
¥780 ⇒ ¥390

2000年4月
情念~夢一途なり~石川雄規
『紙プロ』で2年半続いたバトラーツ社長石川雄規のドラマチックな連載エッセイに大幅加筆+書き下ろし! 情念とは何かがわかる一冊である。
¥2100(税金・送料込み)

インタビューという名の鉄拳史
紙の前田日明
『紙プロ』、『リンタマ』、『紙プロRADICAL』誌上で展開された前田日明怒濤のエネルギー史! 引退直前時のインタビューも特別収録だ。今こそ前田日明を振りかえれ!
¥2000(税金・送料込み)

No.48 02年3月 ¥880
見えてきたゾ、桜庭、満開の日!!
●奇跡のメガトン対談実現! 小川直也vsノゲイラ
●和田最強伝説が遂に現実に! 語り部・金原弘光
●伝説の男が笑撃の登場! ジョー・サン
小川直也/武藤敬司/ミスターポーゴ/ウォーリー山口/ジョシー・デンプシー

No.49 02年4月 ¥880
この夏に究極の格闘技大戦争勃発!? マット界灼熱の噂!
●和田さん快勝記念対談! 高山&金原&和田
●アレクに怒りの火を付けた菊田早苗とは何者か!?
●凄! 小笠原和彦が火の輪くぐりを敢行! 破壊王も火のヤリ特訓だ!
レッスルマニア座談会/CIMAvsドス・カラスJr./ウォーリー山口/小畑千代

No.50 02年5月 ¥880
早く試合がしたい!! サクが笑えば、世界が笑う!!
●「地方初世界」開始! 小川直也&橋本真也
●充電完了! 桜庭和志が久々の登場!
●パンクラス取材解禁! "尾崎の野郎"も初登場!
●I編集長が新日本に三くだり半!
菊田早苗/大仁田厚/小島聡&NIGO/アレクサンダー大塚/リングスロシア軍団の軌跡

No.51 02年6月 ¥880
ZERO-ONEに願いを! 7・7決戦迫る!
●両国国技館だよ、全員集合! 橋本真也
●『PRIDE』の魅力をマン開! 小池栄子
●天才が悩みに答える! 武藤敬司人生相談
●"男の中の男"が本誌初登場! 謙吾
小川直也/プレデター/田村潔司/鈴木健/小笠原和彦/ZERO-ONE中村部長/I編集長

No.52 02年7月 ¥880
見えない鎖を引きちぎれ! 行けーッ、小川アァァッ!
●全身プロレスラー・高山善廣
●「トゥーッ!」の素顔を暴露! Mr.フレッド
●USAの渡世人 ドン・フライ
●田村潔司「美濃輪戦を決めた3つの理由」
小川直也/橋本真也/武藤敬司/ロシアン・トップチーム/ブラジリアン・トップチーム

No.53 02年8月 ¥880
灼熱の格闘技ダイナマイト! 世紀のビックイベント『Dynamite!』を直前大解剖!!
●夢の対談が実現! 高山善廣×美濃輪育久
●独占肉弾スクープ! マット・ガファリ
●爆裂!! 川村龍夫UFO社長語録
桜庭和志/小川直也/武藤敬司/高阪剛/クレージーMAX/サムソン・クツワダ/一宮章一/トム・ハワード/スティーブ・コリノ

紙のプロレス RADICAL【常備店】
■アイドール新宿店
■新宿ファイター
■大山アメリカン
■プロレスマニア館
■チャンピオン
■リングスパレス
■バディスラム
■タコシェ
■レッスル渋谷
■レッスル池袋
■書泉ブックマート
■書泉ブックタワー
■書泉グランデ
■ワールドスポーツ
プラザKINGS
・池袋
・渋谷WEST
・新宿
・名古屋
・大阪
・札幌
・福岡
■グレートアントニオ
■東京イサミ

パンクラス公式読本[矛]
97年夏、横浜道場所属のパンクラシストを直撃! 鈴木みのる/近藤有己/山田学/故・長谷川悟史/そして佐山聡、カール・ゴッチも登場だ!
¥1260 ⇒ ¥630

パンクラス公式読本[盾]
97年夏、東京道場所属のパンクラシストが語る! 船木誠勝/パンクラス非公式座談会/ナゼか、故・ジャイアント馬場vsターザン山本が実現!
¥1260 ⇒ ¥630

通販申込方法
●お申し込みは郵便振替と現金書留の2通りになっております。(バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません)。
【郵便振替】00130-3-769154(株)ダブルクロス
【現金書留】〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 (株)ダブルクロス
●郵便振替の場合は用紙の通信欄に希望号数を明記し、現金書留の場合は希望号数を書いた紙を同封して下さい。
※本誌なのかRADICALなのかを必ず明記して下さい。
●送 料 1冊=310円 2冊=380円 3冊~4冊=450円 5冊=520円 6冊以上=700円

★『紙のプロレス』『紙のプロレス』NO.1~NO.7/NO.9~NO.12/NO.18/NO.21~NO.22 『猪木とは何か?』『猪木とは何か? キラー編』『大山倍達とは何か?』は完売!!

紙のプロレスRADICAL Back Number

「この本なんかすっごいですもんね。もう汗ビッショリですよ!!」(川村社長調)

読めば大興奮! 手に汗握ること間違いナシ!!

No.5 97年8月 ¥680

高田延彦、樹海へ……初めてのヒクソン戦直前大特集!
●ドン荒川vs藤原喜明"昭和新日対談"
●前田日明の大好評人生相談『人生は語らず』
●世界格闘技連盟とは何か!? 佐山聡
長与千種&ライオネス飛鳥/ビクター・クルーガー

No.7 97年12月 ¥680

反骨の剣ー田村潔司 赤いパンツの頑固者、『紙プロ』初のロングインタビュー記念号
●プロレススーパースター列伝・木村健悟
●全女分裂!それでもローリングドリーマー松永会長
●オクタゴンの喧嘩屋・タンク・アボット
前田日明/T・ファンク/アジャコング/ジャガー横田/冬木弘道

No.10 98年6月 ¥680

大和魂は連鎖するー前田日明vsエンセン井上 各方面に波紋を投げかけたスクープ対談!
●松永高司vsザ・グレート・サスケ夢の経営者対談
●冬木弘道「プロレスを進化させるとWWFだ」
●元リングスレフェリー北沢幹之引退記念
谷津嘉章/桜庭和志/前田日明/ダイアナ/宮内美穂

No.15 99年2月 ¥780

目を覚ましてください!! 小川vs橋本"1・4事変"勃発!
●A旧戦犯か、それとも真の革命児か!? 佐山聡
●前田日明inUSA カレリン戦前のシアトル特訓! 浅草キッドの熱烈応援文
●S多重アリバイ・佐野なおき/Mr.K
A・カレリン/髙阪剛/馬場さん追悼/語ろうマサ・サイトー/A・浜口親娘/北原光騎

No.16 99年3月 ¥780

格闘ノストラダムス'99 エンセン井上のプロレス雑誌表紙奪取記念号
●環境問題を『紙プロ』で語る!?ーアントニオ猪木
●語ろうジャンボ鶴田
●相撲多重アリバイ・石川孝志
前田日明/髙阪剛/坂田亘/M・コールマン/石川雄規/村上一成

No.24 00年2月 ¥840

頭打ちすぎたかアレク!! 『PRIDE.GP』特集
●田村潔司がグレイシー討伐を公約!
●船木vsヒクソン座談会
●WWF大検証!
猪木・鶴田・前田・高田らが黒船を語る!
●サスケ×矢追純一UFO超私極宇宙対談!
桜庭和志/堀辺正史/守山竜介/太刀光/嵐/中西百恵

No.25 00年3月 ¥840 完売間近

格闘ロマン続行ーッ!! 猪木イズムを携えた藤田和之『紙プロ』初登場
●グレイシー撃破後の田村潔司を直撃!
●アニマル浜口は15年前から"火の呼吸"を研究!
●暴露本の原点はここにある! ミスター高橋
前田日明/小川直也/村上一成/サスケ/ダン・ヘンダーソン/ザ・ロック座談会/石川雄規&小路晃

No.29 00年7月 ¥840

「格闘環境」は刻一刻と変化する! ノア解禁! 方舟の舵を取るのは誰だ!? 秋山準初登場!
●今度はホイス戦! 桜庭和志
●プロレススーパースター列伝・仲野信市
●本誌独占ジャンボ鶴田夫人真実を語る!!
三沢光晴/ノア勢フルメンバー/村上一成/ボビー・ホフマン/TKおかん/里村明衣子

No.31 00年9月 ¥840

真のストロングスタイルは『PRIDE』にあり!! 歴史に残るベスト興行『PRIDE.10』大特集号
●桜庭和志×髙阪剛のトークバトル中継!レフェリーは浅草キッドだ!!
●川田利明語録
●プロレスという物語について・ダン・スバーン
小川直也/髙山善廣/谷津嘉章/堀辺正史/永源遥/ユセフ・トルコ/島田裕二/田村潔司

No.32 00年10月 ¥840

本誌は"新プロレス"を独占します!! 10・9新プロレスvs純プロレス開戦!
●田村潔司に快勝!ーA・ホドリゴ・ノゲイラ
●打倒プロレス同盟結成!? 青柳政司×小路晃
●藤波辰爾語録
●プロレススーパースター列伝
前田日明/桜庭和志/山本喧一/金原弘光×滑川康仁/本田多聞

No.34 01年1月 ¥840

プロレスは「闘い」を忘れた時に老いてゆく!!「猪木祭り」「長州vs橋本戦」を斬りまくり!
●UFCミドル級王者ティト・オーティズ
●プロレススーパースター列伝・ミスターヒト
●修斗から『猪木祭り』へ! 宇野薫
小川直也/高田延彦/桜庭和志/藪下めぐみ/ボブチャンチン&オバチャンチン/田中正志/紙プロ大賞2000

No.35 01年2月 ¥840

ジャングルを守るだけじゃなくジャングルをつくれ!!「純プロレス」を考え倒せ! 500人アンケートも実施! 徹底検証号
●ZERO−ONE始動!橋本真也×アレクサンダー大塚
●プロレス界統一コミッショナー(就任予定)馳浩が爆弾発言!!
●プロレススーパースター列伝・ジョー樋口
坂田亘/成瀬昌由/滑川康仁 大仁田厚/小路晃/杉浦貴/堀辺正史/田中正志

No.36 01年3月 ¥840

新生「闘いのワンダーランド」に闘魂の火種!! 面白くなきを面白く! 純プロレス復興記念号
●ノアから独立『PRIDE』参戦!髙山善廣を確認せよ!!
●桜庭和志初のシウバ戦ド直前!!
●KOKをしゃぶりつくせ! 5大企画で大総括!!
金原弘光/ノゲイラ/ヴォルク・ハン/レナート・ババル/TK/田村潔司
三沢光晴/橋本真也/前田日明/大山峻護/W☆ING/サンディグ/ジニアスXハリー・レイス/鍋野ゆき江

No.37 01年4月 ¥840 完売間近

長州!! 本性出せんのかオラッ!! 小川と三沢が遂に絡んだ!! 純プロレス戦国絵巻
●安田忠夫が借金から自殺未遂まですべてを語る!
●アブダビコンバット2001ー大探検記! 菊田早苗/田村潔司×ヘンゾ・グレイシー/シェイク・タルヌーン王子
小川直也/橋本真也/桜庭和志/成瀬昌由×山本憲尚/村上一成×小路晃/堀辺正史/石川雄規

No.38 01年5月 ¥840

高田の"忘れ物"は小川!!ラスト・オブ・「もう一丁ッ!!」 5・5小川と長州はどちらが孤独だったのか!?
●ヴォルク・ハンの最強の遺伝子エメリヤーエンコ・ヒョードル
●プロレススーパースター列伝・阿修羅原
●死神降臨・ジェラルド・ゴルドー
高田延彦/グンダレンコ・スベトラーナ/力皇猛/杉浦貴/丸藤正道/谷津嘉章/ジミー鈴木/髙山善廣

No.39 01年6月 ¥840

どうなるんだ、リングス! 前田isデッド!? すべての"騒動"に前田日明総帥が答えた!
●選手離脱後の前田道場新エース・金原弘光/滑川康仁
●怪物か!? それとも…… 藤田和之座談会
●壮絶なる格闘人生・藤原敏男
秋山準/山本憲尚/小川直也/成瀬昌由/田上明/石川×臼田×島田/DEEPとは何か

No.40 01年7月 ¥880

開戦間近! 猪木軍vsK−1に見たいものは"地上最強のプロレス"
●蘇れ! Uインター&キングダム伝説!髙山善廣×金原弘光[前編]
●本当か? 本当なのか!? この叫びを聞け! 大谷晋二郎
●プロレススーパースター列伝・グラン浜田
小川直也/三沢光晴/橋本真也/サスケ/鄉野聡寛/坂田亘/上山龍紀

No.41 01年8月 ¥880

Can you カミングアウト? "最後の黒船"WWF襲来! どうする「日本のプロレス」!!
●リングス10周年大会! ハンがリングスを振り返る
●真樹日佐夫×三池崇史巨頭対談が実現!
●W☆INGの真実・茨城清志
小川直也/髙山善廣×金原弘光//WWF座談会/辻よしなり/秋山準語録

No.42 01年9月 ¥880

猪木なら何をやっても許されるのか!? アントン総帥の言葉はマット界にとって"福音書"か?"テロ行為"か!?
●失われた"新日本"がここにある!ドン荒川×橋本真也のトンパチ伝承対談
●大反響!"ヒャッホー"辻よしなり
●蘇れ! UWFインター伝説!! 髙山善廣×宮戸優光×金原弘光
高田延彦/谷津章嘉/カト・クンリー/マァ☆ティン/WWF上陸直前特集

No.43 01年10月 ¥880

サクと『PRIDE』のケツに火がついた!! 10・8猪木と小川が「純プロレス」と「純K−1」にリンクを張った!!
●ブラジリアン・トップチーム3大柱インタビュー
●大谷普二郎の「俺をしんじろう!」人生相談
●金原弘光×サスケの新日本プロレス学校同窓会
小川直也/桜庭和志/谷津×グッドリッジ/中野巽耀/須藤元気

No.44 01年11月 ¥880

ノーモアBADアングル!! サクの連敗が『PRIDE』に語りかけるものは何か?
●プロレススーパースター列伝・グレート小鹿
●その修羅場の数々! シーザー武志
●怪物伝承! 髙山善廣&杉浦貴
ハンス・ナイマン&ディック・フライ/田村潔司/闘龍門大特集/E・ヴァラビーチェス

No.45 01年12月 ¥880

K−1vs猪木軍」は命懸けのエンターテインメントだ!!『紙プロ』旗揚げ10周年&RADICAL創刊5周年記念号
●『ケーフェイ』以来の爆弾本投下!ミスター高橋本特集! ミスター高橋独占インタビュー/前田日明、ミスター・ヒト、佐山聡が「悪魔の書」を語る!
●ジェラルド・ゴルドー人生相談
●葛西純/ウルティモ・ドラゴン/望月成晃/A大塚/金原弘光/矢野×須藤/グレート小鹿/語録で振り返るマット界2001

No.46 02年1月 ¥880

PRIDE.LOVEをぶち壊す男!! 時は来た! 田村潔司、『PRIDE』へいざ討ち入り!!
●さらばリングス! 金原弘光/浅草キッドの「おつかれさんでした!」
●"ならず者"がDEEPで快勝!ーエル・カネック
●プロレススーパースター列伝・キラー・カン
●金メダルを落とした男・小林孝至

No.47 02年2月 ¥880

WWF日本侵攻5秒前! 激動の新日本、怒りの急展開を読む!!
●"天才"武藤敬司が『紙プロ』驚愕の初登場!
●噂の馳浩が新日分裂からミスター高橋本までを語る!
●第一次リングス閉幕特集
●プロレススーパースター列伝・ストロング金剛
大谷普二郎/小笠原和彦/葛西純/K−1中量級/サスケ/ミスフィッツ

★『紙のプロレスRADICAL』NO.1〜NO.4/NO.6/NO.8/NO.9/NO.11〜NO.14/NO.17〜NO.23/NO.27/NO.28/NO.30/NNO.31/NO.33は完売!!

リング内・リング外の情報を読者にお届けする RADICAL情報局

>>>新日本「PROLOGUE」はドラゴンマニアならずとも見逃せない!!

昨年、仲野信市の感動的な引退試合が行われた「無我」。この『無我 2002』2大会と、東京ドーム大会直前に開催される後楽園大会『HISTORY』の3大会で構成される新日本次期シリーズ『PROLOGUE』は、日本人選手を中心とした、見てのとおりの豪華カードが出そろった!! なんとこの大会には、中野巽耀の出場も決定!! 何より我らがドラゴンが3試合出場!! 棚橋弘至との"師弟対決"は見逃すな!!

『無我 2002 in TOKYO』
★10月6日(日)
後楽園ホール 試合開始18:30
1.ブルーウルフ VS 鈴木健想
2.井上亘 VS 倉島信行
3.垣原賢人 VS 中野巽耀
4.田中稔&永田裕志
VS 成瀬昌由&中西学
5.木村健悟 VS 矢野通
6.藤波辰爾 VS 棚橋弘至
7.西村修 VS 飯塚高史
★問:新日本プロレスリング(株)
03-5468-3111

『無我2002 in OSAKA』
★10月9日(水)
大阪府立体育館 第二競技場
試合開始18:00
1.矢野通 VS 鈴木健想
2.棚橋弘至 VS ブルー・ウルフ
3.成瀬昌由 VS 倉島信行
4.田中稔 VS 中野巽耀
5.木村健悟 VS 垣原賢人
6.藤波辰爾 VS 西村修
★問:新日本プロレス大阪事務所
06-6649-0999 または
新日本プロレス難波事務所
06-6649-4048

『HISTORY』
★10月12日(土)
後楽園ホール 試合開始18:30
1.井上亘 VS 山本尚史
2.エル・サムライ VS 田口隆祐
3.矢野通 VS 倉島信行
4.成瀬昌由 VS 中野巽耀
5.ブルー・ウルフ&佐々木健介
VS 棚橋弘至&鈴木健想
6.後藤達俊&越中詩郎&木村健悟
VS ヒロ斉藤&天山広吉&蝶野正洋
7.タイガー・マスク&藤波辰爾
VS ヒート&獣神サンダー・ライガー
★問:新日本プロレスリング(株)
03-5468-3111

>>>高田道場がサブミッションレスリング大会開催!

早くも6回目となった高田道場主催のサブミッションレスリング大会。今回から女子の部も開催決定! ふるって参加しよう!

『第6回高田道場サブミッションレスリング大会』
★日時:10月13日(日)
受付・計量 13:00〜 試合開始 14:00〜
★会場:株式会社 高田道場
(東急目黒線「武蔵小山駅」下車 徒歩3分)
★参加資格:①高校生以上の頭部に障害、及び感染症のない健康な男女 ②格闘技歴1年以上の方 ③週2回以上、練習をしている方 ④格闘技歴をきちんと明記している方
★参加費:登録料(初回のみ。高田道場生は除く)1000円
一般・外部道場生1500円 高田道場生1000円
★申込・問 株式会社 高田道場
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6 03-5749-5030

>>>2名優勝の快挙! 【B-CLUB】勢、フロリダで大活躍!

バトラーツと提携関係にあるTiger's Worldがグラップリングトーナメントを開催。バトラーツジム【B-CLUB】からも4名参戦、戦績は以下の通り!

『9.14 PLANET submission』(Tiger's World主催)
★60キロ級
第1試合 ×桜沢 武 VS JASON EARLY ○(ポイント判定)
★70キロ級
第1試合 ○宮下智也 VS VAGNER BRUNO ×(3分50秒フロントチョーク)
第2試合 ○宮下智也 VS VAGNER ROCHA ×(判定)
宮下智也 優勝
★75キロ級
第1試合 ○衣川匡司 VS JASON EARLY ×(1分35秒腕十字)
第2試合 ○衣川匡司 VS AHMAD ALAOUM (2分50秒腕十字)
衣川匡司 優勝
★75キロオーバー級
×後藤武弘 VS AHMAD ALAOUM ○(1分54秒アームロック)
★アブソリュートクラス
×立原基大 VS DANNY RUIZ ○(ポイント5-4)

>>>BCGが「正道会館麻布空手教室」を開講!

自称カリスマレフェリー・島田裕二氏の多目的格闘技ジム・BCGでは毎週土曜日16:00から、正道会館麻布空手教室をスタートする。指導員はK-1ジャッジでおなじみの黒住辰哉指導員。見学も自由! また、BCGではジムの受付をする、明るく元気に挨拶できる女性を大募集中。年齢不問、条件は土曜日働けること。問&応募は、下記住所BCG野口宛まで。

BCG:東京都港区東麻布3-3-1 アイザック東麻布B1F(都営大江戸線麻布十番駅、6番出口より徒歩2分) 03-3560-7911

イベント★GUIDE

>>>エッ!? 横井宏考、今度は芸人デビュー!?

ZERO-ONEマットでも大活躍中の横井宏考が、今度は芸人デビュー!? コメディユニット・劇団バイタスの公演にチーム・アライアンスの横井が参戦! プロレスデビューに次ぎ、横井の芸人ぶりを、その目で確かめよう!

『劇団バイタス コント&コメディVolume.3』
★日時:10月5日(土)
14:00開場 19:00開場の2回公演(開演は30分後)
★料金:全席自由 前売1500円/当日2000円
★会場:新宿鍋茶屋今フォール劇場(新宿駅下車)
会場電話(当日のみ)03-3232-0158
★申込・問:03-3354-3280(留守番応答)
メール:vitus@post.mozio.ne.jp

イッキに涼しくなってきましたね。真夏の興行ラッシュが終わっても、文化の秋を楽しみ尽くす情報盛り沢山でお送りする情報ページ。いやぁどれもこれもスゴイ情報ですよね。よく冷静に担当できたなぁと。どもです、ささきぃです。では、よろしくお願いします。

ブッコミ ノリノリ★NEWS

■ぼやき評論の第一人者・金原弘光、ホームページ開設!!
金ちゃんが個人HPを開設した!! 知っていそうで知らなかったプロフィール、主要戦績のほかファン用BBS、応援メールもここから送れてしまう! 今すぐブックマークだ!!
金原弘光公式HP
http://www.hiromitsu-kanehara.com

■ターザン&吉田豪がトークライブ開催!
"格闘技トーク最強タッグ"のターザン&吉田豪が、毎回乱入マル秘ゲストと大激突するトークライブももう5回目に突入!! 今回はどんなゲストが二人を迎え撃つ!?
『格闘技トーク最強タッグ!! ターザン山本と吉田豪の格闘二人祭!!vol.5!!』
10月2日(水)
18:30開場、19:30開始
会場:新宿・ロフトプラスワン
【出演】ターザン山本&吉田豪、シークレットゲスト乱入予定!!
【チャージ】¥2000(1D込)
問:ロフトプラスワン 03-3205-6864
※ちなみに翌日3日のロフト・プラスワン夜の部は、掟ポルシェ氏も出演の『オレ達、モー娘。の味方ッス!2』。後藤真希卒業!のハロプロの未来はどうなる! 連日プラスワンへ通え!

■実戦格闘術・王者は誰か!!
アマチュア掣拳道の実験マッチ大会が開催! 格闘結社・田中塾が実戦格闘術大会を行う。現在出場選手募集中。我こそはと思う人は、直接田中塾に問い合わせて参加申込書を入手すること。押忍!
日時:10月20日(日) 13:00〜
場所:船橋市武道センター
料金:入場無料!!
申込&問:格闘結社 田中塾
千葉県船橋市前原西2-30-1
047-474-1841(FAXも)

■"至近距離落語"開催!
前田日明が出演していた「コーセーアンニュアージュトーク」でおなじみの、マーク・アイがプロデュースする快適空間"My Favorite Bar"『The Second』から誕生した究極の贅沢ライブ!
10月15日(水)「柳家喬太郎」
躍進の若手落語家、柳家喬太郎の至近距離落語。カウンターの上に座布団という間近でせまる落語は大迫力! ステージは19:30〜20:30、21:30〜22:30の2回行われる。※各回ともに限定30名まで。
料金:チケットチャージ ¥1500(各回共通チケット ¥2500)
申込&問:マーク・アイ 03-3464-0761
HPアドレス http://www.broad-web.com/mark/

■高山が自伝発売&記念トークライブ開催!
GHCヘビー級王者・高山善廣が初の自伝「身のほど知らず」を10月1日に発売することが決定! 高山の生い立ちから青春時代、サラリーマン経験やライフセーバーの思い出、そしてプロレス入門からマット界を縦横無尽に渡り歩き、トップに登り詰めるまでを高山独自の視点で書き貫いた興味深い1冊。出版に先立って、記念トークライブの開催が決定。当日は"高山節"がナマで聞けるほか、サイン入りで「身のほど知らず」が先行発売される!
日時:9月28日(土) 15:00〜
場所:六本木「GARDEN」東京都港区六本木3-13-12 エルサビルB1
03-3476-6969
料金:当日のみ1500円
問:東邦出版 03-5396-7100

■禅道会・横浜道場が練習生を募集中!

NPO法人日本武道空手道連盟・総合格闘技禅道会では、ただいま練習生を募集中。フィットネス、ダイエットからプロ志望まで幅広く対応。 バーリトゥードを打撃からアプローチしていき、だれでも安全で強くなれるように指導してくれる。フルコンタクト空手をやっていて柔術だけ練習したいという人もOK。指導員はその指導力(特に寝技)に定評のある大畑慶高指導員。一度見学を!
場所:東急東横線「綱島駅」徒歩4分
稽古日:月・火・金・土(火・土は禅道柔術)
会費:大人6800円/少年部4800円
入会金:大人10000円/少年部6000円
問:横浜事務局 045-591-1813

■バトラーツ再旗揚げ・6月9日後楽園大会がビデオ&DVDで発売!
バトラーツ・8カ月ぶりの復活興行となった、6月9日後楽園ホール大会『REBIRTH』が、ビデオ&DVDにて発売された。タイトルは『バトラーツ再戦第二章、開幕 REBIRTH』。後楽園での全試合はもちろん冬眠前、最後の大会となった10月26日沖縄大会をはじめとする、貴重な映像が収録されている。ビデオ・DVDともに115分で料金は4800円(税別)。問い合わせは バトラーツ 048-963-0005。また、HPでも受け付けている。
アドレスは
http://www.battlerts.jp/

■K-DOJOが無料メールマガジン配信開始!&K-DOJO 5期生募集!
毎週千葉のBlue Fieldで行われているCLUB-K500、2000、SUPERの出場予定選手や一部決定カード、K-DOJOミニ情報がチェックできる無料メールマガジンの配信がスタート! 配信希望者は以下の専用メールアドレスに空メールを送信すること。K-DOJOで受信確認をした時点で申込み受付完了となる。なお、このアドレスへ意見・質問の送信は禁止。問い合わせ等は下のyahooアドレス、または電話で直接K-DOJOへ問い合わせること。
専用アドレス
fromkaientaidojo@hotmail.com
K-DOJOでは11月スタートの5期生の募集を開始。身長、体重、年齢、経歴、性別、一切問わず! プロレスラーになりたいと思う、やる気のある人はK-DOJOへ! 詳細等の問い合わせはE-mailアドレスtakam69@yahoo.co.jp、またはK-DOJO事務所 043-214-6960まで!

■今月のジニアス情報
1993年10月22日・平和島公園で行われたセッド・ジニアス初プロデュース「伝説の平和島大会」の完全ノーカット版ビデオを5000円で特別発売。収録内容は、ジョージ高野VS高野俊二、ジニアスVSホーデス・ミン(ポイズン澤田JULIE)、ジニアスVS仲野信市with谷津嘉章(レフェリー・内藤恒仁)戦など盛りだくさん。購入希望者は、現金書留に代金・送料500円を同封の上、下記住所まで。郵便為替でもOK!!
〒164-0003 東京都中野区東中野4-4-5-311 渡辺事務所
"悲しき天才"サービス」係宛

大会★GUIDE

>>>UFC・ライト級王座決定トーナメントに宇野薫参戦決定!!

アメリカ・コネチカット州で行われる『UFC39』に、5度目のUFC参戦となる宇野薫が登場! ライト級王座決定トーナメントに参戦する。日本人選手がUFC王座のベルトを手にしたことは未だかつてない。待望の日本人初のUFC王座獲得なるか!? そして、前ヘビー級王者のランディー・クートゥアーと、TKを破ったリコ・ロドリゲスがヘビー級タイトルマッチを行う。こちらにも大注目だ!!

UFC39『The Warriors Return』
★9月27日(金)
アメリカ、コネチカット州 アンキャスビル、モヒガンサン・アリーナ
《決定済みカード》
★UFCヘビー級タイトルマッチ
ランディー・クートゥアー VS リコ・ロドリゲス
★UFCライト級王座決定トーナメント1回戦
宇野薫 VS ディン・トーマス/BJペン VS マット・セラ
★UFCミドル級3ラウンド
フィル・バローニ VS ディブ・メネー
★UFCヘビー級3ラウンド
ペドロ・ヒーゾ VS ガン・マックギー
WOWOWでは、9月29日(日)16:00〜18:00にこの大会の模様を放送する!
WOWOW(BS-5ch BS-Digital 191ch)解説は中井祐樹、ゲストは須藤元気だ!

>>>みちのくプロレス、大田区体育館でビッグマッチ開催!!

みちプロが、この秋大勝負に出る!! 10月5日鹿島台町で開幕し、10月20日青森で優勝戦を争う恒例のタッグリーグ戦「みちのくふたり旅2002」に続き、11月8日、東京・大田区体育館でビッグマッチを行う。
当初予定していた両国国技館大会は来年に延期し、今年最後の東京大会で弾みをつけてから両国へ向かうことになった。キミもこの秋は、みちプロに大田夢(オータム)を見ろ!! 詳細は下記の通り。

『みちプロ大好き3〜謝謝〜』
★11月8日(金)
東京・大田区体育館
試合開始18:00
★入場料金:
最前列(特製グッズつき)10000円
特別リングサイド7000円
1F指定席5000円
2F最前列6000円
2F指定席4000円
2F自由席3000円(当日3500円)
※9/16(月)より各プレイガイドにて発売中!!
★問:みちのくプロレス
TEL.019-626-1333(代)

スクール★GUIDE

>>>堀辺先生の講演会「祖国を忘れし者に告ぐ」!!

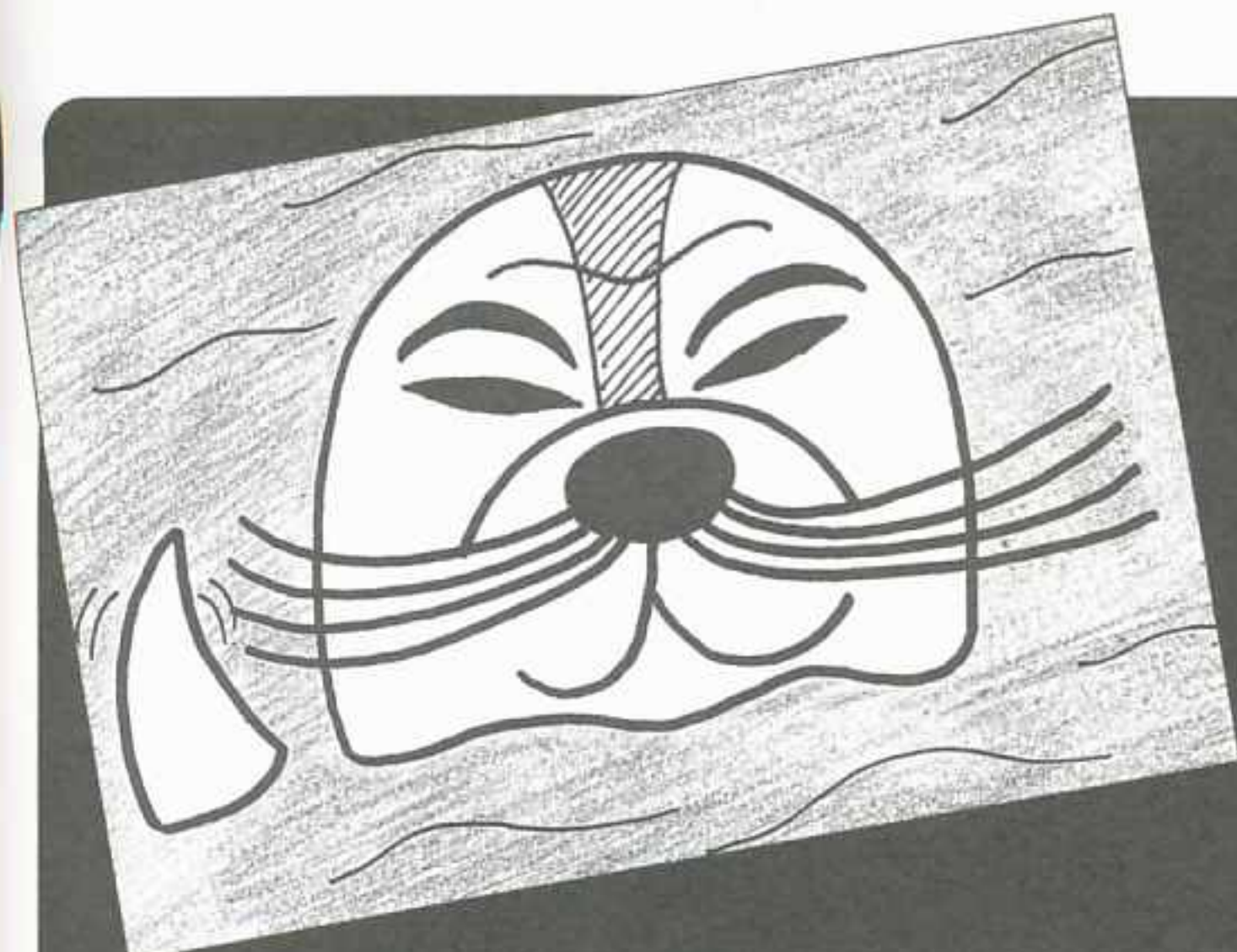
格闘技界の哲人こと堀辺正史創始師範。

「祖国を忘れし者に告ぐ」と銘打たれた講演会は、歴史の真実を武士道という観点から分析し、戦前と戦後で分断されてしまった歴史を繋ぎ合わせ、真の日本人像を探るという目的で開催されている。参加費は無料で、一般の人も多数参加している。これを聞かずに日本の歴史、そして未来は語れない!! 「日本人とは何者なのか」ということに興味のある人は、ゼヒ参加してみよう。

★開催日:毎月第4日曜日(次回は11月24日)
★時間:13:00〜15:00
★場所:骨法武術館(JR東中野駅前)
★参加費:無料。参加希望の方は日本武道傳骨法會まで問い合わせること。〈予約制〉
★問:日本武道傳骨法會事務局
03-3362-0010
★HPアドレス
http://www9.big.or.jp/˜koppo/

タマちゃんは何処へ行く!?　秋が来ても続く読者ページ

紙プロ元気大学

元気ですかーッ!!（普通が一番）5回目を迎えた読者ページ『紙プロ元気大学』。担当は電気部のささきぃです。いつもいつもたくさんのハガキありがとうございます……と言いたいところですが、前号発売日が遅れたせいか、ちょっとハガキが減ったように思います。しっかりして下さい（誰が?）。そんな中でも変わらぬペースで送ってくれる常連さんありがとう。はじめての方もよろしくお願いします。夏の興行ラッシュが終わっても、闘いは続くのです。それでは始めましょう。ん〜ッ、ダイナマイッ!!

（青森県・青木雄大）
「ああ……、タマちゃんも鶴見川から出てっちゃいましたね。タムちゃん同様……」。➡確かに寂しいですが、タマちゃんもタムちゃんも、広い海で大きく泳いでくれればファンにはそれが何よりです。うまいことを言ってみました。

校内巡回

【面白かった記事】

◎スティーブ・コリノインタビュー◎
★意外と普通の人でびっくりしました。
（群馬県・樋口美由紀・24歳・サラリーマン）
⬇私は、コービィが可愛いのでびっくりしてしまいました。

◎マット・ガファリインタビュー◎
★6週間、必死に練習していたそうですが、内容が気になりました。ぼくの予想では、1日のほとんどを食事に費やしていたと思う。小鉄さんに「食べるのも食事だ！」「のどまで食え！」と言われたのでしょうか。
（兵庫県・河合健治・33歳）
⬇ハガキを読んでいると、ガファリ最高！って人と、あんなの呼んでくるな！　って人と、意見が両極端で面白いです。

◎紙プロ元気大学◎
★開いたら自分の書いたおたよりが無断で載っていて嬉しかったです。紙プロの真の読者になれたような気がいたしました。この夏一番の思い出になりました。ありがとうございました。
（埼玉県・山口杏奈・25歳・鍼灸師）
⬇プレゼント目当てでアンケートハガキにうっかり面白いことを書くと、無断で載っけられてしまいます。恐ろしいコーナーなんです。思い出になったなら良かった……のかなぁ。

【つまらなかった記事】

◎表紙◎
★テーブルの上に置いてある今月号の表紙を見る度に、「サ、サクラバァァ……」と涙しそうになるから。
（大阪府・三宅徳仁・27歳・風俗店店員）
⬇悲しい時は、思う存分泣いたほうがいいです。桜庭ファンになら、私も男らしく肩を貸してあげます。

◎ダイナマイト大予想◎
★山口さんが全部はずしたから。
（広島県・πr純情・22歳・予備校生）
⬇あ、本当だ。でも吉田さんも全部はずしてますよ。

★つまらない記事と言うより、8月28日発売なんて『紙プロ』、ひどくねーっか?
（東京都・広岡平仙・イカめし製造販売）
⬇ごもっともです。私も先月末は相当数の発売日問い合わせ電話に答えました。アタリだと林ヘックション一枝さんが電話に出ますが、ハズレだと私か斉藤さんが出ます。

【8・8『LEGEND』の感想】

★試合を止められた時の村上のアクションが、いつも通りだったので安心した。
（大阪市・森下徹・20歳・学生）
⬇テロリストが安心されていてはまずいと思います。

★生観戦できなくてよかった。
（埼玉県・浅田太一・30歳・無職）
⬇でも、あの場にいたら相当自慢できると思いますよ。

★俺的には、中村千香のくちびるがよかったと思います。ぜひとも『紙プロ』でインタビューして下さい。
（千葉県・内野さとし・35歳・無職）
⬇私も真っ黒で長い髪とくちびるは確かにいいなぁと思いました。ジョーニーとも対称的だったし。

★実家で、オーちゃん好きの父、プロレスも格闘技も興味ない母、8・8行くか迷った夫と4人で観ました。父、夫、私は勿論、母までが何日間もガファリの事ばかり言っていました。「なんだあのデブは」と。興味ない人間にまで、強く印象を残したガファリがレジェンド。
（東京都・渡辺希望・27歳・主婦）
⬇私は、家族に「結局、誰が最強なんだ?」と、ものすごく難しい質問をされてしまいました。うまく答えられず、なんだか恥ずかしい気持ちになりました。

（福岡県・中島由香里）
➡ハガキにちょっと描かれていたのですが、かわいいので載せてしまいました。ほんとにこんな感じでしたね。

“紙プロ元気大学”調べ 好きなレスラー　人気ランキング!!

順位	レスラー
1位	高山善廣
1位	小川直也
3位	武藤敬司
4位	桜庭和志
5位	高阪剛

前回よりスタートしました『紙プロ』読者の選ぶ好きなレスラーベスト10!　マット界の動向に伴ってか、ランキングに変化が見られますね。ここ最近の大活躍に伴って高山がオーちゃんに並んでベスト1!　そしてみんな好きなのが当たり前になってしまって、あえて書かなくなってしまったのか破壊王がベスト5から外れてしまいました。代わってランキング入りしたのが、前号インタビューでのプロレス無知ぶりが好評だったTKこと高阪剛選手。次号からも続けますのでみなさん投票よろしくお願いします。そして同時に行っている嫌いなレスラーインタビュー。トップはこれまた名前を出せないあの人だったん邪〜（あれ?）。ランク外、要注目なのは高木三四郎の名前が多く挙がっていたことです。どうして今嫌われるのでしょうか?　『火祭り』の影響ですか?　ファイヤー!
（8/10〜9/16到着分調べ）

紙プロ53号・読者が選ぶ面白かった記事ベスト5

1位 マット・ガファリインタビュー
2位 紙プロスーパースター列伝／サムソン・クツワダインタビュー
3位 川村龍夫ガチンコ語録
4位 桜庭和志インタビュー
4位 高山&美濃輪対談　プロレスバカ一代

1位は『紙プロ』独占、マット・ガファリインタビュー。「ガファリには、いろいろ問いつめたいところだったので」「ZERO-ONE登場が楽しみ!」という感謝の声と同じくらい「あんなの載せるな」の声が。続いて年配の男性から強い支持をうけたサムソン・クツワダインタビュー。続いて一部業界内でも大好評だった川村社長語録。もう、汗びっしょりですよ。「『Dynamite!』が終わってから読むと、サクの負けず嫌いな発言に涙が出た」という桜庭インタビューと同列4位が高山&美濃輪という異色の顔合わせで実現した“プロレスバカ一代”対談。ベスト5以降は「井上さん最高!」の『Dynamite!』勝敗予想、小川直也インタビュー、クレイジーMAXインタビューと続きました。闘龍門有明大会の会場でけっこう『紙プロ』を持った人がいて嬉しかったです。

イラスト部掲示板

闇愚羅　辻結花
辻ちゃんに、中川画伯のイラスト贈呈!!

先月の富豪2夢路選手への贈呈に続き、今月9月1日、スマックガール会場では辻ちゃんこと辻結花選手へのイラスト贈呈が!　喜ぶ辻ちゃんの隣にいた、パンチパーマのおっさんこと大門まい子選手も「私も描いてほしいな」とリクエストしてたそうです。果たして中川画伯は描いてくれるのか!?　写真は撮れませんでしたが、会場に来ていた久保田有希選手への贈呈式（&中川画伯、サインをもらうの図）もありました。

中川画伯

（埼玉県・中川雅博）
「時間は腐る程あるのに画力と気力がなく正直すまんじゅう」。➡ジョー・ソルコフ（マレンコと書かないところはこだわりですか？）&ボブさんことボブ・サップ。相変わらずスランプらしい画伯ですが「中川くんに、またサクちゃん（出来れば豊永稔くん&松井もセットで！）を描いてほしい！」というリクエスト（東京都・ゆみこさんより）もありましたよ。私は石原美和子選手を描いて欲しいです。

青木雄大

（青森県・青木雄大）
「ダースベイダー」の曲で入場してきたガファリだったが、体型的にはどう見てもジャバ・ザ・ハットだった」。⬇絵といいネタといい、激笑したのですが、試合をした小川選手の気持ちを思うと少し複雑になりました。でもやっぱ面白いや。

（青森県・青木雄大）
「『仕事だろっ!』ってことでしょうが、そんな『仕事』はいりません!」。➡同性なので、コメントしにくいっす。某増刊の表紙にも「戦慄のヌード」ってコピーが打ってあったのですが、あんまり女性のヌードに対して言う言い方じゃないのが気になりました。

（青森県・青木雄大）
「自分自身の話なんですけどね、身のまわりで大変なことばっかり起こって、もうヘトヘトですよ」。➡おや。いろいろあるとは思いますが、負けないように頑張って下さい（9月8日の田村風）。テーマイラスト（ですよね?）ありがとうございます。

（青森県・青木雄大）
「健介にはまた出会い頭のラリアットをやってもらいたい。ギャグは重ねて行かないと（笑）」。➡なんと、パンクラスマットで実現!?　の鈴木みのるvs佐々木健介戦。ごっつい楽しみです。

（埼玉県・小川徹）
⬇今月号に堂々登場のゴールドバーグ様！圧倒的に強くて、かっちょよかったです。

（東京都・いしどやじゅん）
➡先月の入稿直後に届いたので、載っけられなかったハガキです。黒使無双を初めて見たときはドキドキしたなぁ。似てて手が込んでてステキ。また送って下さいね。

（東京都・いしどやじゅん）
➡テーマイラストありがとうございます。ていねいかつ爽やかでいいですね。蝶野の金髪はいつまで続くのでしょうか。

★衣料部・Tシャツ★自慢コーナー!!

（静岡県・目ガ覚メタロウ）
➡右は前号スペースがなくて載せらんなかったガスパーTシャツ、そして下はU.F.OTシャツ!!「私の希望で中川画伯より『全てガチンコでいきたいTシャツ』をいただきました。出来映えなんか、すっごいですもんね。もう、汗びっしょりですよ。よく冷静に着られたなぁと。有り難う御座います。それでは裏口から失礼します」。「ほんとにジョーク」で採用されると、希望のTシャツを作ってもらえますが、じつは結構競争率は高いです。Tシャツハンター・目ガ覚メタロウ氏は、あのレベルのハガキを毎月10枚以上送ってきます（本当）。いつもありがとー。一度や二度のボツにめげずに、まずは投稿してみよう！

DEEPなお便り・投稿大募集!!

（愛知県・たっつぁん）⬇『Dynamite!』どころか、『DEEP』もそうですが、川村社長がいたから『LEGEND』は特別。

アンケートハガキ以外にも、『LEGEND』や『Dynamite!』の長文の感想など、送ってくれた皆さん、どうもありがとー。面白く読みました。載っけられなくてゴメンなさい。長文おたよりコーナー作りましょうか。その他、普通のおたより、イラスト、ツーショット写真、編集部への質問、本誌へのご意見ご感想その他の宛先は、メールは radical@kamipro.com
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3・11・3・702
（株）ダブルクロス　紙のプロレスRADICAL編集部
紙プロ元気大学「どうしたらいいスかね!?」係まで。

（本名NGの方はペンネームを記入するのを忘れないよーに！　プレゼントコーナーあてのハガキも、内容によっては無断でこっちに載ってしまいます。匿名希望の人はその旨明記のこと）

!!今月のタレコミ部!!

⬇週刊プロレス別冊の「アメリカーナ02'アテテュード」の読者コーナーに載っていたハガキですが、あからさまに『紙プロ』No.50の、たっつぁんのイラストにそっくりです。ていうか同じ。一宮章一レベルまでいけばさすがですが、単なるパクリはやめましょう。このハガキを出した主は、女なら坊主、男ならモヒカンにして深く反省してください。証拠写真を送ってくれたら許します。ウチにも投稿してください。

ひとりでも

(株)ダブルクロス・IT事業部改め 電気部のページ

電気ですか〜〜ッ!!

2月から始動した"IT事業部"は現在「電気部」として活動中です。仕事は主に携帯サイト「紙プロHand」の更新、「紙のプロレスRADICAL」公式HP発表！　さらにその先の極秘プロジェクトにむけての活動を主にしていますが、編集部のお手伝いとして読者ページやその他のページの作成もしたりしています。そんなひとり電気部・ささきぃは、今月は連日連日真夏の興行ラッシュに行きまくりでした。こんな感じで仕事してます。

8月28日（木）編集部→国立競技場→編集部

ん〜っ、ダイナマイッ！　国立競技場は、会社から歩いて行けて大変便利。桜庭和志復活の日に、光に当たると髪がオレンジに見えるように染めて行ったが、だれにも気付かれず。第一よく考えてみたら試合は夜からだった。もちろんこの大会は『紙プロHand』で速報。
高い空の下にいるのは気持ちがいい。お祭りという言葉がふさわしい、とてもいい興行だったが、最後の最後に、史上最高のバッドエンディングが待ちかまえていた。桜庭和志、ドクター・ストップ負け。身体能力がバツグンにすぐれた2人の、最高に面白い試合が思いもよらないケガで中断させられた。子供だって、面白い遊びを途中で止めさせられたら泣くだろう。大好きな選手の試合が、途中でぷっつり切られたショックと、思い入れが宙に浮いたまま戻らないふわふわした気持ちが、あれからもずっと残っている。

8月29日（金）編集部

前日遅かったので会社泊まりで仕事。早速、昨日の『Dynamite！』について問い合わせの電話がかかってくる。「吉田×ホイス、どの新聞も失神ＫＯとか書いてあるけど、あれはどうなんですか？」。「それは各新聞の人に聞いて下さい」と返すが、納得していただけない様子なので、レフェリーの出した決まり手が、"失神KO"だったんですよ、と話す。どうでもいいけど下が主催者側から当日出された正式な試合結果。

第　7　試　合　（国立競技場・2002/8/28）

吉田　秀彦　VSホイス・グレイシー

1　R　7　分　24　秒

決まり手

失神KO

ルールディレクター/

電話をかけてきた人は、自分も柔道をやっていたそうだ。ああいう形で落ちることはないのではないかと言う。グレイシー側も抗議をしているので、どうなるかわかりません、などと話をしているうちに、なんとうちの読者ではないとカミングアウトされる。こういうことは『紙のプロレス』という雑誌が詳しい、と友人から教わったそうだ。教えるほうも教えるほうである。こうして話をしたんだから絶対買って下さいと念を押して電話を切る。

8月30日（金）編集部→日本武道館

速報をしに全日本武道館２連戦１日目へ。ゴールドバーグの存在感と、強さは見る者を唖然とさせるものがあった。カシン劇場は、報道陣の数が異様に多かった。「おい東スポ。ジャーマンをやらない中西は、立たないＡＶ男優みたいなものだって書いてやがったけど、ＡＶ男優に失礼だ。中西は知的なんだ。これからはちゃんと、"知的な"中西と書け。中西のようなヤツのことをな、青森では"もつけ"と言うんだ」。"もつけ"とは、"どうしようもないバカ"という意味らしい。

8月31日（土）編集部→後楽園→編集部

ZERO-ONEファン感謝デー「ゼロ中祭り」へ。「ファン感謝デー」という言葉では勿体ない、日本人だけの超豪華カード揃いだった。第４試合は、日高郁人＆坂田亘組vs星川尚浩＆小笠原和彦の激突！　小笠原和彦と坂田亘は、同じリングに立っているだけでも面白い。「こんなカードやっちゃっていいのかよ〜」という、興奮しきったファンの声が聞こえた。小笠原の道着をはがした坂田、それで顔を隠して殴る蹴る、さらには帯で首を絞める。どこであんなやり方を習ったのだろう。そんな試合を中断させたのが士道館の小林昭男選手の殴り込み。何が起きたのかと思った。試合はノーコンテスト。高岩竜一がリングに登場して「ちゃんと試合しろよ、コラ！」と、諭すようにマイクするも、かえって火に油をそそぎ、大乱闘に。
「（坂田に対して）くそ若僧が。あいつが赤ちゃんの時からこっちは試合に出てるんだ。行きすぎと調子乗りすぎ。あいつとは、試合じゃない。"死"合ですよ。絶対殺す」。小笠原先生のボキャブラリーは、ひとつひとつ素晴らしくて感心する。試合結果アップの後、会社に戻って詳報を書く。

9月1日（日）
編集部→ディファ有明→編集部

スマックガールへ。ゆりかもめ有明駅から、ディファ有明への道を聞かれたので一緒に行く。どういうつながりで見に行く人なのだろう？　と考えさせられるような、ママさんという年代の人だったので、スマックもいろんな人が見に来るようになったのだな、と思う。話をしていたらなんと選手だったということが判明。うかつな対応をしなくて良かった。
スマックガールで女の子が闘う姿は、いつもこちらに「頑張らなくちゃな」と思わせる。会社に戻って詳報をアップ。

ディファ有明にいたターザン山本さん（葛飾区在住）とささきぃ

これがターザンバッチだ！

9月2日（月）編集部→後楽園→編集部

イプシロンさんとの打ち合わせの後、バトラーツへ。大きな光ではないけれど、バトラーツの光は今でも光り続けている。この日"里帰り参戦"した田中稔は、バト時代の古い紫のコスチュームとレガース、バトの飼い猫・"ガッチリ"のＴシャツで登場。入場時にはたくさんの紙テープが飛んだ。田中は「もう、これが最後の参戦になるかもしれないけど、社長にはこの、バトラーツの古くさいレスリングのプロレスを守り続けて欲しい。何でも協力したい」と、日高のバチバチの闘いを受けた体をさすりながら話し「ボクの話なんか聞いてないで、試合を見てあげてください」と、報道陣を送り出していた。
試合結果を会場でアップし、会社に戻って詳報をアップ。

9月3〜6日

夏休み。礼文島へ。日本は、結構広い。いろいろな人と出会った。

9月7日（土）礼文島→稚内→有明コロシアム

礼文島→稚内から飛行機で羽田へ、そのまま有明コロシアムへ。試合はどれも面白かったが、三島☆ド根性ノ助選手の強さ（＆男前ぶり）に心から感心。編集長とは言わないまでも、編集部に入ってもらうべきだっただろうかと考える（53号の読者ページ参照）。田村潔司×美濃輪育久のメイン終了後、『ＵＷＦのテーマ』が流れる。同じ曲なのに、ヘンゾ戦の時とは違う曲のように思えた。私が変わっただけなのだろうか。私はこの曲に思い入れを持てていない人間だけど、それでもそんなことを考えた。この曲に青春をかけた人達は、どんな思いで今過ごしているのだろう。

9月8日（日）編集部→有明コロシアム

闘龍門を見に有明コロシアムへ。マグナムＴＯＫＹＯのマイクが波紋を呼んでいるようだが、そんなことも言いたくなるだろうな、と思うくらい試合はいつも面白い。マグナムの入場の時、客席にいたアルシオンの選手たちが立ち上がって踊っていた。試合結果および詳報アップ。

9月9日〜13日

ふと気が付くと、もう本誌の〆切がすぐそこに。魔界倶楽部の動向にいちいち驚き、会見に行ってニュースを上げながら、『紙プロ』本誌の仕事をする。

9月14日（土）

直接スマックガールの会見へ。ライト級・ミドル級トーナメントの組み合わせ抽選会が行われた。会見場に並んでいる選手にひとり見覚えのある人が。９月１日のスマックの時、会場への道を教えた女性が、ママさん格闘家・川江礼子選手だった。世界はせまい。うかつな対応をしなくて本当に良かったと、あらためて思ったが、恐くもなった。

9月15日（日）

数日会社に泊まって仕事をしていたが、泊まっててもささきぃは床でグッスリ何時間も寝てしまっているので、家に帰ってもあまり差はないのではないか、と指摘される。

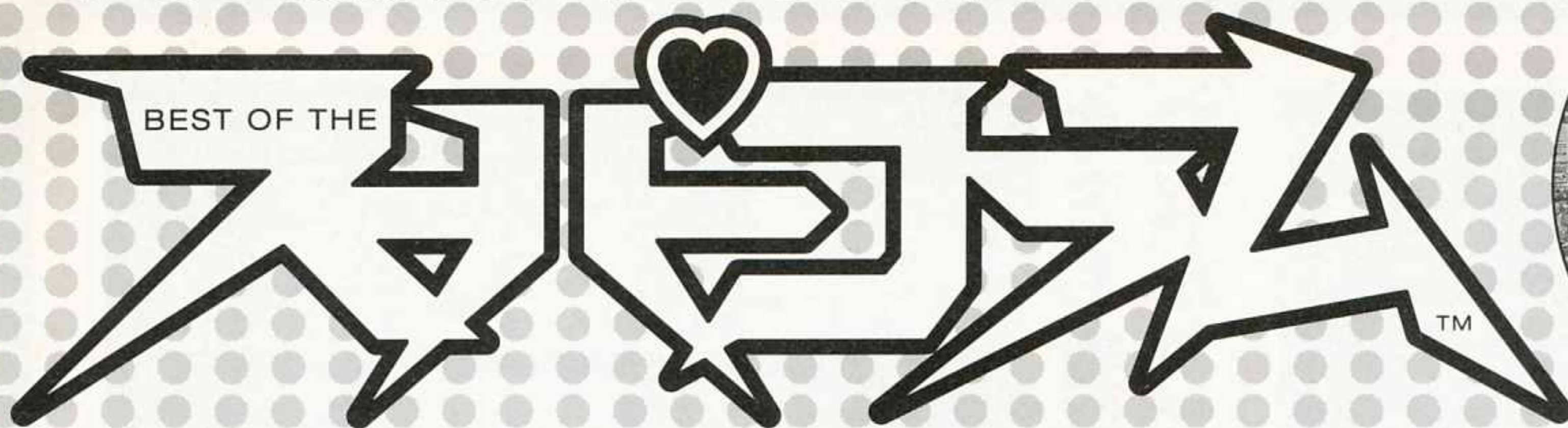
9月16日（祝）編集部→ディファ有明→編集部

ZERO-ONE有明大会へ。今月の『電気部日記』に載せる写真がなくて困っていたところで、会場でターザン山本さんを発見。休憩時に記念写真を撮る。『Dynamite！』でエリオ・グレイシーにも贈呈していたターザンバッチをもらった。エリオとおそろい。ありがとう山本さん。
仕事が思うように終わらなくて、気持ちがふさいでいたのだけど、ZERO-ONEはいつもハズレがなくて、必ず元気をくれる。そして、記事を書くときは、いつもいつもあれもこれも書きたいと苦しまされる。

『紙プロ』に入社して半年が過ぎますが、私はあいかわらず時間の使い方が上手くありません。こうして日記を書いているとそれをひしひしと感じます。ちょっとしたことですぐにヘコんだり怒ったりして時間を無駄にしています。それにしても魔界倶楽部です。村上和成まで入るとは思いませんでした。いまの新日本には、どこかへ向かっていく"疾走感"のようなものが感じられます。その"何かへ向かって動こうとする力"は、注目せずにはいられないものがあります。ただ、その疾走感で向かう先が良くわかりません。それも含めて見ずにはいられません。がんばれ、新日本隊！

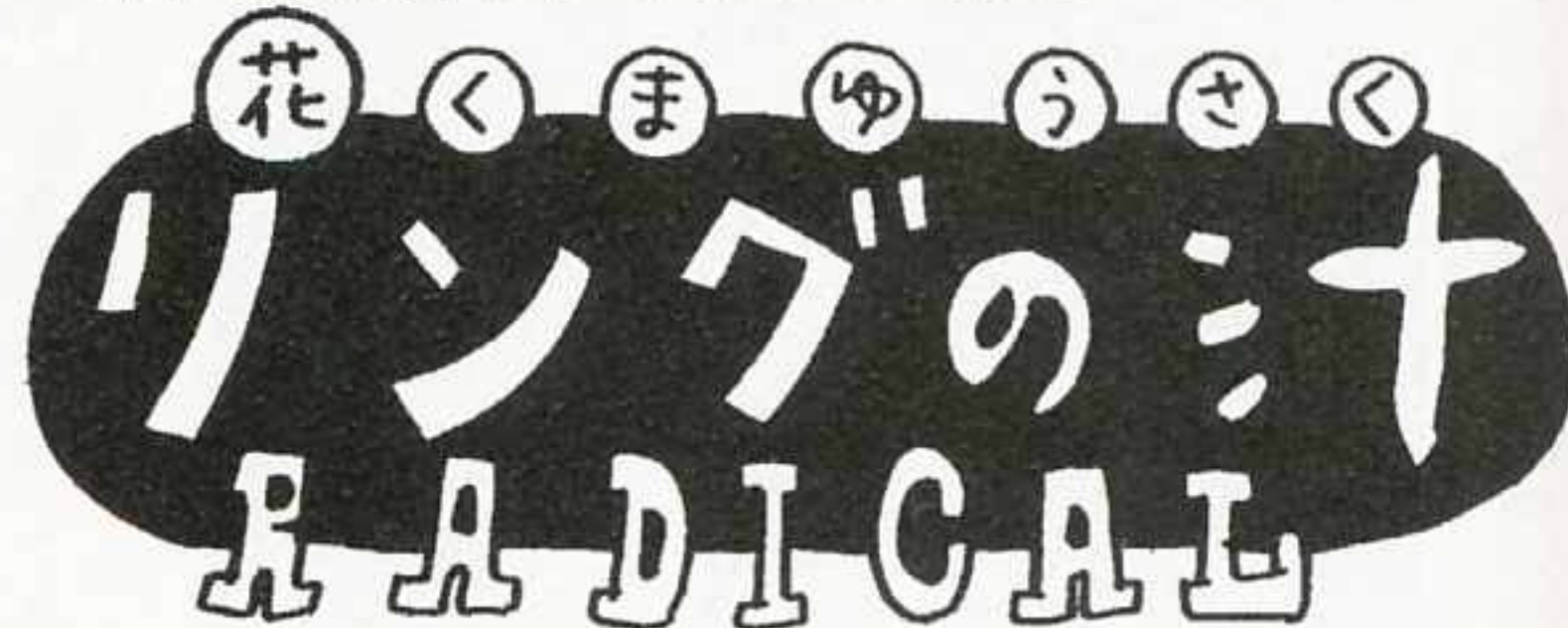
ジョシュは誠軍団1号のことまで知っていた!!!!

BEST OF THE

マニアも納得!!

映画バイオハザードをもう一度見たくなるのはミラの脱ぎっぷりがいいから

花くまゆうさく

リングの汁 RADICAL

ジョシュ

せ〜の、Dynamite!（鮎川誠風に）。

ホイスが落ちたかどうかは、左側から見るのと右側からとじゃだいぶ印象が違うのでわからないが、ただひとつハッキリわかるのは海の向こうでイズマイウが「キィィー」と地団駄踏んでいるであろうということ。「キィィー、俺様のほうが吉田より速いタイムでキッチリとホイスを絞め落としてるじょーー!」、次に日本に来た時イズマイウが吠えるのが目に浮かぶ（待切れず成田についたら即に）。そしてその様子はマスコミに無視される図も。あと、猪木がロス道場に顔出すと、さっそく自分のホイス戦の記事のスクラップを見せて熱心に説明することでしょう。そしてそれをめんどくさそうに聞き流す猪木。その図は映画トラック野郎で、桃次郎にゴマをする玉三郎（せんだみつお）だ。必要以上に画面に映ろうとするとこ、見た目の体型、まつげパッチシなとこ、まわりから邪魔者扱いされる空気……イズマイウのせんだみつお化は進む。

大会前に『東スポ』がよく煽ってた吉田の秘密兵器技〝ヨシロック〟って、あれはやっぱ小室選手の〝コムロック〟そのまんまなのかな？　大会前の番宣で吉田選手が高阪選手に、肩固めと袖車の合体技（これも小室選手の得意技）を極めてたの見てその思い（ヨシロック＝コムロック？）は強くなり、本番で吉田はコムロックか袖車で来るなと予想（こう思ったマニアは日本に180人ぐらいはいたでしょう）。ホイスがガード取っても体力の違いがあるので、吉田はおかまいなしに上を抱いて袖車してくるなと（小室vsヤノタクのように）。

そして本番。意外だったのは、足関の取り合いになったこと。ホイスが、足関十段・今成選手のようにヒールやアンクルホールドうまかったら、スポーツ会館のアキレス大王・大久保さんのようにアキレス腱固めの使い手だったら、あれだけのビッグイベントで柔道金メダリストから足関取れる大チャンスが目の前にあったのに。あんな大チャンスは人生に一度きりなのかな。スバーン戦の三角絞めのときに、ホイスはそのチャンスを使ってしまったのかしら。あの三角はカタルシスあったなあ。

今回の大カタルシスは、やっぱ大ノゲイラの腕十字。あきらめずに闘い続けた姿に感動、大ノゲイラ最高です。そして前から痛感してたけど『週プロ』佐藤編集長は最低です。プロレスファンのダメなところが合体していびつにふくれあがってる。

他に印象的だったのが、試合前の顔がすでに泣き顔だったロイド・ヴァン・ダム。いきなりマスター・イシイから呼び出され、わけもわからず来てみたら、9万人の前でバーリトゥード大会がやっていて、「えっ？オレこれに出るの？相手だれ？えっ剛力!?」と戸惑う間もなく、ハーリックに「いいからいってこい！」とひっぱたかれる。そんなやりとりを一瞬にして想像させる泣き顔でした。

そして試合。グットリッジに殴られる姿から「聞いてないヨ〜」とダチョウギャグを叫ぶヴァン・ダムの心の声が幻聴で聞こえました。ほんとかわいそうだった。この日は、桜庭とホイスがかわいそうと言われがちですが、一番かわいそうだったのは、このロイド・ヴァン・ダムだったのではないでしょうか。

この大会を成功させた石井館長や世間の注目を浴びた吉田秀彦に対し、猪木の負けず嫌いがますます膨張しそう。家庭の中で、おじいちゃんが暴走し家族に迷惑かけることがありますが、新日を引っかき回すのはいいけど格闘技のほうへ迷惑かけないでね。さも自分がこの世界の親玉のように「吉田、道衣脱げ」と言ったものの、即座に遠慮なくキッパリと吉田に「脱ぎません」と言われてしまい、「勝手にしろ！」とすねる猪木、このやりとりは面白かったけど。

『DEEP』でのヤノタクのキカイダースパッツは、ジョシュ・バーネットのアンテナにひっかかったのかな？　それにしても三島選手強くて一安心。長引いたらスタミナや根性は伊藤選手のがありそうなので（理不尽な新弟子経験を通過してきたので）、心配でした。完敗したのに即再戦をアピールする伊藤を鈴木みのるがひっぱたいて止めさせれば、株が上がったのにと思いました。藤原組長なら、そうしてたと想像した。

佐伯社長におねがい、そろそろインパクトあるいいとこで今成出陣たのみます！　名古屋の大将・岩間朝美も本戦へ。

松野さん

叶姉妹

世界がひとつに

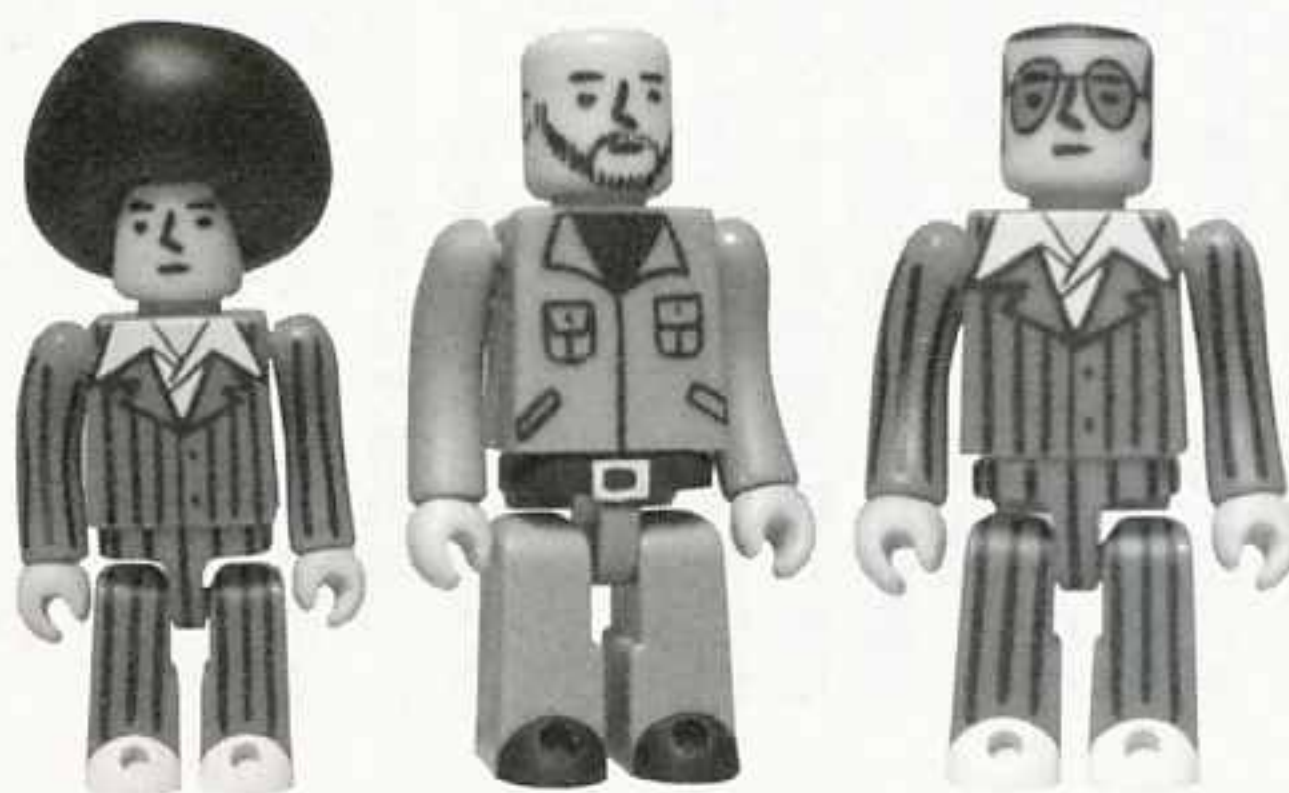
吉田vsホイス戦前

まだ道衣をつかむクセがあるから

キッパリ

吉田はあぶない！

この試合ジャケットマッチなんですが…

全国でみんながつっこんだ。

はなくま・ゆうさく■
遅れていた単行本「青いオトコ汁」は10月か11月か？

男道コーチ屋稼業・掟ポルシェ（ロマンポルシェ。）の 業☆勝ちます

『潜入！ 横田基地』の巻

キミも女子レスラーと手錠につながれてみないか？

もちろん、お店には女子プロレスラー＆女子格闘家以外にも、可愛い娘からレスラーよりも遥かにビッグな女性（ちなみに身長180cm以上！）もいます。

9月10日に行われたレセプションには『レディゴン』でお馴染みの原記者の姿も。この日は女子プロの坂井澄江、藪下めぐみ、KAZUKI等が接客してくれた。女子プロファンのキミ！ 行かなきゃ損するぞ！

ある日突然、武田久美子の股ぐらについた貝殻の裏にはインカ帝国の財宝の在処が書かれているから早くめくって頂戴だの、今度小林捻持とマイケル・ジャクソンが義兄弟の盃を交わすからドレスアップして30万円持ってお近くの吉野屋にハーレーで突っ込んで下さいだのいう怪FAXが来て、知らん間にFAXの紙が切れてしまっているなんていうのはよくある話。部屋中に細長い白い紙物体が何重にも重なり、山城新伍をお見立てゲストに招いた大B反物市の様相。歩く踏み場もないほど毎日毎日FAXFAXFAXFAXFAXで読む気も一切失せてくる。仕方がないので排便後に尻を拭く紙として柔らかく揉んで代用していたのだが、肛門にあてがおうとしたその紙に書かれている文字をが一瞬目に止まり改めて読んでみて絶句。

『お急ぎ下さい！ あと数日後に迫っています!!』

ふ〜ん、なにが？

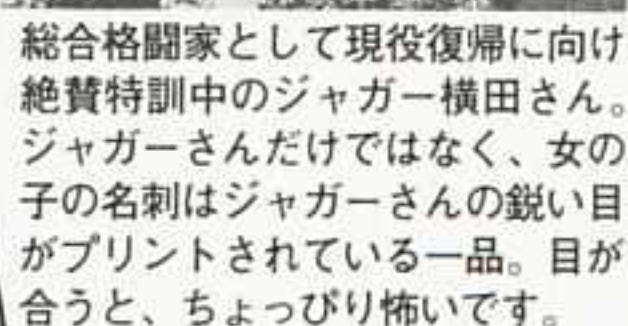
『女神たちが降臨するんです!!』

メガミ？ 隣のお姉さん？ ……それは八神康子か。お世話になったなぁ（しみじみ）。

『不滅の女帝、ジャガー横田プロデュースのコンセプトクラブ！ その名も……「横田基地」！ オープン!!』

うおおおおぉぉぉ!! 六本木の防衛庁そばにあるから『横田基地』！ ジャガー横田プロデュースだけに『横田基地』！ シンプルすぎて破壊力ありすぎのダジャレネーミングにしばし肛門からウンコが止まらなくなり宿便も一掃。これ以上感銘を受けると排便死してしまいかねないので念力で括約筋をキュキュッとしめて事なきを得た。てゆーか、ジャガーのコンセプトクラブって一体どういうことだ？ 入店と同時にジャンピングヒップアタック喰らったり、飲んでる最中に背後からスリーパーかけられてオトされたり、一晩中ジャガーの持ち歌『愛のジャガー』をエンドレスでジャガーとカラオケデュエットさせられたりするところなのだろうか？ 楽しそ〜う！

あれこれ妄想しても俺が楽しいだけで意味がないので、一体どんな店なのか、FAXで送られてきたプレスリリースから引用してみよう。

『崩れ行く終身雇用制、出口の見えないトンネルに入り込んだ日本経済、真っ黒けの金権政治、世知辛い世の中に溢れ出さんばかりの疲れ切った男たち、そんな男性を癒すことが出来るのは、やはり女性しかいません。しかし、ただの女性ではダメなのです。そう、今求められているのは強い女性なのです。従来、女性は男性よりも精神的に遥かに強いのです。ならば、肉体的にも男性をしのぐ女性はいかがなものか？ そこでそんな特別なスペースを世の男性諸君に提供すべく、コンセプトクラブ「横田基地」のオープンと相成りました。エレガントな女性スタッフに加え、格闘華ジャガー横田選手をはじめとする、肉体的にも男性をしのぐ女性が多数在籍。コンセプトは格闘技と美の競演です！ 綺麗どころに囲まれて飲むも良し、辛い悩みを聞いてもらいながら強い女に癒されるも良し、とにかく、今、頑張らなきゃならない男

性諸君に精神的な欲求のクラブオンデマンドがコンセプトクラブ「横田基地」なのです。』

……はて、コレを読んだだけで皆さんはどんなことをする店なのかおわかりいただけただろうか。手軽な価格で赤ちゃんプレイを楽しめる幼児プレイの価格破壊店？　ということはジャガーはみんなのお母さん？じゃあ父兄参観日にはジャガーが来てくれるの？　先生の質問に答えられなかったときには家に帰ってから「手を挙げてなかったのアンタだけだったよ！　お母さん、大層恥ずかしかったよ！」といって家庭内ドロップキックとかして癒してくれるの？それっていいかも！　……ただし60分1万円前後という料金設定では幼児プレイをするにしては安すぎるから多分違うだろう。その他のシステムは『常時15～20人の女性スタッフが出勤、そのうち5～10人は女子格闘技関係者』だとか『ご指名の子と手錠で繋がれます』だとかかなりM心をくすぐる文句ばかりが並んでいる。やはり女子プロ系SMクラブなのか？　ということはグ●ズリー●本も当然在籍？　シューティンググローブをはめたジャガーやグリ●リーにドツカれて死ねるなら変態冥利に尽きるというもの！　今日こそ本当に撲殺死されてしまうかも知れない！　お母さん、先立つ不幸をお許し下さい！　そう思えばこそ、おのれのヘソ下で飼っているオットセイマカピン棒がかなり立派にコッチコチ。選ばれし者の恍惚と不安と遺書を胸にしたためて防衛庁の向かい側の路地へと侵入していったのだった。

まず店の前にイヤでも目に付くジャガー横田の1／2スケールの全身写真がギラギラとこちらをニラみ付けた『横田基地』のド迫力な看板発見！　そうかぁ、この人が俺をこの世から消してくれる運命の人なのかぁ……としばし路上でウットリしてさんざん自分を追い込むだけ追い込んでもったいぶって入店したのだった。Let's死亡遊技！

で、いざ入ってみたらですよ、これが普通の小綺麗な、いわゆる『クラブ』（発音が尻上がりでない方）……。三角木馬は何処!?　大五郎サイズの4リットル酢酸浣腸は何処!?　死を意識する気マンマンなんだからサービスとして早く耳ぐらい削いで下さいよォオォ！

「何を訳の分からないことをボヤいてんだよこのド変態！　勝手にSMクラブと誤解しないでくれる？」

あ！　噂をすれば不滅の女帝プロデューサーことジャガー横田さんじゃないですか！　やっと巡り会えましたね！　さぁ、サッサと俺の目ン玉と金ン玉同時にくり抜いてジャグリングしてみせて下さいよ！

「だからそういう怖い店だと思われると本当に困るって！　ここ、『横田基地』は女子プロレスラーや女子格闘家という強い女性に悩みを聞いてもらいながらお酒を飲んでくつろげるクラブなの。もちろん普通のクラブの女の子も在籍してるから、その日の気分でどっちと飲んでもいいっていうちょっと変わったコンセプトの店なんですよ」

イヤ、実は実際ジャガーさんの鋭い眼光にビビってしまい、俺も本当に今日死んでいいのかよくわからなかったところです！　ジャガーさん、命拾いしました！　ありがとうございました！　……お！　そういえば見渡せばUS ARMYの制服を着た坂井澄江選手や亜利弥'選手など錚々たる女子プロ選手＆格闘家の顔がチラホラ。絞め落としたり靭帯伸ばしたりしてもらえなくても女子プロ選手とプロレス話で盛り上がったり、普通のキャバ嬢さんたちとエロ話で盛り上がったり、こりゃあプロレス好きも格闘技好きもエロ好きもみんな大満足ですなぁ!!　俺もその日はしっとりと坂井選手の恋話を聞いた後でキャバ嬢にねちっこくセクハラトークして、近く格闘家としても再始動する予定で柔拳法と合気道を猛特訓中のジャガーさんに人生哲学を聞いてピリッとした気持ちで帰ってきました！　プロレスファンの来店は特に大歓迎ということなので、みんな！　黙ってジャガーについてこい！（そのジャガーじゃない）

ジャガー横田プロデュースのコンセプトクラブ。その名は『横田基地』!!

Concept Club
YOKOTA BASE
ROPPONGI
ジャガー　横田
JAGUAR YOKOTA
〒106-0032
東京都港区六本木7-9-3　クレスト六本木B1
Tel 03-5775-7114

総合格闘家として現役復帰に向け絶賛特訓中のジャガー横田さん。ジャガーさんだけではなく、女の子の名刺はジャガーさんの鋭い目がプリントされている一品。目が合うと、ちょっぴり怖いです。

Access Map
Concept Club
横田基地
〒106-0032
東京都港区六本木7-9-3
クレスト六本木B1F
至渋谷
至飯倉
至青山
至溜池
六本木通り
六本木交差点
外苑東通り
アマンド
誠志堂
ヴェルファーレ
アイビス
叙々苑
交番
大江戸線
六本木駅7番出口
TEL:03-5775-7114

『横田基地』は大江戸線の六本木駅から徒歩2分、六本木の交差点から全力疾走で同じく徒歩2分の所にある。みんなも乗り込め～！

おきて・ぽるしぇ■10月13日、広島県福山の巨大ゲーセン『PAMUSE』でロマンポルシェ。ライブ（予定）。詳細はよくわからないことだらけなのでテレビブロスとか読んで各自調査です！　押忍！（問）ミュージック・マイン03-5774-5509

ザ・検証

「ん～、ダイナマイッ!」っていうわけで、今回の『ザ・検証』は偶然か必然か、せき詩郎さんも椎名さんも『Dynamite!』の吉田ネタ。と、その時、編集部に島田レフェリーが。恐る恐る椎名さんの原稿を見せると、「ノー問題!　叩かれてナンボだから。レディー・ダイナマイッ!」と言ってました。正直ホッとしました。こっちは、もう汗びっしょりでしたよ。

今月の検証 by せき詩郎

吉田Tシャツ

吉田だとか周りのセコンドだとかがお揃いで着てたTシャツ。その背面に何やら書いてあった。

ティッシュの箱を枕にして寝ながらテレビ画面を見ていたのだが、自分とテレビの間にあるテーブルの上のペットボトルが邪魔になり、何が書いてあるのかがわからない。

一言二言ではないことはわかった。背中一面を使って長文が書いてある。いったい何が書いてあるのだろうか。気にはなるのだがペットボトルの位置をずらすためだけにわざわざ起き上がるのが面倒だ。こうなると断片的に見えるものから想像するしかない。

文字の書体の感じからすると『親父の小言』か？「朝きげんよくしろ」とか「亭主はたてろ」とかそういうことがたくさん書いてある手ぬぐいや湯のみを見かける。それに良く似ている。吉田はホイスにいきなり小言を言いたいのかったのか？　そんなわけはない。ならば『長寿の心得』だろうか。これまたお土産屋で売ってるようなやつ。「還暦・60歳でお迎えのきたときは只今留守と云へ」とか書いてあるに違いない。ホイスにいきなり長寿の秘訣を伝授するのか!?　確かに平均寿命ではブラジルを圧倒しているはずだ。その点でまずホイスより優位に立つという作戦だろうか。しかしそんな伝わりにくくてわかりづらいことをするだろうか。

全然関係ないのだが、先日行われたワールドカップで日本に来たサッカー選手がこの手の柄の手ぬぐいをお土産として買って帰った可能性は高い。まったく笑わずに黙々と練習をこなすカーンが休憩時に『健康十守』が書かれた手ぬぐいで汗を拭いているかもしれない。バンダナ代わりに『日常の五心』（ハイという素直な心、とか書いてるやつ）手ぬぐいをカーンが巻いて練習に集中しているかもしれない。イタリアの選手とかが巻いてる紐みたいなのも、良く見ると「卒寿・90歳でお迎いの来たときはそう急がずともよいと云へ」という部分の〝寿〟という文字が確認できるかもしれない。バイエルンのトイレに『親父の小言』が貼ってあってもなんら不思議ではないのだ。

そんなことより吉田だ。いったい何が書いてあるのだ？　もしかしたら魚へんの漢字がたくさん書いてあるのか？　歴代首相の似顔絵が書いてあるのか？　歴代横綱の似顔絵が書いてあるのか？　それとも今後の予定（○月○日新宿アンチノック、○月×日京都磔磔、×月○日京大西部講堂など）が書いてあるのか？　伝統ある京大西部講堂のステージで吉田はどんなパフォーマンスを見せてくれるのだろうか？　道着を客席に投げつける、道着を床に叩きつける、道着を燃やす、「30曲入りの2枚組アルバムを1枚だけ作って、世界中でナンバー1になって引退する。上手くいかなかったらその時も引退」と豪語し道着の腕の部分をナイフで切る……などなど、まったく吉田から目が離せない。

そんなことを考えているうちに、枕代わりのティッシュの箱が潰れてきた。すでに枕の意味をなさない状態だ。これだとテレビがまったく見えない。見えるのはテーブルの下の脱ぎ捨てた靴下だけ。仕方なく私は違う枕を探そうと体を起こす。

脱ぎっぱなしになっていた服を丸めて枕を作りあげた頃、吉田の試合が終わっていた。どうやら吉田が勝ったらしい。そのことよりも私ははじめてTシャツの前にイラストが描いてあることに気づく。何の絵かはわからない。きっとサザエさんとバカボンを足したようなキャラクターの絵か、それ以外であろう。

後日、あのTシャツには詩が書いてあったことを人に教えられた。どうやら「俺、頑張るよ！」みたいなことが書いてあったらしい。どうやら吉田は長寿にまったく関心がなかったようだ。

吉田が次に誰と対戦するのかはわからない。が、Tシャツに長寿の心得が書いてあったならその時は応援するとしよう。『ビー玉、ベーゴマ、風船ガムにニッキと、それからメンコとおはじきと、あ、そうそう竹とんぼ、やったわやった、懐かしいなあ』という詩が書いてあっても応援する。

※ちなみに吉田秀彦&セコンドの皆さんが着ていたTシャツに書かれていた、お言葉とは？……上の写真参照！

BEST OF THE スパコラム

今月の検証■■ by 椎名基樹

マリオ・スペーヒーに小鉄を見た！

「引っ込め、吉田！　引っ込め～！　それでも男か～！」

格闘技最大のイベント「ダイナマイト」のアリーナ席。ホイスvs吉田で、久々ブチ切れて、冒頭のように大絶叫した、俺。横はお相撲さん4人、うしろは893屋さん4人だったけど、まったく躊躇せず、というか我慢できず大絶叫。いっしょに行った友達は「お相撲さん、睨んでいたよ」って笑ってたけど、リングにゃ届きやしねえ。そりゃそうだよな10万人（の白痴）vs1人じゃ。

しかし、正しい者（グレイシー）が、多数決で悪者にされて、罵声を浴びせられるなんて、ホント胸が悪くなる。嫌なもの見たよ。ここは何時代のどこの国だ？　ナショナリズムの嫌な部分が、あの日の国立競技場には、露骨に出ちまいましたよ。キモイ！

でも、吉田は何であんなんで嬉しそうに笑ってられるワケ？　勝ったって胸が張れるんだ？　わかってんだろ？　スポーツマンとは思えないね。相手が落ちたかどうかぐらい。それとも、スポーツ柔道家じゃ、人落としたことないからよくわかんないってか？　サッカーのワールドカップの時も感じたけど、アマチュアスポーツのほうが爽やかぶってやるこたあ、まったくエグイったら、ありゃしねえな。試合前にエリオを表彰しちゃったりしてご機嫌とって、最初っからグレシー悪者にするつもりだったのかね。試合前もルール問題がどうのこうの、「吉田は頭部への蹴りは有効だと思っていたのに、ホイス側がクレイムつけた」とかなんとか、記事読んでもさっぱり意味わかんねえアングルでひっぱちゃってさ。それだって真に受けて言えば、なんでスタンドでの打撃がダメっていってるのに頭部への蹴りが有効なんだよ。吉田ってリングスファン？　素朴なブラジルじいさん、表彰されて目潤ませてたじゃねえか。可哀想過ぎるよ。

マニアぶるつもりもねえけど、10万人のアーパー格闘ファンに教えてやるからよく聞いとけ。VTにおいて絞め技は「落ちるか、落ちないか、タップするか」なんだよ。「あのまま絞め続けたら落ちていた」なんてありえないし、「身動き取れなかった」じゃなくて「落とすこともできないのに、絞め続けたら疲れるだけ」なんだよ。人に罵声浴びせる前に勉強してこい！　大体あれ袖車絞めの形になってなかっただろ？　「絞め技」にもなってないよ。もっともあの試合の裁定は（失神KO）なんだろ。だったら、問題なくミスジャッジじゃねえか。いくら頭が悪くても、まさか失神した奴（ホイス）が、すぐに立ち上がって、レフェリーに抗議できるとは思わないだろ？

結局どういう裁定になったのか、これ書いてる時点でわからないいんだけど、ノーコンテストにする以外どういう言い訳があるわけ？　失神してないのに失神したって判断しちゃったワケだからさ。と、なるとレフェリーの責任はどうなんだよ。そこで責任とらないじゃ、レフェリーの意味なんかねえじゃん。もう、スポーツにならねえだろ。高い金払って、もの凄い人数が見てるワケだからよ。聞けばあのレフェリー、あの島田っとこの人間だっていうじゃねえか。世紀の大一番でなんで見慣れない奴が裁いてんだと思ったらさ。今じゃ大ヒールの島田レフェリーじゃ、あの試合は裁けないよな。弟子に一体何教えてんだ？　あの島田とかいう人、『DEEP』の有明大会で俺の横に座って観戦してっから、聞き耳立ててれば「あの●●●●●はダメだ」とかブツブツ文句たれちゃって、本当最低だったよ。ダメなのはオメーだよ！　「もっと端っこ歩きなさいよ！」だよ。とにかく、ホイスvs吉田のレフェリーは、あの大一番をぶち壊した、それなりのペナルティーを課してしかるべきだろ。腹切れ！　腹！

試合見ただけもムカムカ嫌な気分だってのに、後で『すぽると』見れば、吉田選手ちゃん「人殺しになるのは嫌ですから」だってよ。カッコいいなあ、おい。人を絞め殺せるんだったら、今すぐ俺を絞め殺してくれよ。この金メダリストのブラックベルトのミツルTシャツさんよ！（本当は326と書くらしいのだが、書いているほうが恥ずかしくなるので）。

もっともあんな良くわからない試合を何試合しったて、小川同様、中途半端なスターにしかなれないと思えば、どうでもいいけどね。けど、小川ほど利口にゃ見えないけどねえ。「これからホイス選手とのライバルストリーが続くと思います」って、そんなこと自分で言ってりゃ世話ねえよ。でも、ホイスにゃもう勝ったんだからやらなくていいよ。次はシウバとやってくれよ。それが嫌ならニンジャとやってよ。ヘンダーソンでもいいよ。それでも嫌なら、いっこ下のマット・ヒューズでもいいよ。それでも嫌なら、もういっこ下の小ノゲイラでも、ジョン・ホーキでもいいよ。とにかく、やってくれよ。まだまだ、いい選手はたくさんいます、プロ格闘家として、吉田選手、頑張って～！　ケッ！

ということで本題。今、格闘界で俺の心をとらえて離さない気になって仕方ない男がいる。それは、マリオ・スペーヒーだ！　あの潤んだ瞳、あの笑顔！　そのスペーヒーがノゲイラvsサップの今年のベストバウト間違いなし（マジで鳥肌たった。これぞ柔よく剛を制す！）の試合後、いつの間にか上半身裸になって、リング内になだれ込んだ時「あっ小鉄だ！」と思ったのは、俺だけではないハズだ。火事場に際して、いつの間にか上半身裸になって目立ってしまうのは、正に小鉄の真骨頂。猪木軍入りした、マリオがいつどこで小鉄イズムまで注入されたのか？　あの上半身裸になってしまうメンタリティーの裏には、何かある（多分、下半身の）と俺は睨んでいるのだが、それが何かはもちろんわからない。と、いうことで、今月はここまで！

PS　中村俊輔がセリエAでデビューしました。ところで、俊輔はチームメイトに健介がホークに言われるように「シュンスキー」と呼ばれているのでしょうか？　俊輔がイタリアンジェラードを食べていると「シュンスキー、ダメだよ。アイスクリームはマッスルの敵だよ」などと注意されているのだろうか？

上半身裸でノゲイラの健闘を称えるマリオ＆美女揃いのトップチームの彼女達！

書評は平和ではない
書評は戦いである
武器のかわりが毒舌であるだけで
それは地上における最も激しい厳しい
自らを捨ててかからねばならない
戦いである――（ネール元インド首相の娘への手紙）

PART 2

吉田文豪人生劇場

書評の星座

新間寿氏から貴重な昭和の新日本プロレス・グッズ（初代タイガーマスクのゴミ箱や、MSGシリーズ開催記念の巨大鉛筆など）を譲り受けたり、百瀬博教氏から依頼されて力道山グッズをヤフーオークションで代わりに落札するよう以来されたりと、大物たちとの交流が順調に深まりつつある今日この頃。ついでに、なぜかターザン山本と反吉田秀彦同盟を結成したので、せっかくだから揃いのハカマを履いて坊主頭にでもなろうかとボンヤリ考えている男の書評コーナー。〈e-mail:go@kamipro.com〉

ニッポン縦断プロレスラー列伝
門馬忠雄
伝説のレスラーから現役選手まで
出身地別に見る日本人プロレスラー名鑑

『ニッポン縦断プロレスラー列伝』（門馬忠雄／エンタープレイン／1800円）

プロレスマスコミ屈指の酒豪として知られていたものの**「平成5年4月18日に脳梗塞で倒れ」「右半身マヒの障害者」**となってしまった、ぼやき評論の第一人者・門馬忠雄先生。その**「カムバック第1作」**は、日本人プロレスラーの**「スポーツ経験歴と、ローカル色という出身地の土地柄」**に着目し、**「利き手ではない左手での鉛筆書き」**で完成させた、『コロコロコミック』に匹敵する全536ページの**「プロレス紳士録」**である。

もちろん、格モン・吉江豊を**「格闘集団G—EGGSのあんこちゃん」**と表現したり、イワン・ゴメスと藤原喜明のスパーリングを**「ワケのわからぬコンニャクと納豆のケンカのような練習」**と表現したりする独自の門馬節は絶好調であり、**「バイアグラ服用者などは彰俊のオシッコを煎じて飲めばいい」**などの暴論だって容赦なく炸裂しまくり！

かつてボクが『紙プロ』で北沢幹之レフェリーをインタビューした際、「あのことに触れなきゃ駄目だよ！」と門馬先生が言われていた**「母親が行方知れずだったことから母親を捜すために巡業が多いプロレスを選んだ」**というヘヴィな過去にもキッチリ触れていたりするから、さすがは記者歴39年のベテランだと唸らされるばかりなのであった。

暴露を嫌うタイプながらも、菊澤光信についての記述で**「最近は大阪プロレスに定着したらしい。どんな仮面のマスクマンなのだろうか」**と軽くバラしてみたり、鶴見五郎は**「若い頃のあだ名は〝水虫大王〟」**で、グレート草津は**「全盛時は〝夜の帝王〟の異名で通った」**だのとバラしたり、パチンコ狂のエル・サムライが**「記者席に潜り込んできてタバコをプカリプカリ」**やってるとバラしたり、ミスター林は**「タバコを買わない人として知られ、レスラーであれ、担当記者であれ、左手の人差し指と中指の二本を突き出しタバコを要求」**だのと故人の情けない話もバラしたりする姿勢には、『紙プロ』読者でもきっとシビレるはず。

そして、全日本の新人・宮本和志が**「高校時代はかなりのツッパリ番長だった。自分の手下を連れてジャイアント馬場と面談。直接プロレス入りを願い出た」**といった、昔から仲が良かったというジャイアント馬場（**「馬場はアントニオ猪木同様に30代から糖尿病に悩まされていた」**との記述もあり）周辺のネタがまた、見事なまでの秀逸さだったのだ。

たとえば、秋山準について**「ジャイアント馬場が、一瞬『アポーッ!!』と天を仰いだ。それは新しいタイプのレスラーの出現だった」**と書いているから一体どういうことなのかと思えば、続いて門馬先生はこんな呑気極まりないエピソードを紹介してみせるのである。

「『おい、秋山、シャツがはみ出しているぞ』と御大はセーターの裾からシャツがはみ出していることを注意したつもりだった。ところが秋山は『社長、これ、今の若い者の流行りなんですよ。これでいいんです』と返した。〝天上大〟のひとことは絶対である。ところが入団して2、3年足らずの新人がそれにハッキリと自己主張したのだ」

たったそれだけのことで秋山を**「新しいタイプのレスラー」**と言い切ってしまう門馬先生、恐るべし！　こうした門馬先生の凄さについては、以下のエピソードさえ紹介すればきっと誰にでもわかってもらえるはずなのであった。

「ジャイアント馬場のまんじゅうが怖かった。駆け付け3個食べなければインタビューに答えてくれない。涙が出るほど辛かった。決まって二日酔いの寝不足のような時にやられた。食べては吐き、涙ボロボロだった。『ちきしょう!!　身体が大きかったら蹴飛ばしてやるぞ！』

『おお、面白いじゃないか、上等だよ』。口答えしようものなら、こちらの靴を16文でグイッと踏みつけてくる」

そう。門馬先生はたとえ相手がジャイアント馬場であろうともレスラーにだって平気で喧嘩を売り、巡業先ではレスラーたちと同じレベルで大酒を飲み続けたわけなのである（昔は息子にバットで腹を殴らせたりもしていたらしい）。

「馬ちゃん（上田馬之助）は〝グマさん（大熊元司）〟と並ぶ酒豪だ。巡業先ではよく一緒に飲んだ。相手は底なし、覚悟してのドリンク・マッチである。吐いても『よし、飲み直しだ。もう一軒!!』である。足腰がフラついていても、リバース・ネックハンギングで背中合わせで担いで運ばれてしまう」

この手の話はボクも酒の席で門馬先生から直に聞いたことがあるんだが、そのとき先生は「そんなことばっかりしてたから、こういう身体になっちまったんだよ」と豪快に笑うなり、迷わず医者に止められている日本酒を飲み干したんだから、本当にカッコ良すぎだって！

思えば、ボクが『NUMBER』でプロレス界のアウトローをテーマにインタビューしたときも、門馬先生は酒にまつわるこんな思い出話をしてくれたものだ。

「『デストロイヤーたちが花巻温泉で芸者あげて遊んでたとき、『サントリーボーイ、来いよ！』って誘われてね。俺、いつも原稿用紙と缶ピースとウィスキー持って歩いてたから、そう呼ばれてたの（笑）。それでワイワイやってたら、黒人レスラーのスイート・ダディ・シキも一緒に入りたがったわけよ。そうしたら、あの人がいいデストロイヤーが『シッ！ゲラウェイ！』と言うの。それでシキが『なんで俺はダメなんだ、一緒に飲めないんだ、ジョー！』って、外人係だったジョー樋口に泣きついてたんだよね……」

かくもエゲツない人種差別を目の当たりにした門馬先生は思わずシキを呼び戻そうとしたが、デストロイヤーに「シャラップ！」と腕尽くで止められてしまったのだそうである……。

どうにもヘヴィなエピソード……だと思ったら、なんとビックリ。門馬先生が酒絡みのプロレス裏話について書いた奇跡の名著『プロレス酔虎伝』（三一書房）によると、このとき彼は「酒と怪しい脂粉の匂いには勝てるわけがない」とのことで、泣き崩れるシキを横目に芸者をヒザの上に乗せ、胸を揉みながら「豊か、豊か、海のパイナップルだね」などと言い出すまでに濃密なスキンシップを楽しんでいたらしいんだから、本当に完璧すぎなのだ！　これでこそ男だよ！

そういうわけで、もちろん今回の本にも酒絡みのエピソードは満載されていたんだが、桜庭和志が酒に**「だらしなく強い」**と聞くなり**「桜庭の酒好きは県民性だろう」**と断言したり、桜庭が取材記者から逃げ回ることについて**「察するに二日酔いのため酒臭い息では『ヤバイ』と逃げ出したのだろう」**と勝手に決め付けたりするのだけは、さすがに考えすぎじゃないかと思う次第なのであった。あれは、単なる面倒臭がりだって！

ターザン山本
プロレス社長の馬鹿力

奮戦激白　一挙10連発!!

だから　インディーは　生き残れる！

十人十色のインディー経営哲学

ZERO−ONE　橋本真也
みちのくプロレス　ザ・グレート・サスケ
大日本プロレス　グレート小鹿
IWA JAPAN　浅野起州
闘龍門JAPAN　岡村隆志
KAIENTAI DOJO　TAKAみちのく
全日本女子プロレス　松永高司
LLPW　風間ルミ
アルシオン　小川 宏
Jd'　卯木基雄

『プロレス社長の馬鹿力』
（ターザン山本／エンターブレイン／1600円）

不況にあえぐプロレス界の社長にビジネスの話を聞くという企画自体は抜群なのに、人選的にちょっとばかりフックが足りない気がする、この本。

できることなら馬場元子社長、藤波辰爾社長、三沢光晴社長というメジャー団体のトップ3や、芸能界の首領でもあるUFOの川村社長、そして前田社長&尾崎社長やビンス・マクマホンといった曲者たちの話も聞いてみたかったとボクは思う。だって、藤波社長が城に例えたりしながら真顔で語る経営戦略とか、本気で聞きたいでしょ？

ところが、ここではターザン人脈でビジネスとしてさほど成功していないインディー系の人たちばかり集めてしまったから、発言に破壊力があまり感じられないのが残念なのであった。

そんな面々の中で最も元気だったのが、なぜか最もビジネス的に失敗していて、最も借金が多いはずの全女・松永会長なんだから本当に驚くばかり。

ビューティペアやクラッシュギャルズなどで、**「もう金の顔見るのがイヤになるね。やっぱりこういうのは少しオーバーに言わなきゃいかんだろうけど、とにかく金が次々に追っかけてくるんだから」「『日本の国はオレのもの』って感じ。日本全国津々浦々で待ってんだ、お客が金を持って」**というほどの大成功を過去に納めた経験ゆえなのか、会社が倒産しようとも決して懲りることなく、**「悩んだってしょうがねえもん」**と呑気に言い放っていたわけなのである。

「普通預金の通帳はひとつあるけど、そんなとこへ金を入れたためしがないから、俺は。（略）だって、入れるものがねえもの。だから金が入っていたためしがねえ」

TV中断がなくなった上、ここまで金もないというのに、どうしてまた松永会長は異常なぐらい元気なのか？

まあ、**「ノンバンクに（借金が）4500万あったのがね、ずっと払わなかったら『50万でどうですか？』って。50万払って4500万をチャラにしてもらった」**りで借金から逃れる目処が付いたらしいんだから、元気になるのも当然の話なのかもしれない。しれないんだが。

「あと5年なんとか凌いだら、だいたいなくなっちゃうんじゃないですか？　だって考えてみなよ、30億借りたからって30億も返せるわけがないもん」

金は借りても返せるわけがない！　どうですか！　思わず目からウロコがボロボロ落ちる、この前向きすぎる発言は！

「（借金が）払えなければうっちゃっとくの。ただし、もうそれ以上は借りない。それで裁判所とかからどんどん書類が来るけど、それもうっちゃっとくの。とにかく家にも会社にも何もないんだから。それでも家とか会社に来られたら『どうぞ』って」

そうすれば、みんな**「グル〜ッと見て回ってね『取るものがない』って帰っていく」**とのことで、**「だからね、この世の中って楽しいよね」「なんにも怖いものがないもん（笑）」**と、またもや呑気なことを言い出す松永会長。

挙げ句の果てには、**「俺もどうせだったら30億なんてケチな額じゃなくて、100億ぐらい借りておけばよかったよね。失敗しちゃった」**とスケールのデカい反省を始めるんだから、松永会長のインタビューを読むだけでもこの本を買う価値はあると断言できるのであった。FMWの荒井社長にも、こういうふてぶてしさを見習って欲しかったよなあ……。

他の社長のインタビューでは、同じく元気な破壊王が**「いま世界はユダヤ資本が占めてるでしょ。ユダヤに対抗できるのは（ターザン）山本さんしかいないから、やってくださいよ」**などとわけのわからないことを言い出す（まさか破壊王もフリーメイソンのユダヤ陰謀論信奉者？）のもいいんだが、思わずツボに入ったのはIWAの浅野社長のこんな発言。

プロレス話の途中で**「だいたいサウナで考えてるときに案が出てきますよ」「人間は丸裸になると、思い浮かんでくるんですよ」**とサウナ&裸愛好家ぶりをカミングアウトした浅野社長に、渋谷のサウナで偶然会ったことがあるというターザンがなぜ事務所がある新宿のサウナに行かないのか聞いたときのことだ。

なぜか浅野社長は、すかさず**「新宿は汚いもん！　僕は汚いところはダメなんですよ」「下着は1日に2回取り替えてますから」**という過剰な潔癖性ぶりをアピール開始！　各種スポーツ紙が浅野社長の発言をオネエ言葉にしていることを思うと、もはや答えは一つしか考えられないのであった……。

中川雅博 爆笑連載!?

ほんとにジョーク

第15回

お前はもう死んでいる。
ドキッ
ジョシュ
エリオ

今月イチバンおもしろかった作品とその作者

静岡県磐田郡　**目ガ覚メタロウ**

★目ガ覚メタロウさん、またまた採用オメデトー!!　御希望の「B・たけし&B・V・ベイダー」Tシャツ（M）、お楽しみに!!　目ガ覚メタロウさん以外の人もよろしくお願いします。
★8月28日、行って来ました!　高円寺に。『阿波踊り』を見て来ました。見る阿呆です。スゴイ迫力で五感を刺激されました。自分はいつもネガティブなのですがクヨクヨしていても、しゃあないなと思いました。これからは、踊る阿呆ならぬポジティブ・バカ（ポジバカ）目指して頑張ります。
★ハガキを送って頂いた方の中から抽選で5名様に「中川雅博手づくりステッカー」をプレゼント!!
採用された方にはTシャツをプレゼント!!　軽〜い気持ちでいいのでハガキ書いてよ!
★ファスティング・ダイエットのイラスト描きました。『ヤマダ元気』http://yamadagenki.com
★キミィ、吉住絹代選手は強いよ!!『東京元気大学』http://tgu2001.com/

前号のTシャツ UFO

TATSUO KAWAMURA U.F.O.

応募方法
プロレスに関したものなら何でもけっこう、ジョーク、ギャグ、コント、マンガ、標語、何でもいいんだ、とにかく『ホントニ面白い』ヤツをたのむ。毎月１名の作品をこのページで掲載。このページは読者投稿ですが、めでたく掲載された方には「中川画伯オリジナルＴシャツ」をプレゼント。原稿発送は紙のプロレス「ほんとにジョーク係」へ、希望選手名やサイズ(S・M・L・XL)をハガキに書いて下さい。〈例〉DJニラのL

異論反論

失神KO勝ちか？　それとも
世紀のミスジャッジか!?

91,107人が熱狂!
吉田の強さに異論ナシ!
されどレフェリーストップが大問題に!!

吉田秀彦、完勝デビュー

2週間の審議後、公式発表は……
「判定覆らず」!!

9月11日、都内ホテルで行われた会見で、ルールディレクター・島田氏とDSE森下社長は、「吉田VSホイス」のジャッジ問題について、「レフェリーは、吉田選手の袖車によってホイス選手（の意識）が落ちていると判断。あくまで選手生命の安全を考え、すみやかに試合をストップしたのであり、レフェリーストップではなかった」との公式見解を発表。当初発表されたとおり、「ホイスの失神ＫＯ負け」という裁定が下った。

ホイスvs吉田戦を裁いた野口レフェリーは、「完全に吉田選手のホイス選手への袖車絞めが入っていると見受けられた」「ホイス選手の左手と右足の動きが緩慢で、力が抜けていくように見受けられた」「闘っている相手である吉田選手が『落ちた！　落ちた！』と叫んだ」「ホイス選手の手に触れたとき、動きを感じられなかった」以上４点により、ホイス選手が失神KOしたと判断。森下社長は再戦の可能性について「今のところは考えていない。しかし、お客さんからの要望があるのならば考える」と回答した。

柔道金メダリスト吉田秀彦が、ホイス・グレイシーを下し、鮮烈プロデビュー！

朝日新聞の一面にも掲載されたこのニュース。それだけの注目度と世間に対するインパクトがあったわけだが、試合の裁定の段階でケチがつき、残念ながら「灰色の完勝デビュー」となってしまった。

「日本柔道vsグレイシー柔術」「51年前のエリオvs木村政彦、マラカナン・スタジアムの決闘リベンジマッチ」などの売り文句で、顔面打撃ナシのジャケットマッチとして行われたこの試合。柔術の定石通り引き込んで下から仕掛けるホイスと、柔道家らしくガッチリと上から襟を掴み対応する吉田の一進一退の攻防となったが、ホイスのハーフガードを横四方、さらに縦四方へと移行に成功した吉田が、そのままホイスに覆い被さるように袖車締め！　身動きが取れないホイスをレフェリーは「落ちた」と判断し、１R７分24秒、〝失神ＫＯ〟で吉田秀彦の勝利が宣せられた。

しかし、問題はここから。試合が止められた瞬間、ホイスが即座に立ち上がり「失神してない」と猛抗議。しかも、事前に「レフェリーストップはナシ」という取り決めがされていたこともあって、グレイシー陣営は試合後だけでなく、メインイベント終了後もリングに上がり無効試合をアピールするという前代未聞の事態となってしまった。

この裁定に関しては、ファン、関係者ともに賛否両論。中でも特にレフェリーの裁定には異論反論が数多く飛びかった。９月11日に島田ルールディレクターから改めて「失神ＫＯ勝ちで問題なし」との発表がなされたが、その理由は正直、首を傾げざる事柄が多く、再びファンの反発を招く結果となってしまった。

とは言え、試合全体を通して吉田が押し気味に試合を進めていたのはまぎれもない事実。あの試合で見せた吉田の身体能力の高さは、疑う余地がなかったことはしっかりと記しておこう。

グレイシー神話

ヨシダは嘘つきだ。力は強いが技術的には何も見せなかった

Royce **GRACIE**
ホイス・グレイシー

聞き手／堀江ガンツ
撮影／松本崇
試合撮影／乾晋也
designed by matsu (Two three)

首の皮一枚

あの結果はヨシダとレフェリーが勝手に決めた事じゃ

Helio **GRACIE**
エリオ・グレイシー

失神KO負けか、それとも世紀のミスジャッジか？　非常に不透明かつ後味の悪い結果となってしまったホイスvs吉田戦。袖車絞めの体勢で一体何が起こっていたのか？　それを確かめるため、試合の2日後、ホイスを訪ねてみた。「無効試合」を主張する陣営の怒りは、2日経っても全く冷める気配がなかった。

ペドロ　インタビューを始める前にまず、お断りしておきたいことがあります。ホイスは現在、非常にナーバスな状況です。ですから、インタビューの場に同席はしますが、質問に関しては私とエリオが答える形を取ることをご了承ください。我々3人の意思確認はできていますから、私たちが話したことはホイスの意見と取っていただいて構いません。

※ペドロ・バレンテ（27歳）＝今回、ホイスのスパーリング・パートナーとして来日したグレイシー柔術マイアミ道場の師範。ホイスとは幼いころから、兄弟同然に生活していたことで、エリオらの信頼も厚い。8・28『Dynamite!』メイン終了後、マイクを握り判定に対する抗議をしたのも彼。

——わかりました。では、早速最初の質問なんですが……。

エリオ　（遮って）その前にまず、我々の言いたいことを言わせてもらいたい！　声明文を読ませてもらうが、よいか？

——せ、声明文ですか⁉　わかりました、どうぞ。

エリオ　よいか、この部分は一字一句間違わずに全部掲載するんじゃぞ。

——了解です（笑）。

エリオ　コホン。では、読むぞ。「私たちは今回の試合についてレフェリーの誤った裁定があったことに、残念な気持ちでいっぱいです。そしてもっと残念だと思うのが、吉田選手に勇気とモラルが欠けていたということです。あの時点で吉田選手もレフェリーの裁定が誤っていることは十分わかっていたはずなのに、それを認めなかったことが残念なのです。私たちは日本の皆さんが、昨日のレフェリーのようなアンフェアな国民だとは思いたくありません。ですから、今回の試合は無効試合とすることを望みます」……そういうことじゃ！

——「吉田選手がレフェリーの誤りを認めなかったことが残念だった」ということですが、誤りを認めないどころか、袖車絞めを掛けながら、吉田選手の方がレフェリーに「落ちてる、落ちてる！」とアピールしていたんですけど、それはご存じないですか？

エリオ　なにィ⁉　そんなことを言っとったのか！　それならば、あの裁定はヨシダとレフェリーが勝手に決めてしまったということじゃ（怒）。そんなもの無効じゃ、無効じゃ！

あの袖車で落とすのは100%無理じゃ あの態勢はホイス不利ですらなかった

インタビューの冒頭、いきなり用意してきた紙を広げ声明文を読み出したエリオ。となりが今回、グレイシー陣営のスポークスマン的な役割をはたしたペドロ・バレンテだ。

——お返しに勝手に無効にしますか（笑）。

エリオ　毎回、レフェリーにアピールして勝つんだったら、それが一番簡単な勝ち方じゃ。しかし、当然の話ながら痛みを感じるているのは技をかけられている者なんじゃ。掛けている方は相手がどれぐらい苦しいかわからないハズなんじゃよ。

——でも、ギブアップしていないにしても、あの（袖車の）態勢は完全に逃げられないようにも見えました。

エリオ　そんなことはない！　ワシらにとって、ああいう態勢はな〜〜んでもないことなんじゃ。

Royce GRACIE

——なんでもないんですか⁉

ペドロ　私が技術的に説明します。あのときヨシダは「袖車絞め」という技をかけようとはしましたが、それはただトライをしただけなんです。ホイスは極められる前にその技を予知したのでディフェンスに入っていました。あれでは極まりません。ちょっと立ってもらえますか？　あなたに掛けてみせましょう。

（エリオの指示に従い、ペドロが聞き手に袖車絞めを掛けて、ホイスがどのように防御していたか説明する）

エリオ　どうじゃ。極まらんじゃろ。

——は、はぁ。そうですね。では、あの態勢がずっと続いても落ちることはあり得なかったということですか？

エリオ　100%無理じゃ！　しかも、あの態勢は柔道の押さえ込みというわけでもなかった。あれはホイスのハーフガードじゃよ。ワシ達の技術は下から攻めるというものなので、あの態勢でホイスが不利だったということは全くなかったんじゃ。

——では、ホイス選手が袖車を掛けられながら体が硬直しているように見えたのは、吉田選手が態勢を変えるの待っていたということだったんですか？

エリオ　そのとおりじゃ。柔道では押さえ込みで試合が終わるかもしれんが、今回の試合は違う。ホイスはあそこからヨシダが動いて隙を作るのを待っておったんじゃ。ヨシダの動きを見ながらこれから何かをやろうという状況だったんじゃよ。昨日の試合は始まって10秒でホイスが吉田選手の足を掴んで、最初からホイスが攻めに入っておったが、逆にヨシダの方は終始守ることしかできなかったんじゃ。そこからようや

問題の一戦

8.28「Dinamite!」ホイスvs吉田 PLAY BACK

TK、小原道由、大山峻護らをセコンドに従え、プロとして初のリングに向かう吉田秀彦。デビュー戦とは思えない落ち着き払ったいい表情をしている。

試合前日に「突然打撃ナシルールを主張した」と報道されたホイスだが、それは間違い。当初、決定したルールの解釈を確認しただけだったとのことだ。

吉田の投げを警戒するホイスは柔術の定石どおり、引き込みに行く。しかし、吉田もホイスの攻めを防ぎ上から応戦。吉田の"掴み"の強さにも注目。

くヨシダが何かをやろうとした時に止められてしまった、そういういうことなんじゃ。

——では、これはホイス選手に直接お聞きしたいんですが、実際に闘ってみて吉田選手をどのように評価されますか？

ホイス　とても強い選手だと思う。特に力が強かった。汗がこぼれ落ちるほどの凄い力で握っていたことが非常に印象に残ったよ。ただ、それによってあまり力を使うと疲れてしまうのが早いから、得策だとは思わないね。

エリオ　ワシ達の技術は力をあまり使わずに闘うのが特徴なんじゃ。だからこんなにスマートなにのヨシダのような大男と闘うことができるんじゃよ。

「グレイシー・トレイン」を組まなかった理由はゴンドラにみんな乗りきれなかっただけじゃ！

ホイス　私のヨシダに対する印象は力が強いということ。しかし、技術的には何も見ることができなかったということだよ。

——何も見ることができませんでしたか！では、エリオさんから見て、今回ホイス選手はいい闘いをしたと思われますか？

エリオ　そうじゃな、普通だな。やっぱりヨシダが何もしなかったという印象が残るな。

ペドロ　ヨシダはホイスよりずいぶん大きく、肉体的も凄く強い選手でした。それなのに、あの試合では、ただ力で何とか自分を守ろうとしていただけだったんです。

エリオ　ホイスが下になったということは、自らヨシダを引き込んだということなんじゃ。全然不利じゃない。

——でも、最後はガードポジションではなくて、吉田選手にとってかなり有利なポジションだったように見えましたが。

ペドロ　さっきも言ったように、あれは押さえ込みというわけではなくてハーフガードだったんで、別にヨシダが有利だったというわけではありません。ホイスはエリオと同じように、下にいながら技を極めるという戦法なんです。

エリオ　ワシが若い頃闘った相手というのは、ほとんどが自分より身体の大きな日本人じゃった。しかし、ワシはいつも下のポジションを取りながら相手を攻めて、技を極めることができたんじゃよ。キムラ（木村政彦）と闘ったときも、試合時間の15分間のほとんどをワシが下の状態から攻めていたんじゃ。

——はぁ～、そうだったんですか。

エリオ　あの頃のワシの技術とホイスの技術は基本的には同じじゃ。ワシらは最終的に「勝つ」ということが大前提なので、下にいようが上にいようが関係ないということじゃ。

——しかし今、グレイシー柔術の技術が世界中に広まり過ぎて、多くの選手がすでにグレイシー柔術の知識を持っていると思うんですよ。そんな中で、やはり力が強い人の方が本家である一族よりも上回ってしまうことが、何度も見られるんですけど、そういう状況の中で、グレイシー一族はこれからどうしていったらいいと思われますか？

Helio GRACIE ×

ホイスの秘策は柔道にはない足関節だった！　下から吉田の足を掴むと一気にアキレス腱固め。しかし、吉田はなんとヒールホールドで返し、UWFのような攻防に。なんたる順応性の高さ！

ホイスが不用意にハーフガードを取ると、吉田はそのままガッチリ縦四方の体勢に。そしてそのまま、袖車絞めに入った！　ホイスは右手で防御に入ったようにも見える。

袖車絞めの体勢のまま、吉田が「落ちた、落ちた！」とアピールすると、レフェリーは試合をストップ。しかし、技を解いた直後にホイスは「落ちてない」とアピール。

ホイス陣営がリングに雪崩れ込み猛抗議を行った後、マイクを握った吉田は「これから因縁の対決が続くんじゃないかと思います」と笑顔で余裕のコメントを残した。

ペドロ　ホイスがアルティメットで闘い始めた時は純粋に他の格闘技vs柔術ということでしたが、バーリ・トゥードが広まるにつれて他のファイターも自分のテクニックだけではなく、他の技術を磨く必要があることがわかるようになったと思います。そんな中で、世界中の多くのファイターがグレイシー柔術の技術を積極的に取り入れるようになった。そのことについて我々は凄く誇りに思っているんです。

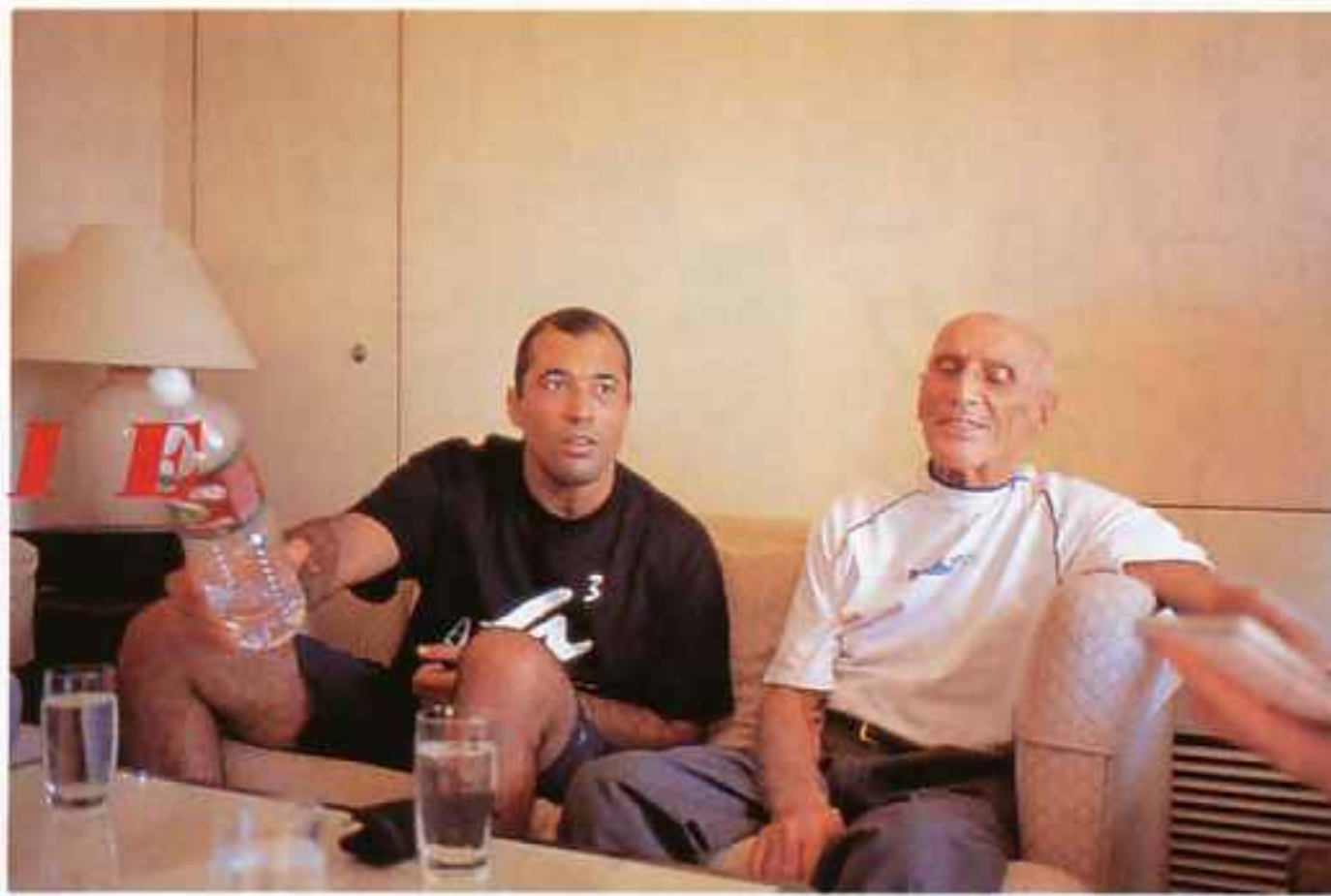
――しかし、自分達の技術を学んだ他の選手が、自分達に勝ってしまうという状況があります。柔術が広まるのだから、それはそれでいいと思っているのですか?

ホイス　つまり、これは私達の人生の目的だということだよ。私達の技術を秘密にして誰にも教えないということであれば、それはつまらないことだと思う。例えば私が砂漠を歩いていたとしよう。

――はい。得意の砂漠ネタですね（笑）。

ホイス　（ペットボトルを持ちながら）砂漠にいて、この水を持っていたとする。そして凄く喉が渇いているアナタに出会う。アナタは私よりずっと大きくて体重があるが、私はアナタに元気になってもらいたいので、この水をアナタにあげる。そして一緒に歩き始める。すると、いきなりアナタが私の背中をナイフで切りつけ、私の水を盗んでいってしまう。その場合は誰がいけないと思うんだい？

――そりゃあ、ボクがいけないと思いますけど……。

Royce GRACIE

ペットボトル片手に、グレイシーの18番「砂漠のたとえ」を披露し、自分たちの正当性をアピールするホイス。しかし、ホリオンの絶妙のたとえと比べると隙ありすぎ。

ホイス　アナタの命が助かったことがいけないことなのか？　私がアナタに水をあげたのがいけなかったのか？　ホントに他のファイターが柔術を練習して私に勝つためにやっているのであれば、私がそれをやめるしかないのか？　それは違うと思う。やっぱり人間はみんなそれぞれ、自分の目的があって生活していると思うので、私達はみんなに自分達の柔術を教えるということを宿命だと思っているんだ。エリオがここまでくるのに75年かかった。これからも他の人達に柔術を伝えるということは凄くいいことだと思っている。ただし、他の人達が私達に勝つために使うということであれば、あまりに感謝の気持ちがないんじゃないかという憤りはあるよ。

エリオ　ワシは75年間ずっとこれをやってきたのは、やっぱり日本人から学んだこの技術を人に教えるためのことなんじゃ。日本人でもこんなことをやっている人間はおらんじゃろう。

ペドロ　グレイシー一族の宿命というのは、個人個人の闘いだけではなくて、グレイシー柔術の技術と他の格闘技の技術の闘いでもあると思います。だから他のファイターが同じ柔術で闘っているということであれば、それはグレイシー柔術の技術による闘いになるのであって、個人個人の闘いにはならないんです。

――ホイス選手が93年にUFCで優勝して以来、世界中の格闘家や格闘技のファンがグレイシー柔術の技術を少しでも知りたいと、ここ10年くらい学んできた状況だと思うんですが、それでもまだグレイシー柔術には我々や他のファイターが知らない技術なり秘密があるんでしょうか？

エリオ　ワシらの技術に秘密などもうない！（キッパリ）

――えぇ～、ないんですか⁉

ペドロ　闘いの中で、試合の流れを見ながら「こうやってみよう」という知識の引き出しは他の選手よりあると思いますけど、私たちに秘密というものはありません。

エリオ　もともと柔術は、ワシらが作ったものではないからな。日本人は自動車を発明したわけではないが、工夫していい車を作るようになったじゃろ。それと同じなんじゃよ。日本人から伝えられた柔術をワシが75年間、少しずつ改良してきたのがグレイシー柔術なんじゃ。

ペドロ　ですからホイスに関しては、今までアルティメットなどに出場する際も、常に「日本を代表する」という気持ちで闘っていたのです。それだけに、今回の試合に関しては、なおさらガッカリしているんです。

――話は少し横道に反れますが、ホイス選手は第1回アルティメット大会以来、入場の際は一族で「グレイシー・トレイン」を組んで入場してきましたが、なぜ今回は組まなかったんでしょうか？

ホイス　それは、今回が私の人生の中で新しいステップだからだよ。

――逆に今まではなぜグレイシー・トレインを組んできたんでしょうか？

ホイス　それは最初のUFCの時だが、周りのセコンド達と一緒にリングに上がりたかったので、前を見たくなかった。だから、あえてああいう態勢をとってしまったんだ。

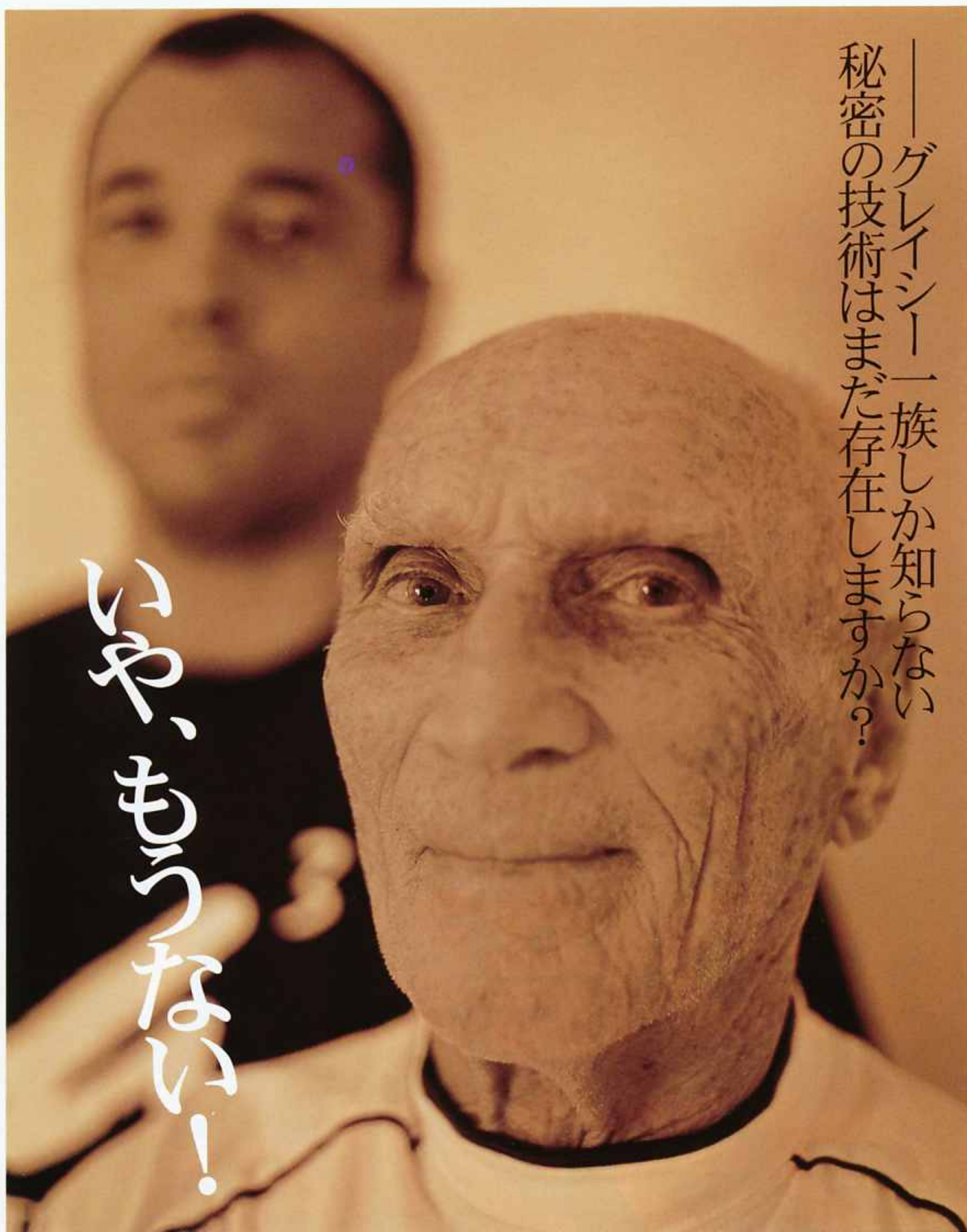
――では、今回は自分一人で歩けるといった感じだったんでしょうか？

メイン終了後 グレイシー一族が リング上で 異例の抗議声明！

全試合終了後にも関わらず、ホイスは道着を脱がずに抗議の意を表明。しかし、ホイス、エリオともにマイクは握らず、結局話したのはここでもペドロだった。

「試合を止める権限がないレフェリーが、落ちてもいないにも関わらず、レフェリーストップにしてしまった」として、試合直後に猛抗議をいていたグレイシー陣営。それでも覆らない判定に業を煮やして、なんと全試合終了後、改めてホイス、エリオ、そしてペドロ・バレンテがリングに上がり正式に抗議を表明する異例の事態となった。

「この大会は日本人の柔術、格闘技に対する日本の精神を表すものだと思います。レフェリーの取られた態度というのは、真に格闘技の精神を表すものではありませんでした。まず第一に吉田選手はホイスに対して完全に極めたわけではありません。二つ目にホイスはタップをしませんでした。ルールに基づけば、ホイスがタップしない限り、中止する権利を持つのはホイスのセコンド、つまりエリオだけでした。また、吉田選手のような本当のチャンピオンは、日本というこの場で、レフェリーを味方につける必要はありません。私たちは日本の皆さま、文化を心から尊敬しています。そして吉田選手が日本人のひとりとして、いま冷静に試合の結果を思い起こしたとき、格闘技の精神にのっとれば、この結果は実に正しくなかったと思います。私たちは無効試合を要求します。そして、もう一度ホイスと正しい闘いをすると思います。また日本の皆さまに対して、試合後の私たちが取りましたリング上での態度についてお詫び申し上げます」

――グレイシー一族しか知らない秘密の技術はまだ存在しますか?

いや、もうない!

ホイス そうではない。アナタはエリオが前にいたのを見なかったのか?

――い、いや、確かにエリオさんが先導はしていましたけど、トレインは組んでませんでしたよね? あのトレインは一族の結束や繋がりを象徴したものだと思っていたんですが、そういう意味合いはないんですか?

エリオ それはあまり関係ない。

――あ、関係ない。

エリオ 今回はゴンドラに人数が乗り切れなかったんで、バラバラになってしまっただけのことなんじゃ。

――グレイシー・トレインが組まれなかったのは、ゴンドラのせいでしたか……。ちなみに、今回、長男のホリオンと三男のヒクソンは来日しませんでしたが、お二人との関係はどうなっているんですか?

ホイス ヒクソンとは試合前と試合後に電話で話したよ。

エリオ ホイスやヒクソンだけじゃなく、息子はみんな忙しいので世界中をまわっているんじゃ。ワシもフィラデルフィアに寄って日本に来たぐらいだからのぉ。帰りもアメリカに寄ってセミナーをやってからブラジルに帰るんじゃよ。100人息子がいないと仕事ができないくらい忙しいんじゃ。残念ながら7人しかおらんがな(笑)。

――ホリオンさんは今、他のビジネスをやっておられるんですか?

エリオ アイツはいつも何かやっておる。やってることが多すぎてワシにもよくわからん(笑)。

――そうなんですか(笑)。それでは最後に次の試合についてお聞きしたいんですが、今回の試合はノーコンテストを要求したわけですけれど、再戦を要求するということはないんでしょうか?

ペドロ それはやはり、プロモーター側から今回の試合に関してノーコンテストになるかどうか、その結果が出てから私達は考えるつもりです。今のままでは再戦はないと思っていますが、正式にプロモーター側から回答がなければ何も答えることはできません。

エリオ そうじゃ。今回に関してはレフェリーに大きなミスがあった。それに対してプロモーターから正式な回答がない限り、再戦は考えられんよ。

ペドロ ホントに今回に関しては、皆さんにはミスがあったということを認めて欲しいという気持ちだけです。

エリオ そうじゃ。それだけなんじゃ。

ホイス (突然)君は絞め技で落とされたことがあるかい?

――え!? い、いや、ないですけど。

ホイス 私はある!(キッパリ)

エリオ ワシもある!

ホイス 落とされたことがある人間はわかると思うが、一瞬でも落とされると気がついたときに「いま何をしてるんだ?」と、わけがわからない状態になるんだ。でも、私はすぐに立ち上がりその場で抗議した。もし本当に落とされたなら、こんなことは絶対にできない! 私はサクラバ戦でそうだったように、負けは負けで素直に認める人間だ。でも、負けていないのに「負け」と言われたことに腹を立てているんだ!

ペドロ あなたが先ほど言っていたように、もしかしたらあのまま試合を続けていてもホイスは負けていたかもしれないし、逆にホイスが勝っていたかもしれない。しかし、いまとなってはそれを知ることは誰にもできないんです。レフェリーのミスジャッジによって、真の決着を知る術(すべ)を奪われてしまったんです。だから今回の試合に対して、どちらが勝ったかを決定する権利は誰にもありません。ゆえに今回は無効試合としか言いようがないのです。

【02年8月30日/都内・某ホテルにて収録】

以上がグレイシー陣営のジャッジに対する抗議の一部始終である。いろんな話が出たが、とにかく彼らが主張しているのは、「ホイスは失神していなかった」「レフェリーストップは存在しないのだから無効試合」の2点のみ。少なくともこれについては正論であり、この訴えは受け入れられるのでは、と思われたが、9月11日に発表された裁定は、「レフェリーの行為はレフェリーストップではなく、失神KO負けの選手に必要以上のダメージを与えないよう両選手を引き離す行為だった」という、まさかのグレイシー完全敗訴となった。

まさに、「ああ言えばこう言う」という、グレイシーのお株までもが奪われた形となった今回の一戦。しかし、考えようによっては、吉田戦が灰色決着に終わったことは、グレイシーにとってよかったのかもしれない。完全に失神させられていたら、それこそ神話は完全崩壊となるが、不透明な裁定での敗戦ということで、かろうじて首の皮一枚つながったからだ。

もし再戦がありうるならば、一族の威信を取り戻すため、いまこそグレイシーの頭脳・ホリオン待望論を唱えておきたい。

ブラジリアン・トップチームの首領が
吉田の勝利に物言い!
ブラジルに"吉田包囲網"形成か!?

「ホイスより10倍強い柔術家は、ブラジルに数えきれない程いる」

9.29『PRIDE.22』でコピィロフと"真・寝技世界一決定戦"実現!!

ホイスが吉田に敗れたことによって、巷で広まる「柔術は所詮柔道にはかなわない」という論調にBTTの首領マリオが大反論!　ホイスがかつてヒクソンを称した「自分より10倍強い」という有名な台詞を皮肉った強烈な返答を言い放った!　9・29コピィロフとの、「寝技世界一決定戦」では、改めて柔術家の寝技の強さを証明するつもりだ。

聞き手／堀江ガンツ　撮影／松本崇　designed by matsu（Two three）

スペーヒー

あのルール（ジャケットマッチ）で吉田に勝てる
柔術家はたくさんいるし、
もちろん私も自信があるよ。

Mario ***SPERRY***

マリオ・

――昨日（8・28『Dynamite!』）のボブ・サップ戦でノゲイラ選手はずいぶんダメージを受けたみたいですけど、いまの状態はどうなんですか？

マリオ　目の下を7針縫っただけで、あとはまったく問題ない。いたって元気だよ。

――あ、問題ない。メチャクチャ、タフですね（笑）。

マリオ　ミノタウロ（ノゲイラのあだ名）の肉体はホントに強靱なんだ。あの身体の強さは生まれつきだね。回復力もすごく早いから、昨夜もちゃんと食事をとって、シャワーも浴びていつもと変わりなかったからね。

――まさか驚異の回復力で、恒例のストリップにも行ったんじゃないでしょうね（笑）。

マリオ　さすがに試合後は行かなかったけど、今夜あたり行くんじゃないか？（笑）。

――ガハハハ！　さすがです（笑）。それにしても昨日のノゲイラvsサップ戦は凄かったですね！　ボクもバーリ・トゥードはたくさん見てますけど、あれほど凄い試合は初めてだったかもしれません。

マリオ　私にとってもそうだよ（笑）。

――マリオさんですらそうでしたか！

マリオ　凄く体重差がある試合だったし、しかもサップは素晴らしいアスリートで、あれだけ大きな身体とパワーを持ちながら動きもいい。そんな選手を相手に最後まで諦めずに一本勝ちを収めたのだから素晴らしいよ。ただ、ちょっといただけなかったのは、ミノタウロが試合開始早々、私が指示しなかった動きをしてしまったことだ。

ホイスはタップしていない。あんなレフェリングをされたら我々BTTもグレイシー同様抗議していただろう。

――それはタックルに行ったことですか？

マリオ　そう。100%の力が残っている状態のサップをテイクダウンすることは難しいと思ったから、私は「両足でも片足でもタックルに入るな」という指示を出していたんだ。しかし、ミノタウロはタックルに行ってしまい、それが潰されたことでだいぶ体力を消耗してしまった。これがそもそも1Rに苦戦した原因だよ。

――1Rはホントにヤバかったですよね。

マリオ　そこで私は2Rのインターバルの最中に「私の言った通りにやらないと、お前は負けるぞ」と言ったんだ。そもそも私が授けた作戦は打撃を打ちながら、サップの周りを回ってスタミナを奪うことだったから、ミノタウロも2Rにその通りの作戦に切り替えた。それによってボブ・サップは徐々に疲れていって、一本奪うことに成功したんだ。

――それにしても、なぜ、ノゲイラはマリオさんの指示に従わずに1Rはタックルに行ってしまったんですか？

マリオ　ミノタウロもゴングが鳴るまでは打撃でスタミナを奪うつもりでいたんだよ。しかし、実際にあんな大きな相手が迫ってきたときに、早く極めたくて本能的にタックルにいってしまったんだ。やはり極限の闘いになると、どうしても本能が出てしまう。そうすると我々の動きはテイクダウンからの柔術になってしまうんだ。だから、私はミノタウロに対して怒ってはいない。私だってボブ・サップを目の前にしたら同じことをしたかもしれないからね。

i o SPERRY

――ノゲイラ選手は三角絞めやアームロック、ヒザ十字などいろんな関節技を出しましたけど、それがことごとく返されてましたよね？　それを見て「危ない」と思ったりはしませんでしたか？

マリオ　危ないとは思わなかったね。サップもグラウンドでなかなかいいパンチを当てたりしていたけど、それ以上にミノタウロのディフェンスが優れていたから、決定打を浴びないようにして、逆にサップのスタミナを奪うことに成功したと思う。ただ、やっぱりボブ・サップは普通の人間じゃないだろ？（笑）。あれだけの体格差とパワーの差があれば、ミノタウロの技が返されても仕方がないね。

アンダー・ポジションで守りながら攻めるという、同じ闘い方ながら正反対の結果となったノゲイラとホイス。レフェリングに疑問は残るが、ホイスが柔術に近いルールで敗れた以上、他の柔術家が打倒・吉田に名乗り出るのは必至だ。吉田vsマリオ、吉田vsノゲイラはメチャクチャ見たい！

――そんな相手にでも最後は一本勝ちできたのは、ノゲイラがそれだけ特別な選手だからだと思いますか？

マリオ　YES。初めてミノタウロを見たときから、彼にはズバ抜けた才能があると一目でわかったよ。力が強いだけでなく、すぐに技術を吸収できるし、回復力もズバ抜けて早い。そしてリングの中ですぐに環境に慣れるし、試合中も落ち着いて闘うことができる。その才能があるから私はやはりミノタウロが世界一のファイターだと思うよ。これは自分の生徒だからというのではなくて、それだけの才能が彼にはあるんだ。

ノゲイラは特別な選手。でも彼以上に簡単にボブ・サップを倒せる人間が一人いるよ

――ああいうボブ・サップのような怪物に勝てる選手は、ノゲイラ以外にいると思いますか？

マリオ　なかなか見あたらないが、ミノタウロ以上に簡単にサップを倒せる選手が一人いるよ。

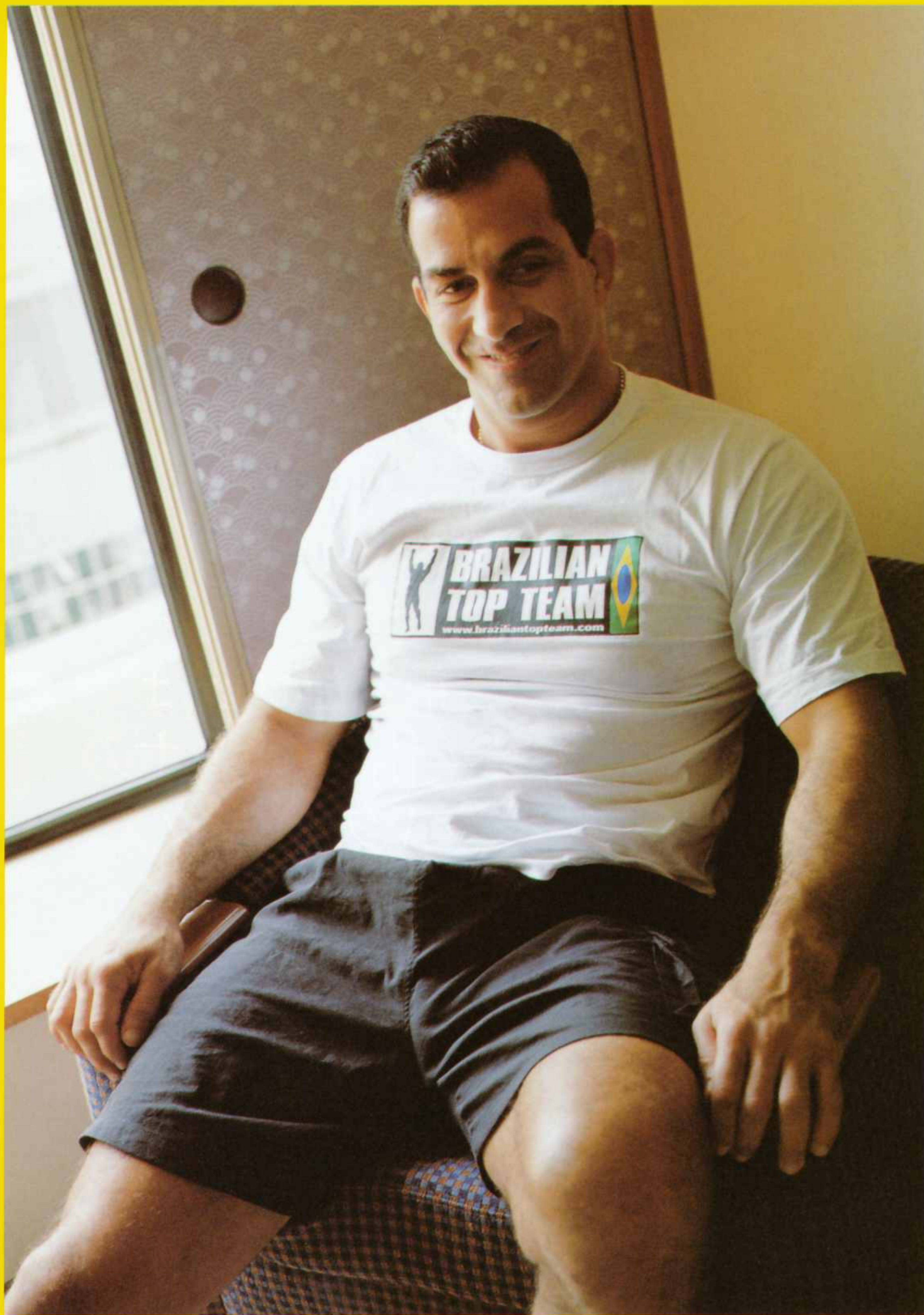
――え⁉　それは誰ですか？

マリオ　トム・エリクソンだよ。彼ならサップと体重差はそれほどないし、テイクダウンも上手い。グラウンドになってもサップを支配することは可能だろう。逆に言えば、サップを相手にするならミノタウロ以外、体重差がない選手じゃないと無理だろうね。しかも、サップはまだバーリ・トゥードを始めて1年も経っていないんだろう？　彼がこのまま練習を続けて、ケガもなく技術を向上させることができれば、2年後には、もっともっと勝つことが難しい相手になるだろうし、本当の意味で我々を脅かす存在になるだろうね。

――『Dynamite!』の他の試合はご覧になりましたか？

マリオ　もちろん見たよ。

――一番印象に残った試合はなんですか？

マリオ　サクラバの試合が素晴らしかったよ。とにかく動きが素晴らしかったし、体重差が10キロ以上ある強い選手に向かって行ったことによって、改めてサクラバは勇敢な戦士であることを証明したと思う。

技術も素晴らしいし、やはり日本の誇りだと思うよ。

――結果的には負けてしまったわけですけど、マリオ選手的には、桜庭選手の評価は下がっていないわけですか？

マリオ　勝負は時の運だから、勝ち負けはそんなに重要じゃない。私は闘いに対する姿勢、そして勇気を重要視したいんだ。サクラバはケガでずっと試合ができなかったのに、自分より大きい相手に向かっていった。ミノタウロと同じだよ。だから勝ち負けを超越して私は評価しているよ。

――勝ったミルコはどうでした？

マリオ　彼ももちろん素晴らしいよ。ミルコは闘うたびに強くなっているね。彼ならバーリ・トゥードだけでなく、どんな闘いでもすぐに馴染むことができるだろう。それだけの対応力と身体能力を持っているし、もともとムエタイをマスターしているというのは、バーリ・トゥードをやるに当たって凄く有利なことなんだ。寝技の選手がバーリ・トゥードに出るより馴染みやすいかもしれない。だから、これからもしK―1ファイターがさらにバーリ・トゥードに対して本腰を入れてきたら、凄く危険な相手になるだろうね。ミルコはゼヒ、ミノタウロと闘わせたいよ。きっと素晴らしい試合になるだろう。

――もうひとつ注目の試合、吉田秀彦vsホイス・グレイシー戦の感想も聞かせて下さい。

マリオ　やはりあの試合におけるレフェリーの判断は間違っていると思う。

――あ、マリオさんもそう思いますか。

マリオ　なぜならホイスは落ちていなかったのに止められてしまったからね。あのようなレフェリングをされたら、我々もグレイシー同様に抗議していただろう。

――でも、あの絞め技の体勢から逃れられるものなんですか？

マリオ　もちろん逃げられるよ。あの体勢は全然チョークに入ってないからね。

――え!?　全然入ってないんですか？

マリオ　ああ、入ってない（キッパリ）。あのヨシダが仕掛けた「袖車」というのは、実は私の得意技でもあるんだよ。柔術の大会に出ていた頃は何度もあの技で勝ったものさ。だから、あの技のやり方も逃げ方も極まり具合もよくわかるが、やはりヨシダがやった体勢はチョークに入っていなかったよ。チョークというのはちゃんと首に入らなければ、どれだけ絞めても落とすことはできないんだ。だから、あそこでレフェリーが止めるのは絶対に間違っている（キッパリ）。

――それでは、レフェリーにストップされた時、ホイスは切り返すきっかけを待っていたような状態だったということですか？

マリオ　その通り。ヨシダはホイスよりずいぶん身体が大きかったから、ホイスは下手に動かずに、ヨシダが隙を見せるのを待っていたんだろう。ホイスは足関節を狙う

コピィロフ戦は柔術vsサンボのジャケットマッチにしてもいい

Mario SPERRY

という作戦もよかったし、彼なりに凄くいい闘い方をしていたから残念だよ。

――しかし、昨日の試合は「日本柔道 vs ブラジリアン柔術」という売り文句が使われていて、結果的に「柔道が柔術に勝った」という報道のされ方をしているんですけど、それについてはどう思いますか？

マリオ　私はその報道のされ方について文句を言うつもりはない。でも、私には私の意見というものが当然存在するから、もしよかったら聞かせようか？

――ゼヒお願いします！

マリオ　まず、ホイス・グレイシーはいい選手だ。それは認めよう。しかし、ホイスより10倍強い柔術家は、ブラジルに数え切れないほどいるんだよ。

――か、数え切れないほどいますか！

マリオ　だから、そんなホイスが柔道チャンピオンのヨシダに負けたからといって、「柔術は柔道より弱い」というのはおかしいと思う。それにヨシダだって現役柔道家で一番強いわけじゃないだろう？

――そうですね。

マリオ　やはり、本当に柔道と柔術どちらが強いのか知りたかったら、柔道と柔術の一番強い選手同士を闘わせるべきだと思う。今年の柔術世界チャンピオンであるペ・ジ・パーノと現役最強の柔道家が闘ってこそ、柔道と柔術のどちらが強いかがわかるだろう。そうでなければ、どちらが強いかなんてわからないよ。

――では、あのルールで吉田選手に勝てるブラジル人柔術家はいると思いますか？

マリオ　何人もいるよ。多くの柔術家が勝てるだろう。もちろんトップチームの中にもたくさんいるし、私も自信がある。

――おお～！　柔術の大会で何度も優勝しているマリオ選手のジャケットマッチはメチャクチャ見たいですよ！

マリオ　私はいつでもOKだよ。ファンが望むなら次の『PRIDE』の試合をジャケットマッチにしてもいい。

――え!?　では、次の相手はアンドレィ・コピィロフですけど、サンボvs柔術のジャケットマッチでもOKということですか？

マリオ　もちろんOKだよ。バーリ・トゥードでもジャケットルールでも、ファンが見たい方の闘いをやりたいね。私はどちらの準備もできている。

――コピィロフは「私がジャケットをつけたら、何倍も強くなる」と常々言ってますけど（笑）。

マリオ　それは私も同じだよ（笑）。それならどちらも100％の力を出せるジャケットマッチがやりたいね。

――いや～、それは見たいなぁ。もうこの場で決定にしましょうか？（笑）。コピィロフはバーリ・トゥード初戦だし、正直言って打撃が上手い選手じゃないんで、ジャケットマッチの方がいい試合になりそうですからね。コピィロフのビデオはもうご覧になりましたか？

マリオ　たくさん見たよ。コピィロフは私の愛弟子であるヒカルド・アローナのプロデビュー戦（2000年4月20日、リングス代々木大会）の相手だったから、その時からよく研究していたんだ。

――コピィロフは、ノゲイラ戦やカステロ・ブランコ戦が日本では有名ですけど、そのビデオはご覧になりましたか？

マリオ　ああ、見ているよ。あの試合を見ても、コピィロフがホントに危ない選手だということがわかるよ。彼は技の宝箱だね。何が来るか分からないから、ちょっとでも気を抜いたらカステロ・ブランコと同じ目に遭わされる危険性がある。集中して闘わないといけないと思っているよ。

【マリオ・スペーヒー】1966年9月28日、ブラジル出身。188cm、95kg。'96～'99柔術世界選手権4連覇。'99アブダビ98kg以下級＆無差別級2階級制覇。'99、'00アブダビ・スーパーファイト制覇と経歴だけで欄が埋まりそうな実績を持つ超大物柔術家。あのノゲイラの師匠でもあるBTTの首領。

――ところで、マリオさんの現在の体調はいかがですか？

マリオ　ヒザのケガもあってこのところいい状態じゃなかったけど、一日一日よくなってきているよ。

――最近の試合では、ニンジャ選手に敗れ、坂田選手に判定までもつれこんだことで、「マリオの実力に陰りが見えてきたんじゃないか」、という声も出てきているんですけど。

マリオ　出来る限りの練習はしたんだが、やはりヒザも手術したし、100％にはほど遠い体調だったことは否定できないよ。6月15日に手術をして、8月8日の試合まで2ヶ月なかった。だから、サカタとの試合は自分をためすという意味合いも強かった。しかも当日は体調も良かったんだが、目の上を切ってしまい、レフェリーに「これ以上、傷が深くなったら止める」と言われたので、安全に勝ちに行く形を取ってしまった。ファンには申し訳なかったと思うが、私も大舞台で負けるわけにいかなかったんだ。

――では、自分でも満足いってませんか？

マリオ　やはり満足はできないよ。サカタもディフェンスに回っていたしね。やはりお互いが攻め合う試合をファンは望んでいるから、次のコピィロフ戦では、最初から一本取りに行く闘いをするよ。

――コピィロフとは体重差が20キロぐらいありますが、それは気になりませんか？

マリオ　それはもちろん警戒しているよ。彼は打撃がそんなに上手いわけじゃないが、パワーがあるから、当たればKOされる可能性もあるからね。だからスタンドでもグラウンドでも100％集中して闘うよ。

――それにコピィロフは「ロシアン・トップチーム」を名乗っていますから、元祖「トップチーム」であるブラジリアン・トップチームの首領マリオ選手としては、特に負けられないんじゃないですか？（笑）。

マリオ　う～ん、彼らは実力者揃いだと思うし、エメリヤーエンコ・ヒョードルのような素晴らしい選手を育てていることは尊敬に値するけど、「ロシアン・トップチーム」という名前はちょっと違うと思うね。

――やっぱり、あの名前には納得いってませんか（笑）。

マリオ　せっかくいいチームなんだから、もっと彼らにとっていい名前があるんじゃないかな。彼らみたいな凄いグループは、もっとオリジナリティのあるいい名前をつけてほしいと思う。例えば……「ロシアン・シュートボクセ」とか（笑）。

――ガハハハハ！　お後がよろしいようで（笑）。

【02年8月29日／都内・某ホテルにて収録】

私の関節を極められる人間が存在するのなら一度お会いしてみたいね

強くて、シブくて、おバカで、オチャメ
ぼくらのコピィロフおじさん、PRIDE出陣!!
「寝技世界一」の称号を賭けてマリオ・スペーヒーと激突!

アンドレイ・コピィロフ

ロシア幻想爆発語録

サンボ全ソ連王者の圧倒的な極めの強さと、あっという間に切れるスタミナのアンバランスさでリングスを沸かせてきた、ぼくらのコピィロフおじさんが『PRIDE』参戦! いまだ底が見えない埋蔵量抜群の寝技技術を遂にメジャーな舞台で披露する日がやってきた。陽気な素顔の裏にある鋭すぎる眼光、みなさん、カッコイイとはこういうことさ。

構成／堀江ガンツ
designed by matsu(Two three)

フ語録

コピィロフおじさんと言えば、自らの寝技に対する絶対的な自信と、生来のサービス精神旺盛ぶりからくる、どこまで本気でどこまで冗談か境界線があいまいな発言も魅力のひとつ。まさにロシア幻想が広がりまくるコピィロフ語録をここではたっぷり集めてみました。

（KOKで2試合連続秒殺勝ちを収め）

KOKルールだと、俺の場合どうしても早く試合が終わってしまう。

（ノゲイラ戦の敗因を聞かれて）

俺が負けたのはミーシャのせいだ。ホテルの隣の部屋から、ミーシャと女の声が聞こえてきて眠れなかったんだ。

（KOKトーナメント直前記者会見で、アイブルが「優勝賞金でプレステ2を買いたい」と発言したことを受けて）

私は優勝賞金でオランダの友達にプレイステーション2をプレゼントしたい。

（KOKでオープンフィンガーグローブを付けない理由を問われて）

俺はサンビストだよ。そんなものは必要ないだろう。

サンボには5000の技があり、それらをすべてマスターして初めて真のサンビストと言えるんだ。

（第1回KOKトーナメントに出場してみて）

5年前だったら苦もなく優勝しているな。

（リングスが活動休止することになって）

どれだけ〝残念〟という言葉を使っても、その一言で今の自分の寂しい気持ちを言い表すことができない。

俺が酔っぱらったら、
ギターを振り回して
みんなを
殴りつける！

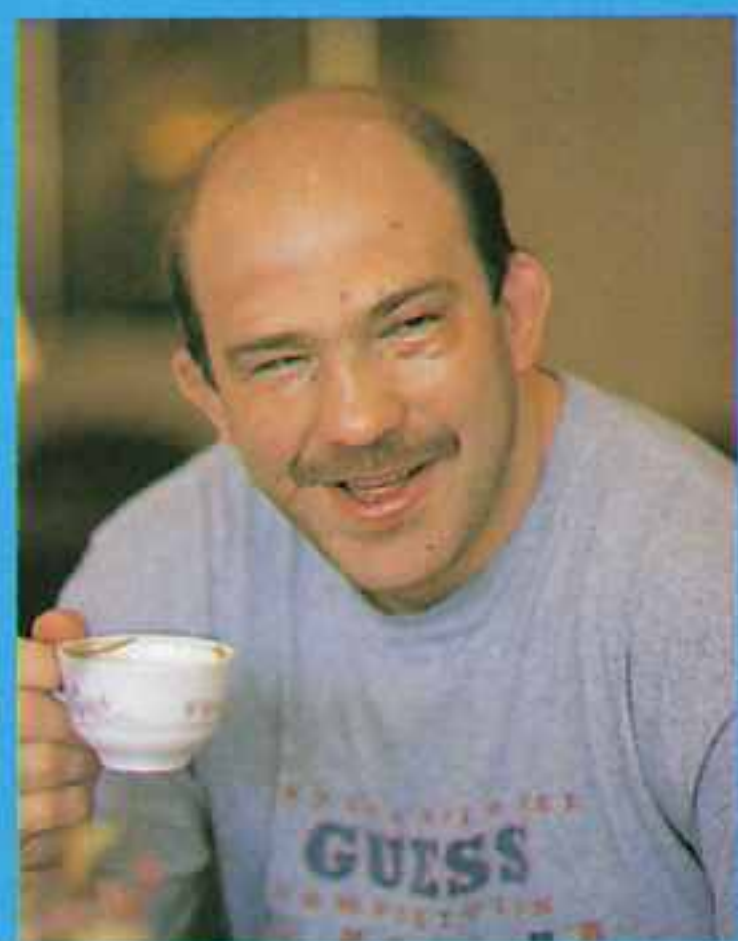
（2月15日、リングスラストマッチでのファンへの挨拶）
リングスがなくなっても、皆さんの心の中に
リングスが残ることを祈っています。

これからも〝リングス魂〟というものを心に持ち続けて闘っていきたいと思います。

ラウンドガールを見て、私は『PRIDE』が大好きになったよ

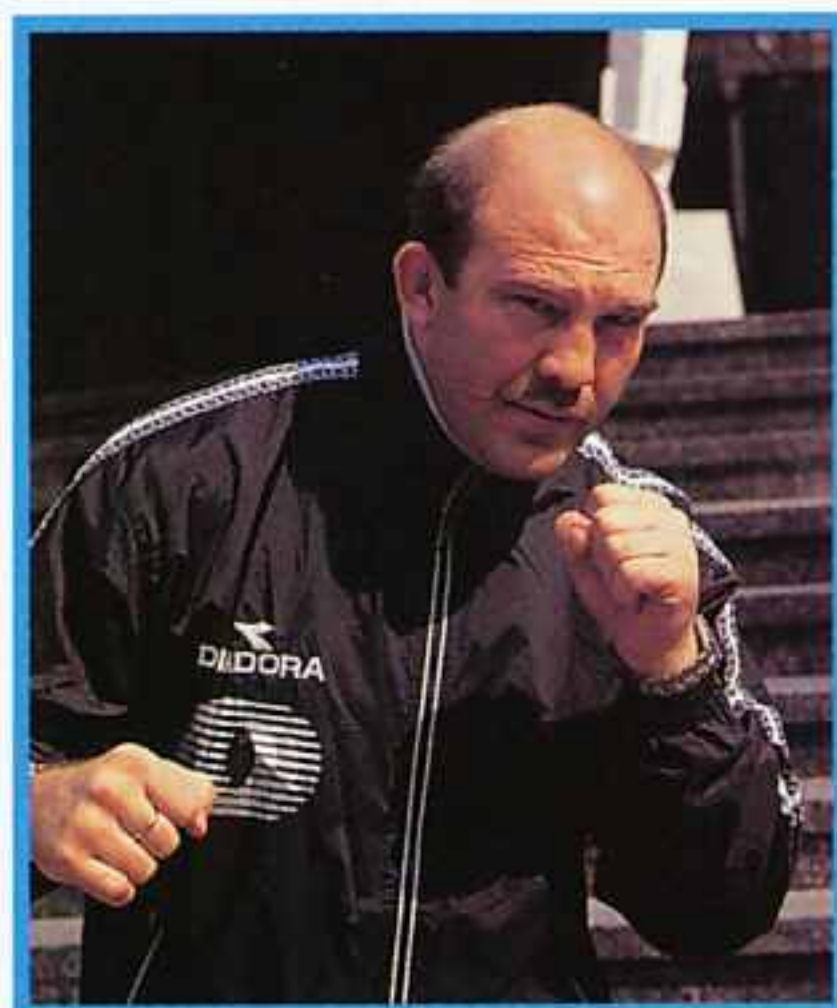
（『PRIDE・21』で印象に残った試合を聞かれ）
あの素晴らしいコスチュームを着たラウンドガールの姿以外、頭に思い浮かんでこない！

世界最強の茶飲み話

コピィロ

寝技になれば腕でも足でも差し出してやるが
俺を極められる奴なんかいないよ

（PRIDE王者となった
ノゲイラの話を振られて）
ノゲイラ？
ああ、俺の
寝技から
逃げた奴ね。

俺は寝技でノゲイラに
「劣っていなかった」
どころじゃなくて、
もてあそんでやったんだよ！

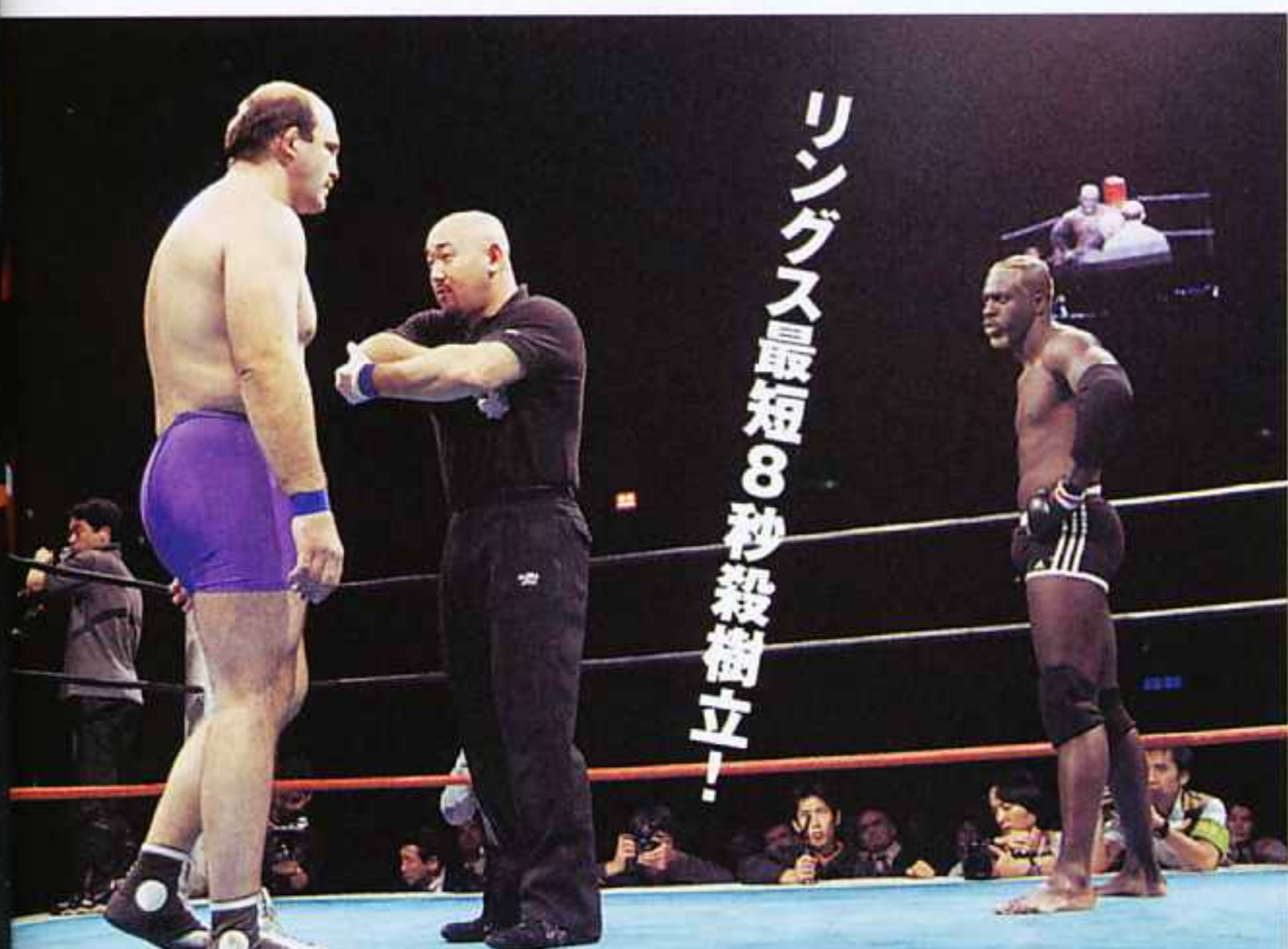
（フジテレビ『SRS』で「ノゲイラに勝てますか？」と聞かれて）
勝てるに決まってるさ。
だって寝技の技術では俺
の方がぜ～んぜん上だよ。

"リアル・3分間世界最強の男"

アンドレイ・コピィロフ 激闘FILE

vs アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

[2R 0-2 判定負け]
00.02.26 日本武道館

あのノゲイラを寝技でキリキリ舞いに!

「史上最高の寝技合戦」と呼ばれた伝説の一戦。KOK1、2回戦で大ブレイクしたコピィおじさんは、同じく優勝候補のノゲイラと激突。なんとあのノゲイラ相手に開始3分までは、関節技を次々と仕掛け押しまくる。結局、スタミナ切れで敗れたが、この時点での技術は、コピィおじさんの方が上だった。

リングス最短8秒殺樹立!

vs リカルド・フィエート

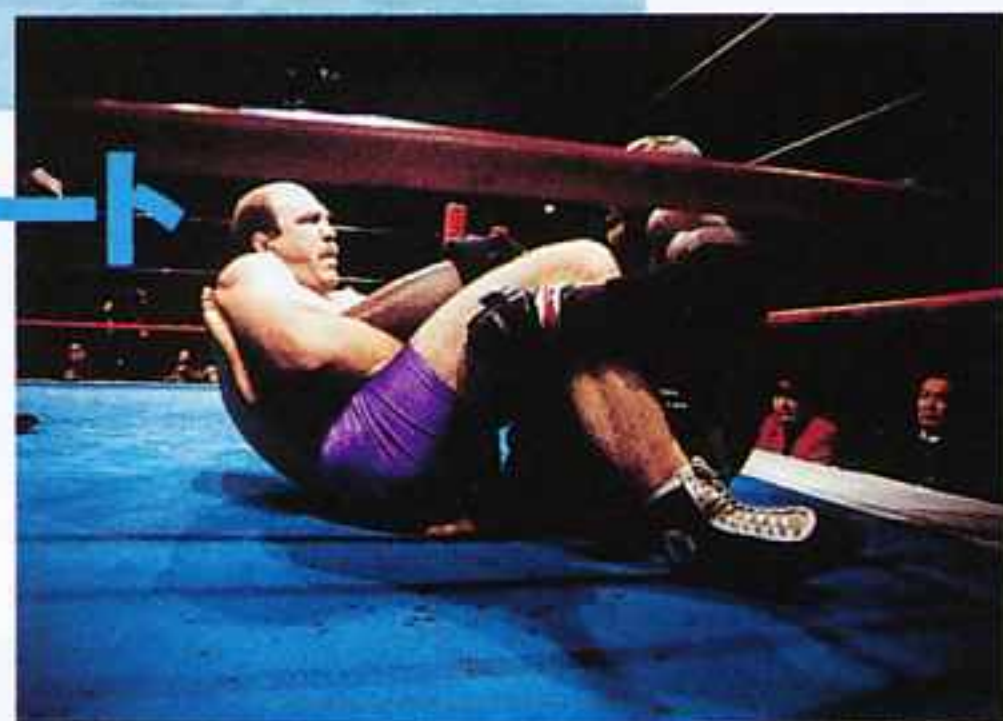
[1R 0分8秒 アキレス腱固め]
99.12.22 大阪府立体育会館

KOK1回戦で柔術世界王者を16秒で破り、2回戦でオランダのフィエートと激突したコピィおじさんは、いつもの陽気さからは考えられない恐ろしい目で睨み付け、眼光の鋭さがウリのフィエートをビビらせる。そしてゴングが鳴るや、わずか8秒でアキレス腱固めで勝利! 強ぇ!

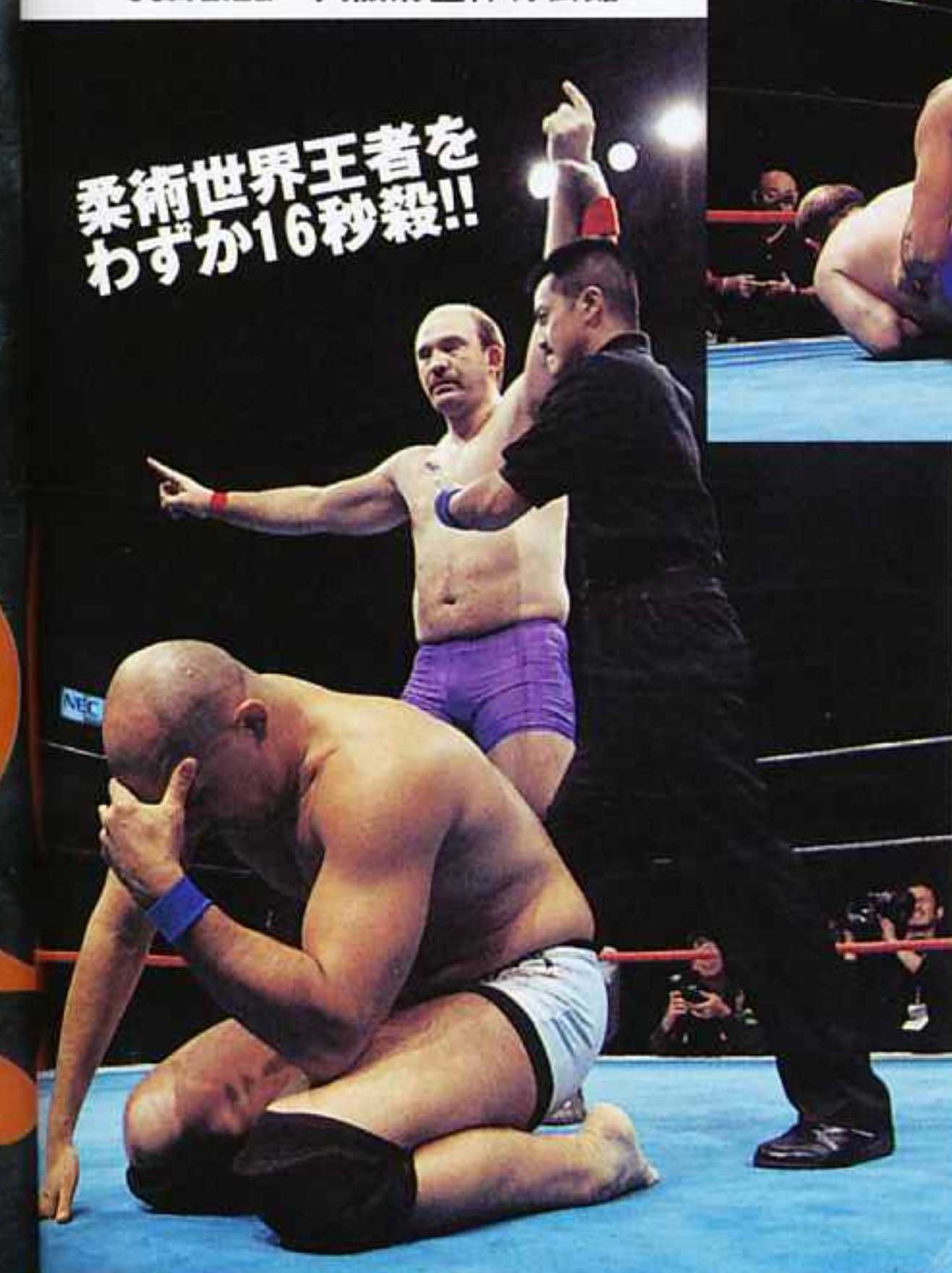
アブダビ王者とも寝技で真っ向勝負!

vs ヒカルド・アローナ

[2R 0-3 判定負け]
00.04.20 代々木第2体育館

KOKトーナメントで大旋風を巻き起こしたコピィおじさんは、時のアブダビ王者アローナの日本デビュー戦の前に立ちふさがる。このとき若干21歳にして「寝技世界一」に輝いたアローナの猛攻をスタミナが切れながらもフルタイム凌ぎきり、一本勝ちを許さなかった。

vs カステロ・ブランコ

[1R 0分16秒 ヒザ十字固め]
99.12.22 大阪府立体育会館

柔術世界王者をわずか16秒殺!!

第1回KOKトーナメント1回戦。コピィおじさんは、現役のブラジリアン柔術重量級世界王者ブランコと対戦。組み付いてきたブランコにいきなりビクトル投げをしかけ、わずか16秒殺! それまでハンに比べて地味だったコピィおじさんが、遂に隠していた牙を剥きだし、一気に大ブレイク。

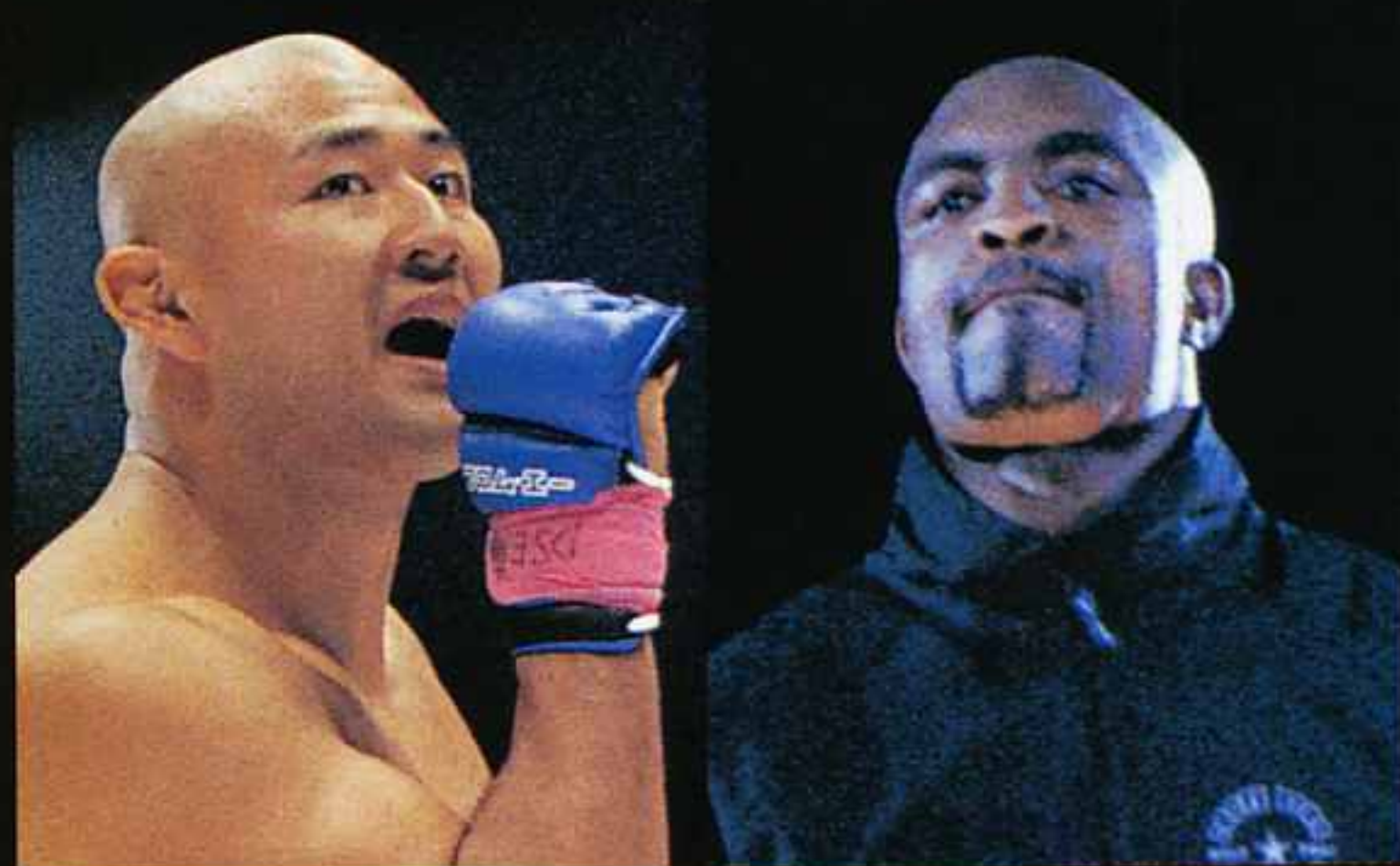
コピィロフおじさんと言えば、V・ハンとの複雑怪奇な関節技合戦を外すわけにいかない。92年7月に初来日戦で、すでにコマンド・サンボ旋風を巻き起こしていたハンと対戦し、いきなり一本勝ち。関節技の面白さをファンに教えてくれたのがハンとコピィロフだった。

これぞ関節技の芸術品!

vs ヴォルク・ハン (一連の闘い)

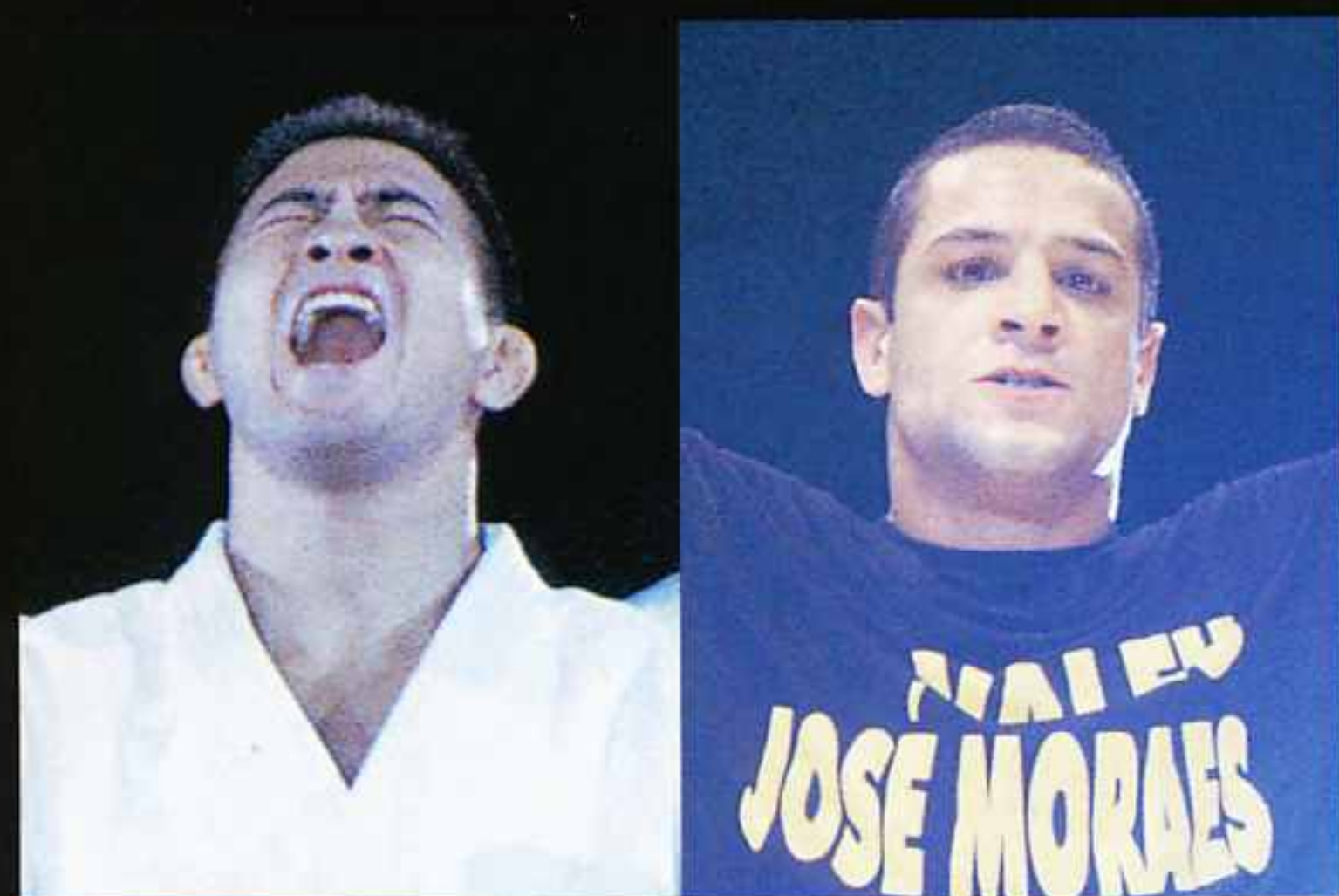
尾張決戦 “日本人殺し”の変

日本勢は何人生き残るのか!?

『PRIDE.22』9・29愛知・名古屋総合体育館レインボーホール

新生アレクが見られるか!?

アレクサンダー大塚［AO/DC］vs
アンデウソン・シウバ［シュート・ボクセ］

最後の日本男児の逆襲なるか!?

小路 晃［フリー］vs
パウロ・フィリオ［ブラジリアン・トップチーム］

ヘンゾのカタキを狂犬が狙う!

大山峻護［フリー］vs
ハイアン・グレイシー［ハイアン・グレイシー柔術アカデミー］

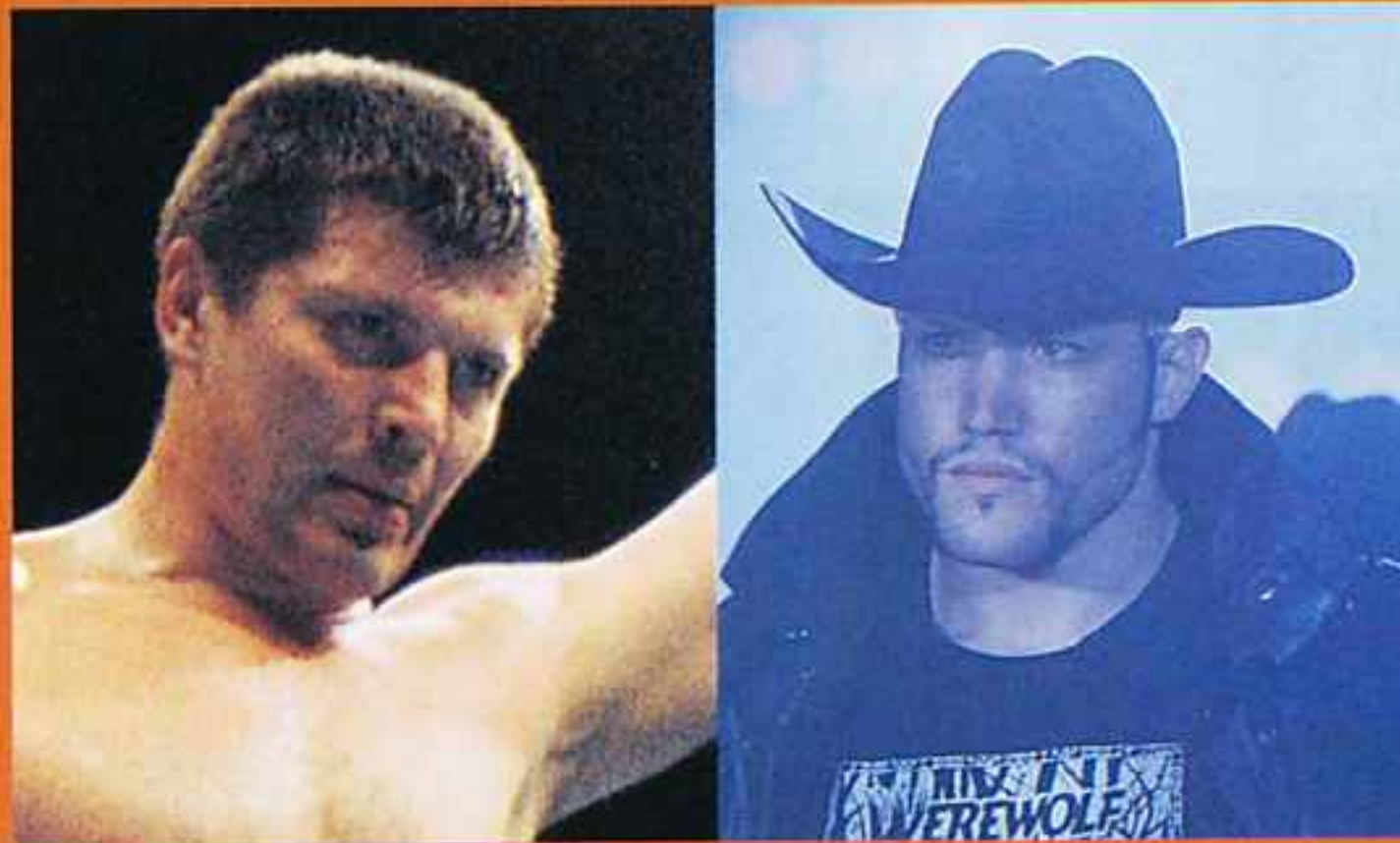
『PRIDE.22』試合順［予定］

1. 小原道由vsケビン・ランデルマン
2. 山本憲尚vsガイ・メッツアー
3. アレクサンダー大塚vsアンデウソン・シウバ
4. 小路晃vsパウロ・フィリオ
5. ヒース・ヒーリングvsコーチキン・ユーリー
6. マリオ・スペーヒーvsアンドレィ・コピィロフ
7. イゴール・ボブチャンチン vsクイントン・“ランペイジ”・ジャクソン
8. 大山峻護vsハイアン・グレイシー

※マリオvsコピィロフは136P、小原vsランデルマンは146P、ヤマノリvsメッツアーは150Pで特集してます

『PRIDE.22』
日時　9月29日（日）　開場:15:00　開始:16:30
会場　名古屋市総合体育館レインボーホール
チケット情報
VIP（ビップ）……¥100,000（特典予定:専用入場ゲート、グッズ付）
RRS（ロイヤルリングサイド）……¥25,000
スタンドS……¥15,000　スタンドA……¥7,000円
お問い合わせ
ドリームステージエンターテインメント　TEL.03-5775-5700

復活の最終兵器が、ランペイジと殴り合い!

イゴール・ボブチャンチン［フリー］vs
クイントン・“ランペイジ”・ジャクソン［チーム・イハ］

ロシアン・トップチームが荒馬と遭遇!

コーチキン・ユーリー［ロシアン・トップチーム］vs
ヒース・ヒーリング［ゴールデン・グローリー］

約2年振りに名古屋で開催されることになった『PRIDE』には、5名の日本人選手が登場。全選手とも外国人ファイターに挑むカード編成となった。

迎え撃つのは、ガイジン天国化が進む『PRIDE』だけに強豪揃い。久しぶりに実力派メッツアーが参戦すれば、山宮、美濃輪、近藤らパンクラシストを一蹴したパウロ・フィリオや、元UFC王者の“ジャングル番長”ことケビン・ランデルマンらが『PRIDE』初上陸。波に乗るシュート・ボクセからはアンデウソン・シウバが登場し、ヘンゾのカタキ・大山にツバを吐きかけんとばかりにハイアンも来襲する。これらの猛者を相手に回して、日本勢が壊滅する可能性は十分にある! 日本は死ぬか!?

しかし、絶体絶命のピンチではあるが、次回は東京ドームでの開催を予定している『PRIDE』である。ここでカチドキを挙げることができれば、東京ドームへの道を勢いよく切り開くことができる。弱体化が囁かれる日本勢にとっては名誉挽回の好機でもあり、起死回生の時でもある。

ガンバレ、ニッポンッ! ん〜ッ、ジャパァ〜ンッ!

他にも、打撃戦必至のボブチャンチンvsランペイジ戦という好カードや、元・極真戦士であり、リングスで活躍していたコーチキン・ユーリーがロシアン・トップチームとして参戦。ヒーリングに闘いを挑むなど、日本勢絡みだけではない注目のラインナップになっている『PRIDE.22』。ん〜ッ、名古屋!

聞き手／スモーノブ　構成・文／ジャン斉藤　designed by matsu（Two three）

「オレも"プロ"ですから、叩かれるのはしゃあないです。"プロ"として結果が出るまで闘いますよ」

小原道由 大逆襲

『PRIDE.22』で"ジャングル番長"ランデルマンに噛み付く！

「アッ！」と驚いたプロレスファンも多か

ど、周りがなんかいろいろ言っていたみた

犬逆襲

藤田や安田さんみたいに、俺も変わりたいなってのがあったし。

小原道由――新日本プロレス道場において、〝裏番〟と呼ばれていた実力者である。

新日本プロレス在籍時には、平成維震軍、T2000と、常にヒール集団に位置しており、蝶野正洋の手により黒スプレーで背中に〝犬〟と吹きかけられたことを発端に、後藤達俊と「犬軍団」を結成。リング上からは〝喧嘩番長〟の名に相応しい武勇伝を持った男の怖さを感じるのは稀であった。

しかし、昨年の『PRIDE.17』東京ドームにて、遂にガチンコのリングに登場。

小原とは、長州力に〝社会的に許されない言葉〟を吐いた元横綱・北尾に対して真っ先に殴りかかっていった男であり、誰も手が出せなかったドラゴン・ボンバーズの問題児・南海龍に、1人立ち向かっていったのもこの男。そして、橋本vs小川〝1・4事変〟では、「潰せ！　潰せ！」と周囲をアジりながら、UFO勢との大乱闘を巻き起こした張本人！　まさしく〝喧嘩番長〟なのだ！

それだけに、その腕っぷしの強さから、小原の『PRIDE』出陣には多くの期待が寄せられていた。

ところが、ドームに詰めかけた観衆の前にさらけ出したのは、対戦相手のヘンゾ・グレイシーの打撃の前に、顔を背け逃げ回る〝犬〟の姿であった。

観衆から大ブーイングを浴びた小原は、その試合を境にリング上から姿を消した。

今年の1月、新日本を激震させた武藤らの全日本の移籍騒動の影に隠れ、小原も新日本を離脱。バーリ・トゥード再挑戦の噂通り、今回『PRIDE.22』のリングにて、ほぼ1年振りにリングに姿を現すことになる。

相手は〝ジャングル番長〟の異名を持つケビン・ランデルマン。

〝番長対決〟となる獣対決は、尾張決戦のオープニングを飾ることになった。

前回は、一度も吠えることなく惨敗に終わった小原。

弱い犬ほど良く吠えるというが、長く沈黙を守り続けたのは、リング上で汚名を返上せんと吠え捲るためであろうか。

関係者の間では、いまだ小原の幻想を絶やすことない証言が飛び交い続けている。

この男、本当は強いのか？

すべては9・27『PRIDE.22』で明らかになるが、その前に、決戦を直前に控えた小原の言葉を聞いてほしい。

小原が「吉田秀彦と練習している」という事実は知れ渡っていたが、久しぶりの表舞台の登場となったのは先日の『Dynamite!』吉田vsホイスのときだ。小原は吉田のセコンドとして、その姿を現したのである。金メダリストとの入場は、小原の維震軍、犬軍団を知る者からすれば、驚愕の光景である。名古屋では、吉田が小原のセコンドに付く。

●

――吉田（秀彦）さんと一緒に練習されていることは報道されていましたけど、小原さんが長らく公の場から姿を消していたこともあって、『Dynamite!』で吉田さんのセコンドとして登場したときは「アッ！」と驚いたプロレスファンも多かったですよ。

小原　いや、姿を消していたんじゃなくて、タイミングが合わなくて試合に出れなかっただけですけどね。

――機会を伺っていたわけですか。

小原　そうですね。ずっと（総合の）練習してましたから。

――それで、小原さんが『PRIDE.22』に参戦するという話が出てますけど、決定でよろしいんですよね？（このインタビューをした時点では正式発表はなし）。

小原　そうですね。相手はまだ決まってないけど。

――当初はタンク・アボットとの〝喧嘩屋〟対決が噂されてましたけど、どうやらケビン・ランデルマンとの〝番長〟対決になると聞いてますよ。

小原　ああ、なんかちょっとその話は聞きましたね。

――小原さんにとっては昨年（『PRIDE17』／11・3東京ドーム）のヘンゾ・グレイシー戦以来の『PRIDE』参戦になりますが……あの試合の『紙プロ』の報道に、小原さんがかなり怒っているという噂を聞いているんですが……。

小原　エェ？

――いや、風の噂で、小原さんが『紙プロ』に激怒してると聞いたんですよ（汗）。

小原　ああ、僕は別に怒ってないんだけど、周りがなんかいろいろ言っていたみたいでね。

――あ、周りの方が……（ホッ）。

小原　僕は雑誌は全然、読まないんで知らなかったんだけど、読んだ人が御丁寧に教えてくれましたね（ニヤリと笑って）。でも、僕自身はそんなには怒ってないですよ。

――そんなには、ですか（汗）。

小原　いや、他の雑誌でも叩かれたけど、俺は〝プロ〟ですから叩かれるのはしゃあないですし、何とも思ってないですよ（小声ながらキッパリと）。

――プロ意識が強いですね！　あの試合で小原さんは、「新日道場では寝技が一番強い」とう触れ込みだったじゃないですか？

小原　いえいえ、そんなことないですよ（笑）。

――「あの●●選手が小原選手の抑え込みにピクリとも動けなかった」とか、いろいろお話が入ってきてるんですけど。

小原　いやいや……そんなことない（苦笑）。

――喧嘩のスゴイ噂も聞いてるんですけど？

小原　喧嘩はしないです、全然（意味ありげに笑って）。

――全然ですか（笑）。

小原　まあ……喧嘩と試合は違いますからね。

――実際、試合をしてみて喧嘩とバーリ・トゥードでは、どの辺が違うと思いましたか？

小原　う～ん、何て言うのかな……。気持ちの問題が一番大きかったですね。

――でも、〝喧嘩度胸〟という言葉もありますし、小原さんはそういった部分のハートは強いんじゃないですか？

小原　いや、やっぱり（バーリ・トゥードの）経験のある人とやったらね……。

―引き出しの数も違うし、そういう部分で気持ちに響く、と。

小原　ってのもあるし、前回やったときは、何もできなかったというのがあったんで。……なにしろ前に出れなかったから。

―ヘンゾの打撃に手こずってましたね。

小原　自分が考えていたのと違ったっていうか。プロレスもそうですけど、一筋縄ではいかないですね。

―いまは吉田さんや高阪さんと練習されてる聞いてますけど、ヘンゾ戦の前は新宿スポーツセンターで菊田（早苗）さんと練習されたんですよね？

小原　そうですね。いまは行ってないですけどね。

―不思議な組み合わせですけど、GRABAKAとはどういう接点があったんですか？

小原　柔道繋がりですよ。

―ああ、なるほど（笑）。で、ヘンゾ戦では、小原さんは「プロレスの看板を背負ってやる」と言ってましたよね？

小原　看板は背負っていましたよ。でも、言い訳するわけじゃないけど、僕は新日のトップじゃないから気楽な部分はありましたよね。プロレスでも負けてばっかいたし、そういう部分では負けてもともとみたいなとこはあったから、それといったプレッシャーはなかったけどね。……それが逆に言ったらあまり良くなかったのかもしれないけど。

―藤田さんや安田さん、永田さんもそうでしたけど、新日本の選手がバーリ・トゥードに出る場合は猪木さんの影響が多大にあるじゃないですか？　でも、小原さんはそこから離れて、個人的な動機で挑戦してる印象を受けたんですよ。

犬逆襲

負けたケジメつけるために、新日本をやめたんですよ

小原　フッ。まあ、どうなのかね？

―あんまり、猪木さんは関係ないですよね、小原さんは。

小原　関係ないっちゃ関係ないけどね（笑）。でも、まるっきり関係ないわけじゃないし。結局、石澤にしても、藤田にしても、安田さんにしても、猪木派っていう言い方はおかしいけど、猪木さんの弟子みたいなもんだからね。

―小原さんは藤田さんたちとは違うわけですか？

小原　どうなんだろうね……？　藤田や石澤に刺激されたのはあったけどね。藤田や安田さんもそうだけど、『PRIDE』に出て帰ってきたら、全然違いましたからね。

―2人とも〝外〟で結果を出したことで、一気に新日本のトップに駆け上がりましたからね。

小原　（つぶやくように）俺も、変わりたいなってのがあったし。「あ、これしかないな」って思ったんで。ギャンブル的なもので一発勝負してやろうかなぁと。当たらなかったけど（笑）。

―ギャンブルでしたか。

小原　俺、ギャンブル好きなんですよ（笑）。

―そういえば、小原さんのプロフィールにもそう書いてありましたね（笑）。それで、話を戻すと、小原さんは藤田さんや安田さん同様、〝外〟に出て勝つことでプロレスに還元しようとしていたわけですね。

小原　うん。だから、勝っていたら（新日本を）やめてなかったよ。負けたらね、ケジメじゃないけどそうしようと。

―そんな覚悟があったんですね！

小原　カッコつけてるわけじゃないけどね。でもまぁ、何もできなかったしね。

―今回の『PRIDE』出陣はどういう心境なんですか？

【写真上】昨年の7・20新日札幌ドームで、オープンフィンガーグローブ着用で安田と対戦した小原。この時期に小原は総合進出を決意。マスコミでは小原のリングス参戦の報道がなされ、ヴォルク・アターエフとの〝狼vs犬〟対決がプランニングされていたのだ！
【写真下】昨年の10・8新日東京ドームで行われた〝番犬vs番人〟。安田戦に続き、小原は敗北。小原がヘンゾ戦で評価を挙げていれば、この〝格闘プロレス〟路線は続いていたことになる。

小原　前回よりちょっと違いますね……。

―ちょっとだけ？

小原　いや、だいぶですね（笑）。前は、浅はかな気持ちというか、何ていうのかな……？

―ヤマッ気というか（笑）。

小原　そう。そういう気持ちでやってたけど、今回はリベンジですね。

―小原さんは、プロレスに戻ることは考えてないんですか？　小原さんが今年1月に新日本を辞められたときには、武藤さんらと共に全日本への移籍の報道もありましたけど。

小原　全日本？　いや、全然ない（笑）。僕はあの人たちが全日本に行く話ですら、全然知りませんでしたから。契約のときに事務所に行ったら、マスコミが集まっていたんで「なんだ？」って感じでしたからね（笑）。

―たまたま同時期に辞めたというだけですか。

小原　まあ、一番良いのは、僕はプロレスラーだから両立してやるのがいいんだろうけど、一回違うモノをちゃんと吸収したいというか。打撃とかもそうだけど。

―小原さんの寝技の強さは噂で良く聞きますけど、いまは打撃を習得中ですか。

小原　試合になってみないとわからないですけどね。先のことも正直言って、まだ次の試合も終わってないんで何も考えてないです。

―目の前の試合に集中してるわけですか。そういうば、同じ平成維震軍だった斉藤彰俊さんが、小原さんのことを気にしてましたよ。

小原　あの人、何か言っていたんですか（笑）。

―彰俊さんにインタビューしたときに、

小原選手が試合をしてないんで心配していたんですよ。彰俊さんとは最近は会われたりとかしてないんですか?

小原　もうここ何年も会ってないですね。新日本の巡業で名古屋に行ったときは、あの人の店にはよく顔を出してましたけどね。

──彰俊さんが名古屋でやられていたカクテル・バー「ココナッツ・リゾート」ですね。

小原　いまは全然、あっち行かないし、あの人もノアで忙しいしね。

──彰俊さんはいまでも、「平成維震軍は思い出として大切にしてる」「離れていても魂の繋がりは感じる」と言っていたんですよ。

小原　（照れながら）ボ、ボクはあんま感じないなぁ……。

──あれ〜!?　そうなんですか（笑）。

小原　ハッハッハッハッハッ！

──ファンでも平成維震軍に熱い想い入れを持ってる人はいまでも多いんですよ。

小原　ボクらのファンっていたんですか?（笑）。あのころは、罵声を浴びられていたことしか覚えてないです（笑）。

──でも、罵声を浴びるというのはヒールとして気持ちいいもんですよね?

小原　あんまり気持ち良くなかったですけどね。

──あ、罵声はイヤでしたか（笑）。

小原　っていうか、本当に嫌われていただけじゃないんですか（笑）。

──いや、後藤達俊さんとの「犬軍団」は本当に面白かったですよ（笑）。タッグベルトを取ったあとの控室で「ビール1ダース持ってこい！」とフロントを脅したり、「防衛戦しか試合に出ない」とかワガママ言ったり（笑）。キャラだったとはいえ、本音の部分で待遇の面での不満とかはなかったんですか?

小原　いや、チャンスをもらったときにモノにできない自分自身が悪いんだよね。それで、下の者も伸びてきて低迷するようになって……。あんまり深く考えることはなかったんだけど「俺、この世界入って何かやったのか」って考えたら、何もやってない思ってね。

──犬軍団をやりながらも、悩んでいたんですね。

小原　ここ一発、何かをやるのかっていったら、やっぱり『PRIDE』だったから。

──前回はギャンブル、今回はリベンジということですけど、勝負所には変わりはないですよね。

小原　まあ、所詮、なるようにならないとしか思ってないから。……またやり直さなきゃならないぐらいしか思ってないから。

──この流れの中でしばらくは戦い続けるわけですね。

小原　どうなるかわからないけど、結果を出すまではやりたいなと思いますね。

吉田道場関係者　……すいません。そろそろ練習を始めたいんで、この辺で……。

──あ、わかりました。小原さん、お忙しいなか、ありがとうございました！

う〜ん、残念！　とにかく、残念だ！　●

【02年9月16日／梅ヶ丘「吉田道場」で収録】

【おはら・みちよし】国士舘大学在学中にアニマル浜口ジムに通い、新日本プロレスに入門。アニマル浜口ジム出身第1号プロレスラーとなる。新日本ではヤングライオン杯で優勝し、反選手会同盟、平成維震軍などで活躍していたが、やはり、記憶に残っているのは"1・4事変"での暴れ振りである。「潰せ！潰せ」「オラッ〜、いくぞ!!」などのアジテーションも含め尋常でない凶暴な素顔を顕わにした。177センチ、110キロ。35歳。

本誌コラム『ザ・検証』でもおなじみの平成維震軍の面々。とにかくビジュアル・インパクト大の選手ばかりだ。越中詩郎、後藤達俊は現役、小林邦明は新日本プロレスサービスの取締役、キムケン兄貴は解説者（一応現役）、斉藤彰俊はノア、カブキはIWAで復活と、維震の魂は各方面に浸透している。覇ッ！

小原のアニマル浜口ジム時代の話から、誠心会館との抗争、反選手会同盟、そして、平成維震軍に犬軍団！　とても誌面にできない物騒なエピソードはもちろん、『PRIDE』再登場の話題に限らず、聞きたいことは山ほどあった！　わけだが、試合を直前にして、"絶賛調整中"の喧嘩番長である。わずか20分足らずのインタビューであったが、練習前の貴重な時間を無理を言って割いてもらっただけに、その決戦前の心中を聞けただけでもラッキーであった。

インタビュー中は重たげな口を開き、ボソリ、ボソリと言葉を発した小原。

前回、ヘンゾ戦で感じた「喧嘩と違う」不安もあると思うが、小原自身のプロレスラー人生を変えてしまった激流のリングのなかで、結果は出すまでは飾った言葉を不要であり、吉田秀彦、髙阪剛ら実力者と練習を積んでいるだけに、自信からくる落ち着きにも見受けられた。あとはリングで吠えるだけということか。

前回のヘンゾ戦で履いていた小原のスパッツには「犬坤一擲」と文字が入っていたが、犬の名誉と、脚光浴びる舞台を取り戻すために、今回こそがまさに犬坤一擲。ランデルマン戦は注目なのだ！　覇ッ！

ジャングル番長が『PRIDE』初咆哮！"喧嘩番長"小原と番長対決だ！

『PRIDE』初参戦となるランデルマンだが、『PRIDE』GP1回戦で桜庭和志と対戦が予定されていたこともある。その風貌、アクションは（試合前のバックステージで転倒し試合中止になるのも含め）とにかく惹きつけるモノがあるが、逆にファイトスタイルはレスリングをベースにしたカタイ試合運びをする。最近は低迷しているが……。元UFC王者。

Kevin Randleman
ケビン・ランデルマン

9・29『PRIDE.22』名古屋大会でガイ・メッツアーと激突！

拡大版

高田道場の治外法権！ヤマヨシ（現ヤマノリ）の今月のお言葉だもの

★今月のお言葉

「6、5で俺が勝つ!!」

メッツァーに勝って
オレが髙田道場の風向きを変える！

カッコつけるんじゃなく、泥臭くてもいいから、必ず勝つ！

──今回は『PRIDE22』でのガイ・メッツアー戦直前ということで、試合への意気込みを聞かせてもらえればと思ってるんですけど？

ヤマノリ それで何、コラムの中におり込もうと思ってんの？

──いえいえ、違いますよ。今回はページを拡大してお届けいたします！

ヤマノリ いつも拡大してよ（笑）。

──いつも拡大しちゃったらありがたみがないじゃないですか（笑）。

ヤマノリ あ、そう（笑）。で、何を語りゃいいの？ 試合の意気込みは全部会見で言っちゃったんだよ。

──『紙プロ』には、その会見のリリースが、なんかの手違いで届かなくて行けなかったんですよ。

ヤマノリ じゃあ他の記者に聞いたら。

──いや、ネットで調べましたんで（笑）。会見では「メッツアーは相手の光りを消すタイプなんで、自分の光りを消されないように、相手を光らせ最後は俺が勝つ！」って言ってましたね。

ヤマノリ う～ん、でも、いつも負ける時は相手が光っちゃうんだよなぁ（苦笑）。

──そんな自虐的な（笑）。

ヤマノリ でもやっぱりね、ここ最近、道場的には、いい風向きが来てないんですよ。

──そうかもしれませんね。

ヤマノリ だから、勝って風向きを変えたいよね。それに年内中に高田さんが引退するって話も出てるじゃない？ だから、なおさら風向きをこっちに向かせないといけないと思うし。そういう意味でやっぱり、今回は俺自身落とせないんでね。やっぱり、そういう使命感はありますから。

──対戦相手のメッツァー選手には、どんなイメージがありますか？

ヤマノリ なんか掴みどころがない選手やね。パンチとか打撃もうまいし、掴みどころがないんだけど強いでしょ。それに彼は、どっちかと言うとアマチュアイズムなんじゃないんですかね。

──確かには以前は膠着のイメージが強かったですけど、ここ最近はアグレッシブになってきてますからね。それで、試合展開はどうなりそうですか？

ヤマノリ まあ一本かKOか……もしくは判定かね（笑）。

──それは、そうでしょうけど（笑）。

ヤマノリ まあとにかく！ 今回は落とせないぞ、と。いつも勝つっていうのが前提にあるし気持ち的には変わらないんだけど、誰かが風向きをこっちに向けさせないといけないんでね。リレーみたいなもんですよ。どんどんバトンタッチしていくみたいなね。それでアンカーの、この俺が最後に紙テープを切ると。あ、アンカーは高田さんだ（笑）。まあ俺自身も前回負けてるんで、今度は勝たなきゃいけないんだよ。いや、必ず勝つ！

──ヤマノリさんに限らず、今回出場する日本人選手は、ある意味、みんな勝負所ですからね。

ヤマノリ いや、毎回、日本人はそういうふうに言われるんだよ。格闘技はまず結果が求められるから。

──確かにそうかもしれませんね（笑）。

ヤマノリ ただ、やっぱり危機感を持ってないと結果はついてこないし、まして や、お客さんが満足する試合なんてできない。とにかく勝つっていうのが大前提ですよ。今回ばっかりは、どんなことをしてでも勝つ！（キッパリ）。

──どんなことをしてでも勝つと？

ヤマノリ そう、それしか考えてない。

──それを、いつもの「お言葉」にするならどんな感じでしょうか？

ヤマノリ そうだね、カッコつけるんじゃなくてね、泥臭くてもいいから勝つ。テーマは〝泥臭い〟だね。

──〝泥臭い〟ですか（笑）。

ヤマノリ そう。ドロドロのカッコ悪い闘いになるかもしれないけどね。

──やる前からなんですけど、メッツァー戦後の展望として何か考えてることってあるんですか。

ヤマノリ いろいろとあるんだけど、やっぱりベルトは欲しいよね。

──ヤマノリさんは体格的にはヘビー級ですから、相手はノゲイラですかね。

ヤマノリ いや、俺はミドル級でもいけるんだけどね（笑）。

──ミドルでやる気はあるんですか？

ヤマノリ ない！……いや、ある！

──どっちなんですか！（笑）。

ヤマノリ やっぱヘビー級だな。ヘビーは無差別だし一番強いと思うんだよ。世界最強っていうのはヘビー級かなと。この世界でやってる限り、一瞬でも頂点を極めたいっていうのはあるからね。

──メッツアー戦をクリアして、なんとかノゲイラが持つヘビー級のチャンピオンベルトまで辿り着きたいと？

ヤマノリ いやノゲイラでも誰でもいいんだけど、単純にベルトを巻きたいんだよ。極端に言うと世界最強だよね。

──世界最強と呼ばれる男になりたいということですね。

ヤマノリ そうそう。一瞬だけでもいいしね。勝った時に一瞬でも、そう言われるじゃない？ そういう満足感を自分の中に得たいよね。まあ、それまでにやることはいっぱいあるんだけど、目標設定しないと人間って、それに向けて一歩一歩登っていけないからさ。

──それはありますよね。

ヤマノリ 目標もなく、ただ淡々と登っていくっていうのも面白みがないやん。受験生だって東大に入りたいと思ってみんな必死になって頑張ってるわけでしょ？ 自分の道を迷わず突き進むっていうね。

──行けばわかるさ、ってことですね。

ヤマノリ そうそう（笑）。でもやっぱり、今回は自分自身勝たなきゃいけないし、勝つ！ とにかく勝つっていうね。もう頭の中は、勝つってことしかないんだよ。

──すでに頭の中は勝つだらけ？（笑）。

ヤマノリ 昨日は俺、みそカツ食ったしね。これから試合までカツばっかり食ってゲンを担ごうかなと。

──それもいいかもしれませんね（笑）。

ヤマノリ まあとにかく、髙田道場と、もちろん自分にもいい風を吹かせたいっていうのがあるし頑張るよ。それができるのは俺しかいないなと思ってるから。使命感の強い男だからさ。

──ヤマノリさんの使命感に期待してます！ あ、最後に前号のノゲイラvsサップ戦の勝敗予想をズバリ的中させたヤマノリさんに聞きますけど、客観的に見て、ヤマノリvsメッツアー戦を予想するとどんな感じになりますか？

ヤマノリ そうだね。まあ、6・5で俺の勝ちかな。

──エッ、6・5ですか⁉ 6・4じゃないんですね？（笑）。

ヤマノリ 6・5だよ（キッパリ）。だいたい、足して10にならなきゃいけないって、誰が決めたんだよ！

──ま、まあ、そうですよね（苦笑）。

ヤマノリ 泥臭い闘いになるだろうけど、最後に俺は勝つから！

【02年9月14日／髙田道場にて収録】

ヤマノリの対戦相手ガイ・メッツアーは「PRIDE」へは昨年9月のアローナ戦以来、約1年ぶりの登場となる。こちらも「PRIDE」再定着のため負けられない一戦だ！

シウバが新たな獲物に照準を合わせた！

ヨシダと殺りたい

「相手は誰でもいい」シウバが、吉田秀彦を指名した！

「闘いたい相手？　それはヨシダ（吉田秀彦）だ！」。

相手は誰でも構わないし、興味も示さない。試合で自分が最高のパフォーマンスすることしか考えない男ヴァンダレイ・シウバが、鋭い眼光をたぎらせながら早口に言い放った！

岩崎達也を秒殺した、世紀のビッグイベント8・28『Dynamite!』の翌日、滞在中のホテルにての『PRIDE』ミドル級王者インタビュー。

「オレはファイナンスのエージェントになりたいんだ。ちゃんと勉強だってしてるんだ」。

どちらかというと、裏金融の取り立て屋の方が相応しい強面に笑みをのぞかせて将来の夢を語ってくれたシウバは、今回の『Dynamite!』で一転二転どころか十転ぐらいした対戦相手ついて「誰でも良かったんだ」と我関せず。「ブラジルを出たときはカネハラ（金原弜）と闘うと思っていた。良くは知らない選手だけどな」と、打倒・シウバの最右翼はまったく視界に入っておらず、もちろん「イワサキがカラテファイターと知ったのは試合後」であり、今回、対戦候補として浮上した天龍に「テンルー？　誰だ、それは」と言うのは当たり前。〝主食・日本人〟ながら日本人選手をよく知らないのであるが、『Dynamite!』でシウバが目が離せなかったのは、桜庭、吉田の試合であり、アントン総帥の3千メートルダイブ！　つまり、自分より目立っている人間には異常な関心を示す男がシウバなのだ。

シウバは桜庭がミルコに不測の負傷で敗れた一戦を、「ケガがなかったら、サクラバが勝っていた」と語り、ホイスvs吉田は「ヨシダの勝利」とキッパリと断言した。紛糾されている灰色の結末については「時間の問題だった。実力差があり過ぎた」と吉田の強さを絶賛。続けて「オレがヨシダとやれば、もっと観客をヒートさせる試合なる」と豪語し、「『PRIDE』ルールで闘いたい」と対戦を表明。用意された獲物を食い潰すだけの野獣が唯一、対戦を希望したのは桜庭に対してだけであり、これは異例のことなのだ。

だが、アントン総帥と、柔道着を「脱げ！」「脱がない！」とヌード写真集撮影現場の修羅場を思わせるやり取りを展開した吉田だけに、シウバの土俵である『PRIDE』ルールの対戦は難しいといわざろうえない。

しかし！『PRIDE.23』東京ドームにて、吉田が髙田総裁と〝ハダカ〟で相まみえるプランが浮上！『PRIDE』ルールでの対戦の好機がなくもないわけだ。

しかし！　ノゲイラや再戦を主張するホイスなど、吉田と対戦を希望する者は後が立たないなかで、その並みいる立候補者から一歩抜け出すには強烈なステップを踏み続けなければいけない。

最近では、〝主食・日本人〟として食しすぎたせいか、日本人対戦相手がままならぬシウバは、このままでは強烈なインパクトどころか、リングに立つことすら危うい状況である。新たな格闘ロードを切り開く必要があるのだ。

それは何度か噂となり、シウバ自身も「オレはムエタイのファイターでもある」と意欲をみせるK—1参戦なのか？「シウバが最強!?　笑わせるなよ」と雑音を吐き続けるヒカルド・アローナや、血塗れの抗争を続けるブラジリアン・トップチームとの因縁決着戦なのか？

下半期のマット界。吉田戦に至らずとも、シウバが興奮必至の絡みを見せるのは間違いなさそうだ！

（ジャン斉藤）

シウバ、76秒で元・極真戦士を一蹴!

8.28『Dynamite!』／岩崎達也戦

1｜大会直前、電車の乗客が読んでいた『東スポ』で石井館長の呼びかけを知り、大山峻護、金泰永（!）らと共に、シウバの対戦相手に名乗り挙げた岩崎。極真魂を感じる勇気は称賛に値するが、経緯に至らせた『東スポ』の力も見逃せない。

2｜先制打は岩崎の左ミドルだったが、瞬く間にシウバの逆襲が始まった!　首相撲からのヒザ蹴りで岩崎の体勢を崩し、自身が有利な状態なままグラウンドの攻防に移行。「イワサキの打撃は脅威に感じなかった」とシウバの弁。

3｜パンクラスで菊田とエキシビジョンマッチだけと総合の経験が浅い岩崎からあっさりマウントを奪取。岩崎がパンチを嫌がり半身なったところでチョークを仕掛けたが、これは岩崎が切り抜けた。シウバの寝技の実力は……!?

4｜危機を脱出し立ち上がった岩崎に、シウバは左ハイ一閃!　不意を突かれ崩れ落ちた岩崎をそのままコーナーに押し込みラッシュをかけ無抵抗の岩崎にレフェリーストップがくだされ試合は終了。その瞬間、シウバさんは満面の笑みです!

本格派MMAと異種格闘技MMAが真っ向激突!!

島田裕二プロデュースvsブッカーKプロデュース

10.20『THE BEST』先取り情報

MMA（ミックスト・マーシャル・アーツ）ファンを震撼させるビックプロジェクトが発動！　カリスマレフェリーとスゴ腕ブッカーがプロデュース対決だ！

10月20日に行われる『THE BEST』は、島田裕二PRIDEルールディレクターとブッカーKこと川崎浩一氏の、2人のプロデュースで開催される運びになった。大会概要としては、両氏の共同プロデュースという形ではなく、別々にカードを編成する仕組みとなっている。

まず、「自称・レフェリー生活10周年記念イベント」としてやる気をみせる島田氏のプロジェクトから紹介していこう。島田氏は、MMAの常識から根底を覆すべく、アジアの強豪たちを集結させることを豪語！　沖縄琉球空手に始まり、中国散打、韓国テコンドー、モンゴル相撲、グルジア・チタオバ、インドネシア拳法などなど…。アジア各国から「ミスター・シマダにぜひ協力したい」と、オファーが続々と殺到していることを明かした。正式に参戦が決定しているのは、フジテレビでも紹介された〝槍がノドに突き刺さっても痛たくない男〟魔法人の門下生が2名と、インドネシアからはハリマオ・アジなる怪選手。中国奥地からも、未知の強豪の発掘を予定している島田氏だけに、まさか、あのヴァーゴン投入の可能性も浮上してきている！　サバイバル飛田の登場もあるのだろうか？（ヴァーゴンについては絶賛完売中の『RADICAL』NO．18を参照）。そして、驚くべきことに、かつてフロリダマットにおいてニンジャ2号として活躍していた島田氏が「打撃なしならやってもいいかな」と現役復帰を匂わしたのだ！　ムリーロ・ニンジャと〝ニンジャ対決〟という夢のマッチマイクも実現!?　ん〜ッ、ニンジャ！（「タクシー2」調）。

さて、ビックリ仰天な島田プランに続き、ブッカーKプロデュースに話を移そう。

川崎氏は、『THE BEST』本来のコンセプトである『PRIDE』への登竜門的カードをプロデュースする模様だ。江宗勲を筆頭に若手優秀選手の人材溢れるWKネットワーク勢と、川崎氏がブッキングする正統派MMA強豪外人との対戦を予定。島田氏の奇抜なアイデアに、正統派マッチメイクで対抗する構えだ。近未来の『PRIDE』のスターファイターの活躍は絶対に必見である。

この夏に灼熱の格闘技戦争が勃発したマット界。秋には紅葉のプロデュース戦争が巻き起こることになった。島田レフェリー、ブッカーK、勝つのはどっちだ!?（三方を指差し）ジャッジ、ジャッジ、ジャッジ、レディッ、ザ・ベスト！

『THE BEST』Vol.3

◆**日時**　10月20日（日）16:00開始
◆**会場**　ディファ有明
◆**大会内容**　『PRIDE』を目指す世界各国の若き格闘家たちの闘いを実施予定
◆**チケット**　『PRIDE』ファンクラブ加入者のみ購入可能。残席が有れば一般発売を実施予定。9月29日（日）AM10:00より一斉発売
◆**お問い合わせ**　ドリームステージエンターテインメント TEL.03-5775-5700

『THE BEST』のエース的存在の江宗勲。アミール、ボブ・シュライバーを下し、ただいま2連勝中。『PRIDE』昇格を期待されるヘビー級戦士だ。

信頼のおけるブッカーとして、世界の格闘技に名を轟かせる"ブッカーK"こと川崎浩一。その格闘技愛が炸裂するか!?

"島田マジック"を世界に轟かせる名レフェリー島田裕二。マッチメイクでも"島田マジック"が炸裂するか!?

ブッカーKプロデュースは WKネットワーク勢が 世界の強豪を迎え撃つ!!

島田裕二プロデュースは アジアから〝未知の強豪〟〝未知の格闘家〟が続々!!

中国の山奥から ま、まさか ヴァーゴン出現か!?

寝技では、日本で有数の実力を誇る高瀬大樹。前大会では"天才"ニーノ・エルビスに惜しくも判定で敗れたが、五分で渡り合ったのだ。

前回は敗れ散った光岡映二だが、『THE BEST』期待のファイターであることには変わりはない。次回大会では巻き返しを計りたい。

プロレス&総合で評価急上昇の絶好調男が

大仁田厚に果たし状!

坂田亘

「デスマッチでも全然かまわない。ホントのイスの使い方、バットの使い方を教えてあげるよ!」

聞き手/松澤チョロ
撮影/丸山剛史
designed by さおとめの事務所

プロレス&総合ともに絶好調で評価も急上昇中の坂田亘。『LEGEND』ではブラジリアン・トップチームの首領マリオ相手に判定まで持ち込む健闘を見せ、プロレスでは妥協を許さない過激なファイトスタイルで、曲者揃いのZERO—ONEマットで強烈な存在感を示している。そんな坂田が次なるターゲットとして名前を挙げたのは、なんと、大仁田厚だった!

[EVOLUTION]

前田イズム？ 俺は俺だし、そういう意識は全然ないよ

――坂田さん！　総合もプロレスも、ここ最近の活躍っぷりは凄いですね！

坂田　なんだよ、いきなり！　なんか気持ち悪ィなぁ（笑）。

――いや、正直、プロレスで、坂田さんがあんなに素晴らしい試合を見せてくれるとは思ってなかったですから。

坂田　なんでだよ！（笑）。

――いや、坂田さんはリングス時代はプロレスのことは、あまり認めてないような発言をしてたじゃないですか？

坂田　あぁ、そうか。確かにプロレスに対しては、やる前と実際やってみて考え方とか変わったとこもあるからな。

――それが、いまやプロレスラーとして評価がうなぎ登りですからね。

坂田　まあ当然だろ！（笑）。

――あ、当然なんですか（笑）。

坂田　ていうか、試合数が単純に増えたのもあるし、試合数が増えれば露出も多くなるわけだし……自分のことホメてるわけじゃないけど、悩むぐらいだったら前に出た方がいいだろ？

――悩む前に一歩踏み出してみたと？

坂田　そうそう。そういうもんの結果なんじゃないの？　結果が出てきてるというか、まだ出始めだと思うけどね。

――まだ、こんなもんじゃないと？

坂田　そりゃ、こんなもんで満足してちゃダメでしょ。マンションも買えんやん（笑）。

――それじゃあ、もっともっと頑張らなきゃいけないですね（笑）。

坂田　言われなくても頑張るよ（笑）。

――で、坂田さん的にはどう思うかわかんないですけど、元リングス勢の中で一番前田イズムを感じるってファンの間で、もっぱらの評判なんですよ。

坂田　そうなの？　でも、そういう意識は俺は全然ないから（キッパリ）。

――そうなんですか。成瀬さんなんかは新日本に参戦が決まったときに「前田イズムを見せたい」というようなことを言ってましたけど。

坂田　前田イズムだけじゃなくて、猪木イズムとかゴッチイズムとか、よく使われるけど、そういう自己プロデュースしかできないレスラーが多いんでしょ？　要は自分の試合で見せればいいんだよ。別にいまのは成瀬さんのことを言ってるわけじゃないよ（笑）。

――わかってます（笑）。前田イズムというのは、いまの坂田さんの中には一切ないと？

6・27ZERO―ONE後楽園大会の試合前、入門書を片手に姿を現した大仁田。橋本に対し紳士的に入門を要求する大仁田だったが、大谷や金村、さらに大仁田嫌いの坂田も喰ってかかり控室前は大混乱に。見てみ、坂田の顔！

坂田　うん。俺は俺だし、横井は横井だから。例えば、そういう前田イズムだとか、前田さんの何かを使って何かを成し遂げたとしても、それは前田さんの信者とか、あとリングスファンとかは喜ぶかもしれないけど、大事なのはこれからなんだからさ。

――まあ、そうですよね。

坂田　でしょ？　いつまでも過去にすがっててもしょうがないし、俺も自分の過去をけなすワケじゃないけど、過去がどうのこうの言ったって良くないと思うし。そういうのって、田村さんがUのテーマ曲使ったりとか、ああいうこだわりとは違うと思うんだよ。

――田村さんの、〝U〟へのこだわりは、ファンにも届いてますからね。

坂田　でしょ。そういうこだわりが見えなければ、やる意味ないと思うよ。

――で、いま坂田さんが上がっているゼロワンでは様々なスタイルのレスラーが上がってるじゃないですか。この間の博多大会では坂田&横井vs金村&黒田戦という元リングスvs元FMWの異次元マッチも実現しましたけど。

坂田　横井が初流血した時だろ（笑）。

――そうですね（笑）。あの試合後、金村さんは「お前らに強さではかなわない。でもプロレスは頭でやるもんなんや」って言われてましたよね。

坂田　あの試合のあと、記者の質問にマジメに答えちゃったんだけど、ホント言ったとおりで、もうちょっと予備知識を入れとかないとダメだなって思ったよ。翻弄されちゃったからな。

――リング上では強さで圧倒してましたけど場外乱闘とかではペースを握られっぱなしでしたからね（笑）。

坂田　そうだね。昔だったらFMWって言ったらSMWとか、そんな感じでしか思ってなかったけどな（笑）。

――その辺は前田イズムですよ（笑）。

坂田　ハッハッハッ！　でもやっぱりプロレスの世界に触れてみると考え方の幅も広がるし、そういう意味で、あのタイミングで彼らとやれたのは良かったんじゃない？

――そうかもしれませんね。リングス時代から坂田さんはSMWじゃないですけど（笑）、ああいうスタイルは認めてなかったじゃないですか？

坂田　う～ん、そうだね。

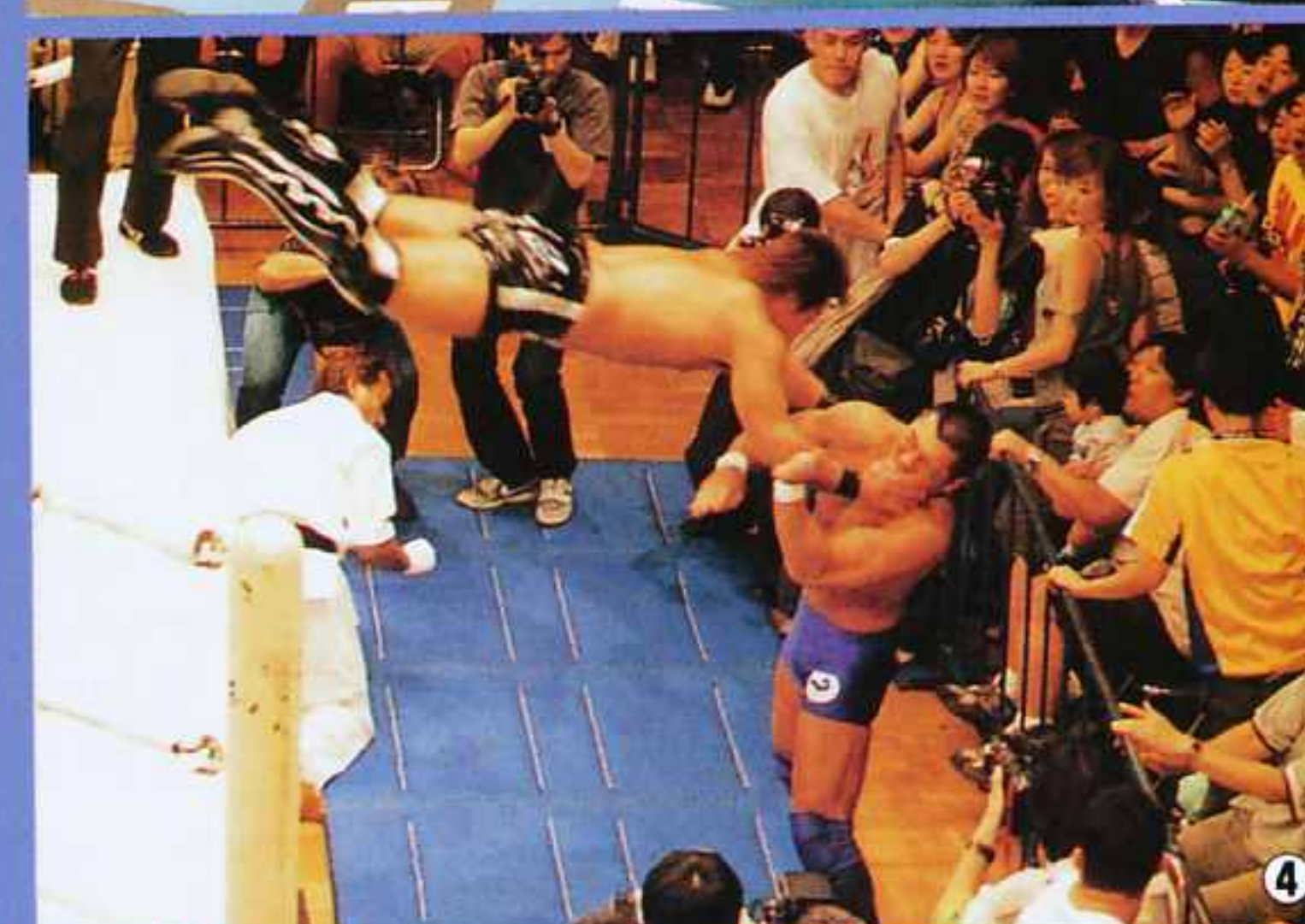
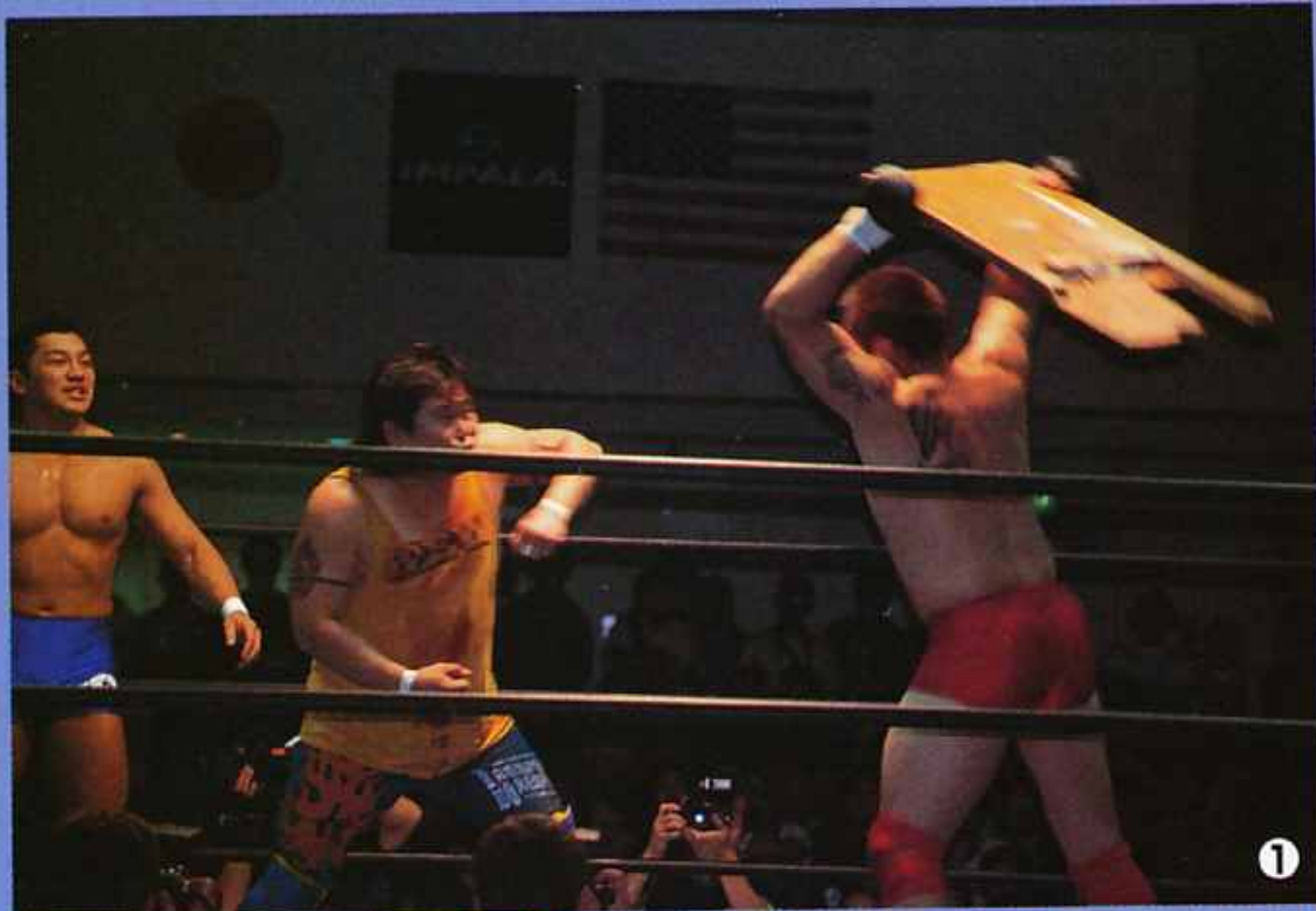
――大仁田さんのことも昔のウチのインタビューで「大仁田は大嫌い。いまでもやってやる！」って言ってましたけど、実際闘ってみて金村&黒田っていう元FMWの選手と大仁田さんとの違いは何か感じましたか？

坂田　う～ん、なんつったらいいんだろ？　要するに、団体とかそういうものに例えて言うんだったら、大仁田は上で舵取りとかさ、ああだこうだ偉そうなこと言ってるけど、屋台骨は彼らだったわけでしょ？　だから、選手のレベルとしては彼らは、かなり高いもんがあるんじゃないの。第一線でやってた人たちなんだろうから。

――田中選手とかもそうですしね。

坂田　そうだね。そういう意味では大先生なんかも触れてみなきゃわかんないけどな。いざやってみたら自分の中で意識が変わるかもしれないし……フン（鼻で笑って）まずないと思うけど。

――アハハハ！　橋本さんなんかは、大仁田さんに対しては「生理的にダメなんや」って言ってますけど（笑）。

坂田　いや、俺も生理的にダメなんだよ。それに闘ってる選手たちがいくら頑張っても、雑誌とかでは大先生にページが割かれるわけでしょ？　そういうのが嫌だっていう考えは昔っから変わってないし、いつまでも過去の名声

で生きてんじゃねえって思ってるから。深く知ってるわけじゃないし、実際触れてみないとわかんないけど、俺の目には偽善者にしか見えないから。

――ぎ、偽善者ですか？

坂田　偽善者ってカッコ良すぎるか、アイツには。

――そこまで言う！　大仁田さんと闘いたいっていうのは本音なんですね。

坂田　いや、闘いたいっていうか、だって誰にも相手されないんだろ？

――実際、ゼロワンでは、みんな敬遠してますからね。

坂田　せっかく大先生が来てるんだから、誰かかまってやんないといけないだろ？（笑）。

――そうですね（笑）。まあでも、普通に考えたら大仁田さんは受けてくれないような気はしますけどね。

坂田　いや、もう受けざる得ないように……してくれよ！

――あ、してくれなんですか？（笑）。

坂田　そっから先は、そっちが盛り上げてくれないと（笑）。それに、リングス時代と違って、俺はプロレス側に入ってきたわけだし、ある意味、向こうの土壌で勝負しようって言ってんだから、やるべきだろ？

――プロレスのキャリアで言えば大仁田さんの方が全然上ですからね。でも、その試合はマジで見たいですよ。

坂田　まあ、中村（部長）さんとかが頑張ってくれるんじゃない（笑）。人が見たいもの、要するにファンが見たがってるもの、選手同士がやりたがってるもの、そういうのを実現させるのが中村さんたちの仕事なんだから。

――ゼロワンの仕掛け人に頑張ってもらいましょう（笑）。で、大仁田さん引っ張り出しの作戦としては、大仁田さんが持ってきた入門嘆願書っていうものに目を付けたわけですよね。

坂田　作戦って言えば作戦かもしれないけど、そういうのを持ってきておいて、それで引いちゃったらどんな言い訳するのかと思うよ。だから俺が入門テストをしてやるって言ってんだよ。それも大先生に敬意を表して公開入門テストだからな（笑）。

――後楽園とかでワンマッチ興行でやっても客は入りますよ（笑）。

坂田　でも、どうなんだろ。やっぱ大先生はやりたくないのかな？

――やっぱり、坂田さんのガチガチに硬い試合スタイルを見ると大仁田さんじゃなくても嫌でしょう（笑）。

坂田　やっぱり俺は嫌われ者か（笑）。

――いえいえ（笑）。でも、プライベートは別としてリング上では嫌われるぐらいの方がいいと思いますよ。

坂田　また、無責任なこと言う！（笑）。

――でも、坂田さんもよく知る前田さんや橋本さんも、当たりが強いんで、外人選手とかから「アイツとは、やりたくない」って言われてたみたいだし。

坂田　へぇ～、そうなんだ。

――そういう意味では坂田さんの試合はホント痛みが伝わってきますよ。やりすぎだろって思う時も多いし（笑）。

坂田　だから、そんなのに驚くような人たちばっかりにしたヘボレスラーたちが悪いんだよ！（キッパリ）。

――へ、ヘボレスラーが悪い!?

坂田　だって、そうだろ？　俺ひとりが入ったぐらいで、そんな風に思われるのはおかしいんじゃない？　俺は別に普通にやってるつもりだから。でも、たま～にテレビでチラッて見たりするプロレスは、それさえも感じないところがあるからな。

――それさえというと？

坂田　それは言わない（笑）。でも、言わなくてもわかるだろ、そんなの？

――う～ん、なんとなく（笑）。

坂田　組み体操かなって思うからな（笑）。まあそれもプロレスなんだろうけど、それは俺が触れてない世界だからそう思ってるだけで、やってみたら違う感じを受けるのかもしれないけど、でもたぶん俺は出来ないだろうな、ああいうのは。

――出来ないし、例え出来たとしても合わせるつもりはないと？

坂田　合わせるつもりなんて全くないよ。ナァナァになって人に合わせるんじゃなくて、お互いの個性と個性がぶつかり合って、そっからできるズレだとか同調できるものだとか、そういうのが見えるのが面白いんじゃないの？

――おっしゃるとおりです！

坂田　俺がプロレスやり始めて感じたのはそういうとこだよ。ゼロワンでのプロレスしか触れてないから、そう感じるのかもしれないけど、ヘラヘラへラヘラやってるんじゃ俺は客には伝わらんと思うよ。

――そういえばコリノも言ってましたよ。「サカタはリング上だけじゃなく控室で会っても笑わない」って（笑）。

坂田　ハッハッハッハッ！　そんなことないんだけどな（笑）。

――で、大仁田さんの話に戻しますけど、大仁田戦が実現したとして、面白い試合内容になると思いますか？

坂田　面白くはならないんじゃない？　そういえば、この間、橋本さんに「いずれ実現するやろ」みたいな感じで言

①坂田&横井組vs金村&黒田組という、数年前では想像もできなかった対決が実現した8・24博多大会。リング上では圧倒的な強さで攻め込む坂田組だったが、場外に戦場を移すと元FMW組が本領を発揮。最後は4人入り乱れて大乱闘となりノーコンテストに②③8・31ゼロ中祭りでは星川相手にエグイ角度でツームストンを決める坂田。さらに、この日はローリングクレイドルからのヒザ十字を初公開！④さすがの坂田も正直ビビッたという星川のトペ⑤"空手ジジイ・小笠原&空手デブ・小林（by坂田）"と坂田の絡みは緊張感溢れまくりで必見だ！

ZERO-ONEの準構成員として公開入門テストをやってギッタギタにしてやるよ！

大仁田から入門書を渡され苦笑いを浮かべる破壊王。その入門書の内容は「ギャラはその都度要相談。大仁田グッズの会場販売を自由に実施する許可。体調は常に自己管理している為、道場での練習は不要」というもの。坂田の希望する公開入門テストは実現するか？

われたんだよ。「ただ焦ってやると、お前喰われるぞ！」って。

――正直、その可能性もありますよね。

坂田　いや、俺は橋本さんにそういうこと言われてもピンともなんともこなかったわけよ。喰われるつもりはサラサラないし、逆に俺がレスラーとして、どういう喰い方してやろうかなとか、どういう喰い方を客に見せられるんだろうなって、そういう風にしか考えてないから。橋本さん本人には、その時言わなかったけど、俺は自分で喰われるようなことはないと思ってるしね。

――そうですか。でも、坂田さんはゼロワンのリングでイス攻撃とかは体験してますけど、毒霧だ、有刺鉄線だ、電流爆破だっていうのは一切予備知識のない世界じゃないですか？

坂田　別に、有刺鉄線でも電流爆破でも何でもありでいいよ（キッパリ）。

――何でもありでかまわないと？

坂田　別にこれは余裕で言ってるわけじゃなくて、じゃあ俺と大仁田がやるってなって、例えばリングスルールとか、そんなの見たくないだろ？（笑）。

――それはそれで見たいですよ（笑）。

坂田　あ、そうなんだ（笑）。

――あと気になったのが、博多大会の試合後の「大先生にホントのイスの使い方、バットの使い方を教えてやる」っていう発言なんですけど（笑）。

坂田　そんなこと言ったっけ？（笑）。

――言ってました（笑）。ホントのイスの使い方を坂田さんは知っていると？

坂田　それは内緒！　俺はいい子だったから（笑）。

――そうは見えないですけど（笑）。そういえば、デビュー間もない頃、試合後に前田さんから強烈なイス攻撃を喰らったことがありましたよね。

坂田　あぁ、あったねぇ（苦笑）。でも、あんなのはたいしたことないよ。俺がやったら……とにかく凄いよ！

――とにかく凄い！（笑）。もし大仁田戦が実現したとしても、最後は毒霧とかで反則決着なんじゃないかって見る人も多いと思うんですけど。

坂田　どうなんだろうな？　俺が思ったのは、プロレスの試合が終わったあと、人と話すると、みんなある程度予想しながら試合を見てるんだよな。

――少なからず予想はしますからね。

坂田　だけど、例えば予想通りの結果になったとしても、それを上回るだけの何かを見せればいいんだよ……わかるでしょ？　俺の言いたいことは。

――はい、わかります。ただ、ブチキレキャラで怖いモノなしのように見える坂田さんですけど、電流爆破とか有刺鉄線って怖くはないんですか？

坂田　いや、だから、やって痛かったら嫌だなって思うんじゃない？（笑）。いまは別にどうってことねえよ！

――大仁田さんから、デスマッチでなきゃ受けないっていう言い方をされたら、それを受けるつもりはあると？

坂田　いつでもオッケーだよ。

――電流爆破でもいいんですか？

坂田　しつこいよなぁ（笑）。電流爆破でも全然かまわないよ！

――是非デスマッチでやって欲しいですね。毒霧を浴びたり爆破される坂田さんも、ちょっと見たいですけど（笑）。

坂田　人ごとだと思って！（笑）。でも、なんか新鮮な感じするだろ？

――それは非常に新鮮ですよ。

坂田　あと、俺絡みで何が見たい？

――ちょっと前に対戦表明していたボブ・サップ戦とか（笑）。

坂田　あっ!?　聞こえない（笑）。

――アハハハ！　正直、サップとは、いまでも闘いたいんですか？

坂田　もう聞かないで（笑）。

――まあ、あのノゲイラ戦を見たら誰でもそう思いますよね（笑）。

坂田　いや、ウソウソ（笑）。別にノゲイラ戦見てビビッたとか、そんなのないし、やっぱ一回言った以上は可能ならばやりたいと思ってるよ。

――そうなんですか。やるからにはイケるっていうのはあるんですよね。

坂田　あっ!?　バカヤローッ！　やる前に負けること考えるヤツがいるか！（「バシーン！」とビンタ）。

――痛ッ！　すっかりプロレスラーらしくなりましたね。でも田村さんもノゲイラvsサップ戦を見て「ほらね」って言ってるんじゃないですか（笑）。

坂田　「ほら自分は凄いだろ？」って言いたいんだよな、アニキは（笑）。

――アハハハハ！

坂田　そうだ、これからインタビューの時はアニキネタを1つ入れよう！

――入れますか（笑）。そういえば、田村さんもプロレスの方も視野に入れてるみたいなことを『東スポ』かなんかで言ってましたよ。

坂田　へぇ～、そうなんだ。じゃあ、まずは俺のパートナーからだな（笑）。

――まずはタッグ（笑）。ゼロワンで噂されている天下一武闘会のタッグ版に田村&坂田組で出て欲しいですね。

坂田　いや、坂田&田村組だな（笑）。

――プロレスでは俺の方が上と？

坂田　そうそう（笑）。たぶん、アニキはプロレスでも魅せる試合をするんだろうけど、リーダーは俺！　でも、そういうこと言うとアニキはすねちゃうから田村&坂田組でいいや（笑）。

――いいんですか（笑）。でも田村さんも自分で言ってますからね。プロレスでも魅せる自信があるって。

坂田　いや、アニキはプロレスやっても凄いと思うよ。まあでも、俺の方がもっと凄い！（笑）。

――さすが絶好調男、自信満々ですね（笑）。田村&坂田組も楽しみですけど、大仁田戦の実現期待してます！

坂田　大仁田大先生の男樹とやらを期待してるよ！

【02年9月1日／都内某所にて収録】

大仁田大先生の男樹とやらを期待してるよ！

RADICAL PRESENT'S

NEW OH BEAM

1名様

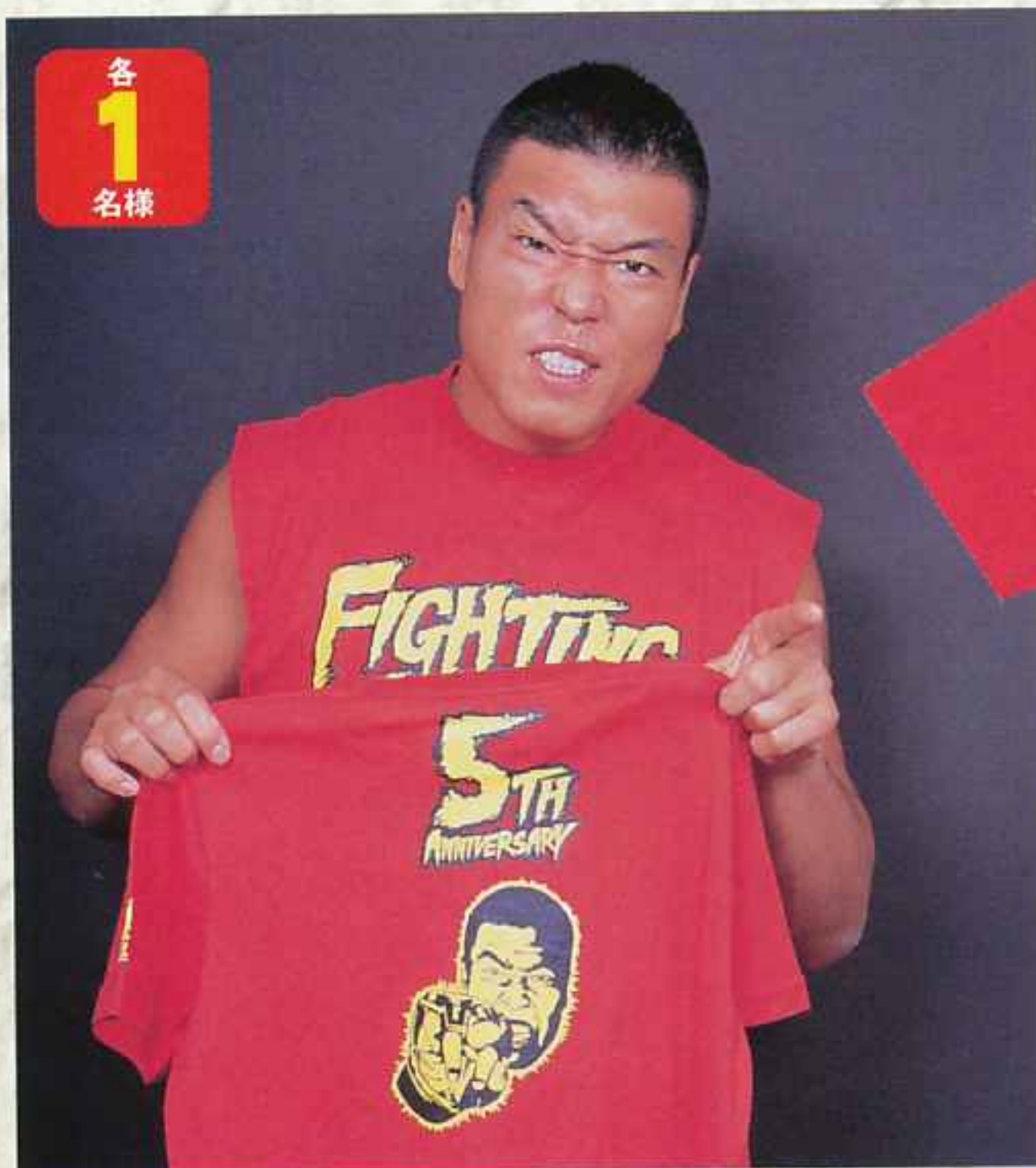
小笠原和彦・空手着
今号の破壊王との対談での本人使用の物
【小笠原和彦提供】

LIZARD KING 2
リザードキング
10月4日発売!!
時は来た! このマンガが天下を取るぞ!! 破壊王 橋本真也 ZERO-ONE
馬場康誌

『LIZARD KING』第2巻
【ワニマガジン社・刊】
馬場康士『LIZARD KING』のオビに破壊王が登場! 本編にも破壊王の似のキャラが登場しているぞ!

3名様

NAOYA OGAWA

各1名様

小川直也ファイティング・アーティストTシャツ(白・赤)
ホーガンの『HALKA MANIA』Tシャツを参考したオーちゃんのNEW Tシャツ! あのマット・ガファリ戦でも着用していたぞ!
【小川直也提供】

FIGHTING ARTIST STO
5TH ANNIVERSARY

懐中時計

VITAROSO

2名様

8・22ZERO-ONE
岐阜大会記念懐中時計
破壊王のお膝元で行われた大会を記念した作られた懐中時計! 時は来た!

JUN KASAI

PRO-WRESTLING ZERO-ONE

3名様

葛西純イラスト「破壊王Tシャツ」
ZERO-ONE会場内の限定発売となった破壊王×葛西Tシャツ! 即日完売となったレアTシャツを特別に大放出だ

大食い挑戦権

いつ何時、誰の挑戦でも受ける!!

サモアン・サベージ大食い挑戦権
『東スポ』の一面をゲットし今号の本誌でも見事な喰いっぷりを披露したサモアンに大食いで挑戦だ! 挑戦される方は御自分の大食い履歴を明記して応募してください。

DVD/CD

アントニオ猪木必殺技全集
～極意～(全2巻・DVD)
【パイオニアLDC(株)提供】
お問い合わせ【TEL】03-5721-9876
(月・火・木・金13:00～16:00)
DVD各¥5,800(税抜き)・
ビデオ各¥3,800(税抜き)

セットで 2 名様

「IWA JAPAN NOW!」
8周年を祝してIWAから記念盤が登場！ ¥1,905(税抜き)
【IWA JAPAN提供】

5 名様

『Dynamite!』

8・28『Dynamite!』パンフレット
【DSE提供】

2 名様

「KS-Tribute to Kazushi Sakuraba」
「ロマンポルシェ。」も楽曲を提供している桜庭和志応援アルバム！ 総勢13アーティストが応援歌を提供！ 24P撮り下ろしドキュメンタリーブックレット仕様だ！ ¥3,000円(税込)
【高田道場提供】

2 名様

ノゲイラ・プチ柔術着
非売品のレアグッスを本人のサイン入りでプレゼント！
【アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ提供】

NAKAGAWA GAHAKU

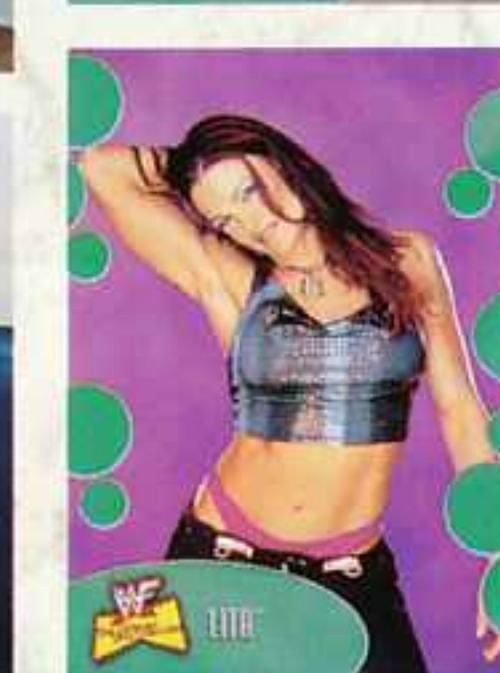
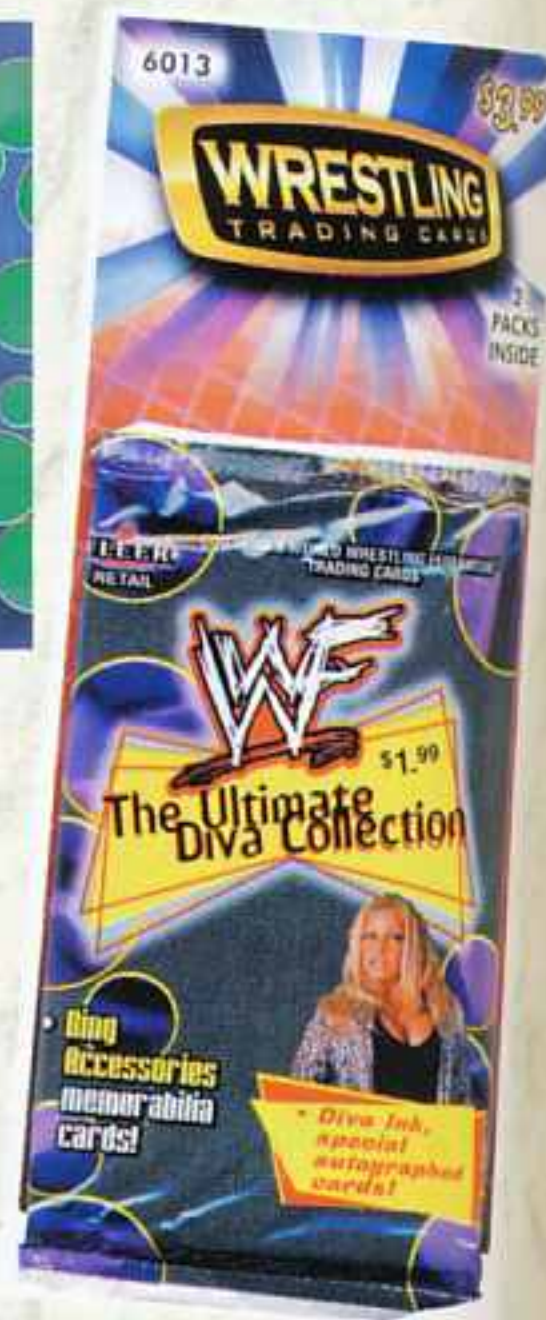
セットで 3 名様

中川雅博手作りステッカー
本誌連載中の「ホントにジョーク」で投稿すると、もれなく5名様に当たる中川画伯オリジナルステッカー！

Sexy Dynamite!

セットで 1 名様

辻ちゃん・生写真
ヒャッホーッ！ 辻結花のサイン入り生写真を3枚セットでプレゼントだ！

1 名様

WWE「Divas」トレカ(2パック)
アレクのアメリカ土産！んむはぁ～ッ!!
【アレクサンダー大塚提供】

T-SHIRT

「スパイダーマン」Tシャツ
映画で大人気を博した「スパイダーマンTM」ビデオ・DVDの発売を記念してスペシャルTシャツが完成。「スパイダーマンTM」(VHS¥16000税抜き)、「スパイダーマンTM」／デラックス・コレクターズ・エディション(2枚組)(DVD¥3,980税抜き)、「スパイダーマンTM誕生の秘話～スタン・リーの世界～」(DVD¥3,800税抜き)。全作品10月23日発売！ Motion Picture ©2002 Columbia Pictures Industries, Inc Spider-Man character TM and C 2002 Marvel Characters, Inc All Rights Reserved.

3 名様

「SECOND」Tシャツ
"MORE HEAT"
Kento Japan!とANGLE JAPANのコラボTシャツ ¥4,000

"COBRA TWISTAR"
Tシャツ
PORNO INVADERS ×GROUND COBRAのコラボTシャツ ¥4,900

【GROUND COBRA提供】
【URL】http://homepage2.nifty.com/groundcobra/

各 2 名様

BIGMAN IS BIGSHIT-T
カール・ゴッチ翁の「大きいヤツは大きいクソだ!」の言葉をもとに作製されたTシャツ ¥3,800

HOMARE-T
久保山誉(K'Z FACTORY)Tシャツ ¥3,800

【ART JUNKIE提供】
【URL】http//open.rad.ac.jp/˜dn,artjunkie/ 【TEL】03-3325-0603

応募要項

応募券

①郵便番号・住所・電話番号
②氏名
③年齢・職業
④希望商品
⑤面白かった記事&その理由
⑥つまらなかった記事&その理由
⑦やって欲しい企画
⑧好きな選手&嫌いな選手

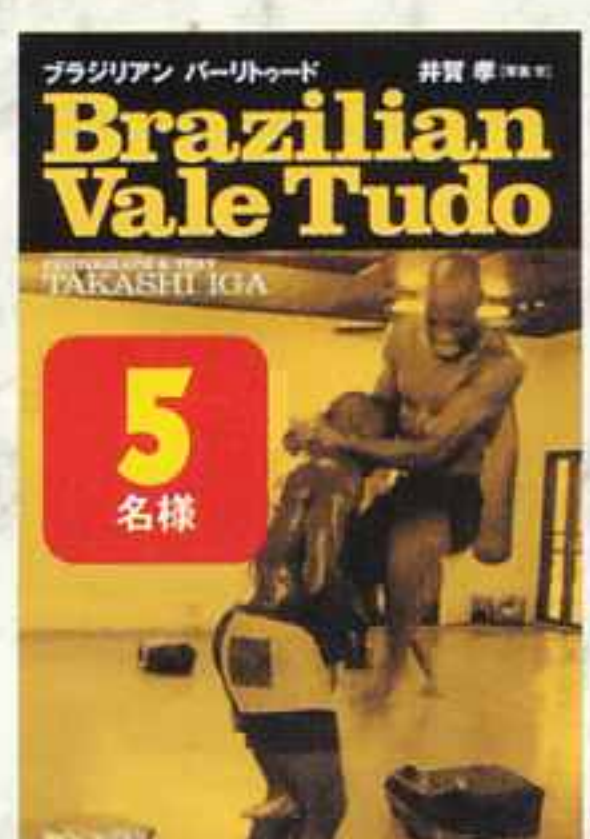
【宛先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)タフルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「6:5でオレの勝ち」係まで
※締切は2002年10月23日(水)当日消印有効

THIS MONTH'S BOOK

各 1 名様

『完全版 プロレス伝説』
DVD&レスラーサイン入り(小川、蝶野、武藤、橋本、永田、天龍)タオル付き。宝島・刊／¥1,900(税抜き)

『金満!!中央競馬イヤーファイル2002前半戦』
2002年1月から7月までの中央競馬で行われた全レースの結果をまとめたシリーズ8作目。エンターブレイン・刊／¥1,800(税抜き)

5 名様

『ブラジリアン バーリトゥード』
写真・文／井賀孝
著者がブラジル現地で3ヶ月間過ごした記録が一冊の本になった。総344ページ。情報センター出版局・刊／¥2,500(税抜き)

3 名様

『ターザン山本のプロレス社長の馬鹿力』
破壊王、サスケ、全女・松永会長など……。10人のプロレス社長にターザンが直撃！ エンターブレイン・刊／¥1,600(税抜き)

セットで 1 名様

『梶原一騎原作漫画傑作選 男の星座』
梶原一騎先生の遺作となった自作劇画「男の星座」の復刻版！ 全6巻をプレゼントだ！ 道出版・刊／¥1,000(税抜き)

田村が着ないなら オマエが着ろ!!

『PRIDE.19』
ヴァンダレイ・シウバ戦のタムタム

9・7『DEEP』
美濃輪育久戦の潔司さん

『PRIDE.21』
ボブ・サップ戦の田村さん

紙のプロレス RADICAL
No.54
2002年10月25日発行

No.55は 10月下旬発売予定!

※多分にです。地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

編集兼発行人
山口日昇

編集スタッフ
松澤チョロ
堀江ガンツ
ジャン斉藤
八木賢太郎（落ちた!ため非番）

スーパーバイザー
吉田豪

スーパー助っ人
スモーノブ

助っ人
中村カタブツ君
片山ボン
ジャイ子

一人電気部
さささぃ

アートディレクター
出田さん（TwoThree）

デザイン
ヒサくん
マツくん
村松さん
グッチー
タニやん（以上TwoThree）
トメさん
はなえちゃん（以上さおとめの事務所）
海老沢勇（Zero graphics）
石田理恵

カメラマン
斉藤ユーリ
森鷹博
遠藤政文
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
菊池茂夫

試合写真
平工幸雄
乾晋也
吉澤晃

お勘定&衣料部
林“ヘックション”一枝

出前
出前持ち入江（TwoThree）

フィニッシュ
ツー・スリー
さおとめの事務所

印刷
図書印刷株式会社

印刷人
大杉すぎすぎ昌也

発売元　株式会社ワニマガジン社　〒160-8580 東京都新宿区内藤町一番地　TEL.03-3357-2911（販売・営業）
発行元　株式会社ダブルクロス　〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702　TEL.03-3403-5188（編集・制作）

☎INDEX

*50音及びアルファベット順

名称	電話	住所
アルシオン	➡03-5745-6101	〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-24 サンハイツ1004
大阪プロレス	➡06-6636-6672	〒556-0002 大阪府浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート2F
怪獣王国	➡03-5952-1177	〒171-0033 東京都豊島区高田3-6-7-3F
キャプチャー	➡044-959-3333	〒215-0011 神奈川県川崎市麻生区百合ヶ丘2-2-1 横山ビルB1
キングダム・エルガイツ	➡0423-31-2797	〒206-0822東京都稲城市坂浜2305
栗栖ジム	➡06-6790-8896	〒547-0014 大阪府大阪市平野区長吉川辺3-1-7
喧嘩プロレス二瓶組	➡044-588-2438	〒212-0055 神奈川県川崎市幸区南加瀬5-32-2 二瓶ビル
国際プロレス	➡0467-86-0197	〒253-0052神奈川県茅ヶ崎市幸町20-14
修斗コミッション	➡03-5824-1324	〒111-0032 東京都台東区浅草5-56-8 若山ビル201
女子総合格闘技・AX	➡03-5286-7921	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町1-7
新日本プロレス	➡03-5468-3111	〒150-0011 東京都渋谷区東2-1-11
掣圏道	➡03-5456-7333	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14 恵比寿スカイハイツ607
全日本女子プロレス	➡03-3493-6541	〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-17-17
全日本プロレス	➡03-3403-7344	〒106-0032 東京都港区六本木7-3-12
大日本プロレス	➡045-937-0811	〒224-0053 神奈川県横浜市都築区池辺町4347
ダイプロデュース(大仁田興行)	➡03-5496-4900	〒141-0031 東京都品川区西五反田1-32-3 大北ビル3F
高田道場	➡03-5749-5030	〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6 ワールドパレス武蔵小山1F-B1
高山堂	➡03-5464-2806	〒150-0011 東京都渋谷区東2-21-9-803ジェイパーク渋谷イーストスクエア
闘龍門JAPAN	➡078-333-9797	〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通り3-17-8 TOWA元町ビル901
トータルワークアウト	➡03-3280-5557	〒108-0073 東京都芝区三田4-7-24 明るいビル
ドリームステージエンターテインメント	➡03-5775-5700	〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-4 ルーメリ赤坂103
バトラーツ	➡0489-63-0005	〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
パンクラス	➡03-5792-0815	〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25
プロレスリング・ノア	➡03-3527-5311	〒135-0063 東京都江東区有明1-3-25
みちのくプロレス	➡019-626-1333	〒020-0063 岩手県盛岡市材木町9-8
DDT	➡03-3868-9181	〒112-0002 東京都文京区小石川2-9-7 MORIMOTO FLATS 4F
DEEP 2001事務局	➡052-339-0303	〒460-0071 愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F
GAEA JAPAN	➡03-5459-3101	〒150-0036 東京都渋谷区南平台6-7 MAISON南平台1F
GCM COMUNICATION(和術慧舟會、A'GYM、RJW)	➡03-3538-5801	〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-10 松楠ビル9F
IWAジャパン	➡03-3352-3366	〒160-0004 東京都新宿区四谷4-6-1 四谷サンハイツ401
Jd'	➡03-5561-0522	〒107-0052 東京都港区赤坂2-3-4 ランディック赤坂ビル4F
JWP	➡03-5849-2341	〒121-0052 東京都足立区六木3-6-4
K-1 事務局	➡03-3796-2977	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-31-14
KAIENTAI DOJO	➡043-214-6960	〒260-0001 千葉県千葉市中央区都町3-4-17
LLPW	➡03-3945-7926	〒112-0005 東京都文京区水道2-13-4 ビクセル文京105
NEO	➡044-422-8344	〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102
SMACK GIRL実行委員会	➡03-5545-4766	〒106-0041 東京都港区麻布台2-3-5 ノアビル12階
SPWF	➡03-3814-6371	〒113-0001 東京都文京区白山1-17-4 クロサキビル
T.A.M.A	➡042-572-6795	〒185-0031 東京都国分寺市富士本1-23-5
U-FILE CAMP	➡044-932-0282	〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1568
UFO	➡03-5447-2121	〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5 OK白金台ビル7F
WEW	➡03-5958-5651	〒176-0005 東京都豊島区南大塚3-34-4ニューヴァリー2F
WMF	➡03-5362-7364	〒160-0004 東京都新宿区四谷4-26 テクノ四谷ビル2F
WWS	➡0495-24-6900	〒367-0052 埼玉県本庄市銀座2-5-23 レインボー本庄106
ZERO-ONE	➡03-5730-3401	〒105-0014 東京都港区芝2-30-11 寿ビル601
ZIPANG	➡03-3312-0328	〒166-0011 東京都杉並区梅里2-40-21 ハイネス梅里201

WANDERLEI DA SILVA

ヴァンダレイ・シウバ

“主食・日本人”、次なる獲物は？

Who's Next?

まさにDynamite級のインパクト
2002年8月28日、空から猪木が降ってきた!

アントン降臨!!

バイト探しは バイトルドットコム baitoru.com

RING STAFF

我々の上に神がいる!

『紙プロ』編集部おススメ興行

★ 山口日昇　◎ ジャン斉藤
♠ 松澤チョロ　♥ さささぃ
◆ 堀江ガンツ

全女■神奈川・よみうりランドEAST(15:00)
JWP■東京・東京キネマ倶楽部(1:00&5:00)
みちのく■山形・東北芸術工科大学(13:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)

14 MON.

新日本■東京・東京ドーム(16:00)◎
全日本■愛知・愛知県体育館(15:30)
ノア■福岡・博多スターレーン(15:00)
闘龍門■島根・くにびきメッセ(16:00)
大日本■北海道・札幌テイセンホール(15:00)
みちのく■宮城・Zepp Sendai(14:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
アストレス■東京・北沢タウンホール(13:00)
Jd'■東京・北沢タウンホール(17:00)

15 TUE.

全日本■静岡・キラメッセぬまず(18:30)
K−DOJO■千葉・Bule Field (19:00)
全女■東京・後楽園ホール(18:30)

16 WED.

全日本■石川・石川県産業会館3号館(18:30)
ノア■岡山・岡山オレンジホール(18:30)
みちのく■山形・戸沢村中央公民館体育館(19:00)
大日本■北海道・釧路鳥取ドーム(18:30)
アルシオン■山形・酒田市営体育館(18:30)

17 THU.

全日本■新潟・リージョンプラザ上越(18:30)
ノア■広島・広島市東区スポーツセンター(18:00)
K−DOJO■千葉・Bule Field (19:00)
みちのく■福島・福島市体育館(18:30)
大日本■北海道・根室青年体育センター(18:30)

18 FRI.

大日本■北海道・紋別スポーツセンター(18:30)
みちのく■岩手・室根村民体育館(19:00)
IWA■東京・後楽園ホール(18:30)

19 SAT.

新日本■長崎・長崎県総合体育館(16:00)
全日本■新潟・新潟市体育館(18:00)
ノア■名古屋・愛知県体育館(18:00)
闘龍門■富山・イベントプラザ富山(18:00)
大日本■北海道・北見東トレーニングセンター(18:30)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
K−DOJO■千葉・Bule Field (19:00)
WEW■新潟・上越市厚生南会館(18:30)
みちのく■青森・はちのへハイツ(18:30)

20 SUN.

ZERO−ONE■東京・後楽園ホール(12:00)★♥
新日本■大分・別府ビーコンプラザ(18:30)
全日本■宮城・宮城県スポーツセンター(17:00)
闘龍門■徳島・アスティとくしま(17:00)
みちのく■青森・青森県民体育館サブアリーナ(16:00)
全女■神奈川・川崎市体育館(15:00)
WEW■埼玉・熊谷市民体育館(18:30)

21 MON.

新日本■山口・海峡メッセ下関(18:30)
全日本■青森・スカルボイン黒石(18:30)
大日本■岩手・岩手県営体育館(18:30)
LLPW■埼玉・草加市スポーツセンター健康都市記念体育館(19:00)

22 TUE.

新日本■福岡・宗像ユリックスイベントホール(18:30)
闘龍門■兵庫・神戸チキンジョージ(19:00)
K−DOJO■千葉・Bule Field (19:00)
大日本■秋田・秋田市立体育館(18:30)

23 WED.

全日本■福島・いわき市平体育館(18:30)
WEW■東京・後楽園ホール(19:00)

24 THU.

新日本■鹿児島・鹿児島アリーナ(18:30)
全日本■群馬・高崎市中央体育館(18:30)
K−DOJO■千葉・Bule Field (19:00)

25 FRI.

ZERO−ONE■愛知・名古屋国際会議場(18:30)★
新日本■熊本・合志町総合体育館(18:30)
全日本■静岡・アクトシティ浜松(18:30)
WEW■長野・佐久市総合体育館(18:30)

26 SAT.

ZERO−ONE■大阪・府立臨海スポーツセンター(18:30)★
新日本■福岡国際センター(18:30)
K−DOJO■千葉・Bule Field (19:00)

27 SUN.

新日本■兵庫・神戸ワールド記念ホール(17:00)
全日本■東京・日本武道館(16:00)
大阪■大阪・岸和田競輪場(10:00)
T2P■東京・ディファ有明(12:00)◆♥
JWP■東京・東京キネマ倶楽部(17:00)
修斗■大阪・NGKホール(15:00)

28 MON.

闘龍門■東京・後楽園ホール(18:30)

29 TUE.

パンクラス■東京・後楽園ホール(18:30)
K−DOJO■千葉・Bule Field (19:00)
WEW■福岡・アクロス福岡イベントホール(18:30)
NEO■北海道・函館市民体育館(18:00)

30 WED.

新日本■岡山・津山市総合体育館(18:30)

31 THU.

大日本■神奈川・横浜赤レンガ倉庫(18:30)
新日本■鳥取・鳥取産業会館(18:30)
K−DOJO■千葉・Bule Field (19:00)

RADICAL CALENDAR

9 September

26 THU.

DDT■東京・渋谷club ATOM (18:30)
IWA■宮城・岩沼市民体育センター(18:30)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

28 SAT.

K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
WMF■群馬・伊勢崎オートレース場特設(11:43)
全女■静岡・焼津市民体育館(18:30)

29 SUN.

『PRIDE.22』■愛知・名古屋市総合体育館レインボーホール(14:00)★
パンクラス■神奈川・横浜文化体育館(16:30)♠
闘龍門■神奈川・小田原アリーナ(18:30)
YBM■奈良・ACTセンター(16:30)
ラスカチョ■東京・ホテル「ラフォーレ東京」(14:00)
アルシオン■鳥取・三朝町総合スポーツセンター(18:00)
Jd' ■愛知・千種スポーツセンター

30 MON.

闘龍門■兵庫・神戸チキンジョージ(19:00)
K−DOJO■東京・後楽園ホール(19:00)
アルシオン■鳥取・米子産業体育館(19:00)

10 October

1 TUE.

IWA■東京・国立代々木競技場第2体育館(18:30)◎
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

2 WED.

全女■長崎・島原復興アリーナ(18:30)

3 THU.

K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
全女■宮崎・宮崎市武道館(18:30)

4 FRI.

ノア■東京・後楽園ホール(18:30)
闘龍門■長野・長野運動公園総合運動場総合体育館(18:30)
大仁田興行■東京・ディファ有明(19:00)

5 SAT.

ノア■福島・福島市国体記念体育館(18:30)
みちのく■宮城・鹿島台町鎌田記念ホール(18:30)
キャプチャー■福岡・さざんぴあ博多(19:30)
闘龍門■愛知・津島市民会館(18:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
K−1■埼玉・さいたまスーパーアリーナ(17:00)
SMACK GIRL■東京・ディファ有明(18:30)♠♥
アルシオン■宮城・仙台市泉体育館(18:30)

6 SUN.

新日本■東京・後楽園ホール(18:30)◆
全日本■東京・後楽園ホール(12:30)
ノア■新潟・長岡市厚生会館(17:00)
闘龍門■滋賀・・野洲町立総合体育館(15:00)
みちのく■福島・サンシャイン浪江(16:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
修斗■愛知・鶴舞公会堂(16:00)

7 MON.

アルシオン■東京・後楽園ホール(18:30)

8 TUE.

全日本■和歌山・和歌山県立体育館(18:30)
ノア■岩手・岩手県営体育館(18:30)
闘龍門■大阪・大阪府立体育館第2競技場(18:30)
みちのく■岩手・湯田町農業者トレーニングセンター(19:00)
大日本■東京・後楽園ホール(18:30)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

9 WED.

新日本■大阪・大阪府立体育会館第2競技場(18:00)
ノア■山形・山形市総合スポーツセンター(18:30)
みちのく■宮城・石巻市総合体育館(18:30)
アルシオン■福井・サンピア敦賀(18:30)

10 THU.

全日本■香川・香川県立体育館(18:30)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
みちのく■岩手・花巻市民体育館(18:30)

11 FRI.

全日本■和歌山・田辺ハナヨアリーナ(18:30)
ノア■京都・KBSホール(18:30)
大日本■茨城・水戸市民体育館(18:30)
K−1 WORLD MAX■東京・有明コロシアム(18:00)
みちのく■秋田・秋田市立茨島体育館(18:30)

12 SAT.

新日本■東京・後楽園ホール(18:30)
全日本■大阪・大阪府立体育館第2競技場(18:00)
ノア■徳島・徳島市立体育館(18:00)
闘龍門■福井・福井市体育館(18:30)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

13 SUN.

大日本■北海道・札幌テイセンホール(15:00)
Jd' ■東京・北沢タウンホール(13:00&17:00)
闘龍門■岡山・卸センターオレンジホール(16:00)
全女■神奈川・
JWP■東京・東
みちのく■山形
大阪■大阪・デ

14 MON.

新日本■東京・
全日本■愛知・
ノア■福岡・博
闘龍門■島根・
大日本■北海道
みちのく■宮城
大阪■大阪・デ
アストレス■東京
Jd' ■東京・北

15 TUE.

全日本■静岡・
K−DOJO ■千
全女■東京・後

16 WED.

全日本■石川・
ノア■岡山・岡山
みちのく■山形・
大日本■北海道
アルシオン■山

17 THU.

全日本■新潟・
ノア■広島・広島
K−DOJO ■千
みちのく■福島・
大日本■北海道

18 FRI.

大日本■北海道
みちのく■岩手・
IWA■東京・後

19 SAT.

新日本■長崎・長
全日本■新潟・新
ノア■名古屋・愛
闘龍門■富山・
大日本■北海道
大阪■大阪・デル
K−DOJO ■千
WEW■新潟・上
みちのく■青森・

20 SUN.

ZERO−ONE■
新日本■大分・別
全日本■宮城・宮
闘龍門■徳島・ア
みちのく■青森・
全女■神奈川・川
WEW■埼玉・熊